3-1　制御システム例

■ 制御：1リンク配線系統(室内外操作線)の仕様-- 3－ 2

3-2　主要制御部品特徴--- 3－ 3

3-3　制御部品(仕様・操作・据付説明)

品　　名	品　　番	頁
標準ワイヤードリモコン	ＲＣＳ－ＳＨ８０Ｂ ＲＣＳ－ＳＨ８０Ａ	3－ 5
ワイヤードリモコン	ＲＣＳ－ＤＨ２２４Ｂ ＲＣＳ－ＤＨ２２４Ａ	3－ 29
ワイヤレスリモコン	ＲＣＳ－ＳＨ８０Ａ．ＷＬ	3－ 31
ワイヤレスリモコン	ＲＣＳ－ＳＨ１Ａ	3－ 43
ワイヤレスリモコン	ＲＣＳ－ＴＲＰ８０ＡＮ．ＷＬ	3－ 44
ワイヤレスリモコン　2方向専用	ＲＣＳ－ＳＳ８０Ｂ．ＷＬ	3－ 32
ワイヤレスリモコン　壁掛形用(付属品)	ＲＣＳ－ＴＨ８０Ａ．ＷＬ	3－ 31
別置きワイヤレスリモコン	ＲＣＳ－ＢＨ８０Ａ．ＷＬ	3－ 53
簡単リモコン	ＲＣＳ－ＫＲ１Ａ	3－ 58
昇降操作専用リモコン	ＲＣＳ－ＳＨ１ＢＤ	3－ 61
リモートセンサー	ＡＲＴ－Ｋ４５Ａ ＡＲＴ－Ｋ４３Ｋ	3－ 62
スケジュールタイマー	ＳＨＡ－ＴＭ６４Ａ	3－ 65
マルチコントローラー	ＳＨＡ－ＫＣ１６Ｔ	3－ 74
システムコントローラー	ＳＨＡ－ＫＣ６４Ｕ	3－ 79
ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー	ＳＨＡ－ＫＣ１６ＫＡ	3－ 88
インテリジェントコントローラー	ＳＨＡ－ＫＴ２５６Ａ	3－ 98
通信アダプター	ＳＨＡ－ＫＡ１２８Ａ	3－120
インテリジェントコントローラー用 料金計算ソフト	ＴＥＣＳ－ＳＷ２００	3－122
シリパラI／Oユニット	ＡＣＣ－ＳＰ１６ＴＡ	3－145
室外シリパラI／Oユニット	ＡＣＣ－ＸＳＰ４Ｕ１	3－153
ミニシリパラＩ／Oユニット	ＡＣＣ－ＳＰ１Ａ	3－161
遠隔操作		
Ｔ１０端子		3－166
切り忘れ防止		3－167
デマンドコントロール		3－167
換気扇		3－168
ＪＥＭＡ		3－168
ＯＮ／ＯＦＦ制御用ローカルアダプター	ＳＨＡ－ＫＬ４Ｕ	3－169
通信変換用ローカルアダプター	ＳＨＡ－ＫＬ１Ａ	3－173
ロンワークスインターフェース	ＳＨＡ－ＬＮ１６Ｕ	3－177
室内用リレー中継基板	ＡＣＣ－ＤＣ２４Ａ	3－191
ＡＭＹターミナル	ＴＥＣＳ－Ｗ３０００Ｂ	3－194
ＡＭＹアダプター	ＤＤＲ－３５００	3－194
Ｓ－ＤＤＣ ＜三洋ダイレクトデジタルコントローラー＞	ＳＨＡ－ＫＤ２０００Ｔ	3－204
信号出力基板	ＡＣＣ－ＳＧ－Ｂ	3－208
電磁弁出力基板	ＡＣＣ－３ＷＡＹ－Ｂ	3－211
運転表示ランプキット	ＩＮＤ－ＳＨ８０Ａ	3－213
	ＩＮＤ－ＴＨ８０Ａ	3－215
	ＩＮＤ－ＴＲＰ８０ＡＮ	3－218

1）通信仕様の統一
PACならびにGHPの通信仕様を統一し、また通信の高速化を図り、制御性の向上を行っております。
これにより集中制御機器の共通化が行え、PAC系統とGHP系統それぞれにAMYアダプターを使用することで共通の集中制御機器（AMYターミナル）が使用可能になります。

2）リンク配線方式
配管系統の異なる店舗用やマルチ機種の室内外ユニットを1つの室内外操作線（無極性2芯）で接続でき、集中制御機器の通信を行う配線方式（以下リンク配線と呼ぶ）を採用し、大幅な配線作業の簡略化が実現しております。
1系統のリンク配線方式は、室内外操作線上に室外ユニットを最多30台、室内ユニットを最多64台、集中制御機器を最多10台まで接続可能な配線方式です。（但し、リンク配線内の各機器数の合計は100台迄です。）

3）各種アドレス
室内外ユニットの通信による自動アドレス方式を採用しています。
また、各種設定はリモコンから変更や入力ができます。
各種アドレスや各種設定内容は、室内基板上の不揮発性メモリー（EEPROM）に書き込まれます。このメモリーは電源を切った場合や、停電の場合でも、書き込まれた内容は消えません。
・系統（室外ユニット）アドレス、室内ユニットアドレス、グループアドレス
　自動アドレスにより不揮発性メモリー（EEPROM）に室内ユニットの自動的に書き込まれます。
　（配線方式により、設定操作が必要になります。）
・集中制御アドレス
　集中制御を行う場合にリンク配線を行い、室内ユニットアドレスを設定してから、リモコンまたは集中制御機器から設定します。

●集中制御機器
集中制御機器の制御対象は、1系統のリンク配線［室内外操作線上の室外ユニット：最多30台、
室内ユニット：最多64台集中制御機器：最多10台］が対象になります。
（複数の冷媒配管系統にまたがって集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式となります。）
※A、U、T形以外の機種は、ローカルアダプタを取り付けることにより、A、U、T形集中制御機器に接続できます。

〈主な制御機器〉
・ワイヤードリモコン……………………RCS-SH80B
・ワイヤードリモコン……………………RCS-SH80A, WL
・マルチコントローラ……………………SHA-KC16T
・システムコントローラ…………………SHA-KC64U
・ON/OFF集中コントローラ ……………SHA-KC16KA
・インテリジェントコントローラ………SHA-KT256A
・AMYターミナル　……………………TECS-W3000
・AMYアダプタ　………………………DDR-3500
・通信変換用ローカルアダプタ…………SHA-KL1A
・ON/OFF制御用ローカルアダプタ ……SHA-KL4U

■制御：1リンク配線系統（室内外操作線）の仕様
室内外操作線…………無極性2芯
配線総延長距離………1km
分岐配線………………最多16個所（1m以内の分岐は含みません。分岐後の分岐はできません。）
接続可能室外ユニット…最多30台
接続可能室内ユニット…最多64台
接続可能集中制御機器…最多10台
（但し、1リンク配線内の各機器数の合計は、100台迄です。）
1）ツインの場合にリモコン渡り配線が必要になりました。
2）1リンク配線系統の室内機は、ツインやグループ制御を行っている子機も含めた室内機の合計接続台数が最多64台となります。
3）室内ユニットや室外ユニットの台数が上記の台数制限より多い場合は、複数系統のリンク配線方式となります。
4）集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式にて配線を行ってください。
5）室内外操作線は、下記の電線を使用してください。
・CVV（JIS C3401）…………制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル
・CVTF（JIS C3306）…………ビニルキャップタイヤ丸形コード
・CVT（JIS C3312）…………600Vビニルキャップタイヤケーブル
・VVR（JIS C3342）…………ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形
・MVVSまたは、CPEVS …………シールド線（但し使用する場合は片側アースにしてください。）
6）線の太さ　　0.5～2.0mm^2

■主要制御部品特徴

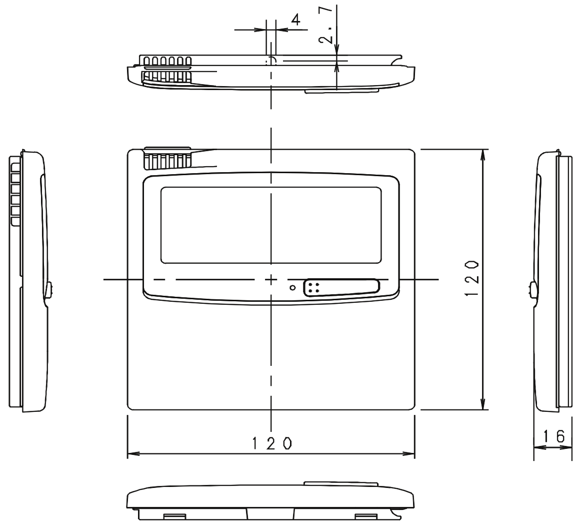
名　　称	特　　　　徴	適用機種
標準ワイヤードリモコン ＲＣＳ－ＳＨ８０Ｂ (省エネボタン付) ＲＣＳ－ＳＨ８０Ａ (省エネボタン無し)	【RCS-SH80Bのみの機能】 ●リモコンで省エネモードに簡単切換。 【RCS-SH80B・A共通の機能】 ●快適オートフラップ制御。 ●１台のリモコンで室内ユニット最多８台までコントロール。 ●さがぁるグリルや換気扇操作もこれ1台でＯＫ。 ●親・子リモコン制御が可能。 ●サービスチェック、風速自動、タイマー(時限タイマー)、フィルターサイン等の機能付き。	室内ユニット 全機種
ワイヤードリモコン ＲＣＳ－ＤＨ２２４Ｂ ＲＣＳ－ＤＨ２２４Ａ	【RCS-DH224Bのみの機能】 ●リモコンで省エネモードに簡単切換。 【RCS-DH224B・A共通の機能】 ●１台のリモコンで室内ユニット最多８台までコントロール。 ●親・子リモコン制御が可能。 ●換気扇操作もこれ1台でＯＫ。	室内ユニット 壁ﾋﾞﾙﾄｲﾝ形 床吹出し 外気処理 床置形ﾊｲﾌﾚｯｼｭ 天埋形ﾊｲﾌﾚｯｼｭ
簡単リモコン ＲＣＳ－ＫＲ１Ａ	●露出・埋込どちらの設置も可能。 ●１台のリモコンで室内機最多８台までコントロール。 ●親・子リモコン制御が可能。	室内ユニット 全機種
ワイヤレスリモコン ＲＣＳ－ＳＨ８０Ａ．WL (本体組込受信部タイプ)*1 ＲＣＳ－ＴＨ８０Ａ．WL (本体組込受信部タイプ)*2 ＲＣＳ－ＴＲＰ８０AN．WL (本体組込受信部タイプ)*3 ＲＣＳ－ＳＳ８０Ｂ．WL (本体組込受信部タイプ)*4 ＲＣＳ－ＢＨ８０Ａ．WL (別置き受信部タイプ)*2	●さがぁるグリルや換気扇操作もこれ1台でＯＫ。 ●4方向天井カセット形用は、天井パネルのコーナー部付け替えだけの簡単設置。 ●72時間までの時限タイマー設定。(30分単位) ●親・子リモコン制御が可能。 ●RCS-BH80A.WLを使えば、ワイヤレス制御のできなかったビルトインタイプなどの室内ユニットでも、ワイヤレス制御が可能。 ●その他、温度設定、運転切替、風向/風速設定等の機能付き。	室内ユニット (*1) 4方向ｶｾｯﾄ (*3) 天井吊形 高天1方向 (*2) 2方向ｶｾｯﾄ (*4) その他
スケジュールタイマー ＳＨＡ－ＴＭ６４Ａ	●最多64グループ<室内ユニット最多64台>を、最多8つのﾀｲﾏｰｸﾞﾙｰﾌﾟに分けて制御が可能。 ●1日6回のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ運転（運転/停止/手元許可/手元禁止）、1週間分のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑをｾｯﾄ可能。 ●臨時の休日に対応してﾀｲﾏｰを休止させる機能に加え、長期間ﾀｲﾏｰ運転を停止させる事も可能。	室内ユニット 全機種 (ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ 使用機種のみ)
システムコントローラー ＳＨＡ－ＫＣ６４Ｕ	●室内ユニット最多64グループ、64台の個別制御が可能。 ●リモコンレスシステムや親子システム(親子合わせて2台まで)の制御が可能。 ●10パターンの中から使用状況に応じた制御モードを選択できます。	室内ユニット 全機種
ＯＮ／ＯＦＦ 集中コントローラ ＳＨＡ－ＫＣ１６ＫＡ	●１リンク配線(室内外操作線)内に親子合計８台(親４台、子４台)の接続が可能。 ●最多１６グループ(室内機最多６４台)の制御が可能。 ●運転、異常表示もひと目で確認。 ●別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能。	室内ユニット 全機種
マルチコントローラ ＳＨＡ－ＫＣ１６Ｔ	●室内ユニット最多64台16Gr(1Gr最多8台迄)の制御が可能。 ●1リンク配線(室内外操作線)内に親子合計8台(親4台、子4台)接続可能。 ●個別運転／停止、一括運転／停止、集中／個別設定が可能。 ●別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能。	室内ユニット 全機種
インテリジェント コントローラー ＳＨＡ－ＫＴ２５６Ａ	●最多２５６台(４系統×６４台)の制御が可能。(３系統以上の場合は外部に通信アダプターSHA-KA128Aの設置が必要) ●一括、ゾーン単位、テナント単位、グループ単位で操作可能。 ●運転／停止、運転モード切換、温度設定、風速切換、風向切換(リモコンレス時)、リモコンの手元操作禁止(禁止１、２、３、４)が可能。 ●リモコンレスシステムができます。またリモコン、ON/OFF集中ｺﾝﾄﾛｰﾗｰﾏﾙﾁｺﾝﾄﾛｰﾗｰ、ｼｽﾃﾑｺﾝﾄﾛｰﾗｰなどとの併用も可能。 ●ウィークリータイマー、休日設定も可能。 ●空調エネルギーの按分ができます。	室内ユニット 全機種 通信アダプタ
インテリジェント コントローラー用・ 料金計算ソフト ＴＥＣＳ－ＳＷ２００	●インテルジェントコントローラーの按分データーから豊富なパラメーター設定によりお客様の運用形態に最適な空調料金按分計算法をお選び頂けます。請求書発行も可能。(パソコンはお客様ご用意)按分データーの受け渡しは専用PCカードを使用します。 ●バックアップのみ行う場合は、専用PCカードを手配。	――
通信アダプター ＳＨＡ－ＫＡ１２８Ａ	●インテルジェントコントローラーに３系統以上のリンク配線(室内外操作線を接続する時に必要。 ●１台のSHA-KA128Aには２系統のリンク配線が接続できますが、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰ全体としては最多４系統までです。 ※防滴仕様ではありませんので、必ず室内か制御盤の中などに設置してください。	――

■主要制御部品特徴

名　　称	特　　　徴	適用機種
ＡＭＹターミナル ＴＥＣＳ－Ｗ３０００ （カラー版）	●室内ユニット最多512台(室外ユニットは480台)を接続できる中規模ビル用コントローラー。 ●パッケージエアコン、ガスヒートポンプエアコンが混在したビルでも１台のＡＭＹターミナルで集中管理可能。 注意：ただし、それぞれ別系統のＡＭＹアダプターとしてください。 ●操作性にすぐれたタッチパネル付大型カラー液晶ディスプレイを採用。 ●室内ユニット集中コントロール、運転状態監視、空調エネルギー簡易按分空調料金計算など、多様な機能を備えています。 ●専用の通信アダプター(ＡＭＹアダプター)を室内外操作線に接続する方式で、室内ユニット側への新たな配線は不要ですので、既築のビルでも施工が容易。 ●リモコン、ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラー、システムコントローラーなどとの併用が可能。また、リモコンレスシステムも可能。 ●Windows　NT4.0採用でさらに使いやすくなりました。	ＡＭＹｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
ＡＭＹアダプター ＤＤＲ－３５００	●ＡＭＹターミナルに接続する場合に、1リンク配線(室内外操作線)毎に1台必要。 ●樹脂ケース入のＡＭＹアダプターです。	室内ユニット 全機種
Ｓ－ＤＤＣ (三洋ﾀﾞｲﾚｸﾄﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾝﾄﾛｰﾗ) ＳＨＡ－ＫＤ２０００Ｔ	●山武製ＢＭＩＦ(ビル管理システムのインターフェイス)に接続するための中継機。 ●最多３２台のＡＭＹアダプターを室内外操作線に接続し、集中管理。 ●室内ユニット側への新たな配線は不要。施工が容易で工事の簡略化が図れます。	ＡＭＹｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
シリパラ Ｉ／Ｏ ユニット ＡＣＣ－ＳＰ１６ＴＡ	●ビル管理システムとの接続を簡単に行えるインターフェースです。 ●最多１６台グループ(６４台)の室内ユニットの制御及び状態監視ができます。 ●中央監視盤より、温度設定が可能です。また逆に室温または吸込温度計測ができます。 ●室内ユニットからのフィルターサイン出力によって、空気の汚れ具合を中央監視盤で監視できます。 ●最多接続台数は４台。汎用制御盤内標準取付寸法です。	室内ユニット 全機種
室外 シリパラ Ｉ／Ｏ ユニット ＡＣＣ－ＸＳＰ４Ｕ１	●室内ユニット一斉ON/OFF、冷暖モード切替ができます。 ●中央制御盤などの接点入力で制御可能です。 ●１台で最多４台の室外ユニット(冷媒系統）の制御ができます。 ●デマンド制御の際には必ず必要です。	Ａ形以降の 室外全機種
ミニ シリパラ Ｉ／Ｏ ユニット ＡＣＣ－ＳＰ１Ａ	●ビル管理システムとの接続を簡単に行えるインターフェースで、室内ﾕﾆｯﾄ１ｸﾞﾙｰﾌﾟ制御、及び状態監視が可能。 (室内ｼﾘﾊﾟﾗI/Oﾕﾆｯﾄ(ACC-SP16TA)の室内ﾕﾆｯﾄ１ｸﾞﾙｰﾌﾟ対応版)	――
通信変換用 ローカルアダプター ＳＨＡ－ＫＬ１Ａ	●当社従来形の室内ユニットを新制御機器(Ａ形制御)に接続するための信号変換器です。また逆に新形の室内ユニットを従来形の制御機器に接続することもできます。	室内ユニット 全機種
ＯＮ／ＯＦＦ制御用 ローカルアダプター ＳＨＡ－ＫＬ４Ｕ	●接点信号でオン／オフできる機器やＪＥＭＡ標準ＨＡ端子を備えた機器をＵ形集中制御機器からオン／オフ制御や状態監視する場合に使用するアダプターです。	――
ロンワークス インターフェース ＳＨＡ－ＬＮ１６Ｕ	●設備用ネットワークのロンワークスと三洋製空調機器(ＰＡＣ・ＧＨＰ)の制御ネットワークを接続する通信インターフェースです。 ●ロンワークスインターフェース１台で、室内ユニット１６グループ(最多６４台)を制御可能です。(室内ユニットが１７グループ以上の時は、インターフェースを追加接続してください。) ●ロンワークスに接続される上位側のホストから、空調ユニットの基本的な設定/状態監視ができます。	室内ユニット 全機種
信号出力基板 ＡＣＣ－ＳＧ－Ａ	●各種信号(除霜，暖房，冷房(ドライ)、サーモＯＮ）を外部出力可能。 信号種別(２種)：有電圧仕様，無電圧仕様	室内ユニット 全機種
電磁弁出力基板 ＡＣＣ－３ＷＡＹ－Ａ	●ガス管弁キット，電磁弁キットに使用。	室内ユニット 全機種
室内機用リレー中継基板 ＡＣＣ－ＤＣ２４Ａ	入力：●発停については３方式の選択可能。 ●リモコン禁止信号(無電圧ｽﾀﾃｨｯｸ) 出力：●運転信号(無電圧Ａ接点) ●室内外警報信号(無電圧Ａ接点)	室内ユニット 全機種
リモートセンサー ＡＲＴ－Ｋ４５Ａ	●室内ユニットに使用可能なリモートセンサー。リモコンセンサー・ボディセンサーを使用しない場合の室内の温度検知にご使用ください。 （リモコンレスシステムに対応できます。） ●リモコンスイッチを併用する場合には、リモコンスイッチを親リモコンとしてご使用ください。 マンセル記号　(2.5GY　9.0/0.5)	室内ユニット 全機種
リモートセンサー ＡＲＴ－Ｋ４３Ｋ	●天井埋込形・ビルトインオールダクト形で、加湿器等によりボディセンサーでの温度検知に支障が考えられる場合等の延長用別付けセンサーです。	ﾋﾞﾙﾄｲﾝ ｵｰﾙﾀﾞｸﾄ形
ＨＡ ＪＥＭ-Ａ規格対応 コネクター	●サービスパーツ扱い　有償/特注 ●室内ユニットをＨＡ規格で制御する際に、室内ユニットコントロール基板(Ｔ１０端子)からＨＡ端子へ変換するためのコネクターです。	――

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B…別売品　機能と操作

●外形寸法図



お願い）配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
　　　または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

●名称と機能

各部のなまえとはたらき

リモコン(別売品)
（RCS-SH80B）

●このリモコン１台で、室内ユニットを最多８台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
●SPW-SA(M)XRP,BDXRP,BUXRP,BMXRP,UXRP,TKXRP,FXRP,FMXRP シリーズは表示部にフラップ位置が表示されません。

●手元電源スイッチを最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→ 運転／停止

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。（☞ 9ページ）

省エネボタン
運転中にボタンを押すとリモコンの表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。（☞ 20ページ）

フィルターリセットボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。"フィルター"が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

フィルター昇降ボタン
別売の昇降グリルを接続したときに使用します。（☞ 10ページ）

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

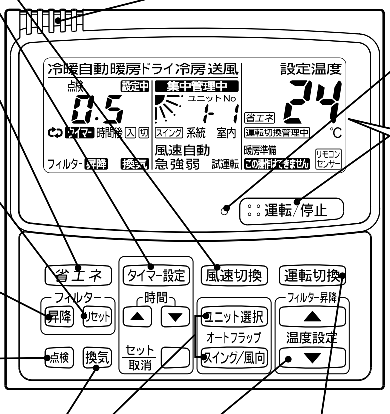
換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に この機能はできません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

オートフラップボタン
ユニット選択　１台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルを操作時にユニットを選択します。
スイング/風向　自動スイングやフラップの角度を設定します。
※SPW-SXRP,SSXRP,SLXRP,TXRP,KXRP シリーズのみ

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
（グループ制御時は設定しないでください。）

運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転／停止ボタン



運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン
▲　設定温度を１℃ずつ上げます。
▼　設定温度を１℃ずつ下げます。
※また、別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続し、操作するとき使用します。（☞10ページ）

操作部　《上の図はふたを開けた状態を示しています。》

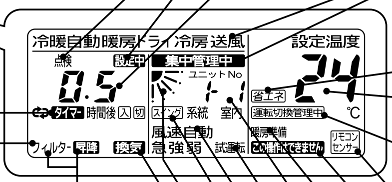
保護装置動作時および異常時に表示します。

タイマー設定中を表わす表示です。

タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

運転の状態を表示します。

遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。



省エネ運転中に点灯します。

設定温度を表示します。

運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯しているときは、運転モードの暖房、冷房の切り換えを禁止します。

リモコンセンサー使用時に表示します。

ボタンを押しても操作ができないときに表示します。

表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。

試運転中に表示します。

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

フラップの上下動作中に表示します。

フラップの位置を表示します。

別売の昇降グリルを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

フィルターの掃除時期をお知らせします。

タイマー設定ボタンを押すと、切タイマー➡ ⇄ 切 くり返し切タイマー➡ 入 入タイマー➡表示なしの順に切り換わります。

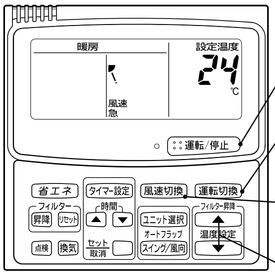
表示部　《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B…別売品　機能と操作

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

《表示部の表示は4方向天井カセット形（SPW-SXRPシリーズ）を示します。》



電源	**手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。**
1	**［運転／停止］を押します。**
2	**［運転切換］を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。（ドライ運転（☞20ページ）**
3	**［風速切換］を押して、お好みの風速にします。** 自動にすると、風速は自動的に切り換わります。 （送風時は自動になりません。）
4	**温度設定［▲］［▼］を押して、お好みの温度にします。**（下表） ※送風時は温度設定ができません。
停止	**［運転／停止］を押します。** リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転するときがあります。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖　　房	30	16
ドライ・冷房	30	18

- 機種によって、運転開始から設定風速に到達するまでに、約10秒かかることがありますが、故障ではありません。
- 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
- 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温のめやすとしてください。

冷暖自動について

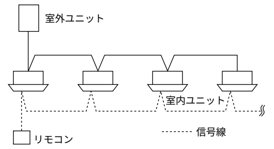
設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっているときに行えます。

- **通常の方法で停止できないとき**
  手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- １台のリモコンで室内ユニット最多８台まで操作できます。
- 風向調節、フィルター昇降を除く設定はすべての室内ユニットが同じ設定となります。
  （☞10、11ページ）
- 温度センサーは室内ユニット側を使用します。



運転のしかた

タイマー運転のしかた

●運転中にタイマー設定を行ってください。

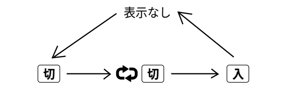
こんなときにお使いください		表示部
設定した時間にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	⇄ 切
設定した時間にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

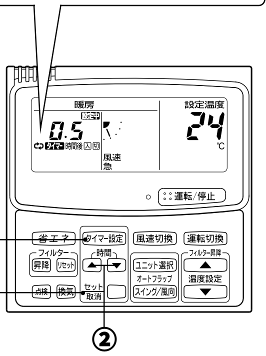
タイマー時間について

［▲］を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。上限は72.0時間です。
［▼］を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

［タイマー設定］を押すごとに次のように切り換わります。





〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

①	［タイマー設定］を１回押すとリモコンに［切］が表示されます。 **設定中** と時間が点滅します。
②	時間の［▲］［▼］を押して時間を0.5に合わせます。
③	［セット／取消］を押します。 **設定中** が消えて時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

①	［タイマー設定］を２回押すとリモコンに ⇄ と［切］が表示されます。 **設定中** と時間が点滅します。
②	時間の［▲］［▼］を押して時間を2.5に合わせます。
③	［セット／取消］を押します。 **設定中** が消えて時間が点灯します。 切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、［運転／停止］を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

（例）8時間後に運転をさせたいとき

①	［タイマー設定］を３回押すとリモコンに［入］が表示されます。 **設定中** と時間が点滅します。
②	時間の［▲］［▼］を押して時間を8.0に合わせます。
③	［セット／取消］を押します。 **設定中** と運転表示が消えて時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

［セット／取消］をもう一度押します。タイマー表示が消えます。

昇降グリルの操作方法

（別売の昇降グリルを接続してある場合）

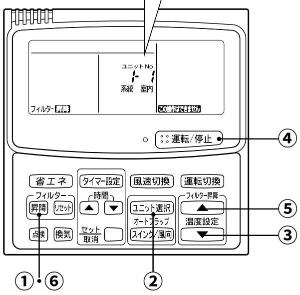
- **昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。**
- **昇降グリルについての詳しい説明は、昇降グリルに付属されている取扱説明書をご覧ください。**

①	**［フィルター昇降］を4秒以上押すとリモコンに“フィルター 昇降 ”が点滅します。（室内ユニットの運転は停止します。）** **※ この操作はできません が表示されたとき、昇降グリルは接続されていません。**
②	**1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合（グループ制御）、リモコンに“ユニットNo”が表示されますので、［ユニット選択］を押して、操作する室内ユニットを選択してください。（詳細は下図を参照してください。）**

ユニット選択について

［ユニット選択］を押すごとに次のように切り換わります。
（例）室外ユニット1台に室内ユニット4台接続
※ユニット』は室外ユニット－室内ユニットを示します。

ユニットNo 1－1 → ユニットNo 1－2 → ユニットNo 1－3 → ユニットNo 1－4 → ユニットNo ALL（一斉） → ユニットNo 1－1



下降させるとき

③	**フィルター昇降（温度設定）［▼］を押してください。** 昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

④	**［運転／停止］を押してください。** 昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、自動的に停止します。 ※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。 ※昇降グリルの高さは変更することができます。変更したい場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

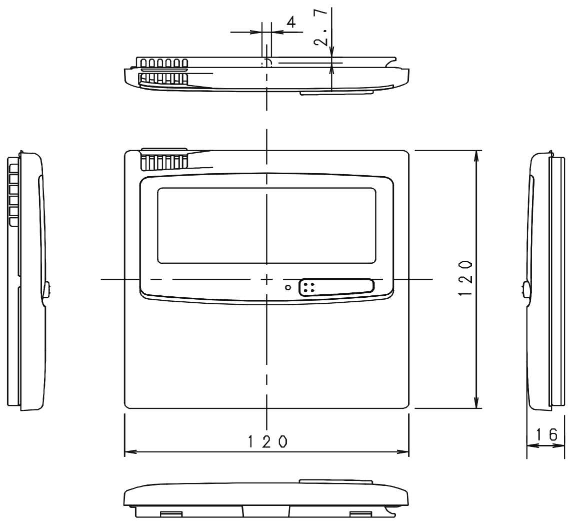
上昇させるとき

⑤	**フィルター昇降（温度設定）［▲］を押してください。** 昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。 ※モーターが停止したことを確認してください。

⑥	**［フィルター昇降］を4秒以上押すとリモコンの表示が消えます。** **※昇降グリルが動作中に［フィルター昇降］を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、①に戻ってください。**

ワイヤードリモコン／RCS-SH80A…別売品　機能と操作

●外形寸法図



お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
　　　　　または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

●名称と機能

●このリモコン１台で、室内ユニットを最大８台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
●SPW-SARP,BDRP,BURP,TKRPシリーズは表示部にフラップ位置が表示されません。

●手元電源スイッチを最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。

フィルター昇降ボタン
別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続したときに使用します。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に この機能はありません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

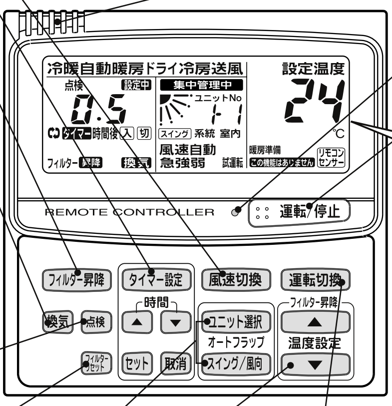
フィルターリセットボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。“ フィルター ”が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

オートフラップボタン
ユニット選択　１台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルを操作時にユニットを選択します。
スイング/風向　自動スイングやフラップの角度を設定します。
※SPW-SRP,SSRP,SLRP,TRPシリーズのみ

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
（グループ制御時は設定しないでください。）

運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

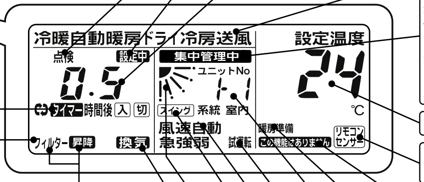
運転／停止ボタン



運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン
▲　設定温度を１℃ずつ上げます。
▼　設定温度を１℃ずつ下げます。
※また、別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続し、操作するとき使用します。

操作部　《上の図はふたを開けた状態を示しています。》



保護装置動作時および異常時に表示します。

タイマー設定中を表わす表示です。

タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

運転の状態を表示します。

遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。

設定温度を表示します。

リモコンセンサー使用時に表示します。

ボタンを押しても機能がないときに表示します。

表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。

試運転中に表示します。

風速　自動、風速　急、風速　強、風速　弱のいずれかを表示します。

フラップの上下動作中に表示します。

フラップの位置を表示します。

別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

フィルターの掃除時期をお知らせします。

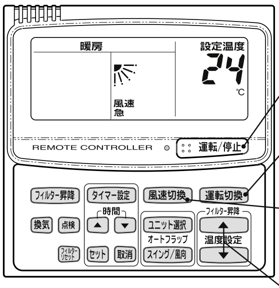
タイマー設定ボタンを押すと、切 切タイマー ➡ 🔁 切 くり返し切タイマー ➡ 入 入タイマー ➡ 表示なしの順に切り換わります。

表示部　《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

ワイヤードリモコン／RCS-SH80A…別売品　機能と操作

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

《表示部の表示は4方向天井カセット形（SPW-SRPシリーズ）を示します。》



電源	**手元電源スイッチを入れてください。** （インバータ機：運転開始12時間前 定　速　機：運転開始5時間前）
1	**［運転／停止］を押します。**
2	**［運転切換］を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。**
3	**［風速切換］を押して、お好みの風速にします。** 自動にすると、風速は自動的に切り換わります。 （送風時は自動になりません。）
4	**温度設定［▲］［▼］を押して、お好みの温度にします。** ※送風時は温度設定ができません。
停止	**［運転／停止］を押します。** リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転するときがあります。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖　房	30	16
ドライ・冷房	30	18

- **通常の方法で停止できないとき**
  手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

- 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
- 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目やすとしてください。

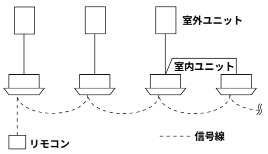
冷暖自動について

設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- 1台のリモコンで室内ユニット最大８台まで操作できます。
- 風向、フィルター昇降を除く設定はすべての室内ユニットが同じ設定となります。
- 温度センサーは室内ユニット側をご使用ください。



タイマー運転のしかた

● **運転中にタイマー設定を行ってください。**

こんなときにお使いください		表示部
設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	⇄切
設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

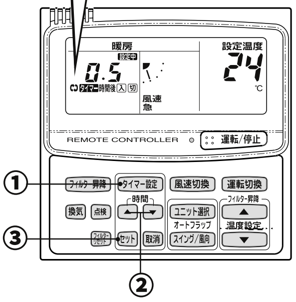
タイマー時間について

［▲］を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつふやします。上限は72.0時間です。
［▼］を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

［タイマー設定］を押すごとに次のように切り換わります。

切 ──→ ⇄切 ──→ 入 ──→ 表示なし ──→ 切



〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

①	**［タイマー設定］を１回押すとリモコンに［切］が表示されます。** **［設定中］と時間が点滅します。**
②	**時間の［ ］［ ］を押して時間を0.5に合わせます。**
③	**［セット］を押します。** **［設定中］が消えて時間が点灯します。**

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

①	**［タイマー設定］を２回押すとリモコンに⇄と［切］が表示されます。** **［設定中］と時間が点滅します。**
②	**時間の［▲］［▼］を押して時間を2.5に合わせます。**
③	**［セット］を押します。** **［設定中］が消えて時間が点灯します。** **切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、［運転／停止］を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。**

入タイマー運転のしかた

（例）8時間後に運転をさせたいとき

①	**［タイマー設定］を３回押すとリモコンに［入］が表示されます。** **［設定中］と時間が点滅します。**
②	**時間の［▲］［▼］を押して時間を8.0に合わせます。**
③	**［セット］を押します。** **［設定中］と運転表示が消えて時間が点灯します。**

タイマー運転中止のしかた

［取消］を押します。タイマー表示が消えます。

（別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付き天井パネルを接続してある場合）

昇降グリルの操作方法

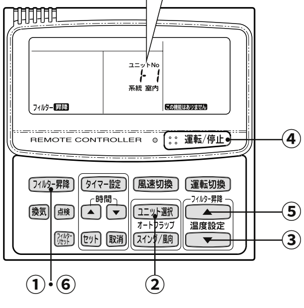
- **昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。**
- **昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルについての詳しい説明は、昇降グリル付天井パネルに付属されている取扱説明書をご覧ください。**

①	**［フィルター昇降］を4秒以上押すとリモコンに“フィルター［昇降］”が点滅します。** **（室内ユニットの運転は停止します。）** **※［この機能はありません］が表示されたとき、昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルは接続されていません。**
②	**1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合（グループ制御）、リモコンに“ユニットNo”が表示されますので、［ユニット選択］を押して、操作する室内ユニットを選択してください。** **（詳細は下図を参照してください。）**

ユニット選択について

［ユニット選択］を押すごとに次のように切り換わります。
（例）室外ユニット1台に室内ユニット4台接続
※ユニット』は室外ユニットー室内ユニットを示します。

ユニット No 1－1 → ユニット No 1－2 → ユニット No 1－3 → ユニット No 1－4 → ユニット No ALL（一斉） → ユニット No 1－1



下降させるとき

③	**フィルター昇降（温度設定）［▼］を押してください。** 昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。 障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

④	**［運転／停止］を押してください。** 昇降グリルの下降、上昇が停止します。 停止を押さないで下げていくと、約2m下降したところで停止します。 ※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

上昇させるとき

⑤	**フィルター昇降（温度設定）［▲］を押してください。** 昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。 ※モーターが停止したことを確認してください。
⑥	**［フィルター昇降］を4秒以上押すとリモコンの表示が消えます。** **※昇降グリルが動作中に［フィルター昇降］を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、!に戻ってください。**

簡単設定機能

◎簡単設定操作をするリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットのフィルター寿命、運転モード優先切換、集中制御アドレス等の設定を行います。
簡単設定モードを行うと、簡単設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。

〈操作手順〉

① 点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押しつづけます 。

②リモコンの液晶表示部に、設定中 とユニットNo.X-X（グループ制御の場合はALLを表示）、項目コード01、設定データ00XXが点滅表示されます。(図－4）この時、室内ユニットのファン（グループ制御の場合は全ての室内ユニット)が回転します。

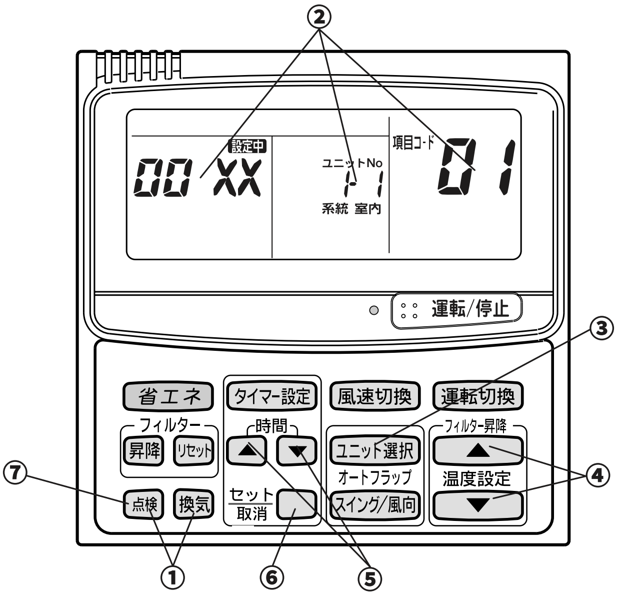
③グループ制御を行っている場合は、ユニット選択 ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス（ユニットNo.)を選択します。この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
※ユニットNo.ALLの場合は全ての室内ユニットに同一の設定を行います。

④温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換えます。

⑤タイマー時間 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、希望する設定データに切り換えます。
※項目コード、設定データは次ページ参照

⑥ セット／取消 ボタンを押す。（点滅表示が点灯に変わって設定完了）（SH80Aは セット ボタン）

⑦ 点検 ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



（図－4）

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　簡単設定機能

簡単設定項目一覧

項目コード	項　目	設定データ 番号	内容	
01	フィルターサイン点灯時間（フィルター寿命）	0000	表示なし	
		0001	150時間	
		0002	2,500時間	
		0003	5,000時間	
		0004	10,000時間	
		0005	目詰まりセンサーを使用	
02	フィルター汚れ程度	0000	標準	
		0001	汚れが多い場合（フィルターサインの点灯時間を設定値の1／2にします）	
03	集中制御アドレス	0001	集中制御アドレス1	
		0002	集中制御アドレス2	
		0003	集中制御アドレス3	
		～	～	
		0064	集中制御アドレス64	
		0099	集中制御アドレス未定	
04	運転モード優先切換	0000	通常	
		0001	優先	
05	暖房サーモOFF時風速		圧縮機ON時	圧縮機OFF時
		0000	弱風1分、微風3分	微風
		0001	弱風	微風
		0002	微風	微風
		0004	弱風1分、微風3分	弱風
		0005	弱風	弱風
		0006	微風	弱風
06	暖房時吸込温度シフト	0000	シフト無し	
		0001	吸込温度1deg低くシフト	
		0002	吸込温度2deg低くシフト	
		0003	吸込温度3deg低くシフト	
		0004	吸込温度4deg低くシフト	
		0005	吸込温度5deg低くシフト	
		0006	吸込温度6deg低くシフト	
07	電気ヒーター取付有無の切換	0000	ヒーター無	
		0001	ヒーター有	
08	暖房サーモOFF時加湿	0000	なし	
		0001	あり	
0A	リモコンセンサー用サーモディファレンシャル変更	0000	サーモOFF差温－1.0deg（出荷時設定）	
		0001	サーモOFF差温－0.5deg	
0E	モード従属	0000	通常	
		0001	親室内ユニットの運転モードに従う	
0F	冷専	0000	通常	
		0001	冷専(項目コード0D「1」に設定してください)	

〔ご注意〕・サーモ OFF 時の加湿は気化式加湿器以外は設定しないでください。水漏れや送風機故障の原因になります。
・設定変更する際には、機器の用途や形式を考慮してください。誤った設定は不都合が生じることがあります。
・この一覧に記載されていない設定データに変更しないでください。
・10 馬力四方向天井カセットは、２個の室内ユニットアドレスを持っています。設定はその両方に行ってください。

詳細設定機能

◎詳細設定操作をするリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットの系統アドレス、室内ユニットアドレス等の設定を行います。
詳細設定モードを行うと、詳細設定操作を行っているリモコンの接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットが停止します。 簡単設定の項目も設定できます。

〈操作手順〉

① **点検** ＋ **換気** ＋ **セット／取消** ボタンを同時に4秒以上押しつづけます。
（SH80Aは **点検** ＋ **セット** ＋ **取消** ボタン）

②リモコンの液晶表示部に、**設定中** とユニットNo. X-X 、項目コード 10、設定データ00 XXが点滅表示されます。(図－5)

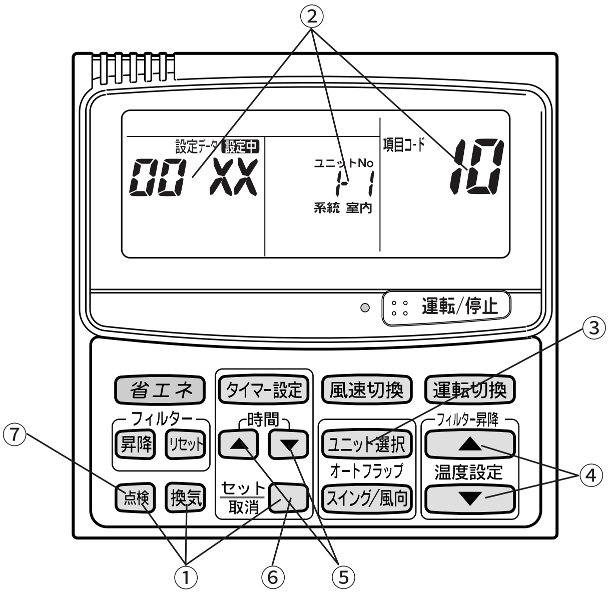
③グループ制御を行っている場合は、**ユニット選択** ボタンを押して設定しようとする室内ユニットのアドレス（ユニットNo.)を選択します。この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。

④温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換えます。

⑤タイマー時間 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、希望する設定データに切り換えます。
※項目コード、設定データは次ページ参照

⑥ **セット／取消** ボタンを押す。(点滅表示が点灯に変わって設定完了）（SH80Aは **セット** ボタン）

⑦ **点検** ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



（図－5）

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

詳細設定項目一覧

項目コード	項　　目	設　定　デ　ー　タ					
		番　号	内　　容	番　号	内　　容	番　号	内　　容
10	形式	0000	1方向天井カセット形	0001	4方向天井カセット形	0002	2方向天井カセット形
		0003	高天井1方向カセット形	0004	天井ビルトインカセット形	0005	ビルトインオールダクト形
		0006	天井埋込形	0007	天井吊形	0008	壁掛形
		0009	天吊形厨房用エアコン	0010	ペリメータ用床置形	0011	ペリメータ用床埋込形
		0014	壁ビルトイン形	0015	床吹出しパッケージ	0016	直膨コイル付外気処理ユニット
		0017	ハイフレッシュ	0028	床置形（ダクト）	0034	床置形（プレナム）
11	室内ユニット能力	0001	22	0003	28	0005	36
		0007	45	0009	56	0011	71
		0012	80	0013	90	0015	112
		0017	140	0018	160	0021	224
		0023	280				
12	系統アドレス	0001	1号機				
		0002	2号機				
		0003	3号機				
		〜	〜				
		0030	30号機				
		0099	未定				
13	室内ユニットアドレス	0001	1号機				
		0002	2号機				
		0003	3号機				
		〜	〜				
		0064	64号機				
		0099	未定				
14	グループ制御アドレス	0000	個別（１対１：グループ配線をしていない室内ユニット）				
		0001	親機（グループ制御をしている室内ユニットの内一台）				
		0002	子機（グループ制御をしている室内ユニットの内親機以外）				
		0099	未定				
17	冷房吸込み温度シフト	－010	吸込み温度を－10℃シフトします				
		－009	吸込み温度を－9℃シフトします				
		〜	〜				
		－001	吸込み温度を－1℃シフトします				
		0000	吸込み温度シフト無し				
		0001	吸込み温度を1℃シフトします				
		〜	〜				
		0009	吸込み温度を9℃シフトします				
		0010	吸込み温度を10℃シフトします				
18	運転開始からの自動停止時間 ※5分単位で設定可能	0000	機能無効				
		0001	運転開始から5分後に自動停止				
		0002	運転開始から10分後に自動停止				
		〜	〜				
		0123	運転開始から615分後に自動停止				
		0124	運転開始から620分後に自動停止				
		0125	運転開始から625分後に自動停止				

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

項目コード	項目		設定データ 番号	設定データ 内容
1b(1B)	強制サーモON時間		0000	5分
			0001	4分
1C	冷房吹出温度シフト		−010	−10℃
			−009	−9℃
			−008	−8℃
			～	～
			0010	10℃
1d	暖房吹出温度シフト		−010	−10℃
			−009	−9℃
			−008	−8℃
			～	～
			0010	10℃
1E	「冷暖自動」モード時の冷暖切換温度シフト		0001	±1℃
			0002	±2℃
			0003	±3℃
			～	～
			0007	±7℃
1F（上限値） 20（下限値）	リモコン設定温度範囲の変更	冷房	0018	18℃
			0019	19℃
			～	～
			0029	29℃
			0030	30℃
21（上限値） 22（下限値）		暖房	0016	16℃
			0017	17℃
			～	～
			0029	29℃
			0030	30℃
23（上限値） 24（下限値）		ドライ	0018	18℃
			0019	19℃
			～	～
			0029	29℃
			0030	30℃
25（上限値） 26（下限値）		冷暖自動	0017	17℃
			0018	18℃
			～	～
			0026	26℃
			0027	27℃
29	加湿器運転		0000	通常
			0001	熱交換器温度条件無視
2A	FILTER(CN70)入力切替		0000	フィルター入力（差圧スイッチ入力）
			0001	警報入力（空気清浄機等の異常入力用）
			0002	加湿器入力（加湿器ON時にドレンポンプと連動します。）
2C	室内電子制御弁		0000	有
			0002	無
2E	T10端子切換		0000	通常(別売のリレー中継基板またはJEMA標準HA端子として使用)
			0001	切り忘れ防止用として使用
			0002	火災防止入力

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

項目コード	項目	設定データ 番号	設定データ 内容
2F	ドレンポンプ自動運転	0000	強制運転しない
		0001	１分間強制運転
		～	～
		0060	連続運転
30	さがぁるグリル操作	0000	無
		0001	リモコンからさがぁるグリル操作
31	換気扇操作	0000	無
		0001	リモコンから換気扇操作
32	ワイヤードリモコンセンサー	0000	使用せず(ボディーセンサー使用)
		0001	リモコンセンサー使用
34	「運転切換管理中」表示	0000	通常(表示あり)
		0001	表示せず
35	ウィークリータイマー使用時の切り忘れ機能	0000	無
		0001	停止時刻の設定のみ有効
3C	冷風吹出し熱交温度（冷風防止制御の熱交温度制御点）	0013	制御温度13℃
		0014	制御温度14℃
		～	～
		0025	制御温度25℃
		0026	制御温度26℃
3d	送風出力切替	0000	ファン連動出力（室内ファン動作中にON）
		0001	送風モード運転出力
3E	ドレンポンプ遅延運転時間	0000	遅延運転なし
		0001	1秒遅延運転
		0002	2秒遅延運転
		～	～
		0058	58秒遅延運転
		0059	59秒遅延運転
		0060	60秒遅延運転
40	加湿器設定	0000	加湿器出力OFF/ドレンポンプ停止
		0001	加湿器出力ON/ドレンポンプ運転
		0002	加湿器出力ON/加湿器運転積算時間が60分でドレンポンプを1分間運転
		0003	加湿器出力ON/ドレンポンプ停止
45	フラップ動作モード	0000	標準設定
		0001	ドラフト軽減モード（フラップの下限位置を上方に変更）
46	フラップスイングモード	0000	スマッジング軽減モード（フラップスイングの上限位置を下方に変更）
		0001	通常モード
		0002	ドラフト軽減モード（フラップスイングの下限位置を上方に変更）

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

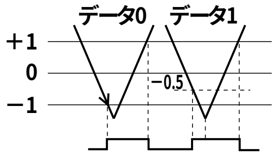
項目コード	項　　目	設定データ 番号	内容 DCファンタップ運転モード	使用用途
5d	ファンタップ設定（フィルター等の取付による風量低下防止の為のファンタップ変更）		DCファンタップ運転モード	使用用途
		0000	標準	標準
		0001	高天井対応	高天井設定1（標準パネル時）
			低静圧フィルター用	超ロングライフフィルター、オイルガードパネル、アンモニア脱臭フィルター、光再生脱臭フィルター、昇降グリル付オイルガードパネル
		0003	高天井対応	高天井設定2（標準パネル時）高所専用昇降グリル
			低静圧フィルター用	（抗菌）高性能フィルター（90%）、（抗菌）高性能フィルター（65%）、空気清浄ユニット、空気清浄ユニット＋光再生脱臭フィルター、デオドラント（活性炭）フィルター
			しゃ風材用	3方向吹出時、吐出ダクト接続時
		0006	しゃ風材用	2方向吹出時
5E	加湿器ON時間（60秒毎のON時間）	0000	加湿器出力なし	
		0001	1秒間	
		0002	2秒間	
		〜	〜	
		0058	58秒間	
		0059	59秒間	
		0060	連続	
5F	繰返しタイマー切換	0000	機能無効	
		0001	機能有効	
60	タイマー機能変更禁止	0000	機能無効	
		0001	機能有効	
62	スマッジング制御	0000	スマッジング制御なし	
73	ボタン操作の禁止設定	0000	省エネ禁止（省エネボタンを押してもリモコン画面に「この操作はできません」と表示されます。）	
		0001	省エネ許可	
74	省エネ表示の消灯	0000	省エネの表示なし（リモコンに「省エネ」表示しません。）	
		0001	省エネの表示あり	
75	※省エネ固定の設定	0000	省エネモード固定なし	
		0001	省エネ運転するに固定	
		0002	省エネ運転なしに固定	

※同一冷媒系統の省エネ運転（または通常運転）を固定したい場合に設定してください。
同一冷媒系統の最も若い室内ユニットに設定します。

■優先リモコンの設定
省エネボタン操作に優先権をもたせたい場合
操作を優先したいリモコンのみ「省エネ」許可にして、それ以外のリモコンを「省エネ」禁止に変更します。

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

・簡単設定項目

項目コード	項　　目	内　　容
０１	フィルターサイン点灯時間の設定（フィルター寿命）	高性能フィルター等の別売品をつけた時、室内ユニットのフィルター寿命時間の変更をします。
０２	フィルター汚れ程度	フィルターの汚れが通常に比較して、はげしい場合は、フィルターサインの点灯時間を標準時間（出荷時設定）の1/2に短縮する事ができます。
０Ａ	リモコンセンサー用サーモディファレンシャル変更（早くサーモONしたい時に変更します）	

・各機種のフィルターサイン点灯時間

形式データ	形　　式	フィルターサイン点灯時間										
		標　準		ロングライフ		超ロングライフ		高性能６５%		高性能９０%		差圧
		標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	標準	汚大	スイッチ
0000	1方向天カセ	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0001	4方向天カセ	×	×	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	**2500**	**1250**	×	×	×
0002	2方向天カセ	×	×	**2500**	**1250**	**1万**	**5000**	**2500**	**1250**	**2500**	**1250**	×
0003	高天井1方向	×	×	**2500**	**1250**	×	×	×	×	×	×	×
0004	ビルトインカセット	×	×	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	×
0005	ビルトインダクト	×	×	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	×
0006	天井埋込高静圧	×	×	**2500**	**1250**	×	×	**2500**	**1250**	**5000**	**2500**	×
	天井埋込 8,10 馬力	×	×	**2500**	**1250**	×	×	**2500**	**1250**	**2500**	**1250**	×
0007	天井吊	×	×	**2500**	**1250**	×	×	**2500**	**1250**	×	×	×
0008	壁掛	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0009	厨房用	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0010	ペリメータ床置	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0011	ペリメータ床埋込	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0012	4方向天カセ 10 馬力	×	×	**2500**	**1250**	×	×	×	×	×	×	×
0013	床置（エスパ）	**150**	**75**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
0014	壁ビルトイン	×	×	**2500**	**1250**	×	×	×	×	×	×	×
0015	床吹出し	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
0016	直膨コイル外気処理	×	×	×	×	×	×	**2500**	**1250**	×	×	×
0017	ハイフレッシュ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
0028	床置形ダクト	**150**	**75**	**2500**	**1250**	×	×	**2500**	**1250**	**2500**	**1250**	×
0034	床置形プレナム（３速）	**150**	**75**	**2500**	**1250**	×	×	**2500**	**1250**	**2500**	**1250**	×

・×は対応するフィルターが無いことを示します。
・ **150** は、出荷時のフィルターサイン点灯時間を示します。
・汚大：「フィルター汚れ程度」の機能（項目コード：02）で、0001 を選択した時に設定されます。

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

■ DCファンモータータップの選択（リモコンで設定する場合）

＜手順＞停止中に行なってください。

①点検＋換気＋セット／取消ボタンを同時に４秒間以上押します。（SH80Aは 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタン）

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定 ▼ ／ ▲ボタンで項目コード「５ｄ」 を指定します。

④タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。

⑤セット／取消ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）（SH80Aは セット ボタン）

※しゃ風材をご使用の場合は、③～⑤と同様の手順で、項目コード「６２」 の設定データを「００００」 に変更してください。

選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

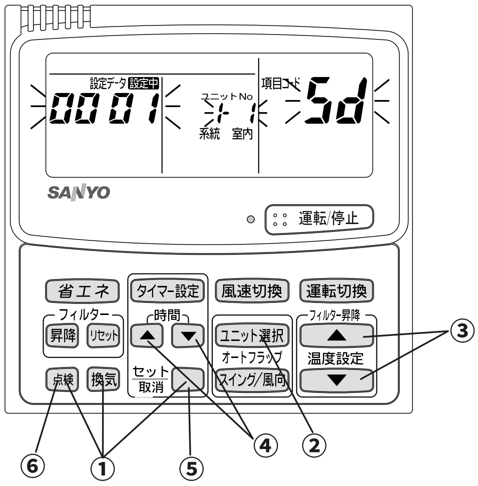


図２

※設定を行なわない場合、風量減少、露付の原因となります。

表１　DC ファンモータータップ設定表〈4方向天井カセット形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	高天井設定１（標準パネル時）
		超ロングライフフィルター
		オイルガードパネル
		昇降グリル付きオイルガードパネル
		アンモニア脱臭フィルター
		光再生脱臭フィルター
（3）	0003	高天井設定２（標準パネル時）
		高所専用昇降グリル付き天井パネル
		高性能フィルター（JIS 比色法 90%）
		高性能フィルター（JIS 比色法 65%）
		空気清浄ユニット
		空気清浄ユニット用光再生脱臭フィルター
		デオドラントフィルター
		しゃ風材（３方向吹出時）
		しゃ風材（吐出ダクト接続時）
（6）	0006	しゃ風材（２方向吹出時）

表２　DC ファンモータータップ設定表〈天井吊形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	高天井設定
		超ロングライフフィルター
		アンモニア脱臭フィルター（JIS 比色法 65%）
		光再生脱臭フィルター
（3）	0003	高性能フィルター（JIS 比色法 65%）
		デオドラントフィルター（JIS 比色法 65%）

表３　DC ファンモータータップ設定表〈高天井形〉

設定 No	リモコンの設定データ	仕様用途
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	高天井設定
（3）	0003	（別売品）　吹出口グリル取り付け時 ２方向下がり天井方式

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

■ DCファンモータータップの選択（基板から設定する場合）

●4方向カセット形

＜手順＞停止中に行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図３）

②表１の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の短絡コネクタ（２ P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定 No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP1（２P：赤色）に接続してください。

設定 No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP３（２P：黄色）に接続してください。

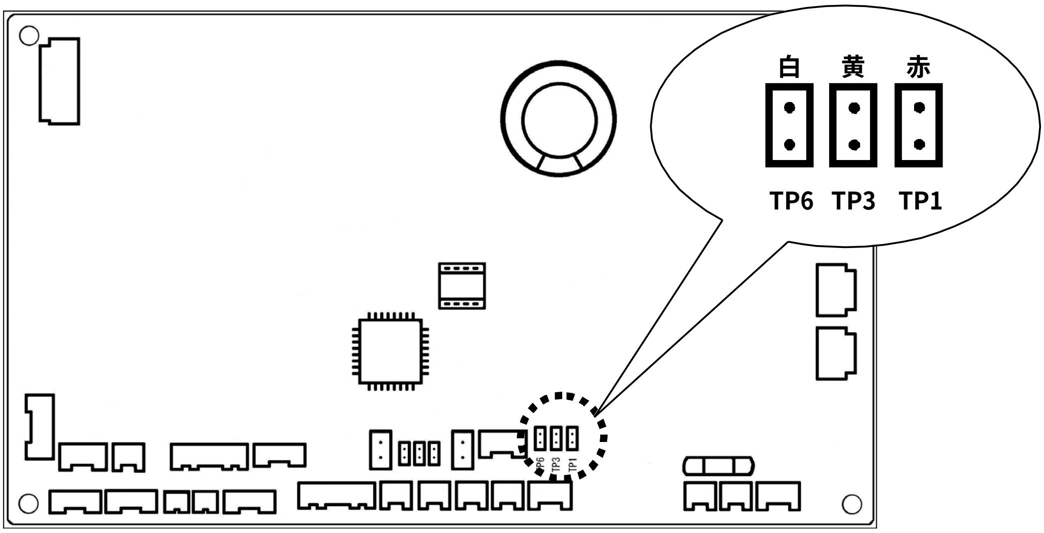


図３　室内コントロール基板

●天井吊形

＜手順＞停止中に行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図３）

②表１の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の短絡コネクタ（２ P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定 No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP1（２P：赤色）に接続してください。

設定 No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP３（２P：黄色）に接続してください。

●高天井1方向天井カセット形

＜手順＞以下の作業は必ず元電源をおとした状態で行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図３）

②表１の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、天井パネルに付属の短絡コネクタ（２P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

高天井設定でご使用になる場合

短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP1（２P：赤色）に接続してください。

（別売品）　吹出口グリル取り付け（２方向下がり天井方式）でご使用になる場合

短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP３（２P：黄色）に接続してください。

●１方向カセット形

＜手順＞停止中に行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図３）

②表４の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の短絡コネクタ（２ P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定 No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP1（２P：赤色）に接続してください。

設定 No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の短絡ピン TP３（２P：黄色）に接続してください。

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

■ 昇降グリルをワイヤードリモコンから操作するための設定方法

ワイヤードリモコンのフィルター昇降ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないとフィルター昇降ボタンを押しても“この操作はできません”が表示されます。

①点検＋換気＋セット／取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
（SH80Aは 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタン）

※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニット No はグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですのでユニット選択ボタンを押さないでください。

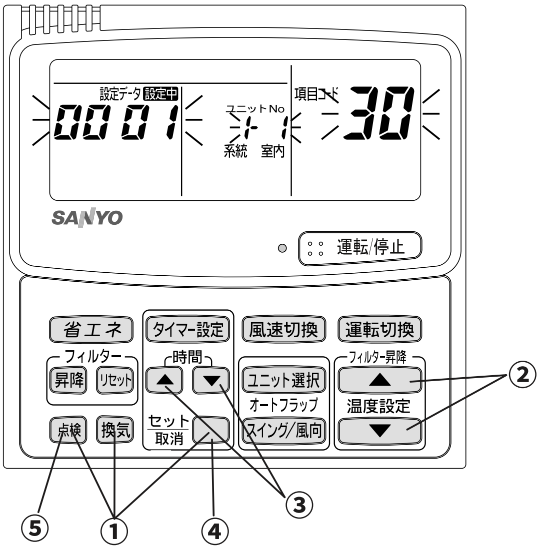


図２

②温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで項目コード「３０」を指定します。

③タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。

④セット／取消ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）（SH80Aは セット ボタン）

⑤点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。フィルター昇降ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター昇降”と表示されることを確認してください。再度フィルター昇降ボタンを押すと通常の停止状態に戻ります。

■ ワイヤレスリモコンの中温用設定（中温用室内ユニットで使用する場合）

使用するエアコンが中温用（L, M）の場合、冷房設定温度が通常と異なりますので、下記の方法で冷房設定温度範囲を変更してください。

〈中温用室内ユニット冷房設定範囲〉　・中温用Ｌ仕様　12～24℃
・中温用Ｍ仕様　15～27℃

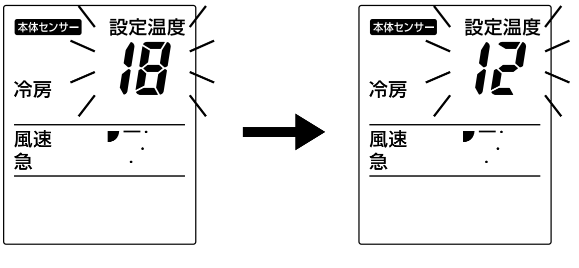
●設定手順

1.冷房18℃に設定します。

2.温度設定「▼」ボタンを4秒以上押しつづけると、「設定温度」と「18」が点滅します。

3.温度設定「▲」／「▼」ボタンで中温用L仕様の場合は「12」にM仕様の場合は「15」を選択します。

4.セット／取消 ボタンを押すことで確定し、その時に表示されている温度から＋12℃の範囲で冷房運転が可能になります。（SH80Aは セット ボタン）



※ご注意　電池を交換すると、冷房設定範囲は18～30℃に戻ります。
お手数ですが、再度上記設定をやりなおしてください。

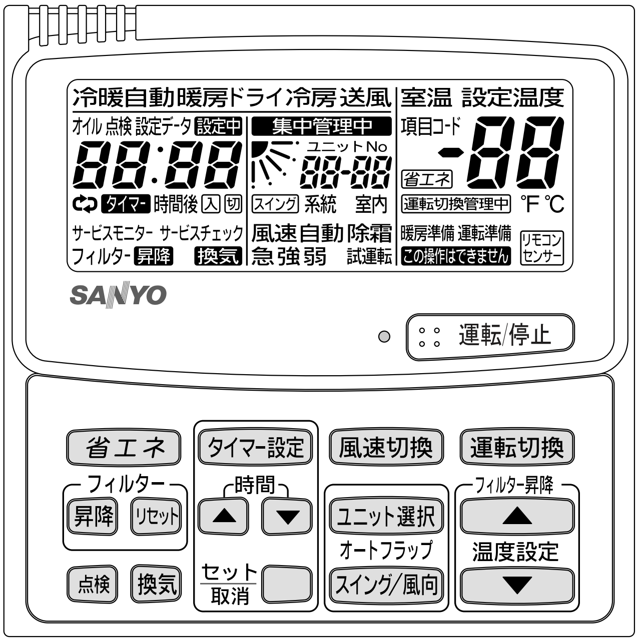
ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　詳細設定機能

■ リモコンのサービス機能について

●リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

サービス機能一覧表

機　　能	機　能　概　略	ボ　タ　ン　操　作		復帰操作	ユニットの状態
		RCS-SH80B	RCS-SH80A		
試運転	強制サーモONで運転	[点検] ボタンを4秒以上押す		[点検] ボタンを押す	運転状態を維持
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	[点検] ＋ [セット／取消] ボタンを同時に4秒以上押す	[点検] ＋ [取消] ボタンを同時に4秒以上押す		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	[点検] ＋ [タイマー設定] ボタンを同時に4秒以上押す（履歴の削除は [セット／取消] ）	[点検] ＋ [セット] ボタンを同時に4秒以上押す（履歴の削除は [取消] ）		
簡単設定	フィルター寿命、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	[点検] ＋ [換気] ボタンを同時に4秒以上押す			設定中のリモコンが接続されている室内ユニットが停止
詳細設定	系統アドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	[点検] ＋ [換気] ＋ [セット／取消] ボタンを同時に4秒以上押す	[点検]＋[セット]＋[取消] ボタンを同時に4秒以上押す		
自動アドレス	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス	[点検] ＋タイマー時間 [▲] ボタンを同時に4秒以上押す		自動復帰	全システムが停止
アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	[点検] ＋タイマー時間 [▼] ボタンを同時に4秒以上押す		[点検] ボタンを押す	

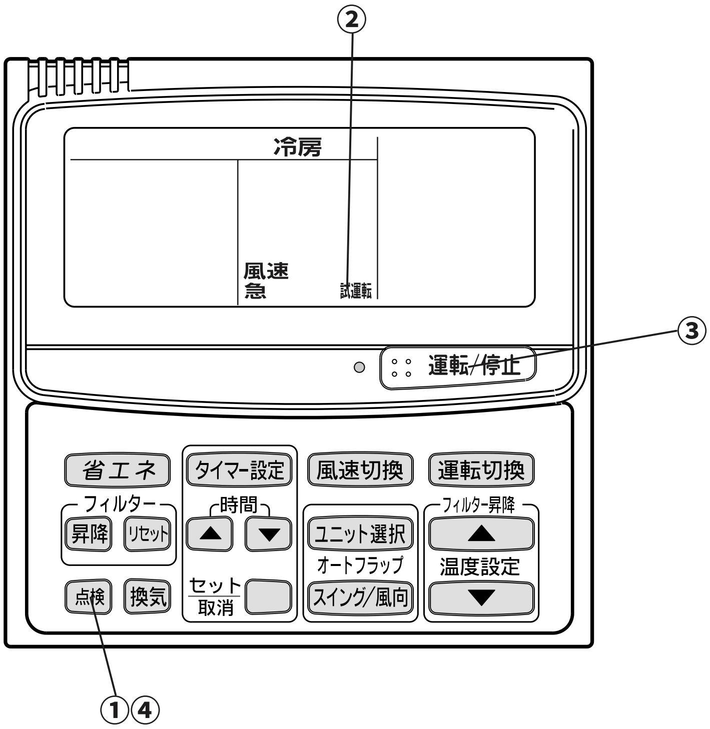


試運転機能

◎強制サーモON状態にて運転させます。

〈操作手順〉

① 点検 ボタンを4秒以上押し続けます。
②リモコンの液晶表示部に「試運転」が表示されます。（図－１）
③運転操作を行います。
④ 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



（図－1）

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　センサー温度表示機能

■センサー温度表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

◎下記の確認方法により、リモコン、室内ユニット、室外ユニットの各センサー温度をリモコンに表示します。

〈確認方法の手順〉

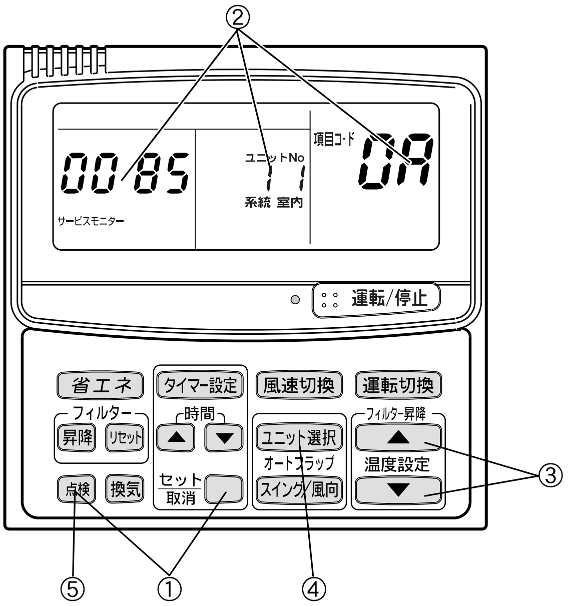
① 点検 ＋ セット／取消 ボタンを同時に4 秒以上押しつづ けます。（SH80Aは 点検 ＋ 取消 ボタン）

②リモコンの液晶表示部に、ユニット №.X －X（親機№.）、項目コードXX（センサーアドレス）、サービスモニター 00 XX（センサー温度）が表示されます。（右図参照）

③温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンを押して項目コードをモニターしたいセンサーアドレスに変更します。（センサーアドレスとセンサの種類の関連については下記のセンサー温度対照表を参照してください。）

④グループ制御の時は ユニ ット選択 ボタンを押してモニターしたいユニットに変更します。

⑤ 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



図：№1－1ユニットの吐出温度 85℃の場合の表示例

〈注意〉・ 接続されていないユニットの温度表示は、“ －－－－ ”となります。

※通常運転中に、モニターモードに切替った場合、液晶表示が変わるのは図に示す部分のみです。他の表示は通常運転中の表示のまま変わりません。

センサー温度対照表

室内ユニット側	
02	吸い込み温度
03	E1
04	E2
05	E3
06	吹き出し温度
07	吹き出し設定温度
08	室内ユニット電動弁開度

室外ユニット側				
1号機	2号機	3号機	4号機	
0A	2A	4A	6A	吐出温度1
0B	2B	4B	6B	吐出温度2
0C	2C	4C	6C	高圧センサー温度
0D	2D	4D	6D	熱交ガス1
0E	2E	4E	6E	熱交液1
0F	2F	4F	6F	熱交ガス2
10	30	50	70	熱交液2
11	31	51	71	外気温度
12	32	52	72	ー
13	33	53	73	検査用
14	34	54	74	CT2
15	35	55	75	検査用
16	36	56	76	検査用
17	37	57	77	吐出温度3
18	38	58	78	CT3
19	39	59	79	検査用
1A	3A	5A	7A	検査用
1B	3B	5B	7B	熱交ガス3
1C	3C	5C	7C	熱交液3
1D	3D	5D	7D	低圧センサー温度
1E	3E	5E	7E	レシーバー温度
1F	3F	5F	7F	オイル1
20	40	60	80	オイル2
21	41	61	81	オイル3
22	42	62	82	検査用

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　警報表示内容

1.リモコンスイッチの警報表示の内容

［○：点灯 ☼：点滅 ●：消灯］

検出内容			ワイヤードリモコン表示	ワイヤレスリモコン受信部表示
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが、室内ユニットからの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良 （グループ制御の場合は親機からの信号） 室外系統アドレス、室内ユニットアドレス、 室内ユニットの個別／親／子設定が未定 （自動アドレス未了）	〈E01〉	運転ランプの点滅 運転 ☼　タイマー ●　暖房準備 ●
		シリアル信号の送信不良	〈E02〉	
	室内ユニットがリモコンおよび集中制御機器からのシリアル信号の受信不良		《E03》	
	室内ユニットが室外ユニットからの信号の異常を検出	・シリアル信号の受信不良 ・電源ON時に接続台数と設定台数の不一致 （系統アドレスが「0」以外の場合） ・同一冷媒系統室内ユニットのグループ配線不良 （但し、自動アドレス直後のリモコン操作時）	E04	暖房準備ランプの点滅 運転 ●　タイマー ●　暖房準備 ☼
	室外ユニットが室内ユニットからの信号の異常を検出	・シリアル信号の受信不良 ・電源ON中に信号を送信しない 室内ユニットが発生	E06	
	設定不良	室内ユニットアドレスの重複	《E08》	運転ランプの点滅 運転 ☼　タイマー ●　暖房準備 ●
		リモコン親設定の重複	《E09》	
	設定不良	自動アドレス開始禁止 自動アドレス開始時にAPピンが短絡されている	E12	
	グループ制御配線の室内ユニット通信異常	室内親機が室内子機からのシリアル信号の受信不良	E18	
	・自動アドレス設定中に接続台数と設定台数の不一致	室内ユニット接続台数が設定台数より少ない	E15	暖房準備ランプの点滅 運転 ●　タイマー ●　暖房準備 ☼
		室内ユニット接続台数が設定台数より多い	E16	
		自動アドレス中室内ユニット無し	E20	
		室外親機が、室外他号機からのシリアル信号受信不良	E24	
		室外ユニットアドレスの重複	E25	
		室外台数不一致	E26	
		室外他号機が、室外親機からのシリアル信号受信不良	E29	
		室外ユニットシリアル送信不良	E30	
	設定不良	接続された室内ユニットがマルチ用ではない	《L02》	運転ランプと暖房準備ランプが同時に点滅 運転 ☼　タイマー ●　暖房準備 ☼
		グループ制御の室内ユニットの親機重複	〈L03〉	
		室内ユニット優先重複（優先室内ユニット用）	L05	
		室内ユニット優先重複（優先でない室内ユニット用）と室外ユニット	L06	
		個別制御の室内ユニットにグループ制御配線あり	L07	
		室内ユニットアドレス未設定	L08	
		室内ユニット能力未設定	《L09》	
		室外ユニットの機種不一致	L17	
		室外系統アドレスの設定重複	L04	運転ランプと暖房準備が同時に点滅 運転 ☼　タイマー ○　暖房準備 ☼
		室外ユニット能力未設定	L10	
サーミスター異常	室内ユニット	熱交温度センサー　E1	《F01》	運転ランプとタイマーランプが交互に点滅 運転 ☼　タイマー ☼　暖房準備 ●
		熱交温度センサー　E3	《F03》	
		吸込温度センサー	《F10》	
		吹出し温度センサー	《F11》	
	室外ユニット	圧縮機1（INV）吐出温度センサー	F04	運転ランプとタイマーランプが交互に点滅 運転 ☼　タイマー ☼　暖房準備 ○
		圧縮機2（定速）吐出温度センサー	F05	
		圧縮機3（定速）吐出温度センサー	F22	
		外気温度センサー	F08	
		室外熱交換器1液（出口）温度センサー	F07	
		室外熱交換器1ガス（入口）温度センサー	F06	
		圧縮機入口温度センサー　〈サクション温度〉	F12	
		高圧センサー　〈高圧センサー〉	F16	
		低圧センサー	F17	
		室外熱交換器2液温度センサー	F24	
		室外熱交換器2ガス温度センサー	F23	
		室外熱交換器3液温度センサー	F26	
		室外熱交換器3ガス温度センサー	F25	

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　警報表示内容

［○：点灯 ☼：点滅 ●：消灯］

検出内容			ワイヤードリモコン表示	ワイヤレスリモコン受信部表示
天井パネル接続不良			《 P09 》	タイマーランプと暖房準備ランプが交互に点滅 運転 ● タイマー ☼ 暖房準備 ☼
保護装置	室内ユニット保護	送風機保護サーモ	《 P01 》	
		フロートスイッチ	《 P10 》	
		ファンインバーター保護機能動作	《 P12 》	
		O2センサー動作	P14	
	室外ユニット保護	圧縮機１（INV）吐出温度異常	P03	運転ランプと暖房準備ランプが交互に点滅 運転 ☼ タイマー ● 暖房準備 ☼
		高圧スイッチ	P04	
		逆相（欠相）検知	P05	
		DCCT, ACCT過電流（圧縮機80Hz未満）	P16	
		圧縮機２（定速）吐出温度異常	P17	
		圧縮機３（定速）吐出温度異常	P18	
		室外送風機異常	P22	
		DCCT, ACCT過電流（80Hz以上）	P26	
		圧縮機線欠相、DCCT不良などによる始動不良（INVコンプ起動不良）	P29	
室内コントロール基板上の不揮発性メモリIC（EEPROM）不良			F29	運転ランプとタイマーランプが同時に点滅 運転 ☼ タイマー ☼ 暖房準備 ●
室外ユニット不揮発性メモリ（EEPROM）異常			F31	運転ランプとタイマーランプが同時に点滅 運転 ☼ タイマー ☼ 暖房準備 ○
保護装置	過負荷電流検出	圧縮機２（定速）	H11	タイマーランプの点滅 運転 ● タイマー ☼ 暖房準備 ●
		圧縮機３（定速）	H21	
	ロック電流検出	圧縮機２（定速）	H12	
		圧縮機３（定速）	H22	
	圧縮機ON時に電流検出なし	圧縮機１（INV）	H03	
		圧縮機２（定速）	H13	
		圧縮機３（定速）	H23	
	吐出温度センサー異常	圧縮機２（定速）	H15	
		圧縮機３（定速）	H25	
	室外ユニット保護	低圧スイッチ	H06	
	室外ユニット保護	HIC異常警報	H31	
オイル無し警報			H07	
オイル検知センサー接続不良		圧縮機１（INV）	H08	
		圧縮機２（定速）	H27	
		圧縮機３（定速）	H28	
電磁接触器の溶着（圧縮機OFF時に電流検出あり）			“点検”のみ点滅	（表示の変化なし）
自動バックアップ運転				

《　　》の警報表示の場合：他の室内ユニットの運転に影響しません。

〈　　〉の警報表示の場合：場合により、他の室内ユニットの運転に影響があります。

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　警報表示内容

2. 室外コントロール基板上のLED表示

【 ○：点灯 ☼：点滅 ●：消灯 】

LED赤 1	LED赤 2	表示内容
○	○	電源投入後（自動アドレス中ではない）、自分の系統の室内ユニットと全く通信ができない。
（同時点灯）		
●（消灯）	○（点灯）	電源投入後（自動アドレス中ではない）、自分の系統の室内ユニットを1台以上認識しているが、室内ユニット台数が設定台数と一致していない。
●	●	自動アドレス正常終了。（電源投入後〔自動アドレス中ではない〕、自分の系統で接続確認された室内ユニット台数と設定台数が一致し、定期通信を行っている。）
（同時消灯）		
☼	☼	自動アドレス中。
（交互点滅）		
☼	☼	自動アドレス時、室内ユニット台数が設定台数と一致していない。
（同時点滅）		
☼	☼	警報を表示 LED1がM回点滅後、LED2がN回点滅。これを繰返す。 M＝2回：P警報、3回：H警報、4回：E警報、5回：F警報、6回：L警報 N＝警報番号の数 例 ）LED1が2回点滅後、LED2が17回点滅。これを繰返す。 警報は“P17”となる。
（交互点滅）		

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　施工

リモコンスイッチ付属品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	リモコンスイッチ（配線200mm付属）	1	④	スペーサー	2
②	小ネジ M4×25	2	⑤	ワイヤージョイント	2
③	木ネジ	2	⑥	据付工事説明書	1

リモコンスイッチの設置方法のお願い

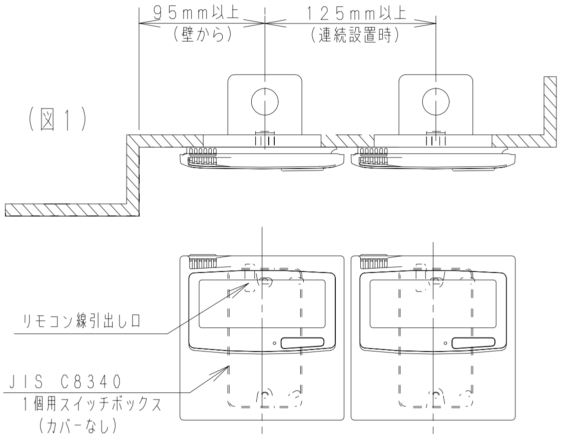
設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5ｍの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿・防滴仕様ではありませんので、冷凍・冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。

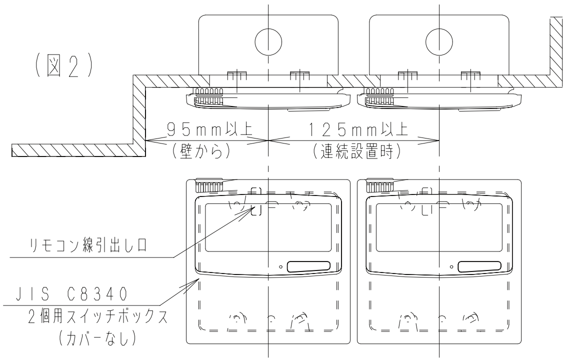
連続設置の場合の取付方法

リモコンスイッチを壁面に取付ける場合は、図1・図2の取付け方法を守ってください。

(図1)



(図2)



室温センサーの切替え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンスイッチに内蔵されています。
室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを4秒以上押します。
　注) 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内機アドレスです。
　注) [ユニット選択] ボタンを押さないでください。
② 温度設定 [▲] / [▼] ボタンで、項目コード 32 を指定します。
③ タイマー時間 [▲] / [▼] ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
⑤ [点検] ボタンを押します。
　通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には" [リモコンセンサー] "と表示されます。

注1) 2リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注2) グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注3) リモートセンサーとリモコンスイッチを併用する場合はリモコンスイッチのリモコンセンサーは使用しないでください。

換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力 (FAN DRIVE : 2P(白), DC12V)(注)で市販の換気扇等を運転する場合は、[換気] ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。

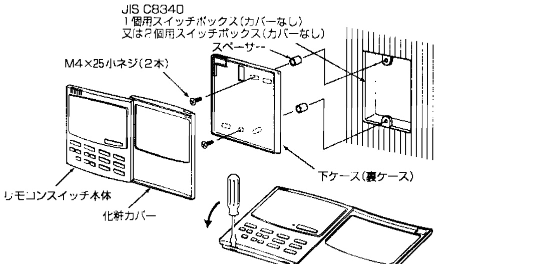
① [点検] + [セット] + [取消] ボタンを4秒以上押します。
　注) 最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内機アドレスです。
　注) [ユニット選択] ボタンを押さないでください。
② 温度設定 [▲] / [▼] ボタンで、項目コード 31 を指定します。
③ タイマー時間 [▲] / [▼] ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④ [セット] ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
⑤ [点検] ボタンを押します。
　通常の停止状態になります。[換気] ボタンを押して、液晶表示部に" 換気 "と表示されることを確認してください。

(注) 信号を無電圧A接点に変換する専用アダプタ(別売品)が必要になります。

リモコンスイッチの取り付けかた

〈注1〉 リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉 リモコンスイッチは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注3〉 ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

- **リモコンスイッチを埋込型としてご使用の場合は、**あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。

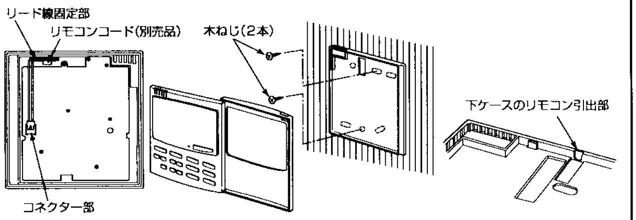


① リモコン本体の扉を開くと見えるリモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、裏ケースを外してください。
② リモコンスイッチ裏ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJIS BOXに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。
　固定のときは、スペーサーを使用し、あまり強く締めないでください。リモコンスイッチが壁に密着しないときは、スペーサーを切って調整してください。
③ リモコン配線(2芯)を、リモコン本体からの電線と接続してください。
　(リモコンスイッチの配線のしかたの項を参照してください。)
　リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(AC 200Vを印加するとこわれます。)

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　施工

④リモコンスイッチ本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

● **露出型としてご使用の場合は、**リモコンスイッチが固定できる壁面に取り付けてください。



①リモコンスイッチ本体と裏ケースのはずし方及び取り付け方→埋込型としてご使用の場合の項を参照してください。

②リモコンスイッチ本体のリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクター部を外してリモコンコード(別売品)をリモコンスイッチ本体のコネクター部に接続してください。リモコンコード(別売品)を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻き付けてください。
なお、リモコン配線は、下ケース(中央上部の肉薄部)をニッパー等で切り欠き、この部分より出してください。(図－A)
(リモコンスイッチの配線のしかたの項を参照してください。)
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(AC 200 Vを印加するとこわれます。)

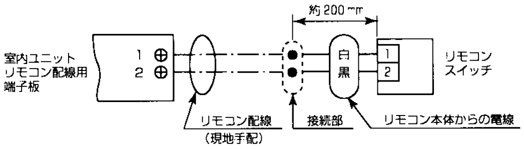
③リモコン本体を木ネジ(2本)を使用して固定します。

④リモコンコードはコードクリップ(別売リモコンコード付属品)を使用して壁面に固定してください。

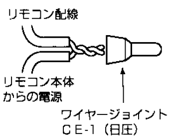
リモコンスイッチの配線のしかた

埋込型としてご使用の場合

● **接続図**

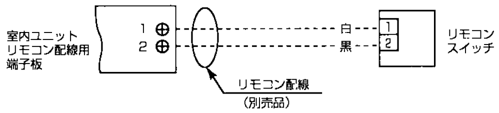


● 配線は 0.5 mm²～ 2 mm²を使用します。

付属の ワイヤー ジョイント (白色、2個)		①接続する電線の被覆を約 14 mm むきます。 ②2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて、圧着接続します。 ③専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続の場合は、絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

露出型としてご使用の場合

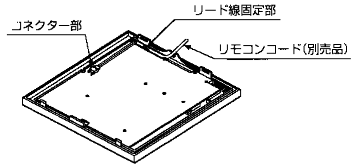
● **接続図**



● リモコン配線は、リモコンコード(別売品)を使用します。

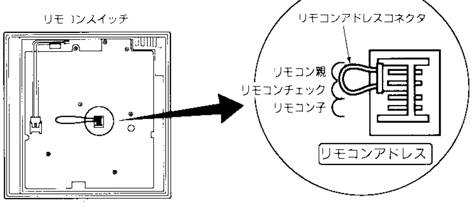
①リモコンスイッチ本体のリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクター部を外してリモコンコード(別売品)をリモコンスイッチ本体のコネクター部に接続してください。リモコンコード(別売品)を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻き付けてください。

②リモコンコード(別売品)を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。



リモコンスイッチを複数個設置される場合のお願い

この2リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。(最大2個まで設置可能です。)



● **設置の方法**

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。

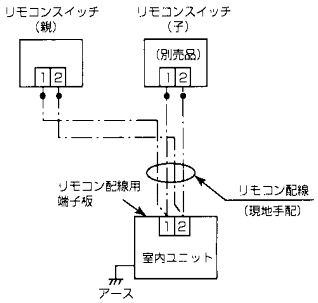
①複数個設置した中の1個は親リモコンとしてください。(工場出荷状態)

②その他のリモコンは、リモコンスイッチ基板上のリモコンアドレスコネクタを親→子にさしかえてください。
この状態にて子リモコンとして機能します。

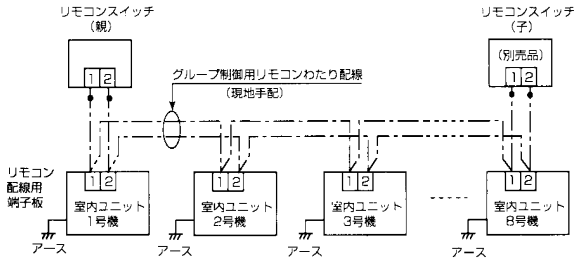
● **基本配線図**

注：配線は誤配線のないように接続してください。
(誤配線するとこわれます。)

● 室内ユニット1台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。



● 複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



リモコン試運転設定

①リモコンの［点検］ボタンを4秒以上押して液晶表示部に"試運転"と表示されてから、［運転／停止］キーを押してください。
● 試運転中は液晶表示部に"試運転"と表示されます。
● 「試運転」の位置では温度調節はできません。
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。

②**「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。**
(注) 電源投入後、および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。

③試運転終了後は再度［点検］ボタンを押して液晶表示部の"試運転"消灯を確認してください。
(このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマ解除機能付となっています。)

ワイヤードリモコン／RCS-SH80B, SH80A…別売品　警報表示

■リモコンスイッチの警報表示の内容

〔○：点灯 ☼：点滅 ●：消灯〕

検出内容			表示	ワイヤレスリモコンランプ表示 RCS-SH(BH)80U.WL（運転　タイマー　準備中）
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが、室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良（グループ制御の場合は親機からの信号） 室外系統アドレス、室内ユニットアドレス、室内ユニットの個別／親／子設定が未定（自動アドレス未完了）	E01	☼ ● ●
		シリアル信号の送信不良	E02	
	室内がリモコン（かつ集中制御）からのシリアル信号の受信不良		E03	
	設定不良	室内ユニットアドレスの重複	E08	
		リモコン設定の重複	E09	
	室内が、信号オプションからの信号の異常を検出	シリアル信号の送信不良	E10	
		シリアル信号の受信不良	E11	
	設定不良	フレキシブルコンビネーション制御の親機重複（室外ユニット検出）	E14	● ● ☼
	室内が室外からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E04	
		シリアル信号の送信不良	E05	
	室外が室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良（台数確認不良も含む）	E06	
		シリアル信号の送信不良	E07	
	自動アドレス失敗	室内ユニットの容量が少ない	E15	
		室内ユニットの容量が多い	E16	
		室内ユニットが1台もいない	E20	
	室内が、他の室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の送信不良	E17	☼ ● ●
		シリアル信号の受信不良	E18	
	ユニット間通信異常	MDCとの通信不良	E31	● ● ☼
誤設定	設定不良	室内ユニットグループ設定異常	L01	☼ ● ☼（同時）
		室内ユニット、室外ユニットの機種不一致	L02	
		グループ制御の親機重複（室内機検出）	L03	
		室外ユニットアドレス重複（系統アドレス）	L04	☼ ○ ☼（同時）
		個別室内ユニットにグループ配線あり	L07	☼ ● ☼（同時）
		アドレス未設定またはグループ未設定	L08	
		室内ユニット能力未設定	L09	
		室外ユニット能力未設定または設定不良	L10	☼ ○ ☼（同時）
		グループ制御線の誤配線	L11	
		室内ユニット機種設定不良（能力）	L13	
天井パネル接続不良			P09	● ☼ ☼（交互）
保護装置動作	室内保護	送風機保護サーモ	P01	
		フロートスイッチ	P10	
	室外保護	吐出温度異常	P03	☼ ● ☼（交互）
		欠相検知、AC電源異常	P05	
		完全ガス欠異常	P15	
		四方弁ロック異常	P19	
		冷房高負荷	P20	
		室外ファン異常	P22	
		インバーター圧縮機異常（HIC基板）	P26	
		インバーター圧縮機異常（MDC）	P29	
		フレキ制御異常	P31	
		コンプ電流値不良（過負荷）	H01	● ☼ ●
サーミスター異常	サーミスターオープン・ショート（室内）	室内コイル温度センサー E1	F01	☼ ☼ ●（交互）
		室内コイル温度センサー E2	F02	
		室内コイル温度センサー E3	F03	
		室内温度センサー	F10	
	サーミスターオープン・ショート（室外）	吐出温度 TD	F04	☼ ☼ ○（交互）
		室外コイル温度 C1	F06	
		室外コイル温度 C2	F07	
		外気温度 TO	F08	
		サクション温度 TS	F12	
		室内EEPROM異常	F29	☼ ☼ ●（同時）
		室外EEPROM異常	F31	☼ ☼ ○（同時）

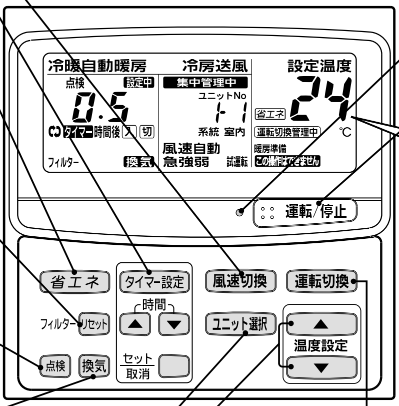
ワイヤードリモコン／RCS-DH224B…別売品　機能

各部のなまえとはたらき

コントロールスイッチ

●このコントロールスイッチ１台で、室内ユニットを最多８台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。

●手元電源スイッチを最初に入れた時、コントロールスイッチの表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後コントロールスイッチの操作を行ってください。
●このページ以降では、コントロールスイッチのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→ 運転／停止



風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。（☞ 7ページ）

省エネボタン
運転中にボタンを押すとコントロールスイッチの表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。（☞ 9ページ）

フィルターリセットボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。“ フィルター ”が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も運転、停止します。(換気扇が運転中はコントロールスイッチの表示部に 換気 が表示されます。)
※換気ボタンを押したときコントロールスイッチの表示部に この操作はできません が表示されたときは換気扇が接続されていません。

ユニット選択ボタン
※通常は使用しないでください。

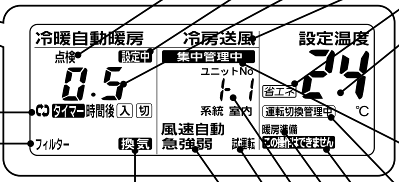
運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転／停止ボタン

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン
▲ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を１℃ずつ下げます。

操作部　**《上の図はふたを開けた状態を示しています。》**



保護装置動作時および異常時に表示します。

タイマー設定中を表わす表示です。

タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

運転の状態を表示します。

省エネ運転中に点灯します。

設定温度を表示します。

遠隔運転時に表示します。遠隔側でコントロールスイッチ禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき、 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。

運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯している場合、運転モードの暖房、冷房の切換えを禁止します。

ボタンを押しても操作ができないときに表示します。

表示中は室内送風機を停止、または微風運転になります。

異常表示をしている室内・外ユニットのユニット Noを表示します。

試運転中に表示します。

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱 のいずれかを表示します。

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

フィルターの掃除時期をお知らせします。

タイマー設定ボタンを押すと、切 切タイマー ➡ 🔁 切 くり返し切タイマー ➡ 入 入タイマー ➡表示なしの順に切り換わります。

表示部　**《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》**

3　　4

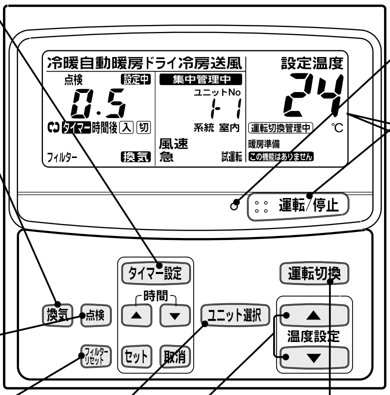
ワイヤードリモコン／RCS-DH224A…別売品　機能

各部のなまえとはたらき

ワイヤードリモコン

- **このリモコン１台で、室内ユニットを最大８台まで運転することができます。**
- **一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。**

- **手元電源スイッチを最初に入れた時、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。**
- **このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→ 運転／停止**



タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。（☞ 7ページ）

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したときリモコンの表示部に この機能はありません が表示されたときは換気扇が接続されていません。

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

フィルターリセットボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。“フィルター”が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

ユニット選択ボタン
※通常は使用しないでください。

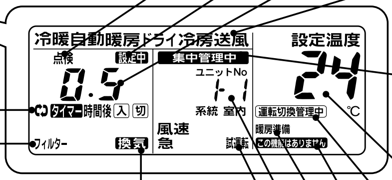
運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転／停止ボタン

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン
▲ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▼ 設定温度を１℃ずつ下げます。

操作部　**《上の図はふたを開けた状態を示しています。》**



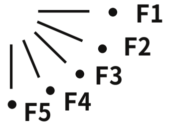
- 保護装置動作時および異常時に表示します。
- タイマー設定中を表わす表示です。
- タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）
- 運転の状態を表示します。※本商品はドライ機能がありません。ドライが表示されているときは、冷房運転になっています。
- 遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。
- 設定温度を表示します。
- 運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯している場合、運転モードの暖房、冷房の切換えを禁止します。
- ボタンを押しても機能がないときに表示します。
- 表示はしますが微風運転になりません。
- 異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。
- 試運転中に表示します。
- 市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。
- フィルターの掃除時期をお知らせします。
- タイマー設定ボタンを押すと、切 切タイマー ➡ ⟲ 切 くり返し切タイマー ➡ 入 入タイマー ➡ 表示なしの順に切り換わります。

表示部　**《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》**

3　4

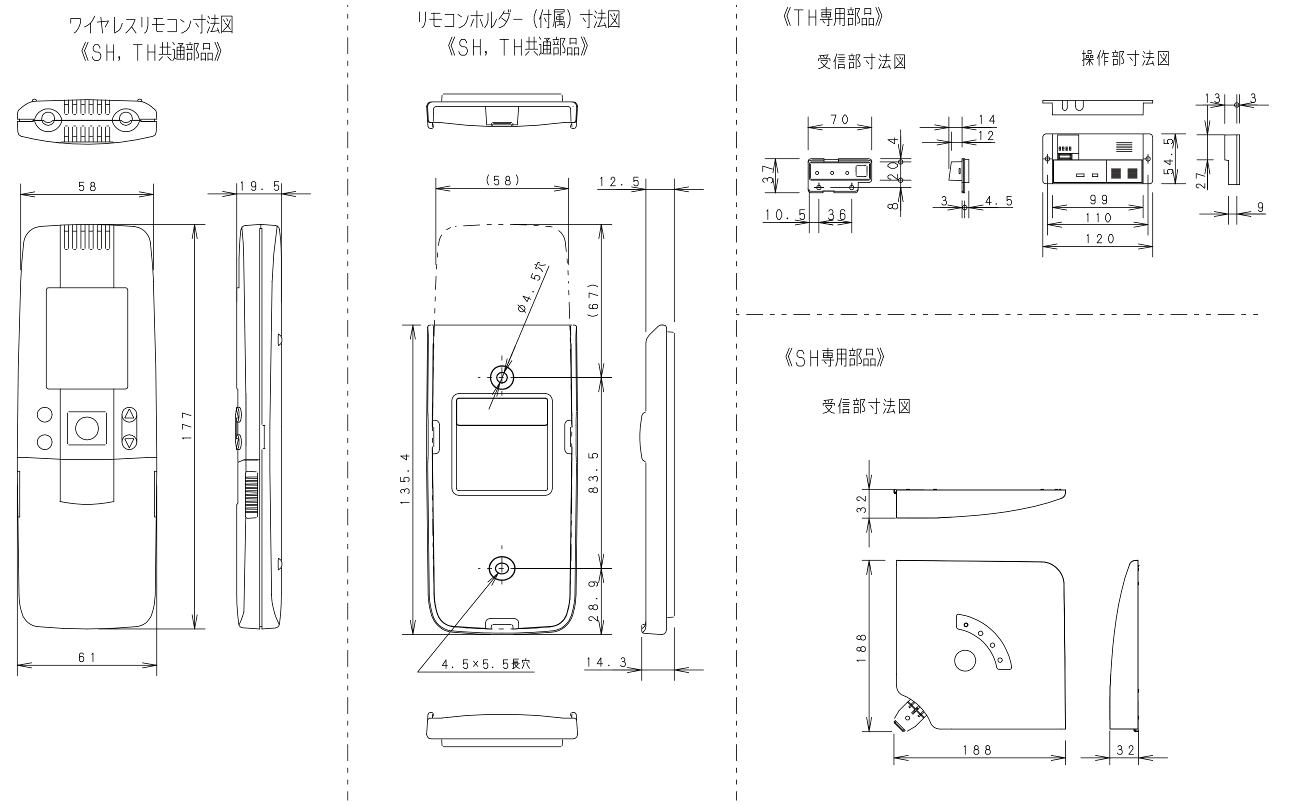
ワイヤレスリモコン／ＲＣＳ-ＳＨ８０Ａ,WＬ,.ＲＣＳ-ＴＨ８０Ａ,WＬ,…別売品　仕様

●仕様

品　　　　番	RCS-SH80A, WL. RCS-TH80A, WL
運　転　切　換	冷房・送風・(注)冷暖自動・暖房・ドライ
風　速　切　換	風速自動・急・強・弱
タ　イ　マ　切　換	連続・入・切繰り返し切（72時間時限式）
温　度　設　定	暖房：16～26℃、冷房・ドライ：18～30℃、冷暖自動：17～27℃
オートフラップ	フラップ風向設定、スイング機能
	
リモコンセンサ、ボディセンサの切換	操作部のセンサ切換ボタン（リモコン－本体）で設定 （出荷時はボディセンサに設定）
アドレス設定	操作部、リモコン部でアドレス設定を行い、1つのリモコンで最大6台までのエアコンを個別運転可能
ワイヤレスリモコン送信距離	8m以下
乾電池寿命（約1年）	単4アルカリ電池1.5V×2本使用、送信ランプが点灯しなくなった時、受信が不安定になった時等、電池を交換してください。

◎リモコンからの送信を受信部がキャッチ
◎1台のリモコンで室内機最多8台までコントロール（同時オン／オフ）
◎72時間時限タイマ標準装備
　※ワイヤードリモコンと併用する場合、どちらかを子リモコンに設定します。
◎ユニットアドレスの設定により室内機を特定してコントロール
　※送信用・受信用アドレススイッチを合わせることによりグループを特定しての制御が可能です。（最多6グループ）
◎別売のさがぁるグリル（4方向・2方向）の操作も可能
注：室内外1対1の組合せの場合と、同一冷媒系統内の全室内機が1つのグループ制御になっている場合、および3WAYマルチ室外機に使用する室内機以外に取り付けた場合は、切換えできないように設定が必要です。

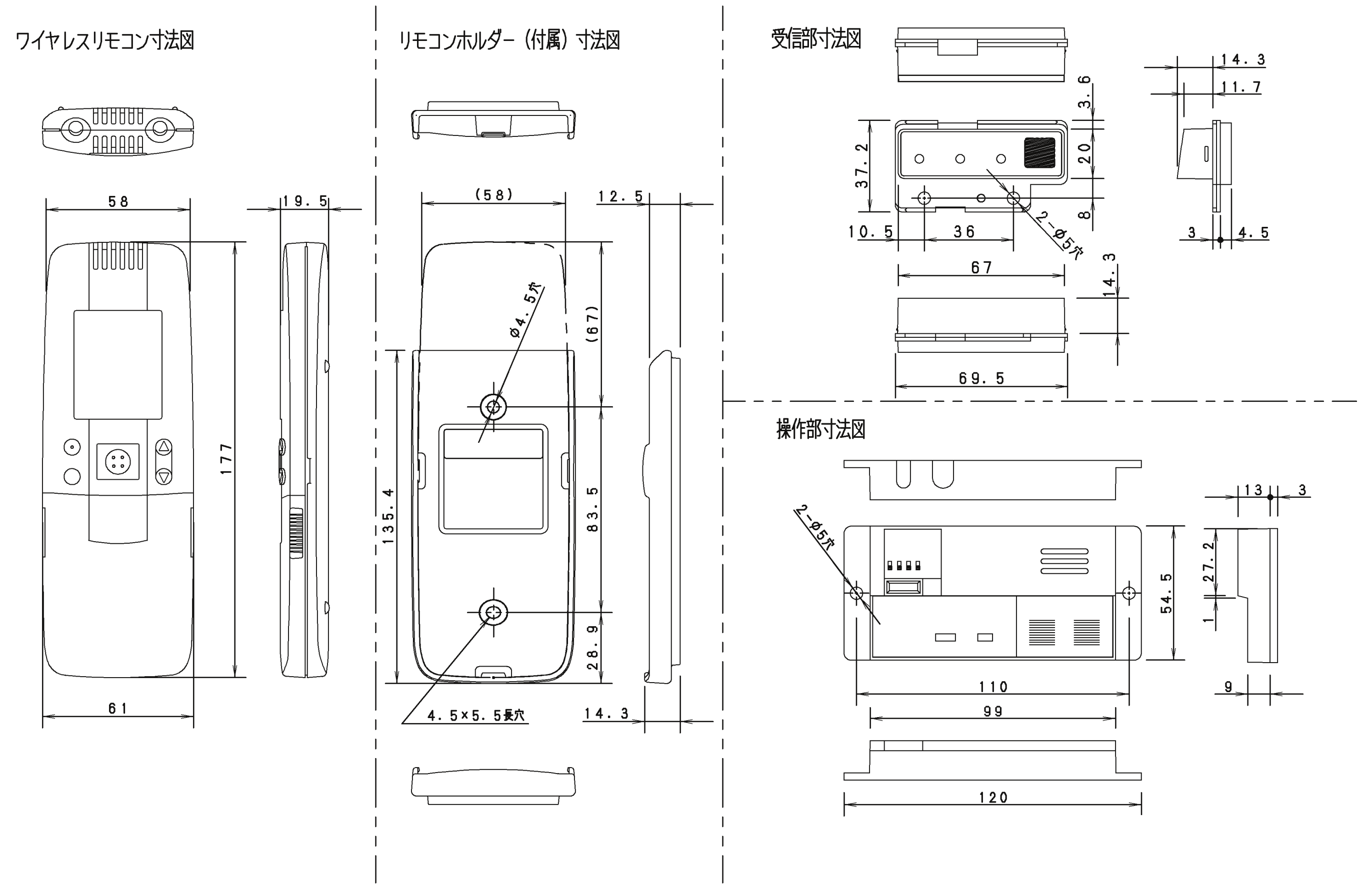
●外形寸法図



◎電子瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）またはインバーター方式の蛍光灯の近くに室内機を設置しますと、ワイヤレスリモコンの受信を受け付けないことがあります。（電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯はグローランプがありません。）
◎蛍光灯による障害を防ぐためエアコンと蛍光灯との距離は2m以上離してください。
　蛍光灯との距離を離しても障害が発生する場合は、次のどちらかの方法で対処してください。
1. 赤外線フィルター〈サービスパーツ扱い:854-9-9536-041-72（有償）〉を室内ユニットの受信部に外から貼り付けてください。
2. ワイヤードリモコン（別売品）を取り付けてご使用ください。

ワイヤレスリモコン／RCS-SS80B, WL,…別売品

●外形寸法図

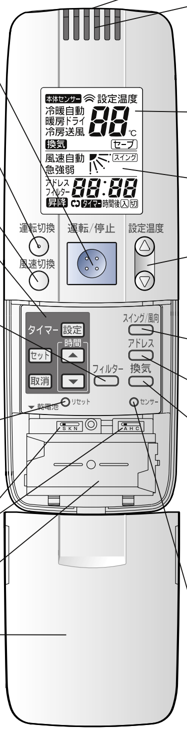


ワイヤレスリモコン／RCS-SH80A, WL,.RCS-TH80A, WL, RCS-SS80B, WL,…別売品　機能と操作

各部のなまえとはたらき

リモコン　●１台のリモコンで最大８台までグループ制御できます。

(RCS-SH1A)



送信部

リモコンセンサー
センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感知します。

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

運転表示部
運転状態を表示します。（図は全部を表示した状態です。）

●オートフラップ表示は設置ユニットによって異なります。

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。

設定温度ボタン
△ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▽ 設定温度を１℃ずつ下げます。

フィルターボタン
別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続したときに使用します。

スイング／風向ボタン

アドレスボタン

リセットボタン
電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使用します。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※電池交換をしたときは換気ボタンを４秒以上押し続けると 換気 と表示され使えるようになります。

スライドスイッチ

乾電池収納部

カバー
両サイドを持って下にスライドします。

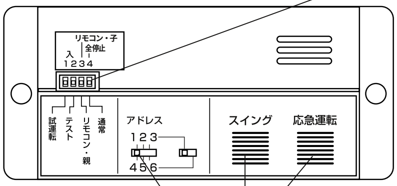
センサーボタン
リモコン側の温度センサーにするときに使用します。
出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に 本体センサー が表示されます。

各部のなまえとはたらき

●表示部と操作部は室内ユニット本体に取り付けてあります。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。
例：運転/停止ボタン→ 運転/停止

操作部

(CR-SH1U)



通常／全停止スイッチ
「通常」の位置でご使用ください。「全停止」の位置では運転できません。

リモコン・親／リモコン・子、スイッチ
通常「リモコン・親」でご使用ください。
ワイヤードリモコン（別売品）との併用も可能です。
（設定はお買いあげの販売店にご相談ください。）

テスト・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

試運転・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

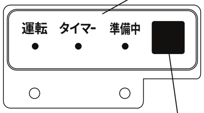
アドレススイッチ
送信、受信の信号を区別します。

応急運転ボタン

スイングボタン

表示部

(IND-SH1U)



表示ランプ
異常発生中はいずれかが点滅します。

運転ランプ
運転中は点灯します。

タイマーランプ
タイマー予約中は点灯します。

受信部
リモコンから送信された信号を受信します。

準備中ランプ
●暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはたらいたとき、霜取運転中。
●異常発生中は点滅します。

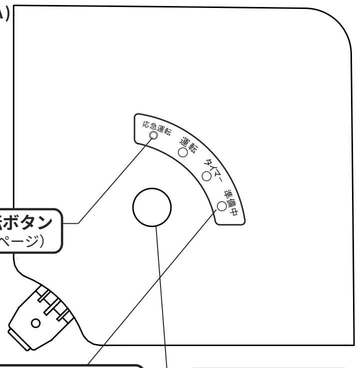
●ヒートポンプ形をお使いの場合“ピッ・ピー”という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作）
●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転／停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、“ピッ”という音が５回して、変更を受け付けません。

各部のなまえとはたらき

●受信部は室内ユニット本体に取り付けてあります。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。
例：運転/停止ボタン→ 運転/停止

受信部

(CR-SH1A)



以下のスイッチは受信部の裏側にあります。設定はお買い上げの販売店にご相談ください。

通常／全停止スイッチ
「通常」の位置でご使用ください。「全停止」の位置では運転できません。

リモコン・親／リモコン・子、スイッチ
通常「リモコン・親」でご使用ください。
ワイヤードリモコン（別売品）との併用も可能です。

テスト・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

試運転・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

アドレススイッチ
（☞ 11ページ）
送信、受信の信号を区別します。

応急運転ボタン
（☞ 12ページ）

表示ランプ
異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときは「修理を依頼される前に」の頁(13ページ)をご覧ください。

受信部
リモコンから送信された信号を受信します。

運転ランプ
運転中は点灯します。

タイマーランプ
タイマー予約中は点灯します。

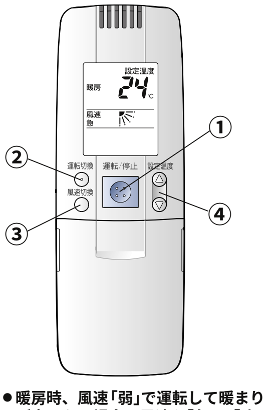
準備中ランプ
●暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはたらいたとき、霜取運転中。
●異常発生中は点滅します。

●ヒートポンプ形をお使いの場合“ピッ・ピー”という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作）
●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転／停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、“ピッ”という音が５回して、変更を受け付けません。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風　●冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。

《表示部の表示は4方向天井カセット形を示します。》



電源　手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。

①　運転／停止 を押します。

②　運転切換 を押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

③　風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

④　設定温度 △ ▽ のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖　房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

●**暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。**
お使いの室内ユニットによっては表示はされますが機能がありません。
（風速は一定です。）
●**通常の方法で停止できないとき**
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

停止　運転／停止 を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

冷暖自動について

同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっているとき、設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

ドライ運転について

●お使いの室内ユニットによっては、リモコンの表示部にドライが表示されてもドライ機能はありません。（冷房運転と同一）
●室温が設定温度近くになりますと自動的に運転、停止を繰り返します。
●できるだけ湿気を再びお部屋に戻さないため、運転が停止すると室内ファンは微風運転となります。
●お使いの室内ユニットによって、または室温の状態によっては風速調節はできません。
●お使いのユニットによっては外気温度15℃以下のときは、ドライ運転はできません。

ワイヤレスリモコン／RCS-SH80A, WL,.RCS-TH80A, WL, RCS-SS80B, WL,…別売品　機能と操作

タイマー運転のしかた

●タイマー設定後リモコンは受信部（室内ユニット本体）に信号が届く位置に置いてください。
（タイマー運転の信号はリモコンから送ります。）
●運転表示中にタイマー設定を行ってください。

こんな時にお使いください		表示中
あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	⟲ 切
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

タイマー時間について

▲ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。上限は72.0時間です。

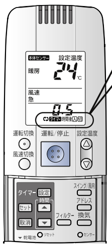
▼ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー 設定 を押すごとに次のように切り換ります。.

表示なし

切 ──→ ⟲ 切 ──→ 入



〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー 設定 を１回押すとリモコンに 切 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を0.5に合わせます。

③ セット を押します。
切 と時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー 設定 を２回押すとリモコンに ⟲ 切 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を2.5に合わせます。

③ セット を押します。
⟲ 切 と時間が点灯します。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

（例）８時間後に運転をさせたいとき

① タイマー 設定 を３回押すとリモコンに 入 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を8.0に合わせます。

③ セット を押します。
運転表示が消えて 入 と時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

取消 を押します。タイマー表示が消えます。

風向調節のしかた

お使いの室内ユニットによって機能が異なります。下記に記載されている機種以外はリモコンでの風向設定はできません。詳しくは室内ユニット本体に付属されている取扱説明書をご覧ください。

- リモコンで操作するフラップ（上下風向調節板）は絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップ（上下風向調節板）が自動的に下向きになります。
- 暖房準備時にはフラップ（上下風向調節板）が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンのオートフラップ表示は暖房準備中でもスイング表示します。

■ 4方向天井カセット形、2方向天井カセット形、高天井用1方向カセット形、天井吊形

風向きを設定するときは
運転中、スイング/風向 を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは
スイング/風向 を押し、フラップ（上下風向調節板）の向きを1番下に設定し、もう1度 スイング/風向 を押すことによりスイングが表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

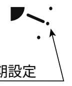
■天井吊形8馬力タイプ

スイングさせるときは
スイング/風向 を押すと スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。
※リモコンの表示部には スイング のみ表示されます。

風向きを設定するとき
スイング中にフラップを止めたい位置で スイング/風向 を押すとフラップが止まります。

暖　房　時
フラップ（上下風向調節板）は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。

冷房・ドライ時
フラップ（上下風向調節板）は上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。



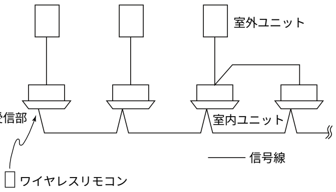
送　風　時

すべての運転時

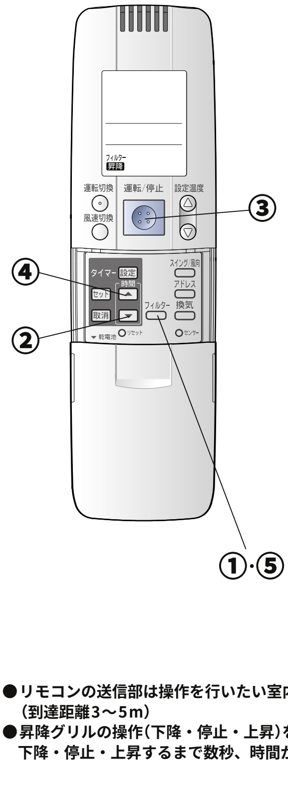
室内外ユニット複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- １台のリモコンで室内ユニット最大８台まで操作できます。
- すべての室内ユニットが同じ設定となります。
- 温度センサーは室内ユニット側（本体センサー）をご使用ください。



昇降グリルの操作方法（別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付き天井パネルを接続してある場合）



① フィルター を４秒以上押し続けるとリモコンの表示部に フィルター昇降 が点灯します。（室内ユニットの運転は停止します。）

② **下降させるとき**
時間 ▼ を押すと昇降グリルはゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

③ **停止させるとき**
運転／停止 を押すと昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、約2ｍ下降したところで停止します。
※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

④ **上昇させるとき**
時間 ▲ を押すと昇降グリルは上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

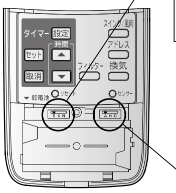
⑤ フィルター を４秒以上押し続けると表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に フィルター を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。
再度、昇降グリルを動かしたいときは、!に戻ってください。

●リモコンの送信部は操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。
（到達距離3～5m）
●昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。

スライドスイッチについて

●お使いの室内ユニットによって運転表示と風向表示の設定が下記のように異なります。
●スイッチは先の細いもので切り換えてください。
●スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。

	リミットスイッチ付きフラップ機種	スイングオンリー機種	フラップ無し機種
スライドスイッチの位置	S K N（S側）	S K N（K側）	S K N（N側）
リモコンのフラップ表示	風速 急 スイング	風速 急 スイング	風速 急



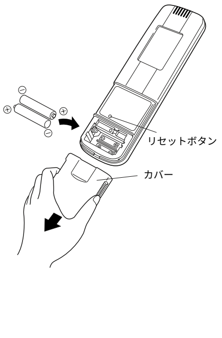
電池カバーを外したところ

	ヒートポンプ（冷暖自動あり）	ヒートポンプ（冷暖自動なし）	冷房専用
リモコンの運転モード表示	冷暖自動 暖房 ドライ 冷房 送風	暖房 ドライ 冷房 送風	ドライ 冷房 送風
スライドスイッチの位置	A H C（A側）	A H C（H側）	A H C（C側）

●ご使用になる前にスライドスイッチが上図の位置になっていることを確認してください。スライドスイッチの合わせかたについて詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

乾電池の入れかた

!カバーの両側を持ち、下にずらしてはずします。
"単4形ア ルカリ乾電池を2本入れます。⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
#先の細いもので リセット を押してからカバーを取り付けます。



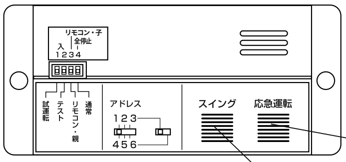
●リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。（アルカリ乾電池の交換は約1年が目安です。）
●乾電池の取り換えは2本とも新しい同種のものをお使いください。
●リモコンを長時間ご使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。

ワイヤレスリモコン／RCS-SH80A, WL,.RCS-TH80A, WL, RCS-SS80B, WL,…別売品　機能と操作

応急運転のしかた

次のようなとき、操作部（室内ユニット内部）の 応急運転 を使って応急的に運転してください。

●リモコンの乾電池の容量がなくなった。
●リモコンが故障した。
●リモコンを紛失した。



1	**応急運転 を押します。** （室温が24℃以上の時に運転を開始すると冷房運転になります。 室温が24℃未満の時に運転を開始すると暖房運転になります。）
2	**スイング を押すと風向きが自動的に上下に切り換わります。**
停止	**応急運転 をもう１度押します。**

ご注意

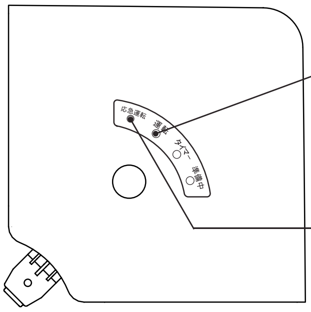
●試運転・入 、テスト・入 スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。

●通常/全停止スイッチが全停止になっているとリモコンからの信号は受けつけません。

応急運転のしかた

次のようなとき、操作部（室内ユニット内部）の 応急運転 を使って応急的に運転してください。

●リモコンの乾電池の容量がなくなった。
●リモコンが故障した。
●リモコンを紛失した。



運転	**応急運転 を押します。** （室温が24℃以上の時に運転を開始すると冷房運転になります。 室温が24℃未満の時に運転を開始すると暖房運転になります。）
停止	**応急運転 をもう１度押します。**

ご注意

●試運転・入 、テスト・入 スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。

●通常/全停止スイッチが全停止になっているとリモコンからの信号は受けつけません。

ワイヤレスリモコン／RCS-TH80A, WL, RCS-SS80B, WL,…別売品　施工

付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	操作部	1	⑥	スペーサー	2
②	表示部	1	⑦	取扱説明書	1
③	リモコン	1	⑧	ナベタッピングネジ 4×10	4
④	リモコン取付具	1	⑨	トラスタッピングネジ 4×16	2
⑤	乾電池	2	⑩	ビニールクランパー L 150	3

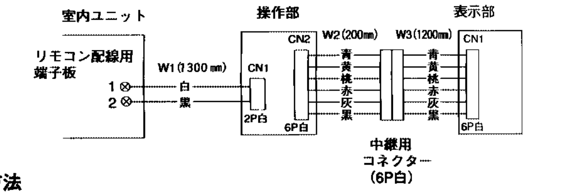
アドレススイッチの合わせかた

- 同じ室内に複数のワイヤレス受信ユニットが設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
- 電池を交換してリセットボタンを押したときはリモコンのアドレスは「ＡＬＬ」になりますので操作部のアドレススイッチの設定に関わらず受信可能です。
- リモコンのアドレス変更方法は取扱説明書をごらんください。

リモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	‥‥‥	アドレス 6
操作部のアドレススイッチの位置	※操作部のアドレススイッチはどこでもよい	1 2 3 / 4 5 6	1 2 3 / 4 5 6	‥‥‥	1 2 3 / 4 5 6

受信ユニットの配線のしかた

接続図



接続方法

1.W1を室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続してください。(極性はありません)
2.表示部からのW3と操作部からのW2を、中継コネクターで接続してください。

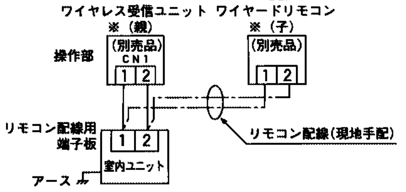
ワイヤードリモコンと同時設置される場合のお願い

ワイヤレス受信ユニットは、ワイヤードリモコンと同時設置することにより、2リモコン制御が可能です。（ワイヤレスリモコン、ワイヤードリモコンを合わせて最大2台まで設置可能です）
この2リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを複数個のリモコンで操作するものです。

〈注〉リモコン配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（AC200Vを印加するとこわれます）
〈注〉ワイヤレス受信ユニットを1台の室内ユニットに複数個同時使用することはできません。（別置き受信部は併用可能です）
〈注〉ワイヤレス受信ユニットとワイヤードリモコンを同時設置して使用する場合は、どちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

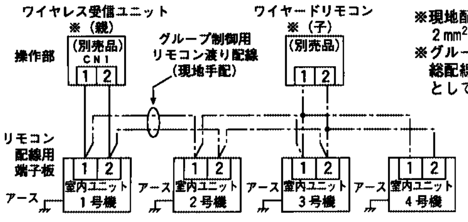
- ワイヤードリモコンを子にする場合は、ワイヤードリモコン基板裏のアドレスコネクタをリモコン親→リモコン子にさしかえてください。
- ワイヤレスリモコンを子にする場合は、ワイヤレス操作部のディップスイッチの3番をＯＦＦ→ＯＮにしてください。

室内ユニット1台をリモコン２ヵ所設定で操作する場合
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



※現地配線は0.5mm^2～2mm^{2}を使用します。
※総配線長は400m以内としてください。

複数台グループ制御を、リモコン２ヵ所設定で操作する場合
※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。

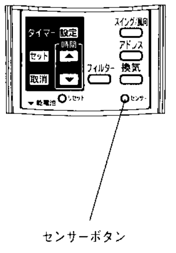


※現地配線は0.5mm^2～2mm^{2}を使用します。
※グループ渡り配線の総配線長は200m以内としてください。

室温センサーの設定について

- 室温センサーは、室内ユニットとワイヤレスリモコンに内蔵されています。室温センサーはどちらか一方で動作します。
- 出荷時は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには、リモコンカバー内のセンサーボタン（右図）を押し、液晶表示面から“本体センサー”が消えたことを確認してください。

〈注〉センサー切換が、リモコン側に設定されていてもリモコンからの室温データが10分間ユニットに伝わらない場合には自動的にユニット側のセンサーに切換わってしまいます。リモコンはできるだけユニットに向けて、取付けてください。



自己診断機能表と処置方法

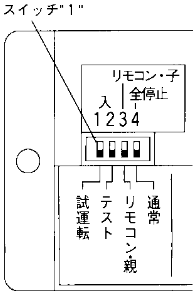
ランプ表示	原因	処置方法
運転 ●　タイマー ●　準備中 ● 全く表示がない	電源が入っていない 受信ユニットと室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 ☼ 点滅　タイマー ●　準備中 ●	受信ユニットと室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ●　タイマー ●　準備中 ☼ 点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	
運転 ☼　タイマー ●　準備中 ☼ 交互点滅	室外ユニットの三相電源が逆相または欠相	室外ユニットの三相電源の二相を入れ替え正しく接続してください。
運転 ●　タイマー ☼　準備中 ☼ 交互点滅	室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	室内ユニットの天井パネルのコネクタを正しく接続してください。

試運転について

● 「試運転」のご使用方法

1．操作部のスイッチ（DS）の“1”スイッチを、OFF →ONにします。
2．試運転中は、表示部の表示ランプがすべて点滅します。
3．試運転中は、温度調節はできません。
4．試運転終了後は、必ず“1”のスイッチを、ON →OFFにして表示ランプの点滅のないことを確認してください。

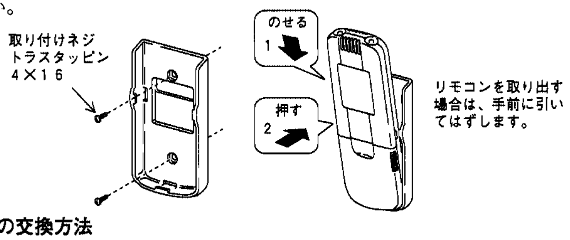
〈注1〉天井パネルを取付けた状態でないと、試運転はできませんので注意してください。
〈注2〉機械に無理がかかりますので、試運転時のみご使用してください。



リモコンの取り扱いかた

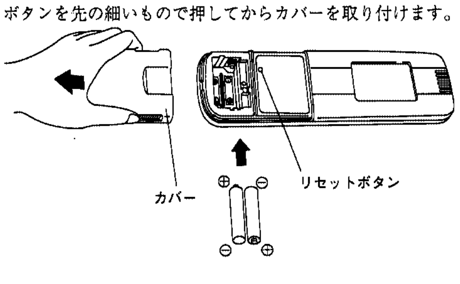
● リモコンを壁などに取り付けてご使用になる場合

取り付ける位置で「運転／停止」ボタンを押し、正常に受信されることをご確認ください。



● 電池の交換方法

❶ カバーの両端を持ち、下にずらしてはずします。
❷ 単4形アルカリ乾電池を2本入れます。＋－極を表示に従って正しく入れます。
❸ リセットボタンを先の細いもので押してからカバーを取り付けます。

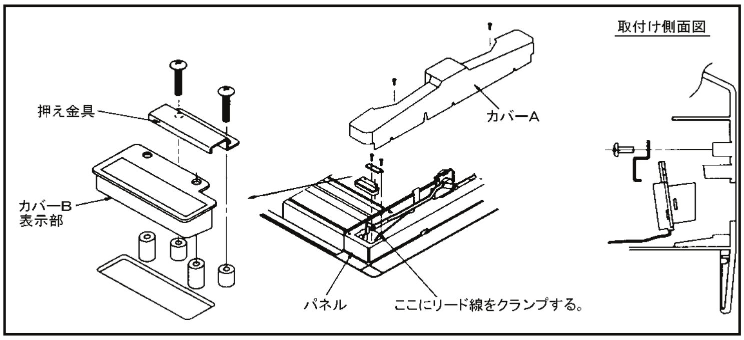


ワイヤレスリモコン／RCS-TH80A, WL,…別売品　施工

〈2方向天井カセット形〉

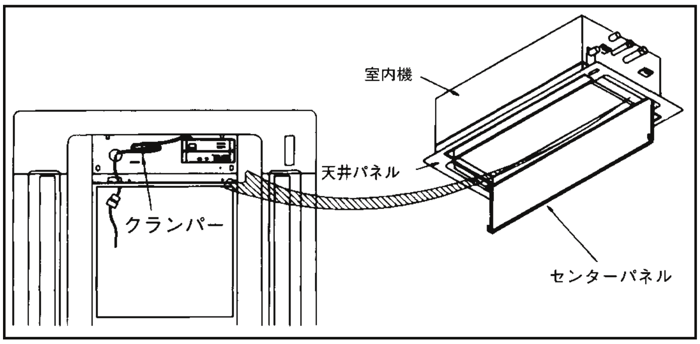
表示部の取付けかた

●パネルおよびカバーAをはずし表示部を取付けてください。
①センターパネルをはずします。
②天井パネルの配線コネクタをはずしてから、パネルを室内機からはずします。
③パネル裏側よりカバーAをはずします。
左側の奥のカバーBを押え金具のビス2本をはずして取り出します。
④カバーBが取り付いた場所に、表示部を押え金具を使用して同様に取り付けます。
⑤表示部のリード線をクランパーで穴を利用して固定して整形します。
カバーAがリード線を挟み込まないように整形してください。
⑥カバーAを取り付けます。



操作部の取付けかた

〈注１〉操作部の配線は、電源引き込み線などといっしょに合わせると誤配線の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取付ける等の処置が必要です。
●天井パネル吸込口部に操作部を取付けてください。
①センターパネルをはずして操作部を下図の場所に付属ビス2本〈4×10〉で固定します。
②表示部と操作部の6P中継用コネクタ（白）を接続します。
③操作部リード線を室内リモコン配線用端子板に接続してください。
④リード線を整形し、ビニールクランパーで固定してください。
⑤天井パネル配線コネクタを接続してください。
⑥センターパネルを取り付けてください。

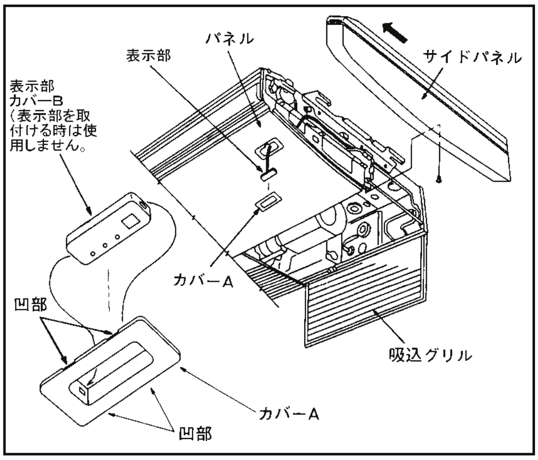


ワイヤレスリモコン／RCS-TH80A, WL,…別売品　施工

〈天井吊形〉

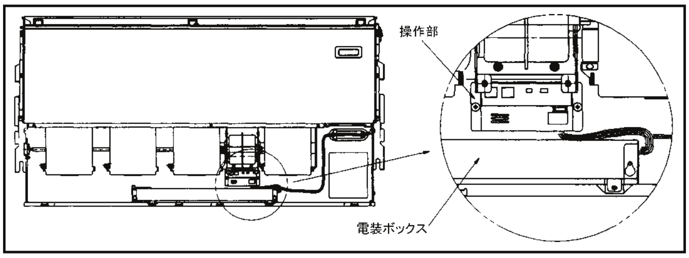
表示部の取付けかた

●サイドパネルをはずし表示部を取付けてください。
①サイドパネルをはずします。
・サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス1本をはずしてから、前面（矢印方向）へ移動させてはずします。
②カバーA、カバーBをはずします。
・カバーAの凹部にマイナスドライバーを引っ掛けてカバーA、カバーBをはずします。（パネルにキズを付けないように注意してください。）
③カバーAからカバーBをはずします。
④カバーAに表示部を取付けます。
⑤リード線を通してからカバーAと表示部をパネル穴に取付けます。
（カバーAの突起部がパネル穴で固定されます。）
⑥リード線はルーバーモーターの配線に添わせて結束します。
⑦サイドパネルを取付けます。



操作部の取付けかた

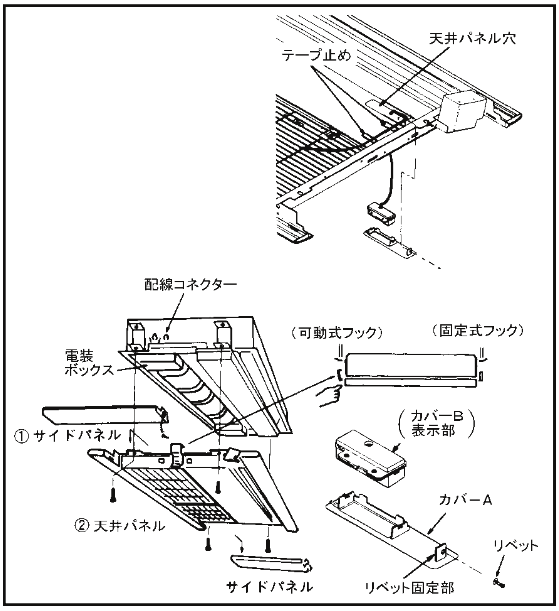
〈注１〉操作部の配線は、電源引き込み線などといっしょに合わせると誤配線の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取付ける等の処置が必要です。
●操作部は吸込部天面（ファンモータと電装ボックスの空間）に取付けてください。
①操作部は付属ビス2本（4×10）にて固定します。
②操作部リード線を室内リモコン配線用端子板に接続してください。
③表示部と操作部の6Pコネクタ（白）は電装ボックス内で接続します。



〈高天井用1方向カセット形〉

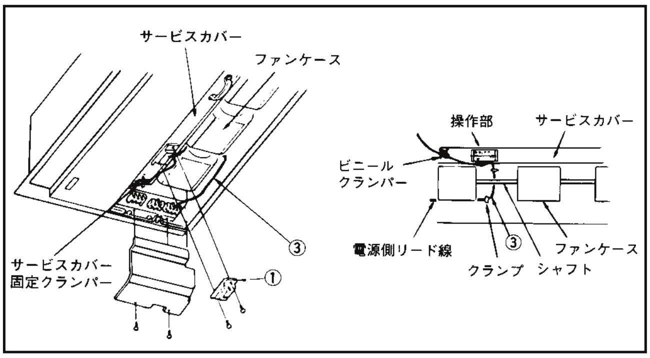
表示部の取付けかた

●サイドパネルおよび天井パネルをはずし表示部を取付けてください。
①サイドパネルをはずします。
・サイドパネルの両端にある爪を内側に押し、ロックをはずし、横に移動させるとはずれます。
②天井パネルをはずします。
・室内機と天井パネルを取付けているビス4本をはずします。
・室内機と天井パネルの配線コネクタ（15P）をはずします。
・天井パネルを上に押し上げながら天井パネル（電装ボックス側）の可動式フック下部を押すと、パネル片側がはずれます。
・天井パネル反対側（冷媒配管側）を持ち上げると固定式フックがはずれ、パネルがはずれます。
③カバーA、カバーBをはずします。
・天井パネル内側より、リベットをはずすとカバーAがはずれます。
カバーBをはずします。
④カバーAに表示部を取付けます。
⑤表示部のリード線を天井パネル穴に通し、カバーAを取付けます。
⑥リード線図のように整形してください。
（カバーA固定金具の位置〈リベット固定部〉で天井パネル側面に平行にリード線を伸ばし、テープ止めしてください。）



操作部の取付けかた

〈注１〉操作部の配線は、電源引き込み線などといっしょに合わせると誤配線の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取付ける等の処置が必要です。
●室内機吸込口部に操作部を取付けてください。
①サービスカバー（取手のついている蓋）に操作部を付属ビス2本（4×10）にて固定します。
②操作部リード線を室内リモコン配線用端子板に接続してください。
③リード線をシャフト上（天井側）を通し、クランプし整形してください。
⑤天井パネルを取付けてください。
⑥吸込グリルを開き、表示部と操作部の6P中継用コネクタ（白）を接続します。この時、表示部からのリード線は、本体ユニットの切り欠き穴に通し、リード線を付属のビニールクランパーで束ねサービスカバー固定クランパーに固定してください。また、天井パネル配線コネクタを接続してください。



ワイヤレスリモコン／RCS-SS80B, WL,…別売品　施工

〈2方向さがぁるパネル〉　PNR-SS56AUN, WL
PNR-SS80AUN, WL
PNR-SS140AUN, WL

別売ワイヤレスリモコンで操作する場合（昇降リモコンでも操作できます。）

1.昇降グリル受信部（IND-SH1TD）をワイヤレス受信部（IND-SH1U）に付け替えます。（図10）

ご注意 受信部の付け替えは､天井パネルの取付け作業前に行ってください。

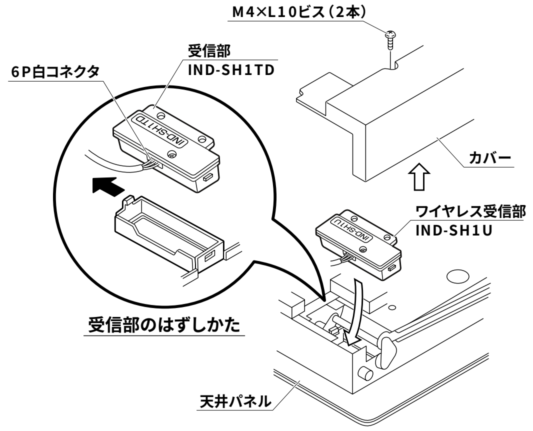
① 天井パネルを裏側にして、カバーをはずします。（M4×L10　2本）
② ツメ部を矢印（⬅）方向に押しながら受信部（IND-SH1TD）を取出し、6P白コネクタを根元からはずします。
③ ワイヤレスリモコンキットから受信部（IND-SH1U）のみ取出し、②項ではずした6P（白）コネクタを接続して天井パネルに取付けます。

2.ワイヤレス操作部を取付けます。（図11）

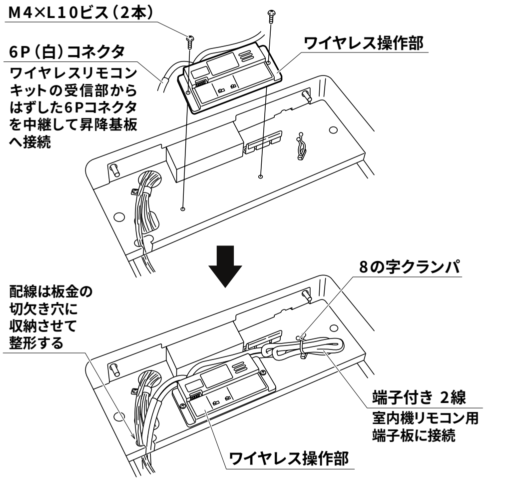
ご注意 A（J2）形の操作部はCR-TH1A、UN（J1N）形はCR-SH1Uになります。

① 操作部は天井パネルを表面にして、付属ビス（M4×L10　2本）で固定します。
② 操作部の端子付き2線は、室内機リモコン用端子板に接続します。（極性はありません。）配線は整形して8の字クランパで結束します。
③ 操作部の6P白コネクタにワイヤレスリモコンキット受信部からはずした6P白コネクタを接続し、もう一方の6P白コネクタは昇降基板に接続します。昇降メカふた（ビス3本）をはずし配線穴を通して昇降基板の6P白（CN005）コネクタに接続します。（図12）

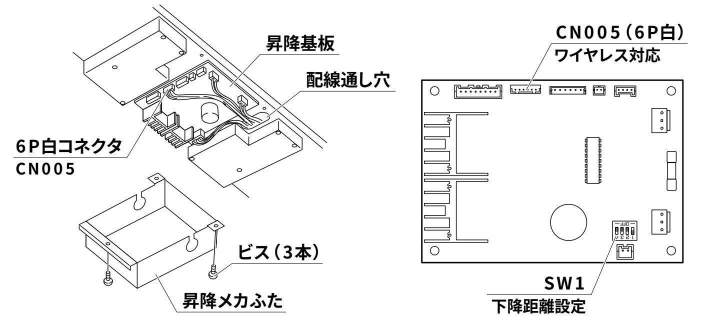
3.その他の電気配線のしかたは､“ ワイヤードリモコンまたは昇降リモコンで操作する場合 ”と同じです。



（図10）ワイヤレス受信部の付け替え



（図11）ワイヤレス操作部の取付けかた



（図12）昇降基板への接続

ワイヤレスリモコン／RCS-SS80B, WL,…別売品　施工

樹脂パネル

受信ユニットの取付けかた

操作部の取付けかた

①ビスを２本はずしてパネル裏側よりカバーＡをはずします。（図１）
②操作部を下図の場所に付属のビス（４×１０　２本）で固定してください。（図２）
③表示部用配線（Ｗ２、６Ｐ白コネクタ）をパネル裏側に通してください。

図１

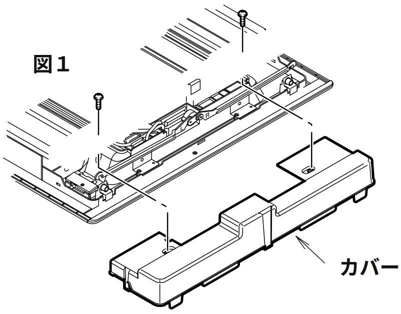
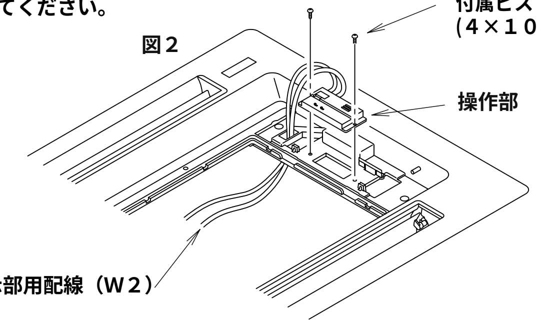


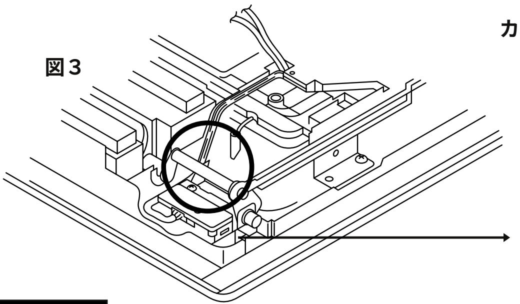
図２



表示部の取付けかた

①カバーＡ内部にカバーＢがはめ込まれているので、ビスを１本はずしてパネルの表側から押し込んではずします。（図３）
②操作部から出ている表示部用配線（Ｗ２）を表示部に接続し、パネルに表示部をはめ込みます。
　６Ｐ白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
③表示部のリード線をルーバーのシャフトに接触しないように整形します。
　図３の丸印の部分に配線通し用の溝がありますので、リード線がたるみまがないよう溝にはめ込んでください。
④カバーＡを取り付けます。このとき、図４の矢印の箇所を確実にはめ込んでください。
⑤操作部のリード線を整形し、付属のクランパーで固定してください。
⑥天井パネルを取り付けてください。

図３



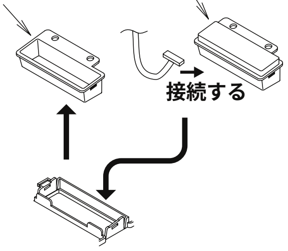
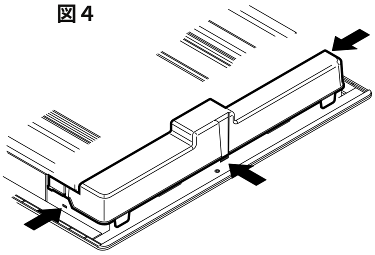


図４



金属パネル

操作部の取付けかた

①ビスを２本はずしてパネル裏側よりカバーＡをはずします。（図１）
②操作部を下図の場所に付属のビス（４×１０　２本）で固定してください。（図２）
③表示部用配線（Ｗ２、６Ｐ白コネクタ）をパネル裏側に通してください。

図１

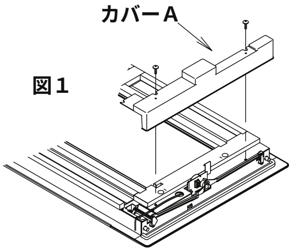
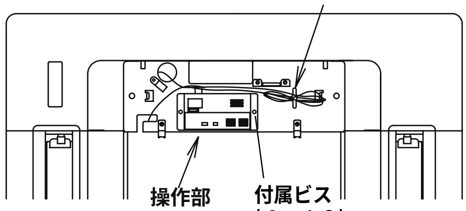


図２



表示部の取付けかた

①カバーＡ内部にカバーＢがはめ込まれているので、図３の箇所を広げながらはずします。
　カバーＢを固定しているテープ は輸送保護用ですので取り去ってください。
②操作部から出ている表示部用配線（Ｗ２）を表示部に接続し、パネルに表示部をはめ込みます。
　６Ｐ白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
③表示部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用してクランパーで固定します。（図４）
④カバーＡを取り付けます。
⑤操作部のリード線を整形し、８の字クランパーで固定してください。（図２）
⑥天井パネルを取り付けてください。

図３

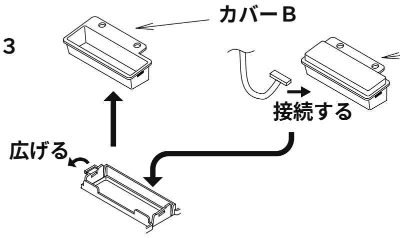
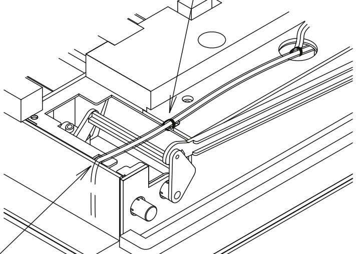


図４



〈注１〉操作部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
　※配線、試運転については“受信ユニットの配線のしかた”および“試運転について”を参照ください。

ワイヤレスリモコン／RCS-SH80A, WL,…別売品　施工

＜４方向天井カセット形＞

付　属　部　品

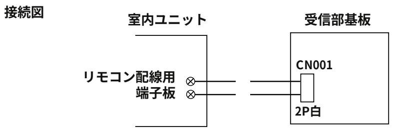
番号	付　属　部　品	個数
①	受信部	1
②	リモコン	1
③	リモコンホルダ	1
④	乾電池	2
⑤	取扱説明書	1
⑥	トラスタッピングねじ 4×16	2
⑦	クランパー	1
⑧	クランパー固定ねじ 4×12	1

アドレススイッチの合わせかた

- 同じ室内に複数の受信部が設置されているときに、混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
- 電池を交換してリセットボタンを押したときはリモコンのアドレスは「ALL」になりますので操作部のアドレススイッチの設定に関わらず受信可能です。
- リモコンのアドレス変更方法は取扱説明書をごらんください。
- 受信部のアドレス変更は、受信部の基板カバーのねじをはずして行ってください。終了後、もとどおりにクランパにて配線を止めながらねじで固定してください。

リモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	••••••	アドレス 6
受信部のアドレススイッチの位置	※受信部のアドレススイッチはどこでもよい	S001 4−6 1−3 アドレス切替 / S002 3 6 2 1 5 4 アドレス	S001 4−6 1−3 アドレス切替 / S002 3 6 2 1 5 4 アドレス	••••••	S001 4−6 1−3 アドレス切替 / S002 3 6 2 1 5 4 アドレス

受信部の配線のしかた



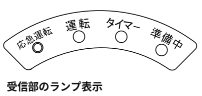
接続方法

・受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続してください。（極性はありません）

自己診断機能表と処置方法

●下の表は一例です。セット本体の詳細な警報については、室内ユニットの据付説明書をごらんください。

ランプ表示	原　因	処　置　方　法
運転 ●　タイマー ●　準備中 ● リモコン操作しても全く表示がない	電源が入っていない 受信部と室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 点滅　タイマー ●　準備中 ●	受信部と室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ●　タイマー ●　準備中 点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	
運転 点滅　タイマー ●　準備中 点滅（交互点滅）	室外機の保護装置が作動	室外機をチェックしてください。
運転 ●　タイマー 点滅　準備中 点滅（交互点滅）	室内ユニットの保護装置が作動	室内ユニットをチェックしてください。



受信部のランプ表示

●：消灯　☼：点滅（0.5秒間隔）

ワイヤードリモコンと同時設置される場合のお願い

ワイヤレスリモコンキットは、ワイヤードリモコンを同時設置することにより、2リモコン制御が可能です。
（ワイヤレスリモコンキット、ワイヤードリモコンを合わせて最大2台まで設置可能です）
この2リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを複数個のリモコンで操作するものです。

〈注〉リモコン配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。
（AC200Vを印加するとこわれます）

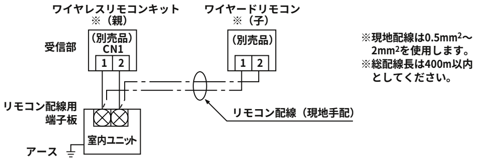
〈注〉ワイヤレスリモコンキットを1台の室内ユニットに複数個同時使用することはできません。
（別置き受信部は併用可能です）

〈注〉ワイヤレスリモコンキットとワイヤードリモコンを同時設置して使用する場合は、どちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

- ワイヤードリモコンを子にする場合は、ワイヤードリモコン基板裏のアドレスコネクタをリモコン親→リモコン子にさしかえてください。
- ワイヤレスリモコンを子にする場合は、ワイヤレス受信部基板のディップスイッチ［8003］の3番をOFF→ONにしてください。

室内ユニット1台をリモコン2台で操作する場合

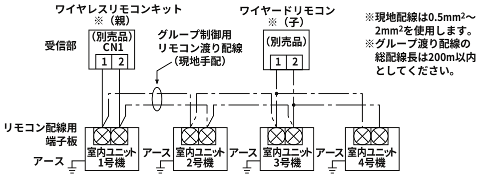
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



※現地配線は0.5mm²～2mm²を使用します。
※総配線長は400m以内としてください。

複数台グループ制御ををリモコン2台で操作する場合

※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。

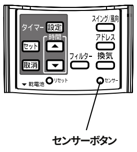


※現地配線は0.5mm²～2mm²を使用します。
※グループ渡り配線の総配線長は200m以内としてください。

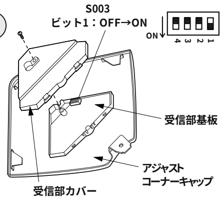
室温センサーの設定について

- 室温センサーは、室内ユニットとワイヤレスリモコンに内蔵されています。室温センサーはどちらか一方で動作します。
- 出荷時は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには、リモコンカバー内のセンサーボタン（右図）を押し、液晶表示面から“本体センサー”が消えたことを確認してください。

〈注〉センサー切換が、リモコン側に設定されていてもリモコンからの室温データが10分間ユニットに伝わらない場合には自動的にユニット側のセンサーに切換わってしまいます。リモコンはできるだけユニットに向けて、取り付けてください。



試運転について



●「試運転」のご使用方法

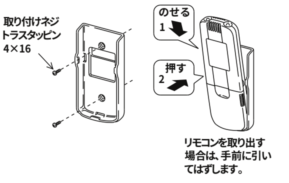
1. 受信部基板のディップスイッチ［S003］の1番を、OFF→ONにします。
2. 試運転中は、表示部の表示ランプがすべて点滅します。
3. 試運転中は、温度調節はできません。
4. 試運転終了後は、必ず“1”のスイッチを、OFF→ONにして表示ランプの点滅のないことを確認してください。また、基板カバーをもとどおりに固定してください。

〈注1〉機械に無理がかかりますので、試運転時のみご使用してください。

リモコンの取り扱いかた

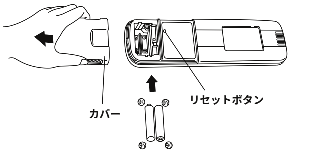
●リモコンを壁などに取り付けてご使用になる場合

取り付ける位置で「運転／停止」ボタンを押し、正常に受信されることをご確認ください。



●電池の交換方法

❶ カバーの両端を持ち、下にずらしてはずします。
❷ 単4形アルカリ乾電池を2本入れます。＋－極を表示に従って正しく入れます。
❸ リセットボタンを先の細いもので押してからカバーを取り付けます。



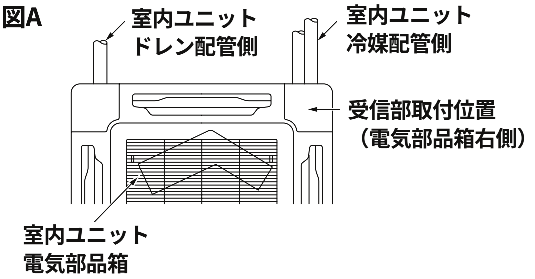
ワイヤレスリモコン／RCS-SH80A, WL,…別売品　施工

＜４方向天井カセット形＞

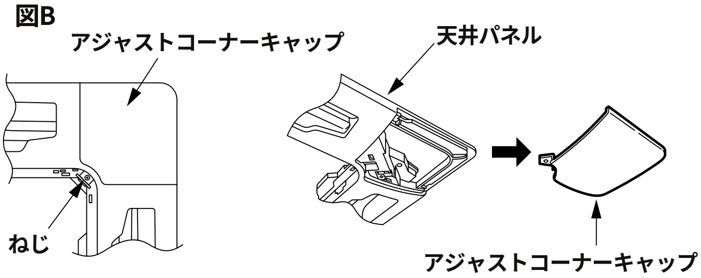
受信部の取り付けかた

※受信部を取り付けられるコーナー部は図Aの場所のみですので、パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。
① 吸込グリルをはずします。
② アジャストコーナーキャップを固定しているネジをはずし、アジャストコーナーキャップを横にスライドさせてはずします。（図B）

図A

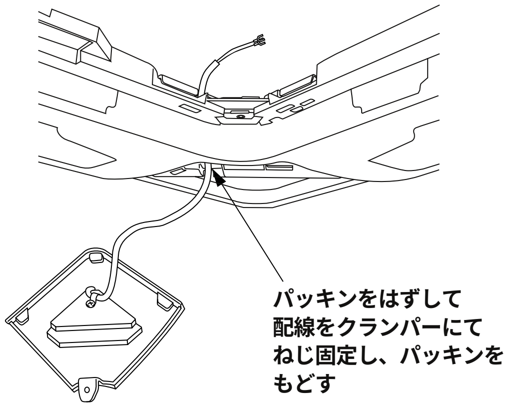


図B

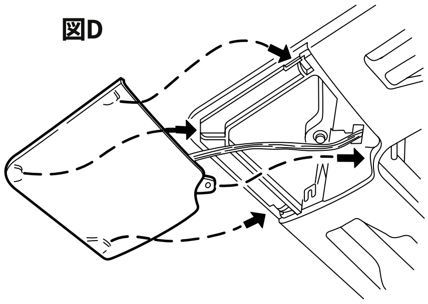


③ パネルの配線を通すための角穴にパッキン（スポンジ）が詰めてありますので、いったんはずしてからワイヤレス用の受信部から出ている配線を、グリルの中を通します。配線をクランパーでねじ固定し、はずしたパッキンをもとどおりに詰めておきます。（図C）
※このパッキンを戻さないと配線が結露するおそれがありますので、必ずもとどおりに取り付けてください。
④ 下記 “ 受信ユニット配線のしかた ” により配線したあと、受信部のアジャストコーナーキャップがはずせる長さの配線をのこし、クランパーにてねじ固定します。（図C）
⑤ 受信部をパネルに取り付けます。この時、爪が3個所とも収まるようにスライドさせてください。また、配線をはさまないようにご注意ください。（図D）
※パネルに梱包されている取付説明書をご参照ください。

図C



図D



〈注1〉操作部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
※配線、試運転については “ 受信部の配線のしかた ” および “ 試運転について ” を参照ください。

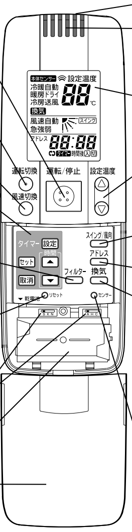
ワイヤレスリモコン／RCS-SH1A（壁掛形用）…付属品　機能と操作

ワイヤレスリモコンをお使いの場合

ワイヤレスリモコン

●１台のリモコンで最大８台までグループ制御できます。（☞６ページ）
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。
例：運転／停止ボタン→ 運転／停止

（RCS-SH1A）



運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。（☞6ページ）

フィルターボタン
このボタンを押しても機能しません。

リセットボタン
電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使用します。

スライドスイッチ
（☞右図）

乾電池収納部
（☞５ページ）

カバー
両サイドを持って下にスライドします。

送信部

リモコンセンサー
センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感知します。

運転表示部
運転状態を表示します。
（図は全部を表示した状態です。）

設定温度ボタン
△ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▽ 設定温度を１℃ずつ下げます。

スイング／風向ボタン
（☞11ページ）

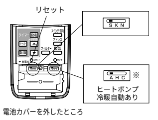
アドレスボタン
（☞５ページ）

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※電池交換をしたときは換気ボタンを４秒以上押し続けると 換気 と表示され使えるようになります。

センサーボタン
リモコン側の温度センサーにするときに使用します。
出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に 本体センサー が表示されます。（グループ制御時は本体側（本体センサー）をご使用ください。）

スライドスイッチについて

●ご使用になる前にスライドスイッチが下図の位置になっていることを確認してください。
（出荷時のスライドスイッチは下図の設定になっています。）
スライドスイッチの合わせかたについて、詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。
●スイッチは先の細いもので切り換えてください。
●スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。



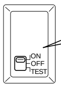
電池カバーを外したところ

注）※室外機が冷専の場合はＣの位置にしてください。

応急運転のしかた

次のようなとき、室内ユニット操作部の運転スイッチを使って応急的に運転してください。

● リモコンの乾電池の容量がなくなった。
● リモコンが故障した。
● リモコンを紛失した。



運　転	停　止
運転スイッチ をいったん「OFF」にします。その後「ON」にします。 ヒートポンプをお使いの場合、運転を開始する時の室温が24℃以上の時は冷房運転、室温が24℃未満の時は暖房運転になります。	**運転スイッチ を「OFF」にします。**

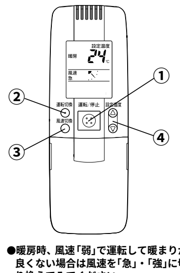
ご注意

● **TEST は据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。**
● **リモコンの操作を再開する場合は、運転スイッチを必ず ON にしてください。**
OFF になっているとリモコンからの信号は受けつけません。

運転のしかた　ワイヤレスリモコンをお使いの場合

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

●冷房専用形は、冷暖自動・暖房運転が出来ません。



電源	**手元電源スイッチを入れてください。** **・運転開始12時間以上前** （SPW-CHRVPシリーズ SPW-CHREPシリーズ SPW-CREPシリーズ） **・運転開始５時間以上前** （SPW-CHRPシリーズ SPW-CRPシリーズ）
①	**運転／停止 を押します。**
②	**運転切換 を押して、** **冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。（ドライ運転　　14ページ）**
③	**風速切換 を押して、** **お好みの風速にします。** **自動にすると、風速は自動的に切り換わます。** **（送風時は自動になりません。）**
④	**設定温度 △ ▽ を押して、お好みの温度にします。** （下表） ※送風時は温度設定ができません。
停止	**運転／停止 を押します。** **リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。**

	上　限	下　限
冷　暖　自　動	27	17
暖　　　　房	26	16
ドライ・冷房	30	18

●**暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。**
●**通常の方法で停止できないとき**
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

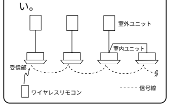
冷暖自動について

設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

●ヒートポンプ形をお使いの場合“ピッ・ピー”という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転／停止・運転切換・設定温度 を操作したとき、“ピッ”という音が５回して、変更を受け付けません。

室内外ユニット複数台の同時運転について

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。
●１台のリモコンで室内ユニット最大８台まで操作できます。
●すべての室内ユニットが同じ設定となります。
●温度センサーは室内ユニット側（本体センサー）をご使用ください。



タイマー運転のしかた

●**タイマー設定後リモコンは受信部（室内ユニット本体）に信号が届く位置に置いてください。（タイマー運転の信号はリモコンから送ります。）**
●**運転表示中にタイマー設定を行ってください。**

こんな時にお使いください		表示中
あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	**切タイマー**	切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	**くり返し切タイマー**	⟳ 切
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	**入タイマー**	⟳ 入

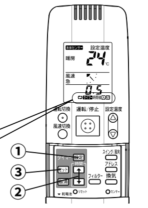
タイマー時間について

▲	を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。 上限は72.0時間です。
▼	を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。 下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー 設定 を押すごとに次のように切り換ります。

切 → ⟳ 切 → 入 → 表示なし → 切



〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

①	**タイマー 設定 を１回押すとリモコンに 切 と時間が点滅します。**
②	**時間 ▲ ▼ を押して時間を0.5に合わせます。**
③	**セット を押します。** **切 と時間が点灯します。**

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

①	**タイマー 設定 を２回押すとリモコンに ⟳ 切 と時間が点滅します。**
②	**時間 ▲ ▼ を押して時間を2.5に合わせます。**
③	**セット を押します。** **⟳ 切 と時間が点灯します。** **切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、運転／停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。**

入タイマー運転のしかた

（例）８時間後に運転をさせたいとき

①	**タイマー 設定 を３回押すとリモコンに 入 と時間が点滅します。**
②	**時間 ▲ ▼ を押して時間を8.0に合わせます。**
③	**セット を押します。** **運転表示が消えて 入 と時間が点灯します。**

タイマー運転中止のしかた

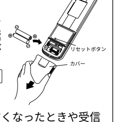
取消 を押します。タイマー表示が消えます。

リモコンの取り扱いかた　ワイヤレスリモコンをお使いの場合

リモコンの取り扱いかた

乾電池の入れかた

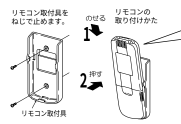
①カバーの両側を持ち、下にずらしてはずします。
②単４形アルカリ乾電池を２本入れます。⊕⊖ 極を正しく、表示にしたがって入れます。
③先の細いもので リセット を押してからカバーを取り付けます。



●リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。
（アルカリ乾電池の交換は約1年が目やすです。）
●乾電池の取り換えは２本とも新しい同種のものをお使いください。
●リモコンを長時間ご使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。

●リモコンの送信部は、受信部（室内ユニット本体）に向けてください。正常に受信されると“ピッ”と１回音がします。（運転開始時のみ“ピッピッ”と2回音がします。）
●受信できる距離は、約８ｍです。この距離は目やすです。乾電池の容量等により、若干前後します。
●受信部（室内ユニット本体）との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
●直射日光やエアコン本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
●落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
●電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）、またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。詳しくはお買いあげの販売店にご連絡ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合



●壁に取り付ける位置で 運転／停止 を押し、正常に受信されることをご確認ください。
●リモコンを取り出す場合は手前に引いてはずします。

アドレススイッチについて

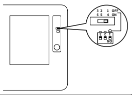
同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
室内ユニット内部のアドレススイッチとリモコンのアドレスの数字を合わせることにより６台までの室内ユニットをおのおのに対応するリモコンで個別に制御することができます。（フレキシブルコンビネーション等でお使いの場合は、同時運転ですので個別に制御することはできません。）
室内ユニット内部には受信用、リモコンには送信用のアドレススイッチがあります。
詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

アドレスの確認方法

リモコンのアドレスボタンを押すと、リモコンの表示部に現在のアドレスを表示します。このアドレスが室内ユニット内部のアドレスと一致していればブザーが鳴ります。（ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります。）
ALLになっていれば､室内ユニット内部のアドレスに関わらずに操作できます。
操作したい受信部（室内ユニット本体）にリモコンを向けて送信してください。
※出荷時または電池交換後のリモコンのアドレスは「ALL」になっています。

室内ユニット内部のアドレススイッチの位置

室内ユニット内部の基板上にスイッチがあります。詳しくは、お買いあげの販売店にご連絡ください。



リモコンのアドレス設定

①アドレスボタンを４秒以上押し続けると、リモコン表示部に「アドレス」が点灯し、現在のアドレスが点滅表示されます。
②リモコンのアドレスボタンを押すごとに ALL→1→2→3…→6→ALL と切り換わります。
操作したい室内ユニットのアドレススイッチに合わせてください。
③ セット ボタンを押すと、アドレス表示が点灯に変わり、５秒間アドレスを表示します。
室内ユニットのアドレススイッチと一致していればブザーがなります。

リモコンのアドレス表示（リモコンのアドレスボタンの位置については☞4ページ）	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	…	アドレス 6
室内ユニット内部のアドレススイッチの位置	※操作部のアドレススイッチはどこでもよい	3 2 1 OFF / 6 5 4 ON	3 2 1 OFF / 6 5 4 ON	…	3 2 1 OFF / 6 5 4 ON ※1.2.3はつまみを上(1)に4.5.6はつまみを下(ON)にしてください

上手な使いかた

●**リモコンと室内ユニット本体は離れすぎない**
誤動作の原因になります。リモコンと室内ユニット本体は必ず同じ部屋に置いてください。
●**リモコンの送信部は室内ユニット本体に向ける**
正常に受信すると“ピッ”と音がします。
●**カーテン等でリモコンがおおわれるところは避ける**
取り出しておいてください。

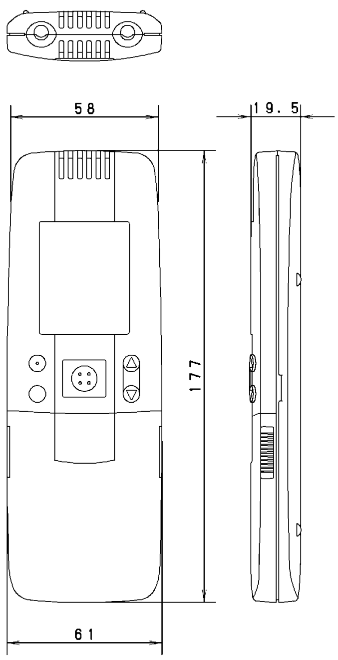
ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　仕様

■仕様

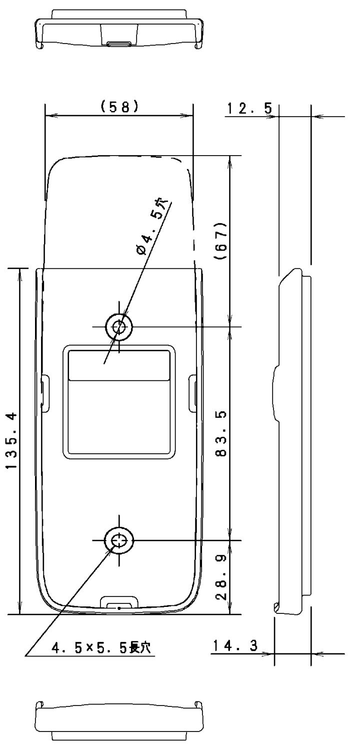
ワイヤレスリモコン	（高さ）177 ×（幅）61×（奥行）20㎜
受　信　部	（縦） 65 ×（横）130 ×（奥行）22㎜
電　　源	DC 16V （室内ユニットのリモコン端子板より供給）
付　属　品	取扱説明書、据付工事説明書 リモコン取付具、ネジ

■外形寸法図

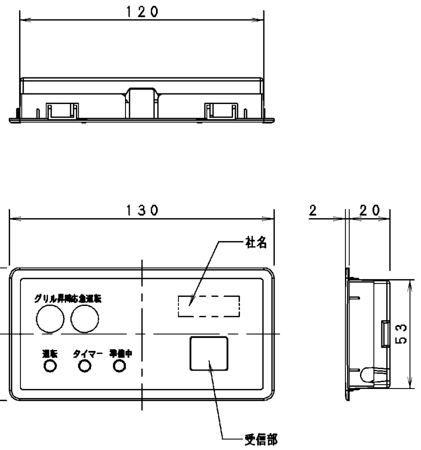
ワイヤレスリモコン寸法図



リモコンホルダー（付属）寸法図



受信部寸法図

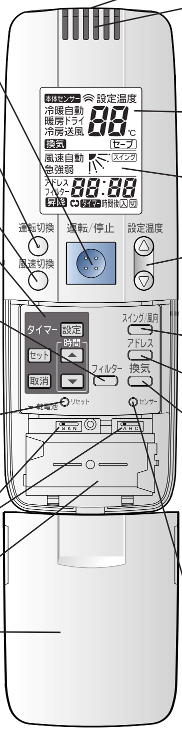


ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　機能と操作

各部のなまえとはたらき

リモコン　●１台のリモコンで最大８台までグループ制御できます。（☞７ページ）

（RCS-SH1A）



運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。　（☞６ページ）

フィルターボタン
別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続したときに使用します。　（☞８ページ）

リセットボタン
電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使用します。（☞８ページ）

スライドスイッチ
（☞９ページ）

乾電池収納部
（☞９ページ）

カバー
両サイドを持って下にスライドします。

送信部

リモコンセンサー
センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感知します。

運転表示部
運転状態を表示します。
(図は全部を表示した状態です。)

●オートフラップ表示は設置ユニットによって異なります。　（☞７ページ）

設定温度ボタン
△ 設定温度を1℃ずつ上げます。
▽ 設定温度を1℃ずつ下げます。

スイング／風向ボタン
（　７ページ）

アドレスボタン
（☞11 ページ）

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。(換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。)
※電池交換をしたときは換気ボタンを４秒以上押し続けると 換気 と表示され使えるようになります。

センサーボタン
リモコン側の温度センサーにするときに使用します。
出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に 本体センサー が表示されます。

各部のなまえとはたらき

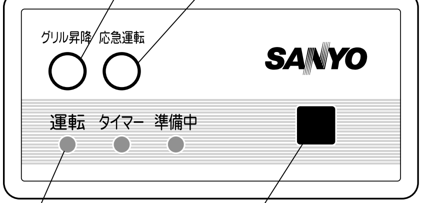
●受信部は室内ユニット本体に取り付けてあります。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。
例：運転/停止ボタン→ 運転/停止

受信部

（CR-TRP1AN）

グリル昇降ボタン
（☞８ページ）

応急運転ボタン
（☞12ページ）



表示ランプ
異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときは「修理を依頼される前に」の頁(13ページ)をご覧ください。

受信部
リモコンから送信された信号を受信します。

運転ランプ
運転中は点灯します。

タイマーランプ
タイマー予約中は点灯します。

準備中ランプ
●暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはたらいたとき、霜取運転中。
●異常発生中は点滅します。

以下のスイッチは受信部の裏側にあります。設定はお買い上げの販売店にご相談ください。

通常／全停止スイッチ
「通常」の位置でご使用ください。「全停止」の位置では運転できません。

リモコン・親／リモコン・子、スイッチ
通常「リモコン・親」でご使用ください。
ワイヤードリモコン（別売品）との併用も可能です。

テスト・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

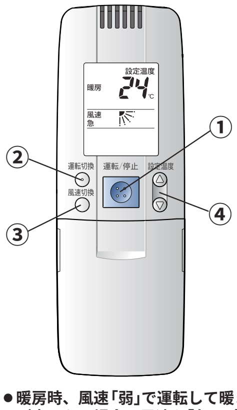
試運転・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

アドレススイッチ
（☞11 ページ）
送信、受信の信号を区別します。

●ヒートポンプ形をお使いの場合“ピッ・ピー”という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作）
●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転／停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、“ピッ”という音が５回して、変更を受け付けません。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風　●冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。



電源	手元電源スイッチを運転開始の５ 時間以上前に入れてください。
①	運転／停止 を押します。
②	運転切換 を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。
③	風速切換 を押して、お好みの風速にします。自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）
④	設定温度 △ ▽ のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止	運転／停止 を押します。リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

●暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
お使いの室内ユニットによっては表示はされますが機能がありません。
（風速は一定です。）
●通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

冷暖自動について

同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっているとき、設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

ドライ運転について

●お使いの室内ユニットによっては、リモコンの表示部にドライが表示されてもドライ機能はありません。(冷房運転と同一)
●室温が設定温度近くになりますと自動的に運転、停止を繰り返します。
●できるだけ湿気を再びお部屋に戻さないため、運転が停止すると室内ファンは微風運転となります。
●お使いの室内ユニットによって、または室温の状態によっては風速調節はできません。
●お使いのユニットによっては外気温度15℃以下のときは、ドライ運転はできません。

タイマー運転のしかた

●タイマー設定後リモコンは受信部（室内ユニット本体）に信号が届く位置に置いてください。
（タイマー運転の信号はリモコンから送ります。）
●運転表示中にタイマー設定を行ってください。

こんな時にお使いください		表示中
あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	🔁 切
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

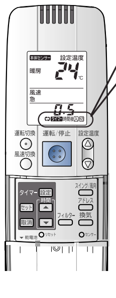
タイマー時間について

▲ を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつふやします。
上限は72.0時間です。
▼ を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつへらします。
下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー 設定 を押すごとに次のように切り換ります。.

切 → 🔁 切 → 入 → 表示なし → 切



〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

(例) 30分後に運転を停止させたいとき

①	タイマー 設定 を１回押すとリモコンに 切 と時間が点滅します。
②	時間 ▲ ▼ を押して時間を0.5に合わせます。
③	セット を押します。切 と時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

(例) 毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

①	タイマー 設定 を２回押すとリモコンに 🔁 切 と時間が点滅します。
②	時間 ▲ ▼ を押して時間を2.5に合わせます。
③	セット を押します。🔁 切 と時間が点灯します。切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

(例) ８時間後に運転をさせたいとき

①	タイマー 設定 を３回押すとリモコンに 入 と時間が点滅します。
②	時間 ▲ ▼ を押して時間を8.0に合わせます。
③	セット を押します。運転表示が消えて 入 と時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

取消 を押します。タイマー表示が消えます。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　機能と操作

風向調節のしかた

- リモコンで操作するフラップ(上下風向調節板)は絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップ(上下風向調節板)が自動的に下向きになります。
- 暖房準備時にはフラップ(上下風向調節板)が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンのオートフラップ表示は暖房準備中でもスイング表示します。

風向きを設定するときは

運転中、［スイング／風向］を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは

［スイング／風向］を押し、フラップ（上下風向調節板　）の向きを1番下に設定し、もう1度［スイング／風向］を押すことによりスイングが表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

スイングを止めるときは

フラップのスイング中にもう１度［スイング／風向］を押すことにより、フラップをお好みの位置で止めることができます。その後［スイング／風向］を押すと再び風向きを１番上から設定できます。

※冷房・ドライ時にはフラップは下向きでは止まりません。スイング中にフラップ下向きの状態で止めても、上から３番目の位置まで動いてから止まります。

暖　房　時

フラップ(上下風向調節板)は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。

初期設定

冷房・ドライ時

フラップ(上下風向調節板)は上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。

初期設定

送　風　時

初期設定

すべての運転時

スイング

連続動作

スイングを止めたときの表示

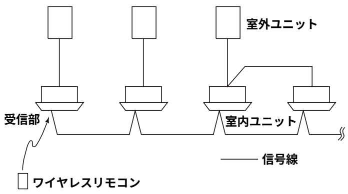
送風・暖房時　　冷房・ドライ時

室内外ユニット複数台の同時運転について（グループ制御）

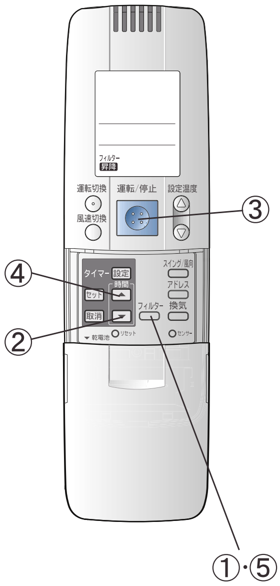
グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- 1台のリモコンで室内ユニット最大８台まで操作できます。
- すべての室内ユニットが同じ設定となります。
- 温度センサーは室内ユニット側（本体センサー）をご使用ください。

（☞ ３ページ）



昇降グリルの操作方法（別売の昇降グリルキットが接続されている場合）



① ［フィルター］を4 秒以上押し続けるとリモコンの表示部に［フィルター 昇降］が点灯します。(室内ユニットの運転は停止します。)

② **下降させるとき**
時間［▼］を押すと昇降グリルはゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

③ **停止させるとき**
［運転／停止］を押すと昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、自動的に停止します。
※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

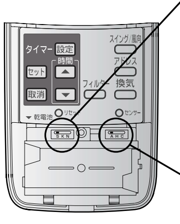
④ **上昇させるとき**
時間［▲］を押すと昇降グリルは上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

⑤ ［フィルター］を4 秒以上押し続けると表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に［フィルター］を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。
再度、昇降グリルを動かしたいときは、①に戻ってください。

- リモコンの送信部は操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。（到達距離3～5m）
- 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。
- 受光部のグリル昇降ボタンでも操作できます。その場合、ボタンを押すごとに下降→停止→上昇→停止の動作を繰り返します。**(グリル昇降ボタンは１秒程度押し続けてください)**

スライドスイッチについて

- お使いの室内ユニットによって運転表示と風向表示の設定が下記のように異なります。
- スイッチは先の細いもので切り換えてください。
- スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。



電池カバーを外したところ

	フラップ切換対応機種
スライドスイッチの位置	S K N
リモコンのフラップ位置	風速 急　スイング

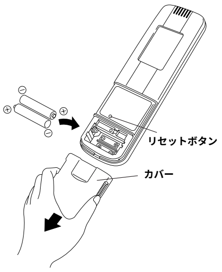
	ヒートポンプ(冷暖自動あり)	ヒートポンプ(冷暖自動なし)	冷房専用
リモコンの運転モード表示	冷暖自動 暖房 ドライ 冷房 送風	暖房 ドライ 冷房 送風	ドライ 冷房 送風
スライドスイッチの位置	A H C	A H C	A H C

- ご使用になる前にスライドスイッチが上図の位置になっていることを確認してください。スライドスイッチの合わせかたについて詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

乾電池の入れかた

①カバーの両側を持ち、下にずらしてはずします。
②単4形 アルカリ乾電池を2本入れます。⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
③先の細いもので［リセット］を押してからカバーを取り付けます。

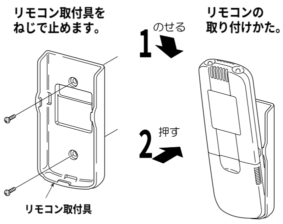
- リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。(アルカリ乾電池の交換は約1年が目やすです。)
- 乾電池の取り換えは2本とも新しい同種のものをお使いください。
- リモコンを長時間ご使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。



リモコンの取り扱いかた

- リモコンの送信部は、受信部(室内ユニット本体)に向けてください。正常に受信されると“ ピッ ”と1 回音がします。(運転開始時のみ“ ピッピッ ”と2回音がします。)
- 受信できる距離は、約8m です。この距離は目やすです。乾電池の容量等により、若干前後します。
- 受信部(室内ユニット本体)との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- 直射日光やエアコン本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
- 落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
- 電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)、またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。詳しくはお買いあげの販売店にご連絡ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合



- 壁に取り付ける位置で［運転／停止］を押し、正常に受信されることをご確認ください。
- リモコンを取り出す場合は手前に引いてはずします。

上手な使いかた

●リモコンと受信部(室内ユニット本体)は離れすぎない

誤動作の原因になります。
リモコンと受信部(室内ユニット本体)は必ず同じ部屋に置いてください。

●リモコン操作は受信部(室内ユニット本体)に向ける

正常に受信すると“ ピッ ”と音がします。

●カーテン等でリモコンがおおわれるところは避ける

取り出しておいてください。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　機能と操作

アドレスについて

マルチ及びシングル設置の場合で同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
受信部のアドレススイッチとリモコンのアドレスの数字を合わせることにより6 台までの室内ユニットをおのおのに対応するリモコンで個別に制御することができます。(フレキシブルコンビネーション、同時運転マルチ等でお使いの場合は、同時運転ですので個別に制御することはできません。)
受信部(室内ユニット内部)には受信用、リモコンには送信用のアドレススイッチがあります。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

アドレスの確認方法

リモコンの アドレス を押すと、リモコンの表示部に現在のアドレスを表示します。このアドレスが受信部（室内ユニット内部）のアドレスと一致していればブザーが鳴ります。
（A L Lになっていれば必ずブザーが鳴ります。）
A LLになっていれば、受信部（室内ユニット内部）のアドレスに関わらずに操作できます。操作したい受信部（室内ユニット本体）にリモコンを向けて送信してください。

アドレスの合わせかた

リモコンのアドレス設定
① アドレス を4 秒以上押し続けると、リモコン表示部に「アドレス」が点灯し、現在のアドレスが点滅表示されます。
② アドレス を押すごとにA LL→ 1→ 2→ 3… → 6 → ALL と切り換わります。
操作したい室内ユニットの受信部アドレススイッチに合わせてください。
③ セット を押すと、アドレス表示が点灯に変わり、5 秒間アドレスを表示します。
受信部のアドレススイッチと一致していればブザーがなります。

リモコンのアドレス表示（リモコンの アドレス の位置については（☞3ページ）	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	……	アドレス 6
受信部（室内ユニット内部）のアドレススイッチの位置	※操作部のアドレススイッチはどこでもよい	アドレス 1 2 3 / 4 5 6 S001 S002	アドレス 1 2 3 / 4 5 6 S001 S002	……	1.2.3はつまみを左側に 4.5.6はつまみを右側にしてください アドレス 1 2 3 / 4 5 6 S001 S002

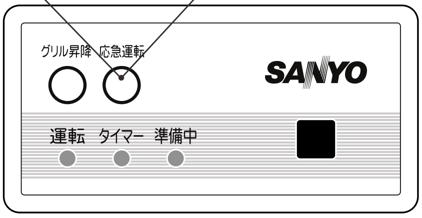
応急運転のしかた

次のようなとき、受信部（室内ユニット）の 応急運転 を使って応急的に運転してください。

- ●リモコンの乾電池の容量がなくなった。
- ●リモコンが故障した。
- ●リモコンを紛失した。

運転　応急運転 を押します。
（室温が24℃以上の時に運転を開始すると冷房運転になります。
室温が24℃未満の時に運転を開始すると暖房運転になります。）

停止　応急運転 をもう１度押します。



ご注意

●試運転･入 、テスト･入 スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。
通常は使用しないでください。

●通常/ 全停止スイッチが全停止になっているとリモコンからの信号は受けつけません。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

症状		原因	処置
もう一度お調べください	スイッチを入れても運転しない	停止中？または停電後？	再度､リモ コンの 運転/停止 を押す。
		手元電源スイッチは？	切れていたら入れる。
		ヒューズは？	切れていたらお買いあげの販売店にご連絡ください。
		入タイマー運転になっていませんか？	タイマー運転を取り消す。
		受信部の通常／全停止スイッチは「全停止」になっていませんか？	「通常」の位置にして運転を取り消す。
		リモコンの乾電池が消耗していませんか？	乾電池を交換する。
		表示ランプが冷暖不一致または冷暖自動なしの状態になっていませんか？	運転モードを変更してください。
冷房専用形なのに、表示部に冷暖自動または暖房が表示される。			リモコンのスライドスイッチの設定を変更してください。（☞９ページ）

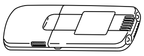
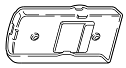
（☼＝点滅、●＝点灯）

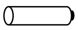
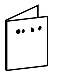
症状		原因
お買い上げの販売店にご連絡ください	〈表示ランプが点滅する〉 運転 ☼　タイマー ●　準備中 ●	●受信部と室内ユニットとの通信異常です。または、ワイヤードリモコン使用時のアドレス設定異常です。
	運転 ●　タイマー ●　準備中 ☼	●室内ユニットと室外ユニットとの通信異常です。
	運転 ●　タイマー ☼　準備中 ☼	●室内ユニットの保護装置が動作しています。または、天井パネルのオートフラップコネクタが、はずれています。
	運転 ☼　タイマー ●　準備中 ☼	●室外ユニットの保護装置が動作しています。
	運転 ☼　タイマー ☼　準備中 ●	●温度センサーが異常です。
	運転 ●　タイマー ☼　準備中 ●	●室外ユニットの圧縮機を保護しています。
	運転 ☼　タイマー ☼　準備中 ☼	●試運転中です。試運転スイッチをOFFにしてください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから手元電源スイッチを切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、表示ランプが点滅したときは、その内容もご連絡ください。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　施工

付 属 部 品

番 号	付　属　部　品		個 数
①	受信部		1
②	リモコン		1
③	リモコン取付具		1

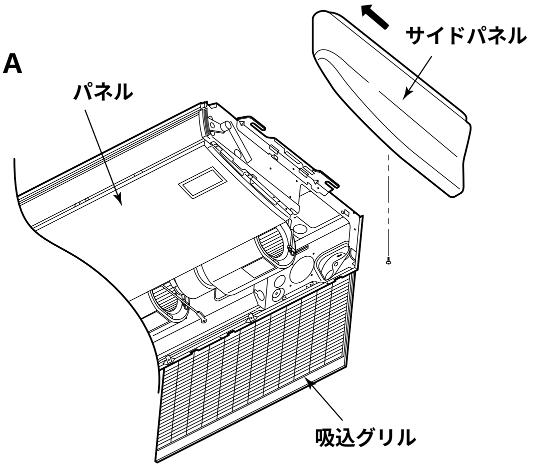
番 号	付　属　部　品		個 数
④	乾電池		2
⑤	取扱説明書		1
⑥	トラスタッピングネジ 4×16		2

天井吊形

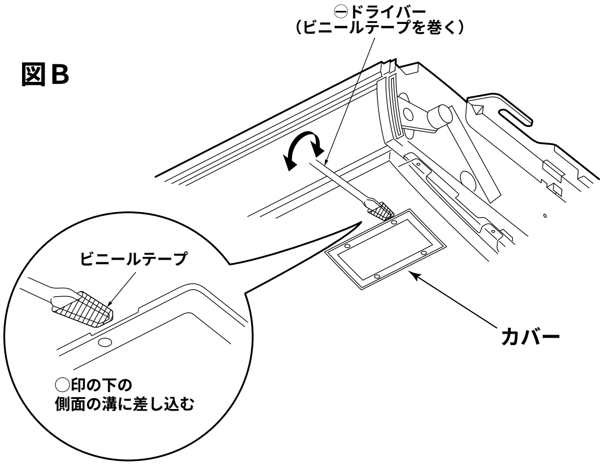
受信部の取付けかた

❶サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図Ａ）
❷ ㊀ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（図Ｂ）
（パネルにキズを付けないように注意してください。）
❸パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取付けます。
（受信部の突起部がパネル穴で固定されます。）
❹受信部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定しているクランパーに固定します。（図Ｃ）
❺サイドパネルを取付けます。
❻受信部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてクランパーで固定します。（図Ｄ）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。

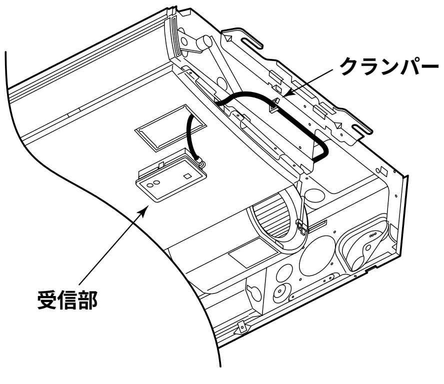
図Ａ

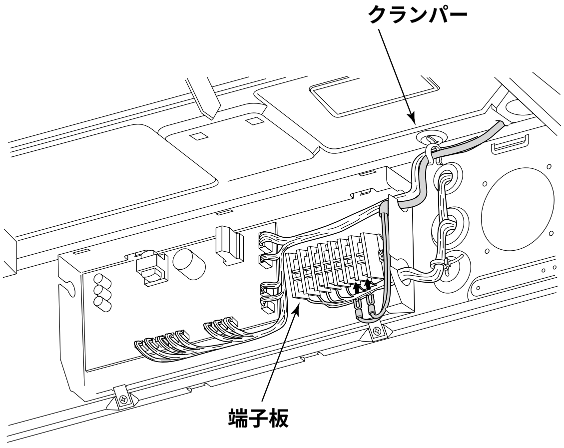


図Ｂ



図Ｃ





〈注１〉操作部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
※配線、試運転については“受信部の配線のしかた”および“試運転について”を参照ください。

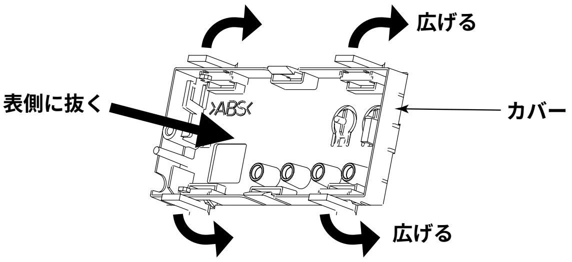
85464359708000

高天井用一方向形に取り付ける場合

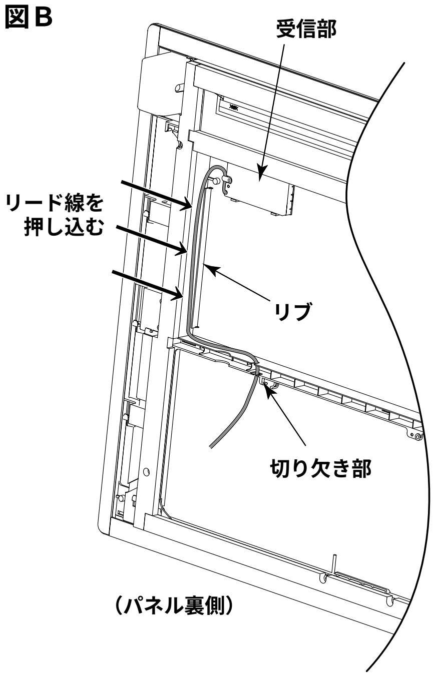
受信部の取付けかた

❶カバーのツメを広げながら、パネルの表側に抜きます。（図Ａ）
❷パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取付けます 。
　（受信部の突起部がパネル穴で固定されます。）
❸受信部のリード線をパネル裏のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図Ｂ）
❹パネルを室内機に取り付けます。
❺パネルから出たリード線は室内機天面のクランパーで固定します。（図Ｃ）
❻リード線をファンケーシングのラッチに付属のクランパーで固定し、電装ボックスの下側の穴から引き込んでリモコン端子板に接続します。（図Ｄ）

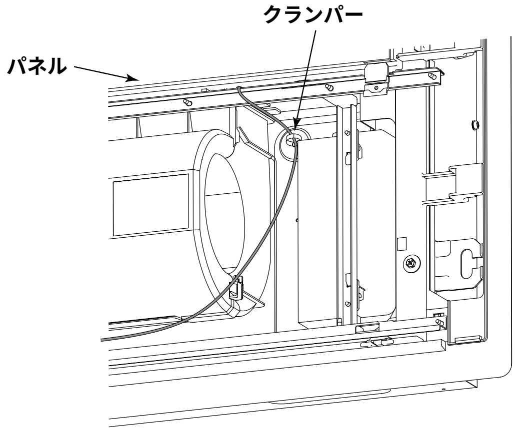
図Ａ



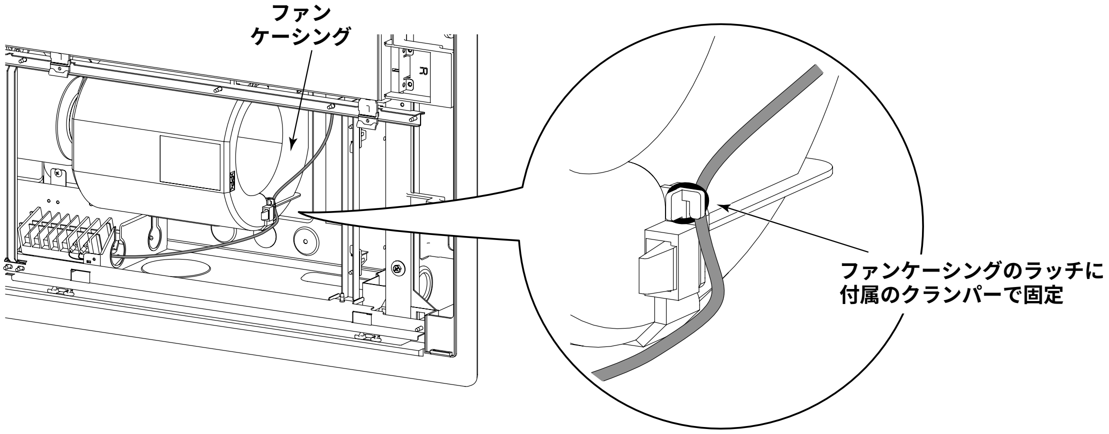
図Ｂ



図Ｃ



図Ｄ

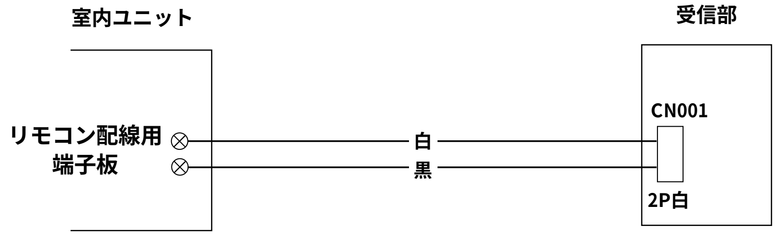


〈注１〉受信部のリード線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
　※配線、試運転については「据付(電電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」の“受信部の配線のしかた”および“試運転について”を参照ください。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　施工

受信ユニットの配線のしかた

接続図



接続方法

受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続してください。（極性はありません）

ワイヤードリモコンと同時設置される場合のお願い

ワイヤレス受信ユニットは、ワイヤードリモコンと同時設置することにより、2リモコン制御が可能です。
（ワイヤレスリモコン、ワイヤードリモコンを合わせて最大２台まで設置可能です）
この２リモコン制御は、１台もしくは複数台のユニットを複数個のリモコンで操作するものです。

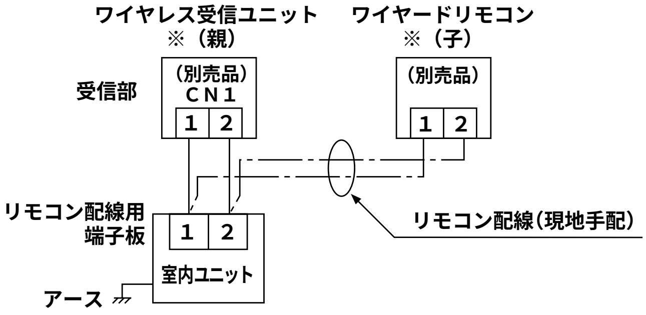
〈注〉リモコン配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。
（AC200Vを印加するとこわれます）

〈注〉ワイヤレス受信ユニットを１台の室内ユニットに複数個同時使用することはできません。
（別置き受信部は併用可能です）

〈注〉ワイヤレス受信ユニットとワイヤードリモコンを同時設置して使用する場合は、どちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

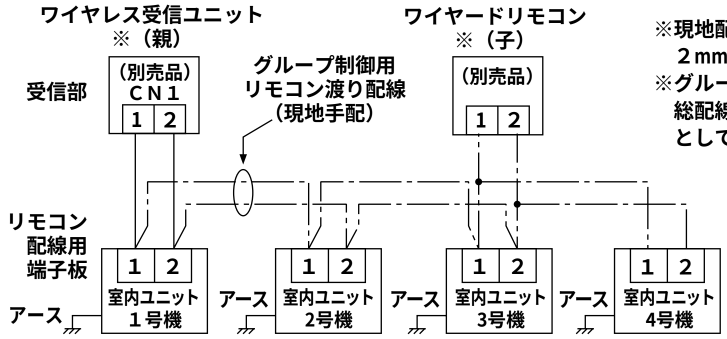
- **ワイヤードリモコンを子にする場合は、ワイヤードリモコン基板裏のアドレスコネクタをリモコン親→リモコン子にさしかえてください。**
- **ワイヤレスリモコンを子にする場合は、ワイヤレス受信部のディップスイッチの３番をOFF→ONにしてください。**

室内ユニット1台をリモコン2ヵ所設定で操作する場合
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



※現地配線は0.5mm²～2mm²を使用します。
※総配線長は400m以内としてください。

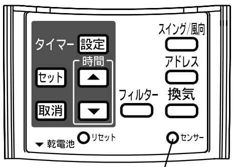
複数台グループ制御を、リモコン2ヵ所設定で操作する場合
※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。



※現地配線は0.5mm²～2mm²を使用します。
※グループ渡り配線の総配線長は200m以内としてください。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　施工

室温センサーの設定について



- 室温センサーは、室内ユニットとワイヤレスリモコンに内蔵されています。室温センサーはどちらか一方で動作します。
- 出荷時は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには、リモコンカバー内のセンサーボタン（右図）を押し、液晶表示面から“本体センサー”が消えたことを確認してください。

〈注〉センサー切換が、リモコン側に設定されていてもリモコンからの室温データが10分間室内ユニットに伝わらない場合には自動的に室内ユニット側のセンサーに切換わってしまいます。リモコンはできるだけ室内ユニットに向けて、取付けてください。

アドレススイッチの合わせかた

- 同じ室内に複数のワイヤレス受信部が設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
- 電池を交換してリセットボタンを押したときはリモコンのアドレスは「ALL」になりますので受信部のアドレススイッチの設定に関わらず受信可能です。
- リモコンのアドレス変更方法は取扱説明書をごらんください。
- 受信部のアドレス変更は、受信部の基板カバーのねじをはずして行ってください。終了後、もとどおりにクランパにて配線を止めながらねじで固定してください。

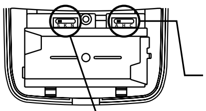
※受信部を室内ユニットから取りはずすときは、「受信部の取付け方」のカバーのはずしかたを参考に、パネルに傷をつけないようにご注意ください。

リモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	·····	アドレス 6
操作部のアドレススイッチの位置	※操作部のアドレススイッチはどこでもよい	アドレス 1 2 3 4 5 6 S001 S002	アドレス 1 2 3 4 5 6 S001 S002	·····	アドレス 1 2 3 4 5 6 S001 S002

スライドスイッチの合わせかた

ワイヤレス受信ユニットを使用する室内機機種により、リモコンの乾電池ボックス内にあるスライドスイッチの設定を行ってください。

〈注〉出荷時は「S」／「A」に設定されています。
〈注〉切り換えた後は必ずリセットボタンを押してください。



※くわしくは取扱い説明書をごらんください。

A H C ヒートポンプ冷暖自動あり	A H C ヒートポンプ冷暖自動なし	A H C 冷専
S K N 天吊		

自己診断機能表と処置方法

ランプ表示	原　因	処　置　方　法
運転 ● タイマー ● 準備中 ● 全く表示がない	電源が入っていない 受信部と室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 ☼点滅 タイマー ● 準備中 ●	受信部と室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ● タイマー ● 準備中 ☼点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	
運転 ☼ タイマー ● 準備中 ☼ 交互点滅	室外ユニットの三相電源が逆相または欠相	室外ユニットの三相電源の二相を入れ替え正しく接続してください。
運転 ● タイマー ☼ 準備中 ☼ 交互点滅	室内ユニットの保護装置が作動	室内ユニットをチェックしてください。

ワイヤレスリモコン／RCS-TRP80AN, WL,…別売品　施工

試運転について

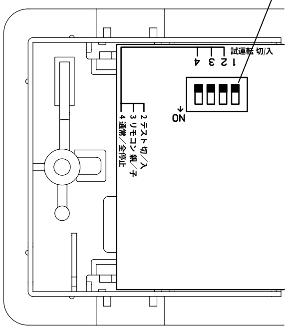
●「試運転」のご使用方法

※受信部を室内ユニットから取りはずすときは、「受信部の取付け方」の
　カバーのはずしかたを参考に、パネルに傷をつけないようにご注意ください。

1．受信部のスイッチ（DS）の“１”スイッチを、OFF→ONにします。
2．試運転中は、表示部の表示ランプがすべて点滅します。
3．試運転中は、温度調節はできません。
4．試運転終了後は、必ず“１”のスイッチを、ON→OFFにして表示ランプの点滅のないことを確認してください。また、基板カバーをもとどおりに固定してください。

〈注１〉機械に無理がかかりますので、試運転時のみご使用してください。
〈注２〉電源が入ったあと、約１分間はリモコン操作を受け付けませんが、故障ではありません。（一旦受信はしますが、受信内容が解除されます。）

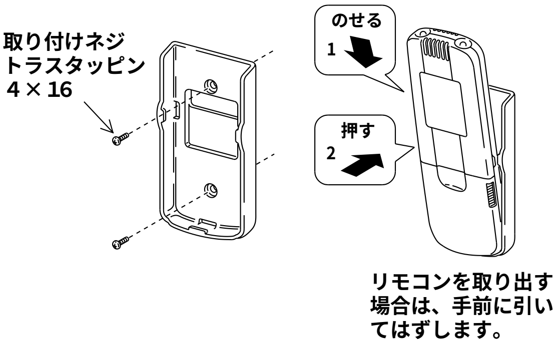
S003
ビット1：OFF→ON



リモコンの取り扱いかた

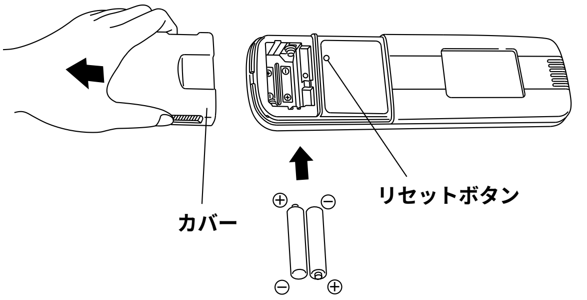
●リモコンを壁などに取り付けてご使用になる場合

取り付ける位置で「運転／停止」ボタンを押し、正常に受信されることをご確認ください。



●電池の交換方法

❶カバーの両端を持ち、下にずらしてはずします。
❷単 4形アルカリ乾電池を2本入れます。＋－極を表示に従って正しく入れます。
❸リセットボタンを先の細いもので押してからカバーを取り付けます。



リモコン設置上のご注意

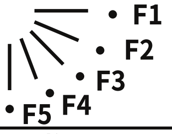
- リモコンを取付具で壁などに固定して操作する場合は、蛍光灯を点灯させ、取付ける位置でリモコンを操作し、エアコンが作動することを確認してから取付けてください。
- リモコンで室温を感知する場合は、つぎの点に注意して取付けてください。
  - ・冷風や温風が直接当らないところ。
  - ・直接日光が当らないところ。
  - ・その他熱影響のないところ。

お客様への説明

- 「取扱説明書」「据付工事説明書」は工事完了後お客様にお渡しください。
- 「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

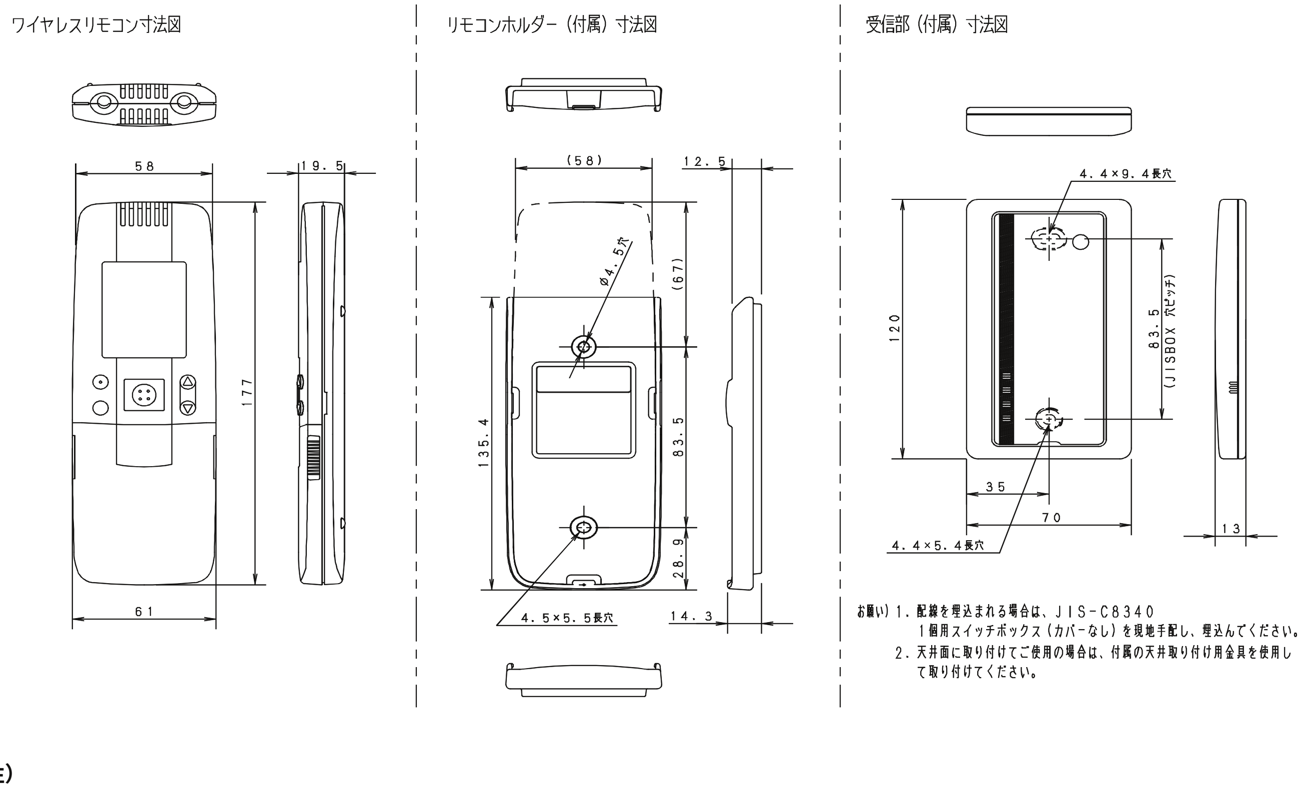
別置ワイヤレスリモコン／RCS-BH80A, WL,…別売品　仕様

●仕様

品　　番	RCS-BH80A, WL
運　転　切　換	冷房・送風・(注)冷暖自動・暖房・ドライ
風　速　切　換	風速自動・急・強・弱
タ イ マ 切 換	連続・入・切・繰り返し切（72時間時限式）
温　度　設　定	暖房：16～26℃、ドライ・冷房：18～30℃
オートフラップ	フラップ風向設定、スイング設定 
リモコンセンサ、ボディセンサの切換	操作部のセンサ切換ボタン（リモコン一本体）で設定（出荷時はボディセンサに設定）
アドレス設定	操作部、リモコン部でアドレス設定を行い、1つのリモコンで最大6台までのエアコンを個別運転可能
ワイヤレスリモコン送信距離	8m以下
乾電池寿命（約1年）	単4アルカリ電池1.5V×2本使用、送信ランプが点灯しなくなった時、受信が不安定になった時等、電池を交換してください。

◎リモコンからの送信を受信部がキャッチ
◎1台のリモコンで室内機最多8台までコントロール（同時オン／オフ）
◎72時間時限タイマ標準装備
　※ワイヤードリモコンと併用する場合、どちらかを子リモコンに設定します。
◎ユニットアドレスの設定により室内機を特定してコントロール
　※送信用・受信用アドレススイッチを合わせることによりグループを特定しての制御が可能です。（最多6グループ）
◎吸込フィルタの清掃時期をお知らせする「フィルタ」サイン
◎別売のさがぁるグリル（4方向・2方向）の操作の可能
　※さがぁるの操作は別置き受信部では受信しません。操作を行いたいグリルの受信部にリモコンを向けて操作してください。
注：室内外1対1の組合せの場合と、同一冷媒系統内の全室内機が1つのグループ制御になっている場合、および3WAYマルチ室外機に使用する室内機以外に取り付けた場合は、切換えできないように設定が必要です。

●外形寸法図



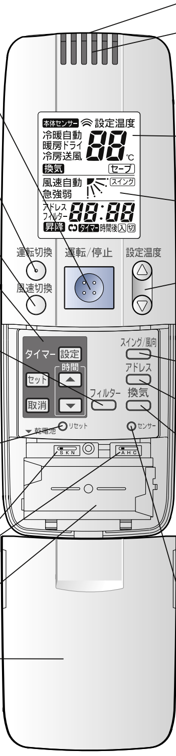
（注）
◎ 電子瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）またはインバータ方式の蛍光灯の近くに室内機を設置しますとワイヤレスリモコンの受信を受け付けないことがあります。（電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯はグローランプがありません。）
◎ 蛍光灯による障害を防ぐためエアコンと蛍光灯との距離は2m以上離してください。
　蛍光灯との距離を離しても障害が発生する場合は、ワイヤードリモコン（別売品）を取り付けてご使用ください。

別置ワイヤレスリモコン／RCS-BH80A, WL,…別売品　機能と操作

各部のなまえとはたらき

リモコン　●１台のリモコンで最大８台までグループ制御できます。

（RCS-SH1U）



運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。

フィルターボタン
別売の昇降グリル（さがぁるグリル）付天井パネルを接続したときに使用します。

リセットボタン
電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使用します。

スライドスイッチ

乾電池収納部

カバー
両サイドを持って下にスライドします。

送信部

リモコンセンサー
センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感知します。

運転表示部
運転状態を表示します。（図は全部を表示した状態です。）

●オートフラップ表示は設置ユニットによって異なります。

設定温度ボタン
△ 設定温度を１℃ずつ上げます。
▽ 設定温度を１℃ずつ下げます。

スイング／風向ボタン

アドレスボタン

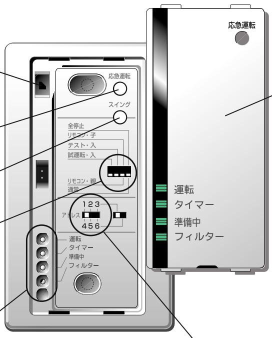
換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※電池交換をしたときは換気ボタンを４秒以上押し続けると 換気 と表示され使えるようになります。

センサーボタン
リモコン側の温度センサーにするときに使用します。
出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に 本体センサー が表示されます。

各部のなまえとはたらき

受信部　●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転/停止ボタン→ 運転/停止

(CR-BH1A)



受信部
リモコンから送信された信号を受信します。

応急運転ボタン

スイングボタン

通常／全停止スイッチ
「通常」の位置でご使用ください。「全停止」の位置では運転できません。

リモコン・親／リモコン・子、スイッチ
通常「リモコン・親」でご使用ください。
ワイヤードリモコン（別売品）との併用も可能です。（設定はお買いあげの販売店にご相談ください。）

テスト・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

試運転・入スイッチ
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

カバー

表示ランプ
異常発生中はいずれかが点滅します。

アドレススイッチ
送信、受信の信号を区別します。

運転ランプ
運転中は点灯します。

タイマーランプ
タイマー予約中は点灯します。

準備中ランプ
●暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはたらいたとき、霜取運転中。
●異常発生中は点滅します。

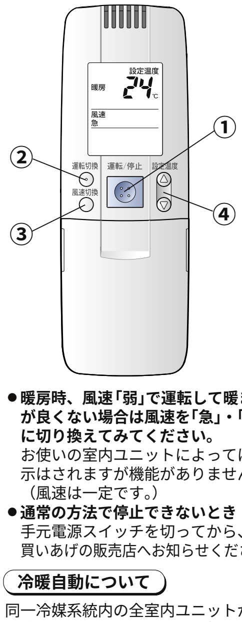
フィルターランプ
フィルターの掃除時期をお知らせします。

●ヒートポンプ形をお使いの場合“ピッ・ピー”という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
（冷暖自動の機能がない機種で冷房自動を選択しても同じ動作）
●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転／停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、“ピッ”という音が５回して、変更を受け付けません。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風　●冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。

《表示部の表示は天井ビルトインカセット形を示します。》



電源　手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。

① 運転／停止 を押します。

② 運転切換 を押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

③ 風速切換 を押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

④ **設定温度** △ ▽ のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上　限	下　限
冷 暖 自 動	27	17
暖　　房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止　運転／停止 を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

●暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
お使いの室内ユニットによっては表示はされますが機能がありません。（風速は一定です。）
●通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

冷暖自動について

同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっているとき、設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

ドライ運転について

- お使いの室内ユニットによっては、リモコンの表示部にドライが表示されてもドライ機能はありません。（冷房運転と同一）
- 室温が設定温度近くになりますと自動的に運転、停止を繰り返します。
- できるだけ湿気を再びお部屋に戻さないため、運転が停止すると室内ファンは微風運転となります。
- お使いの室内ユニットによって、または室温の状態によっては風速調節はできません。
- お使いのユニットによっては外気温度15℃以下のときは、ドライ運転はできません。

タイマー運転のしかた

●タイマー設定後リモコンは受信部（室内ユニット本体）に信号が届く位置に置いてください。
（タイマー運転の信号はリモコンから送ります。）
●運転表示中にタイマー設定を行ってください。

こんな時にお使いください		表示中
あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	⟲ 切
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

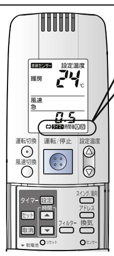
タイマー時間について

▲ を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつふやします。
上限は72.0時間です。
▼ を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつへらします。
下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー 設定 を押すごとに次のように切り換わります。.

表示なし → 切 → ⟲ 切 → 入 → 表示なし



〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー 設定 を１回押すとリモコンに 切 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を0.5に合わせます。

③ セット を押します。
切 と時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー 設定 を２回押すとリモコンに ⟲ 切 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を2.5に合わせます。

③ セット を押します。
⟲ 切 と時間が点灯します。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

（例）８時間後に運転をさせたいとき

① タイマー 設定 を３回押すとリモコンに 入 と時間が点滅します。

② 時間 ▲ ▼ を押して時間を8.0に合わせます。

③ セット を押します。
運転表示が消えて 入 と時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

取消 を押します。タイマー表示が消えます。

別置ワイヤレスリモコン／RCS-BH80A, WL,…別売品　機能と操作

風向調節のしかた

お使いの室内ユニットによって機能が異なります。下記に記載されている機種以外はリモコンでの風向設定はできません。詳しくは室内ユニット本体に付属されている取扱説明書をご覧ください。

- リモコンで操作するフラップ(上下風向調節板)は絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップ(上下風向調節板)が自動的に下向きになります。
- 暖房準備時にはフラップ(上下風向調節板)が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンのオートフラップ表示は暖房準備中でもスイング表示します。

■ 4方向天井カセット形、2方向天井カセット形、高天井用1方向カセット形、天井吊形

風向きを設定するときは
運転中、 スイング/風向 を押すごとに風向きが変わります。

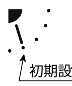
スイングさせるときは
スイング/風向 を押し、フラップ（上下風向調節板）の向きを1番下に設定し、もう1度 スイング/風向 を押すことによりスイングが表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

■ 天井吊形8馬力タイプ、壁掛形、床置形

スイングさせるときは
スイング/風向 を押すと スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。
※リモコンの表示部には スイング のみ表示されます。

風向きを設定するとき
スイング中にフラップを止めたい位置で スイング/風向 を押すとフラップが止まります。

暖　房　時
フラップ(上下風向調節板)は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。



冷房・ドライ時
フラップ(上下風向調節板)は上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。

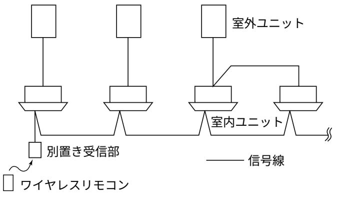
送　風　時

すべての運転時

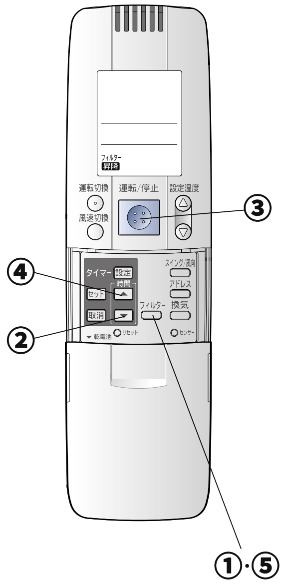
室内外ユニット複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- １台のリモコンで室内ユニット最大８台まで操作できます。
- すべての室内ユニットが同じ設定となります。
- 温度センサーは室内ユニット側（本体センサー）をご使用ください。



昇降グリルの操作方法（別売の昇降グリル(さがぁるグリル)付き天井パネルを接続してある場合）



① フィルター を４秒以上押し続けるとリモコンの表示部に フィルター昇降 が点灯します。(室内ユニットの運転は停止します。)

② **下降させるとき**
時間 ▼ を押すと昇降グリルはゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

③ **停止させるとき**
運転／停止 を押すと昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、約2ｍ下降したところで停止します。
※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

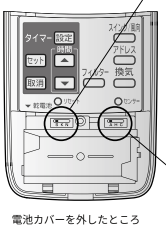
④ **上昇させるとき**
時間 ▲ を押すと昇降グリルは上昇します。昇降グリルが天井パネルに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

⑤ フィルター を４秒以上押し続けると表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に フィルター を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。
再度、昇降グリルを動かしたいときは、!に戻ってください。

- **リモコンの送信部は操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。(到達距離3～5m)**
- **昇降グリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。**

スライドスイッチについて

- お使いの室内ユニットによって運転表示と風向表示の設定が下記のように異なります。
- スイッチは先の細いもので切り換えてください。
- スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。



	リミットスイッチ付きフラップ機種	スイングオンリー機種	フラップ無し機種
スライドスイッチの位置	S K N	S K N	S K N
リモコンのフラップ表示	風速 急 スイング	風速 急 スイング	風速 急

	ヒートポンプ(冷暖自動あり)	ヒートポンプ(冷暖自動なし)	冷房専用
リモコンの運転モード表示	冷暖自動 暖房 ドライ 冷房 送風	暖房 ドライ 冷房 送風	ドライ 冷房 送風
スライドスイッチの位置	A H C	A H C	A H C

- ご使用になる前にスライドスイッチが上図の位置になっていることを確認してください。スライドスイッチの合わせかたについて詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

応急運転のしかた

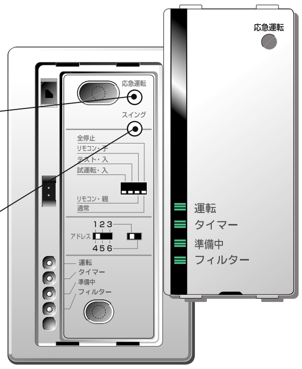
次のようなとき、受信部の 応急運転 を使って応急的に運転してください。

- リモコンの乾電池の容量がなくなった。
- リモコンが故障した。
- リモコンを紛失した。

1 応急運転 を押します。
室温が24℃以上の時に運転を開始すると冷房運転になります。
室温が24℃未満の時に運転を開始すると暖房運転になります。

2 スイング を押すと風向きが自動的に上下に切り換わります。

停止 応急運転 をもう１度押します。



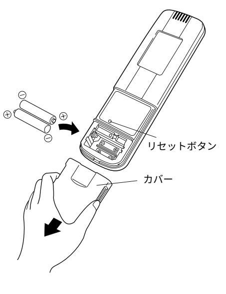
ご注意

- **試運転・入 、テスト・入 スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。**
- **通常/全停止スイッチが全停止になっているとリモコンからの信号は受けつけません。**

乾電池の入れかた

①カバーの両側を持ち、下にずらしてはずします。
②単4形アルカリ乾電池を2本入れます。⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
③先の細いもので リセット を押してからカバーを取り付けます。

- リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。(アルカリ乾電池の交換は約1年が目やすです。)
- 乾電池の取り換えは2本とも新しい同種のものをお使いください。
- リモコンを長時間ご使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。



別置ワイヤレスリモコン／RCS-BH80A, WL,…別売品　施工

据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ

別置き受信部付属品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	別置き受信部（配線２００mm付属）	1	⑥	スペーサー	4
②	天井取付金具	1	⑦	ワイヤージョイント	2
③	小ネジ Ｍ４×２５	2	⑧	クランパー	1
④	小ネジ Ｍ４×４０	2	⑨	天井取付用型紙 ９５×５１	1
⑤	木ネジ	2	⑩	取扱説明書	1
			⑪	据付工事説明書	1

別置き受信部設置方法のお願い

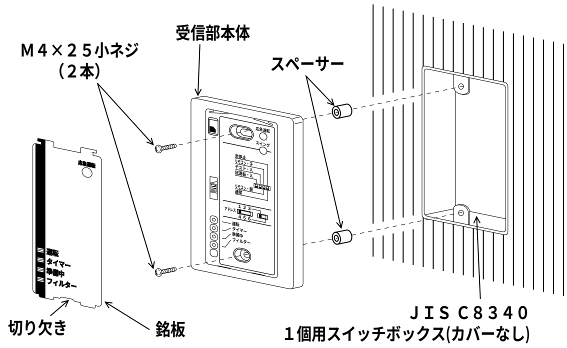
設置場所

- ●厨房や工場等、油分を含んだ雰囲気中への設置はしないでください。
- ●直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- ●エレベーターや自動ドアー、工業用ミシン等のノイズの発生が予想される機器の近傍には設置しないでください。
- **●電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）またはインバーター方式の蛍光灯（いずれもグローランプがありません）の近くに受信部を設置しますと、ワイヤレスリモコンの信号を受け付けないことがあります。蛍光灯による障害を防ぐため、受信部と蛍光灯との距離を２m以上離すとともに、蛍光灯を点灯した状態でワイヤレスリモコンの信号を受け付ける場所に設置してください。**

別置き受信部の取り付けかた

＜注１＞リモコン配線は、電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因になりますので避けてください。
＜注２＞ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

●別置き受信部を埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋め込まれた下図に示すＪＩＳボックス(現地手配)に取り付けてください。

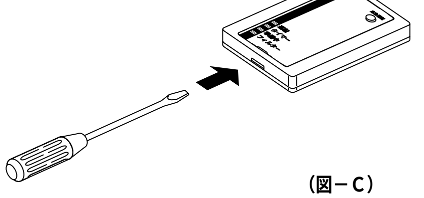


1.受信部の銘板を、下部切り欠きにマイナスドライバー等を差し入れて外してください。
2.受信部を付属のＭ４小ネジ(２本)を使用して固定します。固定の際には付属のスペーサーを使用し、あまり強く締めつけないでください。受信部が壁に密着しない場合はスペーサーを切って調整してください。
3.受信部配線(２芯)を、室内ユニット本体からの電線と接続してください。
(受信部の配線のしかたの項を参照してください)
受信部の配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(ＡＣ２００Ｖを印加するとこわれます)
4.銘板を取り付けます。

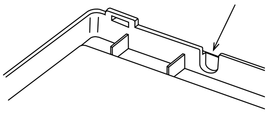
●<u>別置き受信部を露出型としてご使用の場合</u>は、受信部が固定できる壁面に取り付けてください。

1.受信部本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れて、こじるようにして下ケースを外してください。（図－Ａ）
2.受信部配線は、上ケース（中央上部の肉薄部）より出すため、あらかじめニッパー等でリモコンコード（別売品）の太さに合わせて切り欠いておきます。（図－Ｂ）
3.出荷時に接続されている配線を、コネクター部より外します。

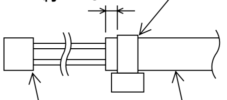
（図－Ａ）



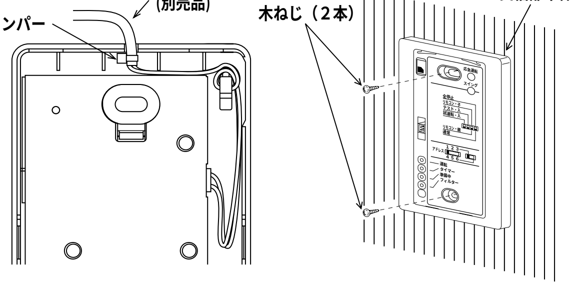
（図－Ｂ）



（図－Ｃ）



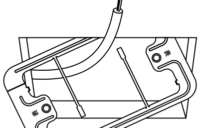
（図－Ｄ）



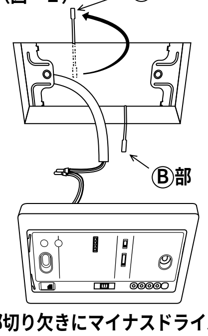
4.リモコンコード（別売品）は、図－Ｃの位置に付属のクランパーを取り付けてから受信部のコネクター部に接続してください。
5.リモコンコードを基板上部で受信部内部に収まるように図－Ｄのように配線を整形後、下ケースを取り付けます。この時クランパーの頭が横を向くように整形してください。
6.銘板を外し、受信部本体を木ネジ（２本）を使用して取り付けます。
7.リモコンコードに付属のコードクリップを使用して壁面に固定してください。
8.銘板を取り付けます。

●<u>別置き受信部を天井面に取り付けてご使用の場合</u>は、付属の天井取り付け用金具を使用して取り付けてください。

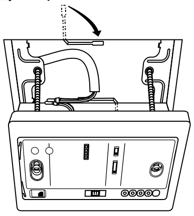
（図－１）



（図－２）



（図－３）



1.受信部の銘板を、下部切り欠きにマイナスドライバー等を差し入れて外しておいてください。
2.天井面を付属の型紙の寸法に合わせて切り取ります。（９５×５１mm）
3.付属の取り付け金具に配線を通し、取り付け穴に挿入します。（図①）
4.金具のⒶ部、Ⓑ部で天井材をしっかりとはさみこみます。（図②）
5.受信部配線(２芯)を、室内ユニット本体からの電線と接続してください。
(受信部の配線のしかたの項を参照してください)
受信部の配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(ＡＣ２００Ｖを印加するとこわれます)
6.付属のスペーサーを天井材より数mm厚くなるように調節して、付属の小ネジ(Ｍ４×４０、２本)に通しておいて受信部を仮止めします。
7.天井面と受信部の隙間に、Ⓐ部、Ⓑ部を開口部の中に収まるように戻してからビスを締めます。**ビスを締める時にあまり強く締めつけないでください。ケースの変形・破損のおそれがあります。**受信部を手で動かしてわずかに動く程度にしてください。（図③）
8.銘板を取り付けます。

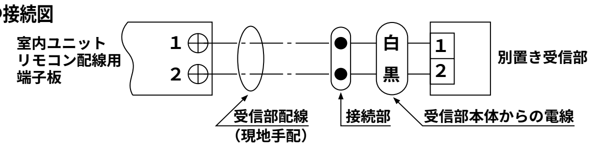
別置ワイヤレスリモコン／RCS-BH80A, WL,…別売品　施工

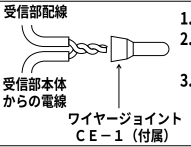
別置き受信部の配線のしかた

※現地配線は０.５mm²～２mm²を使用します。
※総配線長は４００m以内としてください。

埋込型としてご使用の場合

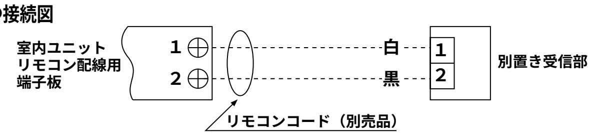
●接続図



付属のワイヤージョイント（白色、2個）		1.接続する電線の被覆を１４mmむきます。 2.２本の電線をより合わせて付属のワイヤージョイントで圧着接続します。 3.専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続の場合は、絶縁テープで処理してください。

露出型としてご使用の場合

●接続図



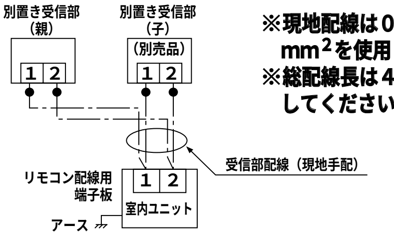
●別置き受信部配線は、リモコンコード（別売品）を使用します。
1.リモコンコード（別売品）の取り付けかた→「別置き受信部の取り付けかた」の「埋込型としてご使用の場合」の項を参照してください。
2.リモコンコード（別売品）をご使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（ＡＣ２００Ｖを印加するとこわれます）

別置き受信部を２個設置される場合のお願い

２個の受信部で１台もしくは複数台の室内ユニットを同時運転させるときは、下記の手順で設置をしてください。

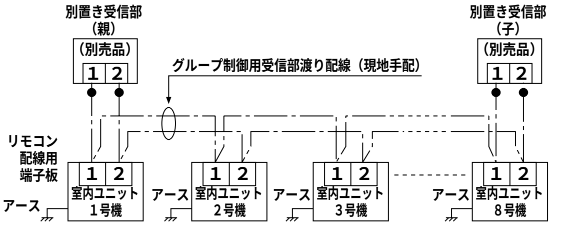
●設置の方法
1.２個設置した中の一方は「リモコン・親」としてください。（工場出荷状態）
2.もう一方は、受信部の銘板を外したところにあるディップスイッチで「リモコン・子」にしてください。この状態で受信部は「子」として機能します。
※「タイマー」ランプは、リモコンの信号を受信した方のみ点灯します。

●基本配線図
※配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）
●２個の別置き受信部で１台の室内ユニットを操作する場合。



※現地配線は０.５mm²～２mm²を使用します。
※総配線長は４００m以内としてください。

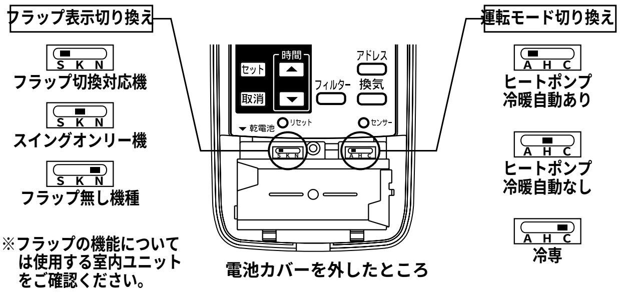
●２個の別置き受信部で複数台グループの室内ユニットを操作する場合。
※親、子の受信部はどの室内ユニットに取り付けても動作します。



※現地配線は０.５mm²～２mm²を使用します。
※グループ渡り配線の総配線長は２００m以内としてください。

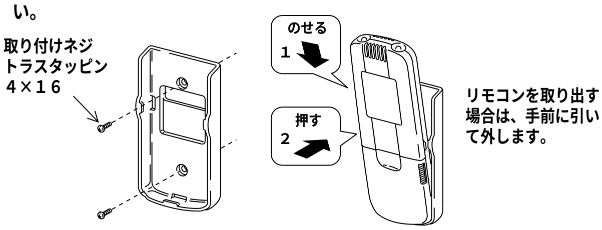
リモコンの機種設定

●使用する室内ユニットの機種により、リモコンの電池カバー内のスライドスイッチの設定を行ってください。
※出荷時は「Ｓ」／「Ａ」に設定してあります。
※スイッチは先の細いもので切り換えてください。
※スイッチを切り換えたときはリセットスイッチを押してください。



ホルダの取り付けかた

●リモコンを壁などに取り付けてご使用になる場合は、取り付ける位置で「運転／停止」ボタンを押し、受信部のブザーが鳴ることを確認してください。



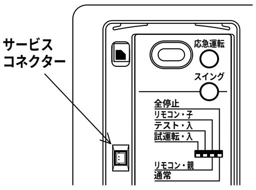
●電池の交換については、取扱い説明書をご覧ください。

試運転設定

①受信部の銘板を外し、ディップスイッチを「試運転・入」にします。
②ワイヤレスリモコンの「運転／停止」ボタンによって運転します。
●試運転中は、「運転」「タイマー」「準備中」のＬＥＤが点滅します。
●「試運転・入」ではワイヤレスリモコンで温度調節しても無効です。
機械に無理がかかりますので、試運転時以外は使用しないでください。
③試運転は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
※電源投入後、および運転停止後約３分間は室外ユニットは運転しません。
④試運転終了後はワイヤレスリモコンで停止し、受信部のディップスイッチを元に戻してください。
（この受信部は連続試運転を防止するために、６０分タイマ解除機能付となっています。）

自己診断機能と内容

受信部のフィルター以外のランプが点滅した時はユニットに異常がありますので、点検してください。（詳細はサービス技術資料等をご覧ください）
また、お手元にワイヤードリモコンとサービスチェッカー専用配線（８５４－９－５３６－０４４－９７：サービス扱い）があれば、図のサービスコネクターに接続することでより詳細な警報内容を知ることもできます。受信部との接続方法等は、サービスチェッカー専用配線に添付されている取扱説明書を参照してください。



ランプ	点滅	検出内容
● ● ●		電源が入ってない、もしくは受信部の誤配線
☼ ● ●		受信部と室内ユニット間の通信異常（配線の接触不良等）
● ● ☼		室内／室外ユニット間の通信異常（配線の接触不良等）
● ☼ ☼	交互	室内保護装置動作（天井パネルコネクタの未接続等）
☼ ● ☼	交互	室外保護装置動作（室外ユニットの三相電源の逆相等）
● ☼ ●		圧縮機保護装置動作
☼ ● ☼	同時	室内設定異常
☼ ○ ☼	同時	室外設定異常

ランプは左から、「運転」、「タイマー」、「準備中」
●：消灯　○：点灯　☼：点滅（０.５秒間隔）

８５４６４３５９１２０００１

簡単リモコン／RCS-KR1A…別売品　機能と操作

●仕様

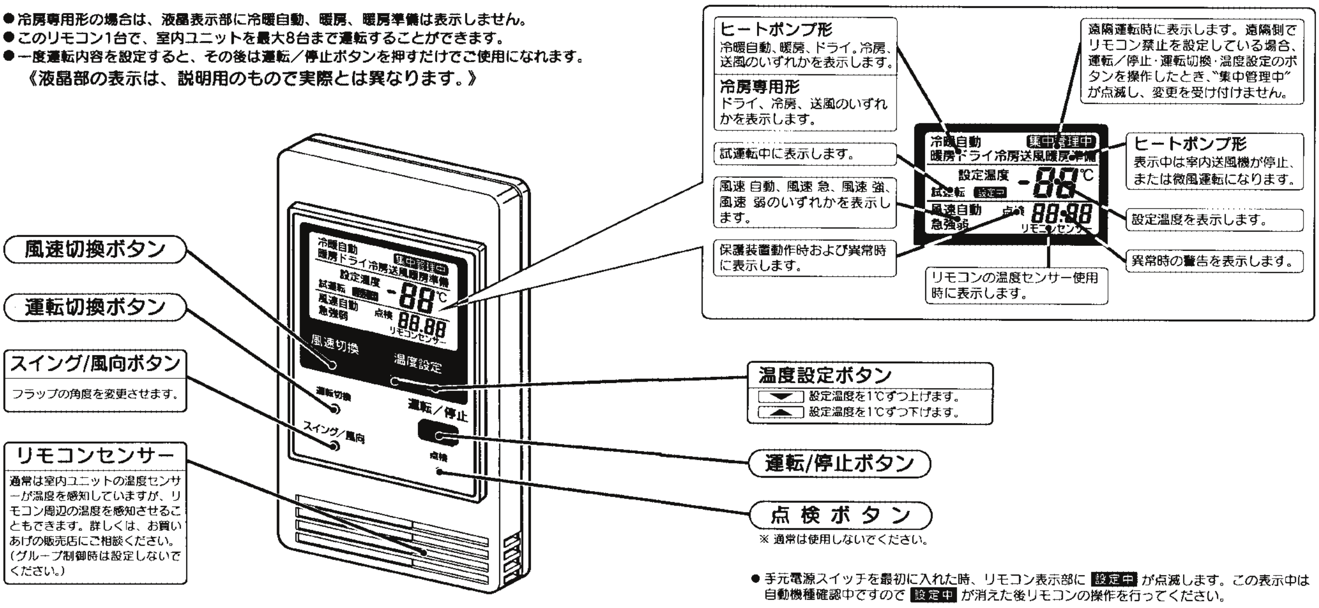
品　番	RCS-KR1A
外形寸法(mm)	(高さ)120×(幅)70×(奥行)16
取付方法	埋込・露出兼用 露出させて取付ける時は、別売品のリモコンコードが必要です。
電源定格	DC16V(室内ユニットより供給)

◎運転／停止、運転モード切換、温度設定、風速切換、風向設定、警報表示、リモコン故障事故診断ができます。
（プログラムウィークリータイマとの接続はできません。）
◎室内機8台まで一括グループ制御。
◎簡単リモコンまたは標準リモコンとの親子リモコン制御ができます。
（2台まで）
◎露出・埋込どちらの設置も可能です。

●名称と機能

- 冷房専用形の場合は、液晶表示部に冷暖自動、暖房、暖房準備は表示しません。
- このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。

《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

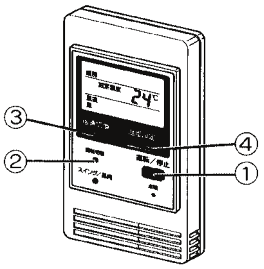


- 手元電源スイッチを最初に入れた時、リモコン表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。

●運転のしかた

冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。

（冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風）



- 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
- 温度センサーが感じる温度は室内ユニット、吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目やすとしてください。

冷暖自動について

同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっており、かつ全室内ユニットが同一の部屋に据え付けられているとき、設定温度と室内温度の差によって暖房、冷房運転を自動的に行います。

電源　手元電源スイッチを運転開始の5時間以上前に入れてください。

1　**運転／停止**を押します。

2　[運転切換]を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

3　[風速切換]を押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

4　**温度設定** [▲] [▼] のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖　房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止　**運転／停止**を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

- **通常の方法で停止できないとき**
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

簡単リモコン／RCS-KR1A…別売品　施工

据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ

リモコンスイッチ付属品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	リモコンスイッチ（配線200mm付属）	1	④	スペーサー	2
②	小ネジ M4×25	2	⑤	ワイヤージョイント	2
③	木ネジ	2	⑥	クランパー	1
			⑦	据付工事説明書	1

リモコンスイッチの設置方法のお願い

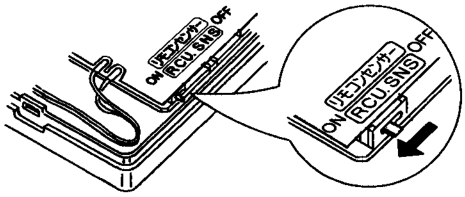
設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- 空調する部屋以外のところにリモコンを設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。

室温センサーの切換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンスイッチに内蔵されています。室温センサーは、どちらか一方で動作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには、基板上のリモコンセンサースイッチをOFF→ONにすることによって、リモコン側に切換わります。（下図参照）

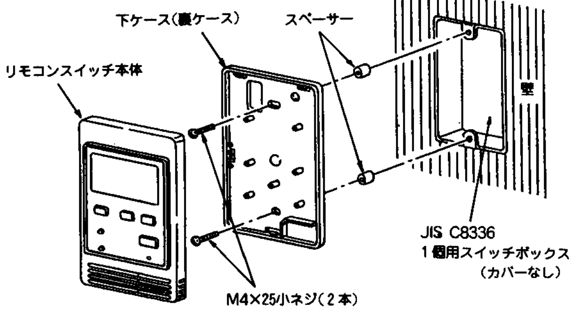
〈注１〉子リモコンは、リモコンセンサーへの切換えは、できません。
〈注２〉リモートセンサー使用時はリモコンセンサーに切換えないでください。

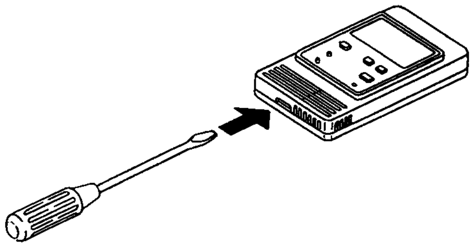


リモコンスイッチの取り付けかた

〈注１〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リモコンスイッチは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

- リモコンスイッチを埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。

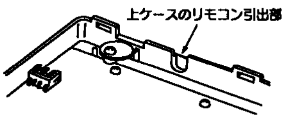




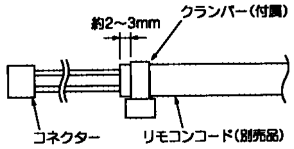
1. リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れてこじるようにして、裏ケースを外してください。
2. リモコンスイッチ裏ケースを付属のM4小ネジ(２本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJIS BOXに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。
   固定のときは、スペーサーを使用し、あまり強く締めないでください。リモコンスイッチが壁に密着しないときは、スペーサーを切って調整してください。
3. リモコン配線(２芯)を、リモコン本体からの電線と接続してください。(リモコンスイッチの配線のしかたの項を参照してください。)
   リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。(AC200Vを印加するとこわれます。)
4. リモコンスイッチ本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

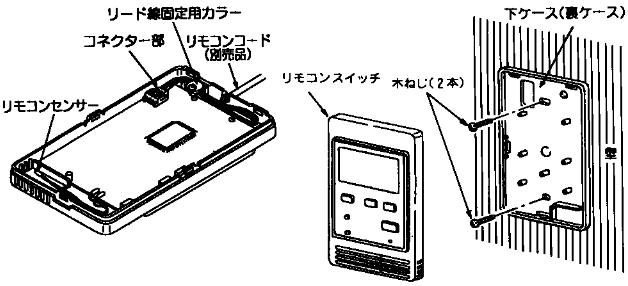
- 露出型としてご使用の場合は、リモコンスイッチが固定できる壁面に取り付けてください。

(図-A)



(図-B)





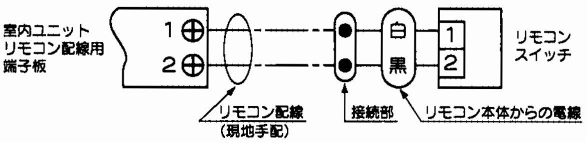
1. リモコンスイッチ本体と裏ケースの外し方及び取り付けかた→埋込型としてご使用の場合の項を参照してください。
2. リモコン配線は、上ケース(中央上部の肉薄部)より出すため、あらかじめニッパー等でリモコンコード(別売品)の太さに合わせて切り欠いておきます。(図－A)
3. リモコンスイッチ本体のリード線固定用カラーの止めビスをゆるめ、固定用カラーを外してから、コネクター部を外してください。
4. リモコンコード(別売品)は、図－Bの位置に付属のクランパーを取り付けてからリモコンスイッチのコネクター部に接続してください。
5. リモコンコード(別売品)を溝に入れて３.で取り付けたクランパーがリモコン内部に収まるように配線を整形後、固定用カラーを再度取り付けてください。
6. リモコン本体を木ネジ(２本)を使用して固定します。
   リモコンコードはコードクリップ(別売リモコンコード付属品)を使用して壁面に固定してください。

簡単リモコン／RCS-KR1A…別売品　施工

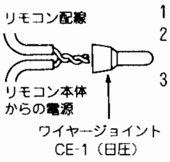
リモコンスイッチの配線のしかた

埋込型としてご使用の場合

●接続図

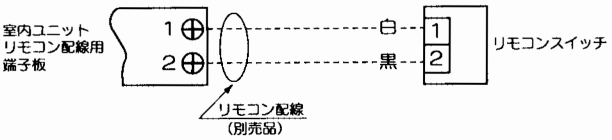


●配線は0.5mm²～2mm²を使用します。

付属のワイヤージョイント（白色、２個）		1.接続する電線の被覆を約14mmむきます。 2.２本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて、圧着接続します。 3.専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続の場合は、絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

露出型としてご使用の場合

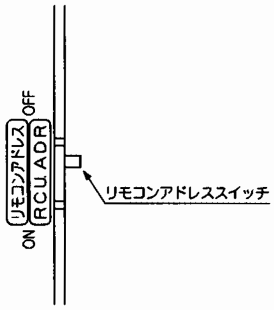
●接続図



●リモコン配線は、リモコンコード（別売品）を使用します。
1. リモコンコード（別売品）の取り付けかた→「リモコンスイッチの取り付けかた」の「埋込型としてご使用の場合」の項を参照してください。
2. リモコンコード（別売品）を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（AC200Vを印加するとこわれます。）

リモコンスイッチを複数個設置される場合のお願い

この2リモコン制御は、１台もしくは複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。



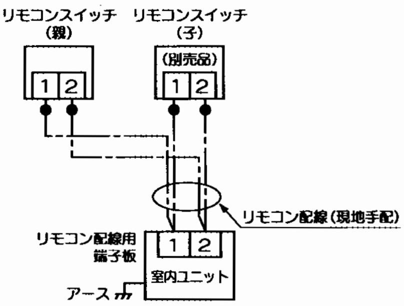
●設置の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
1.複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
2.その他のリモコンは、リモコンスイッチ基板上のリモコンアドレススイッチをOFF→ONにしてください。
この状態にて子リモコンとして機能します。

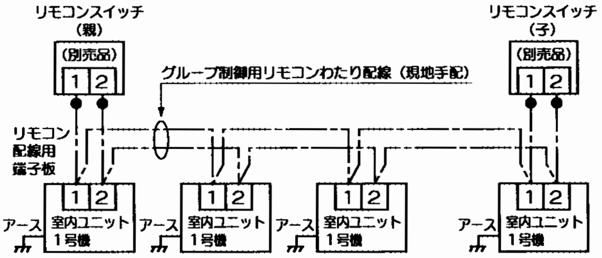
●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

●室内ユニット１台を、リモコン２ヶ所設置にて操作する場合。



●複数台グループ制御を、リモコン２ヶ所にて操作する場合。
※親，子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。

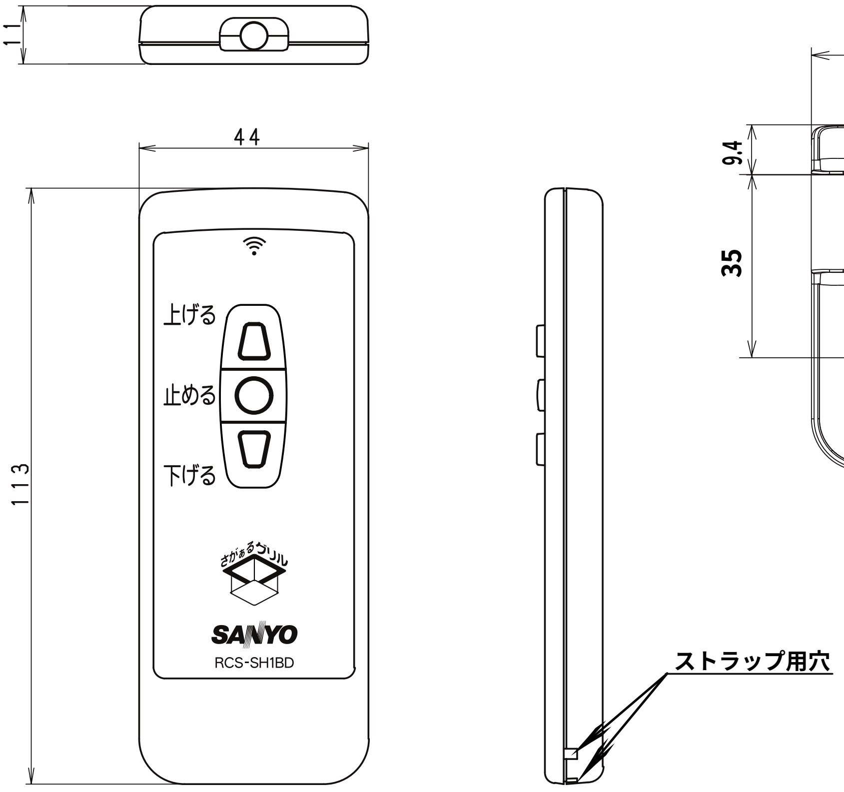


リモコン試運転設定

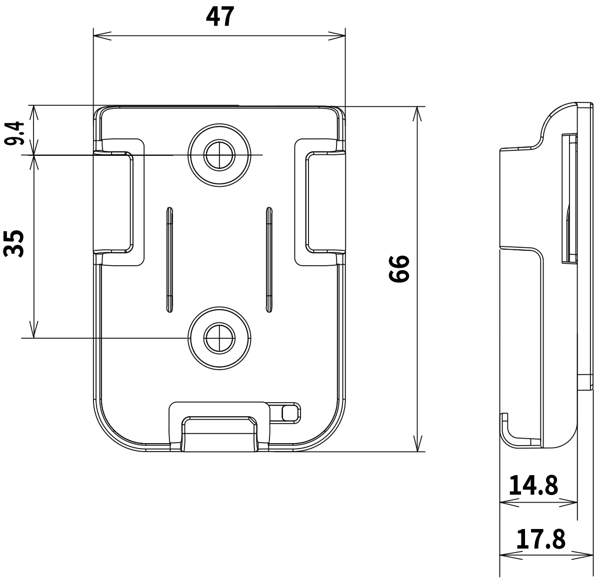
①リモコンの「点検」を４秒以上押してから、(運転／停止) キーを押してください。
●試運転中は液晶表示部に"試運転"と表示されます。
●「試運転」の位置では温度調節はできません。
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
②「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後約３分間は室外ユニットは運転しません。
③試運転終了後は再度「点検」ボタンを押して液晶表示部の"試運転"消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマ解除機能付となっています。）

昇降操作専用リモコン／RCS-SH1BD…別売品　仕様

ワイヤレスリモコン寸法図



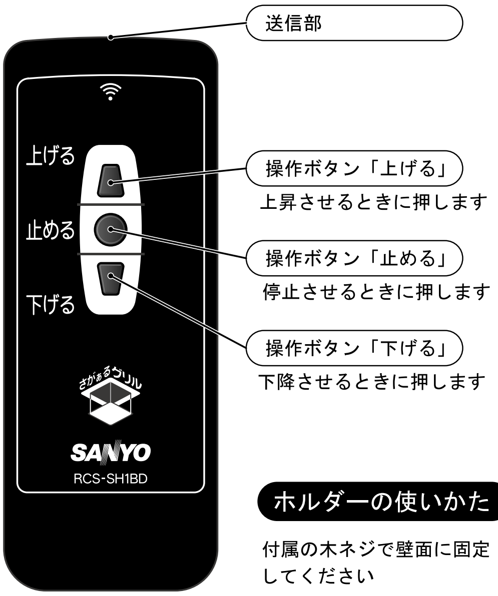
ホルダー寸法



昇降グリル専用リモコン取扱説明書

お願い
■昇降グリルキット（パネル）の取扱説明書のリモコンの説明につきまして、以下の内容をご参照ください。
■操作のしかた、電池の入れかた以外の項目は、昇降グリルキット（パネル）の取扱説明書をご参照ください。
■この説明書は、昇降グリルキット（パネル）の取扱説明書とともに保管してください。

各部のなまえとはたらき、操作のしかた

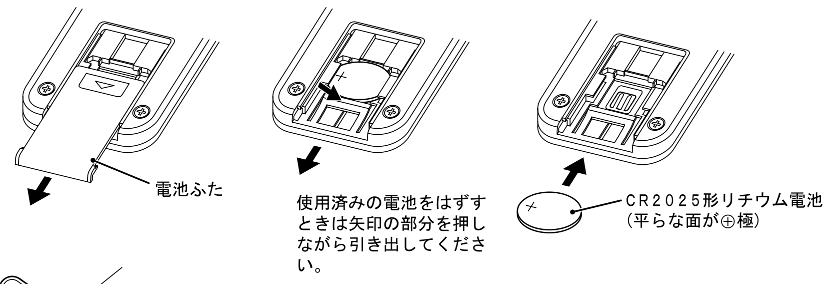


電池の入れかた

1 ふたをはずします。
2 電池を入れます。
CR2025形リチウム電池をお使いください。
⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
3 ふたを取り付けます。

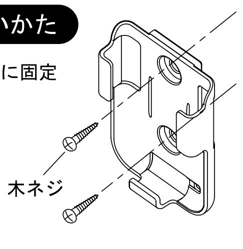
●電池の交換は約１年が目やすですが、受信部に近づかないと受信できない場合は、電池を交換してください。
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の電池は指定の場所に捨ててください。

⚠ 電池は小さいお子様が誤って飲み込まないように、保管・廃棄の際には十分注意してください。



ホルダーの使いかた

付属の木ネジで壁面に固定してください



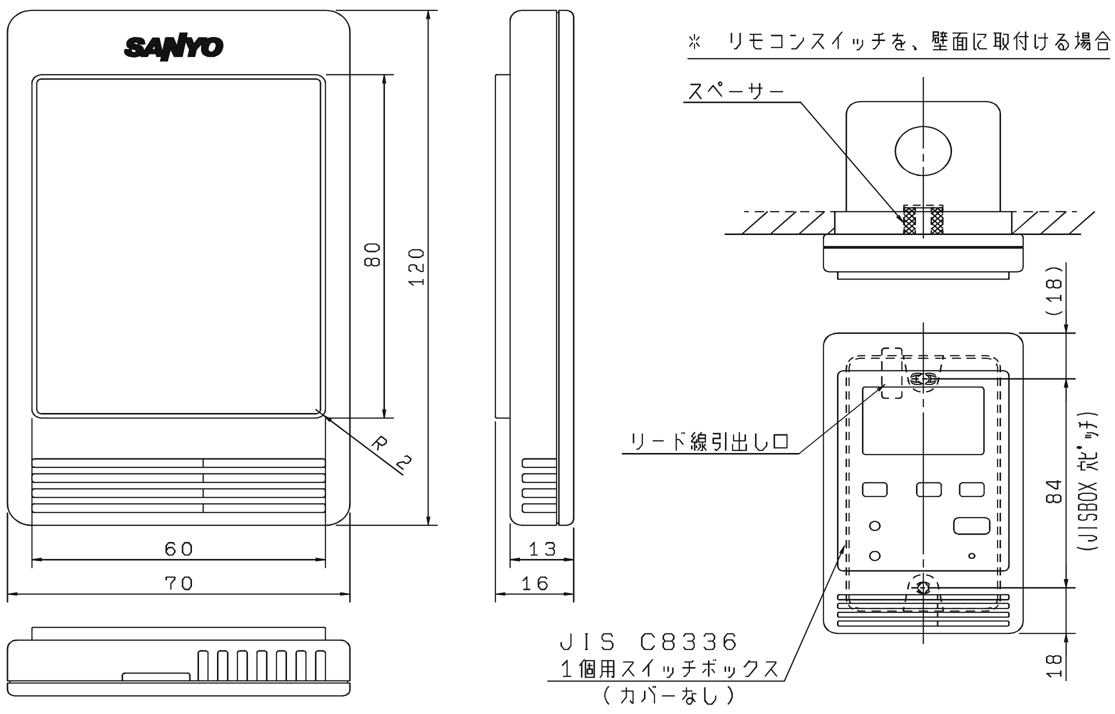
リモートセンサー／ART-K45A･K43K…別売品　仕様

●仕様

品　　　番	ART-K45A
取 付 方 法	露出・埋込み兼用形
接 続 方 法	リモコン端子
リモコン併設	1台のみ可
外 形 寸 法	（高さ）120×（幅）70×（奥行）16
配線／種別	2線（無極性）／0.5mm²～2mm²
配線総延長	最大500mまで

◎リモコンの操作をされたくない場所でリモコンのセンサーによって温調を行いたい場合に効果があります。
◎操作用として使用されるリモコンは、親リモコン（出荷状態）でご使用ください。

●外形寸法図

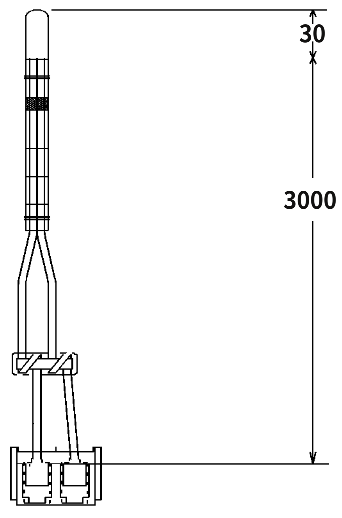


●仕様

品　　　番	ART-K43K
全　　　長	3000mm
接 続 方 法	室内基板の「ROOM TEMP」（室温）コネクタ
備　　　考	フェライトコア巻き付け

・出荷時に付いている室温センサーの位置を室内機近傍で移動する場合に使用してください。
付いているセンサーをコントロール基板から外して付け替えしてください。

●外形寸法図



リモートセンサー／ART-K45A…別売品　施工

リモートセンサー付属品

番号	付属部品	個数
①	リモートセンサー（配線200mm付属）	1
②	小ネジ M4×25	2
③	木ネジ	2
④	スペーサー	2
⑤	ワイヤージョイント	2
⑥	クランバー	1
⑦	据付工事説明書	1

リモートセンサーの設置方法のお願い

設置場所

- リモートセンサーの取付け高さは、床面より１～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- 空調する部屋以外のところにリモコンを設置しないでください。
- リモートセンサーは、必ず壁面等に垂直に設置してください。

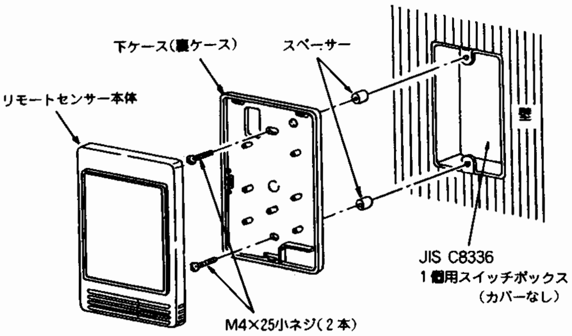
リモートセンサーの取り付けかた

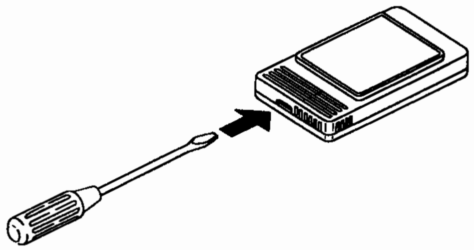
〈注１〉リモートセンサー配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。

〈注２〉リモートセンサーは、ノイズの発生源から離して据付けてください。

〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

- リモートセンサーを埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。

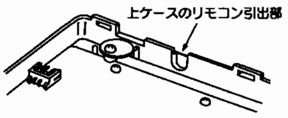




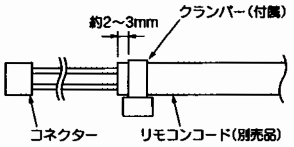
1. リモートセンサー本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れてこじるようにして、裏ケースを外してください。
2. リモートセンサー裏ケースを付属のM４小ネジ(２本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJIS BOXに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。
   固定のときは、スペーサーを使用し、あまり強く締めないでください。
   リモートセンサーが壁に密着しないときは、スペーサーを切って調整してください。
3. リモートセンサー配線(２芯)を、リモートセンサー本体からの電線と接続してください。
   (リモートセンサーの配線のしかたの項を参照してください。)
   リモートセンサーの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。
   (AC200Vを印加するとこわれます。)
4. リモートセンサー本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

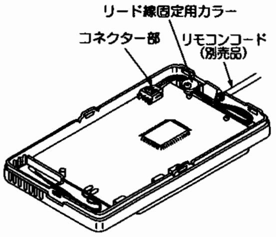
- 露出型としてご使用の場合は、リモートセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。

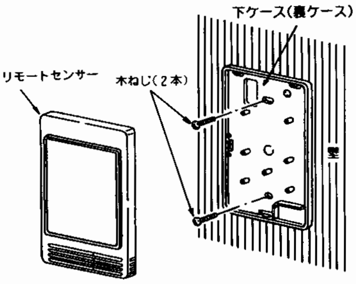
(図-A)



(図-B)







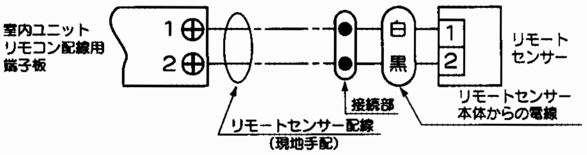
1. リモートセンサー本体と裏ケースの外し方及び取り付けかた→埋込型としてご使用の場合の項を参照してください。
2. リモートセンサーの配線は、上ケース(中央上部の肉薄部)より出すため、あらかじめニッパー等でリモコンコード(別売品)の太さに合わせて切り欠いておきます。(図－A)
3. リモートセンサー本体のリード線固定用カラーの止めビスをゆるめ、固定用カラーを外してから、コネクター部を外してください。
4. リモコンコード(別売品)は、図－Bの位置に付属のクランパーを取り付けてからリモートセンサーのコネクター部に接続してください。
5. リモコンコード(別売品)を溝に入れて３.で取り付けたクランパーがリモコン内部に収まるように配線を整形後、固定用カラーを再度取り付けてください。
6. リモコン本体を木ネジ(２本)を使用して固定します。
   リモコンコードはコードクリップ(別売リモコンコード付属品)を使用して壁面に固定してください。

リモートセンサー／ART-K45A…別売品　施工

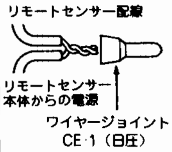
リモートセンサーの配線のしかた

埋込型としてご使用の場合

●接続図

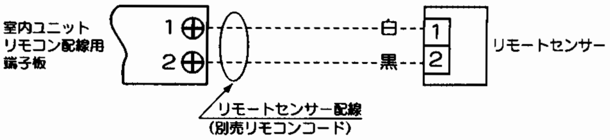


●配線は0.5mm²～2mm²を使用します。

付属のワイヤージョイント（白色、2個）		1.接続する電線の被覆を約14mmむきます。 2.2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて、圧着接続します。 3.専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続の場合は、絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

露出型としてご使用の場合

●接続図



●リモートセンサー配線は、リモコンコード(別売品)を使用します。

1.リモコンコード（別売品）の取り付けかた→「リモートセンサーの取り付けかた」の「埋込型としてご使用の場合」の項を参照してください。

2.リモコンコード(別売品)を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。
（AC 200Vを印加するとこわれます。）

リモコンスイッチと併用される場合のお願い

●設置の方法

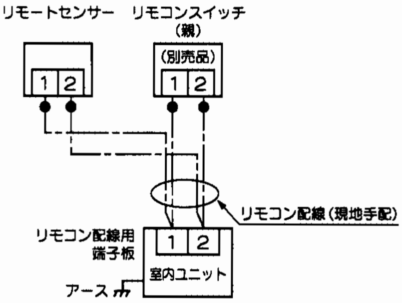
この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
1.リモコンスイッチは親リモコンとしてください。

〈注〉リモコンスイッチの室温センサーをリモコンセンサーに切換えないでください。

●基本配線図

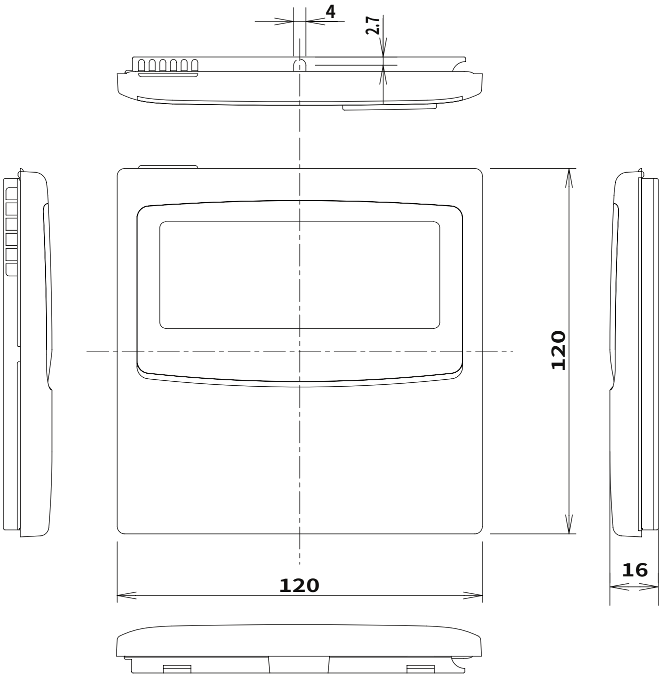
注：配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

●室内ユニット1台を、リモートセンサーとリモコンスイッチにて制御する場合。



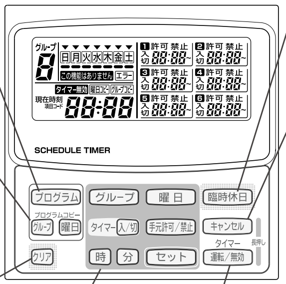
スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　仕様と機能

外形寸法	（高さ）120×（幅）120×（奥行）16mm
接続台数	最大 64 グループ（64台）
時計方式	水晶時計
時計精度	± 30 秒／月（常温）
表示	液晶表示
プログラム周期	24 時間
タイマー設定単位	1分
電源	DC12V（室内コントロール基板のT10端子／集中機器の端子板から供給）
消費電力	40 mA



各部のなまえとはたらき

操作ボタン



プログラムボタン
プログラムの設定開始とプログラム内容の確定に使います。

プログラムコピーボタン
プログラム運転内容をグループ単位や曜日単位でコピーするのに使います。
（☞１２ページ）

クリアボタン
設定中のプログラム内容を消去するのに使います。
※ [プログラム] ボタンを押さないと消去を確定しません。

臨時休日ボタン
一週間以内の休日のセット、および解除に使います。

キャンセルボタン
設定中のプログラム内容やプログラムコピー、休日設定を取り消すときに使います。２秒以上押しつづけることで、現在行っている設定やコピー動作を確定せずに通常動作画面に戻ります。

タイマー運転／無効ボタン
長期間タイマー運転を行いたくない場合に使います。２秒以上押し続けることで、液晶に [タイマー無効] が表示され、再度このボタンを長押しするまでプログラム運転を行わなくなります。

設定ボタン
プログラム運転の内容や、現在時刻の設定に使います。

[グループ] プログラム運転を行うグループの設定に使います。

[曜日] 現在曜日およびプログラム運転を行う曜日の設定に使います。

[時] [分] 現在時刻およびプログラム運転を行う時刻の設定に使います。

[タイマー 入/切] タイマーによって室内機を運転／停止させるときに使います。

[手元許可/禁止] タイマーによってリモコンによる手元操作を禁止／許可させるときに使います。

[セット] プログラム運転時刻のセットに使います。
※ [プログラム] ボタンを押さないとプログラム内容を確定しません。

●据付時の設定によっては上記機能が使用できない設定になっています。その場合、使用できないボタンを押したときに液晶に [この機能はありません] と表示されます。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

液晶表示

現在曜日表示（▼印）

運転予約表示（▬印）
プログラム運転をセットした曜日を表示します。

グループ表示
最大８つのグループを切り換えて表示します。

休日セット表示（□印）
臨時休日をセットした曜日を表示します。
（☞１５ページ）

「この機能はありません」表示
据付時の設定で使用できない機能を選択したときに表示します。

タイマープログラム
セットしたタイマープログラムを表示します。
また、グループコピーの際にはコピー元／コピー先を表示します。

タイマー無効表示
タイマー運転が無効になっているときに表示します。

現在時刻表示
現在の時刻を２４時間制で表示します。
また、各種設定中のモードを表示します。

コピーモード表示
タイマー内容をコピーするときに表示します。

エラー表示
タイマー時刻の設定に誤りがあったときに表示します。

正しい使いかた

●スケジュールタイマーをお使いになるときは、下記の手順によって設定を行ってください。

1 エアコンの電源を入れる

●スケジュールタイマーを接続しているエアコンの電源を入れてください。
　室内ユニットと初期通信を行い、液晶画面に「SC An」が点滅します。

（冷・暖房シーズン中はエアコンの電源を切らないでください。（始動時の圧縮機保護のため、クランクケースヒーターに通電されるようになっています。）
長時間停止後に運転する場合は、運転開始の５時間前に電源を入れてください。）

2 スケジュールタイマーの初期設定を行う

●現在の時刻と曜日の設定を行います（☞ ５ページ）

3 スケジュールタイマーのプログラム運転設定を行う

●プログラム運転の設定を行います（☞ ７ページ）

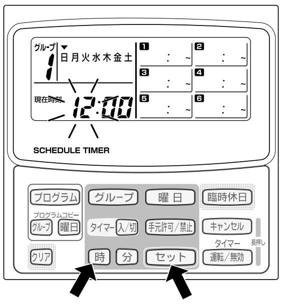
スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　仕様と機能

正しい使いかた

現在時刻の合わせかた

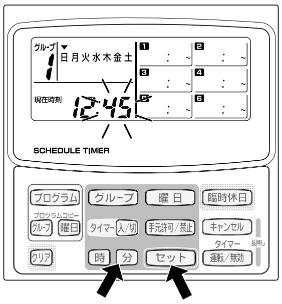
●現在の時刻をセットします。　　（例：現在時刻が１２時４５分の場合）

① 「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを押し、現在時刻の時を合わせます。



- ●「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを１回押すと、順次カウントされます。
- ●「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを押し続けると早送りになります。（例：１２時にするときは１２で離してください。）
- ●「セット」ボタンを離したときにセットされ、時刻表示が点滅から点灯になります。

② 「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを押し、現在時刻の分を合わせます。



- ●「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを１回押すと、順次カウントされます。
- ●「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを押し続けると早送りになります。（例：４５分にするときは４５で離してください。）
- ●「セット」ボタンを離したときにセットされ、時刻表示が点滅から点灯になります。

＜ご注意＞

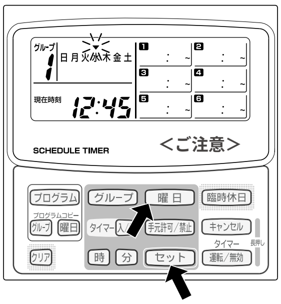
●「時」ボタン、「分」ボタンだけを押しても時刻の変更はできません。

正しい使いかた

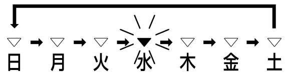
現在曜日の合わせかた

●現在の曜日をセットします。　　（例：水曜日の場合）

① 「セット」ボタンを押しながら「曜日」ボタンを押し、現在の曜日に合わせます。



- ●「セット」ボタンを押しながら「曜日」ボタンを１回押すと、現在曜日表示「▼」が点滅して、順次移動します。
- ●「セット」ボタンを離したときに曜日がセットされ、点灯表示になります。



＜ご注意＞

●「曜日」ボタンだけを押しても時刻の変更はできません。

正しい使いかた

プログラム運転の合わせかた

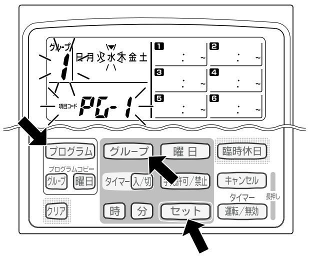
現在時刻と現在曜日は正しくセットしてください。
正しいプログラム運転ができません。

- ●グループおよび曜日ごとに、１日６個までのプログラム運転がセットできます。
- ●１つのタイマープログラムで、下記の動作を組み合わせて設定できます。
  - ・エアコンの運転／停止
  - ・リモコンによる手元操作の許可／禁止（※
- ●すでに設定してあるプログラム内容を変更する場合も以下の手順で行います。

設定の例）

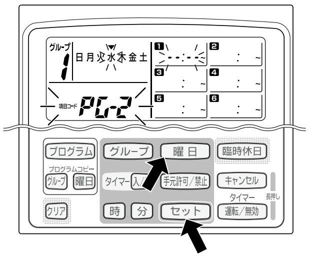
※据付時の設定によってはリモコン手元操作の許可／禁止が使用できない設定になっています。その場合、手元許可／禁止ボタンを押したときに液晶に この機能はありません と表示されます。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 最初に「プログラム」ボタンを押し、グループを選択します。



- ●「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在曜日が点滅し、現在時刻表示が「ＰＧ－１」の点滅に変わります。
- ●「グループ」ボタンを押して、プログラム運転するグループを選択し、「セット」を押します。
- ※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。
- ※選択可能なグループ数は据付時に設定されています。

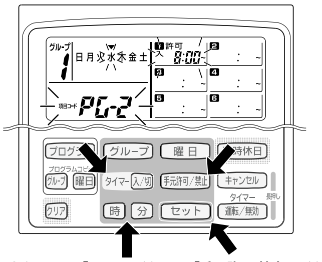
② 「曜日」ボタンを押し、プログラム運転を行う曜日を選択します。



- ●「セット」ボタンを押すと予約運転表示「━」が点滅から点灯に変わり、同時にプログラム❶の設定時刻が点滅します。また、現在時刻表示が「ＰＧ－２」の点滅に変わります。
- ※このとき、設定中の曜日表示は遅い点滅になります。

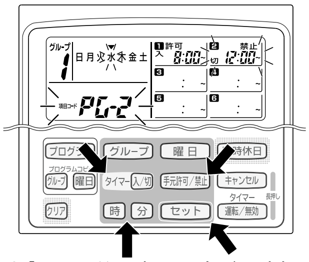
正しい使いかた

③ プログラム内容を選択し、「セット」ボタンを押します。



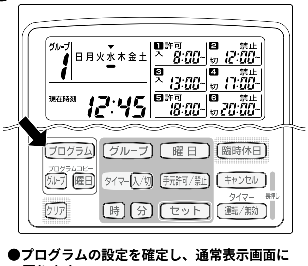
- ●タイマー「入/切」ボタン、「手元許可/禁止」ボタンでタイマー動作を選択してから「時」・「分」ボタンで動作時刻を設定し、「セットボタンを押します。
- ●「セット」ボタンを押すとプログラム❶の時刻表示が点滅から点灯に変わり、同時にプログラム❷の設定時刻が点滅します。
- ※タイマー「入/切」ボタンは押すたびに「入」→「切」→「（表示なし）」に切り替わります。
- ※「手元許可/禁止」ボタンは押すたびに「許可」→「禁止」→「（表示なし）」に切り替わります。
- ※据付時の設定によっては「手元許可/禁止」の機能を選択できない設定になっています。この場合はタイマー「入/切」のみを設定可能です。

④ 続けてプログラム ❷～ ❻の内容をセットします。



- ●「セット」ボタンを押すと、プログラム内容を時間の早い順に自動的に並べ換えます。
- ●プログラム内容を設定しない状態で「セット」ボタンを押すと、プログラム ❶が点滅表示になり、設定の変更が行えます。
- ●プログラム ❻を設定した状態で「セット」ボタンを押しても、同じようにプログラム　❶点滅表示になります。

⑤ 最後に「プログラム」ボタンを押します。



●プログラムの設定を確定し、通常表示画面に戻ります。

⑥ 同様に、他のグループおよび曜日のプログラム運転をセットしてください。

すでにセットした内容を他のグループや曜日にコピーできます。（☞　７ページ）

＜ご注意＞

- ●時刻を「０：００」でセットすると、午前０時の設定になります。
- ●プログラム設定中（「ＰＧ－１」・「ＰＧ－２」が点滅表示中）、途中で設定した内容を取り消したい場合は、「キャンセル」ボタンを２秒以上押しつづけてください。通常表示画面に戻ります。
- ※「プログラム」ボタンを押さないでキャンセルすると、設定内容は確定しませんのでご注意ください。

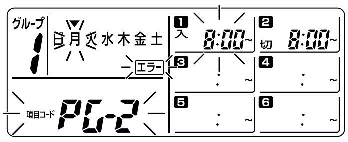
スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　仕様と機能

正しい使いかた

セットエラーについて

プログラム運転セット時、下記のような時刻を設定しますとエラー表示（エラー が点滅）しますので、修正してください。

プログラム時間が同じ場合



① 「セット」ボタンを押すごとに同じ時刻のプログラム（上記の例で ❶と ❷ が切り替わりますので、修正するプログラムを選択します。

② 時刻がかさならないように「時」・「分」ボタンで設定を変更します。

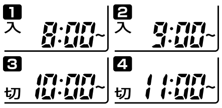
③ 「セット」ボタンを押して、エラー表示が出ないことを確認します。

④ 「プログラム」ボタンを押して変更完了です。

エラーにならない例

下記のような設定ではエラーになりません。

1）運転「入」、または運転「切」が連続する場合



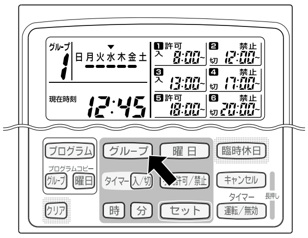
2）運転「切」が運転「入」より早い場合

正しい使いかた

プログラム運転時刻の確認のしかた

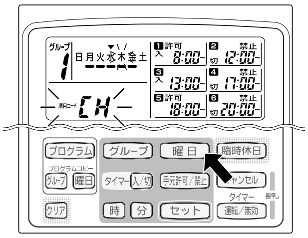
プログラムした各グループおよび曜日の運転時刻を確認することができます。

① 「グループ」ボタンを押して確認したいグループを選択します。



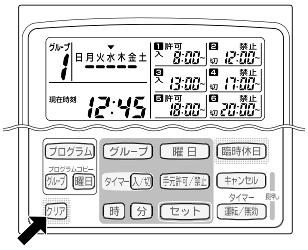
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

② 「曜日」ボタンを押します。



●１回押すと曜日表示が点滅し、現在曜日の翌日のプログラム内容を表示します。
●「曜日」ボタンを押していくと順次プログラム内容を表示します。
●「グループ」ボタンを押すと、現在プログラム内容を表示している曜日の他のグループのプログラム内容を表示します。

③ 確認を終了します。



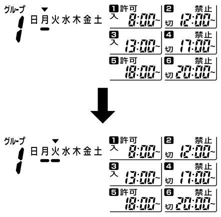
●「クリア」ボタンを押すと通常表示に戻ります。
※キャンセルボタンを２秒以上押しつづけても通常表示に戻ります。

正しい使いかた

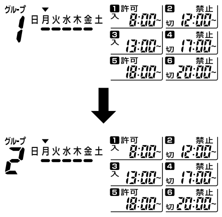
プログラム運転時刻のコピーのしかた

プログラム運転をセットする時、すでに設定されている他の曜日のプログラムをコピーすることができます（曜日コピー）。また、すでに設定されている他のグループのプログラムを１週間分まとめてコピーすることができます（グループコピー）。

●曜日コピーの例
（月曜日の内容を火曜日にコピー）

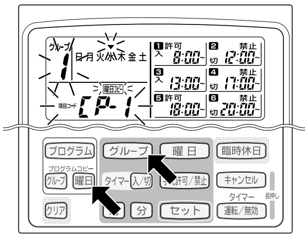


●グループコピーの例
（グループ１の内容をグループ２にコピー）



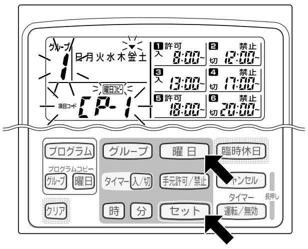
曜日コピーのしかた

① プログラムコピーの「曜日」ボタンを押します。



●グループ番号と現在曜日表示「 ▼ 」が点滅し、現在時刻表示が「ＣＰ－１」の点滅表示に変わりますので、「グループボタン」で曜日コピーを行うグループを選択します。

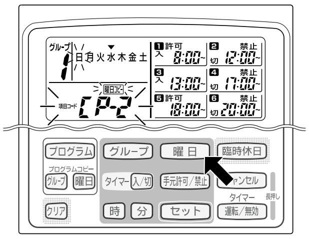
② コピー元を選択します。



●「曜日」ボタンを押すごとに現在曜日表示「 ▼ 」が移動しますので、コピー元になる曜日に合わせます。
●「セット」ボタンを押すと、コピー先の選択画面になります。

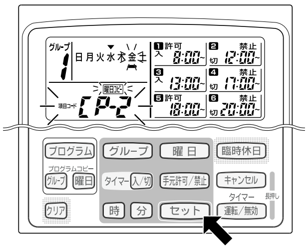
正しい使いかた

③ コピー先の曜日を選択します。



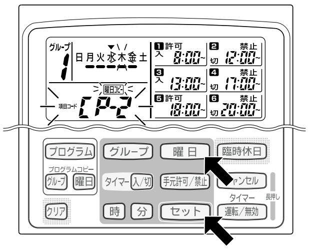
●現在時刻表示が「ＣＰ－２」の点滅表示に変わり、曜日表示が点滅しますので、「曜日」ボタンでコピー先の曜日を選択します。

④ 「セット」ボタンを押してコピーします。



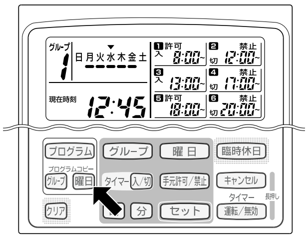
●「セット」ボタンを押すと、運転予約表示「━」が表示されます。

⑤ 引き続き他の曜日にコピーできます。



●「曜日」ボタン→「セット」ボタンの繰り返しで、他の曜日に連続してコピーできます。
※「クリア」ボタンを押すと、運転予約表示「━」が消えてコピーが取り消されます。

⑥ プログラムコピーの「曜日」ボタンを押して確定します。



●通常表示画面に戻ります。

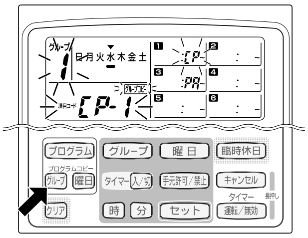
<ご注意>
●すでにプログラムされている曜日をコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。
●曜日コピーモードの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを２秒以上押しつづけることで、プログラムコピーの「曜日」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの変更やコピー作業はすべてクリアされます）

スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　仕様と機能

正しい使いかた

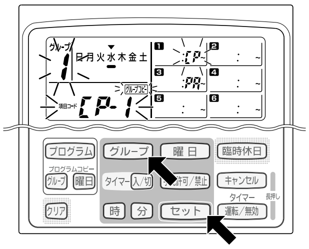
グループコピーのしかた

① プログラムコピーの「グループ」ボタンを押します。



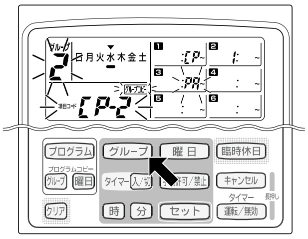
●現在時刻表示が「ＣＰ－１」の点滅に、プログラム番号❶がコピー元を示す「ＣＰ」（コピー）の点滅表示に変わります。

② コピー元を選択します。



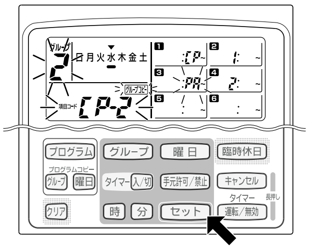
●「グループ」ボタンでコピー元となるグループを選択します。
●「セット」ボタンを押すと、コピー先の選択画面になります。

③ コピー先のグループを選択します。



●現在時刻表示が「ＣＰ－２」の点滅に変わり、プログラム番号❷にコピー元のグループがセットされ、プログラム番号❸がコピー先を示す「ＰＡ」（ペースト）の点滅表示になります。
●「グループ」ボタンを押してコピー先グループを選択します。

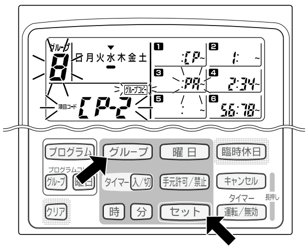
④ コピー先を決定します。



●「セット」ボタンを押すと、プログラム番号のエリアにコピー先のグループが表示されます。
※コピー先のグループとして１～４を選択した場合はプログラム番号の❹の場所に、５～８を選択した場合はプログラム番号❻の場所に表示されます。

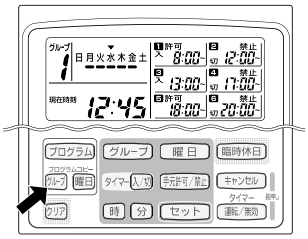
正しい使いかた

⑤ 引き続き他のグループにコピーできます。



●「グループ」ボタン→「セット」ボタンの繰り返しで、他のグループに連続してコピー先に設定できます。
※コピー先のグループとして１～４を選択した場合はプログラム番号の❹の場所に、５～８を選択した場合はプログラム番号❻の場所に表示されます。

⑥ プログラムコピーの「グループ」ボタンを押して確定します。



●通常表示画面に戻ります。

<ご注意>

●すでにプログラムされているグループををコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。
●グループコピーモードの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを２秒以上押しつづけることで、プログラムコピーの「グループ」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

正しい使いかた

臨時休日の設定のしかた

臨時休日をセットすることで、１週間以内のプログラム運転を一時的に無効にすることができます。

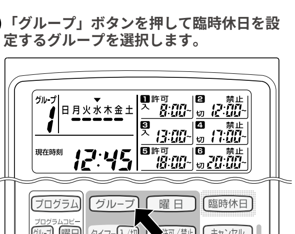
●休日に設定された曜日が経過しますと、臨時休日の設定は解除され、その翌週からプログラム通りの運転となります。
●設定できるのは、現在曜日から１週間です。現在曜日に休日を設定した場合、その次のプログラム運転から取り消されます。（プログラムによって運転していても停止にはなりません）

設定の例）

日月火水木[金]土 ➡ 日月火水木[金]土 ➡ 日月火水木金土

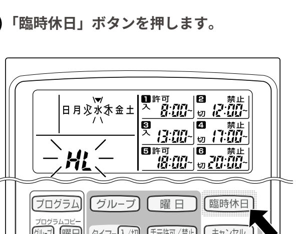
現在木曜日で金曜日に臨時休日を設定します。	日付が変わっても休日設定された金曜日のプログラム運転は行いません。	さらに日付が変わって土曜日になると、金曜日の臨時休日設定は解除されます。

① 「グループ」ボタンを押して臨時休日を設定するグループを選択します。



※据付時の設定によってはグループを選択できない設定や、全グループ一括での臨時休日設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

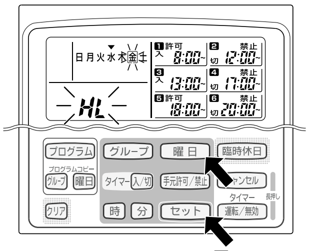
② 「臨時休日」ボタンを押します。



●現在時刻表示が「ＨＬ」の点滅に変わり、現在曜日表示が点滅します。

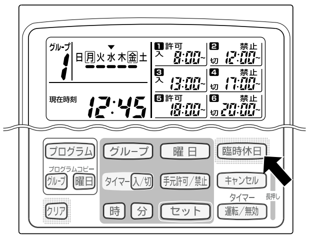
正しい使いかた

③ 「曜日」ボタンで臨時休日になる曜日を選択し、「セット」ボタンを押します。



●曜日表示に臨時休日を示す枠（□）が表示されます。
●他の曜日の臨時休日を設定する場合は、引き続き「曜日」ボタンで選択して「セット」ボタンを押します。
●間違えて設定した場合や臨時休日を取り消す場合は、「クリア」ボタンを押してください。

④ 最後に「臨時休日」ボタンを押します。



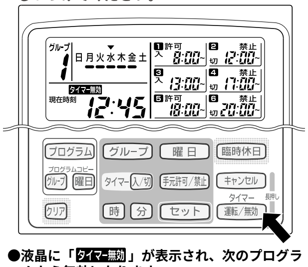
●通常表示に戻ります。

タイマー運転無効の設定のしかた

１週間以上にわたってプログラム運転を休止する場合、すべてのタイマーを無効にすることができます。

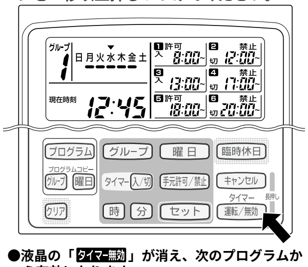
●タイマー運転無効に設定すると、再度下記の操作を行うまでプログラム運転を行いません。
※据付時の設定によってはグループごとにタイマー運転無効の設定を行えるようになっています。この場合、表示しているグループのタイマー無効しか表示されませんので、「グループ」ボタンを押して確認してください。

タイマー「運転/無効」ボタンを２秒以上押しつづけてください。



●液晶に「タイマー無効」が表示され、次のプログラムから無効になります。

解除するにはタイマー「運転/無効」ボタンを２秒以上押しつづけてください。



●液晶の「タイマー無効」が消え、次のプログラムから有効になります。

スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　仕様と機能

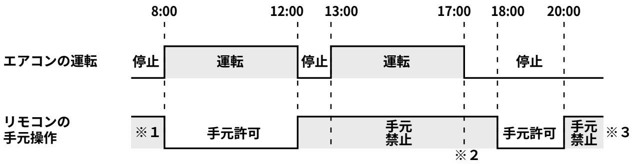
知っていただきたいこと

１．スケジュールタイマーとエアコンの動作について

エアコンの運転は、スケジュールタイマーから行われるプログラム運転（運転／停止やリモコンの手元許可／禁止の動作）と、接続されたリモコンやシステムコントローラー等による動作のいずれかになります。

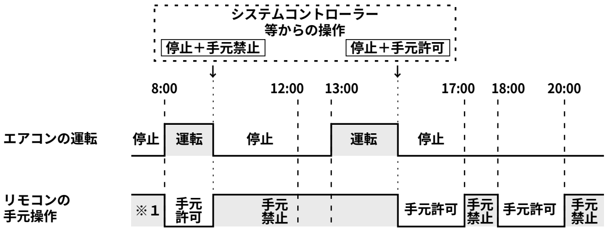
スケジュールタイマーの設定（例）

●システムコントローラー等からの操作がない場合の動作
・リモコンが手元許可のときはリモコンからの運転／停止が行えます（後押し優先）



※１　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。
※２　すでに手元禁止となっていますので、手元禁止のまま変化しません。
※３　翌日以降に手元許可を設定するまで手元禁止を継続します。

●システムコントローラー等からの操作がある場合の動作
・リモコンが手元許可のときはリモコンからの運転／停止が行えます（後押し優先）
・システムコントローラー等から設定した手元許可／禁止（集中１～４）は、プログラム運転によって解除されます。



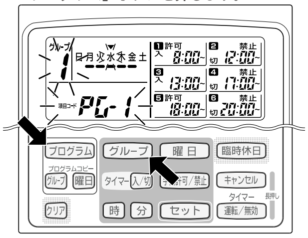
※１　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。

18

正しい使いかた

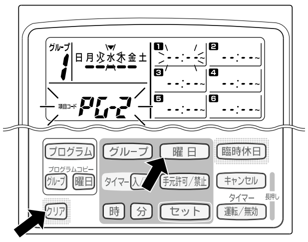
プログラムの取り消しかた

「プログラム」ボタンを押します。



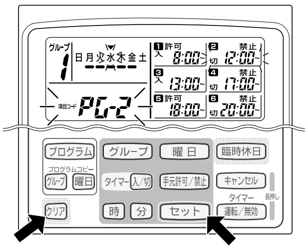
●「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在曜日が点滅し、現在時刻表示が「ＰＧ－１」の点滅に変わります。
●「グループ」ボタンを押して、消去したいグループを選択します。
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。
※「キャンセル」ボタンを２秒以上押しつづけたときは、「プログラム」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの操作はすべてキャンセルされます）

＜曜日単位での消去＞



●「曜日」ボタンで消去する曜日を選択した状態で「クリア」ボタンを押すと、プログラムの❶から❻の内容がすべて消去され、左図のような表示になります。
●「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常表示に戻り、運転予約表示の「▬」が消えます。

＜曜日内の個別プログラムの消去＞



●曜日を選択した状態から「セット」ボタンを押していくと、プログラムの❶から❻の点滅表示が切り替わりますので、消去したいプログラムの点滅表示になったら「クリア」ボタンを押します。（残りのプログラムは、時間の早い順に自動的に並び替えられます）
●「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常表示に戻ります。

例：上の内容から❷をクリアした後の表示

17

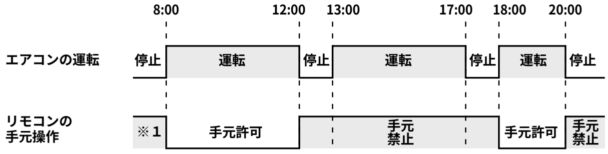
知っていただきたいこと

２．停電について

エアコンが停電して電源が復帰した場合は、エアコンが運転していた場合は停止します。また、リモコンが手元禁止になっていた場合は電源が復帰してから数分間は手元許可に戻ります。
・停電が復帰した後の時刻のプログラム運転から有効になります。
・プログラム内容は、スケジュールタイマーに内蔵している不揮発性メモリでバックアップしますので、クリアされることはありません。また、現在時刻と現在曜日は内蔵の電池により、最大１００時間までバックアップします。

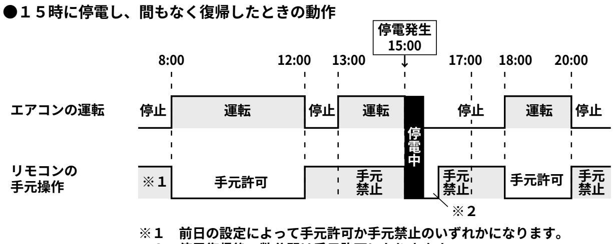
スケジュールタイマーの設定（例）

●停電しなかった場合の動作



※１　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。

●１５時に停電し、間もなく復帰したときの動作



※１　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。
※２　停電復帰後の数分間は手元許可になります。

19

スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　施工

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生がが想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに"取扱説明書"にそってお客様に使用方法を説明してください。また、"据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ"は、"取扱説明書"と共に、お客様で保管頂くように依頼してください

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
　ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、本書に従って確実に行ってください。
　据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
　電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
　接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
　漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●厨房や工場等、油分を含んだ雰囲気中への設置はしないでください。
●直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
●エレベーターや自動ドアー、工業用ミシン等のノイズの発生が予想される機器の近傍には設置しないでください。

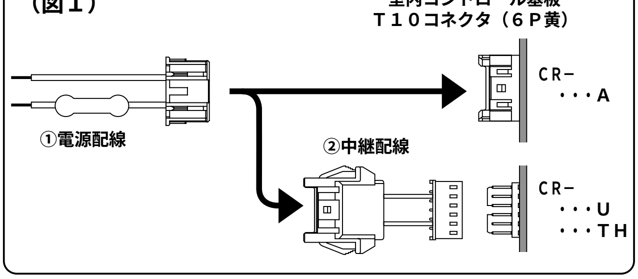
スケジュールタイマー付属品

番号	付　属　部　品	個数
①	Ｔ１０電源配線（電流ヒューズ付き）※１	１
②	Ｔ１０中継配線 ※２	１
③	小ネジ Ｍ４×３０	１

番号	付　属　部　品	個数
④	スペーサー	２
⑤	ワイヤージョイント	６
⑥	取扱説明書	１
⑦	据付工事説明書	１

※１　ヒューズが配線の短絡や誤配線、過電流で溶断した際には１２５Ｖ／０.１Ａのものと交換してください。
※２　室内コントロール基板の型名の末尾(ＣＲ－・・・○)がＵおよびＴＨのもので使用してください。(図１)

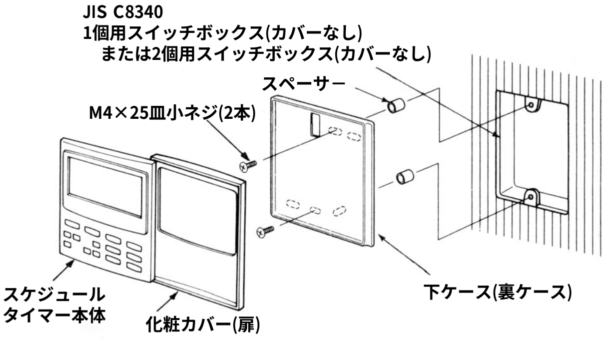
（図１）

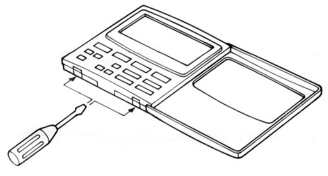


スケジュールタイマーの取り付けかた

＜注１＞室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
＜注２＞スケジュールタイマーはノイズ発生源から離して据付けてください。
＜注３＞ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

（図２）



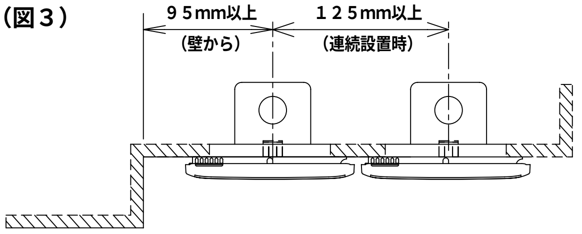


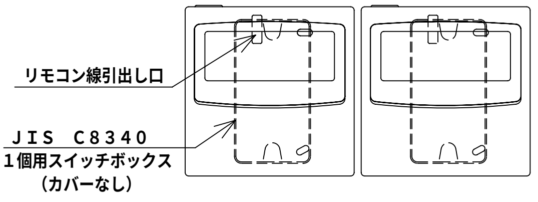
①スケジュールタイマー本体の扉を開くと見えるスケジュールタイマー本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、裏ケースをはずしてください。
②スケジュールタイマー裏ケースを付属のM4小ネジ（２本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJIS BOXに対応するビス用穴をドライバー等で押し開けてください。
　固定のときは、スペーサーを使用し、あまり強く締めないでください。スケジュールタイマーが壁に密着しないときは、スペーサーを切って調整してください。
③付属の電源配線（２芯）及び室内外操作線用配線（３芯）を、スケジュールタイマー本体に接続してください。
　（スケジュールタイマーの配線のしかたの項を参照してください。）
④スケジュールタイマー本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

連続設置の場合の取付方法

スケジュールタイマー（リモコンスイッチ・システムコントローラー等）を壁面に取付ける場合は、図３、図４の取付け方法を守ってください。

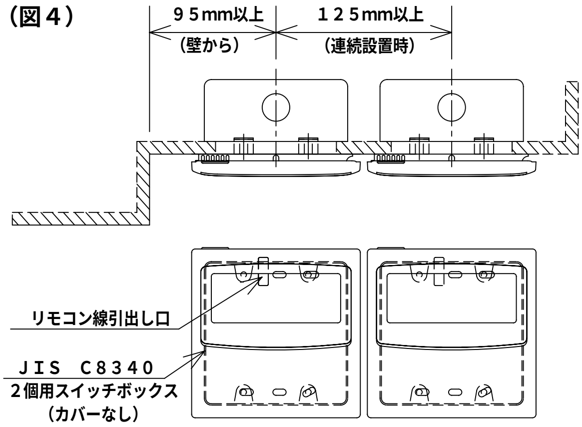
（図３）





スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　施工

（図４）



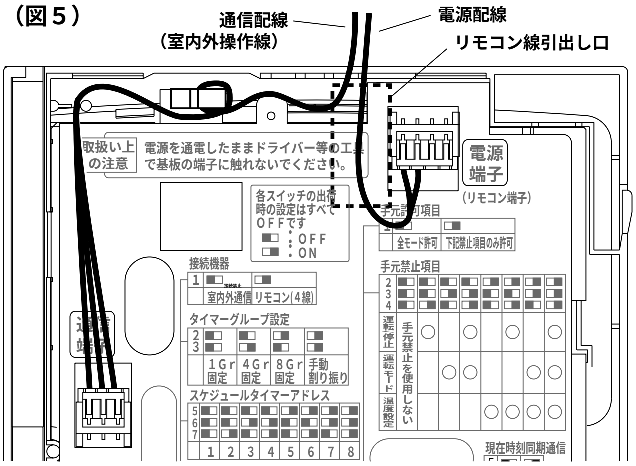
※リモコンスイッチとスケジュールタイマーを上下に並置して取付ける場合は、保守の関係上、隙間は25mm以上を守ってください。

スケジュールタイマーの配線のしかた

●配線を行うまえに

- 現地配線は０.５mm^2～２mm^{2}を使用します。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線区別できる信号線を使用し、誤配線のないようにしてください。（誤配線すると壊れます）
- スケジュールタイマーの通信配線と電源配線が正しく接続されていることを確認してください。（図５）

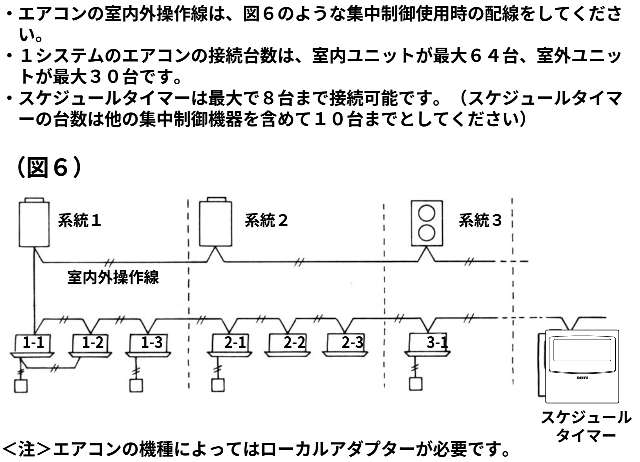
（図５）



＜基本配線図＞

- エアコンの室内外操作線は、図６のような集中制御使用時の配線をしてください。
- １システムのエアコンの接続台数は、室内ユニットが最大６４台、室外ユニットが最大３０台です。
- スケジュールタイマーは最大で８台まで接続可能です。（スケジュールタイマーの台数は他の集中制御機器を含めて１０台までとしてください）

（図６）



＜注＞エアコンの機種によってはローカルアダプターが必要です。

●配線のしかた

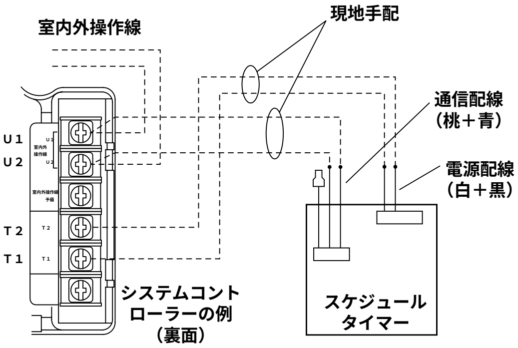
スケジュールタイマーの配線は、以下の２つの接続方法があります。現地で設置する場所に合わせて、どちらか一方の接続方法を選んでください。
配線を行うときは、ワイヤージョイント(付属品)および延長配線(現地手配)により、配線の延長を行ってください。

＜注意＞スケジュールタイマーを複数台設置する場合は、電源の渡り配線は避けてください。

●接続図（電源配線は必ず付属のものを使用してください）

システムコントローラー（または、ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラー）と併設する場合

（図７）

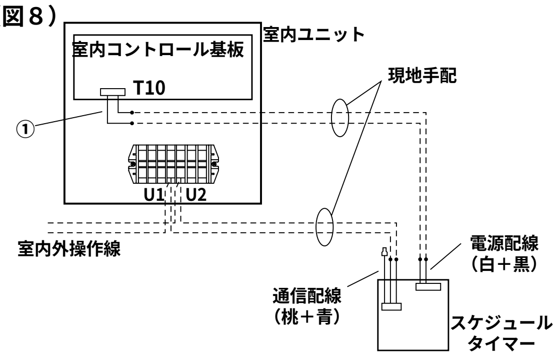


スケジュールタイマーの室内外操作線用配線（注）と、システムコントローラー等の端子台にあるＵ１、Ｕ２端子を、また電源配線（白＋黒）とＴ２、Ｔ１端子を図７のように接続してください。

●室内外操作線には極性がありませんので、Ｕ１／Ｕ２は逆になってもかまいません。
●電源配線には極性がありませんので、逆に接続してもかまいません。
●電源配線の長さは、必ず１００m以内としてください。
注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青(ワイヤージョイント圧着)となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

システムコントローラー(または、ON/OFF集中コントローラー、マルチコントローラー)と併設しない場合(室内機からの電源供給)

（図８）



近傍の室内機の室内コントロール基板から電源を供給する場合には、室内コントロール基板のＴ１０端子に付属のＴ１０端子接続用配線を接続し、スケジュールタイマーの電源配線と接続してください。

●室内外操作線には極性がありませんので、Ｕ１／Ｕ２は逆になってもかまいません。
●室内コントロール基板への接続は、必要に応じて中継配線をご使用ください。(図１)
●電源配線には極性がありませんので、逆に接続してもかまいません。
●電源配線の長さは、必ず２００m以内としてください。

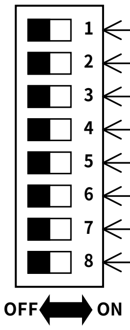
＜注意＞スケジュールタイマーの機能は室内ユニットのＯＮ／ＯＦＦおよび手元許可／禁止の操作のみとなっていますので、設置の際は運転状態などの確認のためにシステムコントローラーやリモコンなどの機器のそばに設置することをお勧めします。
（システムコントローラーなどの集中機器がない場合、リモコンレスのシステムではスケジュールタイマーを併用できません）

スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　施工

設定スイッチについて

・設定スイッチの設定は、スケジュールタイマーの電源を入れる前に行ってください。

S41



※出荷時の設定は
すべてＯＦＦ

接続先(１)

通常使用時は、OFFで使用してください。**旧ウィークリータイマーのサービス対応版のみＳ４１スイッチ1→ON**で使用してください。

タイマーグループ設定(２,３)

機能	2	3
１タイマーグループ固定	OFF	OFF
４タイマーグループ固定	OFF	ON
８タイマーグループ固定	ON	OFF
手動グループ設定	ON	ON

タイマーグループとは、室内外操作線に接続されている室内機の最大64台の集中制御アドレスを分割し、割り当てられたタイマープログラムのグループです。

集中制御親子切換(４)　子：ＯＦＦ　親：ＯＮ

①ＡＭＹアダプター、通信アダプター、インテリジェントコントローラー、マルチコントローラー、ロンワークスインターフェース、システムコントローラーと併用する場合、子(OFF)にしてください。
②上記①以外の場合でＯＮ/ＯＦＦ集中コントローラーと併用する場合やスケジュールタイマー１台のみで使用するときは親(ＯＮ)で使用します。
③上記①以外の場合でスケジュールタイマーを複数台使用するときは、１台のみを親(ＯＮ)とし、その他を子(ＯＦＦ)にしてください。

スケジュールタイマーのアドレス設定(５,６,７)

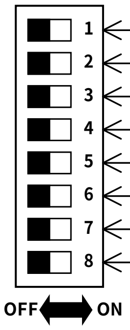
スケジュールタイマーは、室内外操作線上に最大８台接続できます。複数台設置する場合、設定スイッチにより重複を避けるためにアドレスの割り振りを行ってください。

機能	5	6	7
アドレス　1	OFF	OFF	OFF
アドレス　2	OFF	OFF	ON
アドレス　3	OFF	ON	OFF
アドレス　4	OFF	ON	ON
アドレス　5	ON	OFF	OFF
アドレス　6	ON	OFF	ON
アドレス　7	ON	ON	OFF
アドレス　8	ON	ON	ON

グループごとの臨時休日、運転無効設定(８)

設定スイッチＯＦＦで一括、ＯＮでタイマーグループごとの設定となります。

S42



※出荷時の設定は
すべてＯＦＦ

手元許可項目(１)

手元許可/禁止を使用するときの手元許可(解除)の範囲を設定します。
リモコンで制御できる全項目＊を許可
→ＯＦＦ
設定スイッチ2,3,4の項目のみを許可
→ＯＮ
通常使用のとき、または手元許可/禁止を使用しないときはＯＦＦにして使用してください。

＊）運転停止、運転モード切替、設定温度、風向、風速の項目をいいます。

次項に続く

前項より

手元禁止項目スイッチ(２,３,４)

タイマーの手元禁止時に手元禁止を使用したい項目に合わせて手元禁止項目スイッチを設定してください。

手元禁止項目		2	3	4
手元禁止を使用しない		OFF	OFF	OFF
運転/停止	集中１	OFF	OFF	ON
運転モード	集中４	OFF	ON	OFF
運転モード＋運転/停止		OFF	ON	ON
温度設定		ON	OFF	OFF
温度設定＋運転/停止		ON	OFF	ON
温度設定＋設定モード	集中３	ON	ON	OFF
温度設定＋運転モード＋設定モード	集中２	ON	ON	ON

集中１～４はシステムコントローラーの手元禁止モードの呼称です。

時刻同期送受信(５)　無効：ＯＦＦ　有効：ＯＮ

スケジュールタイマーの複数台設置時、時刻設定を複数同時に行う場合はＯＮ(有効)にしてください。時刻設定を行ってから１分後に他のスケジュールタイマーの時刻が一致します。(通常ＯＦＦ)

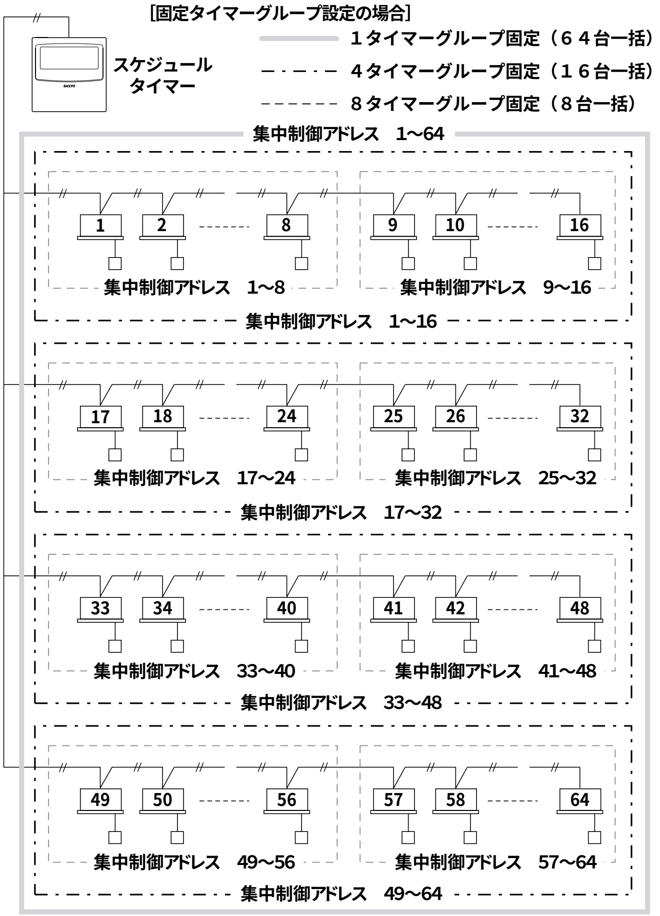
予備(６,７,８)

必ずＯＦＦで使用してください。

タイマーグループの設置のしかた

スケジュールタイマーは、６個の時刻状態変化を持ち、これをグループ(タイマーグループ)として最大８グループもつことができます。スケジュールタイマーを使用されるシステムで、一括でタイマー制御を行う室内ユニットの集中制御アドレスに合わせてタイマーグループの設定を行ってください。

スケジュールタイマーのタイマーグループ設定は、集中制御アドレスの割り振りを行うものですので、システムコントローラー等の集中機器やワイヤードリモコンなどにより、室内ユニットの集中制御アドレスの設定を行った後、スケジュールタイマーの設定を行うようにしてください。



スケジュールタイマー／SHA-TM64A…別売品　施工

●固定タイマーグループ設定(グループ固定)の手順

①まず、他の集中機器(システムコントローラーなど)やワイヤードリモコンにより、一括でタイマー制御したい室内ユニットを上図で割り振られている集中制御アドレスに合わせて設定してください。
②次に、タイマーグループをいくつに分割させるかをＳ４１スイッチ2,3により設定します。
③最後にスケジュールタイマーの電源を入れます。初期通信(SC An点滅表示)が行われ、数分で通常表示になり、タイマーグループ設定が確定します。

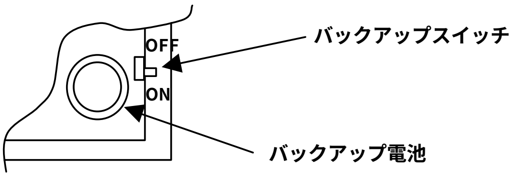
●手動タイマーグループ設定(手動割り振り設定)の手順

手動タイマーグループ設定はタイマーグループ内の集中制御アドレスの割り振りを自由に行うことのできる設定方法です。

①Ｓ４１設定スイッチ２,３をＯＮにして電源を入れてください。再起動と初期通信(SC An点滅表示)が行われ、数分で通常表示になります。
②通常表示時にスケジュールタイマーの「クリア」、タイマー「入/切」、「手元許可/禁止」ボタンを同時に４秒以上押してください。現在時刻表示部に " Ad-01 "表示が点滅します。(AdはAddress、01は集中アドレス番号)
③ ■ 枠内の「グループ」ボタンでタイマーグループを設定し、 ■ 枠内の「曜日」ボタンでタイマーグループ内に割り振り登録したい集中制御アドレスを選択します。「セット」ボタンを押すと、集中制御アドレスが登録されます。
④登録を続ける場合は③の手順を繰り返します。(液晶右側部分に集中制御アドレス番号が追加されていきます）登録した集中制御アドレスを取り消したい場合には、 ■ 枠内の「グループ」ボタンでタイマーグループを選択し、 ■ 枠内の「曜日」ボタンで集中制御アドレスを選択し、「クリア」ボタンを押してください。
⑤タイマーグループごとに③～④の手順を繰り返します。登録を終了するときはタイマー「入/切」ボタンを押します。自動的にスケジュールタイマーが再起動し、初期通信(SC An点滅表示)が行われ、数分で通常表示になり、手動で割り振り設定したタイマーグループ設定が確定します。

メモリーバックアップスイッチについて

据付終了後、スケジュールタイマー基板裏のバックアップスイッチのが「ON」になっていることを必ず確認してください。
（バックアップ電池により現在時刻を最大１００時間保持します）



スケジュールタイマーで制御できる集中制御アドレスの確認、運転のしかた

スケジュールタイマーは、室内機との通信により現在タイマー制御のできる集中制御アドレスを確認し、運転／停止することができます。

①スケジュールタイマーの「手元許可/禁止」、「時」、「クリア」ボタンを同時に４秒以上押してください。現在時刻表示部に ” Ad -(集中制御アドレス) ”が順次点滅表示されます。
② ■ 枠内の「グループ」ボタンにより、集中制御アドレスが順次点滅表示され、表示タイマーグループ内のどの集中制御アドレスがタイマー運転できるかを確認することができます。
③表示されているタイマーグループでタイマー「入/切」ボタンを押してください。押すごとに表示タイマーグループ内の室内ユニットが運転、／停止を行います。また、このモードの中で「手元許可/禁止」ボタンを押すことにより、表示タイマーグループ内の手元禁止されている室内ユニットの全項目許可(運転停止、運転モード、設定温度の項目)を行うことができます。
④アドレス確認、運転後は「キャンセル」ボタンを２秒以上押してください。スケジュールタイマーが通常表示に戻り、制御可能な全室内ユニットが停止し、ます。

お客様への説明

●「取扱説明書」「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」は、工事完了後にお客様にお渡しください。
●「取扱説明書」に沿ってお客様に使用方法を説明してください。

施工計画書

●スケジュールタイマーのユニットNo.の確認は、ワイヤードリモコンで行います。（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの「ユニット選択ボタン」を１回だけ押すと、親機のユニットNo.を表示します）

スケジュールタイマー タイマーグループ固定 1	4	8	集中制御アドレス	室内機 ユニットNo. 系統 － 室内	部屋名
1 出荷時	1	1	1	－　，　－	
			2	－　，　－	
			3	－　，　－	
			4	－　，　－	
			5	－　，　－	
			6	－　，　－	
			7	－　，　－	
			8	－　，　－	
		2	9	－　，　－	
			10	－　，　－	
			11	－　，　－	
			12	－　，　－	
			13	－　，　－	
			14	－　，　－	
			15	－　，　－	
			16	－　，　－	
	2	3	17	－　，　－	
			18	－　，　－	
			19	－　，　－	
			20	－　，　－	
			21	－　，　－	
			22	－　，　－	
			23	－　，　－	
			24	－　，　－	
		4	25	－　，　－	
			26	－　，　－	
			27	－　，　－	
			28	－　，　－	
			29	－　，　－	
			30	－　，　－	
			31	－　，　－	
			32	－　，　－	
	3	5	33	－　，　－	
			34	－　，　－	
			35	－　，　－	
			36	－　，　－	
			37	－　，　－	
			38	－　，　－	
			39	－　，　－	
			40	－　，　－	
		6	41	－　，　－	
			42	－　，　－	
			43	－　，　－	
			44	－　，　－	
			45	－　，　－	
			46	－　，　－	
			47	－　，　－	
			48	－　，　－	
	4	7	49	－　，　－	
			50	－　，　－	
			51	－　，　－	
			52	－　，　－	
			53	－　，　－	
			54	－　，　－	
			55	－　，　－	
			56	－　，　－	
		8	57	－　，　－	
			58	－　，　－	
			59	－　，　－	
			60	－　，　－	
			61	－　，　－	
			62	－　，　－	
			63	－　，　－	
			64	－　，　－	

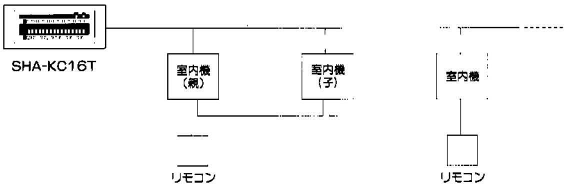
マルチコントローラー／SHA-KC16T…別売品　仕様と機能

●仕様

品　　番		SHA-KC16T
外形寸法（mm）		（高さ）120×（幅）280×（奥行）80
取 付 方 法		埋込形
接 続 台 数		16グループ
表示	運転表示	ランプにより表示（緑×16）
	集中管理	ランプにより表示（橙×16）
電 源 定 格		単相100V 50／60Hz
重　量（kg）		1.1
遠隔用入力（有電圧DC24V）		一括運転、一括停止、ウィークリータイマー
遠隔用出力（無電圧接点）		一括運転、一括警報
配線総延長距離		1km（室内機、室外機及び集中制御間）
設 置 場 所		屋内設置
		壁埋込み専用（JIS 5個用BOX使用）

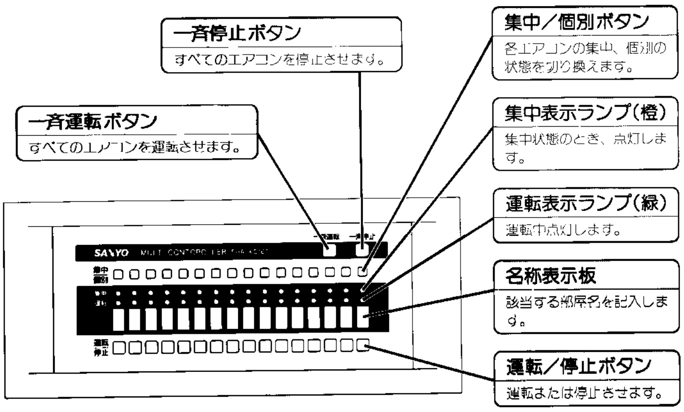
◎個別運転／停止、一斉運転／停止、集中／個別設定ができます。
◎1台で最多16グループ（室内機最多64台）の制御が可能
◎4台で最多64グループ（室内機最多64台）の制御が可能
◎親子合計8台（親4台、子4台）接続可能
◎ウィークリータイマーとの接続ができます。

●システムの構成



●：エアコンには、リモコンが必要です。
●機種によっては、ローカルアダプタが必要になります。

●名称と機能



※集中…リモコンでは運転／停止できません。
　個別…リモコンでも集中コントローラでも運転／停止できます。

●操作・表示・印刷機能

○印：機能あり　－印：機能なし

品名・品番	室内機・接続台数 管理可能な台数	エアコンの種類	接続に必要なローカルアダプタ	操作／表示機能									表示機能							外部入・出力端子				印刷機能			
				運転／停止（個別・一括）	モード変更 ※1	風速変更	温度設定	風向変更	集中／個別切換	週間プログラム	特定日（休日）設定	デマンド制御	室内温度	一括運転確認	警報	運転積算時間	サーモON積算時間	発停回数	説明文	外部一括警報出力	オールON・OFF入力	ウィークリープログラムタイマー	一括運転モニター出力	各画面印刷	テナント毎の按分印刷	警報印刷	請求書発行
マルチコントローラ SHA-KC16T	室内機64台×1系統 ※2	A・U・T形ヒートポンプタイプ	不要	○	－	－	－	－	○ ※6	－ ※7	－	－	－	－	○ ※8	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－
		S・R形ヒートポンプタイプ S形冷房専用タイプ	SHA-KL1A ※5	○	－	－	－	－	○ ※6	－ ※7	－	－	－	－	○ ※8	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－
		R(N)形冷専、K・M形小形エアコン ※3	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－ ※7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
		その他機種 ※4	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－ ※7	－	－	－	－	○ ※8	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－

※1.　送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※2.　1系統は1リンク配線の制限（室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、但し、合計は最多100台）の室内機最多64台が制御対象です。
　　マルチコントローラ及びON／OFF集中コントローラは16グループまで制御可能。
　　（マルチコントローラ及びON／OFF集中コントローラ1台で室内機最多64台を制御＝1グループの室内機4台×16グループ）
※3.　「JEMA標準HA端子－A」端子が付いているエアコン等を発停および発停モニター可能。（旧L3C機能）
※4.　リレー接点出力（旧L4C機能）
※5.　SHA-KL1Aを使用の場合は、リモコンレスシステムは不可です。必ずリモコンを取付けてください。
※6.　個別許可／集中1のみ可能。
※7.　別売のプログラムウィークリータイマを接続すれば可能。
　　（但しマルチコントローラ、ON／OFF集中コントローラ、システムコントローラを一括でON／OFF制御）
※8.　ランプのフラッシングで表示。

マルチコントローラー／SHA-KC16T…別売品　施工

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに"取扱説明書"にそってお客様に使用方法を説明してください。また、"据付(電気)工事担当のかたへ"は、"取扱説明書"とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠警告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って確実に行ってください。
据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠注意

- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

マルチコントローラ付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	皿ネジ M4×30	4	③	ナット M4	4
②	皿小ネジ M4×10	4	④	平ワッシャー	4

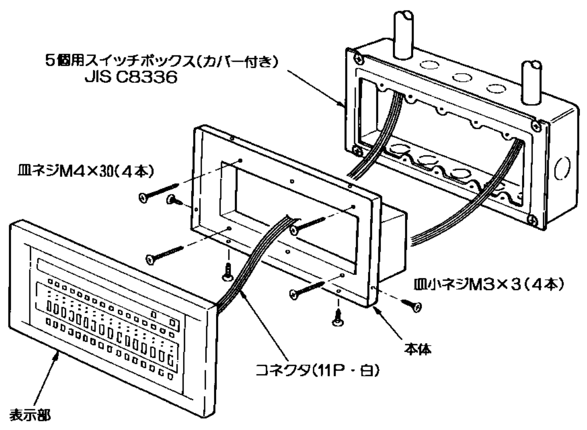
マルチコントローラの取り付けかた

〈注1〉 接続配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。

〈注2〉 マルチコントローラはノイズの発生源から離して据え付けてください。

1．埋め込みボックスを使用する場合

- 配線が済んだら、次の要領で取り付けます。



❶表示部の皿小ネジ(M3×３)４本をはずし、本体と表示部を注意して取りはずしてください。
❷本体と表示部の接続用コネクタ(11P・白)をいったんはずします。
❸上図のように、本体を皿ネジ(M4×30)４本でJISボックスに取り付け、❷ではずした接続用コネクタ(11P・白)を、再び接続します。(コネクタは確実に接続してください。)
❹表示部を本体にはめて、皿小ネジ(M3×３)４本を元のようにしめます。(ABS樹脂ですので、しめすぎないように注意してください。)

2．制御盤に埋め込む場合

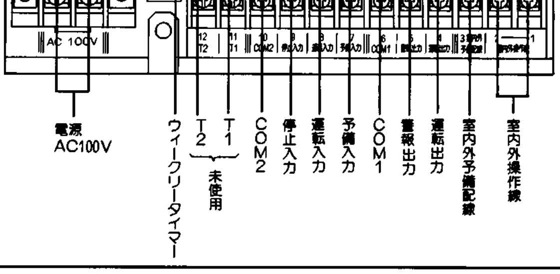
❶表示部の皿小ネジ(M3×３)４本をはずします。
❷埋め込みボックスを使用する場合と同様に、本体と表示部をはずしてください。
❸本体を付属のネジ(M4×10)４本・ナットで制御盤に固定します。(一番外側の大きい方の穴です。)
❹表示部を元のように取り付けます。

マルチコントローラの配線のしかた

マルチコントローラの取り付け、取りはずしは安全のためエアコンの電源を切ってから行ってください。

- 信号線は、室内外操作線に接続します。
- 室内外操作線は、２芯0.5㎟～1.6㎜の電線を使用してください。
- 室内外操作線は、電源配線（AC100V等）と同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。
- マルチコントローラの電源配線は、AC100Vに接続してください。
(誤配線をするとこわれます。)
- 配線は、誤配線をしないでください。(誤配線をするとこわれます。)

〈裏面端子配置図〉

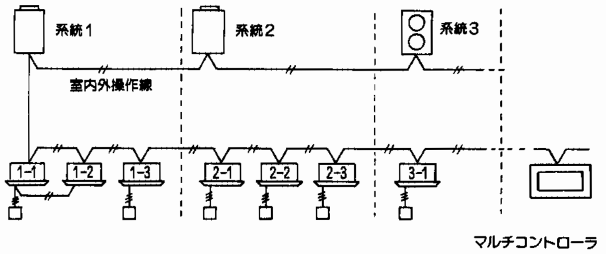


マルチコントローラー／SHA-KC16T…別売品　施工

〈基本配線図〉

エアコンの室内外操作線は、下図のような集中制御使用時の配線をしてください。

- 1システムのエアコンの接続台数は、室内機最大64台、室外機最大30台です。
- マルチコントローラは、各ゾーン毎に親子合わせて2台まで接続できます。

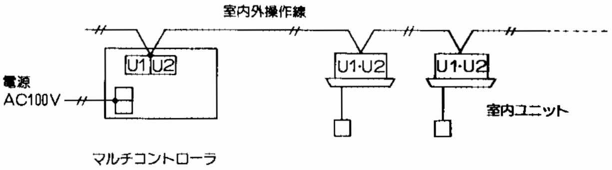


〈注〉エアコンの機種によっては、ローカルアダプタが必要です。

〈配線の手順〉

マルチコントローラの端子台、室内外操作線（1、2）と室内ユニットの端子（U1、U2）とを、下図のように、接続してください。

- 極性はありませんので、U1、U2は逆になってもかまいません。
- 室外ユニットの室内外操作線用の端子にも接続できます。

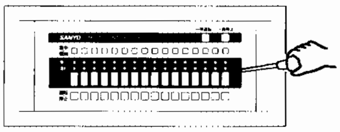


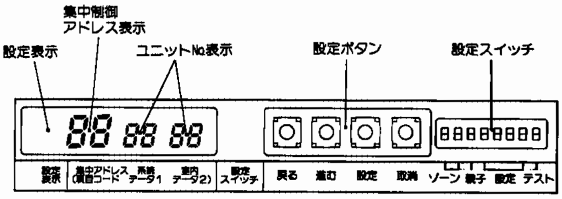
設定スイッチ・表示について

名称表示板の裏側に、設定スイッチ・表示があります。

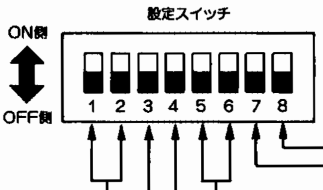
❶透明カバー左右のすきまに⊖ドライバーなどを差し込んで透明カバーをはずしてください。

❷名称カードをはがすと、設定スイッチ・表示があります。





●設定スイッチについて



テストモード
必ずOFFで使用してください。

予備
必ずOFFで使用してください。

集中制御アドレス登録スイッチ

スイッチNo.	5	6
通常モード	OFF	OFF
手動 集中制御アドレス登録：C1	ON	OFF
自動 集中制御アドレス登録：C2	OFF	ON

集中制御親子切換（親：OFF　子：ON）

❶通常親（OFF）で使用します。

❷AMYアダプタ、インテリジェントコントローラ，システムコントローラと併用する場合、子（ON）にしてください。

マルチコントローラ親子切換（親：OFF　子：ON）

❶通常親（OFF）で使用してください。

❷1つのゾーンにマルチコントローラを親子（2台）で使用する場合、1台を親（OFF），もう1台を子（ON）にしてください。

ゾーンアドレススイッチ
ゾーンアドレスの設定をします。

ゾーンアドレス ＼ スイッチNo.	1	2
1（集中制御アドレス1～16）	OFF	OFF
2（集中制御アドレス17～32）	ON	OFF
3（集中制御アドレス33～48）	OFF	ON
4（集中制御アドレス49～64）	ON	ON

※出荷時の設定はすべてOFF

マルチコントローラを親子設置される場合

このマルチコントローラ親子制御は、2台のマルチコントローラで同一グループを制御するものです。

●設定の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設定をしてください。

❶子のマルチコントローラのゾーンアドレススイッチを、親のマルチコントローラと同じアドレスに設定します。

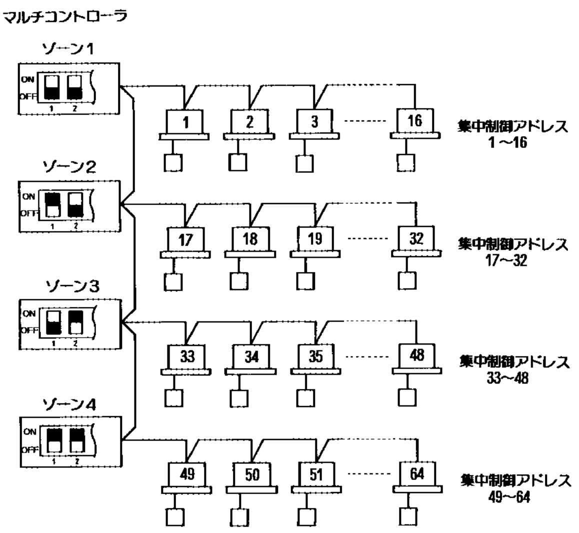
❷子のマルチコントローラの設定スイッチ3番（マルチコントローラ親子切換）をOFF→ONにしてください。
この状態にて子マルチコントローラとして機能します。

❸マルチコントローラを親子で使用する場合、必ず1台は親マルチコントローラとしてください。

マルチコントローラー／SHA-KC16T…別売品　施工

マルチコントローラのゾーンアドレス設定スイッチについて

マルチコントローラを複数のゾーンで制御する場合は、ゾーンアドレスの設定が必要です。（設定スイッチ１番と２番）
- ●１ゾーンだけで使用の場合は、ゾーン１に設定します。
- **●複数のゾーンで使用する場合は、１台のマルチコントローラは、必ずゾーン１に設定してください。**



集中制御アドレスの設定のしかた

- ●すべてのエアコンの電源を入れてください。
- **●エアコンの試運転を終了**してから、下記の手順にしたがって、集中制御アドレスを設定してください。

自動で集中制御アドレスを設定しますか？
（ユニットNoの若い順に集中制御アドレスを自動設定します。）

自動で設定する
1．マルチコントローラから自動で集中制御アドレスを登録：C2

手動で設定する

ワイヤードリモコンから設定しますか？

マルチコントローラから手動で設定する
2．手動集中制御アドレス登録：C1

ワイヤードリモコンから設定する
3．ワイヤードリモコンで集中制御アドレスを登録する

通常使用モードに戻ってから、運転／停止ボタンを押し、各エアコンの動作を確認してください。
また、このとき設定表示部に表示される数字が、集中制御アドレスおよびエアコンのユニットNoです。

自動で設定する

1．マルチコントローラから自動で集中制御アドレスを登録：C2

●１台のマルチコントローラで、すべてのゾーンの集中制御アドレスが自動で設定できます。

❶マルチコントローラの透明カバーをはずし、名称カード裏側の設定スイッチ５番をOFF、設定スイッチ６番をONにします。
（C2が点灯）

❷「設定」ボタンを押すと、（C2が消灯し、集中制御アドレス表示1になります。）自動集中制御アドレス登録を開始します。
（数分程度かかります。）

❸登録終了後、設定表示がC2 End表示になり、登録が終了します。（登録中は、現在登録中の集中制御アドレス、ユニットNoを表示します。）

❹設定スイッチ５番と設定スイッチ６番をOFFにします。

❺マルチコントローラが自動的に室内外操作線の通信の初期設定を行い、登録が終了します。初期設定中は、運転ランプ（緑色ランプ）と集中ランプ（橙色ランプ）が低速点滅します。

マルチコントローラから手動で設定する

2．手動集中制御アドレス登録：C1

●１台のマルチコントローラで、すべてのゾーンの集中制御アドレスが設定できます。

❶リモコンを接続して、室内機のユニットNoを確認し、施工計画書を作成してください。

❷マルチコントローラの透明カバーをはずし、名称カード裏側の設定スイッチ５番をON、設定スイッチ６番をOFFにします。
（C1が点灯、ユニットNoが -- で点滅します。）

❸「設定」ボタンを押します。
（C1が消灯し、集中制御アドレス表示になります。）

❹「戻る」、「進む」ボタンで、設定したい集中制御アドレスを選択します。すでに集中制御アドレスが設定されている場合、ユニットNoを表示します。

❺「設定」ボタンを押すと、集中制御アドレス表示が点滅から点灯になり、ユニットNoが点滅表示します。

❻「戻る」、「進む」ボタンで、設定したいユニットNo（グループ制御時は親機）を選択します。（系統がないとき、室内Noは -- を表示します。系統31はローカルアダプタ用で、存在の有無にかかわらず室内No１～64を表示します。）

❼「設定」ボタンを押すと、ユニットNo表示が点滅から点灯に変わります。（設定できないときは、集中制御アドレス表示が点滅、ユニットNoが -- になります。）取り消す場合は「取消」ボタンを押します。

❽登録を続けるときは、❹～❼を繰り返します。登録を終了するときは設定スイッチ５番と設定スイッチ６番をOFFにします。

❾マルチコントローラが、自動的に室内外操作線の通信の初期設定を行い、登録が終了します。初期設定中は、運転ランプ（緑色ランプ）と集中ランプ（橙色ランプ）が低速点滅します。

ワイヤードリモコンから設定する

3．ワイヤードリモコンで集中制御アドレスを登録する

- ●エアコンが停止中に行ってください。
- ●すべてのエアコンに対して下記の❶～❻の操作を行ってください。

❶ [試運転／点検] ボタンを４秒間以上押し続けます。

❷ [ユニット選択] ボタンを押さないでください。

❸温度設定 [▲]、[▼] ボタンで項目コードを 03 にします。

❹タイマー時間 [▲]、[▼] ボタンで、集中制御アドレスを設定します。

集中制御アドレス、ゾーン・グループ対応表

集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ
1	1	1	17	2	1	33	3	1	49	4	1
2		2	18		2	34		2	50		2
3		3	19		3	35		3	51		3
4		4	20		4	36		4	52		4
5		5	21		5	37		5	53		5
6		6	22		6	38		6	54		6
7		7	23		7	39		7	55		7
8		8	24		8	40		8	56		8
9		9	25		9	41		9	57		9
10		10	26		10	42		10	58		10
11		11	27		11	43		11	59		11
12		12	28		12	44		12	60		12
13		13	29		13	45		13	61		13
14		14	30		14	46		14	62		14
15		15	31		15	47		15	63		15
16		16	32		16	48		16	64		16
									99	未設定	

❺ [セット] ボタンを押します。（設定中 が点滅から点灯に変わる）

❻ [試運転／点検] ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了します。（通常の停止状態になる）

マルチコントローラー／SHA-KC16T…別売品　施工

試運転

1. エアコンの電源をすべて入れてください。
2. マルチコントローラの電源を入れてください。
3. マルチコントローラから運転し、表示ランプで動作を確認してください。

●次の場合は集中ランプあるいは運転ランプが点滅しますので点検してください。

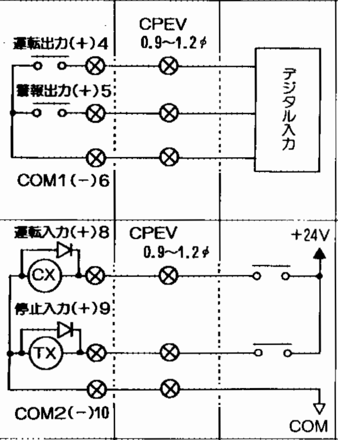
❶集中ランプが数秒間高速点滅したとき(橙色ランプ)
- ●エアコンの集中制御アドレスが正しく設定されていますか。
- ●エアコンの電源が入っていますか。
- ●信号線がどこかで短絡または断線していませんか。

❷運転ランプが高速点滅したとき(緑色ランプ)
- ●エアコンの動作を確認してください。
- ●エアコンの保護装置がはたらいています。

❸運転ランプ(緑色ランプ)と集中ランプ(橙色ランプ)がいっしょに低速点滅したとき。
- ●室内外操作線の通信の初期設定を行っています。しばらくお待ちください。

外部設備との接続

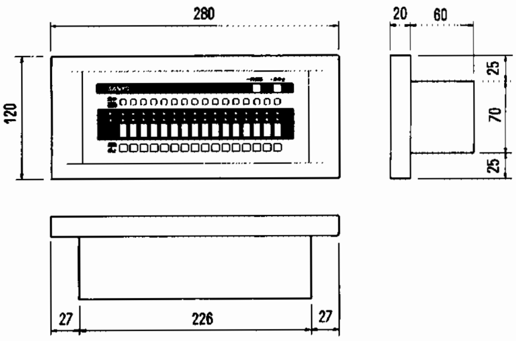
名称	入出力項目	マルチコントローラ側 入出力条件	マルチコントローラ側 端子名	設備側 切分け端子	設備側 回路例	設備側 入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	運転出力 警報出力 無電圧A接点 スタティック(フォトカプラー出力) 接点許容電圧電流 DC30V, 100mA	運転出力(+)4 警報出力(+)5 COM1(−)6	CPEV 0.9~1.2φ	デジタル入力	配線長 100m 以内
	制御入力	運転入力 停止入力 有電圧A接点 パルス (フォトカプラー入力) 接点許容電圧電流 DC24V, 10mA	運転入力(+)8 停止入力(+)9 COM2(−)10	CPEV 0.9~1.2φ	+24V COM	パルス幅 300msec 以上 配線長 100m 以内
	予備入力	未使用				



お客様への説明

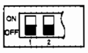
- ●「取扱説明書」「据付(電気)工事担当のかたへ」は工事完了後お客様にお渡しください。
- ●「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法を説明してください。

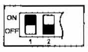
外形寸法図

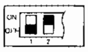


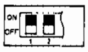
施工計画書

- ●グループ制御時は、室内機の親機に集中制御アドレスを設定してください。
- ●室内機のユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。(ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの［ユニット選択］ボタンを**1回だけ押す**と、親機のユニットNoを表示します。)

	マルチコントローラ 運転／停止ボタン番号	マルチコントローラ 集中制御アドレス	室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ソーン 1	1	1	−	
	2	2	−	
設定スイッチ	3	3	−	
	4	4	−	
	5	5	−	
	6	6	−	
	7	7	−	
	8	8	−	
	9	9	−	
	10	10	−	
	11	11	−	
	12	12	−	
	13	13	−	
	14	14	−	
	15	15	−	
	16	16	−	

	マルチコントローラ 運転／停止ボタン番号	マルチコントローラ 集中制御アドレス	室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ソーン 2	1	17	−	
	2	18	−	
設定スイッチ	3	19	−	
	4	20	−	
	5	21	−	
	6	22	−	
	7	23	−	
	8	24	−	
	9	25	−	
	10	26	−	
	11	27	−	
	12	28	−	
	13	29	−	
	14	30	−	
	15	31	−	
	16	32	−	

	マルチコントローラ 運転／停止ボタン番号	マルチコントローラ 集中制御アドレス	室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ソーン 3	1	33	−	
	2	34	−	
設定スイッチ	3	35	−	
	4	36	−	
	5	37	−	
	6	38	−	
	7	39	−	
	8	40	−	
	9	41	−	
	10	42	−	
	11	43	−	
	12	44	−	
	13	45	−	
	14	46	−	
	15	47	−	
	16	48	−	

	マルチコントローラ 運転／停止ボタン番号	マルチコントローラ 集中制御アドレス	室内機ユニットNo 系統－室内	部屋名
ソーン 4	1	49	−	
	2	50	−	
設定スイッチ	3	51	−	
	4	52	−	
	5	53	−	
	6	54	−	
	7	55	−	
	8	56	−	
	9	57	−	
	10	58	−	
	11	59	−	
	12	60	−	
	13	61	−	
	14	62	−	
	15	63	−	
	16	64	−	

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　仕様と機能

●仕様

品　　番	S11A-KC64U
外形寸法（mm）	（高さ）120×（幅）120×（奥行）16＋52
取 付 方 法	埋込形
接 続 台 数	最大64グループ（64台）
表　　示	液晶表示
電 源 定 格	単相100V 50／60Hz 4W
重 量（kg）	4.4
遠隔用入力 （有電圧DC24V）	一括運転、一括停止、ウィークリータイマー
遠隔用出力 （無電圧接点）	運転、警報
配線総延長距離	1km（室内機、室外機及び集中制御間）
設 置 場 所	屋内設置 壁埋込み専用（JIS 2個用BOX使用）

◎ 室内機最多64グループ、64台の個別制御が可能。
◎ 室内機64台を1～4のゾーンに分けて制御。
◎ （1ゾーンは最多16グループまで、1グループは最多8台まで。）
◎ 運転／停止、冷／暖房切換、風速切換、風向切換（リモコンレス時のみ）、運転モニター、警報モニター、換気※1、リモコンの手元操作禁止※2等の制御ができます。

※1. 市販の換気扇・全熱交換機を室内機と連動発停させるだけでなく、単独での発停も可能。
但し、ワイヤードリモコンによる設定が必要。

※2. 集中／個別操作の制限内容（リモコン手元操作禁止時）

●操作・表示・印刷機能

○印：機能あり　－印：機能なし

品名・品番	室内機・接続台数 管理可能な台数	エアコンの種類	接続に必要なローカルアダプター	操作／表示機能									表示機能							外部入・出力端子				印刷機能			
				運転／停止（個別・一括）	モード変更 ※1	風速変更	温度設定	風向変更	集中／個別切換	週間プログラム	特定日（休日）設定	デマンド制御	室内温度	一括運転確認	警報	運転積算時間	サーモON積算時間	発停回数	説明文	外部一括警報出力	オールON・OFF入力	プログラムウィークリータイマー	一括運転モニター出力	各画面印刷	テナント毎の按分印刷	警報印刷	請求書発行
システムコントローラ SHA-KC64U	室内機64台×1系統 ※2	A･U･T形ヒートポンプタイプ	不要	○	○	○	○	○ ※6	○ ※7	－ ※8	－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－
		S･R形ヒートポンプタイプ S形冷房専用タイプ	SHA-KL1A ※5	○	○	○	○	－	○ ※7	－ ※8	－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－
		R(N)形冷専、K･M形 小形エアコン　※3	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－ ※9	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
		その他機種　※4	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－ ※9	－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－

※1.　送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※2.　1リンク配線の制限（室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、但し、合計は最多100台）を満たす室内機が制御対象で、全室内機を制御可能な一斉モードと、室内機を1～4の4ゾーンに分け、各ゾーンのみ制御対象とするゾーン1・2・3・4モードが選択できます。
※3.　「JEMA標準HA端子－A」端子が付いているエアコン等を発停および発停モニター可能。（旧L3C機能）
※4.　リレー接点出力（旧L4C機能）
※5.　SHA-KL1Aを使用の場合は、リモコンレスシステムは不可です。必ずリモコンを取付けてください。
※6.　リモコンがある場合は設定できません。（リモコンで設定してください。）
※7.　表1）の5段階が設定可能。但し、リモコンモード使用時は、設定できません。（SHA-KL1A使用時は集中4は設定不可）
※8.　別売のプログラムウィークリータイマを接続すれば可能。一括ON/OFF、一括の手元許可／禁止のタイマー動作です。
6パターンのタイマー動作からの選択固定になります。
※9.　別売のプログラムウィークリータイマを接続すれば可能。
（但しマルチコントローラ、ON/OFF集中コントローラ、システムコントローラを一括でON/OFF制御）

表1）集中／個別　切り換え・制限内容

個　別	リモコンの操作に制限はありません。但し、集中制御機器またはリモコンのどちらかで、後から操作した内容に変更されます。（後押し優先）
集中1	リモコンで運転／停止できません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中2	リモコンで運転／停止、運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中3	リモコンで運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中4	リモコンで運転モードの変更ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　機能と操作〈集中制御モード編〉

●エアコンを選択（[ ]が点滅）したとき、集中1・2・3・4個別いずれかの表示がある場合、集中制御モード編をご覧ください。
それらの表示がない場合、リモコンモード編をご覧ください。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

操作部

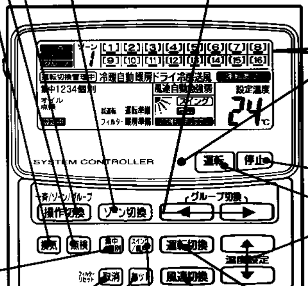
操作切換ボタン
一斉、ゾーン、グループの切り換えをします。（※1）

ゾーン切換ボタン
操作するゾーンの切り換えをします。（※2）

グループ切換ボタン
◁ 操作するグループ（⊐ ⊏）が1つずつ左に移動します。
▷ 操作するグループ（⊐ ⊏）が1つずつ右に移動します。

点検ボタン
※通常は使用しないでください。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。
エアコンを運転停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中は表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、表示部に この機能はありません が表示されたときは換気扇が接続されていません。



運転ランプ
運転中は点灯し、停止中は消灯します。
異常時、保護装置動作中は点滅します。

停止ボタン

運転ボタン

温度設定ボタン
△ 設定温度を1℃ずつ上げます。
▽ 設定温度を1℃ずつ下げます。

運転切換ボタン

集中／個別ボタン
集中1、集中2、集中3、集中4、個別を切り換えます。

取消ボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。

スイング／風向ボタン
フラップの角度を変更させます。（リモコンレス時のみ）

風速切換ボタン

セットボタン
※通常は使用しないでください。

※1：ゾーン1・2・3・4集中制御の場合、一斉 は選択できません。
※2：ゾーン1・2・3・4集中制御の場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

表示部

一斉、ゾーン、グループのいずれかを表示します。（※1）

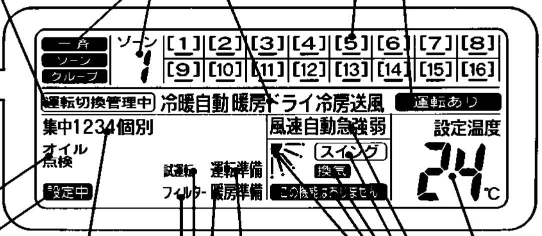
1から4のいずれかのゾーンを表示します。

接続グループを自動的に確認して、そのグループを表示します。
グループ切換ボタンでグループを指定すると、⊐ ⊏ で表示されます。
⊐ ⊏（点滅状態）は選択しているグループの中で設定表示しているものを示します。
[ ]（点灯状態）は選択しているグループを示します。
－（数字の下の線）は、運転中に表示します。

運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯するときは運転モードの暖房、冷房の切り換えを禁止します。

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。

管理しているエアコンの中で1台でもエアコンが運転しているとき点灯し、すべて停止中のとき消灯します。
1台でもエアコンが異常、保護装置動作中のとき、点滅します。



集中1、集中2、集中3、集中4、個別のいずれかを表示します。

優先順位待ちのとき表示します。（ガスヒートポンプエアコン使用時に表示）

設定温度を表示します。

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

システムコントローラの手元電源スイッチを入れたときに、数分間点滅表示します。このときはシステムコントローラからの設定操作はできません。（システムコントローラが接続グループを自動的に確認しているためです。）

表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

試運転中に表示します

フラップの位置が上下動作中に表示します。（リモコンレス時）

フィルタの掃除時期をお知らせします。

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

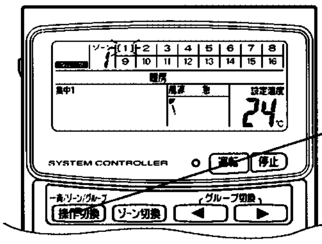
エンジンオイル交換時期に表示します。（ガスヒートポンプエアコン使用時に表示）

換気ボタンを操作したとき、換気機能がない場合、表示します。

フラップの位置を表示します。（リモコンレス時）

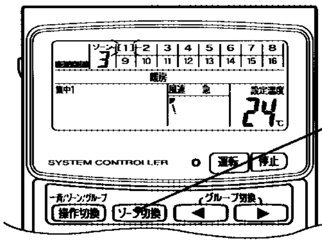
グループ運転のしかた

グループ単位で運転・停止したいとき
(例)ゾーン3のグループ4を操作する。

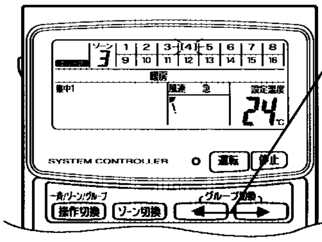


電源　手元電源スイッチを運転開始の5時間以上前に入れてください。

1　[操作切換] を押して、グループ にします。

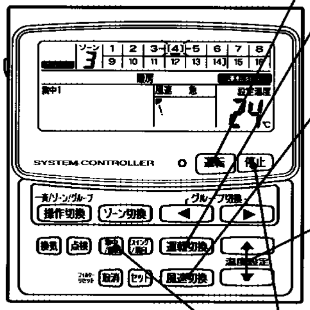


2　[ゾーン切換] を押して、
操作したいグループがあるゾーンを選択します。（※2）
(例)の場合は、ゾーン3にします。



3　グループ切換 ◁ ▷
のいずれかを押して、操作したいグループを選択します。
(例)の場合は、グループ4が⊐[4]⊏（[ ]が点滅）になります。

※1：ゾーン1・2・3・4集中制御の場合、一斉 は選択できません。
※2：ゾーン1・2・3・4集中制御の場合、ゾーン切換ボタンは無効です。



4　[運転] を押します。

5　[運転切換] を押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

6　[風速切換] を押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

7　温度設定 △ ▽
のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上限	下限
冷暖自動	27	17
暖房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

8　[集中／個別] を押して、
お好みの設定にします。
個別　→リモコンで操作できます。
集中1→リモコンで運転／停止できません。
集中2→リモコンで運転／停止、運転切換、温度設定できません。
集中3→リモコンで運転切換、温度設定できません。
集中4→リモコンで運転切換できません。（S、F形エアコンは、対応していません。）
●上記以外の集中個別設定のときは集中を表示します。

停止　[停止] を押します。

●通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。
※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

冷暖自動について

設定温度、室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行い、室温が一定になるようにコントロールします。

一斉・ゾーン操作時の設定について

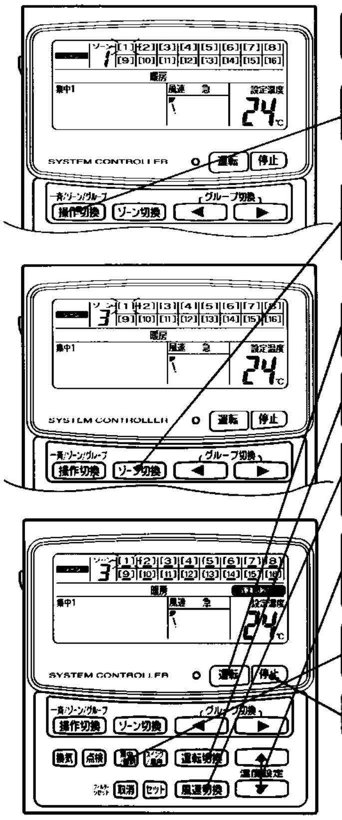
設定操作した内容のみ、一斉・ゾーンにエアコンに設定されます。（※1）
(例)運転切換ボタンを押した時は運転モードのみ設定されます。

●ボタンは爪等の先のとがったもので押さないでください。傷付の原因となります。

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　機能と操作〈集中制御モード編〉

ゾーン運転のしかた

ゾーン単位で運転、停止したいとき
(例)ゾーン3を操作する。

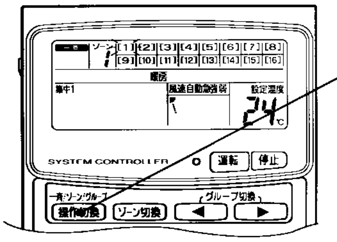


- **電源**　手元電源スイッチを運転開始の5時間以上前に入れてください。
- **1**　操作切換 を押して ゾーン にします。
- **2**　ゾーン切換 を押して、(※2) 操作したいゾーンを選択します。(例)の場合は、ゾーン3にします。
- **3**　運転 を押します。約1秒毎に運転します。
- **4**　運転切換 を押して、お好みのモードにします。
- **5**　風速切換 を押して、お好みの風速にします。(送風時は自動になりません。)
- **6**　温度設定 ▲ ▼ のいずれかを押して、お好みの温度にします。
- **7**　集中／個別 を押して、お好みの設定にします。
- **停止**　停止 を押します。

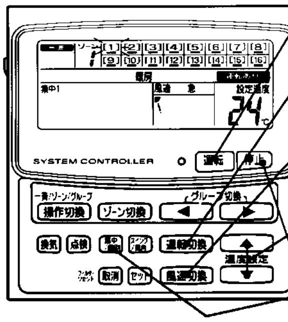
4から7までのくわしい設定方法は、設定のしかたをご覧ください。
※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

一斉運転のしかた

全体を一括で運転、停止したいとき(※1)



- **電源**　手元電源スイッチを運転開始の5時間以上前に入れてください。
- **1**　操作切換 を押して 一斉 にします。



- **2**　運転 を押します。約1秒毎に運転します。
- **3**　運転切換 を押して、お好みのモードにします。
- **4**　風速切換 を押して、お好みの風速にします。(送風時は自動になりません。)
- **5**　温度設定 ▲ ▼ のいずれかを押して、お好みの温度にします。
- **6**　集中／個別 を押して、お好みの設定にします。
- **停止**　停止 を押します。

※1：ゾーン1･2･3･4集中制御の場合、一斉 は選択できません。
※2：ゾーン1･2･3･4集中制御の場合、ゾーン切換ボタンは無効です。
※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

■スイング／風向設定

- **リモコンなしのとき操作できます。**
- **グループ制御のときは、グループ一斉での設定になります。**
- **エアコンの機種によっては、風向調節機能がないものがあります。くわしくはエアコンに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **フラップは絶対に手で動かさないでください。**
- **暖房準備時にはフラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、システムコントローラの風向は暖房準備中でもスイング表示します。**

風向きを設定するときは

操作切換 ボタンを押して グループ にします。
(一斉 ／ ゾーン のとき、スイング／風向 設定はできません(※3))
スイング／風向 を押すごとに風向きが変わります。

※3：ゾーン1･2･3･4集中制御の場合 一斉 は選択できません。

スイングさせるときは

スイング／風向 を押し、フラップの向きを1番下に設定し、もう1度 スイング／風向 を押すことにより スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

暖房時
フラップは下向きにしてください。
上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。

冷房・ドライ時
フラップは上向きにしてください。
下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。

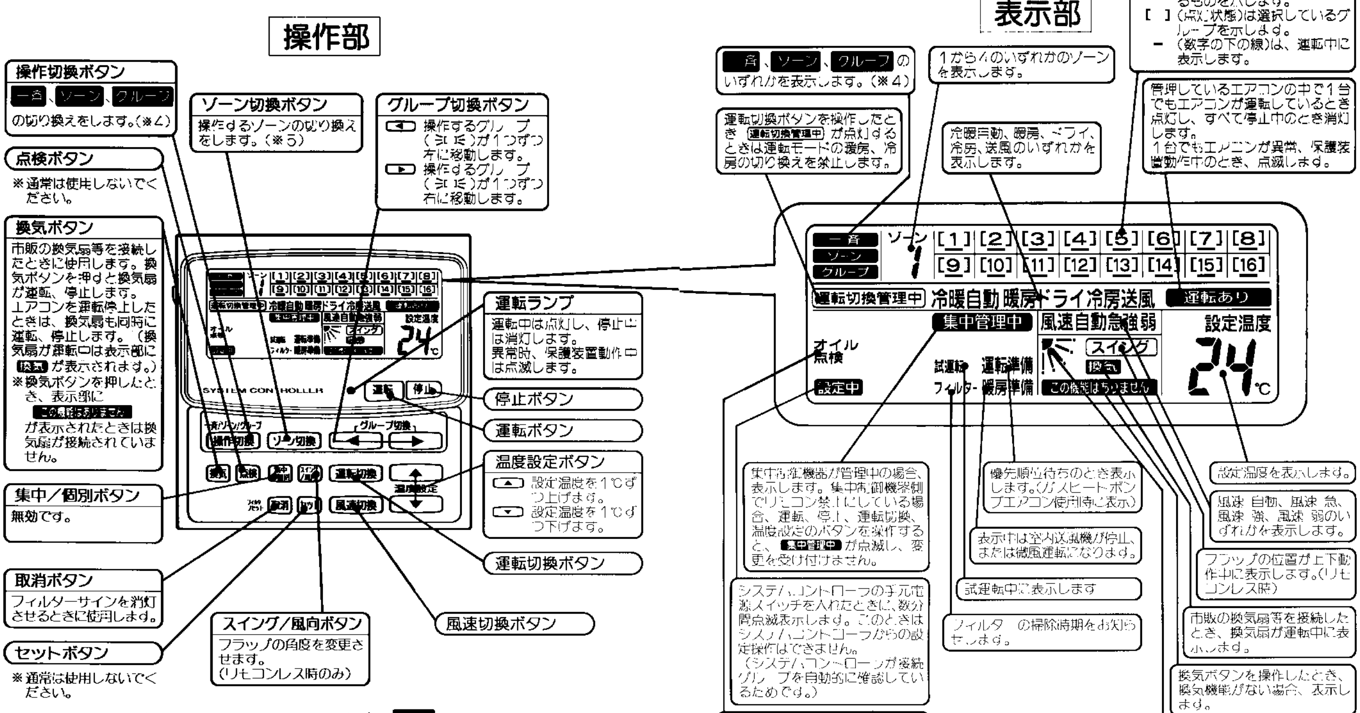
送風時

すべての運転時

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　機能と操作〈リモコンモード編〉

- エアコンを選択（[　]が点滅）したとき、集中1・2・3・4個別いずれかの表示がある場合、集中制御モード編をご覧ください。
  それらの表示がない場合、リモコンモード編をご覧ください。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。

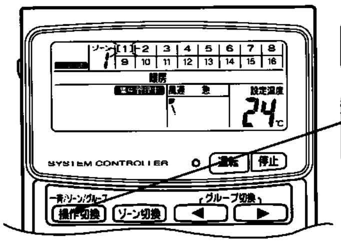
《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》



※4：ゾーン1・2・3・4リモコンの場合、一斉は選択できません。
※5：ゾーン1・2・3・4リモコンの場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

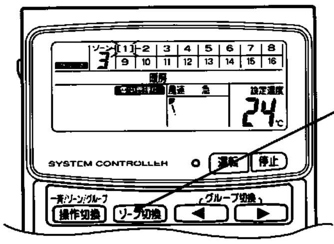
グループ運転のしかた

グループ単位で運転・停止したいとき
（例）ゾーン3のグループ4を操作する。

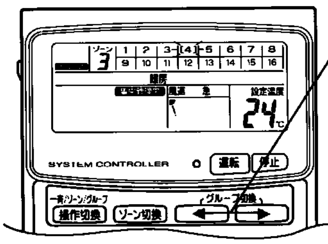


電源　手元電源スイッチを運転開始の5時間以上前に入れてください。

1　[操作切換]を押して、[グループ]にします。

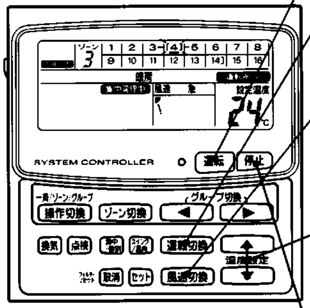


2　[ゾーン切換]を押して、操作したいグループがあるゾーンを選択します。（※5）
（例）の場合は、ゾーン3にします。



3　グループ切換 [◀][▶] のいずれかを押して、操作したいグループを選択します。
（例）の場合は、グループ4が⊐[4]⊏（[　]が点滅）になります。

※4：ゾーン1・2・3・4リモコンの場合、一斉は選択できません。
※5：ゾーン1・2・3・4リモコンの場合、ゾーン切換ボタンは無効です。



4　[運転]を押します。

5　[運転切換]を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

6　[風速切換]を押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

7　温度設定 [▲][▼] のいずれかを押して、お好みの温度にします。

	上限	下限
冷暖自動	27	17
暖房	26	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止　[停止]を押します。

- 通常の方法で停止できないとき
  手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

冷暖自動について

設定温度、室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行い、室温が一定になるようにコントロールします。

一斉・ゾーン操作時の設定について

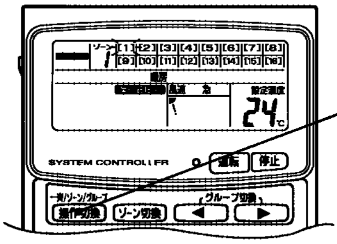
設定操作した内容のみ、一斉・ゾーンにエアコンに設定されます。（※4）
（例）運転切換ボタンを押した時は運転モードのみ設定されます。

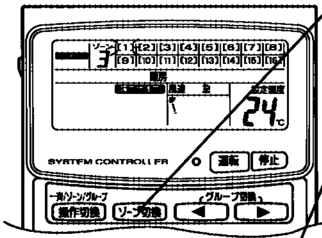
- ボタンは爪等の先のとがったもので押さないでください。傷付の原因となります。

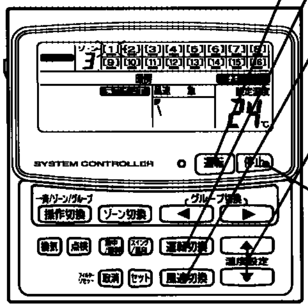
システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　機能と操作〈リモコンモード編〉

ゾーン運転のしかた

ゾーン単位で運転、停止したいとき
(例)ゾーン３を操作する。







電源 手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。

1 [操作切換] を押して [ゾーン] にします。

2 [ゾーン切換] を押して、(※５)操作したいゾーンを選択します。(例)の場合は、ゾーン３にします。

3 [運転] を押します。約１秒毎に運転します。

4 [運転切換] を押して、お好みのモードにします。

5 [風速切換] を押して、お好みの風速にします。(送風時は自動になりません。)

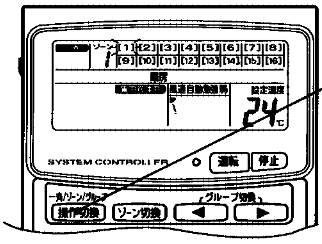
6 温度設定 [▲][▼] のいずれかを押して、お好みの温度にします。

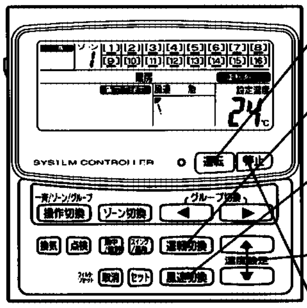
停止 [停止] を押します。

４から６までのくわしい設定方法は、設定のしかたをご覧ください。
※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

一斉運転のしかた

全体を一括で運転、停止したいとき(＊４)





電源 手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。

1 [操作切換] を押して [一斉] にします。

2 [運転] を押します。約１秒毎に運転します。

3 [運転切換] を押して、お好みのモードにします。

4 [風速切換] を押して、お好みの風速にします。(送風時は自動になりません。)

5 温度設定 [▲][▼] のいずれかを押して、お好みの温度にします。

停止 [停止] を押します。

※４：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、[一斉] は選択できません。
※５：ゾーン１・２・３・４リモコンの場合、ゾーン切換ボタンは無効です。

※運転を停止してもシステムコントローラの液晶表示はそのまま表示されています。

■スイング／風向設定

- **リモコンなしのとき操作できます。**
- **グループ制御のときは、グループ一斉での設定になります。**
- **エアコンの機種によっては、風向調節機能がないものがあります。くわしくはエアコンに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **フラップは絶対に手で動かさないでください。**
- **暖房準備時にはフラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、システムコントローラの風向は暖房準備中でもスイング表示します。**

風向きを設定するときは

[操作切換] ボタンを押して [グループ] にします。
([一斉]／[ゾーン] のとき、[スイング／風向] 設定はできません (※６))
[スイング／風向] を押すごとに風向きが変わります。

※６：
ゾーン1･2･3･4 リモコンの場合、[一斉] は選択できません。

スイングさせるときは

[スイング／風向] を押し、フラップの向きを１番下に設定し、もう１度 [スイング／風向] を押すことにより [スイング] が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

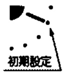
暖　房　時

フラップは下向きにしてください。
上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。

冷房・ドライ時

フラップは上向きにしてください。
下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。

送　風　時



すべての運転時

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　施工

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに"取扱説明書"にそってお客様に使用方法を説明してください。また、"据付(電気)工事担当のかたへ"は、"取扱説明書"と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠警告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
  ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って確実に行ってください。
  据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠注意

- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

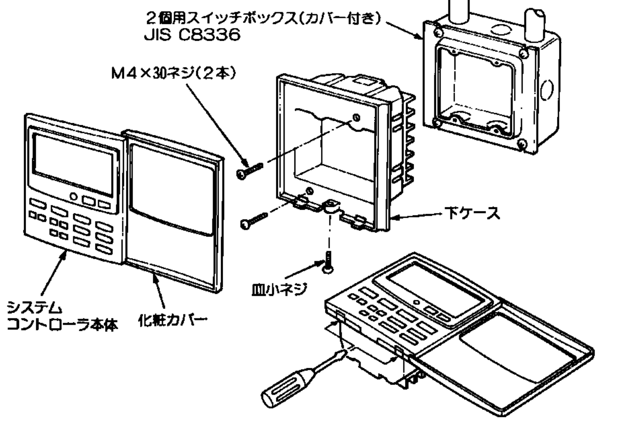
システムコントローラ付属部品

付属品					
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	ゴムブッシュ（φ22）	4	②	固定用ネジ（M4×30）	2

システムコントローラの取り付けかた

〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉システムコントローラはノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。



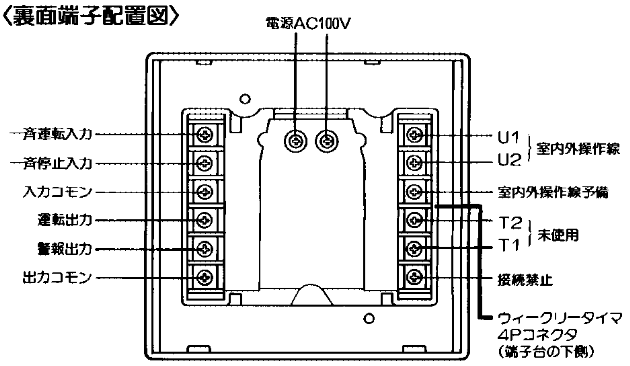
❶システムコントローラの下側にある皿小ネジを外し、システムコントローラ本体の扉を開くと見えるシステムコントローラ本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れてこじるようにして、下ケースを外してください。
❷システムコントローラ配線を、システムコントローラ本体の端子台に接続してください。（システムコントローラの配線のしかたの項を参照してください。）
❸システムコントローラ下ケースを付属のM4ネジ（2本）を使用して固定します。
❹システムコントローラ本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。なお、皿小ネジは、輸送用ですので、取り付けなくても結構です。

システムコントローラの配線のしかた

システムコントローラの取り付け、取りはずしは安全のためエアコンの電源を切ってから行ってください。

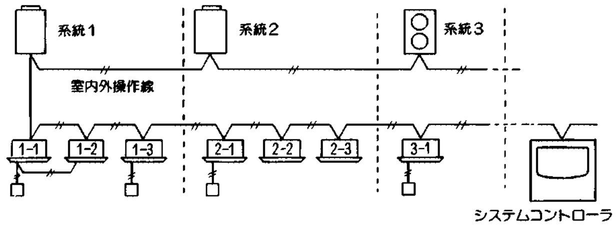
- 信号線は、室内外操作線に接続します。
- 室内外操作線は、2芯0.5㎟～2.0㎟の電線を使用してください。
- 室内外操作線は、電源配線（AC100V等）と同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。
- システムコントローラの電源配線は、AC100Vに接続してください。（誤配線をするとこわれます。）
- 配線は、誤配線をしないように接続してください。（誤配線をするとこわれます。）
- 付属のゴムブッシュは、スイッチボックスの通線穴用のものです。金属管を使用しない場合は、付属のゴムブッシュをご使用ください。

〈裏面端子配置図〉



〈基本配線図〉

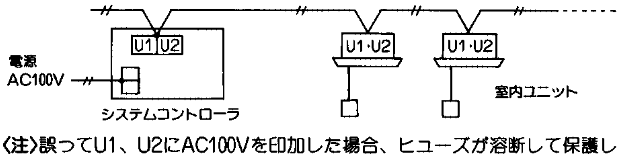
エアコンの室内外操作線は、下図のような集中制御使用時の配線をしてください。
- 1システムのエアコンの接続台数は、室内機最大64台、室外機最大30台です。
- システムコントローラは、他の集中制御機器を含め10台まで接続できます。



〈注〉エアコンの機種によっては、ローカルアダプタが必要です。

〈配線の手順〉

システムコントローラの端子台、室内外操作線(U1、U2)と、室内ユニットの端子(U1、U2)とを、下図のように、接続してください。
- 極性はありませんので、U1、U2は逆になってもかまいません。
- 室外ユニットの、室内外操作線用の端子にも、接続できます。



〈注〉誤ってU1、U2にAC100Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。配線を修正した後、室内外操作線をU1と予備端子に接続してください。また、室内外コントロール基板のヒューズも溶断しているおそれがありますので、それぞれの"試運転担当のかたへ"を参照してください。

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　施工

設定スイッチについて

SW1

ON側 ⇕ OFF側

1 2 3 4 5 6 7 8

集中／個別ボタン操作
（注）（許可：OFF／禁止：ON）
集中/個別ボタン操作の許可(OFF)、禁止(ON)を設定してください。（ただしリモコンモードのときは無効です。）

集中制御親子切換（親：OFF／子：ON）
❶ AMYアダプタ、インテリジェントコントローラ、T形システムコントローラと併用する場合、子(ON)にしてください。
❷ ❶以外の場合でU形システムコントローラ1台のみ使用するとき、親(OFF)で使用します。
❸ ❶以外の場合でU形システムコントローラを複数台使用するとき、1台のみを親(OFF)とし、その他を子(ON)にしてください。一斉モード（管理台数モード切換）を親とすることを推奨します。

集中制御モード、リモコンモード切換（集中制御モード：OFF／リモコンモード：ON）
集中制御モードとは……
システムコントローラを集中制御機器として使用します。
（システムコントローラから手元禁止することにより、リモコンからの設定を禁止できます。）
リモコンモードとは……
システムコントローラをリモコンとして使用します。
（他の集中制御機器により手元禁止の場合、システムコントローラからの設定が禁止になります。）

管理台数モード切換
一斉モードとは……
すべての室内機を設定できます。
一斉、ゾーン、グループ毎に制御可能。
ゾーン1･2･3･4モードとは……
1･2･3･4いずれかのゾーンの室内機のみ設定できます。
ゾーン、グループ毎に制御可能。

機能／スイッチNo.	2	3	4	5
一斉ゾーン	OFF	OFF	予備（必ずOFFで使用してください）	OFF
ゾーン1モード	OFF	OFF		ON
ゾーン2モード	ON	OFF		ON
ゾーン3モード	OFF	ON		ON
ゾーン4モード	ON	ON		ON

システムコントローラ親子切換（親：OFF／子：ON）
❶通常、親(OFF)で使用します。
❷システムコントローラを親子(2台)で使用する場合、1台を親(OFF)、もう1台を子(ON)にしてください。

（注）
1. インテリジェントコントローラと併用する場合に、両方の集中機能を操作すると、後押し優先に切り換わるため、片方を禁止にして使用することを推奨します。
2. AMYシステムと併用する場合に、AMYターミナルは、運転モード、温度設定等個々に禁止できます。このため、システムコントローラの集中機能を禁止にして使用することを推奨します。

※出荷時の設定はすべてOFF

SW2

ON側 ⇕ OFF側

1 2 3 4 5 6 7 8

運転あり表示（表示あり：OFF／表示なし：ON）
液晶表示部の一括運転状況 運転あり 表示をOFFにすると表示あり、ONにすると表示なしです。
通常、表示あり(OFF)で使用します。

ブザー音（ブザー音入り：OFF／ブザー音切り：ON）
各ボタンを操作したとき、OFFにするとブザー音が鳴り、ONにするとブザー音が鳴りません。

予　備
必ずOFFで使用してください。

次項に続く

前項より

タイマー入力切換
ウィークリータイマーが変化したときの動作を切り換えられます。

動作		スイッチNo. 1	2	3
	タイマOFF ➡ ON	タイマON ➡ OFF			
①	一斉運転	一斉停止	OFF	OFF	OFF
②	変化なし	一斉停止	ON	OFF	OFF
③	すべての室内機が手元許可	すべての室内機が集中1	OFF	ON	OFF
④	すべての室内機が手元許可	一斉停止およびすべての室内機が集中1	ON	ON	OFF
⑤	すべての室内機が手元許可	すべての室内機が集中2	OFF	OFF	ON
⑥	すべての室内機が手元許可	一斉停止およびすべての室内機が集中2	ON	OFF	ON

リモコンモードの場合、①②のみ使用してください。
ゾーン1･2･3･4モードの場合、「一斉」、「すべての室内機」とは、いずれか1つのゾーンを意味します。

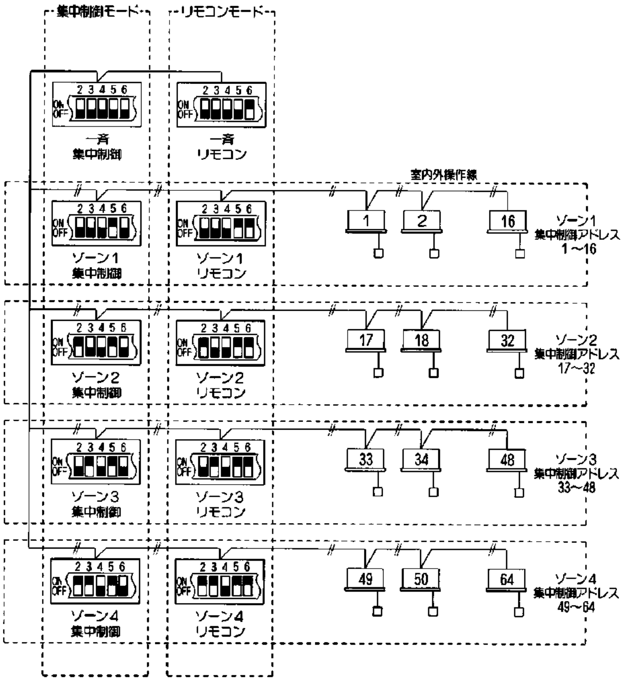
※出荷時の設定はすべてOFF

システムコントローラのモード設定について

❶**動作モード**……集中制御モード、リモコンモードがあります。
集中制御モードとは……システムコントローラを集中制御機器として使用します。
（システムコントローラから手元禁止することにより、リモコンからの設定を禁止できます。）
リモコンモードとは……システムコントローラをリモコンとして使用します。
（他の集中制御機器により手元禁止の場合、システムコントローラからの設定が禁止になります。）
❷**管理台数モード**……一斉モード、ゾーン1･2･3･4モードがあります。
一斉モードとは……………………すべての室内機を設定できます。
ゾーン1･2･3･4モードとは……1･2･3･4いずれかのゾーンの室内機のみ設定できます。
❸これらのモードの組み合わせにより、システムコントローラは一斉集中制御、ゾーン1･2･3･4集中制御、一斉リモコン、ゾーン1･2･3･4リモコンの10種類になります。また各々に親子があります。

	集中制御モード	リモコンモード
一斉モード	一斉集中制御	一斉リモコン
ゾーン1モード	ゾーン1集中制御	ゾーン1リモコン
ゾーン2モード	ゾーン2集中制御	ゾーン2リモコン
ゾーン3モード	ゾーン3集中制御	ゾーン3リモコン
ゾーン4モード	ゾーン4集中制御	ゾーン4リモコン

❹システムコントローラの種類により、
設定スイッチ SW1の2～6番を次のように設定してください。



❺付属のシステムコントローラ本体ラベルを見やすいところに貼ってください。

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　施工

集中制御アドレスの設定のしかた

- すべてのエアコンの電源を入れてください。
- **エアコンの試運転を終了**してから、下記の手順にしたがって、集中制御アドレスを設定してください。

自動で集中制御アドレスを設定しますか？
（ユニットNoの若い順に集中制御アドレスを自動設定します。）

自動で設定する
3．システムコントローラから自動で集中制御アドレスを登録　：C2

手動で設定する
ワイヤードリモコンから設定しますか？

ワイヤードリモコンから設定する
1．ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する

システムコントローラから手動で設定する
2．手動集中制御アドレス登録　：C1

システムコントローラから集中制御アドレスの重複確認
4．集中制御アドレス重複エラー確認：C3

ワイヤードリモコンから設定する

1．ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する

- エアコンが停止中に行ってください。

❶［点検］ボタンと［換気］ボタンを同時に４秒間以上押し続けます。
（３線式リモコンは［試運転／点検］ボタンを４秒間以上押し続けます）
❷［ユニット選択］ボタンを押さないでください。
❸温度設定［▲］、［▼］ボタンで項目コード03にします。
❹タイマー設定(時間)［▲］、［▼］ボタンで、集中制御アドレスを設定します。

集中制御アドレス、ゾーン・グループ対応表

集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ
1	1	1	17	2	1	33	3	1	49	4	1
2		2	18		2	34		2	50		2
3		3	19		3	35		3	51		3
4		4	20		4	36		4	52		4
5		5	21		5	37		5	53		5
6		6	22		6	38		6	54		6
7		7	23		7	39		7	55		7
8		8	24		8	40		8	56		8
9		9	25		9	41		9	57		9
10		10	26		10	42		10	58		10
11		11	27		11	43		11	59		11
12		12	28		12	44		12	60		12
13		13	29		13	45		13	61		13
14		14	30		14	46		14	62		14
15		15	31		15	47		15	63		15
16		16	32		16	48		16	64		16
									99	未設定	

❺［セット］ボタンを押す。（設定中が点滅から点灯に変わる）
❻［点検］（［試運転／点検］）ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。（通常の停止状態になる）

システムコントローラから手動で設定する

2．手動集中制御アドレス登録：C1

ゾーン、グループを選択して室内グループ毎に集中制御アドレスを登録します。

❶リモコンを接続して、室内機のユニットNoを確認し、施工計画書を作成してください。
❷［点検］ボタンと［ゾーン切換］ボタンを同時に４秒間以上押し続けます。
（項目コードC1が点滅します。）
❸［セット］ボタンを押します。（C1が点灯に変わります。）
❹［ゾーン切換］ボタンとグループ切換［◀］、［▶］ボタンで登録したいゾーンとグループの番号をそれぞれ選択します。
すでに登録されている場合は［取消］ボタンを押します。
❺［集中／個別］ボタンで系統No（1～31）、［スイング／風向］ボタンで室内No（1～64）がそれぞれ変わり、存在するエアコン（グループ制御時は親機）のユニットNoを点滅表示します。
（系統が存在しない場合、室内Noは－－になります。系統31はローカルアダプタ用で、存在の有無にかかわらず室内Noを表示します。）
❻［セット］ボタンを押すと、グループNoが点灯、ユニットNoが点滅から点灯表示になり登録されます。
取り消す場合は［取消］ボタンを押します。
❼登録を続ける場合は、❹～❻を繰り返します。
登録を終了するときは［点検］ボタンを押します。
設定中が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

自動で設定する

3．システムコントローラから自動集中制御アドレスを登録：C2

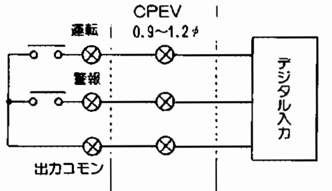
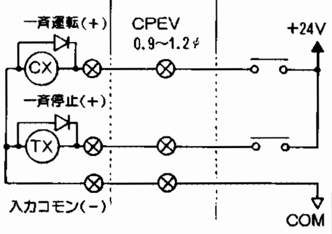
❶［点検］ボタンと［ゾーン切換］ボタンを同時に４秒間以上押し続けます。
（項目コードC1が点滅します。）
❷温度設定［▲］、［▼］ボタンを押して、項目コードをC2にします。
❸［セット］ボタンを押すと、（C2が点灯し、設定中が点滅します。）
自動集中制御アドレス登録を開始します。（数分程度かかります。）
❹設定中が消灯し、C2が点滅表示になったら終了です。
❺［点検］ボタンを押します。
設定中が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

システムコントローラから集中制御アドレスの重複確認

4．集中制御アドレス重複エラー確認：C3

❶［点検］ボタンと［ゾーン切換］ボタンを同時に４秒間以上押し続けます。
（項目コードC1が点滅します。）
❷温度設定［▲］、［▼］ボタンを押して、項目コードをC3にします。
❸［セット］ボタンを押しますと、C3が点灯し、設定中が点滅して集中制御アドレス重複エラー確認を開始します。
❹室外機の１系統から順にすべての室内機のアドレスを確認します。C3が点滅し、設定中が消灯したら確認終了です。
❺集中制御アドレスに重複があった場合、グループNoが点滅します。
温度設定［▲］、［▼］ボタンで項目コードをC1にして、［セット］ボタンを押します。
グループNo点滅箇所を選択し、［取消］ボタンを押すと集中制御アドレスはクリアされます。正しい集中制御アドレスをワイヤードリモコンまたは、システムコントローラで設定してください。
❻［点検］ボタンを押して終了してください。
設定中が数分間点滅し、自動的に初期設定を行い終了します。

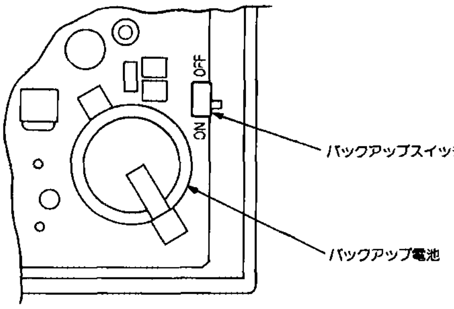
外部設備との接続

名称	入出力項目	システムコントローラ側 入出力条件	端子名	設備側 切分け端子	回路例	入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	運転出力 警報出力 無電圧Ａ接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧 電流 DC 30V，0.5A	 			配線長 100m 以内
	制御入力	一斉運転入力 一斉停止入力 有電圧Ａ接点 パルス （フォトカプラー入力） 接点許容電圧 電流 DC 24V，10mA	 			パルス幅 300msec 以上 配線長 100m 以内

システムコントローラー／SHA-KC64U…別売品　施工

メモリーバックアップスイッチについて

システムコントローラ基板裏のバックアップスイッチのONを確認してください。



システムコントローラの試運転のしかた

❶エアコンの電源をすべて入れてください。
❷システムコントローラの電源を入れてください。（設定中 が点滅しエアコンの接続グループを自動的に確認します。）
❸接続されているエアコンの数(グループ制御時は親機のみ)とシステムコントローラに表示されるグループNoの数は一致しますか？
❹一致しない場合、**集中制御アドレスの設定のしかた**をご覧になり、再度設定してください。

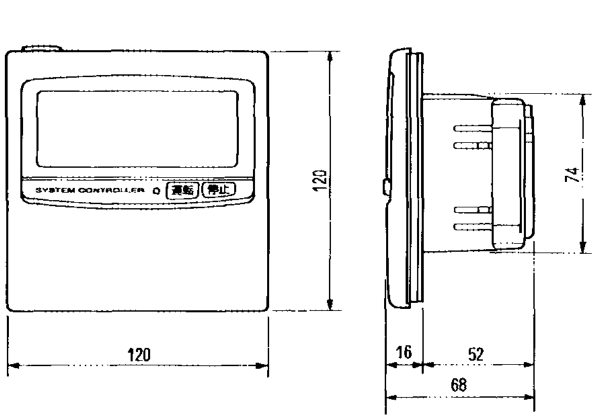
エアコンの試運転のしかた

❶システムコントローラの［点検］ボタンを４秒以上押してください。
●試運転中は液晶表示部に"試運転"と表示されます。
❷［運転］［停止］ボタンを押してください。
●「試運転」の位置では温度調節はできません。
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
❸運転終了後は再度［点検］ボタンを押して液晶表示部の"試運転"消灯を確認してください。

お客様への説明

●「取扱説明書」「据付(電気)工事担当のかたへ」は工事完了後お客様にお渡しください。
●「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法を説明してください。

外形寸法図



施工計画書

●グループ制御時は、室内機の親機に集中制御アドレスを設定してください。
●室内機のユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。
（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの［ユニット選択］ボタンを**１回だけ押す**と、親機のユニットNoを表示します。）

システムコントローラ			室内機ユニットNo	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス	系統－室内	
ゾーン 1	1	1	－	
	2	2	－	
	3	3	－	
	4	4	－	
	5	5	－	
	6	6	－	
	7	7	－	
	8	8	－	
	9	9	－	
	10	10	－	
	11	11	－	
	12	12	－	
	13	13	－	
	14	14	－	
	15	15	－	
	16	16	－	

システムコントローラ			室内機ユニットNo	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス	系統－室内	
ゾーン 2	1	17	－	
	2	18	－	
	3	19	－	
	4	20	－	
	5	21	－	
	6	22	－	
	7	23	－	
	8	24	－	
	9	25	－	
	10	26	－	
	11	27	－	
	12	28	－	
	13	29	－	
	14	30	－	
	15	31	－	
	16	32	－	

システムコントローラ			室内機ユニットNo	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス	系統－室内	
ゾーン 3	1	33	－	
	2	34	－	
	3	35	－	
	4	36	－	
	5	37	－	
	6	38	－	
	7	39	－	
	8	40	－	
	9	41	－	
	10	42	－	
	11	43	－	
	12	44	－	
	13	45	－	
	14	46	－	
	15	47	－	
	16	48	－	

システムコントローラ			室内機ユニットNo	部屋名
ゾーン・グループ表示		集中制御アドレス	系統－室内	
ゾーン 4	1	49	－	
	2	50	－	
	3	51	－	
	4	52	－	
	5	53	－	
	6	54	－	
	7	55	－	
	8	56	－	
	9	57	－	
	10	58	－	
	11	59	－	
	12	60	－	
	13	61	－	
	14	62	－	
	15	63	－	
	16	64	－	

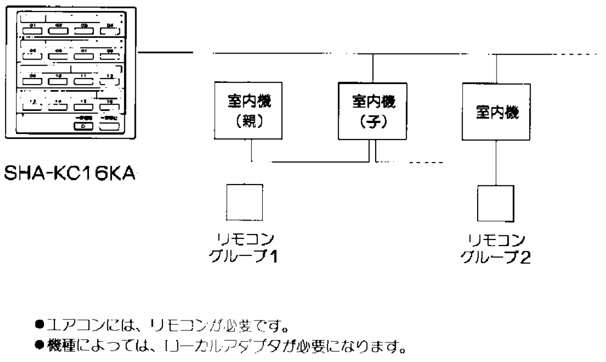
ON／OFF集中コントローラー／SHA-KC16KA…別売品　仕様と機能

●仕様

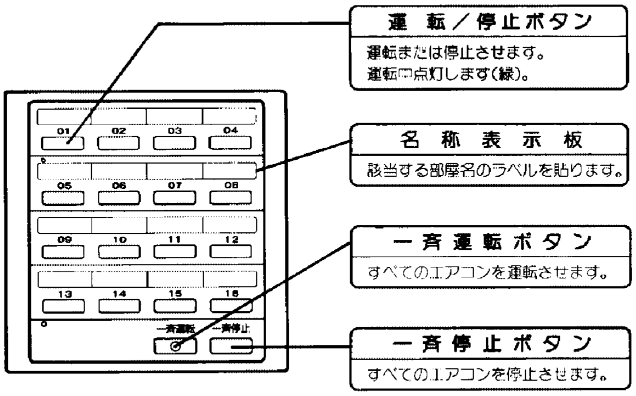
品　　番	SHA-KC16KA
外形寸法（mm）	（高さ）121×（幅）122×（奥行）66
電　　源	単相100V 50／60Hz 5W
取 付 方 法	埋込形
室内機接続台数	16グループ（最大64台）
運 転 表 示	ランプにより表示（緑×16）
配線総延長距離	1km
質　　量	0.45kg
遠隔用入力（有電圧DC24V以下）	一括運転、一括停止
遠隔用出力（許容電圧DC30V以下）	一括運転モニタ、一括警報モニタ

◎ 最多16グループ（64台）の室内機の運転、停止を一括／個別で操作可能。
◎ 1リンク配線（室内外操作線）内に親子合計8台（親4台、子4台）が接続可能。
◎ 運転、異常表示は個々の運転／停止ボタンの点灯（運転：緑色）または点滅（異常）で確認できます。

●システムの構成



●名称と機能



●操作・表示・印刷機能

○印：機能あり　－印：機能なし

品名・品番	室内機・接続台数 管理可能な台数	エアコンの種類	接続に必要なローカルアダプター	操作／表示機能									表示機能							外部入・出力端子			印刷機能			
				運転／停止（個別・一括）	モード変更 ※1	風速変更	温度設定	風向変更	集中／個別切換	週間プログラム	特定日（休日）設定	デマンド制御	室内温度	一括運転確認	警報	運転積算時間	サーモON積算時間	発停回数	説明文	外部一括警報出力	オールON・OFF入力	一括運転モニター出力	各画面印刷	テナント毎の按分印刷	警報印刷	請求書発行
ON/OFF集中コントローラー SHA-KC16KA	室内機64台×1系統 ※2	A・U・T形ヒートポンプタイプ	不要	○	－	－	－	－	○※6	－※7	－	－	－	－	○※9	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
		S・R形ヒートポンプタイプ S形冷房専用タイプ	SHA-KL1A ※5	○	－	－	－	－	○※6	－※7	－	－	－	－	○※9	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
		R(N)形冷専、K・M形 小形エアコン ※3	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－※8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－
		その他機種 ※4	SHA-KL4U	○	－	－	－	－	－	－※8	－	－	－	－	○※9	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－

※1.　送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※2.　1系統は1リンク配線の制限（室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、但し、合計は最多100台）の室内機最多4台が制御対象です。
　　マルチコントローラー及びON/OFF集中コントローラーは16グループまで制御可能。
　　（マルチコントローラー及びON/OFF集中コントローラー1台で室内機最多64台を制御＝1グループの室内機4台×16グループ）
※3.　「JEMA標準HA端子－A」端子が付いているエアコン等を発停および発停モニター可能。（旧L3C機能）
※4.　リレー接点出力（旧L4C機能）
※5.　SHA-KL1Aを使用の場合は、リモコンレスシステムは不可です。必ずリモコンを取付けてください。
※6.　表1）の2段階（個別と集中1）が設定できます。4パターンのグループ一括からの選択固定になります。
※7.　別売のプログラムウィークリータイマを接続すれば可能。一括ON/OFF、一括の手元許可／禁止のタイマー動作です。
　　4パターンのタイマー動作からの選択固定になります。
※8.　別売のスケジュールタイマーを接続すれば可能。
※9.　ランプのフラッシングで表示。

表1）集中／個別　切り換え・制限内容

個　別	リモコンの操作に制限はありません。 但し、集中制御機器またはリモコンのどちらかで、後から操作した内容に変更されます。（後押し優先）
集中1	リモコンで運転／停止できません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中2	リモコンで運転／停止、運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中3	リモコンで運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中4	リモコンで運転モードの変更ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）

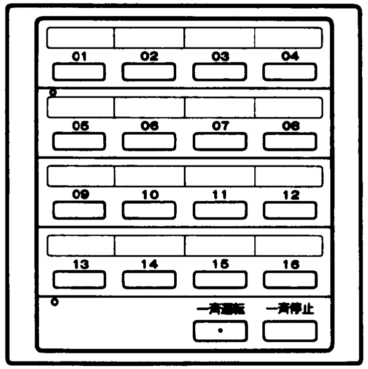
SANYO

サンヨー集中制御装置
SHA-KC16KA ON/OFF集中コントローラー
取扱説明書

このたびは集中制御装置をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところにお客さまご相談窓口(別添)、保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意……1
本機の特長……4
システムの構成……4
各部のなまえとはたらき……5
ご使用方法……5
名称表示板の使いかた……6
知っていただきたいこと……6
故障かな？と思ったときは……7
据え付けについてのご確認……8
保証とアフターサービスについて……9
仕　様……10



上手に使って上手に節電

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● 表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

● 図記号の意味

⚠ 「警告」や「注意」を促す事項を表します。

⊘ 「禁止」を表します。

❗ 必ず実行してほしい行為を表します。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警　告

ご自分で据え付けはしない

❗ 据え付けは販売店に依頼

据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電や火災等の原因になります。

エアコンは当社指定の物を

❗ 当社指定のエアコンを

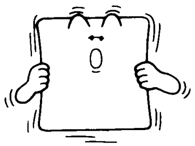
必ず、当社指定のエアコンを使用してください。
また、取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災等の原因になります。

据え付け上の注意事項

⚠ 注 意

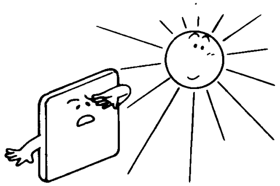
湿気や振動の多いところには設置しない

故障の原因になります。



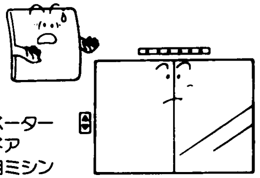
直射日光のあたるところや熱源の近くには設置しない

故障の原因になります。



ノイズの発生するところには設置しない

誤動作の原因になります。



使用上の注意事項

⚠ 警 告

ぬれた手でスイッチを操作しない

禁 止

感電や故障の原因になります。

集中制御装置をぬらさない

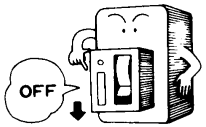
禁 止

集中制御装置をぬらさないようにご注意ください。
感電や火災、故障等の原因になります。

異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して手元電源スイッチを切る

異常時のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。
お買いあげの販売店にご相談ください。

手元電源スイッチを切る



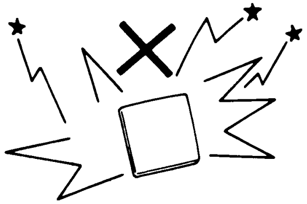
使用上の注意事項

⚠ 注 意

製品を落としたり、強い衝撃を与えない

故障の原因になります。

禁 止



正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

禁 止

指定以外の電源を使用しない

指定以外の電源を使用すると、火災、故障等の原因になります。
単相100Vを使用してください。

移設・修理時の注意事項

⚠ 警 告

改修はしない

禁 止

改修は絶対にしないでください。
また、修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。
修理に不備があると感電や火災等の原因になります。

移動再設置は、販売店に相談する

販売店に相談する

集中制御装置を移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者にご相談ください。
据え付けに不備があると感電や火災等の原因になります。

本機の特長

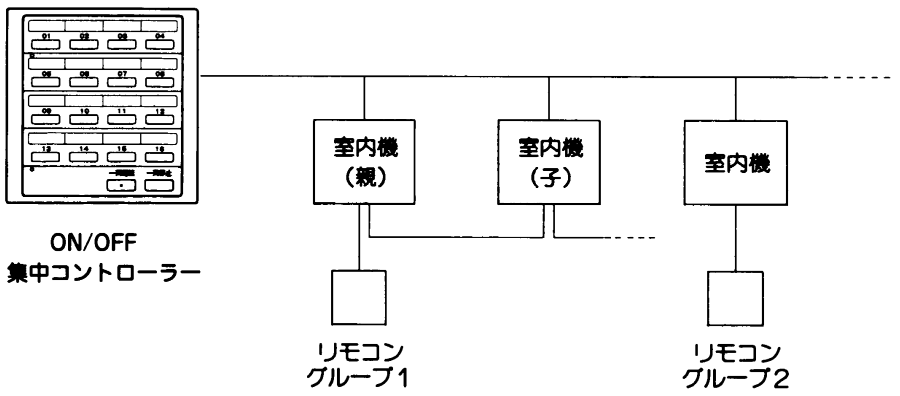
◉**接続台数**……• 1台のON/OFF集中コントローラーに最大16グループ、64台のエアコンを接続可能

◉**操作機能**……• 運転／停止（個別または一斉）

◉**タイマー**……• スケジュールタイマー（別売）

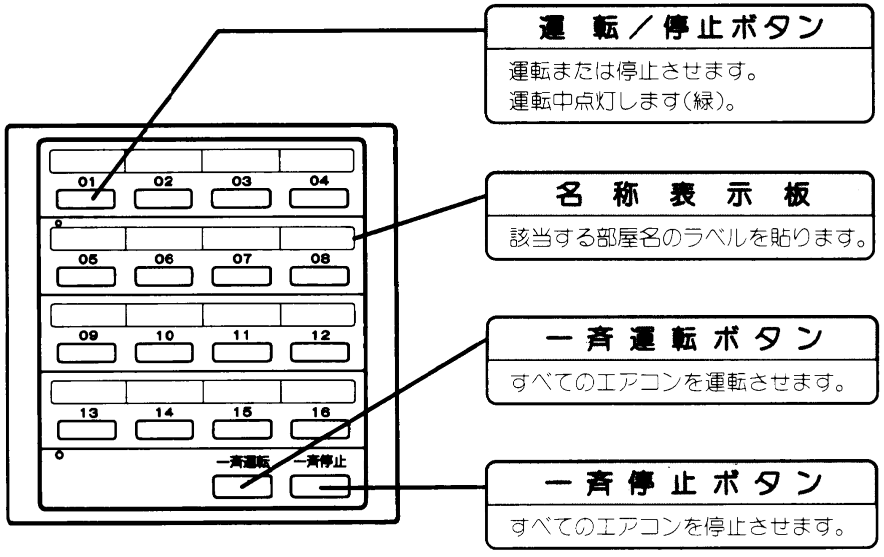
◉**順次始動**……• 一斉運転の場合は1～2秒間隔で運転を開始

システムの構成

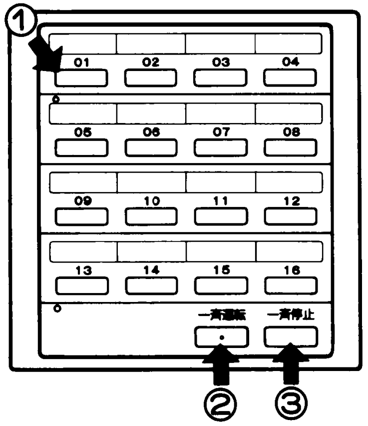


• エアコンには、リモコンが必要です。
• 機種によっては、ローカルアダプターが必要になります。

各部のなまえとはたらき



ご使用方法



❶**個別にエアコンを運転または停止をするとき**
運転／停止ボタンを押します。

❷**すべてのエアコンを同時に運転するとき**
一斉運転ボタンを押します。
０１から１～２秒間隔で順番に運転を開始します。

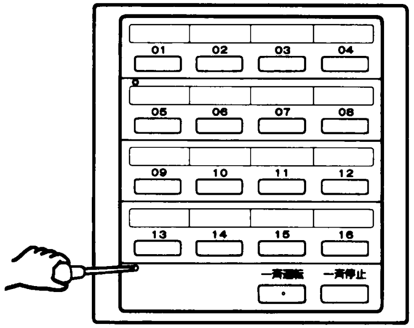
❸**すべてのエアコンを同時に停止するとき**
一斉停止ボタンを押します。

名称表示板の使いかた

エアコンを運転したい部屋がわかり、エアコンの運転状態を動作表示ランプで確認できます。

手順

❶透明カバー左の穴にボールペンなどを差し込んで透明カバーをはずしてください。
❷付属のスイッチ表示ラベルに、部屋名を油性ペン等で記入して、名称表示部に貼り付けてください。



知っていただきたいこと

■運転中、雷、無線などにより誤作動したときは、手元電源スイッチ(ブレーカー)を切ってください。

再運転するときは、もう一度手元電源スイッチ(ブレーカー)を入れたうえで、運転をしなおしてください。

故障かな？と思ったときは

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
運転しない	手元電源スイッチを入れてすぐに運転したとき	圧縮機を保護する回路がはたらいているため、最初の約３分間は運転しません。
	運転を停止後すぐに再運転したとき	
	ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタンの15番または16番(緑色)が一定間隔で高速点滅する	室内外操作線の通信の初期設定を行っています。しばらくお待ちください。
	一斉運転ボタンを押しても運転しないエアコンがある	据え付け時の設定によるものです。

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症状	原因	処置
ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタンを押してもエアコンが運転しない	停電中？	再度、ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタンを押す。
	手元電源スイッチは？	切れていたら入れる。
ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタン(緑色)が低速点滅する	エアコンの保護装置がはたらいている場合に、ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタン(緑色)が点滅します。	エアコンの取扱説明書をご覧になって、エアコンの動作を確認してください。
ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタン(緑色)が数秒間高速点滅する	停電中？	再度、ON/OFF集中コントローラーの運転／停止ボタンを押す。
	手元電源スイッチは？	切れていたら入れる。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは手元電源スイッチを切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。
なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。
また、リモコンの液晶表示部に点検マークとA,C,E,F,H,L,Pのアルファベットと数字の組合せ表示が表れたときは、その内容もご確認ください。

据え付けについてのご確認

据え付け場所について

⚠注　意

次のような場所でのご使用は避けてください。

- 可燃性ガス等の漏れる恐れのあるところ
- 水や油(機械油含む)の飛沫や蒸気の多いところ
- 電圧変動の大きいところ
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ

テレビ、ラジオ、パソコンなどは

集中制御装置、室内ユニット及びリモコンから1ｍ以上離してください。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

集中制御装置の近くで暖房器具を使用しないでください。

集中制御装置のプラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

電気工事について

⚠注　意

**※電気工事を行うには資格が必要です。
お買いあげの販売店に依頼し、ご自分では行わないでください。**

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください)

保証書について(別添)

- この製品には保証書がついています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理する方が大切に保管してください。

保証期間

お買いあげの日から1年間です。詳しくは保証書をよくお読み下さい。

補修用部品の最低保有期間

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。

- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店、最寄りの営業所または「お客様ご相談窓口」(別添)にご相談ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったときは」の頁に従って調べていただき、なお異常のあるときは、運転を停止し、必ず手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買いあげの販売店が修理させていただきます。

●保証期間がすぎているときは

お買いあげの販売店へご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客さまのご希望により有料で修理させていただきます。

連絡していただきたいこと

- **品番**
- **お買いあげ年月日**
- **製造番号**

（品番・お買いあげ年月日・製造番号：**保証書に記載してあります。**）

- **故障の状況**（できるだけ詳しく）
- **ご住所、ご氏名、電話番号**
- **訪問ご希望日**

保守点検について

ご使用状態によっても異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になると、内部が汚れ性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に「保守契約制度」(有料)の加入をお勧めいたします。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

移設について

⚠警　告

専門の技術が必要ですので、必ずお買いあげの販売店、最寄りの営業所または「お客さまご相談窓口」(別添)にご相談ください。なお、この場合は移設に必要な実費をいただきます。

ON／OFF集中コントローラー／SHA-KC16KA…別売品　施工

据付（電気）工事担当のかたへ

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**警告**　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠**注意**　取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。
また、“据付（電気）工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警　告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、“据付（電気）工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。
据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付（電気）工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

⚠ 注　意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

ON/OFF集中コントローラー附属部品

付属品					
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	ゴムブッシュ（φ22）	4	②	固定用ねじ（M4×30）	2

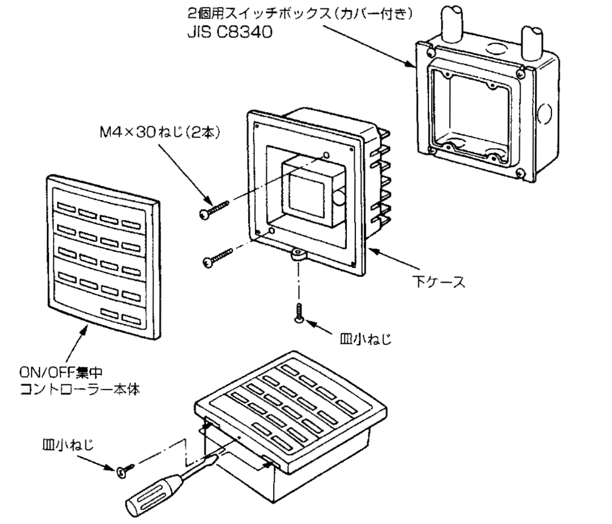
ON/OFF集中コントローラーの取り付けかた

〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。

〈注2〉ON/OFF集中コントローラーはノイズの発生源から離して据え付けてください。

〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

●あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。



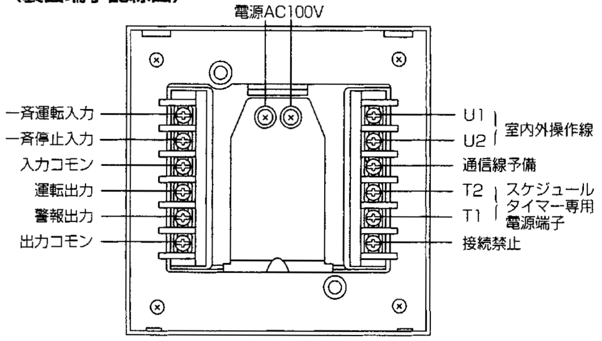
①ON/OFF集中コントローラーの下側にある皿小ねじを外し、ON/OFF集中コントローラー本体下側の溝にマイナスドライバー等を入れてこじるようにして、下ケースを外してください。
②ON/OFF集中コントローラー配線を、ON/OFF集中コントローラー本体の端子台に接続してください。
（ON/OFF集中コントローラーの配線のしかたの項を参照してください。）
③ON/OFF集中コントローラー下ケースを付属のM4ねじ（2本）を使用して固定します。
④ON/OFF集中コントローラー本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。
⑤皿小ねじを取り付けてください。

ON/OFF集中コントローラーの配線のしかた

ON/OFF集中コントローラーの取り付け、取りはずしは安全のためエアコンの電源を切ってから行ってください。

●信号線は、室内外操作線に接続します。
●室内外操作線は、2芯0.5mm²～1.6mmの電線を使用してください。
●室内外操作線は、電源配線（AC100V等）と同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
●室内外操作線は、リモコン配線および電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。
●ON/OFF集中コントローラーの電源配線は、AC100Vに接続してください。
（誤配線をするとこわれます。）
●配線は、誤配線をしないように接続してください。
（誤配線をするとこわれます。）
●付属のゴムブッシュは、スイッチボックスの通線穴用のものです。金属管を使用しない場合は、付属のゴムブッシュをご使用ください。

〈裏面端子配線図〉



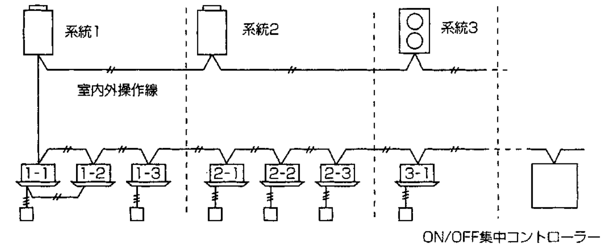
〈注〉
誤ってU1、U2にAC100Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。配線を修正した後、室内外操作線をU1と予備端子に接続してください。また、室内外コントロール基板のヒューズも溶断しているおそれがありますので、それぞれの“試運転担当のかたへ”を参照してください。

ON／OFF集中コントローラー／SHA-KC16KA…別売品　機能と操作

〈基本配線図〉

エアコンの室内外操作線は、下図のような集中制御使用時の配線をしてください。

- ●１システムのエアコンの接続台数は、室内ユニット最多64台、室外ユニット最多30台です。
- ●ON/OFF集中コントローラーは、各ゾーン毎に親子合わせて2台まで接続できます。

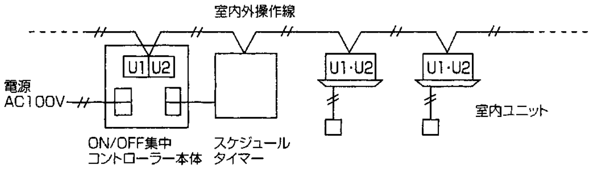


〈注〉エアコンの機種によっては、ローカルアダプターが必要です。

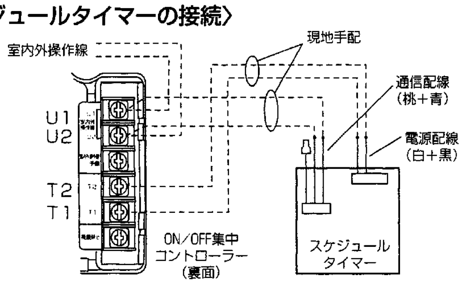
〈配線の手順〉

ON/OFF集中コントローラーの端子台、室内外操作線（U1、U2）と、室内ユニットの端子（U1、U2）とを、下図のように、接続してください。

- ●極性はありませんので、U1、U2は逆になってもかまいません。
- ●室外ユニットの室内外操作線用の端子にも、接続できます。
- ●別売のスケジュールタイマーを接続する場合は、スケジュールタイマーに付属の「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。



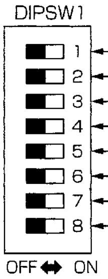
〈スケジュールタイマーの接続〉



外部設備との接続

名称	入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 入出力条件	端子名	設備側 切分け端子	回路例	入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	運転出力 警報出力 無電圧A接点 スタティック （リレー出力） 接点許容電圧 電流 DC30V, 0.5A	運転 警報 出力コモン	CPEV 0.9～1.2φ	デジタル入力	配線長 100m 以内
	制御入力	一斉運転入力 一斉停止入力 有電圧A接点 パルス （フォトカプラー入力） 接点許容電圧 電流 DC24V, 10mA	一斉運転（＋） CX 一斉停止（＋） TX 入力コモン（−）	CPEV 0.9～1.2φ	＋24V COM	パルス幅 300msec 以上 配線長 100m 以内

設定スイッチについて



ゾーンアドレススイッチ

ゾーンアドレスの設定をします。

ゾーンアドレス ＼ スイッチNo.	1	2
1（集中制御アドレス1～16）	OFF	OFF
2（集中制御アドレス17～32）	ON	OFF
3（集中制御アドレス33～48）	OFF	ON
4（集中制御アドレス49～64）	ON	ON

ON/OFF集中コントローラー親子切換

（親：OFF／子：ON）

①通常親（OFF）で使用してください。
②1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを親子（2台）で使用する場合、1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。

集中制御親子切換

（親：OFF／子：ON）

①通常親（OFF）で使用します。
②AMYアダプター、インテリジェントコントローラー、システムコントローラーと併用する場合、子（ON）にしてください。

集中個別切換

4グループ毎の集中（手元禁止）/個別（手元許可）が切り換えられます。

	スイッチNo.	5	6	7
出荷状態（手元許可）		OFF	OFF	OFF
禁止	1～16グループ一括	ON	OFF	OFF
禁止	5～16グループ一括	OFF	ON	OFF
禁止	9～16グループ一括	ON	ON	OFF
禁止	13～16グループ一括	OFF	OFF	ON

※集中制御親子切換が親設定の時に使用できます。

一斉運転／停止対象切換

（すべての室内機　：OFF／手元禁止の室内機：ON）

「一斉運転」や「一斉停止」ボタンを押したときに運転／停止するユニットを切り換えられます。

※出荷時の設定はすべてOFF

ON/OFF集中コントローラーを親子設置される場合

このON/OFF集中コントローラー親子制御は、2台のON/OFF集中コントローラーで同一グループを制御するものです。

●設定の方法

この制御を行うときは、次の手順にて設定をしてください。

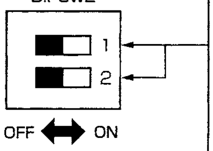
①子のON/OFF集中コントローラーのゾーンアドレススイッチを、親のON/OFF集中コントローラーと同じアドレスに設定します。
②子のON/OFF集中コントローラーの設定スイッチ3番（ON/OFF集中コントローラー親子切換）をOFF→ONにしてください。
この状態にて子ON/OFF集中コントローラーとして機能します。
③ON/OFF集中コントローラーを親子で使用する場合、必ず1台は親ON/OFF集中コントローラーとしてください。

85464359652000

ON／OFF集中コントローラー／SHA-KC16KA…別売品　機能と操作

オプションスイッチについて

DIPSW2



※出荷時の設定は
すべてOFF

ウィクリータイマー入力切換

別売のウィクリータイマーを接続した場合に、入力が変化したときの動作を切り換えられます。

動作		スイッチNo. 1	2
タイマーOFF→ON	タイマーON→OFF		
一斉運転	一斉運転	OFF	OFF
すべての室内機が手元許可 ※	すべての室内機が手元禁止 ※	ON	OFF
すべての室内機が手元許可 ※	一斉停止および すべての室内機が手元禁止 ※	OFF	ON
変化なし	一斉停止	ON	ON

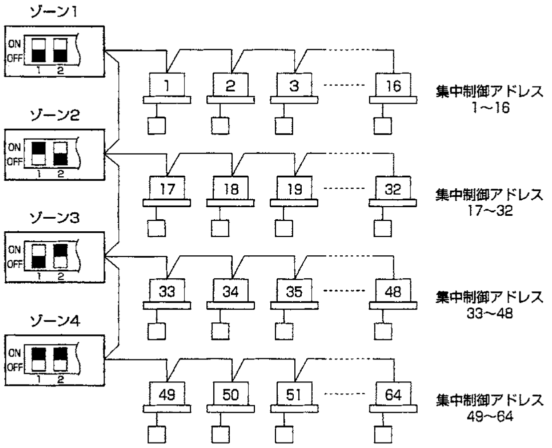
※設定スイッチの集中個別切換は手元許可設定（出荷設定）でご使用ください。
※別売のスケジュールタイマーを接続した場合はこのスイッチは機能しません。

ON/OFF集中コントローラーのゾーンアドレス設定スイッチについて

ON/OFF集中コントローラーを複数のゾーンで制御する場合は、ゾーンアドレスの設定が必要です。（設定スイッチ1番と2番）

- 1ゾーンだけで使用の場合は、ゾーン1に設定します。
- **複数のゾーンで使用する場合は、1台のON/OFF集中コントローラーは、必ずゾーン1に設定してください。**

ON/OFF集中コントローラー
設定スイッチ



集中制御アドレスの設定のしかた

- すべてのエアコンの電源を入れてください。
- 集中制御アドレスの設定にはワイヤードリモコンまたはシステムコントローラーが必要になります。
- **エアコンの試運転を終了**してから、下記の手順にしたがって集中制御アドレスを設定してください。

自動で集中制御アドレスを設定しますか？
（ユニットNo.の若い順に集中制御アドレスを自動設定します。）

- **自動で設定する** → 3. システムコントローラーから自動で集中制御アドレスを登録：C2
- **手動で設定する** → **ワイヤードリモコンから設定しますか？**
  - **ワイヤードリモコンから設定する** → 1. ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する
  - **システムコントローラーから手動で設定する** → 2. 手動集中制御アドレス登録：C1

システムコントローラーから集中制御アドレスの重複確認

4. 集中管理アドレス重複エラー確認：C3

ワイヤードリモコンから設定する

1. ワイヤードリモコンから集中制御アドレスを登録する

- エアコンが停止中に行ってください。

①[点検]ボタンと[換気]ボタンを同じに4秒間以上押し続けます。
（3線式リモコンは[試運転／点検]ボタンを4秒間以上押し続けます。）
②[ユニット選択]ボタンを押してください。
③温度設定[▲]、[▼]ボタンで項目コード03にします。
④タイマー時間[▲]、[▼]ボタンで、集中制御アドレスを設定します。

集中制御アドレス、ゾーン・グループ対応表

集中管理アドレス	ゾーン	グループ	集中管理アドレス	ゾーン	グループ	集中管理アドレス	ゾーン	グループ	集中管理アドレス	ゾーン	グループ
1	1	1	17	2	1	33	3	1	49	4	1
2		2	18		2	34		2	50		2
3		3	19		3	35		3	51		3
4		4	20		4	36		4	52		4
5		5	21		5	37		5	53		5
6		6	22		6	38		6	54		6
7		7	23		7	39		7	55		7
8		8	24		8	40		8	56		8
9		9	25		9	41		9	57		9
10		10	26		10	42		10	58		10
11		11	27		11	43		11	59		11
12		12	28		12	44		12	60		12
13		13	29		13	45		13	61		13
14		14	30		14	46		14	62		14
15		15	31		15	47		15	63		15
16		16	32		16	48		16	64		16
									99	未設定	

⑤[セット]（[セット／取消]）ボタンを押す。
（[設定中]が点滅から点灯に変わる）
⑥[点検]（[試運転／点検]）ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。（通常の停止状態になる）

システムコントローラーから手動で設定する

2. 手動集中制御アドレス登録：C1

ゾーン、グループを選択して室内グループ毎に集中制御アドレスを登録します。

①リモコンを接続して、室内ユニットのユニットNo.を確認し、施工計画書を作成してください。
②[試運転／点検]ボタンと[ゾーン切換]ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コードC1が点滅します。）
③[セット]ボタンを押します。（01 が点灯に変わります。）
④[ゾーン切換]ボタンとグループ切換[▲]、[▼]ボタンで登録したいゾーンとグループの番号をそれぞれ選択します。
すでに登録されている場合は[取消]ボタンを押します。
⑤[風速切換]ボタンで系統No.（1～31）、[スイング／風向]ボタンで室内No.（1～64）がそれぞれ変わり、存在するエアコン（グループ制御時は親機）のユニットNo.を点滅表示します。
（系統が存在しない場合、室内No.は－－になります。系統31はローカルアダプター用で、存在の有無にかかわらず室内No.を表示します。）
⑥[セット]ボタンを押すと、グループNo.が点灯、ユニットNo.が点滅から点灯表示になり登録されます。
取り消す場合は[取消]ボタンを押します。
⑦登録を続ける場合は、④～⑥を繰り返します。
登録を修了するときは[試運転／点検]ボタンを押します。

自動で設定する

3. システムコントローラーから自動集中制御アドレスを登録：C2

①[試運転／点検]ボタンと[ゾーン切換]ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コード01が点滅します。）
②温度設定[▲]、[▼]ボタンを押して、項目コードをC2にします。
③[セット]ボタンを押すと、（C2が点灯し、[設定中]が点滅します。）
自動集中制御アドレス登録を開始します。（数分程度かかります。）
④[設定中]が消灯し、C2が点滅表示になったら修了です。
⑤[試運転／点滅]ボタンを押します。

ON／OFF集中コントローラー／SHA-KC16KA…別売品　機能と操作

システムコントローラーから集中制御アドレスの重複確認

4．集中制御アドレス重複エラー確認：C3

①［**試運転／点検**］ボタンと［**ゾーン切換**］ボタンを同時に4秒間以上押し続けます。（項目コードC1が点滅します。）

②温度設定［▲］、［▼］ボタンを押して、項目コードをC3にします。

③ **セット** ボタンを押しますと、C3が点灯し、**設定中** が点滅して集中制御アドレス重複エラー確認を開始します。

④室外ユニットの１系統から順にすべての室内ユニットのアドレスを確認します。

C3が点滅し、**設定中** が消灯したら確認修了です。

⑤集中制御アドレスに重複があった場合、グループNoが点滅します。

温度設定［▲］、［▼］ボタンで項目コードをC1にして、［**セット**］ボタンを押します。

グループNo点滅箇所を選択し、［**取消**］ボタンを押すと集中制御アドレスはクリアされます。正しい集中制御アドレスをワイヤードリモコンまたは、システムコントローラーで設定してください。

⑥［**試運転／点検**］ボタンを押して修了してください。

ON/OFF集中コントローラーの試運転のしかた

1．エアコンの電源をすべて入れてください。
2．ON/OFF集中コントローラーの電源を入れてください。
3．ON/OFF集中コントローラーから運転し、運転／停止ボタンの点灯で動作を確認してください。

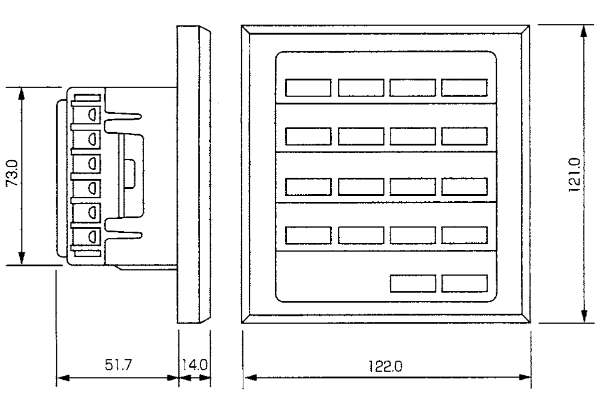
●次の場合は運転／停止ボタンが点滅しますので点検してください。

（1）数秒間高速点滅したとき
- エアコンの集中制御アドレスが正しく設定されていますか。
- エアコンの電源が入っていますか。
- 信号線がどこかで短絡または断線していませんか。

（2）連続して低速点滅したとき
- エアコンの動作を確認してください。
- エアコンの保護装置がはたらいています。

（3）運転／停止ボタンの15番または16番が一定間隔で高速点滅したとき
- 室内外操作線の初期設定を行っています。しばらくお待ちください。

外形寸法図



お客様への説明

● 「取扱説明書」「据付（電気）工事担当のかたへ」は工事完了後お客様にお渡しください。
● 「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法を説明してください。

施工計画書

●グループ制御時は、室内ユニットの親機に集中制御アドレスを設定してください。
●室内ユニットのユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。
（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの［**ユニット選択**］ボタンを**１回だけ押す**と、親機ユニットNoを表示します。）

ON/OFF集中コントローラー			室内ユニットNo 系統－室内	部屋名
	運転／停止ボタン番号	集中制御アドレス		
ゾーン 1	1	1	－	
	2	2	－	
	3	3	－	
	4	4	－	
設定スイッチ	5	5	－	
	6	6	－	
	7	7	－	
	8	8	－	
	9	9	－	
	10	10	－	
	11	11	－	
	12	12	－	
	13	13	－	
	14	14	－	
	15	15	－	
	16	16	－	

ON/OFF集中コントローラー			室内ユニットNo 系統－室内	部屋名
	運転／停止ボタン番号	集中制御アドレス		
ゾーン 2	1	17	－	
	2	18	－	
	3	19	－	
	4	20	－	
設定スイッチ	5	21	－	
	6	22	－	
	7	23	－	
	8	24	－	
	9	25	－	
	10	26	－	
	11	27	－	
	12	28	－	
	13	29	－	
	14	30	－	
	15	31	－	
	16	32	－	

ON/OFF集中コントローラー			室内ユニットNo 系統－室内	部屋名
	運転／停止ボタン番号	集中制御アドレス		
ゾーン 3	1	33	－	
	2	34	－	
	3	35	－	
	4	36	－	
設定スイッチ	5	37	－	
	6	38	－	
	7	39	－	
	8	40	－	
	9	41	－	
	10	42	－	
	11	43	－	
	12	44	－	
	13	45	－	
	14	46	－	
	15	47	－	
	16	48	－	

ON/OFF集中コントローラー			室内ユニットNo 系統－室内	部屋名
	運転／停止ボタン番号	集中制御アドレス		
ゾーン 4	1	49	－	
	2	50	－	
	3	51	－	
	4	52	－	
設定スイッチ	5	53	－	
	6	54	－	
	7	55	－	
	8	56	－	
	9	57	－	
	10	58	－	
	11	59	－	
	12	60	－	
	13	61	－	
	14	62	－	
	15	63	－	
	16	64	－	

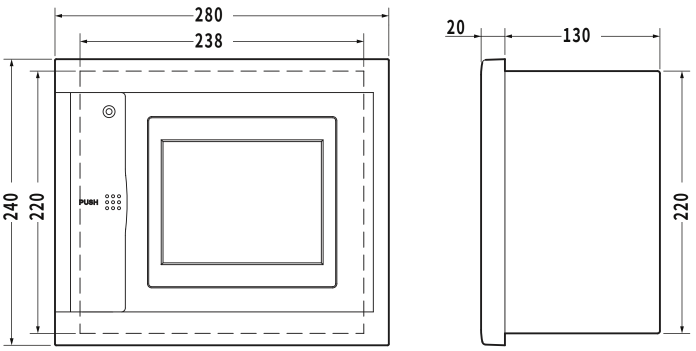
85464359652000

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…仕様

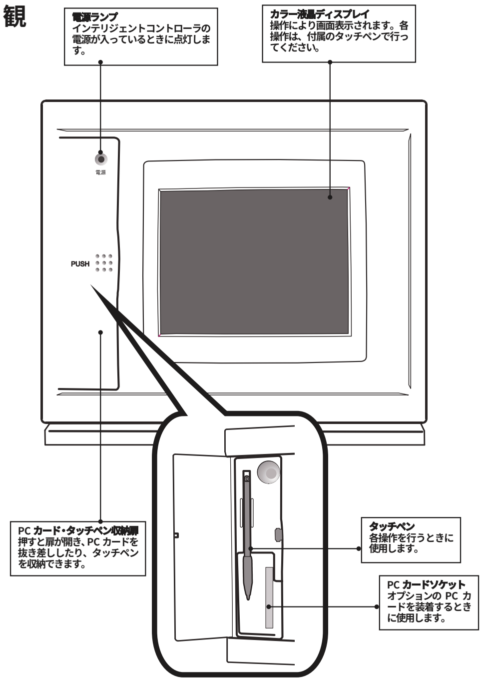
仕 様

品番		SHA-KT256A
外形寸法		（高さ）240×（幅）280×（奥行）150 mm
取付方法		制御盤前面扉
接続台数		最大 128 台のエアコン（室内機） 通信アダプタ接続で最大 256 台のエアコン（室内機）
時計精度		±2 分／月（常温）
タイマー	設定単位	1 分
	動作	1日あたり20回設定　デイリータイマー30種　ウィークリータイマー50種
	プログラム周期	1 週間
使用温度／湿度範囲		5℃～40℃／20%～80%
表示		6.5 インチ TFT カラー液晶ディスプレイ（640x480 ドット） バックライト付き
電源定格		単相 100V 50/60Hz
消費電力		最大 20W
重量		3.6kg

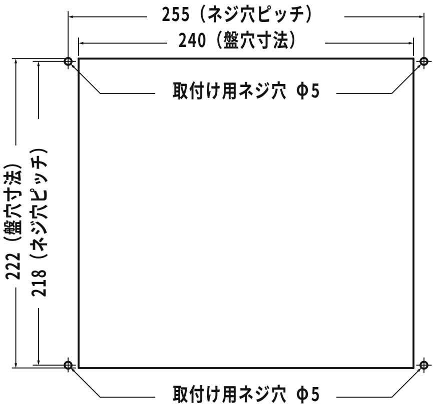
外形寸法図



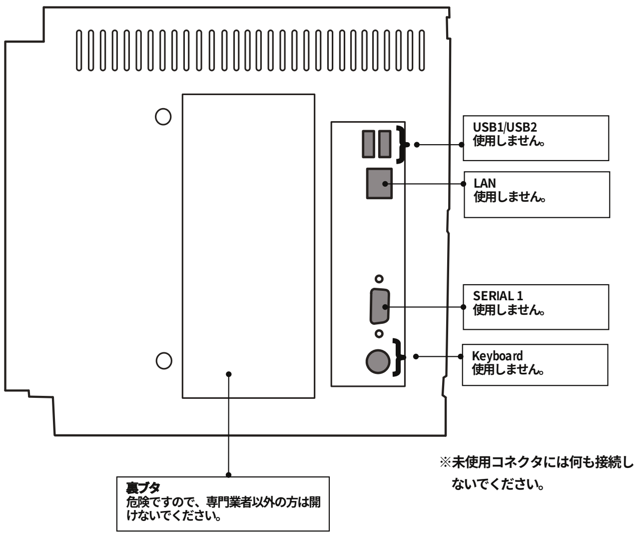
外 観



取付け穴寸法

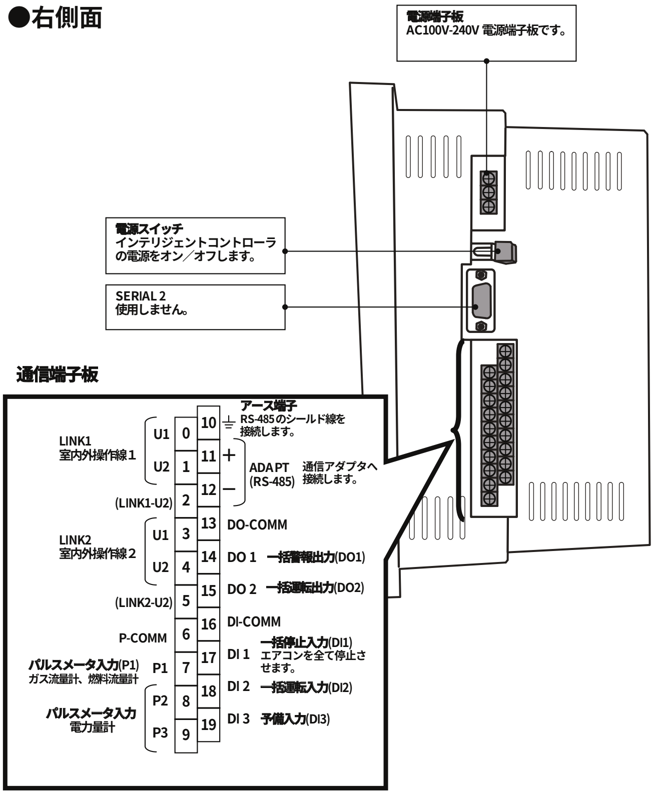


●背 面



※未使用コネクタには何も接続しないでください。

●右側面



インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

2.本機の特長

本機は、小・中規模向けの空調機集中管理システムです。

対応する機種は、以下です。（予告なく変更されることがあります）

ガスヒートポンプエアコン (GHP)　SGP- G **形　以降**

電気式パッケージエアコン (PAC)　SPW-T **形　以降**

●接続台数 ……………………
- 1 台のインテリジェントコントローラーに通信アダプターを接続することにより、最大 256 台の室内ユニットが接続可能
- 室外ユニットは最大 120 台まで接続可能

●表示 ……………………
- タッチパネル式　6.5 インチ TFT カラー（640×480 ドット VGA）液晶ディスプレイ

●操作機能 ……………………
- 運転／停止、温度設定、運転モード切換、風向設定、他

●運転モニタ ……………………
- 運転状態（運転／停止、運転モード、警報）の一括監視
- 警報履歴の表示
- フィルター清掃サイン・エンジンオイル点検サインの一括確認
- 外部一括異常出力、外部一括運転出力（リレー接点）

●プログラムタイマー …………
- 1 日 20 回までのデイリータイマー（30 種類）を組み合わせて、ウィークリータイマーを 50 種類まで設定可能

●空調エネルギー按分 …………
- 室内ユニット毎の累積運転時間・運転回数積算
- 室内ユニット毎、およびテナント毎のガス・電気の空調消費按分率・使用量（m^3、kWh）計算
- 室内ユニットの運転時間をもとに計算する「簡易按分」と、実際の空調能力をもとに計算する「負荷按分」の２つの按分方式が選択可能（空調機側が負荷按分に対応している必要があります）
- 時間帯別按分機能（時間内・時間外・特定日）
- 締めデータは過去 24 回分を記憶

●ヘルプ画面 ……………………
- 各操作画面でヘルプボタンを用意

本書、及び本機ソフトウェア上で使用される用語とその略語

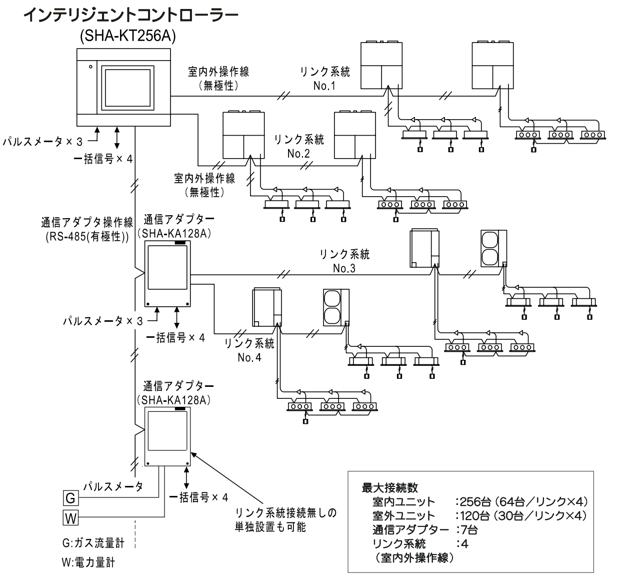
正　式　名	略　　語
アダプターアドレス	アダプター
リンク系統アドレス	リンク系統
室外ユニット系統アドレス	室外ユニット系統、室外ユニット、室外系統、室外
室内ユニットアドレス	室内ユニット、室内
按分グループ番号	按分グループ No.、按分グループ
テナント番号	テナント No.、テナント
ゾーン番号	ゾーン No.、ゾーン
ユニット名	ユニット
空調按分率	按分率
集中制御アドレス	集中アドレス

※詳細は、「９．用語の説明」を参照してください。

8

3.システムの構成

システム構成例



※リンク系統（室内外操作線）の接続にあたっては、必ずインテリジェントコントローラー本体のLINK1, LINK2からご使用ください。　リンク系統は最大4系統までです。

※1リンク系統あたりの室内ユニットは最大64台までです。

9

6.ご使用方法

6.1.電源の入れかた

配線（エアコン、通信アダプタ接続等）状態を確認したら、インテリジェントコントローラーの電源スイッチ（12 ページ参照）をオンします。システムが自動的に起動します。

最初の起動時のみ、通常画面が表示されるまで 10 数分かかりますのでしばらくお待ちください。

（システム起動中→コンバート中→ポート２オープン待ち→前回情報読込中と表示が変わっていきます。）

6.2.表示画面のなまえとはたらき

6.2.1.初期通信画面

以下は、インテリジェントコントローラー起動時の初期通信画面です。

ソフトウェアバージョンです。
図は ver2.10 の表示例です。

★ 電源を切る時のお願い★

インテリジェントコントローラーの電源を切る時は、必ず次の手順でお願いします。

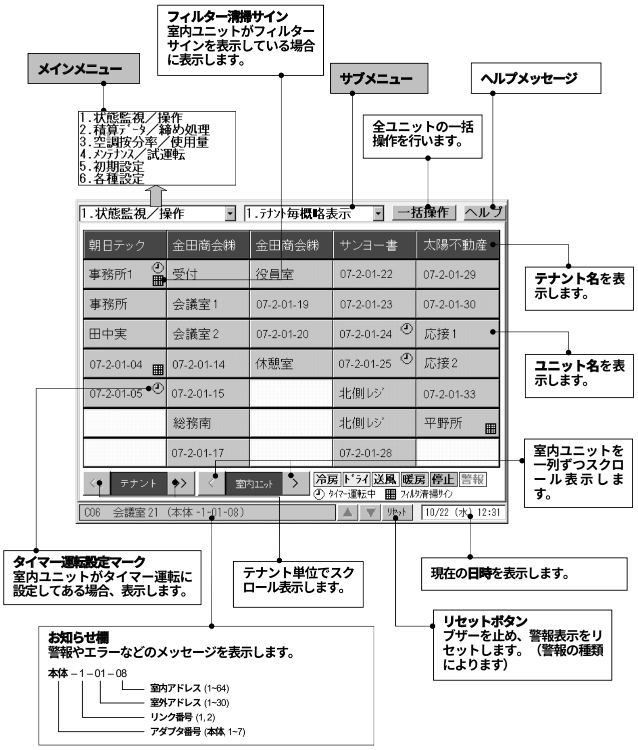
> 「その他の設定」画面（メイン６／サブ９）において、一番下の 電源オフ ボタンを押す。
>
> ⇩
>
> 「システムを終了しますか？」と表示されたら OK ボタンを押す。
>
> ⇩
>
> 「電源を切っても安全です。」と表示（*）されたら、その状態で電源を切る。
>
> （ * 数分程度かかる場合があります）

15

6.ご使用方法

6.2.2.表示画面例

ある画面表示を例に各部の説明をします。



フィルター清掃サインはあくまでも目安ですので、清掃サインが出なくても定期的に清掃されることをお勧めします。

16

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

メイン5／サブ1

6.3.初期設定

インテリジェントコントローラーをご使用いただくにあたり、この「初期設定」（メインメニュー5）は、システム登録として必須の設定項目ですので、必ず設定してください。
また、設定内容に関し、事前に以下の項目をご検討ください。

（1）運用形態の選択 （「6.3.2.日時／締め日／按分計算方式の設定」参照）
　Q：室内ユニット毎、テナント毎に**空調按分率**を表示／記録する必要はありますか？
　「必要」　→　電力按分計算対象「サーモ ON+OFF 時間」「サーモ ON 時間」のいずれかを選択
　「必要ない」　→　電力按分計算対象「按分しない」を選択

エアコンの状態監視、操作、運転時間等の積算のみの使用であれば、「空調按分率計算を行わない」を選択してください。（不要な設定や表示が省略できます）
以下の設定、表示が無効になります。
設定項目　：「メイン5サブ3」「メイン5サブ4」画面での「按分グループ」登録
表示項目　：「メイン2サブ1」「メイン2サブ2」「メイン2サブ4」画面での「時間帯」表示
メニュー画面　：「メイン3サブ1」「メイン3サブ2」「メイン6サブ6」「メイン6サブ7」「メイン6サブ8」

（2）集中アドレスの設定
「集中アドレス／ゾーン No.」画面（メイン6サブ2）で集中アドレスを必ず設定してください。
システムコントローラー、マルチコントローラー等と併用する場合は、ゾーン管理の区分けに影響しますのでご注意ください。

（3）空調按分率の計算方法の選択 （「6.3.2.日時／締め日／按分計算方式の設定」参照）
　上記（1）にて、空調按分率の表示が必要である場合、
　Q：その**計算方式**はどちらを選びますか？
　「室内ユニットの電力を考慮する」　→　電力按分計算対象「サーモ ON+OFF 時間」を選択
　「室内ユニットの電力を考慮しない」　→　電力按分計算対象「サーモ ON 時間」を選択

パルスメータ（電力量計）を設置し、その測定対象が室内ユニットと室外ユニットの場合は、「サーモ ON+OFF 時間」を選択してください。
室外ユニットのみの場合は、「サーモ ON 時間」を選択してください。

（4）パルスメータの設定 （「6.3.5.パルスメータの設定」参照）
　上記（1）にて、空調按分率の表示が必要である場合、
　Q：月単位の**空調使用量**を求めますか？
　「求める」　→　按分グループ単位で、パルスメータの設置が必要
　「求めない」　→　パルスメータの設置は不要

設定しない場合は、使用量の表示は常に「0」になります。

本システムに接続されたユニットを管理対象から外すことも可能です。（「6.8.2.集中ｱﾄﾞﾚｽ､ｿﾞｰﾝ No.､管理対象の設定」参照）

6.ご使用方法

メイン5／サブ1

6.3.1.システム設定フロー

◎：設定が必要です。
△：場合によっては設定が必要です。
×：設定は必要ありません。

お客様の運用の形態によって、「◎」の項目の設定を順次行なっていけば基本的な設定は完了します。
「△」の項目は、運用形態に関係なくお客様のご希望に応じて必要な設定、およびメンテナンス時のみ必要な設定です。

START
↓

	空調機操作のみ	按分率表示のみ（簡易按分）	按分率表示のみ（負荷按分）	使用量表示（簡易按分）	使用量表示（負荷按分）
メイン5／サブ1　日時／按分設定					
（1）現在日時の設定	◎	◎	◎	◎	◎
（2）締め日の設定	△注1	◎	◎	◎	◎
（3）電力按分計算対象	×	◎	◎	◎	◎
（4）省エネ分の振り分け設定	×	×	△注2	×	△注2
メイン5／サブ2　ﾕﾆｯﾄ名／ﾃﾅﾝﾄ No.					
（1）ユニット名	◎	◎	◎	◎	◎
（2）テナント No.	△注3	◎	◎	◎	◎
メイン5／サブ3　ﾃﾅﾝﾄ名／按分 Gr.					
（1）テナント名称	△注3	◎	◎	◎	◎
（2）按分グループ	×	◎	◎	◎	◎
製品種別	×	△注4	△注5	△注4	×注5
按分「負荷」「簡易」　注14	×	×	◎	×	◎
メイン5／サブ4　ﾊﾟﾙｽﾒｰﾀ設定					
（1）按分グループ	×	×	×	◎	◎
（2）パルス単位量	×	×	×	◎	◎
（3）氷蓄熱夜間電力と系統選択	×	×	×	×	◎

↓

6.ご使用方法

メイン5／サブ1

	空調機操作のみ	按分率表示のみ（簡易按分）	按分率表示のみ（負荷按分）	使用量表示（簡易按分）	使用量表示（負荷按分）
メイン5／サブ5　積算開始　注6	△注1	◎	◎	◎	◎
メイン6／サブ1　ゾーン名　注7	△	△	△	△	△
メイン6／サブ2　集中ｱﾄﾞﾚｽ／ｿﾞｰﾝ No.					
（1）集中アドレス　注8	◎	◎	◎	◎	◎
（2）ゾーン No.　注7	△	△	△	△	△
（3）管理	△	△	△	△	△
メイン6／サブ3　プログラムタイマー	△	△	△	△	△
（1）デイリータイマー					
（2）ウィークリータイマー					
メイン6／サブ4　テナント休日	△	△	△	△	△
メイン6／サブ5　リモコン禁止	△	△	△	△	△
メイン6／サブ6　按分時間帯	×	△	△	△	△
メイン6／サブ7　按分特定日	×	△	△	△	△
メイン6／サブ8　室内機種設定					
（1）室内ユニット能力　注9	×	△	×	△	×
（2）電気ヒーター容量　注10	×	×	△	×	△
メイン6／サブ9　その他の設定	△	△	△	△	△
（1）接続構成の確認					
（2）暗証番号の登録					
（3）無通信モードの設定　注11					
（4）ブザー音					
（5）初期化　注12					
（6）画面のオートオフ設定					
（7）電源のオフ					

↓

6.ご使用方法

メイン5／サブ1

↓

	空調機操作のみ	按分率表示のみ（簡易按分）	按分率表示のみ（負荷按分）	使用量表示（簡易按分）	使用量表示（負荷按分）
メイン2／サブ5　締め処理／データ保存					
（1）手動締め処理　注6	×	◎	◎	◎	◎
（2）バックアップ　注13	△	△	△	△	△
（3）リストア　注13	△	△	△	△	△

↓
END

注1　按分率や使用量は必要なくても、運転積算時間の監視だけ行いたい場合のみ必要です。
注2　空調機に３ｗａｙ機種や氷蓄熱機種を含む場合のみ設定が必要です。
注3　按分を行わなくても、テナントという概念のくくりで管理を行いたい場合は設定してください。
注4　ローカルアダプター（SHA-KL1B、KL1A、KL1U、KL4U）およびオールマイティ室内ユニットの場合のみ設定が必要です。
注5　オールマイティ室内ユニットの場合のみ設定が必要です。
注6　お引き渡しの直前に、試運転時の積算データをクリアする目的で「積算開始」を実施してください。
試運転時の積算データを保存したうえでクリアする場合は手動で「締め処理」（ﾒｲﾝ 2／ｻﾌﾞ 5）を行なってください。
注7　テナントなどのくくりと関係なく、任意のグルーピングで操作を行いたい場合に設定します。
注8　シスコンやマルチコンなどと併用する場合、そちらの側での管理区分に配慮が必要です。
インテリコンから集中アドレスを変更すると、それにともなってシスコンやマルチコン側でのゾーンが変化します。
注9　ローカルアダプター（SHA-KL1B、KL1A、KL1U、KL4U）に対してのみ設定が必要です。
注10　負荷按分時のみ計算に考慮されますので、簡易按分時は設定不要です。
注11　必ず「NO（通常）」の設定にしてください。
注12　すべての設定データ、締めデータが消失しますので不用意に初期化を行わないでください。
注13　別売のバックアップ用ＰＣカード装着時のみ有効です。
注14　按分方式を変更する場合は、事前に必ず手動締め処理を行ってください。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法　メイン5／サブ1

6.3.2.日時／締め日／按分計算方式の設定

現在の日付と時刻の設定を行います。

プログラムタイマーや按分計算などに必要な設定ですので、**運用開始前に必ず行ってください。**

手順

メインメニューで ５．初期設定 、サブメニューで １．日時／締め日／按分 を選択します。

①現在の日時を設定します。

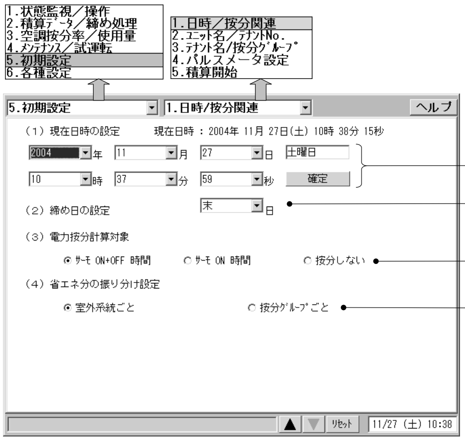
（1）　現在の日時の設定 で、プルダウンメニュー▼から年、月、日、時、分、秒を選択します。

曜日は自動表示されます。

確定 ボタンを押したタイミングで日時が更新されます。

②毎月の締め日を設定します。

（2）締め日の設定で、プルダウンメニュー▼から 1～28、末 日を選択します。



6.ご使用方法　メイン5／サブ1

③電力按分計算対象を選択します。

（3）サーモ ON+OFF 時間 、サーモ ON 時間、按分しない のいずれかを選択します。

- サーモ ON+OFF 時間
  室外ユニット、室内ユニット両方の電力をインテリコンに取り込んで按分する場合に選択します。
- サーモ ON 時間
  室外ユニットの電力のみをインテリコンに取り込んで按分する場合に選択します。
- 按分しない
  ガス・電気の按分計算をする必要がない場合に選択します。

④省エネ分の振り分け設定を選択します。

（4）室外系統ごと または 按分グループごと を選択します。

「電力按分計算対象」で、按分しない に設定されている場合には、選択できません。

3WAY や氷蓄熱機種などにおける省エネ効果を按分計算に反映させる範囲を選択します。

- 室外系統ごと
  3WAY や氷蓄熱機種の省エネ運転が、その系統のテナントの空調料金にだけ反映されます。
- 按分グループごと
  3WAY や氷蓄熱機種の省エネ運転が、それを含む按分グループ全体の全テナントの空調料金に反映されます。

（ただし、按分グループが複数設定されている場合のみ有効です。）

6.ご使用方法　メイン5／サブ2

6.3.3.ユニット名とテナント番号の設定

ユニット名とテナント番号を設定します。

手順

メインメニューで ５．初期設定 、サブメニューで ２．ユニット名／テナントNo. を選択します。

①ユニット名をタッチすると、次のようなソフトキーボードが表示されるので、ユニット名を入力します。
最長全角 6 文字、半角 12 文字までです。

※文字入力の説明については、「7.文字／数字入力について」を参照してください。

6.ご使用方法　メイン5／サブ2

②テナント No.をタッチすると、次のようなソフトテンキーが表示されるので、テナント No.を数字で入力します。

※テナント No.は、1～128 まで設定できます。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法　メイン５／サブ３

6.3.4.テナント名と按分グループの設定

テナント名と按分グループを設定します。

手順

メインメニューで ５．初期設定 、サブメニューで ３．ﾃﾅﾝﾄ名／按分ｸﾞﾙｰﾌﾟ を選択します。

①テナント名をタッチすると、ソフトキーボードが表示されるので、テナント名を入力します。
　最長全角 10 文字、半角 20 文字までです。
　※文字入力の説明については、「7.文字／数字入力について」を参照してください。
　※テナント No.は 1～128 まで設定できます。

6.ご使用方法　メイン５／サブ３

②按分 Gr.をタッチすると、図のようなソフトテンキーが表示されるので、数字を入力し、製品種別を PAC／GHP／HOT のいずれかに設定します。
　按分方式の「簡易」「負荷」を選択してください。
　※詳細は「6.6.3.空調按分率、空調使用量の計算方法」参照してください。
　「負荷」按分に設定されたテナントは「No」欄が水色表示となります。
　※按分グループは 1～8 まで設定できます。
　※「按分しない」設定の場合、このボタンは無効になります。（ メイン５／サブ１ 参照）
　※負荷按分に設定された按分グループ欄は、「PAC」「GHP」などの製品種別は表示されません。
　※按分方式を変更する場合は、事前に必ず手動締め処理を行ってください。

③製品種別の自動認識ができない次のユニットを接続している場合は、 製品種別 ボタンで「PAC」または「GHP」を設定してください。
- ・ローカルアダプター（オン／オフ用）　SHA-KL4U
- ・ローカルアダプター（通信変換用）　SHA-KL1B,　KL1A,　KL1U
- ・オールマイティ

ただし、「簡易按分」設定時のみです。

・1つの按分グループ内に PAC,HOT,GHP を混在して設定することはできません。それぞれ別のグループに設定してください。(「負荷」按分の按分グループの場合は PAC,HOT,GHP の混在が可能です。)
・製品種別の設定で、HOT マルチは、自動認識せずに PAC と認識するため、手動で「HOT」に設定してください。
・HOT のテナントは「負荷」按分に設定できません。
・「負荷」按分のテナントは「HOT」に設定できません。
・負荷按分に対応していない空調機は「負荷」按分に設定できません。
　ローカルアダプターも負荷按分に非対応です。

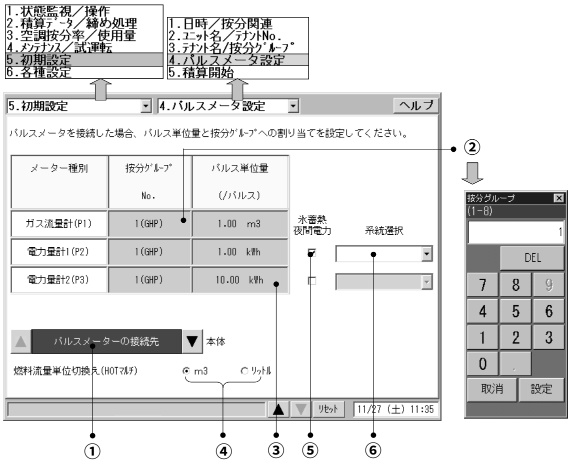
6.ご使用方法　メイン５／サブ４

6.3.5.パルスメータの設定

パルスメータを接続した場合に、対象となる按分グループと 1 パルス当たりの電力量またはガス流量を設定します。

手順

メインメニューで ５．初期設定 、サブメニューで ４．パルスメータ設定 を選択します。



①パルスメータの接続先を選択します。
② 按分グループ No. 欄をタッチすると、按分グループのソフトテンキーが表示されますので、按分グループ No を入力します。
　※按分グループは 1～8 まで設定できます。
　※「按分しない」設定の場合、このボタンは無効になります。（ メイン５／サブ１ 参照）
③選択した按分グループのパルス単位量欄をタッチし、1 パルス当たりの電力量(kWh)またはガス流量(m^3)を入力します。
④HOT マルチの場合、燃料流量計の単位を選択します。
⑤氷蓄熱の夜間電力用のメータの場合、ここにチェックを入れてください。（負荷按分設定時のみ有効）
⑥ ⑤で設定した夜間電力用メータは、どの氷蓄熱室外系統用であるか、そのアドレスを選択します。
※HOT マルチまたは負荷按分用に設定されている電力量計に対しては設定できません。

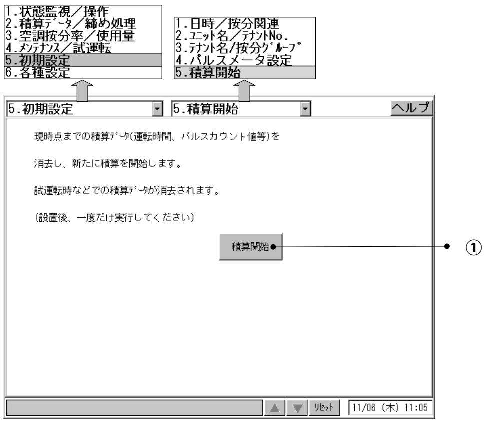
6.ご使用方法　メイン５／サブ５

6.3.6.積算開始

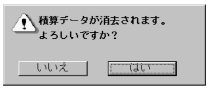
試運転時などの積算データを消去し、運転時間、パルスカウント値等の積算を開始します。

手順

メインメニューで ５．初期設定 、サブメニューで ５．積算開始 を選択します。



① 積算開始 をタッチします。
次のような画面が表示されます。



はい ボタンをタッチすると、現時点までの積算データが消去され、運転時間の積算を開始します。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.4.状態監視と操作画面

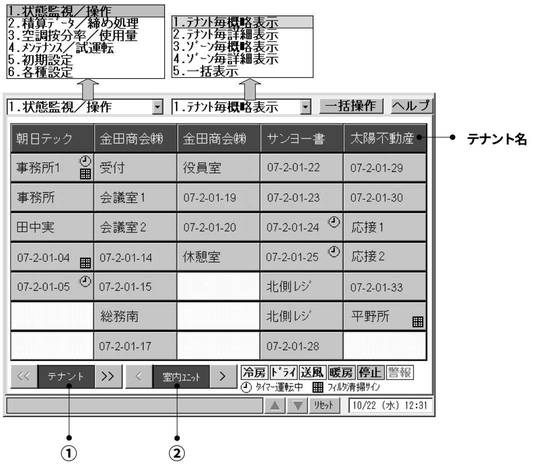
6.4.1.テナント毎の概略表示

接続されている室内ユニットをテナント毎に一括表示します。

手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．テナント毎概略表示 を選択します。

各テナントと室内ユニットが表示されます。



①テナント毎にスクロール表示します。

②一列ずつスクロール表示します。

テナントの登録がされていない室内ユニットは、テナント名欄に「---」と表示されます。

6.4.1.1.個別操作のしかた

接続されている室内ユニットを個別に操作できます。

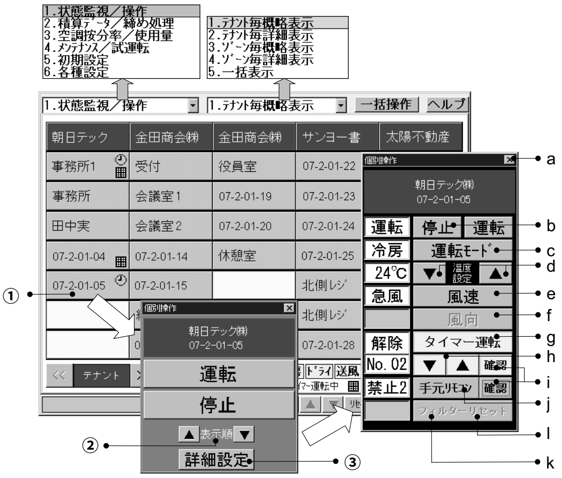
手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．テナント毎概略表示 を選択します。

① 設定したいユニット名にタッチすると、個別操作の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 画面上の表示の順序を、1つずつ上げたり下げたりします。

③ 詳細設定をタッチすると、個別操作の詳細設定用ソフトリモコンが表示されます。



a. リモコンの操作を終了します。
b. 「運転／停止」のいずれかに設定します。
c. 運転モードを設定します。
d. 温度を設定します。
e. 風速を設定します。
f. 風向を設定します。
g. タイマー運転の「設定／解除」を行います。
h. 「No.1〜No.50」まで設定します。
i. タイマーの設定状況、リモコン禁止の設定状況の確認画面を表示します。
j. 「禁止1／禁止2／禁止3／禁止4／許可」のいずれかに設定します。
k. 市販の換気扇等を接続したときに ON/OFF することができます。室内ユニットを運転／停止したときは換気扇も同時に運転／停止します。
l. フィルタ清掃サインをリセットします。

6.4.1.2.テナント一括操作のしかた

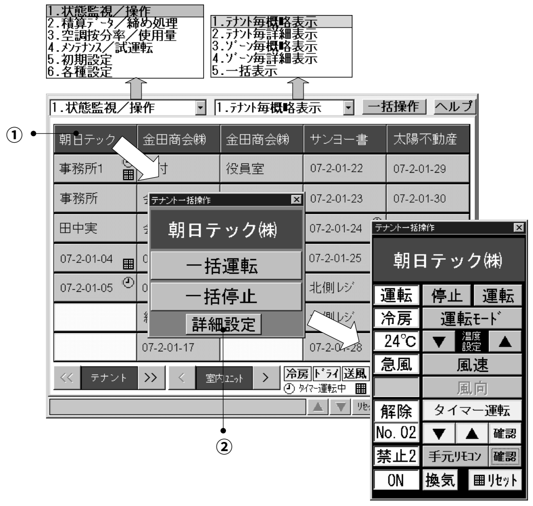
接続されている室内ユニットをテナント毎に一括で操作することができます。

手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．テナント毎概略表示 を選択します。

①テナント名をタッチするとテナント一括操の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 詳細設定 をタッチすると、テナント一括操作の詳細設定用ソフトリモコンが表示されます。



・ソフトリモコンの状態表示について
全ユニット一括操作で各ユニットの設定が混在した場合、一番先頭（若番）のユニットを代表して薄い文字で表示します。一括設定後は、濃い文字で表示されます。

6.4.1.3.全ユニット一括操作のしかた

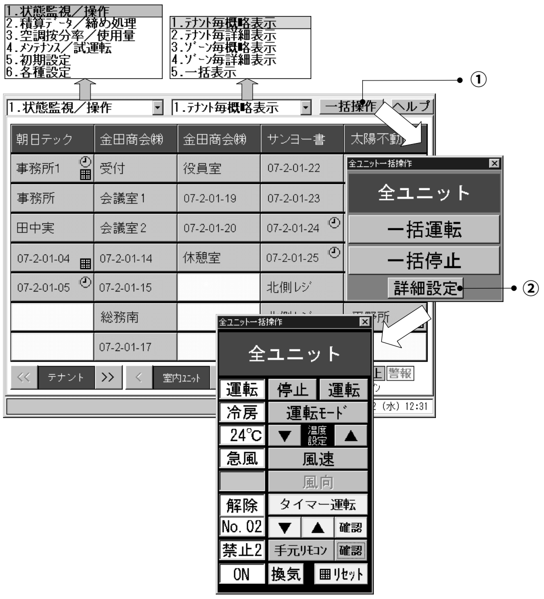
接続されている全室内ユニットを一括で操作することができます。

手順

メインメニューで 1．状態監視／操作 、サブメニューで 1．テナント毎概略表示 を選択します。

① 一括操作 をタッチすると 全ユニット一括操作 の ON/OFF 操作用のソフトリモコンが表示されます。

② 詳細設定 をタッチすると、全ユニット一括操作 の詳細設定用ソフトリモコンが表示されます。



・ソフトリモコンの状態表示について
全ユニット一括操作で各ユニットの設定が混在した場合、一番先頭（若番）のユニットを代表して薄い文字で表示します。一括設定後は、濃い文字で表示されます。
・風向設定は、一括操作時には設定無効になります。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

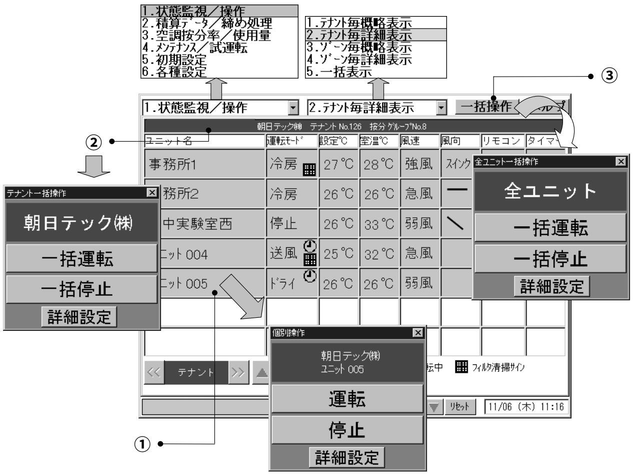
6.4.2.テナント毎の詳細表示

テナント毎の詳細な設定状態を表示・操作できます。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 2. テナント毎詳細表示 を選択します。

①ユニット名をタッチすると 個別操作 のソフトリモコンが表示されます。
②テナント名をタッチすると テナント一括操作 のソフトリモコンが表示されます。
③ 一括操作 をタッチすると 全ユニット一括操作 のソフトリモコンが表示されます。



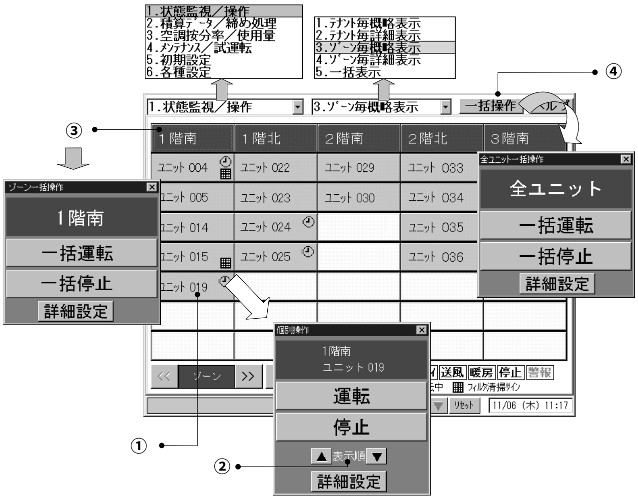
6.4.3.ゾーン毎の概略表示

室内ユニットの状態をゾーン毎に表示・操作します。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 3. ゾーン毎概略表示 を選択します。

①ユニット名をタッチすると 個別操作 のソフトリモコンが表示されます。
②画面上の表示の順序を、1つずつ上げたり下げたりします。
③ゾーン名をタッチすると ゾーン一括操作 のソフトリモコンが表示されます。
④ 一括操作 をタッチすると 全ユニット一括操作 のソフトリモコンが表示されます。



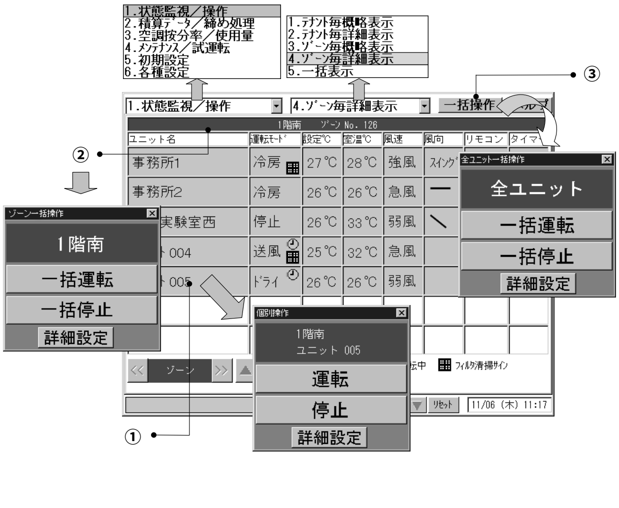
6.4.4.ゾーン毎の詳細表示

ゾーン毎の詳細な設定状態を表示・操作できます。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 4. ゾーン毎詳細表示 を選択します。

①ユニット名をタッチすると 個別操作 のソフトリモコンが表示されます。
②ゾーン名をタッチすると ゾーン一括操作 のソフトリモコンが表示されます。
③ 一括操作 をタッチすると 全ユニット一括操作 のソフトリモコンが表示されます。



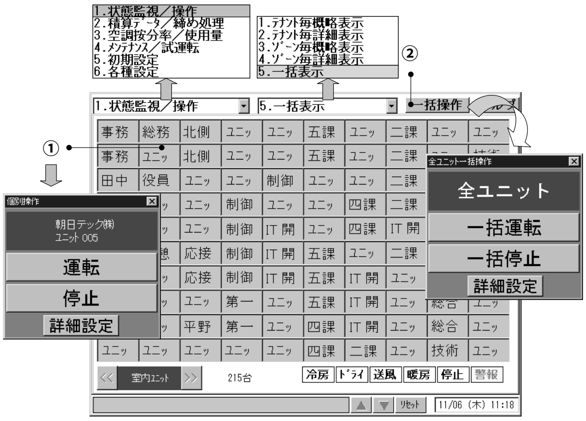
6.4.5.室内ユニット一括表示・操作のしかた

全室内ユニットの状態を一括表示・操作できます。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 5. 一括表示 を選択します。

1 画面で 100 台の室内ユニットをアドレス順（リンク系統－室外系統－室内ユニット）に表示します。
また、個別操作もできます。
①ユニット名をタッチすると 個別操作 のソフトリモコンが表示されます。
② 一括操作 をタッチすると 全ユニット一括操作 のソフトリモコンが表示されます。



インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法　メイン2／サブ1

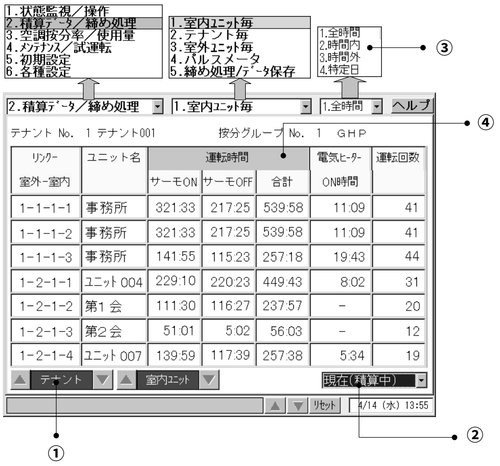
6.5.積算データと手動締め処理

6.5.1.室内ユニット毎の積算データ

室内ユニット毎に運転時間、運転回数などの累積状況を確認できます。

手順

メインメニューで［2．積算データ／締め処理］、サブメニューで［1．室内ﾕﾆｯﾄ毎］を選択します。
①表示したいテナントを選択します。
②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大24ヶ月分）を選択します。
③表示したい「時間帯」を選択します。
※「按分しない」設定の場合、このボタンは無効になります。（メイン5／サブ1 参照）



④風速別運転時間を表示したい場合、［運転時間］をタッチします。表示内容が下記のように変わります。

6.ご使用方法　メイン2／サブ2

6.5.2.テナント毎の積算データ

テナント毎の運転時間、運転回数などの累積状況を確認できます。

手順

メインメニューで［2．積算データ／締め処理］、サブメニューで［2．テナント毎］を選択します。
①表示したい按分グループを選択します。
②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大24ヶ月分）を選択します。
③表示したい「時間帯」を選択します。
※「按分しない」設定の場合、このボタンは無効になります。（メイン5／サブ1 参照）

④風速別運転時間を表示したい場合、［運転時間］をタッチします。表示内容が下記のように変わります。

6.ご使用方法　メイン2／サブ3

6.5.3.室外ユニット毎の積算データ

室外ユニット毎の運転時間、運転回数などの累積状況を確認できます。

手順

メインメニューで［2．積算データ／締め処理］、サブメニューで［3．室外ﾕﾆｯﾄ毎］を選択します。

①接続先のリンク系統を選択します。
②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大24ヶ月分）を選択します。

エンジンオイル交換後の運転時間はこまめに確認し、交換時期が近づいてきたら、早めにお買い上げの販売店、またはサービス会社にオイルの交換を依頼してください。交換時期を過ぎても運転を続けると、エンジンが壊れるおそれがあります。

6.ご使用方法　メイン2／サブ4

6.5.4.パルスメータの積算データ

パルスメータのカウント数などの累積状況を確認できます。

手順

メインメニューで［2．積算データ／締め処理］、サブメニューで［4．パルスメータ］を選択します。

①パルスメータの接続先を選択します。
②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大24ヶ月分）を選択します。
③表示したい「時間帯」を選択します。
※「按分しない」設定の場合、このボタンは無効になります。（メイン5／サブ1 参照）

HOTマルチの場合、表示される単位量は「m^3」または「ﾘｯﾄﾙ」となります。
メータ種別は、「燃料流量計」となります。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

メイン2／サブ5

6.5.5.手動締め処理とデータ保存

手動による締め処理や、設定データ、積算データ等を PC カード（別売品）へバックアップします。

6.5.5.1.手動締め処理

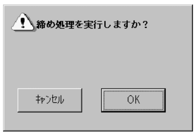
手動による締め処理をする場合は、次の手順で行います。

手順

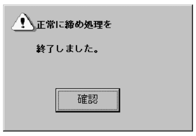
メインメニューで 2．積算データ／締め処理 、サブメニューで 5．締め処理／デ－タ保存 を選択します。

① 締め処理 ボタンをタッチします。

②次のような画面が表示されたら、 OK ボタンをタッチします。



③次のような画面が表示されたら、 確認 ボタンをタッチします。



6.ご使用方法

メイン2／サブ5

6.5.5.2.データ保存

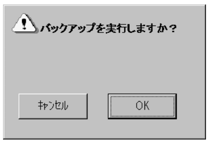
バックアップ用 PC カード（別売品）に設定データや積算データを保存する場合、次の手順で行います。

手順

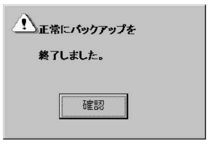
前述の「6.5.5.1.手動締め処理」で締め処理を終了したら、次のような手順でバックアップを行います。

④ PC カードを挿入し、 バックアップ ボタンをタッチします。

⑤次のような画面が表示されたら、 OK ボタンをタッチします。



⑥次のような画面が表示されたら、 確認 ボタンをタッチします。



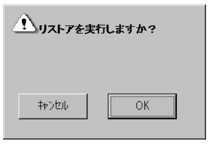
6.5.5.3.データのリストア

バックアップ用 PC カードに保存したデータをシステムに戻す場合は、次の手順で行います。

手順

⑦ PC カードを挿入し、 リストア ボタンをタッチします。

⑧次のような画面が表示されたら、 OK ボタンをタッチします。



⑨次のような画面が表示されたら、 確認 ボタンをタッチします。

※古いバージョンのインテリコンでバックアップしたデータをリストアしようとすると、「ファイルバージョンが違います。リストアを実行しますか？」と表示されますので、確認後「はい」をタッチしてください。リストア終了後、「再起動します」と表示されますので「OK」をタッチしてください。リストアしたデータは再起動後に有効となります。

データのバックアップやリストアはインテリジェントコントローラー専用のバックアップ用 PC カード（別売）を使用してください。詳しい使用方法は、そちらの取扱説明書を参照してください。
バックアップ時間、リストア時間は、データ量により 15 分程度かかる場合があります。

6.ご使用方法

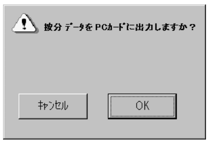
6.5.5.4.按分データの途中経過出力

締め処理前の按分データ（積算データ）の途中経過をバックアップ用ＰＣカード（別売品）に保存する場合、次の手順で行います。

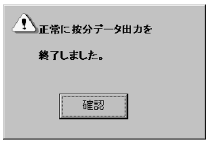
手順

⑨ＰＣカードを挿入し、 按分データ出力 ボタンをタッチします。

⑩次のような画面が表示されたら、 OK ボタンをタッチします。



⑪次のような画面が表示されたら、 確認 ボタンをタッチします。



【ファイル名の形式】

按分データ出力を行った西暦と年月で、次のようなファイル名となります。

20050316A.csv　（2005 年 3 月 16 日に出力した例）

同じ日に何回も出力した場合、末尾の「A」が b,c,d,･･･と変わっていきます。（一日に 26 回まで出力可能）

ファイルのデータ構造は、締めファイルと同じです。

【ご注意】

出力した按分データファイルは、お客様のパソコンにコピーし、ＰＣカードからは削除してください。

按分データファイルの本数が多いと、締めデータの通常のバックアップができなくなることがあります。

データのバックアップやリストアはインテリジェントコントローラー専用のバックアップ用 PC カード（別売）を使用してください。詳しい使用方法は、そちらの取扱説明書を参照してください。
バックアップ時間、リストア時間は、データ量により 15 分程度かかる場合があります。

6.ご使用方法

メイン3／サブ1

6.6.空調按分率と空調エネルギー使用量

6.6.1.室内ユニット毎の空調按分率と使用量

室内ユニット毎の空調按分率と使用量を表示します。

手順

メインメニューで 3．空調按分率／使用量 、サブメニューで 1．室内ﾕﾆｯﾄ毎 を選択します。

※「按分しない」設定の場合、このボタンこの画面には入れません。（ メイン5／サブ1 参照）

①表示したいテナントを選択します。

②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大 24 ヶ月分）を選択します。

③表示したい「時間帯」を選択します。

ﾘﾝｸｰ 室外－室内	ユニット名	室内ﾕﾆｯﾄ運転時間	ｻｰﾓON	電気使用量(kWh)	按分率(%)	ガス使用量(m3)	按分率(%)
1-1-1-1	事務所	235:08	86:51	61.08	6.42	78.02	6.30
1-1-1-2	事務所	235:08	86:51	61.08	6.42	78.02	6.30
1-1-1-3	事務所	76:58	31:08	24.77	3.87	35.09	3.71
1-2-1-1	ﾕﾆｯﾄ 004	104:01	49:17	43.54	5.38	52.41	5.29
1-2-1-2	第1 会	89:30	42:20	40.67	5.00	50.38	5.11
1-2-1-3	第2 会	409:32	280:11	191.09	17.01	204.91	17.71
1-2-1-4	ﾕﾆｯﾄ 007	198:08	71:09	60.80	6.32	72.00	6.55

・HOT マルチの場合、表示される単位量は「m³」または「ﾘｯﾄﾙ」となります。
・パルスメータが未接続の場合は、電気／ガス使用量は表示しません。
・PAC の場合は、ガス使用量とその按分率は表示しません。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

メイン３／サブ２

6.6.2.テナント毎の空調按分率と使用量

テナント毎の空調按分率と使用量を表示します。

手順

メインメニューで ３．空調按分率／使用量 、サブメニューで ２．テナント毎 を選択します。

※「按分しない」設定の場合、このボタンこの画面には入れません。（ メイン５／サブ１ 参照）

①表示したい按分グループを選択します。

②現在（積算中）または過去の締めデータ（最大 24 ヶ月分）を選択します。

③表示したい「時間帯」を選択します。

・HOT マルチの場合、表示される単位量は「m³」または「リットル」となります。
・パルスメータが未接続の場合は、電気／ガス使用量は表示しません。
・PAC の場合は、ガス使用量とその按分率は表示しません。

6.ご使用方法

6.6.3.空調按分率、空調使用量の計算方法

インテリジェントコントローラーでは、室内ユニットの累積運転時間（サーモ ON／サーモ OFF）や、室内ユニットの能力値を使って簡易的に空調按分率やエネルギー（電力、ガス）使用量を計算します。
ここでは、その計算方法について説明します。

6.6.3.1.簡易按分の計算方法

簡易按分の計算には、次のようなパラメータを使用します。

① RHHi :　室内ユニット i 号機の累積運転時間（急風）
② RHi :　室内ユニット i 号機の累積運転時間（強風）
③ RLi :　室内ユニット i 号機の累積運転時間（弱風）
④ SHHi :　室内ユニット i 号機のサーモ ON 累積時間（急風）
⑤ SHi :　室内ユニット i 号機のサーモ ON 累積時間（強風）
⑥ SLi :　室内ユニット i 号機のサーモ ON 累積時間（弱風）
⑦ Pi :　室内ユニット i 号機の能力（kW 相当値）
⑧ k :　サーモ ON とサーモ OFF 時での電力量の重み付け係数
⑨ αHH :　急風の風速重み付け係数
⑩ αH :　強風の風速重み付け係数
⑪ αL :　弱風の風速重み付け係数
　＊累積運転時間 ＝ サーモ ON 累積時間 ＋ サーモ OFF 累積時間

室内ユニット i 号機の電力／ガス消費指数を計算します。
ここで、「TEi」は室内ユニット i 号機の電力消費指数、
「TGi」は室内ユニット i 号機のガス消費指数を示します。

「電力按分計算対象」が「サーモ ON+OFF 時間」の場合
電力消費指数は「累積運転時間」と「サーモ ON 累積時間」、
ガス消費指数は「サーモ ON 累積時間」で計算します。

・GHP の場合
$TEi = (RHHi \times \alpha HH + RHi \times \alpha H + RLi \times \alpha L) \times Pi$　①式
$TGi = (SHHi \times \alpha HH + SHi \times \alpha H + SLi \times \alpha L) \times Pi$　②式

・PAC の場合
$TEi = \{ (RHHi \times \alpha HH + RHi \times \alpha H + RLi \times \alpha L) \div k + (SHHi \times \alpha HH + SHi \times \alpha H + SLi \times \alpha L) \} \times Pi$　③式
$TGi = 0$

「電力按分計算対象」が「サーモ ON 時間」の場合
電力消費指数、ガス消費指数共に「サーモ ON 累積時間」で計算します。

・GHP の場合
$TEi = (SHHi \times \alpha HH + SHi \times \alpha H + SLi \times \alpha L) \times Pi$
$TGi = (SHHi \times \alpha HH + SHi \times \alpha H + SLi \times \alpha L) \times Pi$

・PAC の場合
$TEi = (SHHi \times \alpha HH + SHi \times \alpha H + SLi \times \alpha L) \times Pi$
$TGi = 0$

・風速設定が急風のみの機種、および急風と弱風のみの機種は、風速ごとの重み付けは行われません。
・運用形態が「空調按分率計算を行わない」に設定してある場合は、空調按分率／空調使用量の計算を行いません。（「6.3.1.日時／締め日／按分計算方式の設定」参照）
・本機での計算式以外の方式で計算したい場合や、料金計算を行いたい場合は、別売の「料金計算ソフト」をお買い求めください。

6.ご使用方法

按分グループ全体での電力／ガス消費指数を計算します。
ここで、「TOTALe」は按分グループ全体での電力消費指数、
「TOTALg」は按分グループ全体でのガス消費指数、
「m」は当該按分グループに含まれる室内ユニット台数を示します。

$TOTALe = TE1 + TE2 + \cdots + TEm$
$TOTALg = TG1 + TG2 + \cdots + TGm$

室内ユニットの電力／ガス消費按分率を計算します。
ここで、「REi」は電力消費按分率、
「RGi」はガス消費按分率を示します。

$REi\ (\%) = TEi \ / \ TOTALe \times 100$
$RGi\ (\%) = TGi \ / \ TOTALg \times 100$

テナント j の電力／ガス消費按分率を計算します。
ここで、「NEj」はテナント j での電力消費按分率、
「NGj」はテナント j でのガス消費按分率、
「n」は当該テナントに含まれる室内ユニット台数を示します。

$NEj\ (\%) = RE1 + RE2 + \cdots + REn$
$NGj\ (\%) = RG1 + RG2 + \cdots + RGn$

按分率は、最終的に小数点以下第３位で**四捨五入**し、第２位まで表示します。

※前ページの①式～③式が、どの按分モードで使用されているかをまとめると次表のようになります。

		通常簡易按分	サーモＯＮ簡易按分
GHP	電気	①	②
	ガス	②	②
PAC	電気	③	②
	ガス	－	－
HOT	電気	③	②
	燃料	②	②

6.ご使用方法

6.6.3.2.空調使用量の計算方法

対象の按分グループ全体の電力／ガス使用量を計算します。

按分グループの電力使用量　＝　パルスメータ（電力量計）カウント値 × パルス単位量（kWh）
按分グループのガス使用量　＝　パルスメータ（ガス流量計）カウント値 × パルス単位量（m3）

室内ユニット毎の電力／ガス使用量を計算します。

室内ユニットの電力使用量　＝　按分グループの電力使用量 × 室内ユニットの電力消費按分率
室内ユニットのガス使用量　＝　按分グループのガス使用量 × 室内ユニットのガス消費按分率

使用量は、最終的に小数点以下第３位で**四捨五入**し、第２位まで表示します。

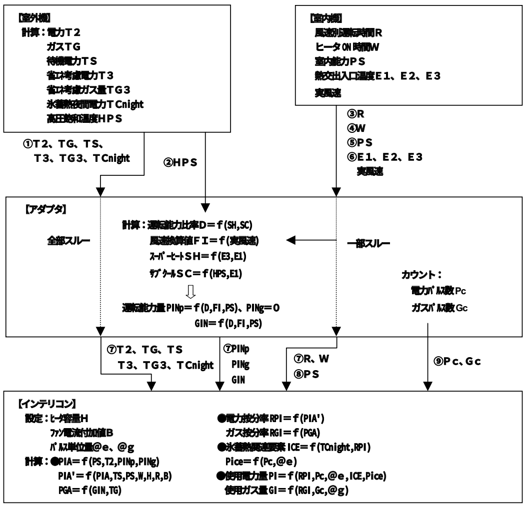
「10.知っていただきたいこと」の「■空調按分率、空調使用量について」を参照してください。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

6.6.3.3.負荷按分の計算方法

データフロー図



※　「f」は関数の意味で、例えば
運転能力比率 D = f (SH, SC)
は、スーパーヒート SH, サブクール SC を用いて運転能力比率を計算しているという意味です。

計算パラメータ	簡易按分	負荷按分
室内ユニット能力（kW）	○	○
室内ユニット運転時間	○	○
室内ファン風速比率（急、強、弱）	○	○
室外ユニット運転率 （電力：ＣＴで検出　ガス：ニューロ計算）	×	○
待機電力と各種ヒータ電力	×	○
室内ユニット負荷率（室内温度ｻｰﾓで検出）	×	○（過熱度）

6.ご使用方法

6.6.4.時間帯積算・按分について

本機は、時間帯を「全時間」「時間内」「時間外」「特定日」の４区分に分けて運転時間を積算し、按分を行う機能を持っていますが、この機能をご使用になるうえで以下の点にご注意ください。

■時間帯別の運転時間の誤差

本機では、個々の室内ユニットが積算している運転時間データを、通信アダプターを中継して取得します。インテリジェントコントローラー本体にも通信アダプター機能が一台分内蔵されています。
インテリジェントコントローラーが通信アダプターへデータを要求すると、通信アダプターは各室内ユニットに対して運転時間を問い合わせ、すべて集計できた時点でインテリジェントコントローラーへ転送します。
そのため、時間帯の切り替わりのときに、数分間程度のカウントの誤差が発生する場合があります。
例えば、次のようなケースが想定されます。

例1）時間内終了時刻ちょうど（またはその直前）に停止させたが、「時間外」に数分間カウントが入った。

例2）時間帯の切り替わりの前後で同じ時間ずつ運転させたが、「時間内」と「時間外」のカウントが等しくない。

■デイリータイマー設定上の注意

タイマーによるユニット停止には通信の関係で若干の遅れがありますので、時間帯の切り替わりと同一時刻にタイマー停止を設定するのは避けてください。
例えば、時間内から時間外への切り替わりと同時に多くの室内ユニットをタイマー停止させた場合、すべての室内ユニットが実際に停止するまでにある程度の時間を要しますので、この分の時間は「時間外」にカウントされることになります。
時間帯の切り替わり前にタイマー停止を入れる場合には、切り替え時刻前の 10 分間以内（通信状態によって変わりますのであくまで目安です）に設定することは避けてください。

■通信異常時の積算について

インテリジェントコントローラーと室内ユニット、あるいは通信アダプタの通信に異常がある場合には、正常な時間帯別の積算が行われない可能性があります。
例えば、時間内のある時刻に通信異常となり、時間外に切り替わった後に、通信が正常に復帰した場合、そのとき受信される積算データはすべて「時間外」にカウントされることになります。

「インテリジェントコントローラーが受信した積算データは、受信した時刻の時間帯にカウントされます。」

6.ご使用方法　メイン４／サブ１

6.7.メンテナンスと試運転

6.7.1.点検サインの確認

エアコンのフィルター清掃サインが出ている室内ユニットや、エンジンオイルの点検サインが出ている室外ユニット（GHP）を確認できます。

手順

メインメニューで ４．メンテナンス／試運転 、サブメニューで １．点検サイン状況 を選択します。

フィルター清掃サインや、エンジンオイル点検サインが表示されている場合、お買い上げの販売店、またはサービス会社に、清掃やオイルの交換を依頼してください。

フィルター清掃サインはあくまでも目安ですので、清掃サインが出なくても定期的に清掃されることをお勧めします。

6.ご使用方法　メイン４／サブ２

6.7.2.室内ユニット警報履歴の確認

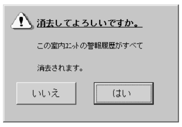
各室内ユニット毎に、警報や異常の履歴を過去 14 件まで表示します。

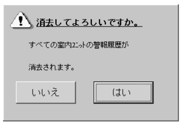
手順

メインメニューで ４．メンテナンス／試運転 、サブメニューで ２．警報履歴 を選択します。

①表示したいテナントを選択します。
②表示したい室内ユニットを選択します。

③対象の室内ユニットの警報履歴のみを消去する場合は 消去 ボタンを、すべての室内ユニットの警報履歴を消去する場合は 一括消去 ボタンをタッチします。
④次のような画面が表示されたら はい ボタンをタッチします。





インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

メイン4／サブ3

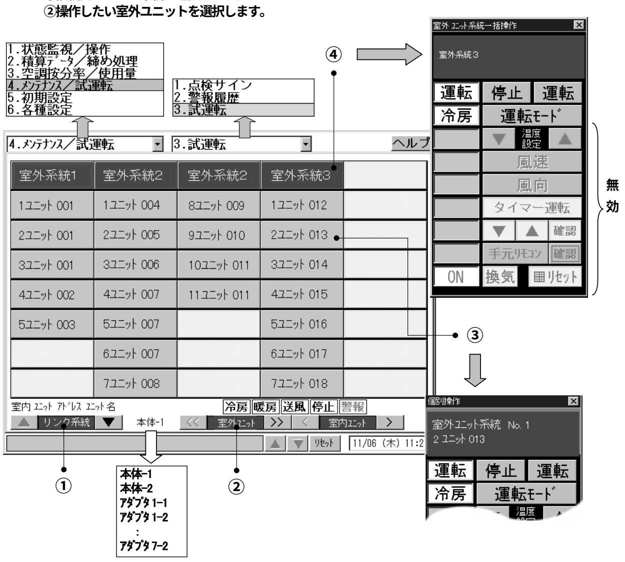
6.7.3.試運転のしかた

室外ユニット系統アドレス毎に各室内ユニットが一覧表示されます。
室外ユニット系統アドレス毎、または個別に試運転します。

手順

メインメニューで 4．メンテナンス／試運転 、サブメニューで 3．試運転 を選択します。

①接続先のリンク系統を選択します。
②操作したい室外ユニットを選択します。



③個別操作をする場合は、ユニット名をタッチして 個別操作 のソフトリモコンで操作します。
④室外ユニット系統で一括操作を行う場合は、室外ユニット系統アドレス欄をタッチします。
室外ユニット系統一括操作 ソフトリモコンが表示されますので、各操作により試運転を行ってください。
運転モードは、冷房、暖房、送風のいずれかになります。

53

6.ご使用方法

メイン6／サブ1

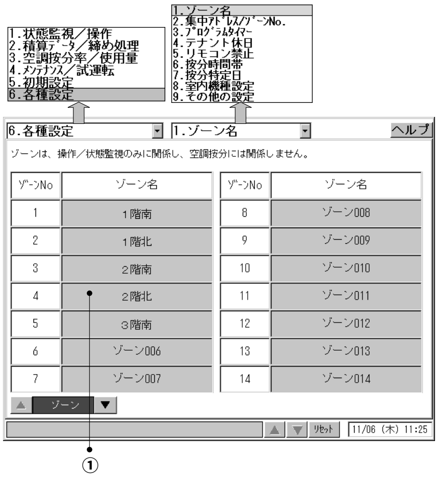
6.8.各種設定

6.8.1.ゾーン名の登録

各ゾーンに名称を付けることができます。
ゾーンは空調按分には無関係な単位ですので、GHP／PAC／HOT などの機種を混在させたり、リンク系統にまたがって設定したりすることができます。
操作／監視／タイマー運転などをゾーン一括で行うことができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 1．ゾーン名 を選択します。



①名称を登録（変更）したい欄を選択します。
②ソフトキーボードが表示されますので、名称を入力します。
最長全角 10 文字、半角 20 文字までです。
※文字入力の説明については、「7.文字／数字入力について」を参照してください。
※ゾーンは 1～128 まで登録できます。

54

6.ご使用方法

メイン6／サブ2

6.8.2.集中アドレス、ゾーン No.、管理対象の設定

各室内ユニットにおいて、集中アドレス、ゾーン No.、管理区分などを設定することができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 2．集中アドレス/ゾーンNo. を選択します。

①集中アドレス欄をタッチすると、右のような画面が表示されます。
1～64までの数字を入力し、集中アドレスを設定します。
自動 をタッチすると、自動で集中アドレスを設定します。

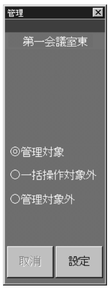
集中アドレスは、同じリンク系統内で重複できません。集中アドレスを重複して設定した場合は、画面下の「お知らせ欄」に、「このアドレスは登録済みです。別のアドレスにしてください。」とエラー表示し、入力がキャンセルされます。
集中アドレスの変更内容が表示に反映されるまで、数分程度時間がかかる場合があります。
他の集中制御機器（システムコントローラー等）が接続されている場合には、集中アドレスはそちらで設定されることを推奨します。

55

6.ご使用方法

②ゾーン No.欄をタッチすると、右のような画面が表示されます。
1～9までの数字を入力し、ゾーン No.を設定します。
※ゾーンは 1～128 まで登録できます。

③管理欄をタッチすると、右のような画面が表示されます。
管理対象／一括操作対象外／管理対象外　のいずれかを選択、
設定します。



- 「一括操作対象外」のユニットに対しては、表示、積算、按分、および個別操作は可能ですが、一括操作（テナント一括／ゾーン一括／全ユニット一括／外部一括停止入力／外部一括運転入力等）はできません。ただし、外部一括警報出力／外部一括運転出力は可能です。
- 「管理対象外」のユニットに対しては、一切の操作、表示（「メイン5／サブ2　メイン6／サブ2」画面を除く）、積算、按分等を行いません。

56

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

メイン6／サブ3

6.8.3.プログラムタイマーの予約

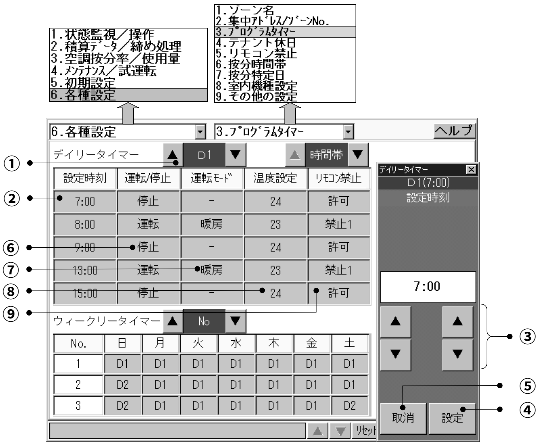
30 種類のデイリータイマー、50 種類のウィークリータイマーを設定することができ、祝祭日などのテナント休日の設定もできます。

6.8.3.1.デイリータイマーの設定

1 日あたり、設定時刻を 20 件まで、30 種類のデイリータイマーを設定することができます。
運転／停止、運転モード、温度設定、リモコン禁止設定を行えます。

手順

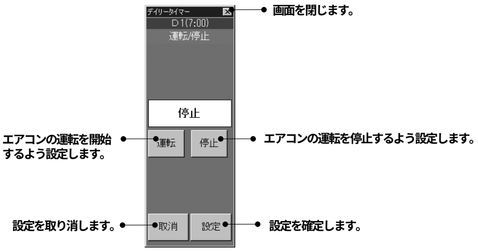
メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 3．プログラムタイマー を選択します。



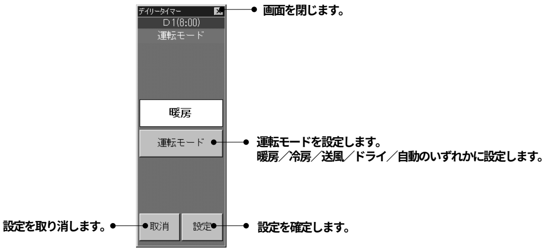
①「デイリータイマー」で、タイマー番号（ D1～D29、休日）を選択します。
タイマー番号の休日はテナント休日設定用に予約されています。
②「設定時刻」の欄をタッチします。
③ タイマー設定時刻を選択します。

6.ご使用方法

④ 設定 をタッチし、設定時刻を確定します。
⑤設定を取り消す場合は 取消 をタッチします。
表示が「－」になります。
⑥「運転／停止」の欄をタッチし、設定します。

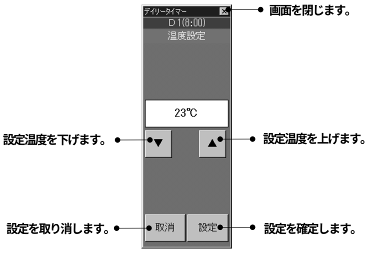


⑦「運転モード」の欄をタッチし、設定します。

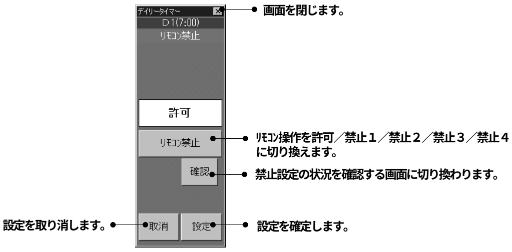


6.ご使用方法

⑧「温度設定」の欄をタッチし、設定します。



⑨「リモコン禁止」の欄をタッチし、設定します。



温度設定は、室内機種により上限下限値が異なるため、実際の運転時にはその範囲内に自動設定されます。
設定時刻が設定されていない項目は、無効になります。

6.ご使用方法

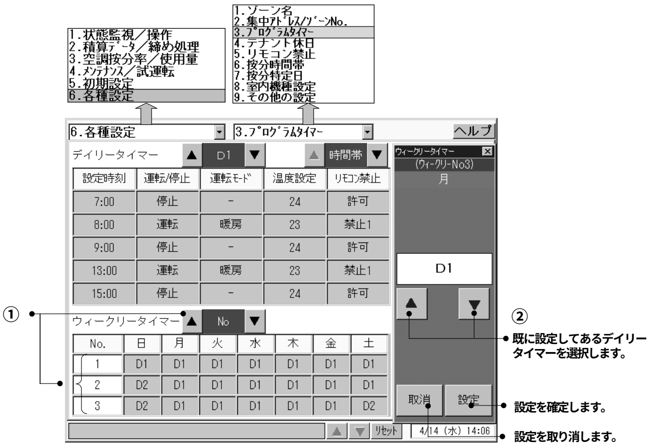
メイン6／サブ3

6.8.3.2.ウィークリータイマーの設定

曜日毎に任意のデイリータイマーを割り当てて週間プログラムを設定します。
50 種類のウィークリータイマーを設定することができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 3．プログラムタイマー を選択します。



①「ウィークリータイマー」で、ウィークリータイマー番号（ 1～50）を選択します。
ウィークリータイマーは、50 種類設定することができ、3 項目ずつ表示されます。
▼を押すたびに、1, 2, 3、2, 3, 4、3, 4, 5 のように表示されます。
▲を押すたびに、50, 1, 2、49, 50, 1、48, 49, 50 のように表示されます。
②設定するデイリータイマー番号（ D1～ D29、休日）を選択し、各ボタンで設定／取り消しします。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

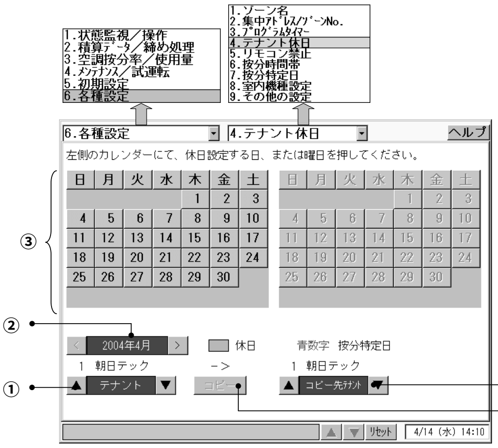
6.ご使用方法

6.8.4.テナント休日の設定

祝祭日など、休日用タイマーの設定日をテナント毎に設定することができます。
向こう２年分の登録ができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 4．テナント休日 を選択します。



①休日設定したいテナントを選択します。
②設定したい年月のカレンダーを選択します。
③左側のカレンダーで、休日設定する日、または曜日をタッチします。
④既に休日設定が登録してあるテナントがある場合は、左のテナントから右のテナントへ設定内容をコピーできます。コピー先のテナントを選択します。
⑤ コピー ボタンをタッチすると、右のような画面が表示されます。
⑥ OK ボタンをタッチすると、左のテナントから右のテナントへ、向こう２年分の設定内容がコピーされます。

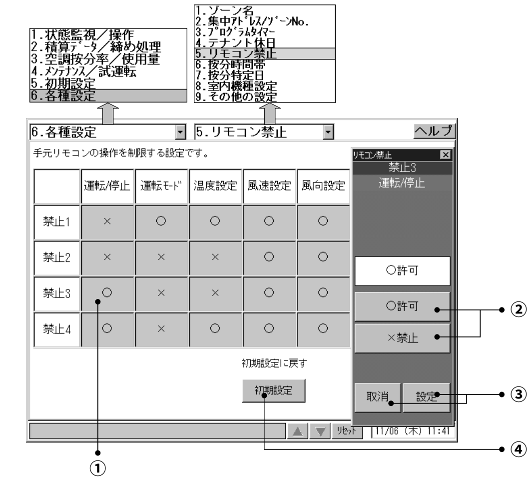
6.ご使用方法

6.8.5.リモコン禁止の設定画面

室内ユニットに接続されたリモコン（手元リモコン）での操作を制限することができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 5．リモコン禁止 を選択します。



①変更したい部分をタッチすると、その項目についての設定画面が表示されます。
②手元リモコン操作を許可する場合は、 ○許可 ボタンを、許可しない場合は、 ×禁止 ボタンをタッチします。
③設定を確定する場合は、 設定 ボタンをタッチします。
　取り消す場合は、 取消 ボタンをタッチします。
④ 初期設定 をタッチすると、初期の状態（上記の設定状態）に戻ります。

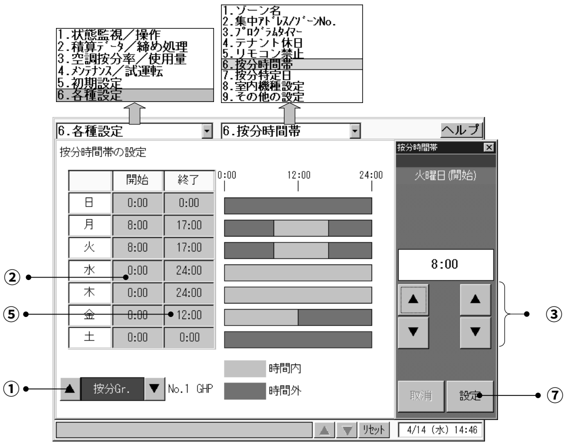
6.ご使用方法

6.8.6.按分時間帯の設定

各曜日毎に按分時間帯を設定することができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 6．按分時間帯 を選択します。
※「按分しない」設定の場合、この画面には入れません。（ メイン５／サブ１ 参照）



①按分グループを選択します。
②時間内の「開始」時間の欄をタッチします。
③時間内の開始時間を 00:00～24:00 の間で設定します（30 分間隔）。
④設定を確定する場合は、 設定 ボタンをタッチします。
・開始時間を「0:00」、終了時間を「24:00」に設定すると、一日中「時間内」になります。
・開始時間と終了時間が同じ場合、一日中「時間外」になります。
・開始時間と終了時間が逆の場合、外側が「時間内」になります。
⑤「終了」時間の欄をタッチします。
⑥時間内の終了時間を 00:00～24:00 間で設定します（30 分間隔）。
⑦ 設定 ボタンをタッチします。

6.ご使用方法

6.8.7.按分特定日の設定

時間帯の設定に関係なく、終日特別な按分設定日にすることができます。
休日などに利用できます。また、向こう２年分の登録ができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 7．按分特定日 を選択します。
※「按分しない」設定の場合、この画面には入れません。（ メイン５／サブ１ 参照）

①設定したい按分 Gr.を選択します。
②設定したい年／月のカレンダーを選択します。
③左側のカレンダーで、按分特定日を設定する日、または曜日をタッチします。
④既に按分特定日が設定してある按分 Gr.がある場合は、左の按分 Gr.から右の按分 Gr.へ設定内容をコピーできます。コピー先の按分 Gr.を選択します。
⑤ コピー ボタンをタッチすると、右のような画面が表示されます。
⑥ OK ボタンをタッチすると、左の按分 Gr.から右の按分 Gr.へ、向こう２年分の設定内容がコピーされます。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

6.ご使用方法

6.8.8.室内機種の設定

各室内ユニットにおいて、能力値の確認・設定をすることができます。
通常は設定する必要はありません。
不用意に設定を変更すると、正確な按分ができなくなりますのでご注意ください。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 8．室内機種設定 を選択します。
※「按分しない」設定の場合、この画面には入れません。（メイン５／サブ１ 参照）

①表示したいリンク系統を選択します。

②設定を変更する能力値の欄をタッチすると、室内ユニット能力設定用のソフトテンキーが表示されます。
0～999.9 までの数字を kW で入力します。
③ 設定 ボタンをタッチします。
取り消す場合は、自動 ボタンをタッチします。（受信した能力値に戻ります）
能力値を変更した場合は、値の左に「＊」が表示されます。
④ 電気ヒーターの付いた室内ユニットのヒーター容量の欄をタッチすると、ヒーター容量設定用のソフトテンキーが表示されます。0.0~100.00 までの数字を kW で入力します。ただし、負荷按分設定時のみ有効です。

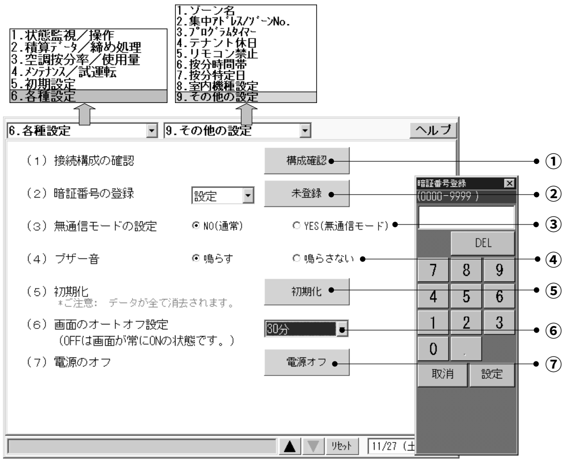
6.ご使用方法

6.8.9.その他の設定

暗証番号、データ初期化、画面のオートオフなどのシステムの設定ができます。

手順

メインメニューで 6．各種設定 、サブメニューで 9．その他の設定 を選択します。



6.8.9.1.接続構成の確認

① 構成確認 ボタンをタッチすると、システムの接続構成を確認します。
ユニットの追加／削除、各種アドレスの変更等を行った場合に、実行してください。
接続構成が変わった場合「締め処理」と「構成の確定」の処理になります。詳しくは,「6.9.システムの構成変化」を参照してください。

6.8.9.2.暗証番号の登録

② 未登録 ボタンをタッチすると、暗証番号登録用のソフトテンキーが表示されます。
「設定」「按分」「操作」の３種類の暗証番号を登録できます。
詳しくは、「5.クイックリファレンス」の「メニュー一覧」を参照してください。
0000～9999 までの４桁の数字を入力し、設定 ボタンをタッチします。
設定が終わると、ボタン表示が未登録から登録済に変わります。

> 接続構成の確認には 10 数分かかる場合があります。

6.ご使用方法

6.8.9.3.無通信モードの設定

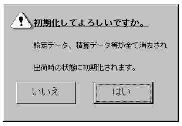
③無通信状態で使用するかしないかを設定します。
YES（無通信モード）に設定すると、通信異常などは出ませんが、エアコンとの通信を一切行わなくなり表示データも無意味なものとなります。
エアコンとの通信が不完全な状態（設置されていない、電源が入らないなど）で、名称の登録作業や表示レイアウト等の確認だけを行いたいような場合に利用します。
通常は、NO（通常）で使用し、不用意にYES（無通信モード）に変更しないようご注意ください。

6.8.9.4.ブザー音

④ 鳴らす に設定すると、設定中に有効なボタンが押されるとブザー（ピー音）が鳴ります。

6.8.9.5.初期化

⑤初期化すると、設定したデータ、積算データなど全てのデータが消去されます。
初期化 ボタンをタッチすると、次のような画面が表示されます。



> **!! 不用意に初期化を行わないでください。**

はい ボタンをタッチすると、全てのデータが消去され、出荷時の状態に戻ります。

6.8.9.6.画面のオートオフ設定

⑥所定の時間（ここでの設定時間）だけ画面操作を行わないと、画面表示が自動的に消えるよう設定します。
再び画面をタッチすると、画面表示が復帰します。
設定値：　5 分／10 分／15 分／30 分／OFF（初期設定：30 分）
※ 時間には、約１分程度の誤差があります。
画面のオートオフは、LCD（液晶ディスプレイ）やバックライトの寿命を延長させる効果があり、節電にもなります。

6.8.9.7.電源のオフ

⑦インテリジェントコントローラーの電源を切る場合、このボタンを押してから行ってください。
「システムを終了しますか？」とメッセージ画面が出たら OK ボタンを押してください。
その後、データの書き込み処理を行い「電源を切っても安全です。」とメッセージ画面が出ますので、その状態で電源を切ってください。（書き込みデータが多い場合、このメッセージ画面が出るまでに数分程度かかる場合があります）

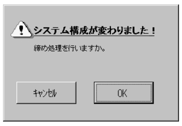
> **!! このメッセージが出る前に電源を切ると、誤動作をしたり起動できなくなったりします。**

6.ご使用方法

6.9.システムの構成変化

システムの構成変化（またはその可能性）を検知すると、次のような表示を行います。
システム構成が変化した場合、そのまま集計を続けると、空調按分率などのデータは全く誤った表示となります。そのため、構成が変化する前の状態でいったん締め処理を行う必要があります。
上図の警報表示は、その確認を行うためのものです。
それぞれの場合の処理手順を説明します。

6.9.1.構成変化を検知した場合



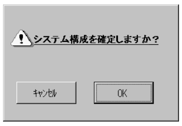
この警告は、次のような場合に表示されます。

①室内ユニット、室外ユニットを撤去した後「接続確認」を行った。
②本機を起動してから「接続確認」を行ったら、以前のシステムと構成が違った。
※「構成が違う」とは、台数やｱﾄﾞﾚｽだけでなく、室内能力設定や親子設定、ﾋｰﾀ有無などの変化も含みます。

この警報が表示されている間は、OK ｷｬﾝｾﾙ 以外の操作はできません。

構成変化前の状態で締め処理を行う場合は、OK をタッチします。
締め処理の必要がなければ、ｷｬﾝｾﾙ をタッチします。

次の画面が表示されます。



新しい構成で確定する場合は、OK をタッチします。

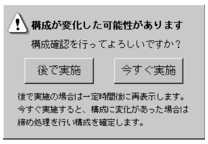
ここで OK を選択すると現在のシステム状態を再確認し、その結果を最終的に確定します。
その必要がなければ、ｷｬﾝｾﾙ を選択してください。

間違ってシステムを変化させてしまった場合は、システムを元に戻した後でｷｬﾝｾﾙ をタッチしてください。
また、前の画面で、締める必要があるのにｷｬﾝｾﾙ をタッチしてしまった時も、ここでｷｬﾝｾﾙ をタッチすることで、もう一度初めの警報画面に戻りますので、締め処理をやり直すことができます。

この警報が表示されている間は、OK ｷｬﾝｾﾙ 以外の操作はできません。

6.ご使用方法

6.9.2.構成変化の可能性がある場合



この警告は、次のような場合に表示されます。

①手元リモコンから次の「詳細設定」の変更を行った。
　(ｱﾄﾞﾚｽ、親子、室内能力、ヒータ有無)
②手元リモコンから「詳細設定」の確認だけ行った。
③室内ユニット、室外ユニットにおいて、自動アドレスを行った。
④室内ユニット、室外ユニットを増設した。

※「構成」とは、台数やｱﾄﾞﾚｽだけでなく、室内能力設定や親子設定、ﾋｰﾀ有無なども含みます。

この警報が表示されている間は、後で実施 今すぐ実施 以外の操作はできません。
後で実施 をタッチすると閉じて画面操作ができるようになりますが、一定時間後に再表示します。

本当に構成が変化したのかを確認するには、今すぐ実施 をタッチします。
構成確認を行い、その結果構成に変化があったことを検知した場合は、自動で締め処理を行い、
変化後の構成で確定します。構成に変化が無かった場合は、そのまま抜けます。

締め処理をしないで構成を確定する場合は、後で実施 でいったん閉じた後、6-9画面で「構成確認」を行なってください。
あとは「6.9.1.構成変化を検知した場合」にしたがって、「締め処理を行いますか？」→「ｷｬﾝｾﾙ」、「確定しますか？」→「ＯＫ」と操作します。

また、この画面で何も操作しないで１２時間以上経過した場合は、自動で締め処理と変化後の構成での確定処理を行います。

ご注意

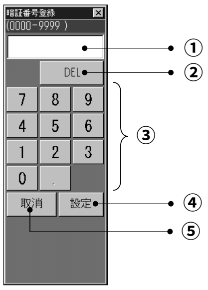
締め処理及び構成の確定は、不用意に実行したり、または必要があるのに実行しなかったりすると、管理上大きな不都合が生じる可能性があります。
この警報が表示されたら、操作は行わずにお買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
また、エアコンの点検作業の際にもこの警報が表示される場合があります。その時はサービス担当者にその旨をお知らせください。

7.文字／数字入力について

本システムの文字／数字入力とは、数字や名称を入力するために画面に表示される擬似的なキーボードです。
本書では、ソフトテンキー、ソフトキーボードともいいます。
数値入力するときは数字入力画面、文字入力するときは文字入力画面が表示されます。

7.1.数字入力

数字入力の時、次のような画面が表示されます。（ソフトテンキー）
例）暗証番号を登録する時



① 入力フィールド
　入力された内容を表示します。
② DEL ボタン
　入力した数字を右から消去します。
③ 数字キー
　選択されたボタンに表示された数値を入力フィールドに追加します。
④ 設定 ボタン
　入力フィールドの内容を確定します。
⑤ 取消 ボタン
　登録先の設定内容をクリアします。

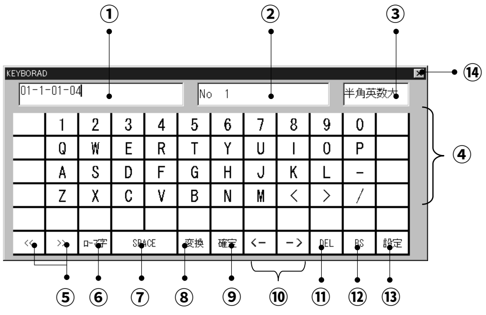
7.文字／数字入力について

7.2.文字入力

文字入力の時、次のような画面が表示されます。（ソフトキーボード）
既に入力済みの文字を修正するときは、入力フィールド上の修正したい文字をタッチし、修正してください。

例）テナント名を入力する時

<半角英数大>



① 入力フィールド
　入力された内容を表示します。
② 選択対象の番号等表示フィールド
　選択した対象の見出しの番号を表示します。（例：テナント名入力時は、テナント No.）
③ 文字入力モード
　入力したい文字によって入力モードを使い分けます。
④ 文字入力キー
　入力フィールドに表示するためのキーです。
⑤ 文字入力モード切り替えボタン
　入力モードを切り換えます。
⑥ ローマ字入力ボタン
　入力方式をローマ字入力に設定します。
⑦ SPACE ボタン
　スペースが１文字分入力されます。
　半角文字の場合は半角のスペース、全角文字の場合は全角スペースが入力されます。

7.文字／数字入力について

⑧ 変換ボタン
　かな入力文字列が漢字に変換されます。再び 変換 を押すと次候補の漢字が出ます。
⑨ 確定ボタン
　入力中の文字列を確定します。
⑩ ←／→ボタン
　入力フィールド内のカーソルを左右に移動します。
⑪ DEL ボタン
　カーソルの右側の文字を消去します。
⑫ BS ボタン
　カーソルの左側の文字を消去します。
⑬ 設定ボタン
　入力した文字列を有効にしてこの画面を閉じます。
⑭ 閉じるボタン
　ソフトキーボードの表示を終了します。

<半角英数小>

<全角かな>

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

7.文字／数字入力について

＜全角英数大＞

＜全角英数小＞

＜半角カナ＞

7.文字／数字入力について

＜全角カナ＞

＜半角記号＞

＜全角記号＞

8.外部信号の接続

各外部信号の接続先の電気的な詳細仕様は「工事説明書」を参照してください。

8.1.パルスメータ入力

パルスメータ（ガス／燃料流量計、電力量計）を接続することによって、ガス、電気の消費量を計測することができます。
使用量表示を必要としない場合、パルスメータを接続させる必要はありません。

１）入力場所
　本体側面、または接続された通信アダプター（別売品）の通信端子板：
　　P1（7 番）、P-COMM（6 番）……ガス流量計／燃料流量計
　　P2（8 番）、P-COMM（6 番）……電力量計１
　　P3（9 番）、P-COMM（6 番）……電力量計２

２）動作
　１パルス毎にカウントします。
　１パルス当たりの消費量（m^3, kWh, ﾘｯﾄﾙ）は、本機で設定する必要があります。

8.外部信号の接続

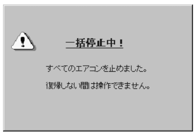
8.2.一括停止入力

外部信号（火災報知器など）により、接続された全てのユニットを自動的に停止させます。
（「対象外」「一括操作対象外」に設定された室内ユニットは除く）

１）入力場所
　本体側面、または接続された通信アダプター（別売品）の通信端子板：
　　DI1（17 番）、DI-COMM（16 番）

２）動作
　入力が ON 状態の間、全ての室内ユニットに対し停止信号を送信します。

３）表示



　復帰すると、このメッセージは消えます。

8.3.一括運転入力

外部信号により、全てのユニットを自動的に運転させます。
（「対象外」「一括操作対象外」に設定された室内ユニットは除く）

１）入力場所
　本体側面、または接続された通信アダプター（別売品）の通信端子板：
　　DI2（18 番）、DI-COMM（16 番）

２）動作
　入力が OFF→ON となった時、全ての室内ユニットに対し運転信号を送信します。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

8.外部信号の接続

8.4.一括警報出力

接続されたいずれかのユニットにおいて警報／異常が発生した場合、外部に信号を出力します。
この信号は警報モニターなどに利用できます。

1）出力場所
本体側面、及び接続された通信アダプター（別売品）の通信端子板：
DO1（14 番）、DO-COMM（13 番）
2）動作
警報／異常発生時に、短絡状態となり、復帰時に開放状態になります。

8.5.一括運転出力

接続されたいずれかのユニットが 1 台でも運転している時に外部に信号を出力します。

1）出力場所
本体側面、及び接続された通信アダプター（別売品）の通信端子板：
DO2（15 番）、DO-COMM（13 番）

2）動作
ユニット（ローカルアダプター含む）が 1 台でも運転している間、短絡状態となり、全てのユニットが停止すると開放状態となります。
警報／異常発生中も含みます。

9.用語の説明

ここでは、本書で使用している用語について簡単に説明します。

■アダプターアドレス（No.0：本機で設定済み、No.1～7：通信アダプターで設定）
アダプターアドレスとは、１つの通信アダプター（別売品）に割り当てたアドレスです。
パルスメータの接続先が通信アダプターの場合、このアダプターアドレスを用います。

■リンク系統アドレス（No.1～2、固定）
リンク系統とは、１つの室内外接続線に接続された室内／室外ユニットの集まりです。
本機、及び通信アダプター（別売品）では、２つのリンク系統が接続できます。

■室外ユニット系統アドレス（No.1～30／リンク系統毎、室外ユニット側で設定）
室外ユニット系統とは、ある室外ユニットとその冷媒配管で接続された室内ユニットの集まりです。
１リンク系統内に最大３０の室外ユニット系統が構成可能です。

■室内ユニットアドレス
室内ユニットは、１リンク系統内で最大６４台まで対応します。
システム全体では、本体のみで２リンク（１２８台）、通信アダプター（別売品）接続時４リンク（２５６台）まで対応します。
各室内ユニットには、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス、ユニット名が適用されます。

・**室内ユニットアドレス**（No.1～　／室外ユニット系統毎、室内ユニット側で設定）
室内ユニットアドレスは、ある室外ユニット系統に接続される固有の番号です。
グループ制御の場合も各室内ユニット毎に割り当てられます。
積算／按分計算の最小単位です。
・**集中制御アドレス**（No.1～64／リンク系統毎、本機、及び他の集中制御機器で設定）
集中制御アドレスは、リンク系統内で固有の値であり、他の集中制御機器（システムコントローラー、マルチコントローラー等）で共通に使用されます。
グループ制御の場合、同じアドレスになります。
・**ユニット名**（本機で設定）
グループ制御の場合、同じ名称になります。
操作／監視／タイマー運転の最小単位です。

■按分グループ番号（No.1～8、本機で設定）
按分グループとは、複数（または単一）のテナントから構成され、パルスメータの測定範囲と一致し、按分率合計が 100%になる集合です。システム全体で最大８グループまで対応します。
簡易按分の場合、１つの按分グループで、ＧＨＰ／ＰＡＣ／ＨＯＴの混在はできません。負荷按分時は可能です。

■テナント番号（No.1～128、本機で設定）
テナントとは、按分計算（または、操作／監視）上の１つの集まりで、複数（または単一）の室内ユニットで構成されます。システム全体で最大１２８まで設定できます。

■ゾーン番号（No.1～128、本機で設定）
ゾーンは、按分には無関係で、操作／監視／タイマー運転などを一括で行える範囲として使われます。
よって、ＧＨＰ／ＰＡＣ／ＨＯＴの混在ができます。システム全体で最大１２８まで設定できます。

10.知っていただきたいこと

■電源を切る時のお願い
インテリジェントコントローラーの電源を切る時は、必ず次の手順でお願いします。
「その他の設定」画面（メイン６／サブ９）において、一番下の 電源オフ ボタンを押す。
⇩
「システムを終了しますか？」と表示されたら OK ボタンを押す。
⇩
「電源を切っても安全です。」と表示（*）されたら、その状態で電源を切る。
（ ＊ 数分程度かかる場合があります）

■設定変更の制限
エアコンの機種によって、設定の変更に制限がある場合があります。
例えば、冷房専用機種であれば、「暖房」に変更することはできません。
フロア形機種の場合、一部を除いて、風速を「急風」以外に変更することができません。
天井埋込形機種のように、フラップの付いていない機種は風向設定はできません。
以上のように、機種それぞれの特性をご理解のうえ、ご使用ください。
詳しくは、お買い上げの販売店、またはサービス会社にお問い合わせください。

■待機電力について（簡易按分の場合）
本製品は、室内ユニットが運転した時間をもとに按分計算を行っていますので、停止中の消費電力（待機電力）については按分されません。
例えば1ヶ月間、1台も運転されなかった場合の待機電力はどのテナントへも按分されません。また、この状態で、1分でも運転した室内ユニットがあると、待機電力分は全てそのテナントへ按分されます。
負荷按分の場合は、待機電力も加味して按分されます。

■次のような場合、当社は補償を致しかねますのでご承知おきください。
・暗証番号が第三者に知れた結果、不都合を生じた。
・PC カード（別売品）が壊れ、バックアップしておいた精算データが失われた。

■W マルチ GHP の室外ユニットデータは、「基準機」の内容が表示されます。
運転状況によって基準機は変更しますので、本機での表示データも変動します。
室外ユニットデータとは「運転回数」「運転時間」などです。

■「お知らせ」欄や警報履歴画面には警報コードのみが表示されます。
同じ警報コードでも、製品の機種によっては警報内容が異なる場合がありますので、それぞれの製品の資料などで警報コードに対応する警報内容をご確認ください。

■本製品は時間帯別の積算・按分機能を備えておりますが、運転データ送受信の遅延等のため、各時間帯（時間内、時間外、特定日）に正確にカウントが配分されないことがあります。
詳しくは、「6.6.4.時間帯積算・按分について」を参照してください。

■本機には、印刷機能はありません。
積算・按分データ等を印刷したい場合は、別売の「料金計算ソフト（TECS-SW200）」を利用してお手元のパソコン及びプリンタを使用してください。

■フィルターサインおよびエンジンオイル点検サインの更新は 5 分ごとです。
運転積算時間および按分データ（按分率・使用量）の更新は 18 分ごとです。
電気ヒーターON 時間の更新は 1 時間ごとです。

■夜 00:00am から数分間、その前日分の締め処理が行われるため、その間すべての操作ができなくなりますのでご注意ください。

10.知っていただきたいこと

■インテリジェントコントローラーから室内ユニットの設定変更をしても、一時的に表示が戻ることがあります（特に一括操作時）が、通信の遅れによるもので、故障ではありません。間もなく正しい表示となります。

■運転中、雷や無線などにより誤動作したとき
インテリジェントコントローラーの電源をオフし、再度電源をオンさせてください。（前ページ「電源を切る時のお願い」を参照）
このような場合以外は、原則として電源をオフさせないでください。
エアコンの正しい管理ができなくなります。

■空調按分率、空調使用量について
本製品で採用している空調按分率、空調使用量の計算方法は、あくまでも簡易的なものですので、電力会社、ガス会社から請求される使用量とは異なります。
運転状況等により、実際の空調量と按分率の間にも誤差が出る場合があります。
按分率計算上の端数処理（四捨五入）の関係で、次の両者間に誤差を生じる場合があります。
・「按分グループ内のテナントの按分率」と「100.00%」
・「按分率内訳の合計」と「テナント全体の按分率」
・「各テナントの使用量の合計」と「パルスメータにおける全体使用量」
・「使用量の時間内＋時間外＋特定日合計」と「全時間の使用量」
本製品は、直接エネルギーを計量するものではなく、室内ユニット毎に推定した負荷の比率によって按分（比例配分）計算します。あくまでも目安としてご利用ください。
簡易按分の計算式は、「6.6.3.空調按分率、空調使用量の計算方法」を参照してください。

■運転時間の累積について
空調按分やエアコンの運転時間は、本製品の電源がオンの状態で、なおかつエアコンとの通信に異常が無い状態でのみ行います。
したがって、本製品の電源がオフしていたり、通信異常が起きていたりすると、その間のエアコンの運転については累積されません。
このような状態が長く続くと、按分率などの誤差が大きくなりますので、十分ご注意ください。

■按分率などの計算において大きな誤差が出やすい場合
セミセントラル機種やフロア形機種の一部、電気ヒーター付きの旧形機種などは、空調按分率などの計算において大きな誤差が起こりやすいことがあります。また、消費電力の大きいパン形加湿器を使用した場合も、按分計算に加湿器運転時間が反映されず、大きな誤差を生じます。
詳しくは、お買い上げの販売店、またはサービス会社にお問い合わせください。

■現在の日時の設定について
月差±約2分の誤差のため、定期的に時報で日時設定を合わせてください。

■次の場合はタッチパネル操作はできませんので、画面の指示にしたがい、お待ちください。
・システム起動処理中
・接続確認処理中
・締め処理中
・PC カードのアクセス中（バックアップ、リストア）

■暗証番号について
暗証番号は忘れないような場所に記録するとともに、第三者に知られないようにご注意ください。
万一忘れてしまった場合は、お買い上げの販売店、またはサービス会社にご相談ください。

■画面のちらつきについて
画面が時折ちらつくことがありますが、表示のリフレッシュを行っているためで、故障ではありません。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

10.知っていただきたいこと

■HOT マルチについて
HOT マルチとは、寒冷地域で活躍している PAC 機種のことです。
通常の PAC と異なり、灯油、またはガスを燃料に使用しています。
本機では、PAC 機種に対して電気の按分のみを行います。
HOT マルチの自動識別はできませんので、灯油（ガス）の按分を行う場合は、製品種別を設定する必要があります。

（1）前提条件
HOT マルチと通常の PAC は、同じくくりでの按分ができません。
したがって、HOT マルチの按分を行うには、次のことが前提条件となります。

- HOT マルチだけで単独の按分グループを組む
- 燃料流量計、電力量計は HOT マルチ専用に設置する
- HOT マルチは負荷按分に対応していません。簡易按分のみ対応しています。

（2）HOT マルチの設定方法
「５．初期設定」「３．テナント名／按分グループ」の画面で、HOT マルチのテナントを選び、専用の按分グループ番号を登録し、製品種別を「HOT」に切り換えます。按分 Gr 欄に「１（HOT）」などと表示されます。

（3）HOT マルチの按分方法
以上の設定により、HOT マルチのテナントにおける電力と灯油（ガス）の按分が行われます。
簡易按分のみ対応しています。負荷按分は行えません。
HOT マルチの按分の計算方法は、次の通りです。

- 電力　　　：通常の PAC の電力簡易按分と同じ計算式
- 灯油（ガス）：GHP のガス簡易按分と同じ計算式

（4）HOT マルチの按分表示
HOT マルチには、燃料として灯油、またはガスが使われますので、HOT マルチの按分率および使用量は次のように表示します。

- 項目名　　　：「燃料」
- 使用量の単位　：「ﾘｯﾄﾙ」または「m^3」

燃料流量計の単位（m^3、ﾘｯﾄﾙ）切り換えは「パルスメータ設定」画面（メイン５／サブ４）で行えます。

※本書に掲載されている画面表示例の該当個所は、HOT マルチに関しては上記のように読み替えてください。

10.知っていただきたいこと

■ローカルアダプター（別売品）について
（1）通信変換用ローカルアダプター（SHA-KL1G, KL1U, KL1A）
本機は、T 形以降の電気式パッケージエアコン（PAC）、G 形以降のガスヒートポンプエアコン（GHP）専用の集中制御装置ですが、通信変換用ローカルアダプター（SHA-KL1U, KL1A）を使用することによって、それよりも旧形の機種を接続することができます。
ただし、次のような制限事項がありますのでご注意ください。
詳しくは、専用の資料をご覧になるか、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

▶通信変換用ローカルアダプター（SHA-KL1U, KL1A, KL1B）で接続できる機種
PAC……R 形シリーズ、S 形シリーズ
GHP……E 形シリーズ、F 形シリーズ

▶警報表示
警報の詳しい内容は表示されません。
「C12」の表示となります。（ローカルアダプター一括警報の意味です）

▶GHP 室外ユニットのメンテナンス情報
次の情報は表示しません。
- エンジン運転時間
- オイル交換時間
- 室外ユニット運転時間

▶空調按分について【重要】
①室内ユニットの風速データ
風速別の累積運転時間は、強風固定となります（実際に弱風や急風で運転していても強風で運転していたとみなして計算されます）
②累積運転時間
リモコンによるグループ制御が組まれていた場合、そのうちの 1 台（親機）の累積運転時間のみが、按分計算の対象となります。
子機だけがサーモ OFF で運転したり、あるいは警報で停止したりしても、それを識別できません。
③電気ヒーターON 時間
電気ヒータの累積 ON 時間は表示しません。
④室内ユニット能力値
自動で読み込むことができませんので、「室内ユニット能力」の画面で能力を kw 値で設定してください。
そのときリモコンによるグループ制御が組まれていたら、子機の能力もすべて加算した値を設定する必要があります。（設定していないと按分が行われません）
⑤製品種別
旧形 PAC なのか旧形 GHP なのかの識別ができませんので、PAC／GHP の種別も設定する必要があります。（「テナント名／按分グループ」画面 メイン５／サブ３ ）
⑥簡易按分にのみ対応しています。負荷按分は行えません。

▶次の操作はできません。
- フィルターサインのリセット
- 風向設定
- 試運転

旧形機種はリモコンを取り付けてご使用ください。リモコンレスシステムにはできません。

▶旧形室内ユニット側のリモコンで「試運転」を行っているときに、本機からこのユニットに対して設定操作を行うと「試運転」が自動で解除されます。

▶室外ユニットへのデマンド操作はできません。

▶リモコン禁止
リモコン禁止モード（禁止１～４）の禁止項目の変更はできません。
「リモコン禁止」の画面で変更しても、旧形機種は出荷時の内容でリモコン操作が禁止されます。

10.知っていただきたいこと

（2）オン／オフ制御用ローカルアダプター（SHA-KL4T, KL4U）
本機は、オン／オフ制御用ローカルアダプターを使用することによって、オン／オフ機器（換気扇やルームエアコンなど）を接続することができます。
ただし、次のような制限事項がありますのでご注意ください。
詳しくは、専用の資料をご覧になるか、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

▶集中制御できるのは次の項目のみです。
- 運転／停止
- リモコン禁止（運転／停止の禁止のみ）

タイマー設定もできますが、「運転／停止」「リモコン禁止」以外の設定は無効となります。
「リモコン禁止」はローカルアダプターから機器側へ、手元禁止信号出力を接続した場合に限ります。その場合であっても、禁止できる項目は「運転／停止」だけです。

▶警報表示
警報の詳しい内容は表示されません。
「C12」の表示となります。（ローカルアダプター一括警報の意味です）
ただし、ローカルアダプターに警報信号入力を接続した場合に限ります。

▶オン／オフ制御用ローカルアダプターは、空調室内ユニットと同じゾーンに登録しないでください。
（「集中ｱﾄﾞﾚｽ／ｿﾞｰﾝ No.」画面 メイン６／サブ２ ）

▶按分計算について【重要】
①風速データ
風速別の累積運転時間は、強風固定となります。
ローカルアダプターにサーモ ON 信号入力を接続している場合でもサーモ ON の累積時間は「強風」固定でカウントされます。
②電気ヒーターON 時間
電気ヒーターの累積 ON 時間は表示しません。
③室内ユニット能力値
自動で読み込むことができませんので、「室内ユニット能力」の画面で能力を kw 値で設定してください。
（設定しないと按分が行われません）
④製品種別
PAC なのか GHP なのかの識別ができませんので、PAC／GHP の識別も設定する必要があります。
（「テナント名／按分グループ」画面 メイン５／サブ３ ）
⑤簡易按分にのみ対応しています。負荷按分は行えません。

▶オン／オフ制御用ローカルアダプターの接点定格に適合すれば、任意の機器を本機からコントロールできますが、生命、財産などに重大な影響を及ぼすおそれのある機器へのご使用は避けてください。

10.知っていただきたいこと

- Microsoft および WindowsCE .NET は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標又は登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用することによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
万一、機器やソフトウェアなどの不具合により按分率、使用量の計算等に不都合があった場合でも、その補償についてはご容赦ください。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改善のため事前連絡無しに変更する場合がありますが、ご容赦ください。
本書の内容についても、改善のため事前連絡無しに変更することがあります。
- 本書に記載された事項の使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。

インテリジェントコントローラー／SHA-KT256A…機能と操作

11.故障かなと思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。
なお、危険ですので、ご自分での修理は行わないでください。

症　　状	原　　因
コンピュータの電源スイッチを ON しても画面を表示しない。	・電源のコンセントは抜けていませんか。 ・電源スイッチは ON になっていますか。
タイマー運転がうまくできない。	・タイマー運転が「設定」になっていますか。 タイマー選択を行っても「解除」のままではタイマー運転は行いません。 ・現在の日付、時刻の設定は合っていますか。 現在時刻が合っていないと、予定外の時刻に稼動します。 （→「6.3.2.日時／締め日／按分計算方式の設定」）
按分率がいつも 100%になる	・グループ設定、テナント設定を再確認してください。 １つの按分グループにテナントが１つしか登録されていなかったり、１つのテナントに室内ユニットが１台しか登録されていなかったりすると、按分率は計算上 100%になり、意味がありません。
いつの間にか電源が切れている	・画面のオートオフで消えていませんか。 この場合、電源は切れていませんので、画面にタッチしてみてください。 ・設定時間にかかわらず、起動時に一旦オフする場合があります。
画面のいちばん下の「お知らせ」欄にエラーメッセージが出たまま消えない	・警報が発生したユニットの番号と、その内容（警報内容、警報番号等）が表示されますので、その内容をお買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
PC カードにバックアップできない	・インテリジェントコントローラー専用のバックアップ用 PC カード（別売）以外の PC カードではバックアップできません。
画面操作を行っても表示の更新に時間がかかる	・接続されているエアコンとの通信状況により、多少時間がかかる場合があります。しばらくお待ちいただければ更新されます。
ＬＣＤ（液晶ディスプレイ）の画面	・LCD 画面の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、これは故障ではありません。 また、LCD 画面は、その性質上、温度変化などで多少むらが発生する場合があります。 これらは故障ではありませんので、ご了承ください。
操作ボタンを押しても操作できない。	・タッチパネルの操作位置と画面の位置が長期間の使用によりずれる場合があります。
インテリジェントコントローラーで手元リモコン操作を制限している時に、インテリジェントコントローラーが故障しエアコンの運転／停止などの設定ができない。	・サービス担当がお伺いするまでの応急処置として、インテリジェントコントローラーおよび外付けの通信アダプターの電源をＯＦＦし、室内ユニットの電源を入れなおしてください。手元リモコンで操作可能になります。ただし、リモコンレスのシステムでは操作できません。
停電が発生し、その後、停電復帰時にプログラムタイマーの状態に合わせて、機器が自動復帰しない。	・本機は、停電復帰時、プログラムタイマーによる機器の自動復帰を行いません。次のタイマー時刻になったときに、その設定に切り換えます。
インテリジェントコントローラーから、エアコンのフラップの風向設定ができない。	・リモコンレスシステムのみ、本機から風向設定できます。リモコン有りのシステムは、手元リモコンで風向設定してください。
室内ユニットが一台も読み込まれない、または不足がある。	・「その他の設定」画面 メイン６／サブ９ で「構成確認」を実行してみてください。

86

12.お手入れのしかた

■清掃時はコンセントを抜いてください。
本機の清掃をされるときは、電源端子等に高圧部分があり危険ですので、必ずシステムを停止させ、電源コンセントを抜いてから行ってください。

■中性洗剤をお使いください。
制御盤本体やタッチパネル面の汚れを落とすときには、柔らかい布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてよく絞ってから拭いてください。
ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品や磨き粉、液状殺虫剤などのご使用は、塗装やタッチパネルを傷めますので避けてください。

■直接水をかけないでください。
製品に直接水がかからないように注意してください。
電気絶縁が悪くなり、故障したり感電したりするおそれがあります。

■分解しないでください。
本機は分解しないでください。
故障の原因となり、また感電するなど大変危険です。

■据え付け状態の確認
制御盤の取り付け部分がサビや腐食などで強度が弱くなっていないか、年に数回程度確認してください。

85464359525001

据付（電気）工事担当のかたへ

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は、次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠警告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、"据付（電気）工事担当のかたへ"に従って確実に行ってください。据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び"据付（電気）工事担当のかたへ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因となります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

⚠注意

- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

付属部品

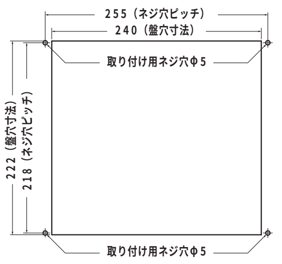
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	サラ小ネジ（M4×10）	4	②	ナット（M4）	4
③	平ワッシャ	4	④	束線バンド	6

仕　様

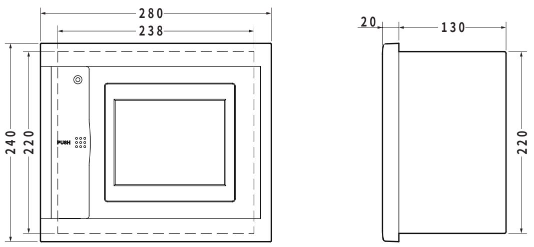
定格電圧	単相100～240V
定格周波数	50／60Hz
消費電力	最大20W
動作温度	5～40℃
動作湿度	20～80%（結露なきこと）

1 制御盤設計時の注意事項

制御盤加工図



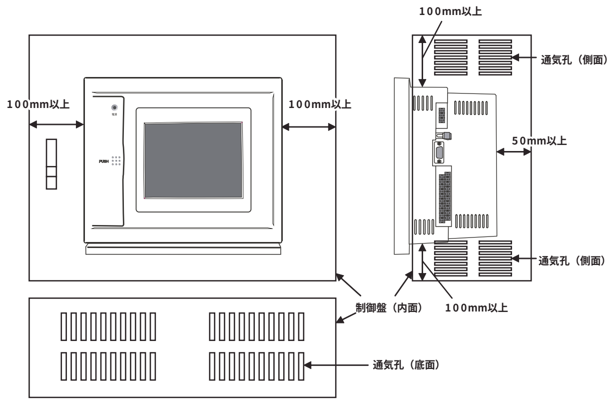
外形寸法図



制御盤の設計にあたり、以下の点についてご考慮ください。

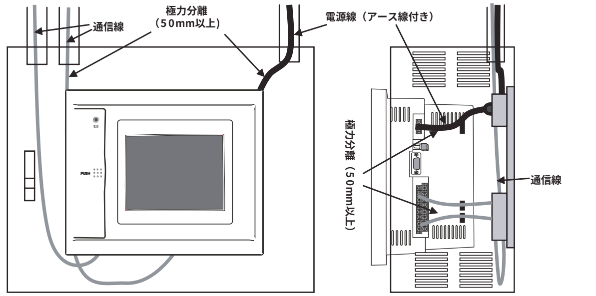
1．通気性（放熱性）のため、下図のように左右の側面上側、及び側面下側（または底面）に通気孔（丸穴、スリット等）を入れてください。
制御盤内の温度が40℃を超えないようご注意ください。

参考図



2．電源線と通信線は、ノイズの影響を軽減させるためできるだけ分離（50mm以上）してください。

参考図



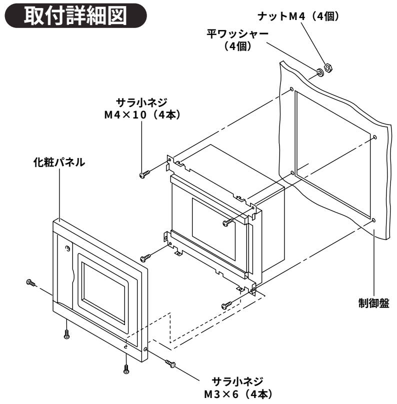
2 取り付けかた

ご注意

- 通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- ノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。
- 制御盤に埋め込んで取り付けてください。

①化粧パネルの両側面下部と底部のサラ小ネジを4本はずします。
②コントローラ本体を付属のネジ・ナット・ワッシャ（4本）で制御盤に固定します。
③化粧パネルを元のように取り付けます。

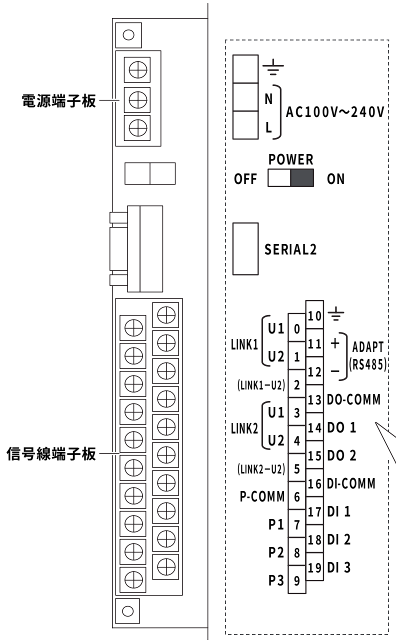
取付詳細図



3 配線のしかた

取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。

端子板配置図



（1）電源の接続

電源は商用電源（AC100～240V）より、本機専用で接続してください。
電源端子板のＬとＮ（ACのニュートラル側をＮ側）に接続してください。
アース線は電源端子板のFG端子に接続してください。

（2）通信線の接続

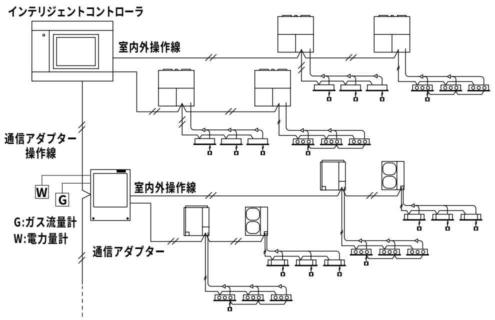
- 室内外操作線は、太さ0.5～2.0mm²の２芯ケーブルを使用してください。
- 総延長はおのおの1km以内としてください。
- 電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください）
- LINK1配線とLINK2配線を同一電線管に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。

端子名とその用途

ADAPT ＋/－	：通信アダプター操作線（RS-485）
LINK 1/2	：室内外操作線（HBS）
P 1	：パルスメータ入力（ガス流量計、燃料流量計）
P 2～P 3	：パルスメータ入力（電力計）
DI 1	：一括停止入力
DI 2	：一括運転入力
DI 3	：未使用
DO 1	：一括警報出力
DO 2	：一括運転出力
SERIAL2	：未使用

基本配線図

通信アダプター操作線、室内外操作線は下図のように配線してください。



※リンク系統（室内外操作線）の接続にあたっては、必ずインテリジェントコントローラ本体のLINK1、LINK2からご使用ください。（リンク系統は最大４系統までです）

配線の手順

● **室内外操作線（極性はありません）**
信号線端子板の0、1番（LINK1）と、室外または室内ユニットの室内外操作線接続端子に接続します。リンク系統を２本接続する場合は、信号線端子板の3、4番（LINK2）を使用して同様に接続します。

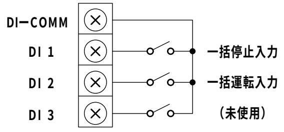
● **通信アダプター操作線（+,−の極性があります）**
外付けで、最大７台の通信アダプターを接続することができます（左図）。ただしリンクは４系統までです。通信アダプターの「据付（電気）工事担当のかたへ」を必ず参照して施工してください。
通信アダプター操作線および室内外操作線の接続端子に、AC200Vの配線を接続していないか確認してください。

※誤って室内外操作線の端子にAC200Vを印加した場合はヒューズが溶断して基板を保護します。AC200V配線を取り除いた後、室内外操作線の「U2」端子の配線を予備の端子に接続し直してください。（「U1」端子の配線はそのまま）
予備端子は「U2」のすぐ隣の端子です。

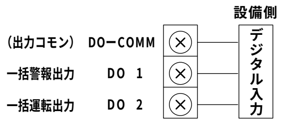
端子１番 →端子２番（LINK1－U2）
端子４番 →端子５番（LINK2－U2）

4 外部設備との接続

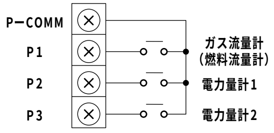
（1）外部一括入力（無電圧ａ接点スタティック）



（2）外部一括出力（無電圧ａ接点スタティック）



（3）パルスメータ入力（無電圧ａ接点パルス）

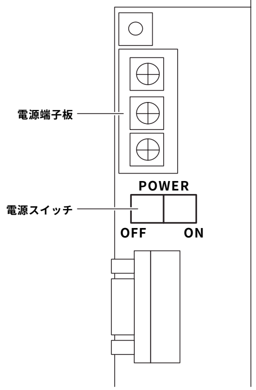


- **最小パルス幅　100msec**
- **最小パルス間隔　1sec**

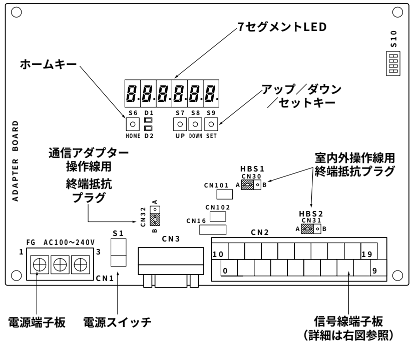
- それぞれの信号入力の配線長は、20m以下としてください。
この距離を超える場合は、単独に通信アダプターを設置するか、リレー受けをしてください。
- ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、0.5mm²以上の２芯シールド線（片側アース）を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点にDC5V、約10mAの電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流はDC30V、0.5Aです。

5 電源スイッチについて

本機には電源スイッチが付いています。
電源を接続した後、液晶表示が表示されないときは、
電源スイッチを確認してください。



6 基板詳細図



※インテリジェントコントローラの基板設定は、通常変更の必要はありません。

7 接続構成の確認と設定

①エアコンの電源をすべて入れてください。
②インテリジェントコントローラの電源を入れてください。
③インテリジェントコントローラで時刻設定および「構成確認」を行ってください。
④インテリジェントコントローラの表示にしたがって接続台数を確認してください。
⑤必要な設定を行ってください。集中アドレスは必ず設定してください。
※詳しくは「取扱説明書」をご参照ください。

8 お客さまへの説明

●「取扱説明書」「据付（電気）工事担当のかたへ」は工事完了後お客さまにお渡しください。
●「取扱説明書」にそってお客さまにご使用方法を説明してください。

通信アダプター／SHA-KA128A…別売品　施工

85464359560003

据付（電気）工事担当のかたへ

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は、次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、集中制御機器の"取扱説明書"にそってお客様に使用方法を説明してください。また"据付（電気）工事担当のかたへ"は、集中制御装置の"取扱説明書"とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

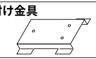
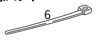
⚠警告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、"据付（電気）工事担当のかたへ"に従って確実に行ってください。据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び"据付（電気）工事担当のかたへ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因となります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

⚠注意

- 配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

付属部品

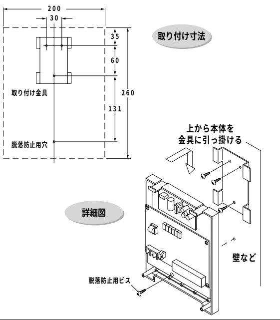
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	取り付け金具 	1	②	取り付け用ネジ(4×12)	4	③	ナイロンクランパー	4
④	ナイロンクランパー取り付け用ネジ(3×8)	4	⑤	束線バンド 	6			

1　取り付けかた

ご注意

- 通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- 通信アダプターはノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

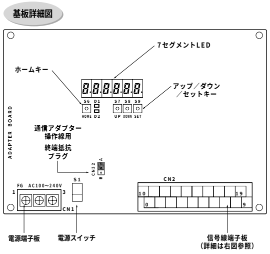
①取り付け位置を決め、取り付け寸法図を参考に取り付け金具を固定します。付属のネジが効かない場所ではメートルネジなど使用できるものを現地でご用意ください。
②図のように本体を取り付け金具に引っ掛けてください。
③取り付け金具の引っ掛かりのゆるい場合や、脱落する恐れがあると思われる場合は、本体の上ケースを外して脱落防止穴にビスで固定してください。

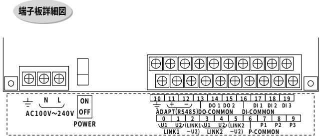


2　配線のしかた

通信アダプターの取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカー）を切ってから行ってください。
本体前面のネジ２本を外し上ケースを外します。

端子板配置図およびスイッチ配置図





ADAPT+/−	:通信アダプター操作線（RS−485）	P1	:パルスメータ入力（ガス流量計、燃料流量計）(*)
LINK1/2	:室内外操作線（HBS）	P2～P3	:パルスメータ入力（電力計）(*)
DI1	:一括停止入力(*)	DO1	:一括警報出力(*)
DI2	:一括運転入力(*)	DO2	:一括運転出力(*)
DI3	:未使用		

(*)インテリコンに接続するときの入出力機能

（1）電源の接続

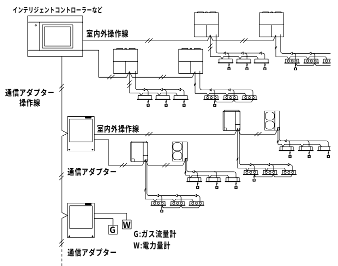
本機はAC100～240Vの範囲の電源を使用できます。
電源端子板CN1の２、３番（N、L）に接続してください。（ACのニュートラル側をNに接続）
アース線を確実に接続してください。

（2）通信線の接続

- 通信アダプター操作線は、太さ0.5～2.0mm²の２芯**シールド線を必ず使用**してください。（MVVSまたはCPEVS）
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 総延長はおのおの1km以内としてください。
- 電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください）
- LINK1配線とLINK2配線を同一電線管に通したり、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
- 通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

基本配線図（インテリジェントコントローラーの場合の例）

通信アダプター操作線、室内外操作線は下図のように配線してください。



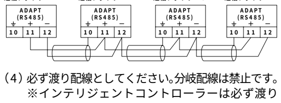
配線の手順

- **室内外操作線**
通信アダプターの信号線端子板CN2の０、１番（LINK1）と、室外または室内ユニットの室内外操作線接続端子に接続します。極性はありません。
室内外操作線系統を２本接続する場合は、CN2の３、４番（LINK2）を使用して同様に接続します。
- **通信アダプター操作線**
通信アダプターの信号線端子板CN2の11、12番（ADAPT ＋、−）と、他の通信アダプターの同じ端子に接続します。**極性があります**ので、「＋」「−」を間違えないように接続してください。
その際、**必ず渡り接続としてください。（分岐配線は禁止です）**

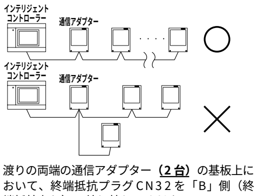
3　通信アダプター操作線の注意事項

（他での記述内容と重複する項目があります）

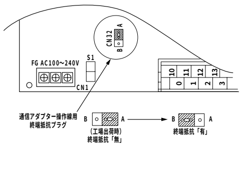
（1）配線の総延長は1km以内としてください。
（2）通信線には極性があります。「＋」「−」を間違えないように接続してください。
（3）必ずシールド線をお使いください。シールドは片側のみを確実にアースしてください。



（4）必ず渡り配線としてください。分岐配線は禁止です。
※インテリジェントコントローラーは必ず渡りの端に接続してください。



（5）渡りの両端の通信アダプター（**2台**）の基板上において、終端抵抗プラグCN32を「B」側（終端抵抗有り）に差し替えてください。



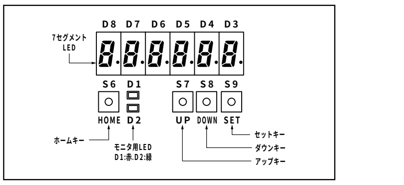
（6）通信アダプターの接続台数は、最大16台までとしてください。ただし、使用するシステム（インテリジェントコントローラー、エコストアシステムなど）によっては16台未満に制限される場合がありますので、システム側の工事説明書も必ず参照してください。
※インテリジェントコントローラーでは最大７台です。

（7）通信アダプター操作線および室内外操作線の接続端子に、高電圧（AC200V等）の配線を接続していないか確認してください。
※誤って室内外操作線の端子にAC200Vを印加した場合はヒューズが溶断して基板を保護します。高電圧（AC200V等）配線を取り除いた後、室内外操作線の「U2」端子の配線を予備の端子に接続し直してください。（「U1」端子の配線はそのまま）
予備端子は「U2」のすぐ隣の端子です。

端子番号１番　LINK1-U2
→　端子番号２番　（LINK1-U2）
端子番号４番　LINK2-U2
→　端子番号５番　（LINK2-U2）

4　通信アダプター基板設定方法

アダプター番号や室内外操作線接続の有／無など、各種の設定を基板上のスイッチで行います。



（1）スイッチ操作の概要

①項目の選択
項目選択を UP・DOWN キーで行い、SET キーで選択。

②項目内容の変更
設定変更を UP・DOWN キーで行い、SET キーで確定。

HOME キーを２秒以上押すと初期状態 no.00 に戻ります。（設定変更途中の内容は破棄されます）

（2）アダプター番号の設定手順

① HOME キーを２秒以上押すと次の表示（初期状態）になります。

no.00　(no.00)

↓２秒後

AdP.dt　(AdP.dt)

② UP キーを５回押すと次の表示になります。

no.05　(no.05)

２秒後に次の表示に変わります。（操作は必要ありません）

FirSt　(FirSt)

③ SET キーを押すと次の表示になります。（モニタ用LEDの緑のみが点灯）

1.Ano.00　(1.Ano.00)（工場出荷状態）

④ SET キーを１秒以上押すと「00」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（モニタ用LEDの緑と赤が点灯）
ここで UP・DOWN キーを使って、アダプター番号を設定します。
たとえば「３番」にするときは、UP キーを３回押して次の表示にします。

1.Ano.03　(1.Ano.03)

⑤確定するときは SET キーを１秒以上間押してください。（モニタ用LEDの緑のみが点灯になります。）

通信アダプター／SHA-KA128A…別売品　施工

（3）室内外操作線接続の有／無設定

①上記**「(2) アダプター番号の設定」**の①～③までは同じ操作となります。この時点で次の表示になります。

（1.Ano.03）（アダプター番号が３の場合）

②［UP］キーを１回押すと次の表示になります。

（2.AdYu.0）（工場出荷状態）

③［SET］キーを1秒以上押すと「0」の部分が点滅して変更可能な状態となります。(モニタ用LEDの緑と赤が点灯)

ここで［UP］・［DOWN］キーを使って、以下にしたがって室内外操作線の接続有／無を設定します。

設定値	室内外操作線接続
0	LINK1：有り、LINK2：有り（工場出荷状態）
1	LINK1：有り、LINK2：無し
2	LINK1：無し、LINK2：有り
3	LINK1：無し、LINK2：無し

たとえばLINK1にのみ室内外操作線を接続した場合は、［UP］キーを１回押して次の表示にします。

（2.AdYu.1）

④確定するときは［SET］キーを１秒以上押してください。(モニタ用LEDの緑のみが点灯になります。)

（4）その他の設定

前記**「(2) アダプター番号の設定」**の③の状態において、［UP］・［DOWN］キーによって次表のような設定項目を選ぶことができます。必要に応じて設定を行なってください。
設定手順は同様です。

（［SET］キーを1秒以上押してから［UP］・［DOWN］キーで変更し、［SET］キーを１秒以上押して確定)

ご注意

①アダプター番号を重複しないように設定してください。
※インテリコンと接続する場合は、１～７の範囲です。

②「室内外操作線の接続の有無」設定を正しく行ってください。
(接続の無いLINKは必ず「無し」に設定)

③室内外操作線を１リンクのみ接続する場合は、「LINK1」側を使用してください。

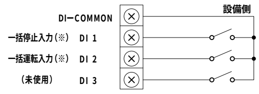
表1　通信アダプターの設定項目

	表　示	設定項目（ 網掛け は工場出荷設定）
↑ DOWN / UP ↓	(1.Ano.xx)	**[1] アダプター番号の設定** xx＝00～15：アダプター番号 通信アダプターの番号を設定します。 インテリコンの場合、重複しないように1～7を設定してください。 実際に上位から通信を行う時のアドレス（リンク系統アドレス）、通信アダプター番号をnとすると、LINK1は2n、LINK2は2n＋1となります。 たとえば、アダプター番号「2」の場合、LINK1は「4」、LINK2は「5」のアドレスとなります。
	(2.AdYu.x)	**[2] 室内外操作線の接続設定** x＝0：LINK1は有り、LINK2は有り x＝1：LINK1は有り、LINK2は無し x＝2：LINK1は無し、LINK2は有り x＝3：LINK1は無し、LINK2は無し 空調機を接続するLINK（室内外操作線）は「有り」、接続しないLINKは「無し」に設定します。 ※単独設置（パルスメータ専用）の場合はLINK1、2とも「無し」(x＝3)に設定します。
	(3.Cont.x)	**[3] 親子設定** 必ず0（初期値）のまま使用してください。
	(4.CAn1.x)	**[4] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　1** x＝0～7 x＝0：LINK1リンク内に通信アダプター1台目 x＝1：LINK1リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7：LINK1リンク内に通信アダプター8台目
	(5.CAn2.x)	**[5] 同一リンク内の通信アダプター台数設定　2** x＝0～7 x＝0：LINK2リンク内に通信アダプター1台目 x＝1：LINK2リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7：LINK2リンク内に通信アダプター8台目 1つの室内外操作線に複数の通信アダプターを接続した場合、何台目の通信アダプターなのかをLINK系統ごとに設定します。
	(6.PUL.xx)	**[6] パルス入力最小検知時間設定** x＝03：　30msec x＝10：100msec 100msecより小さいパルス幅（30msec以上）のパルスメータを接続したときは「30msec」に設定します。
	(7.LoCA.x)	**[7] ローカルアダプターの接続設定** x＝0：LINK1有り、LINK2有り、 x＝1：LINK1無し、LINK2有り、 x＝2：LINK1有り、LINK2無し、 x＝3：LINK1無し、LINK2無し、 LINK系統ごとに、ローカルアダプター（オン／オフ用、通信変換用）の有無を設定します。「無」に設定しますと、ローカルアダプターの検出を行いませんから、起動が早くなります。
	(8.SCAn.x)	**[8] 初期通信設定** 必ず0（初期値）のまま使用してください。

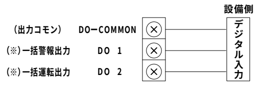
-5-　-6-

5　外部設備との接続

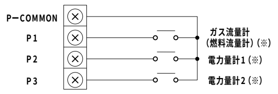
(1) 外部一括入力（無電圧a接点スタティック）



(2) 外部一括出力（無電圧a接点スタティック）



(3) パルスメータ入力（無電圧a接点パルス）

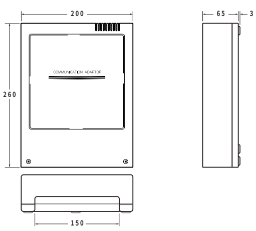


- 最小パルス幅　100msec
- 最小パルス間隔　1sec

(※)インテリコンに接続するときの入出力機能

- それぞれの信号入力の配線長は、20m以下としてください。この距離を超える場合は、単独に通信アダプターを設置するか、リレー受けをしてください。
- ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、$0.5mm^2$以上の２芯シールド線（片側アース）を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点にDC5V、約10mAの電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流はDC30V、0.5Aです。

6　外形寸法



7　仕様

定格電圧	**単相100～240V**
定格周波数	**50／60Hz**
消費電力	**最大3W**
動作温度	**－10～50℃**
動作湿度	**20～80%（結露なきこと）**

-7-

付録A．インテリジェントコントローラーに接続するとき

通信アダプターの初期設定をする前に、以下の作業が完了していることを確認してください。

①空調機の試運転が完了していますか？
②空調機と通信アダプターの配線は完了していますか？

設定作業は、以下の①～⑤順に行ってください。

①アダプターNo設定
- **本設定は、必要です。**
- 通信アダプター操作線上でのアドレスを設定してください。
  インテリコン内蔵基板のアドレスは0です。外付けアダプターは、重複しないように1～7の値を設定してください。
  [4]通信アダプター基板設定方法(2)アダプター番号の設定手順を参照してください。
  ※表１［1］参照

⇩

②室内外操作線の接続設定
- **通信アダプターを２台以上使用するとき、本設定が必要です。**
- 通信アダプターには２リンク接続可能です。
  空調機等の接続がないリンクは、LINK無し設定にしてください。
- インテリコンは有効に設定された４リンクのみ接続可能です。
  [4]通信アダプター基板設定方法(3)室内外操作線接続の有／無設定を参照してください。
  ※表１［2］参照

⇩

③同一リンク内の通信アダプター台数設定
- **新ＭＣＩ（エコストア）とインテリコンを併用するときのみ、本設定が必要です。**
- 同じ室内外操作線にもう１台通信アダプターが接続されている時、２台目以降のアダプターのアドレスを変更する必要があります。
  ※表１［4］［5］参照

⇩

④パルス入力最小検知時間設定
- **パルス入力（Ｐ１・Ｐ２・Ｐ３）を使用しないとき、本設定は必要ありません。**
- 通常、最小パルス幅100msec以上のパルスメータを使用してください。
  やむを得ず、30msec以上のパルスメータを使用するときのみ、この設定をしてください。
  ※表１［6］参照

⇩

⑤ローカルアダプターの接続設定
- ローカルアダプターを使用しないとき、構成確認時間を短縮することが可能です。
- **本設定はしなくても機器の動作上、問題ありません。**
  ※表１［7］参照

⇩

完了！

-8-

SANYO

料金計算ソフト
TECS-SW200
取扱説明書

インテリジェントコントローラ用

このたびはインテリジェントコントローラ用の料金計算ソフトをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

ご使用にあたってのご注意............1
1. はじめに............2
2. 準備............3
3. 起動と終了............4
4. メインメニュー............6
5. テナント名・ユニット名の読み込み......37
ご参考　按分率計算方法............40
　　　　料金計算方法............42

もくじ

ご使用にあたってのご注意 1
1. はじめに 2
　1.1. 概要 2
　1.2. 必要な環境 2
2. 準備 3
　2.1. インストール 3
　2.2. 締めデータのバックアップ 3
3. 起動と終了 4
　3.1. 起動 4
　3.2. メインメニューの起動 5
　3.3. メインメニューの終了 5
　3.4. マクロファイルの終了 5
4. メインメニュー 6
　4.1. 締めファイル読み込み 7
　4.1.1. ファイルの累積モード 10
　4.1.2. ファイルの読み込みモード 10
　4.2. 集計表示・印刷 11
　4.2.1. 月の選択 12
　4.2.2. 積算データの表示・印刷画面 14
　4.2.3. 按分データの表示・印刷画面 17
　4.2.4. 請求書表示・印刷画面 19
　4.3. 集計設定 22
　4.3.1. 動作モード関連設定 23
　　4.3.1.1. 料金計算方式 24
　　4.3.1.2. 按分モード（使用データ） 24
　　4.3.1.3. 表示項目設定 25
　　4.3.1.4. 集計単位設定 25
　4.3.2. 料金設定 26
　　4.3.2.1. パルス単価（「パルス単価方式」のとき） 26
　　4.3.2.2. 時間単価（「時間単価方式」のとき） 27
　　4.3.2.3. パルス単位量（「パルス単価方式」のとき） 28
　　4.3.2.4. その他 29
　4.3.3. 計算パラメータ関連設定 30
　　4.3.3.1. 計算パラメータ 30
　　4.3.3.2. 表示精度と端数処理 31
　4.3.4. 総量補正入力 32
　4.3.5. バージョン情報 33
　4.3.6. パラメータ設定一覧表印刷 34
　4.3.7. 按分・料金の再計算手順 35
　4.4. 初期化 36
5. テナント名・ユニット名の読み込み 37
　5.1. テナント基本料金の設定 38
　5.2. 電気ヒータ容量の設定 39

ご参考　按分率計算方法 40
　　　　料金計算方法 42

■ご使用にあたってのご注意

（１）このソフトウェアの著作権は、三洋電機株式会社にあります。
（２）本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を無断で複製することはできません。
（３）このソフトウェアは、コンピュータ１台につき１セット購入が原則となっております。
（４）本ソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、いっさい責任は負いかねますのでご承知おきください。
（５）本ソフトウェアの仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

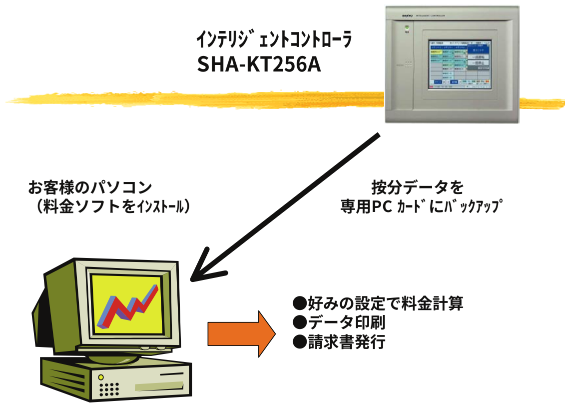
（６）このソフトは、室内機ごとに推定される負荷の比率によって按分率・料金を計算します。計量法によるものではありませんので、公的取引等にはご使用になれません。
（７）インテリジェントコントローラの締めデータのバックアップには、料金ソフトに同梱されている専用のＣＦカードをご使用ください。（市販のカードはご使用になれません）
（８）締めデータの加工は、必ずパソコンの別のフォルダにコピーしてから行なってください。
（９）本書は、ソフトウェアとしての使用方法に限定して説明しています。運用されるマシンやオプション類の使用方法、ＯＳの操作方法などについては書いてありませんので、該当する説明書等をよくお読みください。
（１０）本書に掲げた画面例は、レイアウトの説明用であり、実際の運用状態を示すものではありません。表示されているテナント名称も架空のものです。

Windows、Excel は、米国およびその他の国における米国 Microsoft　Corporation　の登録商標または商標です。
Pentiumは、米国およびその他の国における米国 Intel　Corporation　の登録商標または商標です。

1. はじめに

1.1. 概要

本製品は、当社製インテリジェントコントローラ（SHA-KT256A）の締めデータをもとに、お好みの設定で按分率や空調料金の計算を行うことができるソフトウェア（Excelマクロ）です。



1.2. 必要な環境

本製品をご使用になる際は、以下の環境のパソコンをご用意願います。
・CPU　：PentiumIII 500MHz 以上（推奨）
・メモリ：256MB 以上（推奨）
・ＯＳ　：Windows98、Me、2000、ＸＰ（2000、ＸＰを推奨）
・Microsoft　Excel97、2000 が動作
・100MB 以上の空きディスク容量
・800×600 ドット以上の画面解像度（推奨）
・コンパクトフラッシュ（CF）カード、もしくはＰＣカード TYPE II が接続可能（必須）

※　本書に掲載の画面例は、ご使用のＯＳ、Excel のバージョンにより多少異なります。

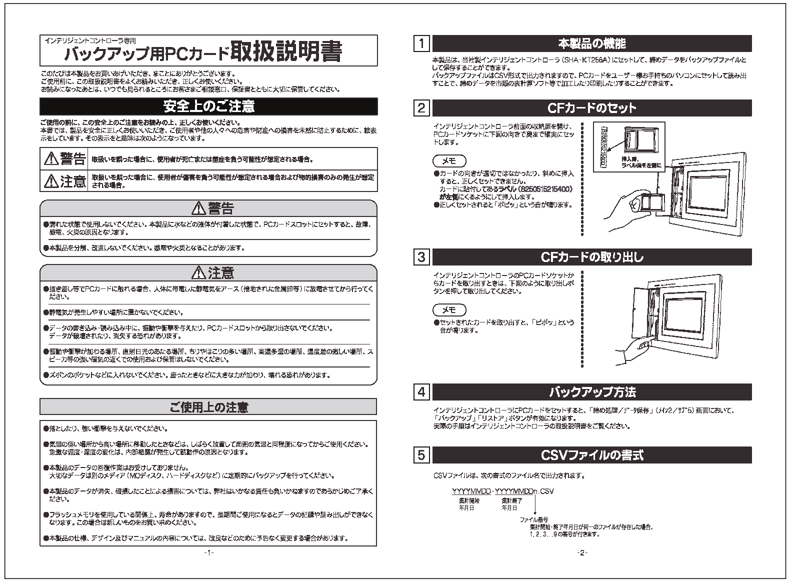
2. 準備

2.1. インストール

製品同梱のＣＤ－ＲＯＭに、「料金計算ソフト.xls」というファイルがありますので、これを、お客様のパソコンの、任意のフォルダにコピーしてください。
これを開くことで、料金計算ソフトが起動します。

2.2. 締めデータのバックアップ

商品同梱のＰＣカード（CF ｶｰﾄﾞ＋PC ｶｰﾄﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀ）をインテリジェントコントローラ（SHA-KT256A）の所定の場所にセットすることで、インテリジェントコントローラ側で作られた締めﾃﾞｰﾀをバックアップできます。これを、料金計算ソフトがインストールされたパソコンにセットし、料金計算ソフトで読み出します。
インテリジェントコントローラへのカードのセット方法、およびバックアップ手順は、ＰＣカード付属の取扱説明書をご覧ください。

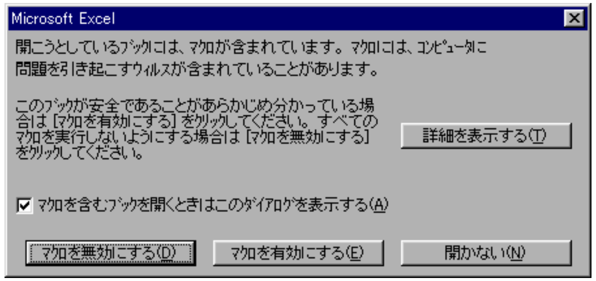

インテリジェントコントローラ専用
バックアップ用PCカード取扱説明書
安全上のご注意
⚠警告
⚠注意
ご使用上の注意
1 本製品の機能
2 CFカードのセット
3 CFカードの取り出し
4 バックアップ方法
5 CSVファイルの書式

ＰＣカード取扱説明書（部分）

3. 起動と終了

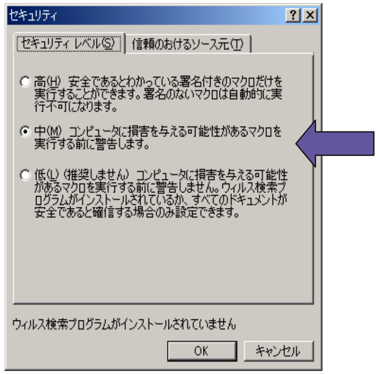
3.1. 起動

「料金計算ソフト.xls 」ファイルをダブルクリックすると、起動します。
このとき、次の表示が出ますので、内容をよく読んだ後、「ﾏｸﾛを有効にする」を選びます。



起動すると、最初にメインメニューが表示されます。

Excel2000をお使いの場合、上図の画面が表示されない場合があります。
このときは次の手順でマクロのセキュリティレベルを「中」に変更してください。
メニューバー「ツール（T）」→「マクロ(M)」→「ｾｷｭﾘﾃｨ(S)」を選ぶと次の画面が開きますので「中(M)」を選んで「OK」を押します。
その後、料金計算ソフトをいったん閉じてから再起動させると、上図の画面が開きます。



3.2. メインメニューの起動

メインメニューは、次の方法で起動します。

①「料金計算ソフト.xls」ファイルを実行（ダブルクリック）

②「テナント」「ユニット」タブにおいて「メインメニューへ」ボタンを押す

③「Ctrl」+「M」キーを同時に押す

※ ②③は、いったん料金計算ソフト起動後にメインメニューを閉じた場合、再度メインメニューを表示させる方法です。

3.3. メインメニューの終了

メインメニュー上の「閉じる」ボタン、または画面右上の「×」ボタンを押すと閉じます。
Excelシートは閉じません。

3.4. マクロファイルの終了

「料金計算ソフト.xls」ファイルを、通常にファイルを閉じる手順で閉じれば終了します。
（メニューバー「ﾌｧｲﾙ」→「閉じる」、または画面右上の「×」ボタンを押す）

このとき、次の画面が出ますので、どれかを選んでください。

読み出した締めデータに何らかの変更を加え、これを保存しておきたい場合は「はい」を必ず選んでください。

すでに保存されているファイルに上書きされますので注意してください。

上書きしないで、別のファイル名で保存したい時は、メニューバー「ﾌｧｲﾙ」→「名前を付けて保存」を選び、任意のファイル名に変更して保存します。

4. メインメニュー

料金計算ソフトのメイン機能を選ぶ画面です。

- 「締めファイル読み込み」→ 締めファイルを選んで、読み込みます。
- 「集計表示・印刷」→「集計表示・印刷」画面を開きます。
  積算データ、料金データ、請求書の表示や印刷を行います。
- 「集計設定」→「按分と料金に関する設定」画面を開きます。
  按分計算、料金計算に関するいろいろな設定を行います。
- 「初期化」→ すべてのシートを初期化します。
- 「閉じる」→ メインメニューを閉じて、元の画面に戻ります。

図　メインメニュー

4.1. 締めファイル読み込み

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 締めファイル読み込み

メインメニューで「締めファイル読み込み」ボタンを押すと、次の画面が開きます。

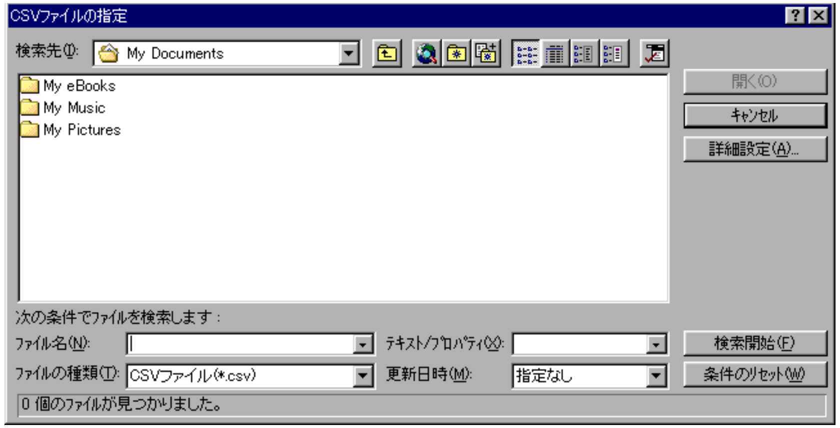
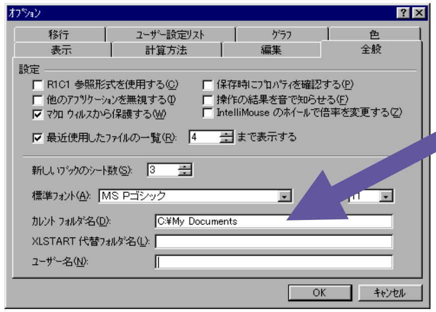
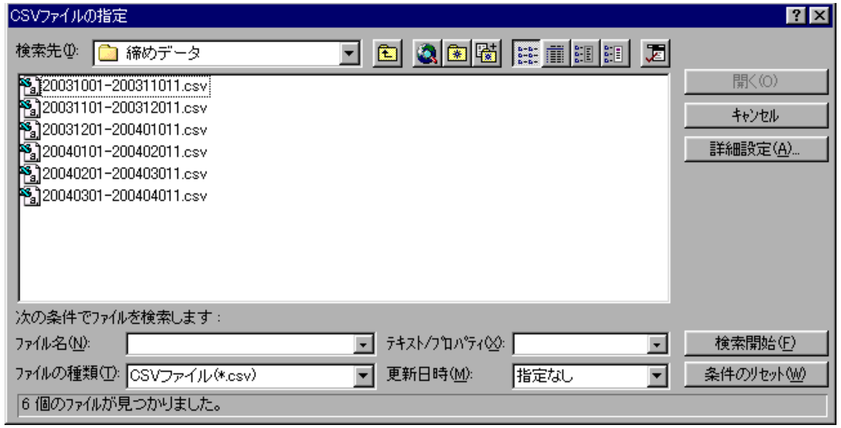


図　締めファイルの指定ダイアログ

このとき表示されるフォルダは、次の手順で自由に設定が可能です。
メニューバーの「ツール」→「オプション」の「全般」タブの中の「カレントフォルダ名」という設定欄がありますので、任意のフォルダを設定してください。



まず、インテリジェントコントローラからＰＣカード経由で締めファイルをコピーしたフォルダを選びます。



この画面から、締めファイルを選択します。
締めファイル名は、「集計開始日-集計終了日 n.csv」の形式ですので、目的の締めファイルを間違えないように選んでください。「集計開始日」「集計終了日」は、年月日を８桁で表示します。
たとえば「2004年２月１日」であれば、「20040201」となります。
「集計終了日」の次のｎ（一桁の数字）は、同じ日に複数回締め処理が行われた場合（手動締めなど）に、それを区別するための番号です。

締めファイルを選んで「開く」ボタンを押すか、締めファイルをダブルクリックすれば、次の画面が表示され、締めファイルが読み込まれます。この間、しばらくお待ちください。
※すでに締めデータが読み込まれていた場合は、「4.1.2. ファイルの読み込みモード」の画面となります。

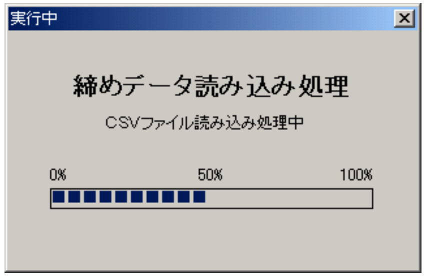


図　締めファイル読み込み状況画面

締めデータの読み込みが正常に完了すると、次メッセージが表示されます。

図　締めファイルの読み込み完了メッセージ

料金計算ソフト起動直後、あるいは「初期化」（別項）を行なった直後に締めデータを読み込んだ場合は、「ＯＫ」を押すと上記画面を閉じた後、「積算データの表示・印刷」画面に移り、自動で印刷のプレビューが表示されます。（詳細は別項）

それ以外の場合、上記画面を閉じると次の「締めファイルの処理」画面になります。
この画面を閉じるとメインメニューに戻ります。

図　締めファイルの処理画面

なお、締めファイルの読み込みに失敗したときには、次のメッセージを表示します。
エラーの内容によって、これとは異なるメッセージが表示されることもあります。

図　締めファイルの読み込み失敗メッセージ

4.1.1. ファイルの累積モード

選択された締めファイルの集計開始日と集計終了日が同じ日のときは、次の画面が表示されます。
ここでは、「表示のみ」「月データに累積」を選びます。

- 「表示のみ」　→　表示のみのＴＭＰデータとして読み込みます。
- 「月データに累積」　→　月次データとして読み込み、すでにその月のデータがシート上にある場合はマージ読み込みを行います。（積算データを加算します）

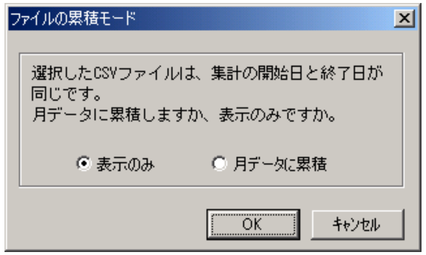


図　ファイルの累積モード画面

4.1.2. ファイルの読み込みモード

既に締めデータがシート上に読み込まれている状態で、締めファイルの読み込みを行うとすると、次の画面が表示されます。
ここでは、「新規読み込み」と「マージ読み込み」を選びます。

- 「新規読み込み」　→　シート上にあるデータをクリアして新規データとして読み込みます。
- 「マージ読み込み」→　締めファイルを読み込み、積算データをシート上のデータに加算します。

「キャンセル」ボタンを押した場合は、締めファイルの読み込みは行いません。

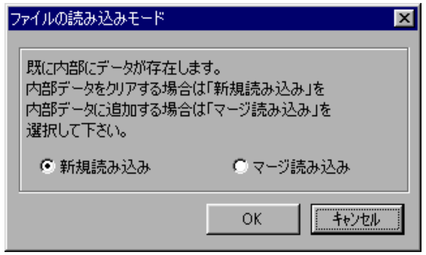


図　ファイルの読み込みモード画面

4.2. 集計表示・印刷

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計表示・印刷

メインメニューで「集計表示・印刷」ボタンを押したとき、集計表示・印刷の対象の月が指定されている場合は、下図の「集計表示・印刷」画面が開きます。

- 「積算データ表示・印刷」　→　室内機の運転積算時間データを見ることができます。
- 「按分データ表示・印刷」　→　按分率、使用量、使用料金などのデータを見ることができます。
- 「請求書表示・印刷」　→　テナントごとに請求書の発行ができます。
- 「メインメニューへ」　→　メインメニューに戻ります。

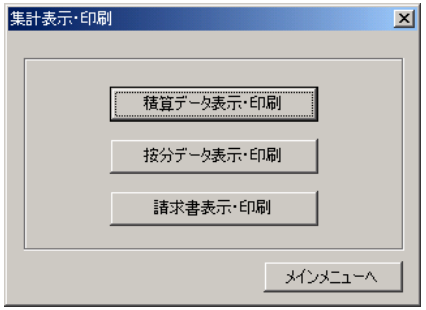


図　集計表示・印刷画面

4.2.1. 月の選択

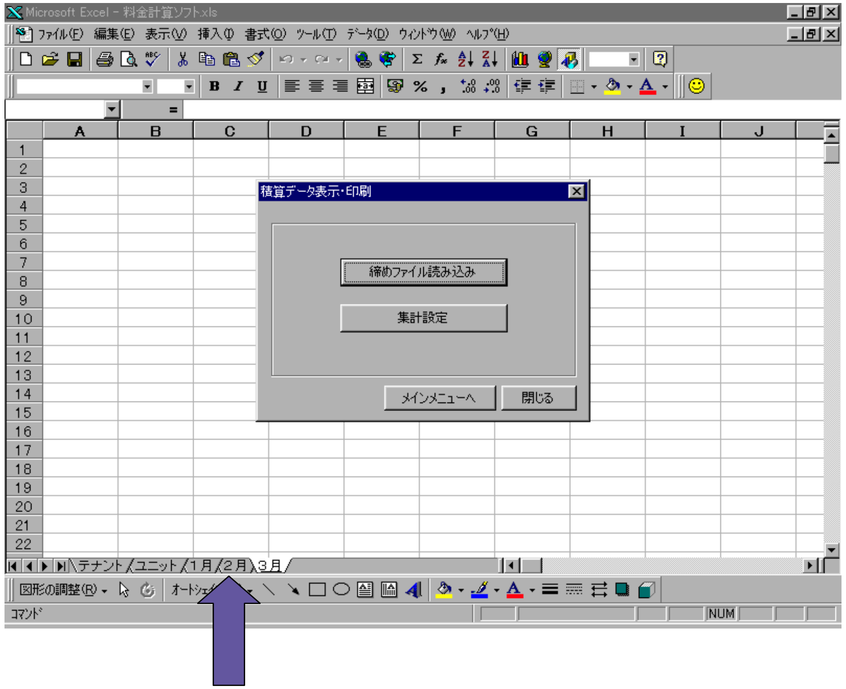
メインメニューから「集計表示・印刷」ボタンを押したとき、集計表示・印刷の対象の月が指定されていない場合は、下図の「月の選択」ダイアログが開きますので、表示させたい月を選択してください。
計算シートに読み出さずに、確認のための表示だけ行いたいときは、「表示のみ」を選んでください。

図　月の選択ダイアログ

※ここでいう「月」は、集計終了日の月を意味しています。
たとえば、10 日締めで前月度の扱いとする場合でも、集計開始 2 月 10 日、集計終了 3 月 10 日という締めデータについては、「3月」のデータとして扱われますのでご注意ください。
このようなとき、「2月」を選んだりすると、次のエラー表示となります。

図　月の選択に失敗したときのメッセージ

いま、何月度の締めデータが読み込まれているかは、画面の下の方のタブ（見出し）を見るとわかります。



1月度、2月度、3月度の締めデータが読み込まれている状態です。

「テナント」「ユニット」のタブは締めデータではなく、テナント基本料金の設定や、ユニットごとの電気ヒータ容量の設定を行うシートです。（別項に説明があります）

4.2.2. 積算データの表示・印刷画面

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計表示・印刷⇒積算データの表示・印刷

「集計表示・印刷」画面で「積算データの表示・印刷」ボタンを押すと、積算データの表示設定に従い、印刷のプレビューが開きます。

積算データの表示処理中は、次のような画面で進捗状況を表示しますので、少々お待ちください。

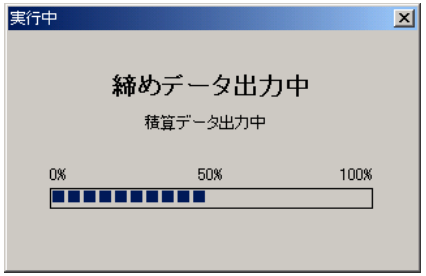
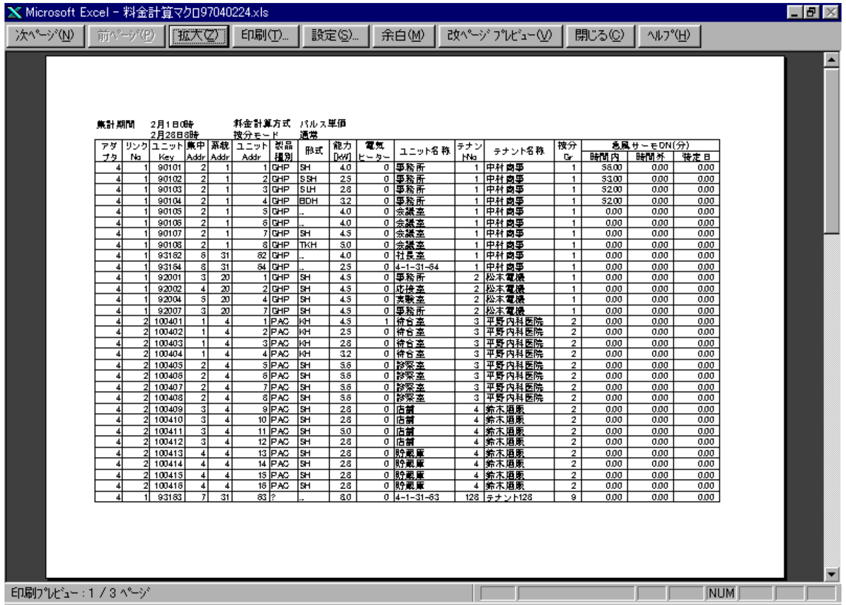


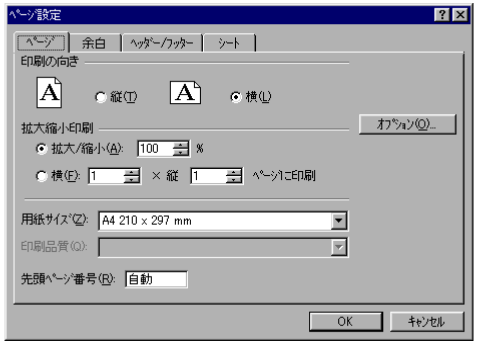
図　積算データ表示処理の進捗状況画面

プレビューは次のような表示です。「印刷」ボタンを押すと、表示されている通りに印字されます。



プレビュー画面で、「印刷」を押してもすぐには印刷は行われず、次のような画面が開きます（一例）。

また、「設定」を押すと、次のような画面が開きます（一例）。



いずれも、印刷に関する設定を行う画面ですが、お使いのＯＳまたは Excel のバージョンによって表示される内容や操作方法が異なることがあります。

上記以外にも、ＯＳまたは Excel 固有の画面に関しては、本書では説明しておりません。
お使いのパソコンあるいは Excel の取扱説明書をよくご覧のうえ、正しく操作してください。

プレビューを閉じると、下図のように「積算データ表示・印刷」画面が開きます。
ここで、再び別の締めファイルの読み込みを行うときは、「締めファイルの読み込み」ボタンを押してください。あとは前述 4.1 項と同じです。
また、集計設定を行う場合には、「集計設定」ボタンを押してください。別項に記します「料金と按分に関する設定」画面を開き、按分や料金の計算を行うためのいろいろな設定を行うことができます。

図　積算データ表示・印刷

ここで「メインメニューへ」ボタンを押すとメインメニューに戻ります。
「閉じる」ボタンを押すとこの画面を閉じて、この画面を呼び出した元の画面に戻ります。
メニューだけ閉じて、シートのデータの確認や編集をしたい場合は、メニュー右上の「×」を押してください。

他の画面でも同様ですが、シートの上に表示されたメニュー画面を閉じて、シートの確認や編集を行う場合は、メニュー右上の「×」を押してください。

その後メインメニューを再表示させるには、「Ctrl」＋「M」キーを同時に押すか、「テナント」「ユニット」シートにおいて「メインメニューへ」ボタンを押してください。

4.2.3. 按分データの表示・印刷画面

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計表示・印刷⇒按分データの表示・印刷

「集計表示・印刷」画面で「按分データの表示・印刷」ボタンを押すと、按分データの表示設定に従い、印刷のプレビューが開きます。
按分データの表示処理中は、次のような画面で進捗状況を表示しますので、少々お待ちください。

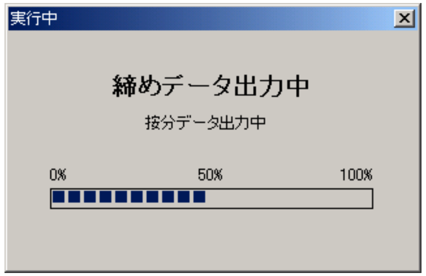
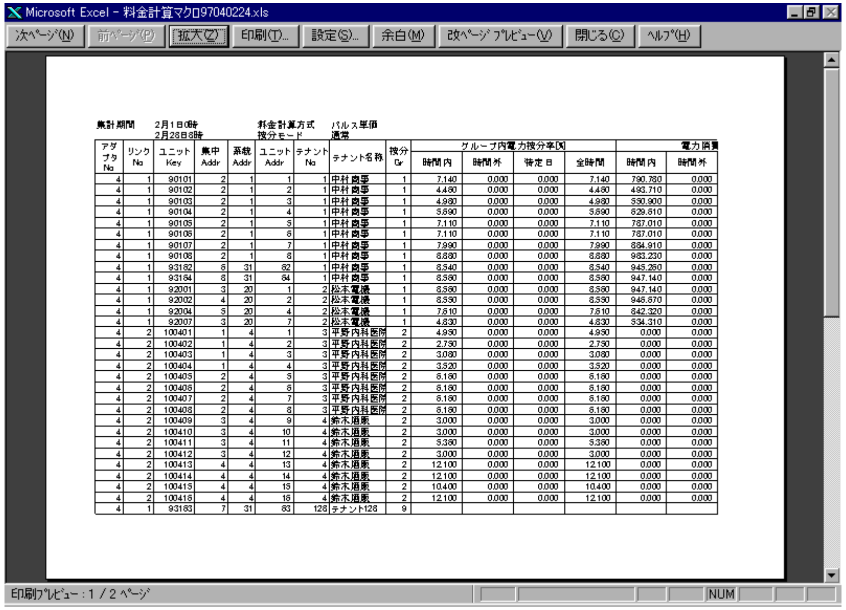


図　按分データ表示処理の進捗画面

プレビューは次のような表示です。「印刷」ボタンを押すと、表示されている通りに印字されます。



集計期間　2月1日0時　2月28日8時　料金計算方式　按分モード　パルス単価　通常

アダプタNo	リンクNo	ユニットKey	集中Addr	系統Addr	ユニットAddr	テナントNo	テナント名称	按分Gr	グループ内電力按分率[%] 時間内	時間外	特定日	全時間	電力消費… 時間内	時間外
4	1	90101	2	1	1	1	中村商事	1	7.140	0.000	0.000	7.140	790.780	0.000
4	1	90102	2	1	2	1	中村商事	1	4.460	0.000	0.000	4.460	493.710	0.000
4	1	90103	2	1	3	1	中村商事	1	4.980	0.000	0.000	4.980	550.900	0.000
4	1	90104	2	1	4	1	中村商事	1	5.690	0.000	0.000	5.690	629.610	0.000
4	1	90105	2	1	5	1	中村商事	1	7.110	0.000	0.000	7.110	787.010	0.000
4	1	90106	2	1	6	1	中村商事	1	7.110	0.000	0.000	7.110	787.010	0.000
4	1	90107	2	1	7	1	中村商事	1	7.990	0.000	0.000	7.990	884.910	0.000
4	1	90108	2	1	8	1	中村商事	1	8.880	0.000	0.000	8.880	983.230	0.000
4	1	93162	6	31	62	1	中村商事	1	8.540	0.000	0.000	8.540	945.260	0.000
4	1	93164	8	31	64	1	中村商事	1	8.560	0.000	0.000	8.560	947.140	0.000
4	1	92001	3	20	1	2	松本電機	1	8.560	0.000	0.000	8.560	947.140	0.000
4	1	92002	4	20	2	2	松本電機	1	8.550	0.000	0.000	8.550	946.670	0.000
4	1	92004	5	20	4	2	松本電機	1	7.610	0.000	0.000	7.610	842.320	0.000
4	1	92007	3	20	7	2	松本電機	1	4.830	0.000	0.000	4.830	534.310	0.000
4	2	100401	1	4	1	3	平野内科医院	2	4.950	0.000	0.000	4.950	0.000	0.000
4	2	100402	1	4	2	3	平野内科医院	2	2.750	0.000	0.000	2.750	0.000	0.000
4	2	100403	1	4	3	3	平野内科医院	2	3.080	0.000	0.000	3.080	0.000	0.000
4	2	100404	1	4	4	3	平野内科医院	2	3.520	0.000	0.000	3.520	0.000	0.000
4	2	100405	2	4	5	3	平野内科医院	2	6.160	0.000	0.000	6.160	0.000	0.000
4	2	100406	2	4	6	3	平野内科医院	2	6.160	0.000	0.000	6.160	0.000	0.000
4	2	100407	2	4	7	3	平野内科医院	2	6.160	0.000	0.000	6.160	0.000	0.000
4	2	100408	2	4	8	3	平野内科医院	2	6.160	0.000	0.000	6.160	0.000	0.000
4	2	100409	3	4	9	4	鈴木酒販	2	3.000	0.000	0.000	3.000	0.000	0.000
4	2	100410	3	4	10	4	鈴木酒販	2	3.000	0.000	0.000	3.000	0.000	0.000
4	2	100411	3	4	11	4	鈴木酒販	2	5.360	0.000	0.000	5.360	0.000	0.000
4	2	100412	3	4	12	4	鈴木酒販	2	3.000	0.000	0.000	3.000	0.000	0.000
4	2	100413	4	4	13	4	鈴木酒販	2	12.100	0.000	0.000	12.100	0.000	0.000
4	2	100414	4	4	14	4	鈴木酒販	2	12.100	0.000	0.000	12.100	0.000	0.000
4	2	100415	4	4	15	4	鈴木酒販	2	10.400	0.000	0.000	10.400	0.000	0.000
4	2	100416	4	4	16	4	鈴木酒販	2	12.100	0.000	0.000	12.100	0.000	0.000
4	1	93163	7	31	63	128	テナント128	9						

プレビューを閉じると、下図のように「按分データ表示・印刷」画面が開きます。
ここで、再び別の締めファイルの読み込みを行うときは、「締めファイルの読み込み」ボタンを押してください。
あとは前述 4.1 項と同じです。
また、集計設定を行う場合には、「集計設定」ボタンを押してください。別項に記します「料金と按分に関する設定」画面を開き、按分や料金の計算を行うためのいろいろな設定を行うことができます。
集計設定を変更したあと、按分率・使用量・使用料金などの再計算を行う場合には、「再計算」ボタンを押すと、再計算をした後、再びプレビュー表示を行います。

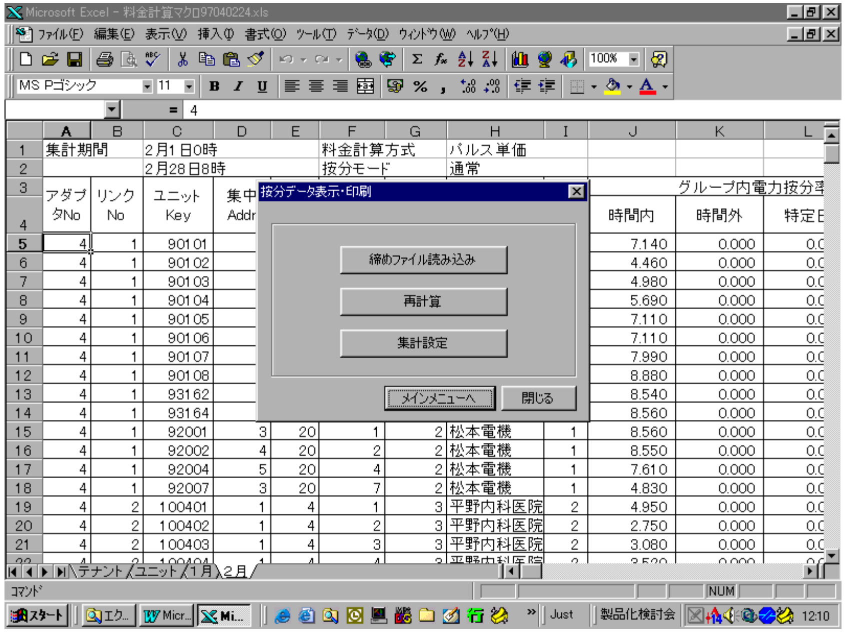


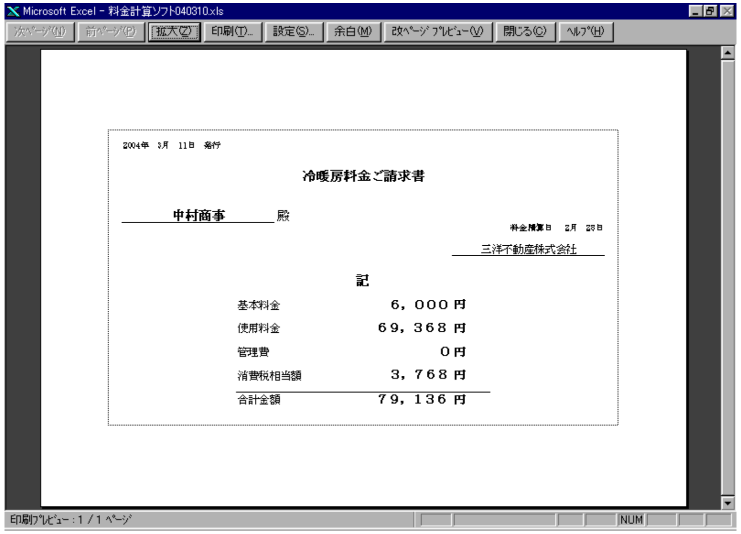
図　按分データ表示・印刷

ここで「メインメニューへ」ボタンを押すとメインメニューに戻ります。
「閉じる」ボタンを押すとこの画面を閉じて、この画面を呼び出した元の画面に戻ります。
メニューだけ閉じて、シートのデータの確認や編集をしたい場合は、メニュー右上の「×」を押してください。

4.2.4. 請求書表示・印刷画面

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計表示・印刷⇒請求書表示・印刷

「集計表示・印刷」画面で「請求書表示・印刷」ボタンを押すと、按分データの表示設定に従い、下図のように請求書印刷のプレビューが開きます。「印刷」ボタンを押すと、表示されている通りに印字されます。



プレビューを閉じると、次のような「請求書表示・印刷」画面が開きます。

「再計算」を押すことで、集計設定を変更してある場合は、金額の再計算が行えます。

集計設定を行う場合には、「集計設定」ボタンを押してください。別項に記します「料金と按分に関する設定」画面を開き、按分や料金の計算を行うためのいろいろな設定を行うことができます。

「集計表示・印刷へ」ボタンを押すとこの画面を閉じて、「集計表示・印刷」メニュー画面を表示します。

前図の画面で「請求書シートへ」を押すと、この画面が閉じて、下図のように、請求書シートの編集ができるようになります。

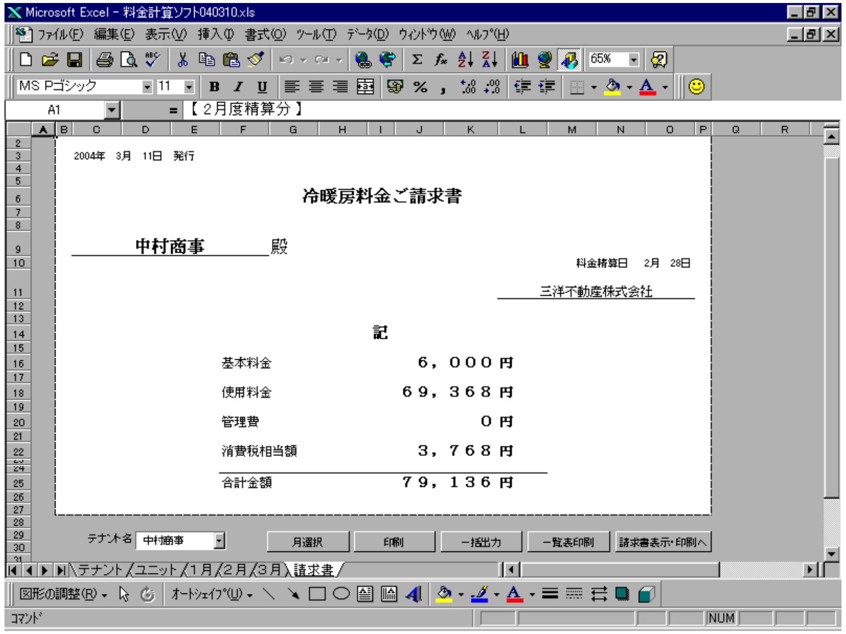


図　請求書表示・印刷

「テナント名」の「▼」ボタンを押すことで、請求書を表示・印刷するテナントを変更できます。

「閉じる」ボタンを押すとこの画面を閉じて、この画面を呼び出した元の画面に戻ります。

「月選択」ボタンを押すと、請求書を作成する締めデータの月度を選ぶことができます。

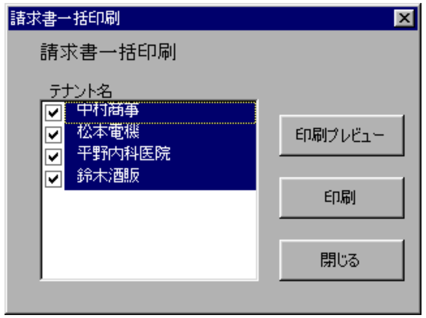
（「4.2.1. 月の選択」画面が開きます）

上図の画面例ですと、1月、2月、3月から選べます。

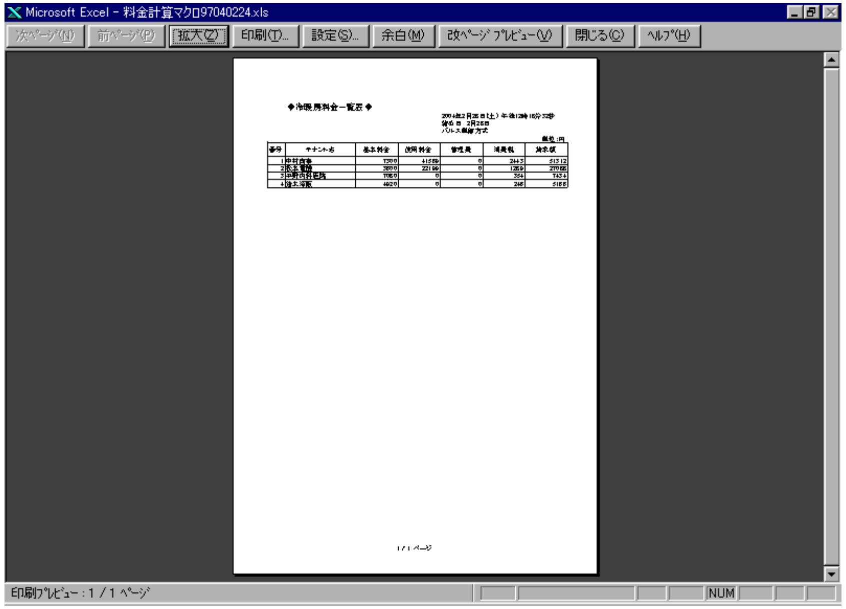
「印刷」ボタンを押すと、再び印刷のプレビューを開きます。表示されている通りに印字されます。

「集計表示・印刷へ」ボタンを押すと、「集計表示・印刷」メニュー画面に戻ります。

「一括出力」を押すと次の画面が開きます。テナントを複数選んで、請求書を一括で印刷することができます。



「一覧表印刷」を押すと全テナントの料金一覧表の、印刷プレビューを開きます。
「印刷」ボタンを押すと、表示されている通りに印字されます。



4.3. 集計設定

[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計設定⇒積算データの表示・印刷
[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計設定⇒積算データの表示・印刷⇒集計設定
[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]で 集計設定⇒按分データの表示・印刷⇒集計設定

メインメニュー、もしくは「按分データ表示・印刷」などの画面で、「集計設定」ボタンを押すと、次の画面が開きます。

図　按分と料金に関する設定

この画面では、次のタブを選ぶことで、設定する項目を次のように切り換えます。
「タブ」とは、文字通りページを選択する「見出し」（タブ）のことで、画面の上の方に表示されています。

- 「動作モード関連設定」タブ
  料金計算方式、按分モード、表示項目、集計単位、などを設定します。
- 「料金設定」タブ
  パルス単価、時間単価、パルス単位量、基本料金、管理費、税率などを設定します。
- 「計算パラメータ関連設定」タブ
  風力換算値や、表示精度（桁数）と端数処理などの設定を行います。

・「総量補正入力」タブ
　パルスカウントの値（電力、ガス）を任意に入力して、再按分させることができます。
・「バージョン情報」タブ
　料金計算ソフトのバージョン情報の確認を行います。

「パラメータ設定一覧表印刷」を押すことで設定内容の印刷プレビューを表示します。（別項に説明があります）
「ＯＫ」ボタンを押すと、設定変更を確定して画面を閉じます。自動で再計算は行いません。
「閉じる」で画面を閉じた場合には、設定は変更されません。

4.3.1. 動作モード関連設定

動作モード関連設定について説明します。（前ページの図と同じ）

図　按分と料金に関する設定（動作モード関連設定）

4.3.1.1. 料金計算方式

「パルス単価」と「時間単価」のどちらかを選択します。
「パルス単価」方式とは、室内機の運転積算時間などをもとに計算した按分率に、パルスメータからのカウント値とパルス単価（1ﾊﾟﾙｽあたりの料金）を掛けてテナントごとの料金を算出する方式です。
「時間単価」方式とは、単位時間当たりの料金をあらかじめ設定し、単純に室内機の運転積算時間と能力値に掛けて料金を算出する方式です。

4.3.1.2. 按分モード（使用データ）

料金計算方式が「パルス単価」のときは、この項目は「按分モード」となります。（前ページの画面例）
この「按分モード」では、「通常」と「サーモＯＮ」のどちらかを選びます。
「通常」を選ぶと、サーモＯＮ時間とサーモＯＦＦ時間の両方を考慮して按分計算を行います。
「サーモＯＮ」を選ぶと、サーモＯＮ時間だけを考慮して按分計算を行います。
たとえば、電力量計を室外機側だけに設置し、室外電力だけを按分するような場合には、「サーモＯＮ」を選んでください。
室内側・室外側に電力量計を設置し、その全体の電力量をまとめて按分する場合は「通常」を選びます。

一方、料金計算方式が「時間単価」のときは、この項目は次の画面例のように「使用データ」となります。

図　「料金計算方式」で「時間単価」を選択したときの「動作モード関連設定」画面

この「使用データ」では、「サーモ ON」と「リモコン ON」のどちらかを選択します。
「サーモ ON」を選ぶと、サーモ ON 時間だけに時間単価を掛けて料金が計算されます。
「リモコン ON」を選ぶと、サーモ ON 時間とサーモ OFF 時間の合計（リモコンON時間）に時間単価を掛けて料金が計算されます。

4.3.1.3. 表示項目設定

計算・表示・印刷を行う対象項目を選びます。
積算時間データ、および電力・ガスの按分率・使用量・料金が任意に選べます。
チェックボックスをクリックするたびに、チェックマークが付いたり消えたりします。チェックマークが付いているものが対象項目です。
料金計算方式が「時間単価」のときは、按分率も消費量も計算できませんので、前ページの画面例のように、「積算時間データ」および「料金」しか選択できません。

4.3.1.4. 集計単位設定

積算運転時間や、按分率、使用量、料金を計算・表示する単位（まとまり）を選びます。
「テナント毎」と「室内機毎」のどちらかを選ぶことができます。
「テナント毎」にすると、各テナントに含まれるすべての室内機の値を合計して表示します。

4.3.2. 料金設定

料金設定について説明します。

4.3.2.1. パルス単価（「パルス単価方式」のとき）

「パルス単価」は、パルスメータ（電力量計、ガス流量計）からのカウント１パルス当たりの使用料金を設定します。
インテリコン側で時間帯積算機能を使用して締めたデータである場合は、「時間内」「時間外」「特定日」に分けてパルス単価を設定することにより、時間外に使用した分は少し高めにするなど、時間帯によって課金の度合いを変えることができます。時間帯積算機能を使用しない時は、必ず「時間内」だけに設定してください。
０～9999.99円／ﾊﾟﾙｽの範囲で設定できます。
期間限定料金とは、夏だけ少し単価を高くする（夏期料金）などのように、一時期だけパルス単価を自動で変更する設定です。「使用しない」のチェックボックスをクリックするたびに、チェックマークが消えたり付いたりします。
期間限定料金を使用するときはチェックマークをはずしてください。

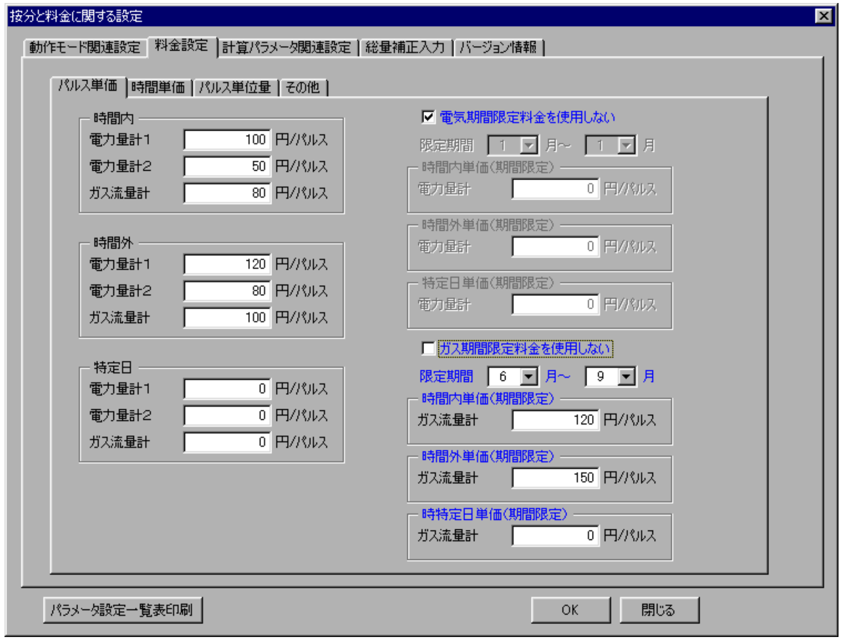


図　按分と料金に関する設定（料金設定－パルス単価）

4.3.2.2. 時間単価（「時間単価方式」のとき）

「時間単価」は、定格能力１ｋｗの室内機が１時間運転したときの使用料金を設定します。
０～9999.99円／時間の範囲で設定できます。

> ※たとえば時間単価が100円設定の場合、定格能力4.0kWの室内機が、1ヶ月で80時間運転したときの使用料金は、4.0×80×100=32000円となります。
> この計算で使われる運転時間は、「リモコンON時間」または「サーモON時間」のいずれかを選ぶことができます。（「4.3.1.2. 按分モード（使用データ）」の項を参照）

前項「4.3.2.1. パルス単価」のときと同様に、「時間内」「時間外」「特定日」、および期間限定料金の設定もできます。時間帯積算機能を使用しない時は、必ず「時間内」だけに設定してください。

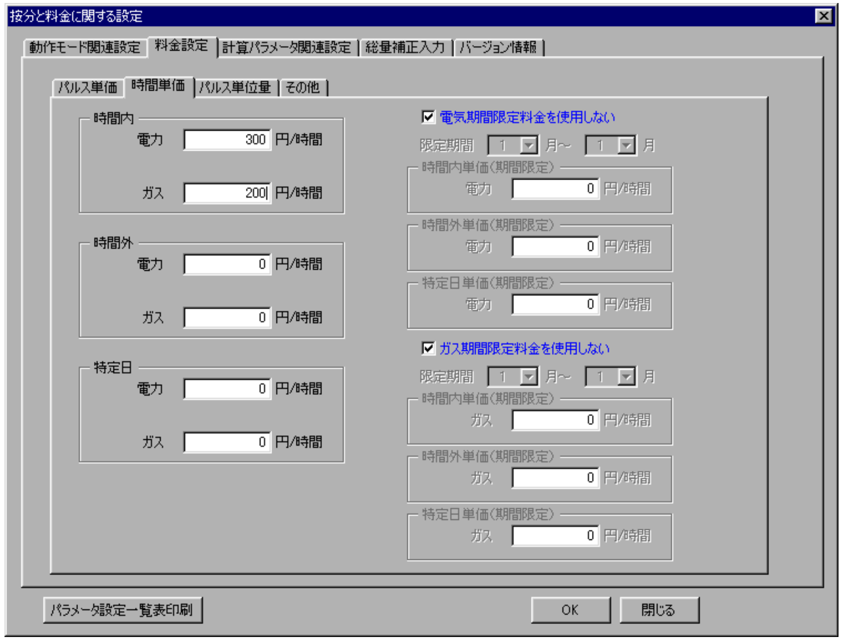


図　按分と料金に関する設定（料金設定－時間単価）

4.3.2.3. パルス単位量（「パルス単価方式」のとき）

「パルス単位量」は、パルスメータ（電力量計、ガス流量計）からのカウント１パルス当たりの使用量を設定します。
この設定は、テナントごとの使用量（kWh、m³）を表示するためだけのものです。料金の計算には影響ありません。
０～999999（kWh、m³）／ﾊﾟﾙｽの範囲で設定できます。
「按分Gr」は、そのパルスメータが、何番の按分グループ用であるのかを示します。この設定はｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ側で行われていますので、この画面では表示だけで、設定変更はできません。
按分ｸﾞﾙｰﾌﾟの数字の意味は次の通りです。

- １～８　：　按分ｸﾞﾙｰﾌﾟ１～８番としてﾊﾟﾙｽﾒｰﾀが登録済み
- ０　：　アダプタが存在しない
- ９　：　アダプタは存在するがﾊﾟﾙｽﾒｰﾀが登録されていない

図　按分と料金に関する設定（料金設定－パルス単位量）

4.3.2.4. その他

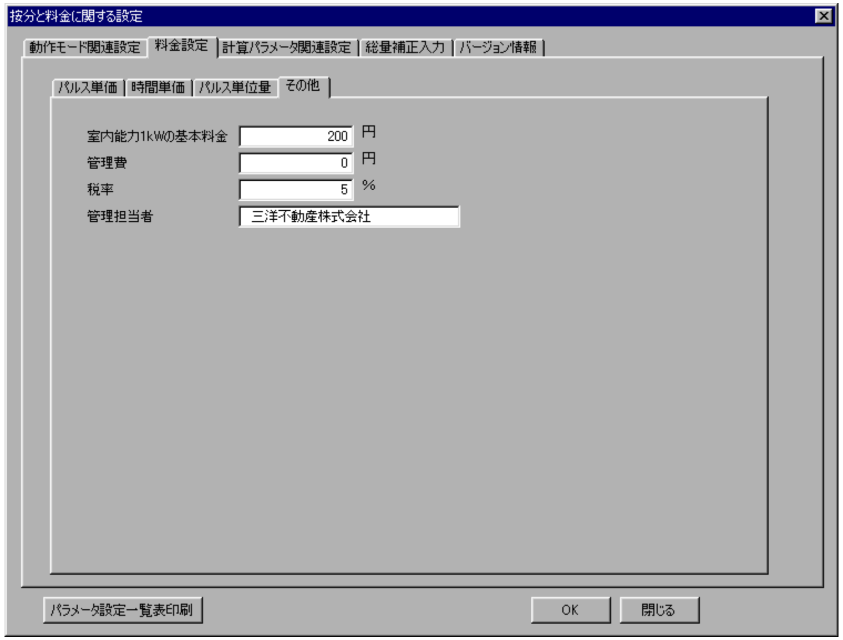


図　按分と料金に関する設定（料金設定－その他）

「室内機１kW の基本料金」

室内機の能力１ｋW当たりの基本料金単価を設定することで、テナントに含まれる全室内機の合計能力からテナント全体の基本料金を自動計算するものです。
（「テナント」シートにおいて「テナント名の取得」をあらかじめ行なっておく必要があります。）
０～9999.99円／kWの範囲で設定できます。テナントごとに直接基本料金を設定することもできます。
（別項）

「管理費」

全テナント一律に同じ金額を加算させる設定です。　－9999999~9999999円の範囲で設定できます。
負の金額を設定すると、「一律値引き」として利用できます。

「税率」

合計金額（基本料金＋使用料金＋管理費）に、最終的に加える税金（消費税など）の率を設定します。
０～30%の範囲で設定できます。

「管理担当者」

請求書に印刷する請求者の名称を設定します。「請求書表示・印刷画面」のページに出ている画面表示例での「三洋不動産株式会社」のように表示・印刷されます。
全角 10 文字（半角 20 文字）まで設定できます。請求書以外の画面には影響しません。

4.3.3. 計算パラメータ関連設定

計算パラメータ関連設定について説明します。

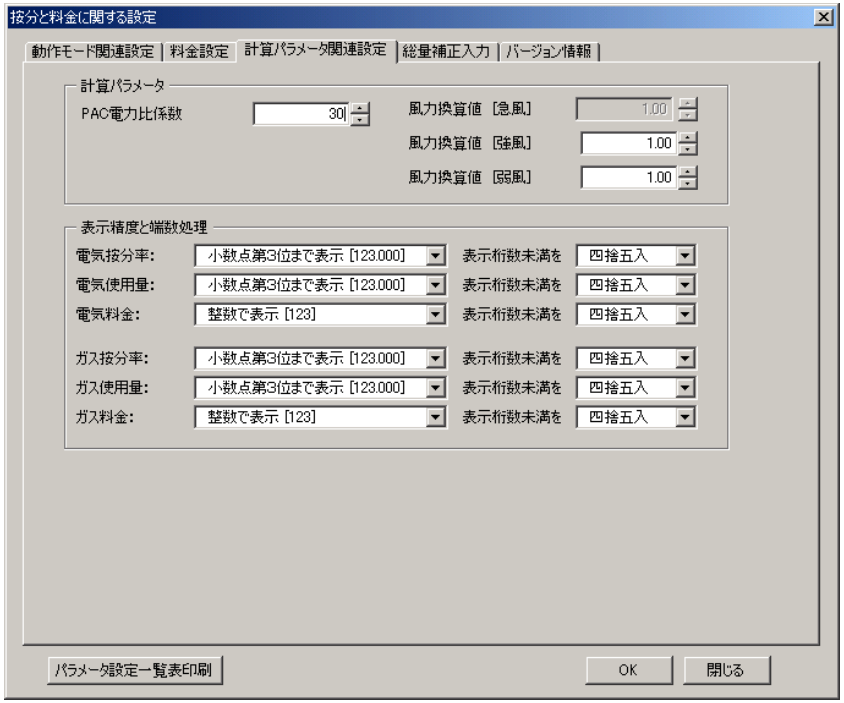


図　計算パラメータ関連設定

4.3.3.1. 計算パラメータ

「PAC 電力比係数」

ＰＡＣの電力按分における、サーモＯＮとサーモＯＦＦの重み付けを行う係数です。
たとえば「30」設定であれば、同じ能力の室内機が同じ時間サーモＯＮしていた場合、サーモＯＦFしていた室内機よりも電力消費が 30 倍多いという扱いで按分計算されます。０～100 の範囲で設定できます。

「風力換算値」

風速（急風、強風、弱風）ごとの按分の重み付けを行う係数です。
急風は「1.00」固定で、これに対する強風、弱風の比率を設定します。0.00～1.00 の範囲で設定できます。
たとえば強風を「0.8」と設定した場合、強風運転時は急風運転時よりも 20%軽い重み付けで按分計算されます。

4.3.3.2. 表示精度と端数処理

「表示精度と端数処理」は、按分率、使用量、料金を計算したあと、何桁の精度で画面に表示するかを設定します。

整数、および小数第１～４位までの範囲で設定できます。

端数の処理方法（切り上げ、切り捨て、四捨五入）を選ぶこともできます。

例）元のデータ（内部的な計算結果）が、234.561 であった場合、

「四捨五入」で「整数」　：　235

「切り上げ」で「小数第２位」　：　234.57

「切り捨て」で「小数第１位」　：　234.5

「四捨五入で」で「小数第１位」：　234.6

の表示となります。

4.3.4. 総量補正入力

ここでは、パルスメータ（電力量計、ガス流量計）のカウント値を任意に入力し、料金按分の再計算を行うことができます。（実際の再計算は別の画面で行います）

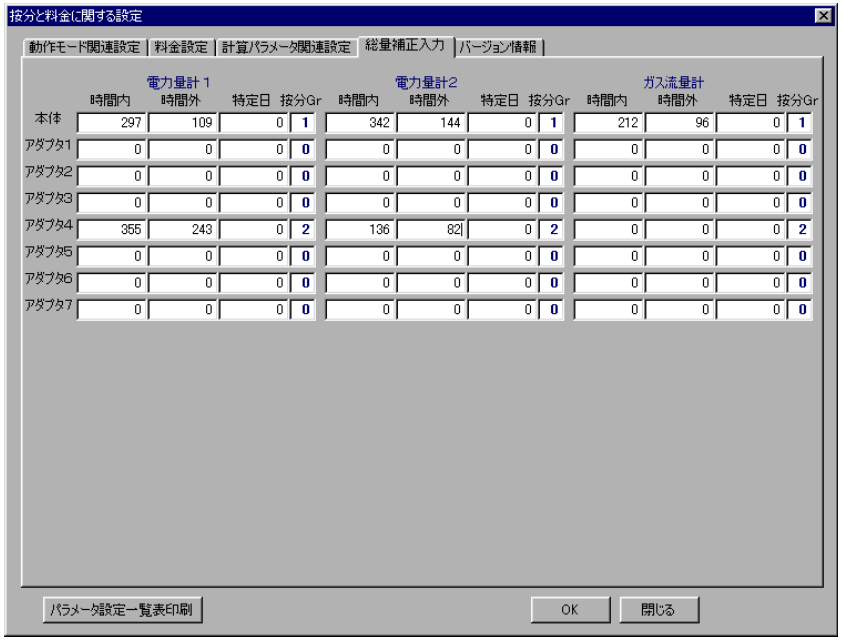


図　総量補正入力設定

締めデータの読み込み直後は、この画面では、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ側で取り込まれたカウント値が表示されます。

これを、０～999999 パルスの範囲で変更できます。

時間帯積算機能を使って締めたデータであった場合は、時間帯ごとにカウント値を入力できます。

時間帯積算機能を使用しない時は、必ず「時間内」だけに入力してください。

「按分 Gr」は、そのパルスメータが、何番の按分グループ用であるのかを示します。この設定はｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ側で行われていますので、この画面では表示だけで、設定変更はできません。

按分ｸﾞﾙｰﾌﾟの数字の意味は次の通りです。

１～８　：　按分ｸﾞﾙｰﾌﾟ１～８番としてﾊﾟﾙｽﾒｰﾀが登録済み

０　：　アダプタが存在しない

９　：　アダプタは存在するがﾊﾟﾙｽﾒｰﾀが登録されていない

4.3.5. バージョン情報

「バージョン情報」では、インテリコン料金計算ソフトのバージョン情報が確認できます。

画面中央に「Ver1.00（2004.03.12）」と表示されているのがバージョンと、日付です。

この例ですと、バージョンは ver1.0 0 で、このソフトが作成された日付が 2004 年 3 月 12 日という意味になります。

これはあくまで例ですので、実際の表示とは異なります。

図　バージョン情報

4.3.6. パラメータ設定一覧表印刷

「按分と料金に関する設定」各画面共通で、左下に表示されている「パラメータ設定一覧印刷」ボタンを押すと、すべての設定値を印刷するプレビュー画面が開きます。（全４ページ）

ここで「印刷」を押すと、表示されている通りに印字されます。

この画面を閉じると、「按分と料金に関する設定」画面に戻ります。

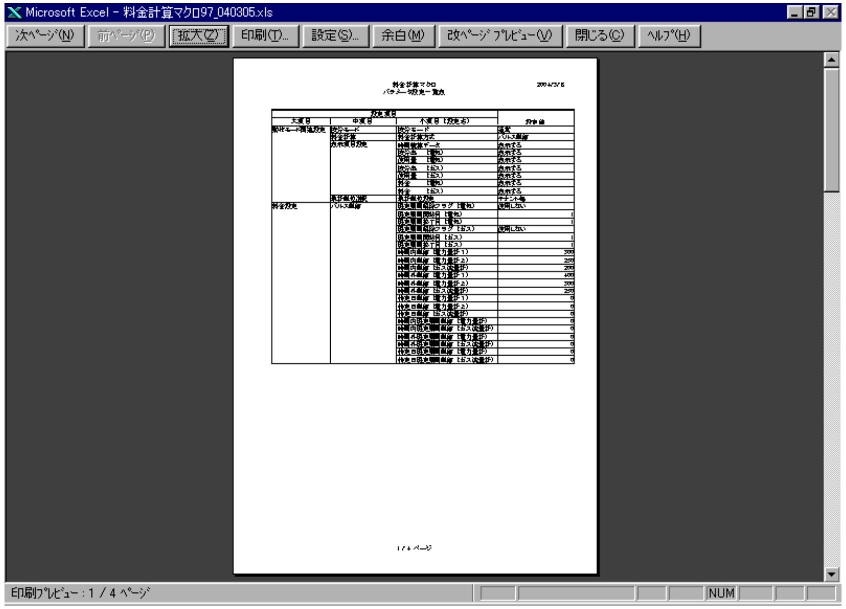


図　パラメータ設定一覧表

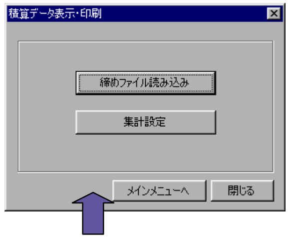
なお、テナント基本料金、および室内機ごとの電気ヒータ容量設定は、表示・印刷されません。

「テナント」「ユニット」シートで表示・印刷してください。

4.3.7. 按分・料金の再計算手順

締めファイルを読み込んで、按分・料金関連の設定を変更し、再計算を行う基本的な手順は次のようになります。

[ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ]で 締めファイル読み込み を選択
⇒ 集計表示・印刷 を選択
⇒ 按分データ表示・印刷 を選択し、元のデータ内容を確認（※１）
⇒ 集計設定 を選択
⇒ いろいろ変更し、最後に「ＯＫ」を押す
⇒ 再計算



※１）「積算データの表示・印刷」からは再計算は選べません。（再計算」ボタンが出ません）
１つの月度について「積算データ」「按分データ」のいずれかのシートしか保持できないので、再計算処理の対象である「按分データ」がシートに表示された状態でないと再計算ができないためです。（「積算データ」は再計算の対象外）

この場合は、「メインメニューへ」ボタンでいったんメインメニューに戻り、次の手順となります。
⇒ 集計表示・印刷 を選択
⇒ 按分データ表示・印刷 を選択し、
⇒ 再計算

また、締めファイルを読み込んだ後、すぐに集計設定を行なった場合も、
上記の手順で一度「按分データ表示・印刷」を行わないと「再計算」ができません。
「請求書表示・印刷」からでも同様に「再計算」が行えます。

テナントごとの基本料金と、ユニットごとの電気ヒータ容量の設定（ﾋｰﾀ「有り」の場合のみ）は、「集計設定」画面ではなく、専用のシート上での設定となりますので、再計算は次の手順となります。
いったんメニュー画面を閉じる
⇒「テナント」「ユニット」シートに移って必要な設定／変更を行う
★「4.3.2 .4.そ の他」画面で基本料金単価を変更した場合は、必ず「ﾃﾅﾝﾄ」ｼｰﾄで「基本料金再計算」を行なってください。
⇒「メインメニューへ」ボタンでメインメニューを出す
⇒ 集計表示・印刷 を選択
⇒ 按分データ表示・印刷 を選択し、
⇒ 再計算

4.4 初期化

[ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ]で 初期化

メインメニューで「初期化」ボタンを押すと、次の確認メッセージが開きます。

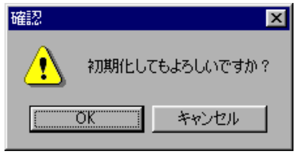


図　初期化確認メッセージ

「ＯＫ」を押すと、シート上にあるすべてのデータを初期化します。不用意に初期化を行わないでください。
「キャンセル」を押すと、何もしないで上記の画面を閉じます。

5. テナント名・ユニット名の読み込み

本ソフトで、次の計算に利用される場合は、「テナント」「ユニット」シートから必要な情報を読み込み、設定、あるいは再設定する必要があります。

●基本料金込みで請求書を発行したい場合
「テナント」シートでテナント名を読み込み、基本料金を設定、あるいは再計算を行う必要があります。

●電気ヒータ付きの室内機の按分率を再計算したい
「ユニット」シートでユニット名を読み込み、電気ヒータ容量を設定する必要があります。

その際、下図の画面が開きますので、テナント情報あるいはユニット情報を読み込む締めデータの月を選択します。 （「4.2.1.　月の選択」と同じ画面です）

「表示のみ」を選択するとＴＭＰデータ（「表示だけ」モードで読み込んだ締めデータ）から取り込みます。

図　月の選択

5.1. テナント基本料金の設定

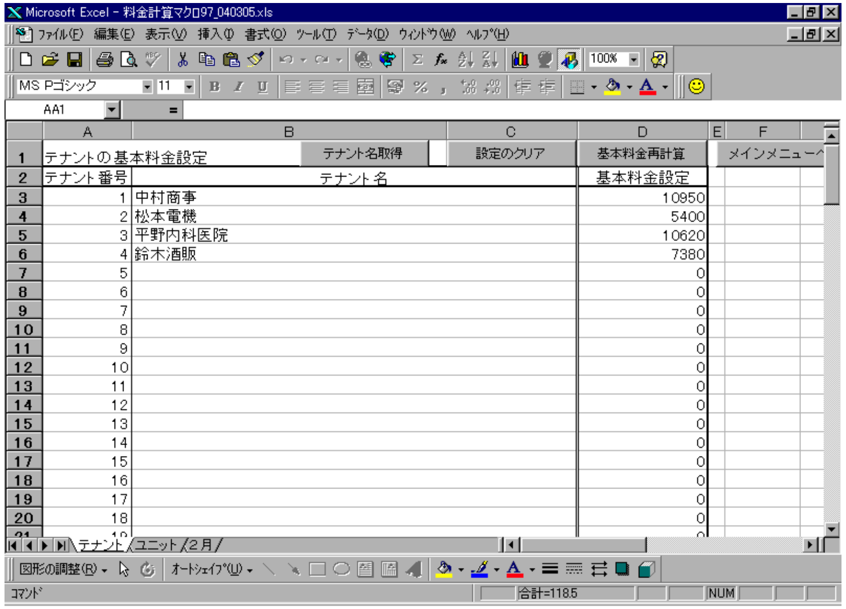
「テナント名取得」ボタンを押すと、各テナントの名称が読み込まれて表示されます。

「基本料金再計算」ボタンを押すと、室内機能力あたりの基本料金単価設定（別画面）にもとづいて、各テナントの基本料金が自動計算されて表示されます。その後、それを個別に変更することもできます。

０～9999999円の範囲で入力できます。

「設定のクリア」ボタンを押すと、テナント名称、基本料金などの設定がすべて消去されます。

「メインメニューへ」ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。



※ここで設定・再計算した基本料金を、請求書に反映させるには、「4.3.7.　按分・料金の再計算手順」にしたがって、請求書の「再計算」を行う必要があります。

<u>**この画面で設定しただけでは、請求書には反映されませんのでご注意ください。**</u>

5.2. 電気ヒータ容量の設定

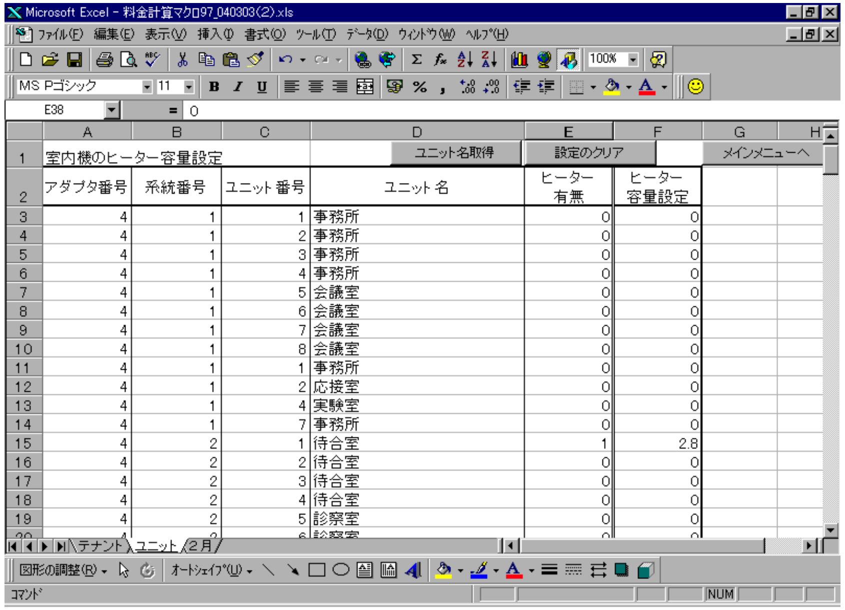
「ユニット名取得」ボタンを押すと、各室内機の、ユニット名称、電気ヒータの有無、電気ヒータの容量が読み込まれて表示されます。

電気ヒータ有無が「1」(ヒーター有り)のユニットに対しては、忘れずにヒータの容量を（kW)を設定してください。

0.0～100.0ｋWの範囲で入力できます。

「設定のクリア」ボタンを押すと、これらの情報がすべて消去されます。

「メインメニューへ」ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。



	A	B	C	D	E	F
2	アダプタ番号	系統番号	ユニット 番号	ユニット 名	ヒーター 有無	ヒーター 容量設定
3	4	1	1	事務所	0	0
4	4	1	2	事務所	0	0
5	4	1	3	事務所	0	0
6	4	1	4	事務所	0	0
7	4	1	5	会議室	0	0
8	4	1	6	会議室	0	0
9	4	1	7	会議室	0	0
10	4	1	8	会議室	0	0
11	4	1	1	事務所	0	0
12	4	1	2	応接室	0	0
13	4	1	4	実験室	0	0
14	4	1	7	事務所	0	0
15	4	2	1	待合室	1	2.8
16	4	2	2	待合室	0	0
17	4	2	3	待合室	0	0
18	4	2	4	待合室	0	0
19	4	2	5	診察室	0	0

※ここで入力・変更した電気ヒータ容量設定を、按分・料金計算に反映させるには、「4.3.7.按分・料金の再計算手順」にしたがって、按分データの「再計算」を行う必要があります。

この画面で設定しただけでは、按分率・料金・請求書の計算には反映されませんのでご注意ください。

ご参考

■按分率計算方法

（1）計算には次のような数値を用います。

- ①　R_{HHi}　室内ユニットｉ号機の急風累積運転時間
- ②　R_{Hi}　〃　強　風　〃
- ③　R_{Li}　〃　弱　風　〃
- ④　S_{HHi}　〃　急　風累積サーモＯＮ時間
- ⑤　S_{Hi}　〃　強　風　〃
- ⑥　S_{Li}　〃　弱　風　〃
- ⑦　H_i　〃　電　気ヒータ累積ＯＮ時間
- ⑧　PS_i　〃　能　力（ｋW相当値）
- ⑨　W_i　〃　電　気ヒータ容量［ｋW］（0.0～100.0）
- ⑩　n　当該グループに含まれる室内ユニットの台数
- ⑪　P_{HH}　急風の風力換算値（1.00固定）
- ⑫　P_H　強風の　〃　（0.00～1.00）
- ⑬　P_L　弱風の　〃　（0. 00～1.00）
- ⑭　k　PAC電力比係数　（0～30）

※ ①～③は各風速でのサーモＯＮ累積運転時間とサーモＯＦＦ累積運転時間の和です。
④～⑥は各風速でのサーモＯＮ累積運転時間です。
⑨はユーザーが室内機毎に設定します。（ヒータ有りの室内機のみ）
（→「5. 2.　電気ヒータ容量の設定」参照）
⑩は当該按分グループに所属する室内ユニットの台数です。
⑪～⑬は按分率を計算する上で風速の違いによる重みづけをするための値で、ユーザーが設定します。
（→「4.3.3.　計算パラメータ関連設定」参照）
⑭はPACのｻｰﾓONとｻｰﾓOFFとの重みづけのための係数で、ユーザーが設定します。
（→「4.3.3.　計算パラメータ関連設定」参照）

（2）按分率計算式

まず按分グループ全体の空調消費指数を次式で求めます。

《GHPの場合》

室　内 i 号機の便宜的な電力消費指数 TE_i は

$$TE_i = (R_{HHi} \cdot P_{HH} + R_{Hi} \cdot P_H + R_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i + (H_i \cdot W_i) \quad (※1)$$

室　内 i 号機の便宜的な室外エネルギー消費指数 TG_i は

$$TG_i = (S_{HHi} \cdot P_{HH} + S_{Hi} \cdot P_H + S_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i$$

《PACの場合》

$$TE_i = (R_{HHi} \cdot P_{HH} + R_{Hi} \cdot P_H + R_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i \div k$$
$$+ (S_{HHi} \cdot P_{HH} + S_{Hi} \cdot P_H + S_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i + (H_i \cdot W_i)$$
$$TG_i = 0 \quad (※2)$$

※1）按分モードが「サーモON按分」に設定されている場合は、GHP、PACともに

$$TE_i = TG_i = (S_{HHi} \cdot P_{HH} + S_{Hi} \cdot P_H + S_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i$$

となります。　(→「4.3.1.2.　按分モード」を参照)

※2）PACであってもHOTの場合は、

$$TG_i = (S_{HHi} \cdot P_{HH} + S_{Hi} \cdot P_H + S_{Li} \cdot P_L) \cdot PS_i$$

と なります。

一方、按分グループ全体の電力消費指数 $TOTAL_E$ とガス消費指数 $TOTAL_G$ は、グループ内のすべての室内ユニット（n台）について TE_i と TG_i を計算した合計値ですから

$$TOTAL_E = TE_1 + TE_2 + \cdots + TE_n$$
$$TOTAL_G = TG_1 + TG_2 + \cdots + TG_n$$

したがって、室内 i 号機の電力消費按分率 RE_i とガス消費按分率 RG_i は、グループ全体に対する自機の消費指数の比率であり

$$RE_i(\%) = \frac{TE_i}{TOTAL_E} \times 100$$

$$RG_i(\%) = \frac{TG_i}{TOTAL_G} \times 100$$

となります。PACの場合、$TG_i = 0$ ですから $RG_i = 0\%$ となります。

したがってテナント単位での電力按分率NE、ガス按分率NGは、テナント j に所属するユニットの台数をmとすれば次式で計算されます。

$$NE_j\ (\%) = RE_1 + RE_2 + \cdots + RE_m$$
$$NG_j\ (\%) = RG_1 + RG_2 + \cdots + RG_m$$

PACの場合は $RG_i = 0\%$ ですから $NG_j = 0\%$ になります。

■料金計算方法

（1）パルス単価方式の場合

以下のようなパラメータを用います。

① NE_j　テナント j の電力量按分率（%）
② NG_j　〃　ガス按分率　（%）
③ K_j　〃　基本料金　（円）
④ P_E1　当該グループの電力量計１からのパルス積算値
⑤ P_E2　当該グループの電力量計２からのパルス積算値
⑥ P_G　〃　ガスメータ　〃
⑦ @E1　電力量パルス単価１　（円／パルス）（0.00～9999.99）
⑧ @E2　電力量パルス単価２　（円／パルス）（0.00～9999.99）
⑨ @G　ガス流量パルス単価　（円／パルス）（0.00～9999.99）
⑩ α　管理費（円）　（－9999999～9999999）
⑪ Z　消費税率（%）（0～30）

※ ③は、テナントごとに、ユーザーが設定する基本料金です。

(→「4.3.2.4.　その他」「5.1.　テナント基本料金の設定」を参照)

④⑤⑥は、当該按分グループ用に登録された電力メータ、ガスメータからのパルスカウンタの積算値です。

１つの按分グループに複数のパルスメータが登録されているときは、電力、ガスごとに合計した値を用います。このカウント値を変更することもできます。　(→「4.3.4.　総量補正入力」参照)

⑦⑧⑨は、パルスメータから入力される１パルスが何円に相当するかを示す金額で、ユーザーが設定します。

(→「4.3.2.1.　パルス単価」を参照)

⑩は、ビルの管理者が管理費として空調料金に上乗せ請求できるもので、ユーザーが設定します。負の金額を設定すると、「一律値引き」として利用できます。(→「4.3.2.4．その他」を参照)

⑪は、最終的に算出された空調料金に付加する消費税の率で、ユーザーが設定します。

(→「4.3.2.4.　その他」を参照)

テナントごとの使用料金は、当該按分グループ全体で使用した料金を按分率に応じて分配したものですから、テナントｊの電力使用料金ＭＥ$_j$、ガス使用料金ＭＧ$_j$は次式となります。

ＭＥ$_j$（円）＝（P_E1·@Ｅ1＋P_E2·@Ｅ2）・ＮＥ$_j$

ＭＧ$_j$（円）＝（P_G·@Ｇ）・ＮＧ$_j$

ＰＡＣの場合、ＮＧ$_j$＝0％ ですから ＭＧ$_j$＝0円 です。
ただしＨＯＴの場合は

ＭＧ$_j$（円）＝（P_G·@Ｇ）・ＮＧ$_j$

となります。
さらにこれに基本料金と管理費を加え、全体に消費税をかけて最終的な空調料金とします。

$$請求額（円）=（K_j + ME_j + MG_j + \alpha）\times（1+\frac{Z}{100}）$$

※ 電力、ガスの使用量計算方法（パルス単価方式のみ）

@ＥＥ1，@ＥＥ2を電力のﾊﾟﾙｽ当量（kW／パルス）、@ＧＧをガスのﾊﾟﾙｽ当量（m^3／パルス）に読み替えることで、

ＭＭＥ$_j$（kWh）＝（P_E1·@ＥＥ1＋P_E2·@ＥＥ2）・ＮＥ$_j$

ＭＭＧ$_j$（m3）＝（P_G·@ＧＧ）・ＮＧ$_j$

ＰＡＣの場合、ＮＧ$_j$＝0％ ですから ＭＭＧ$_j$＝0m^3 です。
ただしＨＯＴの場合は

ＭＭＧ$_j$（m^3）＝（P_G·@ＧＧ）・ＮＧ$_j$

となります。

（２）時間単価方式の場合

以下のようなパラメータを用います。

① K_j　テナントｊの 基本料金（円）
② R_{HHi}　室内ユニットｉ号機の急風累積運転時間
③ R_{Hi}　〃　強風　〃
④ R_{Li}　〃　弱風　〃
⑤ S_{HHi}　室内ユニットｉ号機の急風累積サーモＯＮ時間
⑥ S_{Hi}　〃　強風　〃
⑦ S_{Li}　〃　弱風　〃
⑧ PS_i　〃　能力（kW相当値）
⑨ m　テナントｊに所属する室内ユニットの台数
⑩ @Ｅ　電力使用料金の時間単価（円）（0.00～9999.99）
⑪ @Ｇ　ガス使用料金の時間単価（円）（0.00～9999.99）
⑫ α　管理費（円）（－9999999～9999999）
⑬ Ｚ　消費税（％）（0～30）

⑩⑪は、単位時間当たりの電力、ガス使用料金であり、ユーザーが設定します。
（→「4.3.2.2.　時間単価」を参照）

①～⑨、,⑫⑬ は、すでに説明したものと同じです。

各室内ユニットの便宜上のエネルギー（ガス・電力）消費時間は、それぞれの風速での累積サーモＯＮ時間またはリモコンＯＮ時間の合計値に、そのユニットの能力を掛けたものとします。
したがって室内ｉ号機のエネルギー消費時間量Ｔ$_i$は

T_i ＝（S_{HHi}＋S_{Hi}＋S_{Li}）・PS_i　（ｻｰﾓON時間を使用する場合）

または

T_i ＝（R_{HHi}＋R_{Hi}＋R_{Li}）・PS_i　（ﾘﾓｺﾝON時間を使用する場合）

となります。ここでサーモＯＮ時間／リモコンＯＮ時間のどちらを使用するかは、ユーザーが選択します。
（→「4.3.1.2.　按分モード（使用データ）」を参照）

テナントｊ全体の便宜上の消費時間量Ｔ$_j$は

T_j ＝ T_1 ＋ T_2 ＋ ・・・・ ＋T_m

テナントｊ全体の使用料金は消費時間Ｔ$_j$に時間単価を掛けたものですから、テナントｊの電力使用料金ＭＥ$_j$、ガス使用料金ＭＧ$_j$は次式となります。

ＭＥ$_j$（円）＝ Ｔ$_j$・@Ｅ

ＭＧ$_j$（円）＝ Ｔ$_j$・@Ｇ

ただしＰＡＣの場合は ＭＧ$_j$＝0円 とします。
この使用料金に管理費を加え、全体に消費税を掛けたものを最終的な空調料金とします。

$$請求額（円）=（K_j + ME_j + MG_j + \alpha）\times（1+\frac{Z}{100}）$$

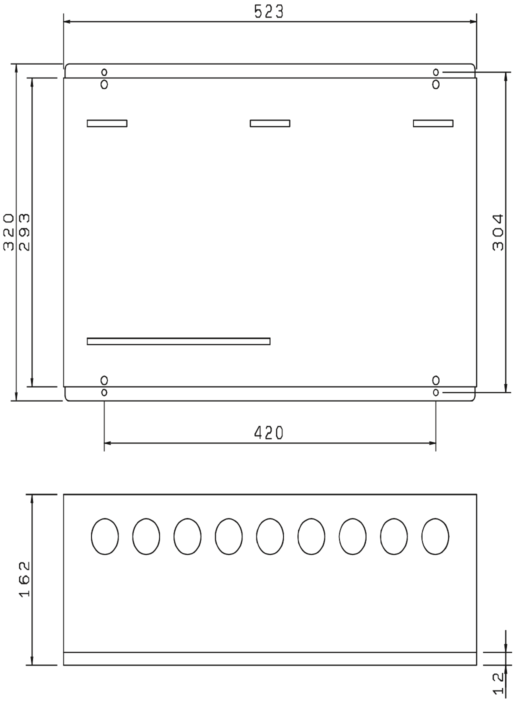
シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　仕様

●仕様

品　番		ACC-SP16TA
制御台数		室内：最多16グループ（最多64台）
外形寸法	mm	（高さ）160×（幅）523×（奥行）320
取付ピッチ	mm	420×305（φ5.0）
電　源	V	単相100V ／200V
消費電力	W	2.5
質　量	kg	8.0
配線長	室内外操作線	総延長距離　1km
	デジタル信号	シリパラ I/0～リモートステーション間100m以下
	アナログ信号	シリパラ I/0～リモートステーション間50m以下
表　示		運転ランプ（運転：点灯、警報：点滅）
		集中制御アドレス　LCD　表示

◎最多16グループ（最大64台）の室内機の制御及び状態監視ができます。
◎中央監視盤より、温度設定が可能となり、また逆に室温または吸込温度計測ができます。
◎室内機からのフィルタサイン出力を中央監視盤に送ることで、空気の汚れ具合を中央監視盤で監視できます。
◎シリパラ I/0ユニットは最多4台まで接続可能です。
◎汎用制御盤内標準取付寸法となっております。
注意：室内機の制御にはリモコンまたはシステムコントローラが必要です。

●外形寸法図



●入力仕様

	入　力	入力仕様	制御概要
室内機グループ毎	運転入力	・DV24V ・2入力 ・パルス信号	運転パルス（停止パルス）で運転（停止）
	停止入力		
	手元禁止入力	DC24V 連続信号	入力信号がONでリモコン禁止 禁止する項目は、次のスイッチで選択 ・運転／停止 ・運転モード ・運転／停止、運転モード ・運転／停止、運転モード、設定温度
	温度設定入力	【アナログ入力】 DC1～5V	設定温度範囲10～35℃（1℃ステップ） 制御範囲は運転モードにより異なります 1V以下の場合設定を無効、1V～5Ｖの範囲なら室内機に設定温度を指示　※1
一括	一括運転入力	・DC24V ・2入力 ・パルス信号	運転パルス（停止パルス）で当該ゾーン室内機を一括で運転（停止）
	一括停止入力		
	一括手元禁止入力	DC24V 連続信号	入力信号がONで当該ゾーン室内機を一括でリモコン禁止 禁止する項目は、次のグループ毎と同様
	緊急停止入力		入力信号がONで当該ゾーン室内機を一括で停止保持　※1

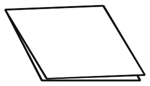
※1　リモコンに「集中管理中」表示

●出力仕様

	出　力	出力仕様	制御概要
室内機グループ毎	運転出力	無電圧 A接点出力	当該グループが運転でON
	警報出力		当該グループ内の室内機が1台でも警報の場合ON
	アンサーバック（COS出力）		運転指令入力時ON、停止指令入力OFF（応答時間1秒以内）
	フィルタ出力		当該グループ内の室内機が1台でもフィルタサイン有りの場合はON
	室内温度出力	【アナログ出力】 DC4～20mA	室温を常時出力し、モニタ温度範囲は5～36℃（0.5℃ステップ）
一括	一括運転出力	無電圧 A接点出力	当該グループ内の室内機が1台でも警報の場合ON
	一括警報出力		当該グループ内の室内機が1台でも警報の場合ON

シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

1.　付属部品

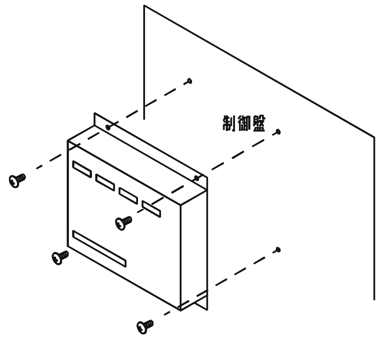
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	施工計画書 	1	②	取り付け用ネジ（タッピン4×12）	4

2.　取り付け方

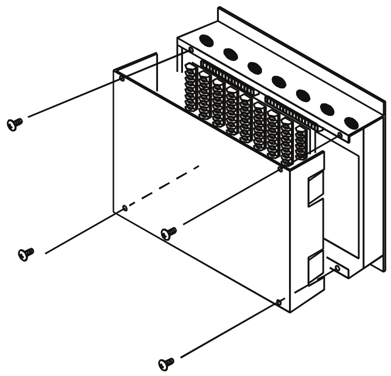
（注１）室内外操作線や入出力線は、電源配線などと一緒により合わせたり同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
（注２）シリパラI/Oユニットはノイズ発生源から離して据え付けてください。
（注３）水などがかかる場所や極端に湿気の多い所は避けてください。
（注４）過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

制御盤に組み込んで使用します。
シリパラI/Oユニットの数に合わせて制御盤を現地手配してください。

シリパラI/Oの取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。

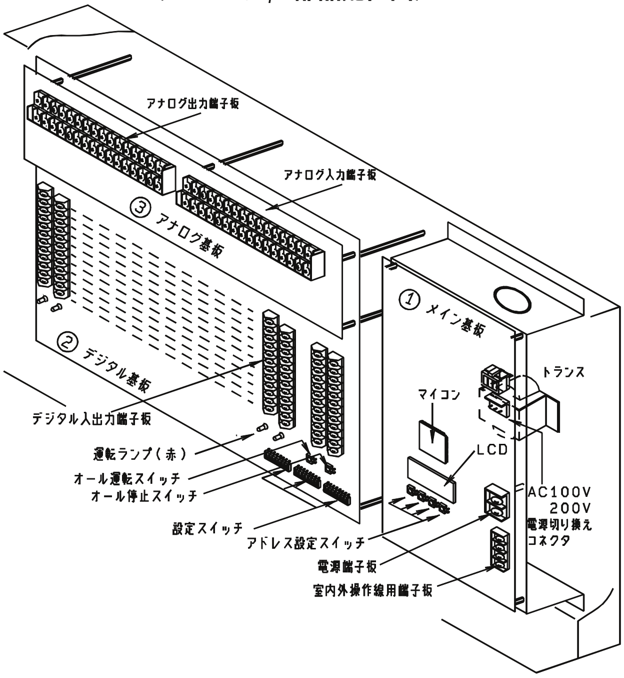


本体のネジ4本を外し、上ケースを外します。



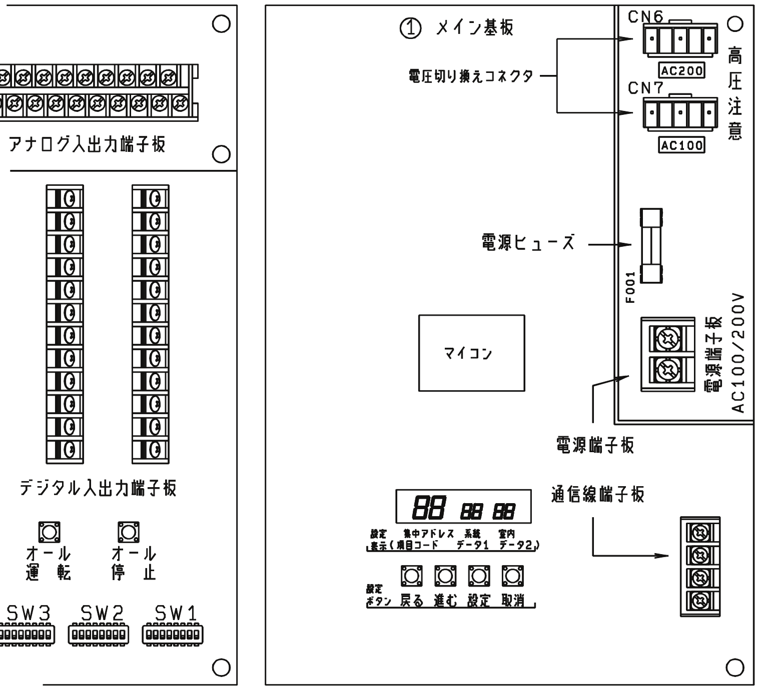
①電源の接続
本機はAC100VまたはAC200Vのうち一方を使用できます。ACC-SP16TAの①メイン基板のコネクタCN6（AC200V用）CN7（AC100V用）のいずれかにトランスの1次側を差し替えて使用します。
使用する電源電圧を確認して切り換えてください。
工場出荷時はCN6（AC200V）に設定されています。
（注意）電源電圧とトランスの1次側の切り換えを間違えますと、壊れる恐れがありますので注意してください。コネクタの差し替えは電源を切ってから作業を行ってください。
高電圧回路のため感電する恐れがあります。

〈シリパラI/O部品配置図〉

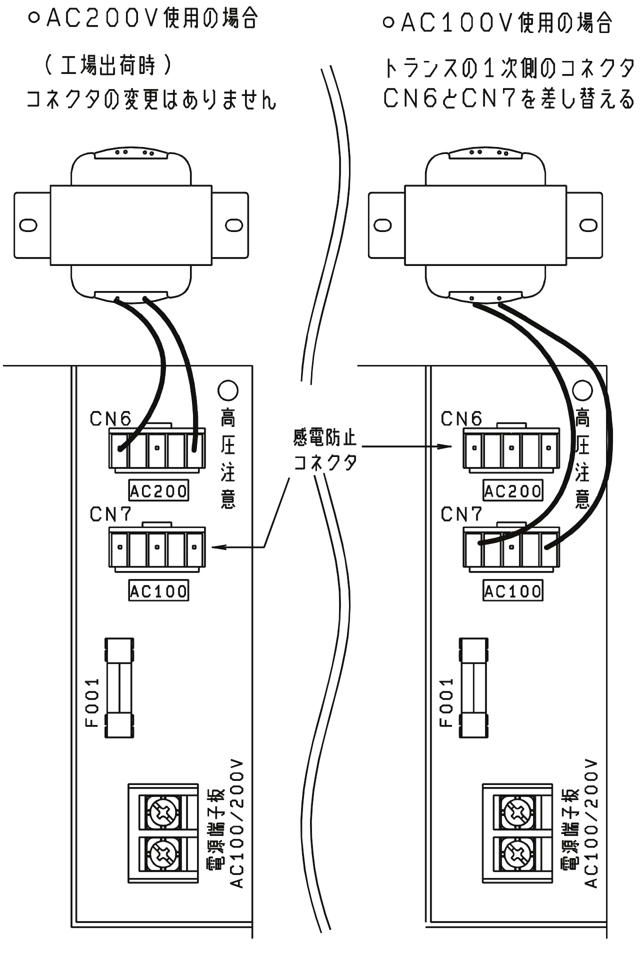


シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

〈基板端子配置図及びスイッチ配置図〉



工場出荷時①メイン基板のCN7（AC100V）には感電防止のためにコネクタハウジングが装着されています。AC100Vに切り換える場合は、電源トランスの1次側リード線をCN6（AC200）からCN7（AC100）に差し替えCN7にあったハウジングをCN6に装着します。（下図参照）



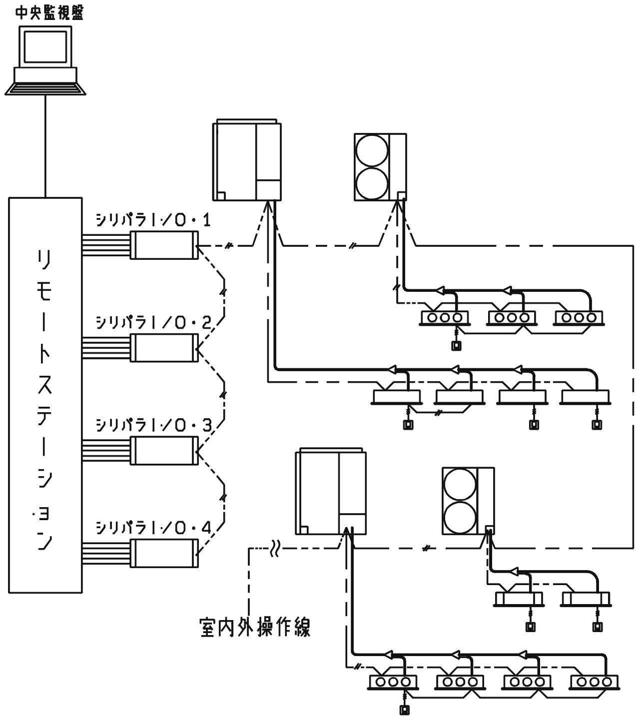
シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

②シリパラI/Oと室内外操作線の接続

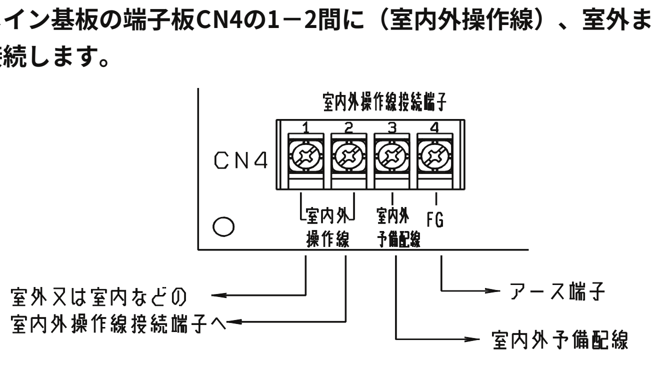
室内外操作線は2芯0.5mm^2～2.0mm^{2}の電線を使用してください。
（総延長1000mまで）信号線には極性がありません。
電源配線と同一電線管内に通したり、同一管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近付けたりしないでください。
室内外操作線は電源配線との違いの分かる信号線を使用してください。

〈信号線線種〉	太さ　0.5mm^2～2.0mm^2
CVV（JIS C3401）	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル
VCTF （JIS C3306）	ビニルキャプタイヤ丸形コード
VCT （JIS C3401）	600V ビニルキャプタイヤケーブル
VVR（JIS C3342）	ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形
MVVS	編組遮付計装用ケーブル
CPEVS	シールド付きポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル

〈基本配線図〉
○室内外操作線は下図のような配線をしてください。
○１システムの接続台数は室内機最大64台、室外機30台までです。
○１システム内に16グループ単位で増設でき、最大4台接続時、64台グループを管理できます。



〈配線の手順〉
◎室内外操作線
①メイン基板の端子板CN4の1－2間に（室内外操作線）、室外または室内ユニットの室内外操作線用接続端子に接続します。



室内外操作線端子板に電源線（AC100V/200V）を配線していないか確認してください。謝って電源を印加した場合は、基板のヒューズ（F3、0.5A）が溶断して基板を保護するようにしています。電源配線接続を修正した後、室内外操作線をCN4の2－3間に配線を行ってください。（作業は必ず電源OFFしてから行ってください。）

シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

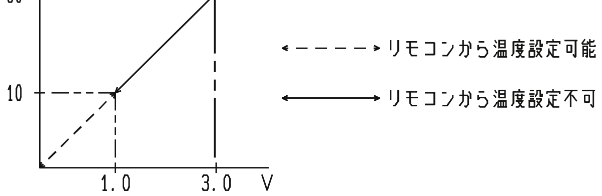
③シリパラI/Oと外部接続（リモートステーション）間の配線

名称	入出力項目	シリパラI／Oユニット側 入出力条件	シリパラI／Oユニット側 端子番号	設備側（リモートステーション） 切分け端子	設備側（リモートステーション） 回路例	設備側（リモートステーション） 入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	運転出力 警報出力 無電圧Ａ接点スタティック 接点許容電圧・電流 ＤＣ３０Ｖ，０．５Ａ （最小負荷　１Ｖ　１ｍＡ）	12P-1 12P-2 12P-3	CPEV0.9～ø1.2	デジタル入力	運転・停止入力に対する応答時間 最大　４０ｓｅｃ
		ＣＯＳ出力 （アンサーバック） 無電圧Ａ接点スタティック 接点許容電圧・電流 ＤＣ３０Ｖ，０．５Ａ （最小負荷　１Ｖ　１ｍＡ）	12P-4 12P-5	CPEV0.9～ø1.2	デジタル入力	運転・停止入力に対する応答時間 最大　１ｓｅｃ
		フイルタサイン出力 電圧Ａ接点スタティック 接点許容電圧電流 ＤＣ３０Ｖ，０．５Ａ （最小負荷　１Ｖ　１ｍＡ）	12P-6 12P-7	CPEV0.9～ø1.2	デジタル入力	フイルタサイン有りでＯＮ
	制御入力	運転入力 停止入力 電圧Ａ接点パルス 接点許容電圧電流 ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ	CX 12P-8 TX 12P-9 12P-10	CPEV0.9～ø1.2	＋２４Ｖ ＣＯＭ	パルス幅 ３００ｍｓｅｃ以上
		集中入力 電圧Ａ接点スタティック 接点許容電圧電流 ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ	CX 12P-11 12P-12	CPEV0.9～ø1.2	＋２４Ｖ ＣＯＭ	スタティック入力の立上りで手元禁止 立下りで手元許可
		緊急停止入力　※１ 電圧Ａ接点スタティック 接点許容電圧電流 ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ	CX 12P-8 12P-9	CPEV0.9～ø1.2	＋２４Ｖ ＣＯＭ	スタティック入力の立上りで停止および手元禁止 立下りで 手元禁止解除
アナログ入出力端子	アナログ出力 ※３	室内温度モニタ出力 出力電流４ｍＡ～２０ｍＡ 温度指示範囲５℃～３６℃ ０．５℃ステップ 入力インピーダンス２５０Ω リモコンセンサ時： リモコン温度 ボディセンサ時：　吸込温度	検出器 変換器 B(+) A(-)	CPEV-S0.9～ø1.2	絶縁型アナログ入力 G	アナログ出力は１６ユニット分あります。アナログ入力はそれぞれ独立した絶縁型のものをご使用ください。
	アナログ入力 ※２	室内温度設定入力 入力電圧　１Ｖ～５Ｖ 設定温度範囲　室内機の設定温度範囲内　１℃ステップ 入力インピーダンス１ＭΩ	変換器 B(+) A(-)	CPEV-S0.9～ø1.2	アナログ出力 G	

シリパラI/Oユニットと設備側の配線長について
アナログ信号は50m以下。　デジタル信号は100m以下で使用してください。

※１　緊急停止信号について
入力信号と同時にそのシリパラI/Oに接続された全室内機を停止させ、リモコンを手元操作禁止します。
入力信号OFFでリモコンを手元操作禁止解除となります。

※２　温度設定入力（アナログ入力）について
室温温度の設定がDC1～5Vにある場合は、設定値を該当グループへ送信し、空調機ごとの設定温度範囲内で設定されます。温度指示範囲は1℃ステップになっております。中央監視側での計測単位（分解能）にご注意ください。1.0V以上の信号を入力しますと、リモコンは集中管理中を点灯させ温度設定不可となります。1.0V以下でリモコンで温度設定可能となります。

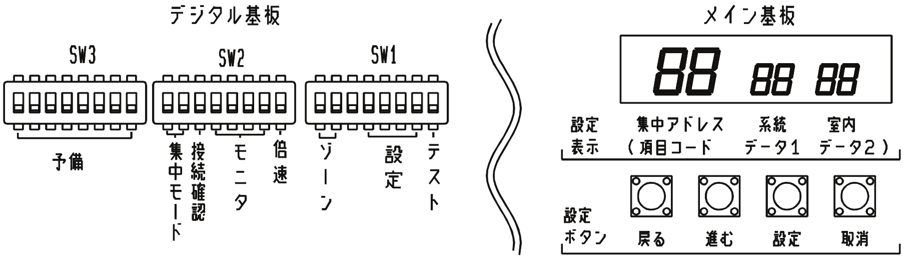


※３　室温温度モニター（アナログ出力）について
室温温度モニタ信号はDC4～20mA（5～35℃）出力となっておりますが、温度指示範囲は0.5℃ステップとなっております。中央監視側での計測単位（分解能）にご注意ください。

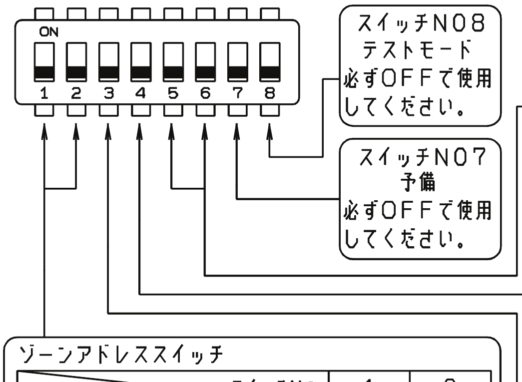
※４　旧形システム接続について
パッケージエアコンのS･R形およびガスヒートポンプエアコンのF･E形はローカルアダプタ（SHA-KL1G）を使用することで接続可能です。ただし、温度設定（アナログ入力）はできません。

シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

4.　設定スイッチ、表示について



● 設定スイッチについて（ＳＷ１）



スイッチＮＯ８
テストモード
必ずＯＦＦで使用してください。

スイッチＮＯ７
予備
必ずＯＦＦで使用してください。

集中制御アドレス登録スイッチ

スイッチＮＯ	５	６
通常モード	OFF	OFF
手動　集中制御アドレス登録：C1	ON	OFF
自動　集中制御アドレス登録：C2	OFF	ON

スイッチＮＯ４
集中制御親子切換
親：ＯＦＦ　子：　ＯＮ
通常親（ＯＦＦ）で使用します。
ＡＭＹアダプタ、インテリジェントコントローラ、システムコントローラと併用する場合、子（ＯＮ）にしてください。

スイッチＮＯ３
予備
必ずＯＦＦで使用してください。

ゾーンアドレススイッチ

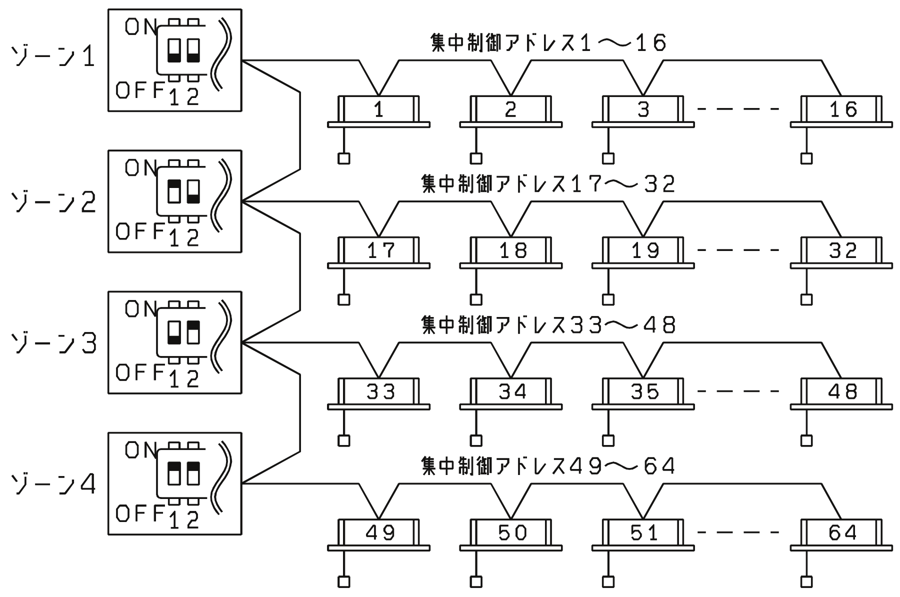
ゾーンアドレス ＼ スイッチＮＯ	１	２
１（集中制御アドレス　１～１６）	ＯＦＦ	ＯＦＦ
２（集中制御アドレス１７～３２）	ＯＮ	ＯＦＦ
３（集中制御アドレス３３～４８）	ＯＦＦ	ＯＮ
４（集中制御アドレス４９～６４）	ＯＮ	ＯＮ

◎SW2、SW3の設定について
予備スイッチ全て必ずOFFで使用してください。

5.　シリパラI/Oのゾーンアドレス設定スイッチについて

シリパラI/Oを複数のゾーンで制御する場合は、ゾーンアドレスの設定が必要です。
（SW1の設定スイッチ1番と2番）
◎1ゾーンだけで使用する場合は、ゾーン1に設定します。
◎複数のゾーンで使用する場合、1台シリパラI/Oは必ずゾーン1に設定してください。

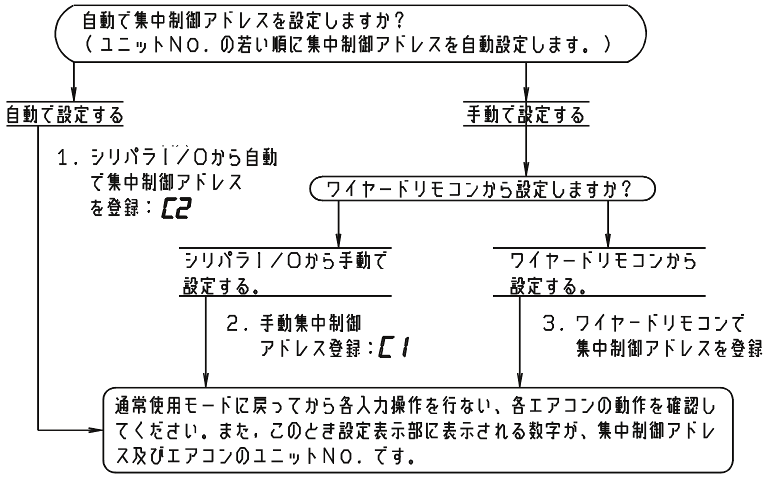
シリパラＩ／Ｏ　ＳＷ１



シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

6．集中アドレスの設定のしかた

すべてのエアコンの電源を入れてください。
エアコンの試運転を終了してから、下記の手順に従って、集中制御アドレスを設定してください。



自動で設定する

1．シリパラI/Oから自動で集中制御アドレスを登録：C2

◎1台のシリパラI/Oですべてのゾーンの集中制御アドレスが自動で設定できます。

①シリパラI/Oのデジタル基板上の設定スイッチ（SW1）の5番をOFF、6番をONにします。（C2が点灯）
②「設定ボタン」を押すと、（C2が消灯し、集中制御アドレス表示1になります。）自動集中制御アドレス登録を開始します。（数分程度かかります。）
③登録終了後、設定表示がC2 End 表示になり、登録が終了します。（登録中は、現在登録中の集中制御アドレス、ユニットNo. を表示します。）
④設定スイッチの5番と6番をOFFにします。
⑤シリパラI/Oが自動的に室内外操作線の通信の初期設定を行い、登録が終了します。所期設定中は端子板15、16の運転ランプ（赤色）が交互に点滅します。

シリパラI/Oから手動で設定する

2．手動集中制御アドレス登録：C1

◎1台のシリパラI/Oですべてのゾーンの集中制御アドレスが自動で設定できます。

①リモコンを接続して、室内ユニットのユニットNo. を確認し、施工計画書を作成してください。
②シリパラI/Oのデジタル基板上のジップスイッチSW1の設定スイッチ5番をON、6番をOFFにします。（C1が点灯、ユニットNo. が－－で点滅します。）
③「設定」ボタンを押します。、（C1が消灯し集中制御アドレス表示になります。）
④「戻る」「進む」ボタンで、設定したい集中制御アドレスを選択します。すでに集中制御アドレスが設定されている場合、ユニットNo. が点滅表示します。
⑤「設定」ボタンを押すと、集中制御アドレス表示が点滅から点灯になり、ユニットNo. が点滅表示します。
⑥「戻る」「進む」ボタンで、設定したいユニットNo.（グループ制御時は親機）を選択します。系統が無い時、案内No. は－－表示します。系統31はローカルアダプタ用で、存在の有無に関わらず室内No. 1～64を表示します。
⑦「設定」ボタンを押すと、ユニットNo. 表示が点滅から点灯に変わります。（設定できない時は、集中制御アドレス表示が点滅、ユニットNo. が－－になります。）取り消す場合は「取消」ボタンを押します。
⑧登録を続ける時は、④～⑦を繰り返します。登録を終了する時は設定スイッチ5番と6番をOFFします。
⑨シリパラI/Oが自動的に室内外操作線の通信の初期設定を行い、登録が終了します。所期設定中は端子板15、16の運転ランプ（赤色）が交互に点滅します。

シリパラI/Oユニット／ACC-SP16TA…別売品　施工

ワイヤードリモコンから設定する

３.ワイヤードリモコンで集中制御アドレスを登録する

◎エアコンが停止中に行ってください。

◎すべてのエアコンに対して下記の①～⑥の操作を行ってください。

① 試運転／点検 ボタンを4秒間以上押し続けます。

② ユニット選択 ボタンを押さないでください。

③ 温度設定 ▲ ▼ ボタンで項目コードを03にします。

④ タイマー時間 ▲ ▼ ボタンで、集中制御アドレスを設定します。

集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ	集中制御アドレス	ゾーン	グループ
1	1	1	17	2	1	33	3	1	49	4	1
2		2	18		2	34		2	50		2
3		3	19		3	35		3	51		3
4		4	20		4	36		4	52		4
5		5	21		5	37		5	53		5
6		6	22		6	38		6	54		6
7		7	23		7	39		7	55		7
8		8	24		8	40		8	56		8
9		9	25		9	41		9	57		9
10		10	26		10	42		10	58		10
11		11	27		11	43		11	59		11
12		12	28		12	44		12	60		12
13		13	29		13	45		13	61		13
14		14	30		14	46		14	62		14
15		15	31		15	47		15	63		15
16		16	32		16	48		16	64		16
									99	未設定	

⑤ セット ボタンを押します。 設定中 が点滅から点灯に変わる。

⑥ 試運転／点検 ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了します。（通常の停止状態になる）

7． 試運転

1． エアコンの電源をすべて入れてください。
2． シリパラI･Oの電源を入れてください。
3． シリパラI･Oから運転し、運転ランプで動作を確認してください。
4． オール運転スイッチを押し、エアコンがONすることを確認してください。
5． オール停止スイッチを押し、エアコンが停止することを確認してください。

◎次の場合は、運転ランプが消灯または点滅しますので、点検してください。

①オール運転スイッチを押しても、接続されている運転ランプが点灯しない時。
　シリパラI･Oユニットの設定スイッチが正しく接続されていますか。
　エアコンの集中制御アドレス番号が正しく設定されていますか。
　エアコンの電源が入っていますか。
　信号線がどこかで短絡または断線していませんか。
　※接続確認スイッチ（ＳW2の設定スイッチの3番）をONすると、接続しているエアコンを運転ランプで表示します。

②運転ランプが点滅した時
　エアコンの動作を確認してください。エアコンの保護装置がはたらいています。

③運転ランプ15、16が交互点滅した時
　室内外操作線の通信の初期設定を行っています。しばらくお待ちください。

6． 外部設備（リモートステーション）から操作して、動作を点検してください。

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

1.　仕様概要

1－1.　特徴

・室外シリパラI/Oユニット1台で最多4台の室外機の制御／状態監視ができます。
・室外シリパラI/Oユニット8台接続で最多30台の室外機へ対応が可能です。
・外部入力部は有電圧（DC24V）／無電圧　共用です。
・同一設定を複数に入力する場合、渡り配線が不要となる設定が可能（渡りSWで選択）です。

1－2.　仕様

制御台数	室外機4台分
電源定格	AC単相100V／200V±10%・50／60Hz
消費電力	18W
外形寸法／質量 配線長	H80×W290×D260／約3.2kg 室内外操作線　総延長1km　デジタル信号100m以下
表示	運転LED、警報LED

1－3.　入出力仕様

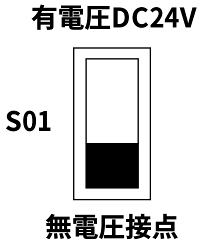
入　力	一括運転入力	運転パルス	・無電圧a接点／DC24V （スライドSW切替） ・パルス入力幅300ms以上 ・絶縁方式：フォトカプラ
	一括停止入力	停止パルス／スタティック	
	冷房入力	冷房固定スタティック※	
	暖房入力	暖房固定スタティック※	
	デマンド入力1	デマンド入力 （切替により手元禁止） （スタティック）	
	デマンド入力2		
出　力	警報出力	室外ユニットの警報作動中 室内ユニットが1台以上警報作動中	無電圧a接点 接点容量（AC250V/DC30V 3A） 最小適用負荷（DC5V 10mA）
	運転出力	該当室外機系統の室内機が1台以上運転中	

※　スーパーエスパシオ、エスパシオ機種は、モード固定がないので固定にはならないが、
　　冷暖の変化に対応しています。

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

2．設定スイッチについて

●設定スイッチS01について（電圧切替は電源を入れる前に行ってください。）

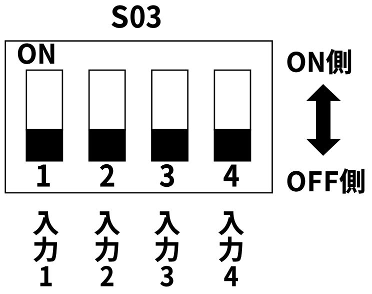


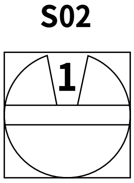
・S01（接点入力電圧切替SW）（出荷時：無電圧接点）について

1．入力端子を無電圧A接点で使用するときスイッチ01を無電圧接点側にいれる。

2．入力端子を有電圧DC24V接点で使用するときスイッチ01を有電圧DC24V側にいれる。

●設定スイッチS02、S03について





・S02（室外SPアドレス設定SW）
室外シリパラのアドレスを設定するSWです。（※1参照）

・S03（室外機設定SW）
接続室外機を設定するSWです。使用する入力はSWを必ずONに切り換えてください（注：OFF入力のものは入出力を行いません）。

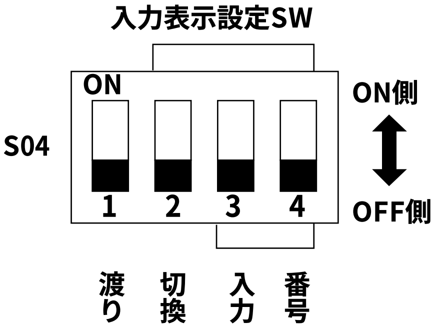
1：系統アドレス　1～4　　2：系統アドレス　5～4
3：系統アドレス　9～12　　4：系統アドレス　13～16
5：系統アドレス　17～20　　6：系統アドレス　21～24
7：系統アドレス　25～28　　8：系統アドレス　29～30
（0は1と同じ設定。9は8と同じ設定）

（※1）S02（室外SPアドレス設定SW）を換えた時の入出力端子台（入出力1～4）と系統アドレスとの関係

SO2（室外SPアドレス設定SW）	入出力端子台番号 1	2	3	4	
1	1	2	3	4	系統アドレス（室外機アドレス）
2	5	6	7	8	
3	9	10	11	12	
4	13	14	15	16	
5	17	18	19	20	
6	21	22	23	24	
7	25	26	27	28	
8	29	30	30	30	

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

●設定スイッチS04について



・S04-1（出荷時OFF）

渡り	OFF	渡り処理無し（通常）
	ON	渡り処理有り（端子台入力1にのみ配線してください）

※渡り処理有りの場合：端子台入力1～4に渡りの配線をしたのと同様の処理を行います。（入力2～4にも入力1と同じ入力があるものとして処理します。）渡り入力有りの場合もS03でoff入力のものは、入、出力の動作は行いません。

・S04-2（出荷時OFF）

切換	OFF	LED1～4に対応する室外機との通信状態を表示します。
	ON	LED（6個）に入力番号で選択した端子台の各入力状態（運転、停止など）を表示します。

・S04-3、4入力番号選択：確認したい入力番号を選びます。

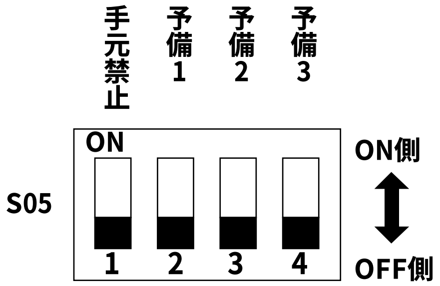
	S04-3	S04-4
入力1	OFF	OFF
入力2	OFF	ON
入力3	ON	OFF
入力4	ON	ON

※S04-2（切換）とS04-3、4（入力番号）に設定によりLEDに以下の表示を行います。
（切換がONになっていると選択した入力番号の入力端子台に入力されている信号に応じたLEDを点灯します）

切換	OFF（通常時）	ON（入力確認時）
LEDの説明	1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ ○ ○ （1～4）番号に対応する室外機との通信が　正常時：点灯　異常時：点滅	運　転 ○ 停　止 ○ 冷　房 ○ 暖　房 ○ デマンド1 ○ デマンド1 ○ 入力有り：点灯 入力無し：消灯

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

●設定スイッチS05について



・S05-1（出荷時OFF）手元禁止SWで入力を以下のように切り替えます。

手元禁止	OFF	デマンド1／デマンド2
	ON	サーモOFF（※1）／手元禁止

※1：強制サーモOFF（100%のデマンド）入力になります。

〔スーパーエスパシオの例〕

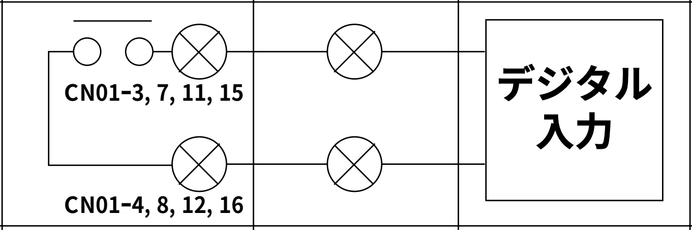
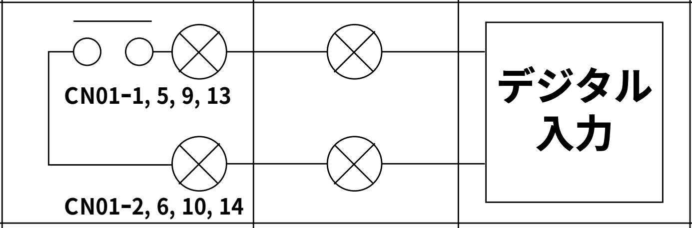
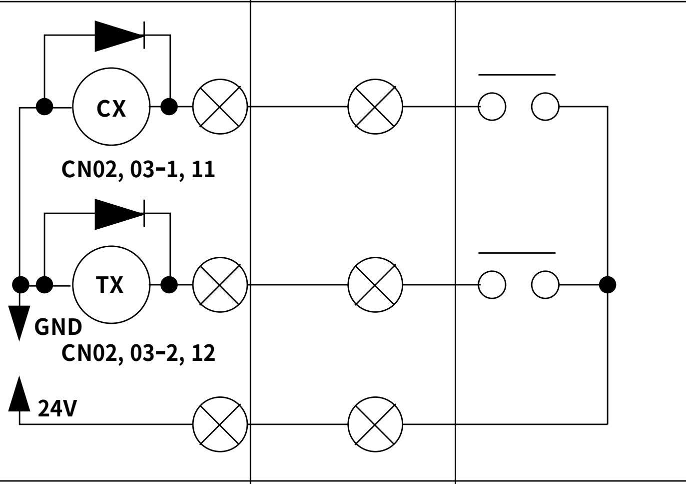
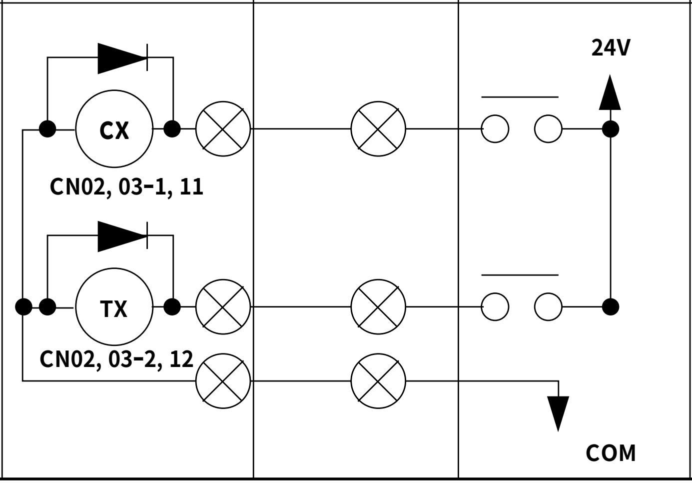
デマンド1	デマンド2	運転範囲（MAX）
OFF	OFF	100%
ON	OFF	75%
OFF	ON	50%
ON	ON	0%

〔エスパシオの例〕

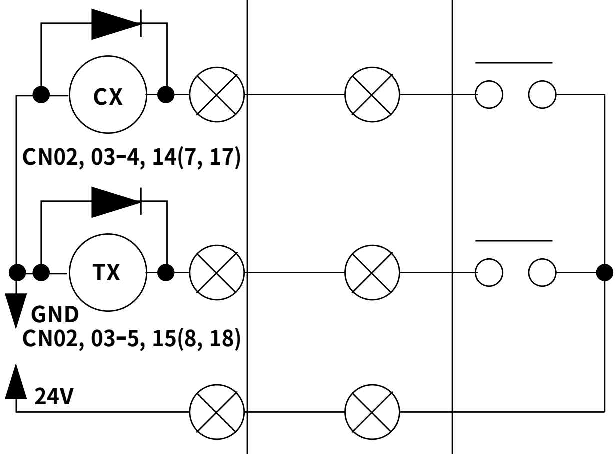
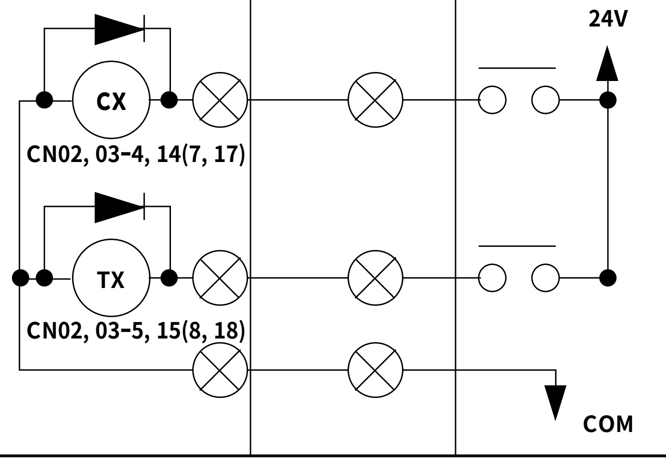
デマンド1	デマンド2	運転範囲（MAX）
OFF	OFF	100%
ON	OFF	対応していません（100%）
OFF	ON	対応していません（100%）
ON	ON	0%

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

３．室外シリパラI/Oと外部接続（中央制御盤、中央監視盤）間の接続

名称	入出力項目	室外シリパラI/Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	状態出力	運転出力1～4 無電圧a接点出力 接点許容電圧電流 30V/1A 最小適用負荷 1V 1mA	 CN01-3, 7, 11, 15 CN01-4, 8, 12, 16		デジタル入力	運転、停止入力に対応する応答時間最大20sec
		警報出力1～4 無電圧a接点出力 接点許容電圧電流 30V/1A 最小適用負荷 1V 1mA	 CN01-1, 5, 9, 13 CN01-2, 6, 10, 14		デジタル入力	運転、停止入力に対応する応答時間最大20sec
	制御入力	一括運転入力 一括停止入力 （パルス／スタティック） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ01を 無電圧接点 （出荷時）	 CX CN02, 03-1, 11 TX GND CN02, 03-2, 12 24V			パルス幅300sec以上 無電圧a接点出力
		一括運転入力 一括停止入力 （パルス／スタティック） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ01を 有電圧DC24V	 CX CN02, 03-1, 11 TX CN02, 03-2, 12		24V COM	パルス幅300sec以上 無電圧a接点出力

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

名称	入出力項目	室外シリパラI/Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力 (スタティック)	冷房入力 暖房入力 (デマンド1、デマンド2) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ01を 無電圧接点方向 （出荷時）				パルス幅300sec 以上 無電圧a接点出力
		冷房入力 暖房入力 (デマンド1、デマンド2) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA スイッチ01を 有電圧DC24V方向				パルス幅300sec 以上 無電圧a接点出力

注）カッコ無いのデマンド1、2入力は冷房、暖房入力と構成が同一のためまとめての上記とした。

・室外シリパラI/Oユニットと設備側の配線長について
デジタル信号は100m以下で使用してください。

室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

※入力端子台対応表（CN02, CN03）

	入力1	入力2	入力3	入力4
一括運転	CN 02 上段の運転 COM	CN 02 下段の運転 COM	CN 03 上段の運転 COM	CN 03 下段の運転 COM
一括停止	CN 02 上段の停止 COM	CN 02 下段の停止 COM	CN 03 上段の停止 COM	CN 03 下段の停止 COM
冷房 暖房	CN 02 上段の冷房 COM CN 02 上段の暖房 COM	CN 02 下段の冷房 COM CN 02 下段の暖房 COM	CN 03 上段の冷房 COM CN 03 上段の暖房 COM	CN 03 下段の冷房 COM CN 03 下段の暖房 COM
デマンド1 ／サーモoff	CN 02 上段のデマンド 1 ／サーモoff COM	CN 02 下段のデマンド 1 ／サーモoff COM	CN 03 上段のデマンド 1 ／サーモoff COM	CN 03 下段のデマンド 1 ／サーモoff COM
デマンド2 ／手元禁止	CN 02 上段のデマンド 2 ／手元禁止 COM	CN 02 下段のデマンド 2 ／手元禁止 COM	CN 03 上段のデマンド 2 ／手元禁止 COM	CN 03 下段のデマンド 2 ／手元禁止 COM

※各入力の配線時の極性

	各入力（運転、停止、冷房、暖房、 デマンド1／サーモoff、 デマンド2／手元禁止）	COM
S01 方向無電圧接点	無電圧接点のため極性無し	無電圧接点のため極性無し
S01 方向有電圧DC24V	正極	COM

※出力端子台対応表（CN01）

	出力1	出力2	出力3	出力4
運転出力	CN 01の3－4 （運転出力1）	CN 01の7－8 （運転出力2）	CN 01の11－12 （運転出力3）	CN 01の15－16 （運転出力4）
警報出力	CN 01の1－2 （警報出力1）	CN 01の5－6 （警報出力2）	CN 01の9－10 （警報出力3）	CN 01の13－14 （警報出力4）

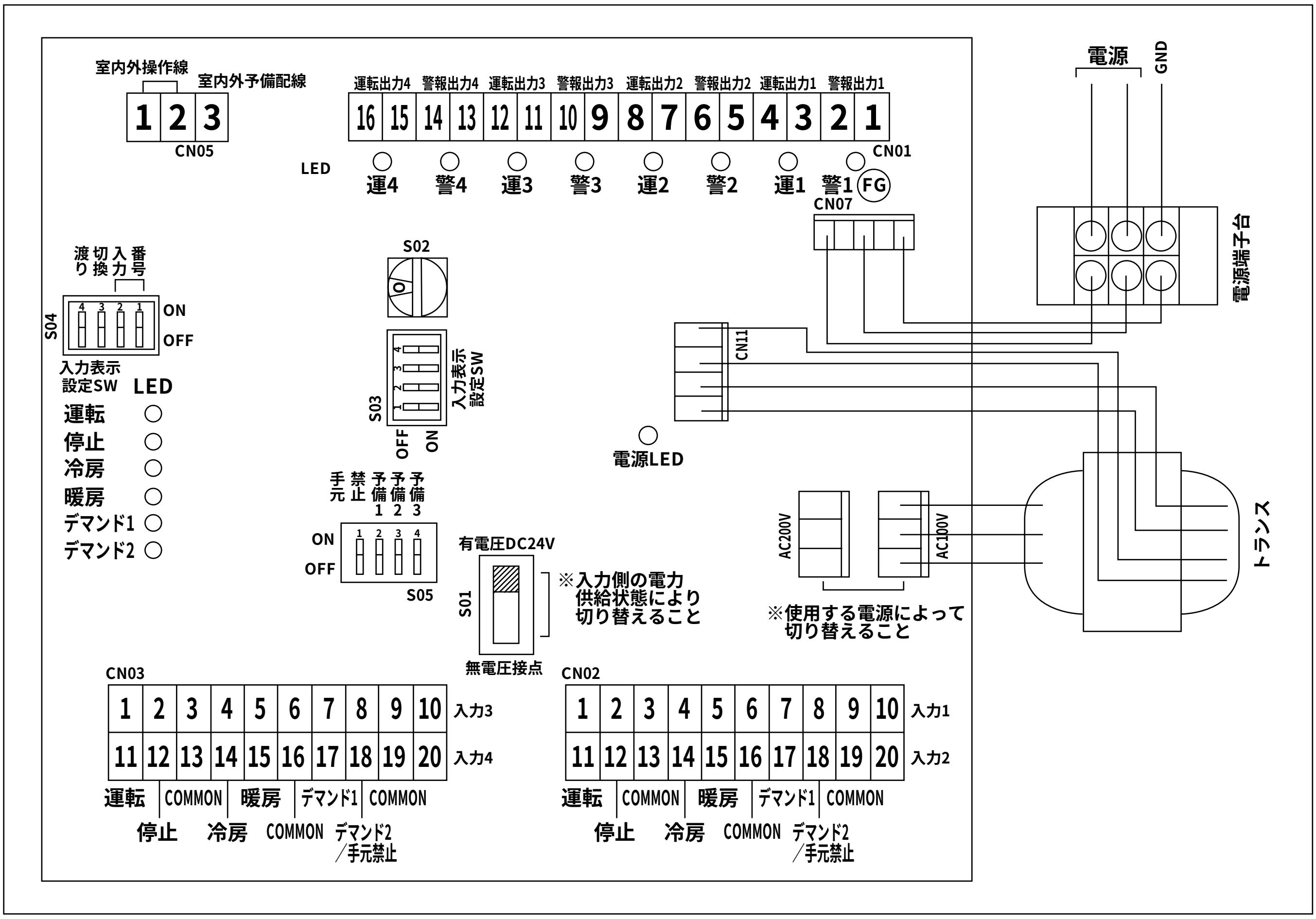
室外シリパラI/Oユニット／ACC-XSP4U1…別売品　仕様

４．試運転について

1. エアコンの電源をすべて入れてください。試運転が全て完了していることを確認してください。
2. エアコンの試運転が終了してから以下の手順で行ってください。
3. 室外シリパラI/Oユニットの電源をいれてください（設定は電源投入前の済ませてください）。
4. 室外シリパラI/Oユニットと室外機との通信が異常なければ、室外シリパラI/Oユニットから一括運転を入力（入力端子台の運転とCOMを接続してください）し、運転ランプで確認してください。同様に各入力も確認してください。入力の確認を行う場合は設定スイッチのS04の3、4（入力番号スイッチ）で確認したい入力の番号を設定した後S04の2（切換スイッチ）をONして確認を行えます（「設定スイッチについて」を参照ください）

・室外シリパラI/Oユニットと室外機の間で通信異常発生後約3分経過した場合通信確認LEDが点滅します。
　点滅時は点滅している室外機の通信線の接続及び電源等を確認して修正してください。

５．部品配置図



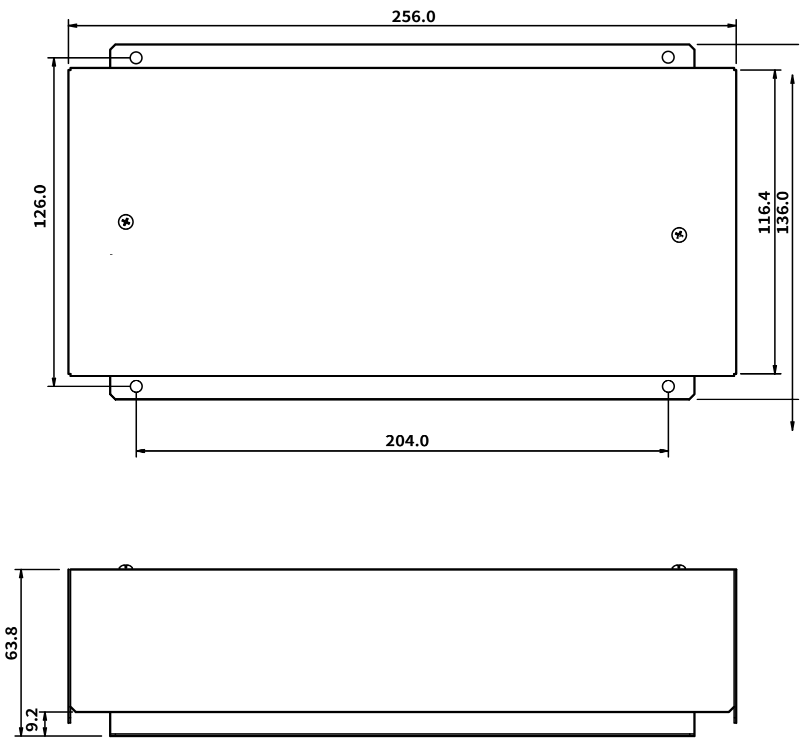
ミニシリパラI/Oユニット／ACC-SP1A…別売品　仕様

製品仕様

接続対象	PAC:　T･U･A･B形 GHP:　G･H･J･K形
電源	DC12V
消費電力	1.2W
使用環境条件	温度－10℃～50℃、湿度20%～80%、屋内専用
外形寸法	幅256.0mm×奥行136.0mm×高さ63.8mm
重さ	0.9 kg

外形寸法図

単位: mm



8546435970400

85464359704002

ミニシリパラ I／O ユニット　（ACC-SP1A）

据付（電気）工事（試運転）担当の方へ

安全上のご注意

＊据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
＊個々に示した注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を追う可能性が想定される場合及び物理的損害のみの発生が想定される場合

据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法を説明してください。また、″据付（電気）工事担当の方へ″は、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告

- ●据え付け、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。 ご自分で据え付け工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。
- ●据え付け工事は″据付（電気）工事担当の方へ″に従って確実に行ってください。据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。
- ●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び″据付（電気）工事担当の方へ″に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

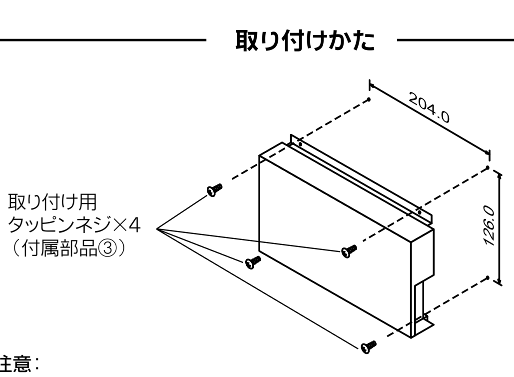
- ●設置場所によっては、漏電遮断機の取り付けが必要です。漏電遮断機が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- ●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

付属部品

番号	部品	個数	番号	部品	個数
①	室内A,B,H,J,K形用 T10ケーブル（150mm） 電流ヒューズ付　※1	1	③	取り付け用ネジ タッピンネジ（φ4×8mm）	4
			④	ワイヤージョイント	2
②	室内T,U,G形用 T10ケーブル（100mm）	1	⑤	工事説明書（本紙）	1

※1　ヒューズが配線の短絡、誤配線及び過電流で溶断した際には、125V／0.1Aのものと交換してください。

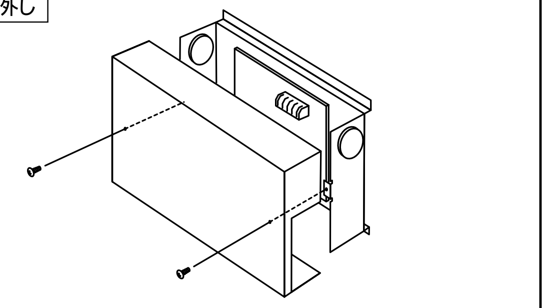
取り付けかた



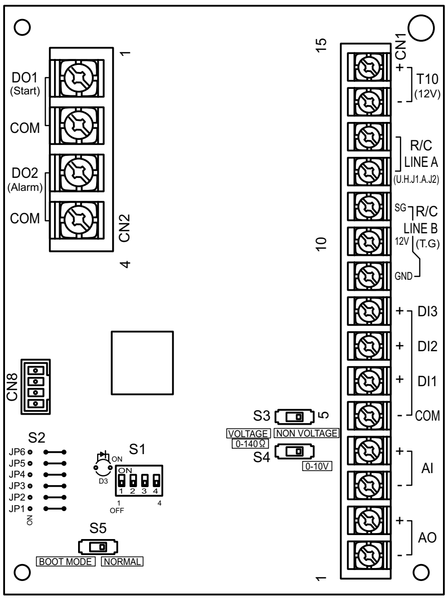
ご注意：
- ●通信線は、電源線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因になりますので避けてください。
- ●ノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
- ●水などかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- ●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

配線のしかた

カバーの取り外し



端子板配置図およびスイッチ配置



CN1	15	+	T10（12V）	電源12V
	14	-		
	13		R／C LINE A	リモコン配線A
	12			
	11	SG	R／C LINE B	リモコン配線B
	10	12V		
	9	GND		
	8	+	DI 3	デジタル入力
	7	+	DI 2	
	6	+	DI 1	
	5	-	COM	
	4	+	AI	アナログ入力（設定温度変更）
	3	-		
	2	+	AO	アナログ出力（室温モニタ）
	1	-		

CN2	1	DO1	デジタル出力1（運転出力）
	2	COM	
	3	DO2	デジタル出力2（警報出力）
	4	COM	

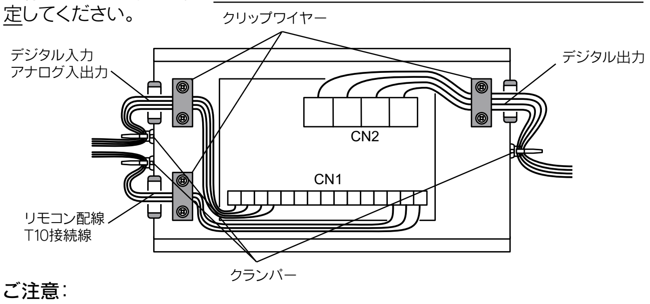
S1	制御タイプ設定スイッチ
S2	詳細設定スイッチ
S3	有電圧／無電圧切換スイッチ
S4	設定温度入力切換スイッチ
S5	未使用

CN8	未使用

ご注意：
●端子板への配線接続は、必ず被覆押え付きの丸型端子をご使用ください。
（CN1側：M3.0、 CN2側：M3.5）

配線処理のしかた

配線は、必ず本体内部のクリップワイヤー及び外部のクランパーでしっかり固定してください。



ご注意：
●AC電源等の高電圧を使用する場合（デジタル出力）、その配線が基板上の部品や低電圧（CN1側）の配線に接触しないようにしてください。

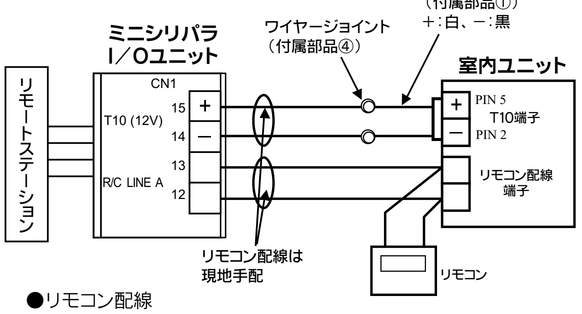
ミニシリパラI/Oユニット／ACC-SP1A…別売品　施工

(1) 室内ユニットとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください。）

●配線仕様
種類：　シース付ビニルコード
太さ：　0.5～2.0m²
配線長：最大200m

U, A, B, H, J, K 形室内ユニットとの接続

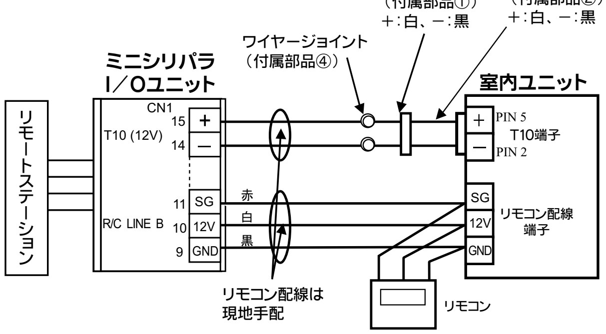


●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の12，13番（リモコン配線A）と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。極性はありません。

●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14，15番　T10（12V）と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「＋」「－」を間違えないように十分注意して接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

※ U形室内ユニットのT10端子への接続は、T，G形の場合と同様に付属部品①，②を使用します。システム図と異なるので注意してください。

T，G 形室内ユニットとの接続



●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の9，10，11番（リモコン配線B）と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。
極性がありますので、「GND」「12V」「SG」を間違えないように接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

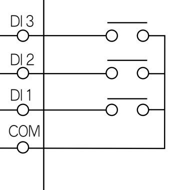
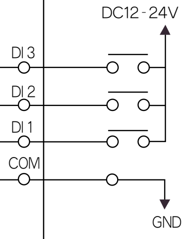
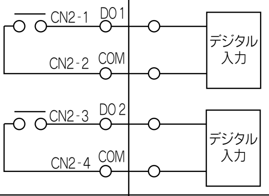
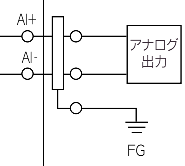
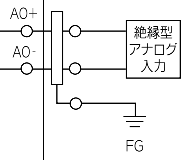
●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14，15番 T10（12V）と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「＋」「－」を間違えないように十分注意して接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

ご注意

●室内ユニットには必ずミニシリパラ以外に、リモコンまたは、集中制御機器（システムコントローラーなど）を設置してください。
●リモコン配線に、2個以上のミニシリパラの併設はできません。
●室内ユニットのT10端子を使用する制御機器との併用はできません。
　例：　室内用リレー中継基板、スケジュールタイマーなど

(2) リモートステーションとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルを配線したり、互いを近づけたりしないでください。（30cm以上離してください。）

名称	入出力項目	ミニシリパラI／Oユニット側 入出力条件	ミニシリパラI／Oユニット側 端子番号	設備側（リモートステーション） 回路例	設備側（リモートステーション） 入出力条件
デジタル入出力端子	デジタル入力 ※1	DI 1入力 DI 2入力 DI 3入力 電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ または、 電圧a接点ﾊﾟﾙｽ 接点許容電圧電流 DC24V，10mA 有電圧／無電圧切換スイッチ：S3 無電圧時：NON VOLTAGE 側 有電圧時：VOLTAGE 側	●無電圧入力のとき （工場出荷時） デジタル入力 CN1-8 DI 3 / CN1-7 DI 2 / CN1-6 DI 1 / CN1-5 COM ●有電圧入力のとき デジタル入力 CN1-8 DI 3 / CN1-7 DI 2 / CN1-6 DI 1 / CN1-5 COM		有電圧（12‐24V） または 無電圧 パルス入力時 200ms以上
	デジタル出力 ※2	運転出力 警報出力 無電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ 接点許容電圧電流 DC 24V，3A （最小負荷 10mA）	CN2-1 DO 1 / CN2-2 COM CN2-3 DO 2 / CN2-4 COM		
アナログ入出力端子	アナログ入力 ※3	室内温度設定入力 入力　0‐10V または 0‐140Ω 設定温度範囲 室内ユニットの設定 設定範囲内 1℃ステップ 設定温度入力切換 スイッチ：S4 電圧入力時：0‐10V 側 抵抗接続時：0‐140Ω 側	A/D変換器 CN1-4 AI+ / CN1-3 AI-		アナログ入力は、精度±0.1%のものをご使用ください
	アナログ出力 ※4	室内温度モニタ出力 出力電流 4‐20mA 温度指示範囲 5‐36℃ 0.5℃ステップ	D/A変換器 CN1-2 AO+ / CN1-1 AO-		許容負荷： 最大240Ω

ミニシリパラI/Oユニット／ACC-SP1A…別売品　施工

※1　デジタル入力について

●制御タイプ設定スイッチS1により下表のように制御タイプが切り換わります。

制御タイプ	入力1（DI　1）		入力2（DI　2）		入力3（DI　3）		
	(open)→(close)	(close)→(open)	(open)→(close)	(close)→(open)	(open)→(close)	(close)→(open)	電圧a接点スタティック／電圧a接点パルス ※1
0	運転 弱風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 強風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 急風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力: スタティック
1	運転 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	運転 手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2: スタティック 入力3:パルス
2	運転 手元運転禁止	停止 手元発停禁止	手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2: スタティック 入力3:パルス
3	運転<->停止 手元発停禁止	-	運転<->停止 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	全入力:パルス
4	運転 手元発停禁止	-	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
5	運転 手元運転禁止	-	手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
6	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停許可	-	-	-	
7	運転<->停止 手元発停禁止	-	運転<->停止 手元発停許可	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	入力1,2:パルス 入力3: スタティック
8	-	-	-	-	-	-	-
9	暖房	-	冷房	-	送風	-	全入力:パルス
10	暖房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	冷房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	送風 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力: スタティック
11	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-
15	運転	停止	-	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	全入力: スタティック

※1　パルス入力時は、パルス幅を200ms以上にしてください。

●配線仕様
　種類:　シース付ビニルコード
　太さ:　0.5～2.0mm^2
　配線長:　最大100m

※2　デジタル出力について

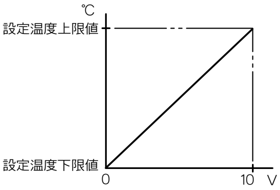
●D01は、運転出力です。
　D02は、警報出力です。
●接点許容電圧電流は、最大DC24V，3Aです。
●配線の仕様は、デジタル入力の場合と同様です。

※3　アナログ入力について

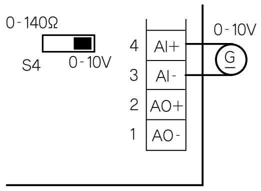
●温度設定の方法を以下の3種類より選択します。
- 電圧入力①（設定温度上／下限の均等分割）
- 電圧入力②（電圧固定）
- 抵抗入力

●電圧入力①・②の場合
- 設定温度入力切換S4を「0～10V」側にしてください。（工場出荷時）
- 配線仕様
　種類:　シース付ビニルコード（シールド線推奨）
　太さ:　1.25～2.00mm^2
　配線長:　最大70m

●電圧入力①（設定温度上／下限の均等分割）　（工場出荷時）
- DC 0V～10V（設定温度下限値～設定温度上限値）の入力範囲です。
- 設定温度と電圧の関係は，下図のようになります。
- 設定温度上限値と下限値は、運転モード及び室内ユニットによって異なります。
（例）3-1:「代表的機種の各運転モード［下限値～上限値］」の設定温度と電圧の関係をごらんください。

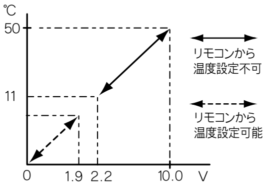


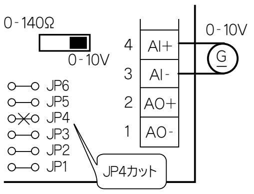
入力電圧値と温度の関係



配線接続図

●電圧入力②（電圧固定）
- DC 0V～10Vの入力範囲です。
- 設定温度の有効範囲は、2.2V～10V（11℃～50℃）となります。
　この範囲は、リモコンから温度を設定することはできません。
- 設定温度上下限値を越える入力の場合は、上下限値となります。
　例えば、冷房［18℃～30℃］場合、3.5V以下は18℃、6.2V以上は30℃になります。
- リモコンから温度を設定したい場合には、入力電圧を1.9V以下にしてください。



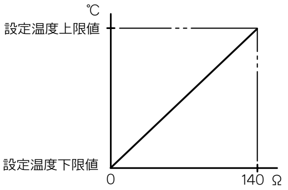


設定温度と電圧入力値の対応表（電力入力②）

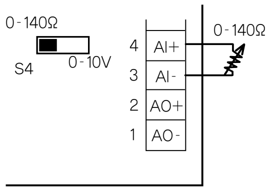
設定温度［℃］	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
電圧入力値［V］	3.2	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0

ご注意:
- **電圧入力は、室内ユニットとの接続を行ってから入力してください。また、入力電圧は最大10Vです。それ以上の電圧を入力しないでください。故障の原因になります。**

●抵抗入力
- 0～140Ωの入力範囲で、温度設定（1℃ステップ）を行います。
- 設定温度と抵抗の関係は，下図のようになります。
- 設定温度上限値と下限値は、運転モード及び室内ユニットによって異なります。
（例）3-1:「代表的機種の各運転モード［下限値～上限値］」の設定温度と抵抗の関係をごらんください。
- 設定温度入力切換S4を「0～140Ω」側にしてください。
- 配線仕様
　種類:　シース付ビニルコード（シールド線推奨）
　太さ:　1.25～2.00mm^2
　配線長:　最大70m



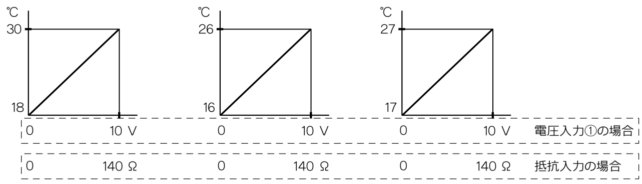
接続抵抗値と温度の関係



配線接続図

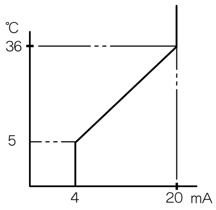
ミニシリパラI/Oユニット／ACC-SP1A…別売品　施工

（例）3-1:　代表的機種の各運転モード［下限値～上限値℃］



※4　アナログ出力について

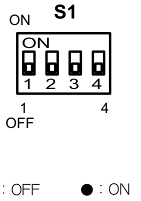
●室内温度モニタ出力は、DC4～20mA（5～36℃）となっており、温度指示範囲は、0.5℃ステップです。
中央監視側での計測単位にご注意ください。
配線の仕様は、アナログ入力の場合と同様です。
負荷抵抗は、240Ω以下としてください。



電流値と温度の関係

基板での設定

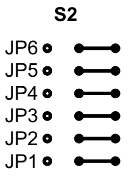
制御タイプ設定スイッチ　S1



制御タイプ	S1-1	S1-2	S1-3	S1-4	制御タイプ	S1-1	S1-2	S1-3	S1-4
0	－	－	－	－	8	－	－	－	●
1	●	－	－	－	9	●	－	－	●
2	－	●	－	－	10	－	●	－	●
3	●	●	－	－	11	●	●	－	●
4	－	－	●	－	12	－	－	●	●
5	●	－	●	－	13	●	－	●	●
6	－	●	●	－	14	－	●	●	●
7	●	●	●	－	15	●	●	●	●

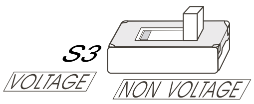
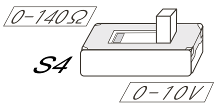
制御タイプを切り換えます。

詳細設定スイッチ　S2

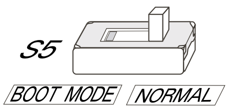


JP6	接続	未定	（工場出荷時）
	カット	未定	
JP5	接続	リモコンまたは集中制御機器あり	（工場出荷時）※4
	カット	リモコンまたは集中制御機器なし	※4
JP4	接続	電圧入力①	（工場出荷時）※3
	カット	電圧入力②	※3
JP3	接続	室温として制御温度を出力	（工場出荷時）※2
	カット	室温として吸込温度を出力	※2
JP2	接続	設定温度後押し優先	（工場出荷時）※1
	カット	設定温度手元禁止	※1
JP1	接続	未定	（工場出荷時）
	カット	未定	

※　1:手元リモコンでの設定温度操作を後押し優先／操作禁止に切り換えます。
※　2:室内温度モニタの出力を、制御で使用中の室温（暖房時シフト有りの吸込み温度またはリモコンセンサー）／吸込み温度に切り換えます。
※　3:ミニシリパラを用いて設定温度の変更を行わない場合もJP4をカット（電圧固定）にしてください。その際には、CN1の3,4番（AI±）に電圧を加えないでください。
※　4:ミニシリパラをご使用する場合、リモコンまたは集中制御機器（システムコントローラーなど）をつけていただくことを基本としますが、ミニシリパラのみ（リモコンまたは集中制御機器が必要なし）でご使用したい場合には、JP5をカットしてください。ただし、ミニシリパラだけでは室内ユニットの運転動作（運転モード・風速・風向など）が制限されます。

有電圧／無電圧切換スイッチ　S3	設定温度入力切換スイッチ　S4
 （工場出荷時）	 （工場出荷時）
デジタル入力部において、有電圧／無電圧の切換えを行います。	アナログ入力において、電圧入力／抵抗入力の切換えを行います。

ブートスイッチ　S5



（工場出荷時）

NORMAL側で固定したままご使用ください。

LED（緑）表示

LED表示	内容	対処方法
消灯	電源OFF	通信線の接続を確認してください。
3s間隔で点滅	T10（12V）接続エラー	T10接続線の接続を確認してください。T10ケーブル（付属品①）のヒューズが溶断していないことを確認してください。
1s間隔で点灯／消灯	室内ユニット警報	室内ユニットの警報を取り除いてください。
100ms間隔で点灯／消灯	初期通信、通信エラー	通信線の接続を確認してください。
点灯　※1	正常動作状態	－

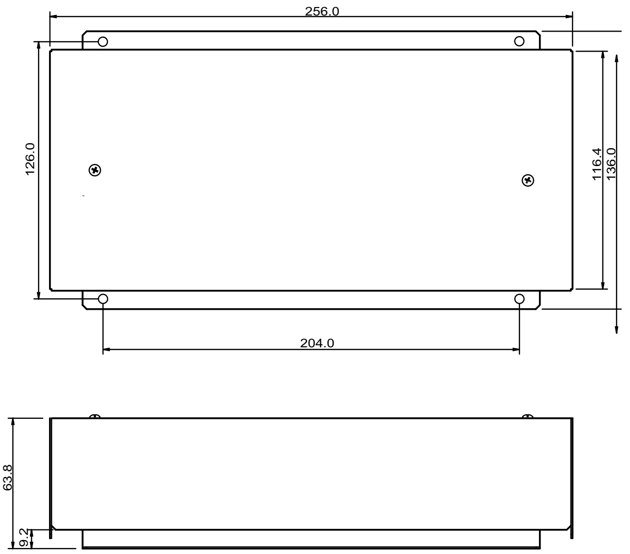
※1　室内ユニットに設定データを送るとき、200ms間消灯します。

製品仕様

接続対象	PAC:　T･U･A･B形 GHP:　G･H･J･K形
電源	DC12V
消費電力	1.2W，0.1A
使用環境条件	温度－10℃～50℃、湿度20%～80%、屋内専用
外形寸法	幅256.0mm×奥行136.0mm×高さ63.8mm
重さ	0.9kg

外形寸法図

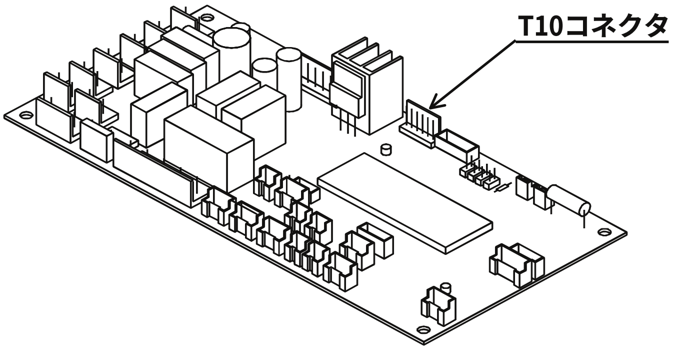
単位：mm



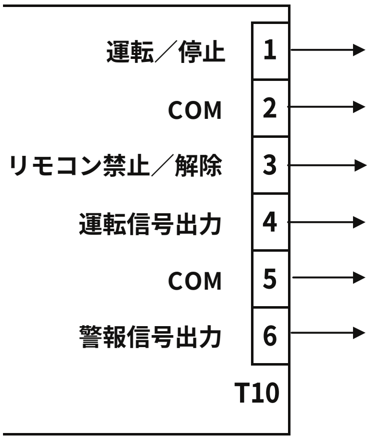
遠隔操作（T１０端子）

●パッケージエアコン遠隔操作

U形室内機の基板上に遠隔操作用T10端子があります。



このT10端子を利用すると、運転／停止の入力、運転信号出力及び警報信号出力を取り出すことができます。

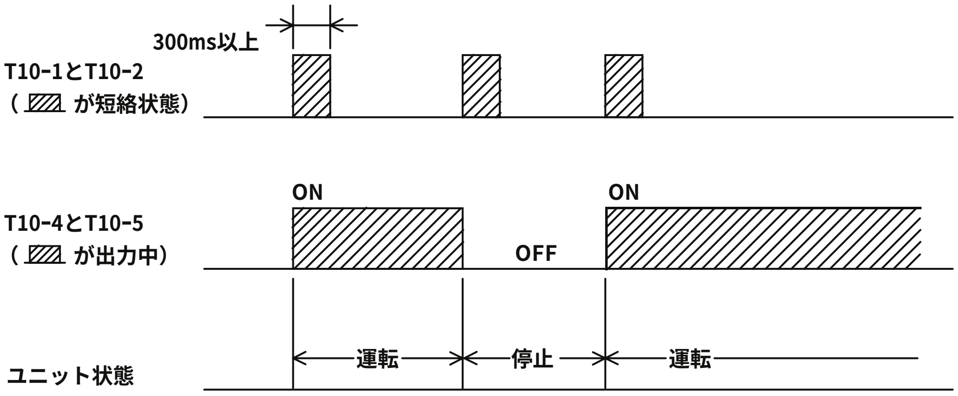


◎T10-1とT10-2…瞬時短絡（300ms以上）しますと、短絡時毎に現在の状態が反転します。
（リレー回路を組まれる場合は500ms以上を基本としてください。）

◎T10-2とT10-3…短絡時リモコンで運転／停止の禁止
オープン時リモコンでの運転／停止許可

◎T10-4とT10-5…運転信号の出力

◎T10-5とT10-6…警報信号の出力



遠隔操作（切り忘れ防止・デマンドコントロール）

■切り忘れ防止制御

〔機能〕

●室内ユニットを個別に制御する方法です。室内ユニットのコントロール基板に配線接続します。

●グループ制御の場合、室内ユニット(コントロール基板)に配線接続し、接続した室内ユニットに項目コード2Eを設定します。

●外部からの運転操作が不要で、停止操作が必要な場合に使用できます。

●カードスイッチボックス、カード錠等を使用すると室内ユニットの切り忘れを防止できます。

・カードを入れると、手元リモコンで発停操作を許可します。

・カードを抜くと、室内機が運転している場合には停止し、手元リモコンの発停操作を禁止します。

（1）制御項目

①外部接点が ON：手元リモコンからの発停操作を許可
（カードスイッチボックスにカードを入れた状態）

②外部接点が OFF：室内機が運転している場合は強制停止（手元リモコン発停禁止）
（カードスイッチボックスからカードを取り出した状態）

※上記の接点動作にならないカードスイッチボックスの場合には、b接点付きのリレーで変換してください。

（2）操作

ワイヤードリモコンスイッチを次の手順で操作してください。※停止中に行って下さい。

❶ [セット] ＋ [取消] ＋ [点検] ボタンを４秒間以上押します。

⬇

❷ 設定温度 [△] / [▽] ボタンで項目コード2Eを指定します。

⬇

❸ タイマー時間 [△] / [▽] ボタンで設定データを0001にします。

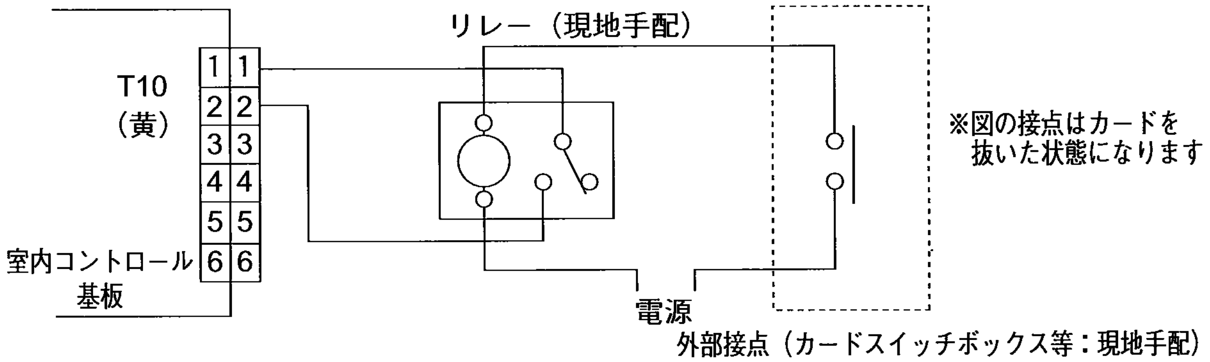
⬇

❹ [セット] ボタンを押します。

⬇

❺ [点検] ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

（3）配線



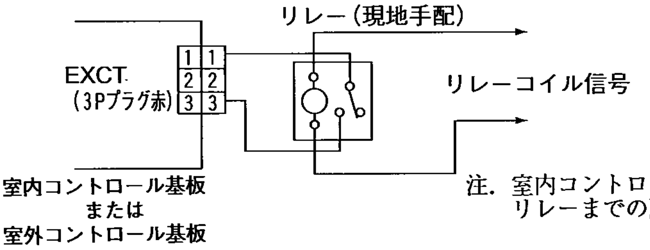
注）室内コントロール基板とリレーまでの配線長は２m以内にしてください。
６Pプラグ付きリード線（特注部品：WIRE K ／854・0・5280・498・00）

■デマンドコントロール

リレーがONすると強制サーモOFF運転になります。

●配線例

※ 2Pソケット付リード線（特注部品：WIRE K ／854・0・5280・753・00）



注. 室内コントロール基板または、室外コントロール基板と
リレーまでの配線長は２m以内にしてください。

遠隔操作（換気扇・JEMA）

■リモコンからの換気扇操作

〔機能〕

●システム内に全熱交換器や換気扇をつけ、ワイヤードリモコンで運転、停止ができます。
●室内機を運転しない場合でも、換気扇の運転が可能です。
●無電圧A接点を外部入力信号として受けられる換気扇を使用してください。
●グループ制御の場合は、一括での操作になり、個別には操作できません。

（1）操作

ワイヤードリモコンスイッチを次の手順で操作してください。※停止中に行って下さい。
※必ず親機に設定してください。（グループ制御時も同じ）
※グループ制御の場合は親機に設定しますと、親機子機共同時に操作可能になります。

❶ ［セット］＋［取消］＋［点検］ボタンを４秒以上同時に押します。
最初に表示される、ユニットNoはグループ制御の親機の室内機アドレスです。
この時、選択されている室内機のFANがONします。

⬇

❷ ［ユニット選択］ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
この時、選択されている室内機のみFANがONします。

⬇

❸ 設定温度［△］／［▽］ボタンで**項目コード31**を指定します。

⬇

❹ タイマー時間［△］／［▽］ボタンで設定データを選択します。
（出荷時：0000になっています）設定データは次のようになっています。

設定データ	全熱交換器もしくは換気扇の運転操作
0000	できない（出荷時）
0001	できる

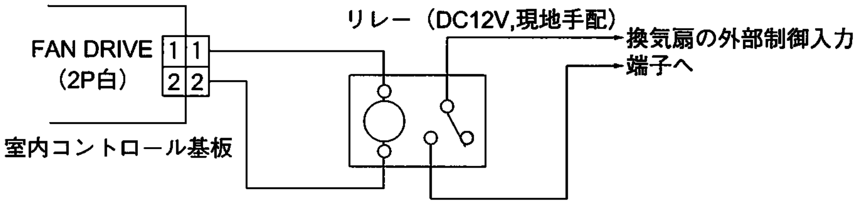
⬇

❺ ［セット］ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）
・選択している室内機を変更したい場合は❷へ
・設定する項目を変更したい場合は❸へ

⬇

❻ ［点検］ボタンを押すと通常の停止状態になります。

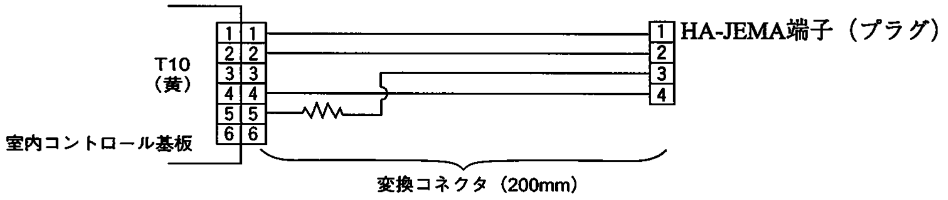
（2）配線



注）室内コントロール基板とリレーまでの配線長は２m以内にしてください。
※2Pプラグ付リード線（特注部品：WIRE K ／854・0・5280・506・00）

■JEMA（日本電機工業会）標準HA端子－A

HA端子を使用する場合は別売の変換コネクタが必要になります。
変換コネクタは片側のコネクタを室内コントロール基板上のT10端子に接続して使用します。



変換コネクタ（特注部品：WIRE K／854・0・5280・239・00）

ON／OFF制御用ローカルアダプター／SHA-KL4U…別売品

オン／オフ制御用ローカルアダプタは、T形集中制御装置に、JEMA標準HA端子付エアコンや、設備用パッケージエアコン、換気扇、加湿器等のリレー制御機器を接続する場合に使用します。

■設定及び接続方法

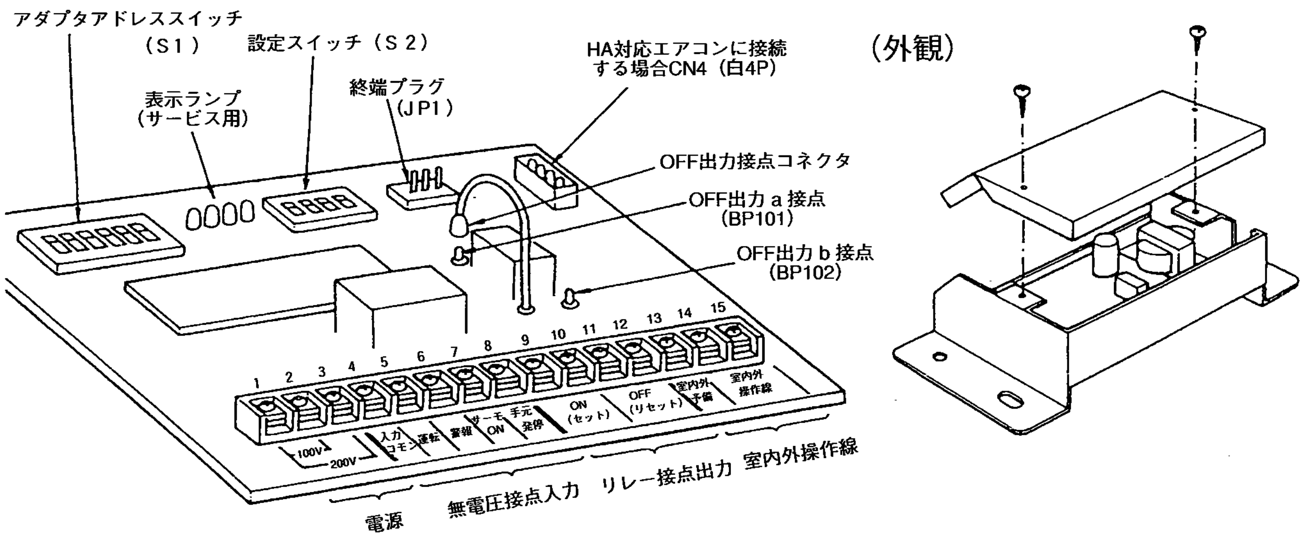
[取り付けかた]

❶ 機器(エアコン)の近くの適当な場所に設置してください。
❷ HA対応エアコンに接続する場合は、付属の接続配線(２ｍ)を使用してください。
❸ リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は３ｍ以内で機器に接続してください。(接続ケーブルCPEV0.9～1.2 φ 出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。)
❹ 端子板への接続は付属のフォーク端子をご使用ください。

[配線のしかた]

❶ 電源の接続のしかた

AC100V、AC200Vのどちらでも使用できます。
図のように、ローカルアダプタの上ケースをはずし、電源端子板に配線します。

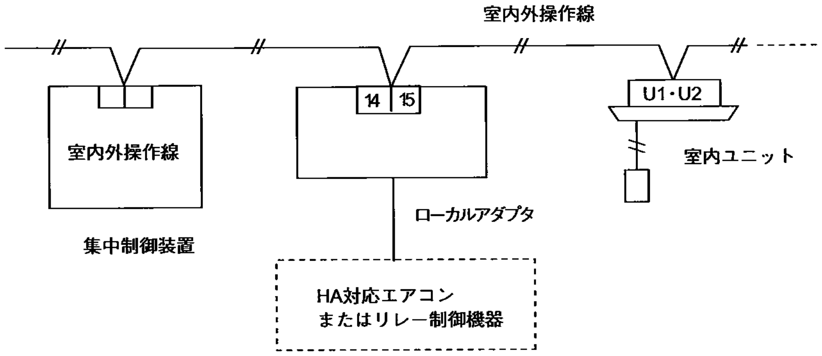


○AC100V（１－２間）
○AC200V（１－３間）

❷ 集中制御装置への接続

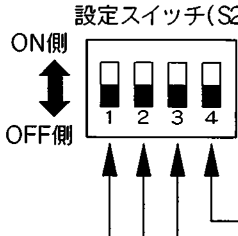
ローカルアダプタの端子板、室内外操作線(14、15)と、集中制御装置の室内外操作線用とを、下図のように接続してください。

- 極性はありませんので、室内外操作線(14、15)は逆になってもかまいません。
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも、接続できます。



ON／OFF制御用ローカルアダプター／SHA-KL4U…別売品

[設定スイッチについて]



運転アンサーバック連動切換
リレー出力を、アンサーバック入力に連動させる場合はONしてください。
リレー出力切換が
●パルス出力の場合は、アンサーバック入力の状態に合わせてパルスを出力します。
●スタティック出力の場合は、スタティック出力がアンサーバック入力に連動します。
リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合は切換をONしてください。

集中制御アドレス設定切換
集中制御アドレスを
●集中制御装置から認定する場合はOFF
●ローカルアダプタの6Pディップスイッチ(S1)で設定する場合はON

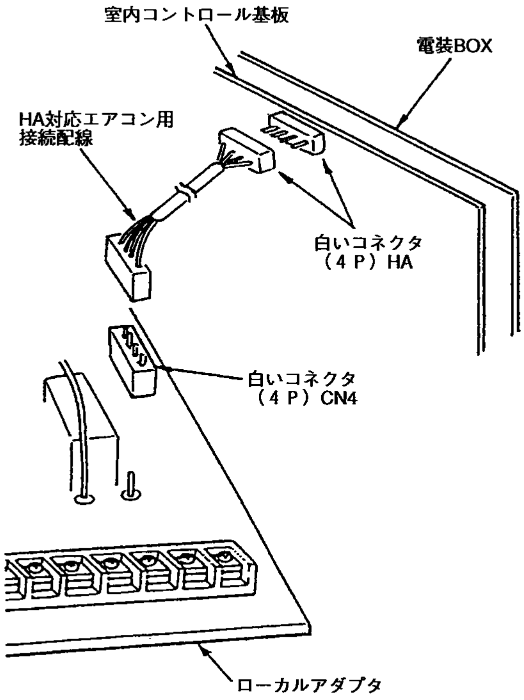
運転アンサバック有／無 切換
運転アンサバック入力を
●使用する場合はOFF
●使用しない場合はON
※加湿器等を制御する場合など、運転アンサバックを使用しない場合は切換をONしてください。

リレー出力切換
ON（セット）／OFF（リセット）リレー出力の信号形式を切り換えます。
●パルス出力の場合はOFF
●スタティック出力の場合はON

※出荷時の設定は
すべてOFF

[HA対応エアコンの場合の接続方法]
(JEMA標準HA端子付きエアコンに接続する方法)

❶ ローカルアダプタ付属のHA対応エアコン用接続配線をローカルアダプタの基板上の白いコネクタ(4P)CN4の端子に接続します。
❷ エアコンのパネルをはずしてください。室内コントロール基板上の白いコネクタ(4P)HAにローカルアダプタの接続配線を接続します。
※ エアコンのHA端子の位置、取り付け方法は、それぞれのエアコンのメーカーにお問い合せください。
❸ 設定スイッチ(S2)運転アンサバック有／無切換えをOFF(アンサバック有)に設定してください。
※ HA制御機能とリレー制御機能の併用はできません。



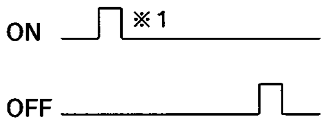
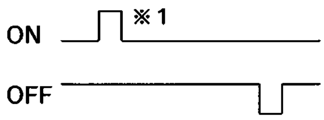
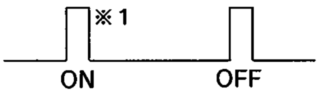
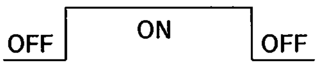
ON／OFF制御用ローカルアダプター／SHA-KL4U…別売品

[リレー制御機器の場合の接続方法]

ローカルアダプタの出力端子および入力端子は、下記の仕様となります。
制御対象機器に合わせて最適なものをご使用ください。

❶ 出力端子について

制御対象機器へのON（セットリレー）／OFF（リセットリレー）信号は、出力形式が４種類ありますので、最適なものをご使用ください。

出力形式	接点出力（リレー接点）	設　定　方　法
パルス接点出力 ON（セット）出力：a接点 OFF(リセット)出力：a接点		・S2-1をOFF、S2-4をOFF ・OFF接点出力コネクタをBP101に接続
パルス接点出力 ON（セット）出力：a接点 OFF(リセット)出力：b接点		・S2-1をOFF、S2-4をOFF ・OFF接点出力コネクタをBP102に接続
パルス接点出力 ON（セット）出力：a接点 ON(セット)リレーから運転･停止信号が交互に出力されます。		・S2-1をOFF ・S2-4をON ・ON接点出力のみ使用 ・OFF接点出力は手元禁止信号となります（※２）
スタティック接点出力 (連続接点)		・S2-1をON ・ON接点出力のみ使用 ・OFF接点出力は手元禁止信号となります（※２）

※１　パルス幅は約0.5秒です。
※２　集中制御装置側からの信号によって次のように出力しますので必要に応じてご使用ください。
　　個別許可：OFF（連続接点）
　　手元禁止：ON（連続接点）

《接点容量》

出　　力	接点容量（抵抗負荷）
ON（セット）リレー出力 (CN1-⑨⑩端子)	AC250V、10A（誘導負荷：5A） 最小適用負荷：5V、100mA
OFF（リセット）リレー出力 (CN1-⑪⑫端子)	AC250V、3A 最小適用負荷：5V、100mA

ご注意：ON（セット）リレー出力とOFF（リセット）リレー出力は接点容量が異なります。

❷ 入力端子について

制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で取ります。
手元発停入力はパルス形式ですのでプッシュスイッチ（モーメンタリー）などをご使用ください。

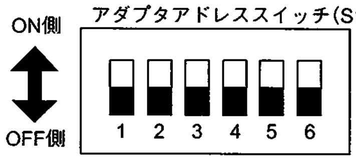
入力項目	端子番号	入力形式	用　　途
運転アンサバック入力	④、⑤	無電圧a接点(スタティック)	運転／停止状態の監視
警報信号入力	④、⑥	無電圧a接点(スタティック)	一括警報の監視
サーモON信号入力	④、⑦	無電圧a接点(スタティック)	サーモON時間の積算を行い、集中制御装置に通知
手元発停入力	④、⑧	無電圧a接点(パルス)	ローカルアダプタ側から機器をON　OFF

回路接点電圧、電流：DC12V、10mA

ご注意：集中制御装置側で手元禁止（集中）を設定しているときは、手元発停入力は受け付けません。
　　停止中の警報信号入力は受け付けません。

ON／OFF制御用ローカルアダプター／SHA-KL4U…別売品

［アダプタアドレスの設定のしかた］



アダプタアドレスは、室内機のユニットNo.に相当します。

ローカルアダプタを複数使用する場合は重複しないように設定してください。

❶ 集中制御アドレスを、A, U, T形集中制御装置から設定する場合（設定スイッチS2－3をOFFにしてください。）

T形室内機とローカルアダプタが混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

ローカルアダプタのアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。

※ローカルアダプタは、系統アドレス31として登録されます。

例　アダプタアドレスが1番の時は、ローカルアダプタのユニットNo.は31－1になります。この時、ローカルアダプタの集中制御アドレスは集中制御装置から自由に設定できます。

❷ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合（設定スイッチS2－3をONにしてください。）

ローカルアダプタのアダプタアドレスを、集中制御アドレスに合わせて設定してください。

※お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。

※ローカルアダプタは、系統31として登録され、アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。

例　アダプタアドレスが5番の時は、ローカルアダプタのユニットNo.31－5、集中制御アドレスは5番になります。

※集中制御アドレスが、アダプタアドレススイッチにより、固定になります。**（T形集中制御装置から集中制御アドレスの変更はできません。）**

室内機の集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。

アドレス	アダプタアドレススイッチ番号 123456	アドレス	アダプタアドレススイッチ番号 123456	アドレス	アダプタアドレススイッチ番号 123456	アドレス	アダプタアドレススイッチ番号 123456
1	－－－－－－	17	－－－－●－	33	－－－－－●	49	－－－－●●
2	●－－－－－	18	●－－－●－	34	●－－－－●	50	●－－－●●
3	－●－－－－	19	－●－－●－	35	－●－－－●	51	－●－－●●
4	●●－－－－	20	●●－－●－	36	●●－－－●	52	●●－－●●
5	－－●－－－	21	－－●－●－	37	－－●－－●	53	－－●－●●
6	●－●－－－	22	●－●－●－	38	●－●－－●	54	●－●－●●
7	－●●－－－	23	－●●－●－	39	－●●－－●	55	－●●－●●
8	●●●－－－	24	●●●－●－	40	●●●－－●	56	●●●－●●
9	－－－●－－	25	－－－●●－	41	－－－●－●	57	－－－●●●
10	●－－●－－	26	●－－●●－	42	●－－●－●	58	●－－●●●
11	－●－●－－	27	－●－●●－	43	－●－●－●	59	－●－●●●
12	●●－●－－	28	●●－●●－	44	●●－●－●	60	●●－●●●
13	－－●●－－	29	－－●●●－	45	－－●●－●	61	－－●●●●
14	●－●●－－	30	●－●●●－	46	●－●●－●	62	●－●●●●
15	－●●●－－	31	－●●●●－	47	－●●●－●	63	－●●●●●
16	●●●●－－	32	●●●●●－	48	●●●●－●	64	●●●●●●

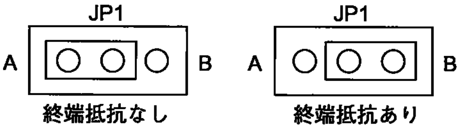
●はON、－はOFFの意味

［終端プラグ（JP1）について］

● ローカルアダプタのみで構成され、A, U,T形、H,G形エアコンが接続されていない場合、1台のローカルアダプタのみ終端プラグ（JP1）のショートピンをB側に設定する必要があります。

JP1が「A側」……終端抵抗は未接続となります。（工場出荷状態）

JP1が「B側」……終端抵抗が接続されます。



〔警報表示〕

警報			表示ランプ（サービス用）			
項目	内容	対処方法	D100	D101	D102	D103
接続機器警報	ローカルアダプタに接続している機器から警報入力あり	接続機器の警報内容を確認し警報原因を取り除く。	＊	●	●	●
不揮発性メモリ異常	ローカルアダプタの不揮発性メモリ異常	不揮発性メモリの点検（ローカルアダプタ用サービス技資参照）	●	●	＊	●
システム停止中	システム停止中	警報ではありません。	＊	＊	＊	＊

＊は点滅　●は消灯

通信変換用ローカルアダプター／SHA-KL1A…別売品

通信変換用ローカルアダプターは、S形、R形パッケージエアコンをT形以降の集中制御装置に接続する場合や、T形以降のパッケージエアコンをS(C1)形集中制御装置に接続する場合に使用します。

■設定および接続方法

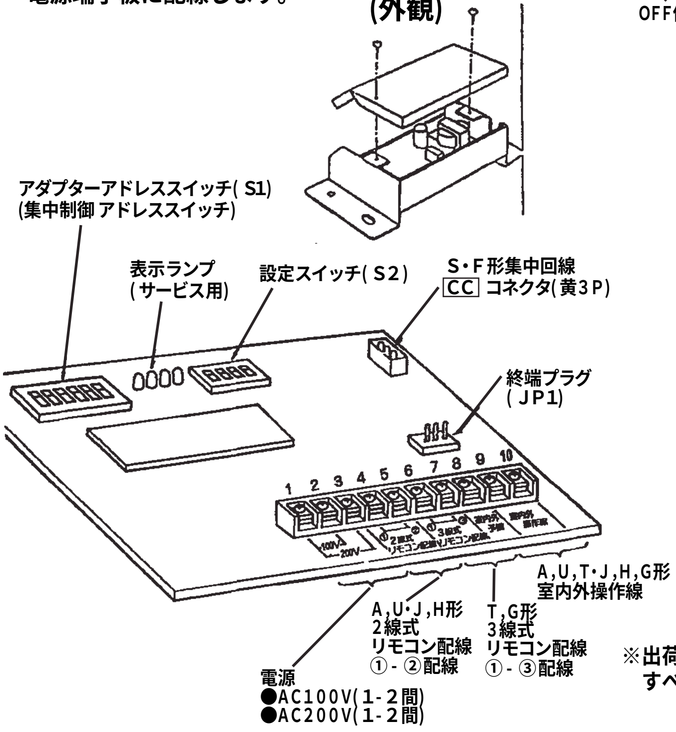
[通信変換用 ローカルアダプター使用時の制限事項]

通信変換用ローカルアダプター使用時、一部の機能の制限があります。ご注意ください。

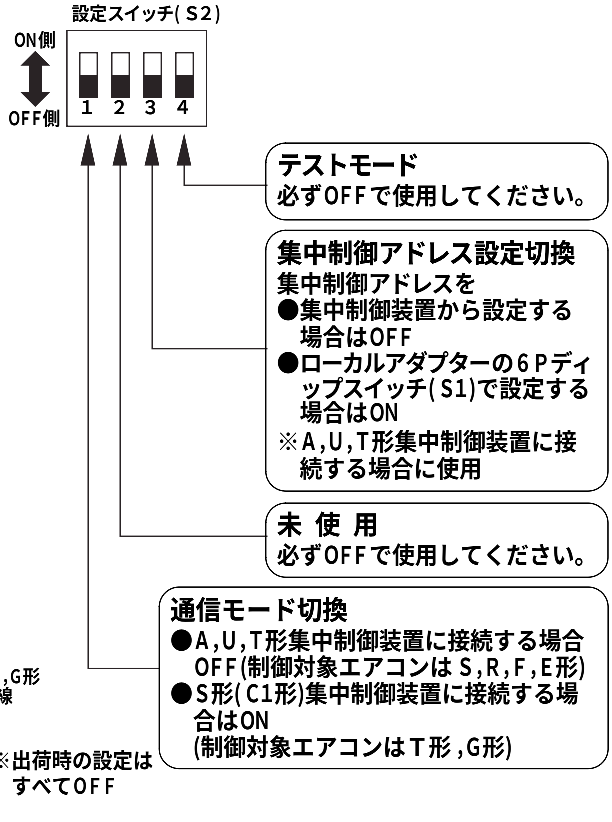
集中制御装置	エアコン	使用上の制限
T形以降 SHA-KC16T SHA-KC64T SHA-KT128TN SHA-KC64U SHA-KC64E SHA-KT256A SHA-KT256E SHA-TM64A SHA-TM64E 等	S，R形 パッケージ エアコン F，E形 ガスヒートポンプ エアコン	●リモコンレスは不可(リモコンを接続してください。) ●システムリモコンとの併用はできません。 ●グループ制御は、1台の室内ユニットとみなします。 ●グループ制御時、積算時間は室内ユニットの親機のみ積算します。(子機は積算しません。) ●AMYシステムは使用時、積算データは強風固定になります。 ●フィルターリセットは不可 (R，E形・・・リモコンでリセットしてください。 S，F形・・・フィルターサインなし。) ●風向設定不可(リモコンで設定してください。) ●中温仕様は不可(冷房設定－6℃シフト) ●試運転は不可(リモコンで設定してください。) ●エアコンの警報はローカルアダプター警報として一括表示 ●集中4(手元リモコンモード切換禁止)は使用できません。
S形(C1形) SHA-C16C1 SHA-C8D SHA-G8D SHA-T128C1 等	T形以降の パッケージ エアコン G形以降の ガスヒートポンプ エアコン	●リモコンレスは不可(リモコンを接続してください。) ●グループ制御は、1台の室内ユニットとみなします。 ●グループ制御時、積算時間は室内ユニットの親機のみ積算します。(子機は積算しません。) ●フィルターリセットは不可(リモコンで設定してください。) ●風向設定不可(リモコンで設定してください。) ●室内ユニットの温度設定範囲等オプション設定の変更は不可。 ●試運転は不可(リモコンで設定してください。) ●エアコンの警報はローカルアダプター警報として一括表示 ●一括操作に制限があります。

[電源の接続のしかた]

AC100V，AC200Vどちらでも使用できます。
図のように、ローカルアダプターの上のケースをはずし、電源端子板に配線します。



[設定 スイッチについて]



ローカルアダプターの取り付けかた

❶ エアコンの近くの適当な場所に設置してください。

❷ 端子板への接続は付属のフォーク端子をご使用ください。

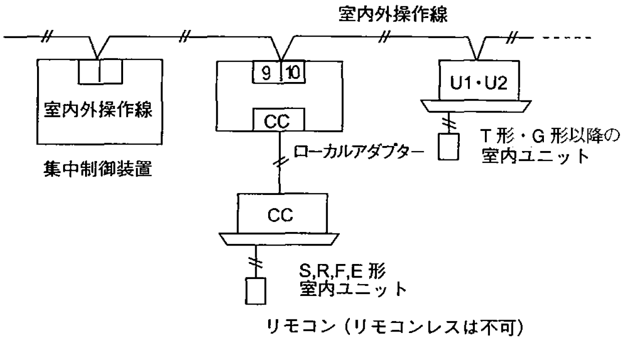
通信変換用ローカルアダプター／SHA-KL1A…別売品

［Ｔ形以降の集中制御装置に接続する場合の接続方法］
（Ｆ・Ｅ形ガスヒートポンプエアコン、Ｓ・Ｒ形パッケージエアコンを集中制御装置に接続する場合）

１．ローカルアダプターと集中制御の接続

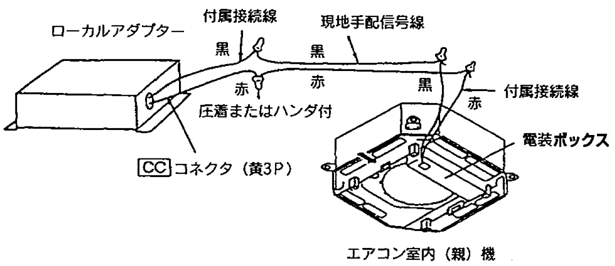
❶ ローカルアダプターの端子板、室内外操作線(9､10)と､集中制御装置の室内外操作線用端子板とを、下図のように接続してください。
- 極性はありませんので、室内外操作線(9、10)は逆になってもかまいません。
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも、接続できます。

❷ **ローカルアダプターの通信モード切換(設定スイッチS2-1）をOFFに設定してください。**

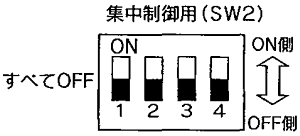


２．ローカルアダプターとS, R, F, E形エアコンとの接続

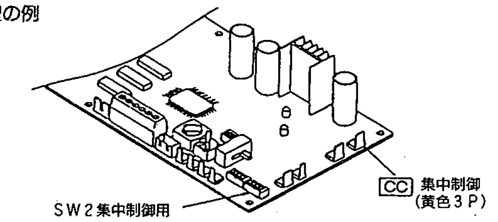
❶ 付属の接続配線を使用し、室内(親)ユニットの集中制御用CCコネクタ(黄3P)に接続します。
- ※**信号線は極性があります。**ローカルアダプターとエアコンとの接続配線は、50m以内にしてください。
- ※ローカルアダプターからの赤･黒とエアコン室内ユニットからの赤･黒の色合わせをして配線してください。



❷ 室内コントロール基板への接続とスイッチ設定
- 室内基盤上の CC 集中制御(黄3P)に、ローカルアダプターに付属して接続配線のコネクタを差し込みます。
- 室内基板上の集中制御用SW2(4Pディップスイッチ)をすべてOFF(出荷時の設定)にしてください。

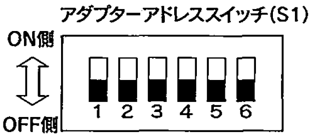


標準型の例



３．アダプターアドレスの設定のしかた

アダプターアドレスは、室内ユニットのユニットNoに相当します。ローカルアダプターを複数使用する場合は重複しないように設定してください。



❶ **集中制御アドレスを、集中制御装置から設定する場合（設定スイッチS2-3　OFF)**

室内ユニットとローカルアダプターが混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定､変更する場合に適しています。

ローカルアダプターのアダプターアドレスを、1番から順に設定してください。

※ローカルアダプターは、系統アドレス31として登録されます。

例　アダプターアドレスが1番の時はローカルアダプターのユニットNo.は31-1になります。この時、ローカルアダプターの集中制御アドレスは集中制御装置から自由に設定できます。

❷ **集中制御アドレスをアダプターアドレススイッチで設定する場合（設定スイッチS2-3　ON)**

ローカルアダプターのアダプターアドレスが、集中制御アドレスになります。

お客様の要望に合わせて、アダプターアドレスを設定してください。

※ローカルアダプターは､系統31として登録されアダプターアドレスと集中制御アドレスは同じになります。

例　アダプターアドレスが5番の時はローカルアダプターのユニットNo.は31-5、集中制御アドレスは5番になります。

アドレス	アダプターアドレススイッチ番号 1 2 3 4 5 6	アドレス	アダプターアドレススイッチ番号 1 2 3 4 5 6	アドレス	アダプターアドレススイッチ番号 1 2 3 4 5 6	アドレス	アダプターアドレススイッチ番号 1 2 3 4 5 6
1	------	17	----●-	33	-----●	49	----●●
2	●-----	18	●---●-	34	●----●	50	●---●●
3	-●----	19	-●--●-	35	-●---●	51	-●--●●
4	●●----	20	●●--●-	36	●●---●	52	●●--●●
5	--●---	21	--●-●-	37	--●--●	53	--●-●●
6	●-●---	22	●-●-●-	38	●-●--●	54	●-●-●●
7	-●●---	23	-●●-●-	39	-●●--●	55	-●●-●●
8	●●●---	24	●●●-●-	40	●●●--●	56	●●●-●●
9	---●--	25	---●●-	41	---●-●	57	---●●●
10	●--●--	26	●--●●-	42	●--●-●	58	●--●●●
11	-●-●--	27	-●-●●-	43	-●-●-●	59	-●-●●●
12	●●-●--	28	●●-●●-	44	●●-●-●	60	●●-●●●
13	--●●--	29	--●●●-	45	--●●-●	61	--●●●●
14	●-●●--	30	●-●●●-	46	●-●●-●	62	●-●●●●
15	-●●●--	31	-●●●●-	47	-●●●-●	63	-●●●●●
16	●●●●--	32	●●●●●-	48	●●●●-●	64	●●●●●●

●はON、－はOFFの意味

※集中制御アドレスが、アダプターアドレススイッチにより、固定になります。（**集中制御装置から集中制御アドレスの変更はできません。**）
室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。

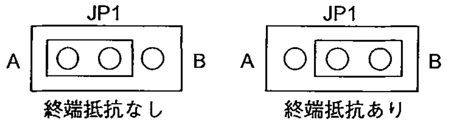
通信変換用ローカルアダプター／SHA-KL1A…別売品

4．終端プラグ（JP1）について

●ローカルアダプターのみで構成され、U，T形・H，G形エアコンが接続されていない場合、１台のローカルアダプターのみ終端プラグ(JP1)のショートピンをB側に設定する必要があります。

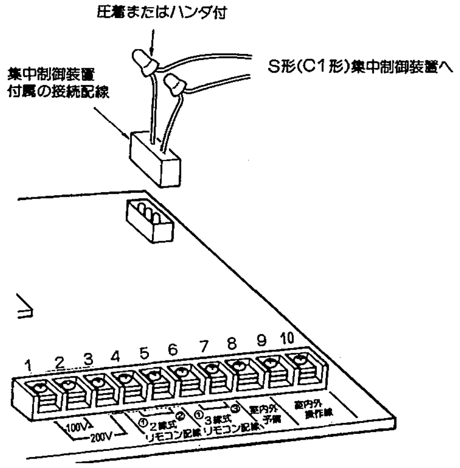
JP１が「A側」……終端抵抗は未接続となります。（工場出荷状態）

JP１が「B側」……終端抵抗が接続されます。



［S形(C1形)集中制御装置に接続する場合の接続方法］

（G形以降のガスヒートポンプエアコン、T形以降のパッケージエアコンをS形(C1形)集中制御装置に接続する場合）



1．ローカルアダプターとS形(C1形)集中制御の接続

❶ ローカルアダプター基板上のCCコネクタ(黄3P)に、集中制御装置に付属している接続配線コネクタを差し込みます。**この配線には極性があります。**必ず集中制御装置側の色と合わせてください。

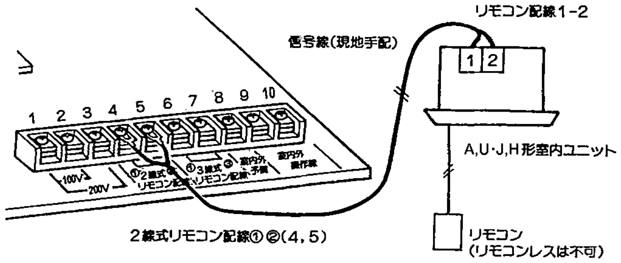
❷ ローカルアダプターの通信モード切換(設定スイッチS2-1)をONに設定してください。

2．ローカルアダプターとエアコンとの接続

●エアコンの機種により接続方法および接続端子板が異なります。ご注意ください。

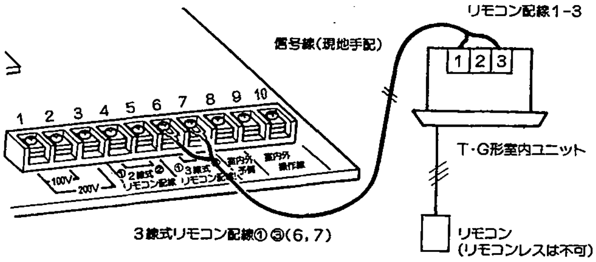
❶ U·H形以降のエアコンに接続する場合
ローカルアダプターの端子板、2線式リモコン配線①②（4、5）と室内ユニットのリモコン配線用端子板（1,2）とを接続します。

※信号線には極性はありません。



❷ T,G形エアコンに接続する場合
ローカルアダプターの端子板、3線式リモコン配線①③（6、7）と室内ユニットのリモコン配線用端子板（1、3）とを接続します。

※信号線には極性があります。

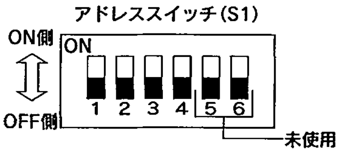


3．集中制御アドレスの設定のしかた

ローカルアダプター基板上のアドレススイッチ(S1)の1番から4番をS形(C1形)マルチコントローラの1～16のチャンネル(部屋名表示板)に合わせて設定します。

ご注意　アドレススイッチ（C1）の５番と６番は必ずOFFに設定してください。

アドレススイッチ(S1)



スイッチNo / チャンネル	1	2	3	4
1	OFF	OFF	OFF	OFF
2	ON	OFF	OFF	OFF
3	OFF	ON	OFF	OFF
4	ON	ON	OFF	OFF
5	OFF	OFF	ON	OFF
6	ON	OFF	ON	OFF
7	OFF	ON	ON	OFF
8	ON	ON	ON	OFF
9	OFF	OFF	OFF	ON
10	ON	OFF	OFF	ON
11	OFF	ON	OFF	ON
12	ON	ON	OFF	ON
13	OFF	OFF	ON	ON
14	ON	OFF	ON	ON
15	OFF	ON	ON	ON
16	ON	ON	ON	ON

通信変換用ローカルアダプター／SHA-KL1A…別売品

〔警報表示〕

警報			表示ランプ（サービス用）			
項　　目	内　　容	対　処　方　法	D100	D101	D102	D103
エアコン警報	ローカルアダプターに接続しているエアコンが警報発生中	エアコンの警報内容を確認し室内外ユニットの警報一覧表参照	＊	●	●	●
初期通信中	5秒間以上点滅が継続する時ローカルアダプター～室内ユニット間の異常	設定、配線、極性、室内ユニット電源等を再確認してください。	●	＊	●	●
不揮発性メモリ異常	ローカルアダプターの不揮発性メモリ異常	不揮発性メモリの点検（ローカルアダプター用のサービス技資参照）	●	●	＊	●
通信異常	ローカルアダプター～室内ユニット間の通信異常発生中	設定、配線、極性、室内ユニット電源等を再確認してください。	●	＊	●	＊
システム停止中	システム停止中	警報ではありません。	＊	＊	＊	＊

上記項目中、エアコン警報のみ上位集中制御機器へ発報します。　＊は点滅　●は消灯

- S形集中制御機器の場合“A01”表示
- T形以降の集中制御機器の場合“C12”表示
- 液晶表示部のない集中制御機器の場合、警報LEDが点滅します。

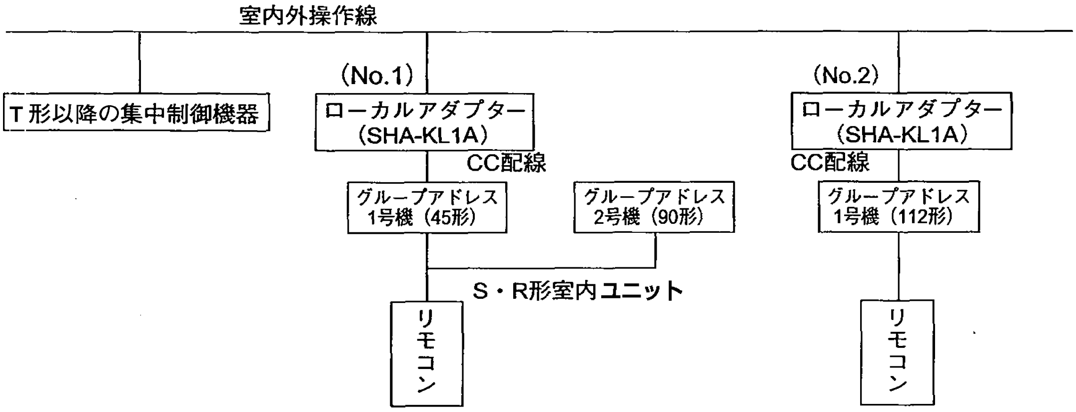
通信変換用ローカルアダプター（SHA-KL1A）について

❶ 接続方法についてのご注意

通信変換用ローカルアダプター（SHA-KL1A)をT形以降の集中制御機器、S・R形パッケージエアコン室内ユニットと接続する場合、室内ユニットとの通信線（CC配線）は個別または親機にのみ接続して下さい。

子機には接続しないでください。

個別または親機以外に接続すると正常に運転しません。



❷ 集中機器側の能力設定について

インテリジェントコントローラー、およびAMYターミナルにSHA-KL1Aを介してS，R形室内ユニットを接続した場合、これらの集中機器側において、按分率計算のため室内ユニットの能力を設定する必要があります。このとき、室内ユニット側でグループ制御が組まれていた場合は、**グループを構成するすべての室内ユニットの能力合計値を入力**してください。

ここで、T形，TN形インテリジェントコントローラーは「形番」で設定しますが、AMYターミナルおよびA形からのインテリジェントコントローラーにおいては「KW値」で設定します。ご注意ください。

具体的には、上図の例ですと、次のように入力します。

	(No.1)SHA-KL1UA	(No.2)SHA-KL1A
T形，TN形インテリジェントコントローラー	135	112
AMYターミナル，A形からのインテリジェントコントローラー	13.5	11.2

(注意)

① 新JIS対応以前の室内ユニット（kcal表示）の場合はkW相当値に直して入力して下さい。

② ただし、按分率表示をお客様が使われない場合は、能力設定の必要はありません。

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

目　次

1．ロンワークスインターフェース据付（電気）工事担当の方へ ……………… 3-178
安全上のご注意
付属部品
据付方法
配線仕様
ロンワークスインターフェース構成 ……………… 3-179
電源基板配線のしかた
電源基板の初期設定
メイン基板
室内有効スイッチ ……………… 3-180
設定スイッチ
アドレススイッチ
通信LED（緑） ……………… 3-181
データLED（赤）
外形寸法図
製品仕様

2．概要 ……………… 3-182
製品概要
対象機種
機能
システム図

3．空調機集中制御アドレス割当方法 ……………… 3-183

4．ロンワークスインターフェース試運転方法 ……………… 3-184

5．ロンワークスインターフェースのバージョン確認方法 ……………… 3-185

6．EEPROMクリア方法

7．ロンワークスネットワーク変数一覧 ……………… 3-186

8．ロンワークスネットワーク変数詳細 ……………… 3-187

9．ニューロンID貼付け位置 ……………… 3-190

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

1.　ロンワークスインターフェース据付（電気）工事担当の方へ

安全上のご注意

※据え付け工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。

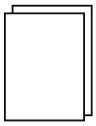
※個々に示した注意事項は「△警告」、「△注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

△警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
△注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が予想される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、集中制御機器の“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据え付け（電気）工事担当の方へ”は集中制御装置の“取扱説明書”と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

△警告
●据え付け、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。 ご自分で据え付け工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。 ●据え付け工事は“据付Ｚ（電気）工事担当の方へ”に従って確実に行ってください。 据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因にもなります。 ●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び“据付（電気）工事担当の方へ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。 電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。 ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
△注意
●設置場所によっては、漏電遮断機の取り付けが必要です。 漏電遮断機が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

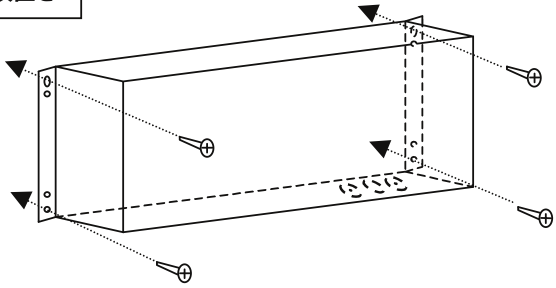
付属部品

付属品		
番号	付属部品	個数
①	 製品説明書	1

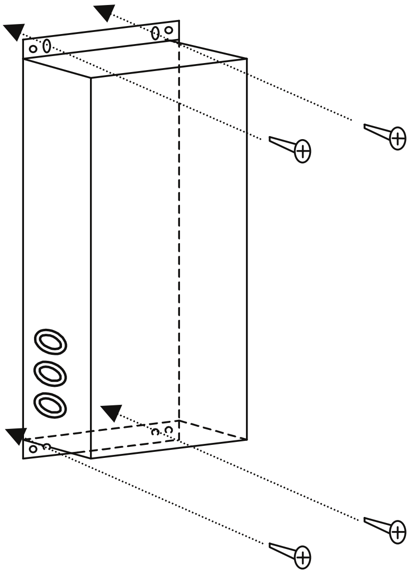
据付方法

●以下のいずれかの方法で据え付けてください。
本体据え付け用のネジは現地手配です。

横置き



縦置き



●ロンワークスインタフェースは、ノイズ発生源から離して据え付けてください。

配線仕様

●室内外通信線には、2芯0.5－2mm²の電線を使用してください。

●ロンワークス通信線で使用するケーブルは、エシェロン・コーポレーション推奨の線径0.51mm²以上のツイストペアケーブルを使用してください。

エシェロン・コーポレーション推奨ケーブル例			
ケーブルの種類	線径／AWG	総配線長	
		バス型	フリー
24AMGツイストペア（TIA568Aカテゴリ5）		900m	450m

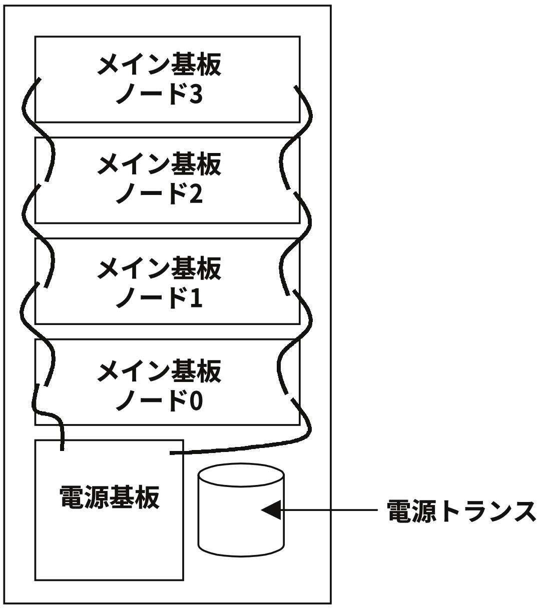
●室内外通信線、ロンワークス通信線、電源配線は、同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、配線同士を近づけたりしないでください。

●配線は、誤配線をしないように接続してください。
（誤配線は、故障の原因になります。）

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

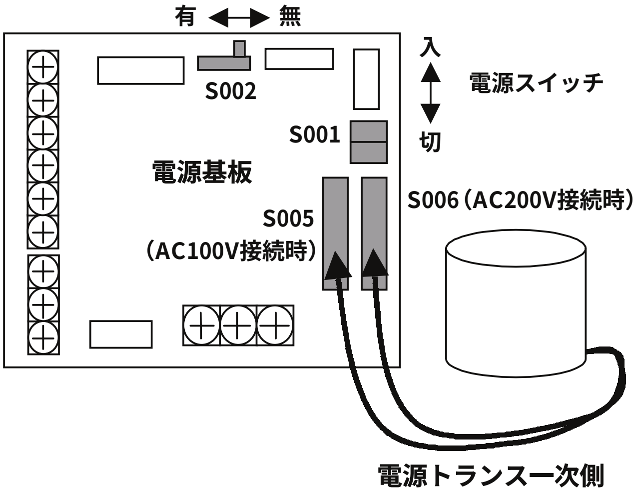
ロンワークスインターフェースの構成

●本インタフェースは、4枚のロンワークス通信基板（ノード）を持っています。
●１つのノードには、最大4室内グループ（最大32台）を割り当てることができます。



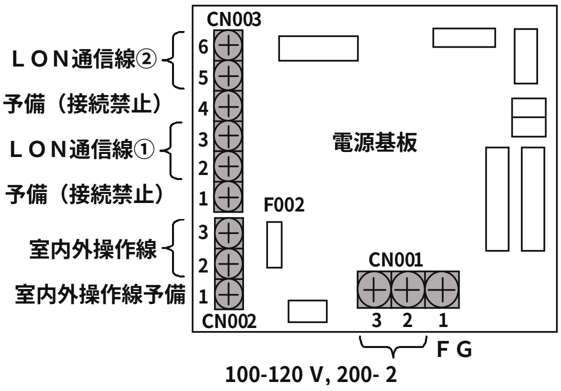
電源基板の初期設定

無：通常“無”で使用して下さい（初期設定）。
有：ロンワークス通信線のフリートポロジ用終端抵抗（51Ω）が有効になります。



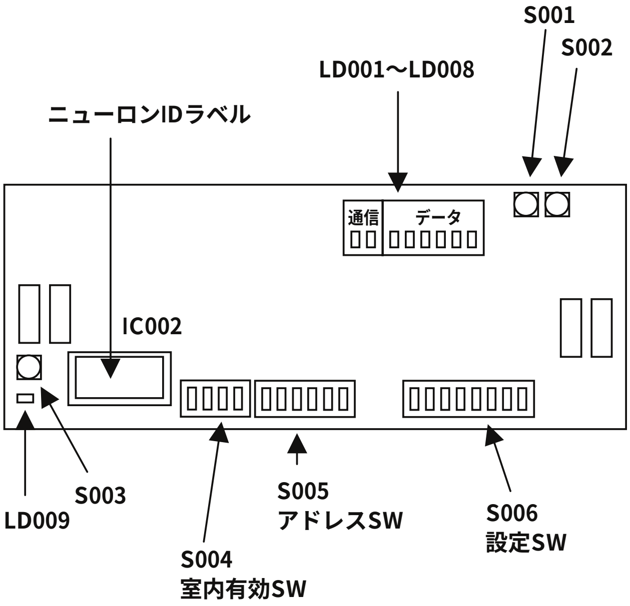
AC200V接続時は、電源トランスの一次側をS006に、AC100V接続時は、電源トランスの一次側をS005に接続して下さい。
（工場出荷時は、S006に接続しています。）

電源基板配線のしかた



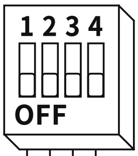
●ロンワークス通信線は、上図①②のどちらに接続しても同じです。
●室内外操作線やロンワークス通信線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
●電源を入れる前に、「電源基板の初期設定」を行って下さい。
●室内外操作線への過電流（過電圧）でヒューズ(F002)が切れてしまったときは、予備端子(1) と(3) を接続してください。
●ロンワークス通信線用端子台(CN003) の予備端子には、何も接続しないで下さい。通信線のアース等を接続されると故障の原因になります。
●電源端子台(CN001-1)に、必ず、アースを接続して下さい。

メイン基板



ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

室内有効スイッチ



OFF　室内機グループ3は無効
ON　室内機グループ3は有効

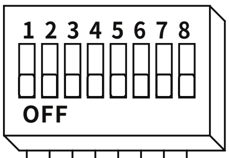
OFF　室内機グループ2は無効
ON　室内機グループ2は有効

OFF　室内機グループ1は無効
ON　室内機グループ1は有効

OFF　室内機グループ0は無効
ON　室内機グループ0は有効

●メイン基板は、一枚で、4グループ（室内機グループ0～3）を制御することができます。
●室内機グループが存在しないときは“無効”に、室内機グループが存在するときは“有効”に設定して下さい。

設定スイ ッチ



●はＯＮ，－はＯＦＦの意味

6	7	8	Option 1	Option 2
－	－	－	手元禁止	風速設定
－	－	●	手元禁止	風向設定
－	●	－	手元禁止	ﾌｨﾙﾀｻｲﾝ
－	●	●	風速設定	風向設定
●	－	－	風速設定	ﾌｨﾙﾀｻｲﾝ
●	－	●	風向設定	ﾌｨﾙﾀｻｲﾝ
●	●	－	---	---
●	●	●	---	---

未使用(必ず OFFにして下さい)

OFF 集中個別は集中制御機器に従う(通常時)
ON 集中個別を常時個別に設定

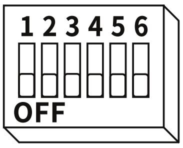
OFF 室温として制御温度を使用（通常時）
ON 室温として吸込温度を使用

未使用(必ず OFFにして下さい)

OFF 集中機器の子として通信
ON 集中機器の親として通信

●本ｲﾝﾀﾌｪｰｽ以外に集中制御機器が無いとき、親(ON)にして下さい。
●本ｲﾝﾀﾌｪｰｽを親にするとき、ノード０だけを親(ON)にして下さい。
●ＡＭＹｱﾀﾞﾌﾟﾀ、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ、ｼｽﾃﾑｺﾝﾄﾛｰﾗと併用する場合、子（OFF）にして下さい。
●ON/OFF集中ｺﾝﾄﾛｰﾗと併用するとき、ON/OFF集中ｺﾝﾄﾛｰﾗの手元禁止機能を使用するときはON/OFF集中ｺﾝﾄﾛｰﾗを親に、本ｲﾝﾀﾌｪｰｽの手元禁止機能を使用するときは、本ｲﾝﾀﾌｪｰｽを親にして下さい。

アドレススイッチ



●はON、－はOFFの意味

アドレススイッチ						集中制御アドレス	LON基板アドレス
1	2	3	4	5	6		
－	－	－	－	－	－	1	1
●	－	－	－	－	－	2	
－	●	－	－	－	－	3	
●	●	－	－	－	－	4	
－	－	●	－	－	－	5	2
●	－	●	－	－	－	6	
－	●	●	－	－	－	7	
●	●	●	－	－	－	8	
－	－	－	●	－	－	9	3
●	－	－	●	－	－	10	
－	●	－	●	－	－	11	
●	●	－	●	－	－	12	
－	－	●	●	－	－	13	4
●	－	●	●	－	－	14	
－	●	●	●	－	－	15	
●	●	●	●	－	－	16	
－	－	－	－	●	－	17	5
●	－	－	－	●	－	18	
－	●	－	－	●	－	19	
●	●	－	－	●	－	20	
－	－	●	－	●	－	21	6
●	－	●	－	●	－	22	
－	●	●	－	●	－	23	
●	●	●	－	●	－	24	
－	－	－	●	●	－	25	7
●	－	－	●	●	－	26	
－	●	－	●	●	－	27	
●	●	－	●	●	－	28	
－	－	●	●	●	－	29	8
●	－	●	●	●	－	30	
－	●	●	●	●	－	31	
●	●	●	●	●	－	32	
－	－	－	－	－	●	33	9
●	－	－	－	－	●	34	
－	●	－	－	－	●	35	
●	●	－	－	－	●	36	
－	－	●	－	－	●	37	10
●	－	●	－	－	●	38	
－	●	●	－	－	●	39	
●	●	●	－	－	●	40	
－	－	－	●	－	●	41	11
●	－	－	●	－	●	42	
－	●	－	●	－	●	43	
●	●	－	●	－	●	44	
－	－	●	●	－	●	45	12
●	－	●	●	－	●	46	
－	●	●	●	－	●	47	
●	●	●	●	－	●	48	
－	－	－	－	●	●	49	13
●	－	－	－	●	●	50	
－	●	－	－	●	●	51	
●	●	－	－	●	●	52	
－	－	●	－	●	●	53	14
●	－	●	－	●	●	54	
－	●	●	－	●	●	55	
●	●	●	－	●	●	56	
－	－	－	●	●	●	57	15
●	－	－	●	●	●	58	
－	●	－	●	●	●	59	
●	●	－	●	●	●	60	
－	－	●	●	●	●	61	16
●	－	●	●	●	●	62	
－	●	●	●	●	●	63	
●	●	●	●	●	●	64	

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

ＬＥＤ

メイン基板には２個の通信ＬＥＤ（緑）と６個のデータＬＥＤ（赤）があります。
通信ＬＥＤは、現在の通信状態①～⑯を表示し、データＬＥＤの表示内容は、通信状態①～⑯によって異なります。

●通信ＬＥＤ（緑）

COM/通信
□□

LD001	LD002	表示内容
×	×	①電源ＯＦＦ時
×	低	②　-----
×	高	③マイコンバージョンＵＰ中
×	●	④空調機との初期通信待ち状態
低	×	⑤空調機と初期通信中
低	低	⑥　-----
低	高	⑦ロンワークス通信マイコン異常
低	●	⑧ＥＥＰＲＯＭ異常
高	×	⑨　-----
高	低	⑩　-----
高	高	⑪　-----
高	●	⑫　-----
●	×	⑬試運転モード
●	低	⑭　-----
●	高	⑮バージョン表示中
●	●	⑯正常通信中

×：消灯、　低：低速点滅（１秒毎）、
高：高速点滅（０．２秒毎）、●：点灯

●データＬＥＤ（赤）

DATA/データ
□□□□□□

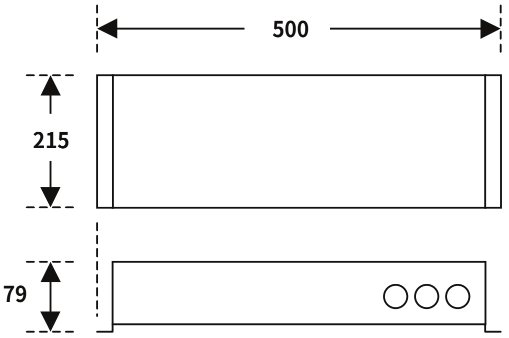
通信ＬＥＤ（緑）の状態	データＬＥＤ（赤）の表示内容
①	全ＬＥＤ消灯
②	全ＬＥＤ点灯
③	-----
④	空調機初期通信の待ち時間(秒)表示　※
⑤	空調機通信状態表示（Ｐ７参照）
⑥	-----
⑦	全ＬＥＤ消灯
⑧	全ＬＥＤ消灯
⑨	-----
⑩	-----
⑪	-----
⑫	-----
⑬	試運転モード仕様に従う（Ｐ９参照）
⑭	-----
⑮	バージョン表示仕様に従う（Ｐ１０参照）
⑯	空調機通信状態表示（Ｐ７参照）

※電源投入時に全てのメイン基板が一斉に初期通信するのを避けるため、アドレスＳＷで設定した秒だけ待機します。この表示は１秒毎に変化し、全ＬＥＤが消灯したとき初期通信を開始します。

●空調機通信状態表示

LD	表示内容	
	室内グループ	
003	0	OFF　：初期通信待ち 低速点滅　：最小送信間隔待ち 高速点滅　：初期通信中 ON　：正常通信中
004	1	
005	2	
006	3	
007	ロンワークス通信部にデータ出力したとき、200mscc点灯	
008	室内外通信部にデータ出力したとき、200mscc点灯	

外形寸法図



製品仕様

接続対象	ロンワークスネットワーク FTT-10Aトランシーバ機器
電　　源	単相100Vまたは200V
消費電力	約20W
使用環境条　　件	温度0～40℃、湿度20～80%、 屋内専用
外形寸法	高さ79mm×幅500mm×奥行215mm
重　　さ	約3.3kg

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

１．製品概要

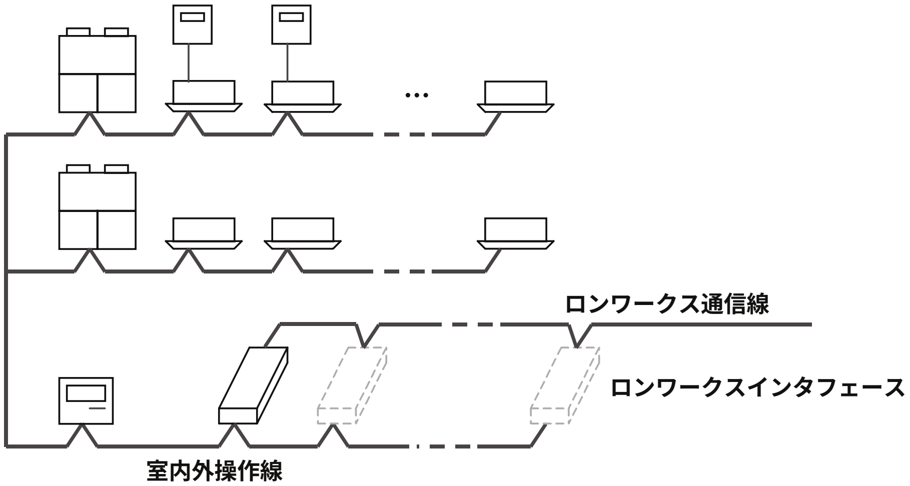
■製品概要

　本インタフェースは、ロンワークスと三洋製空調機（ＰＡＣ、ＧＨＰ）の制御ネットワークを接続するための通信インタフェースです。
　ロンワークスに接続される上位側のホストから、空調機最大１６グループの基本的な設定／状態監視が可能になります。

■対象機種

ＰＡＣ	T形、U形、A形、B形
ＧＨＰ	G形、H形、J形、K形

■システム図



【ご注意】

①ロンワークスインタフェース１台で、室内１６グループ（最大６４台）を制御可能です。室内機が１７グループ以上のときは、インタフェースを追加接続してください。
②ロンワークスインタフェース以外に、必ず、空調機を制御できるリモコン（またはシステムコントローラなど）を付けてください。
③ロンワークスインタフェースと接続するまえに室内機に集中アドレスを設定して下さい。

■機能

ロンワークスからの空調機設定	室内機グループ毎に設定	発停
		設定温度　（※１）
		運転モード
		オプション１設定　（※２）
		オプション２設定　（※２）
	一括設定	災害停止
ロンワークスへの空調機状態通知		発停
		設定温度
		運転モード
		オプション１状態　（※２）
		オプション２状態　（※２）
		警報状態　（※３）
		警報室内機番号　（※４）
		室温　（※５）
		空調機状態　（※６）
コンフィグレーション・プロパティ		送信間隔設定　（※７）
		最小送信確保時間　（※８）

（※１）室内機で設定できる設定温度上限値以上の温度が指示されたときは上限値に、下限値以下の温度が指示されたときは下限値に設定されます。
（※２）オプションは、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインから、設定スイッチで２つ選択できます。
（※３）室内グループ制御時、１台以上の室内機が警報のとき警報と判断します。
（※４）警報室内機の室内機番号を通知します。室内グループ内の警報室内機を特定することが可能です。
（※５）室内グループ制御時、グループ親機の室温を通知します。
（※６）室内機状態は、１台以上の室内機が警報のとき、警報コードを通知します。
（※７）設定された間隔で、出力可能な全データを出力します。
（※８）設定された間隔は、同じデータを連続して出力しません。

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

３、空調機集中アドレス割当方法

●ロンワークスインタフェース以外の集中制御機器がないときは、ワイヤードリモコンを使用して、〔集中アドレス設定〕を行った後、〔集中アドレス割当〕を行って下さい。

●システムコントローラなどの集中制御機器が既にあるときは、〔集中アドレス割当〕のみ行って下さい。

【集中アドレス設定方法】

■U形リモコン(RCS-SH80U)を使用するとき

①点検ボタンと換気ボタンを２つ同時に４秒以上押して、リモコンの「設定中」表示が点滅することを確認します。

②温度設定▲／▼ボタンを押して、項目コード「０３」に設定します。

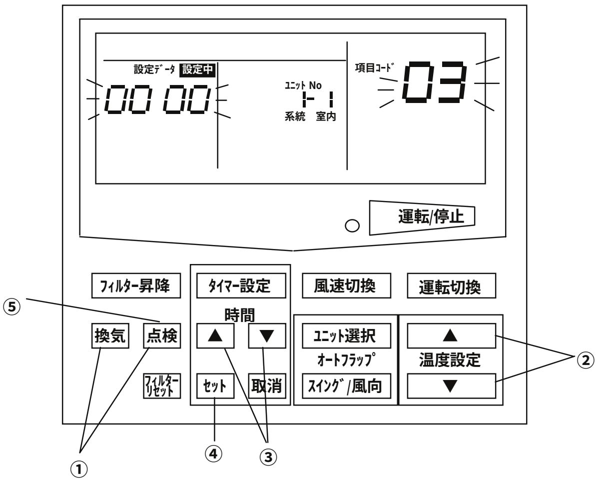
③タイマー時間▲／▼ボタンを押して、希望の集中制御アドレスに設定します。

④セットボタンを押して、「設定中」の表示が点滅から点灯に変化したことを確認して下さい。

（セットボタンを押さないと、設定データは変更できません。）

⑤点検ボタンを押して、リモコンの表示が消えたことを確認します。

RCS-SH80U

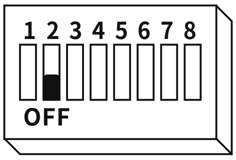


ご注意：他の機種のリモコンを使用するときは、リモコンの取扱説明書に従い、設定してください。

【集中アドレス割当方法】

①ロンワークスインタフェースの電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【切】にして下さい。

②設定スイッチ（Ｓ００６－２）がＯＦＦ（集中アドレスをディップスイッチで設定）になっていることを確認して下さい。

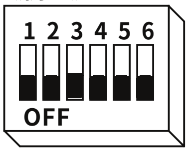


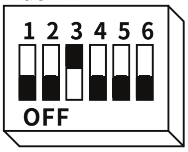
③アドレススイッチに、先頭の集中アドレスを設定して下さい。連番割当方法では、集中制御アドレスは連番で割当られます。

《例１》アドレススイッチに“１”を設定したとき、本基板は、集中制御アドレス１，２，３，４の室内機と通信することが可能です。

《例２》アドレススイッチに“５”を設定したとき、本基板は、集中制御アドレス５，６，７，８の室内機と通信することが可能です。

《例１》“１”　《例２》“５”

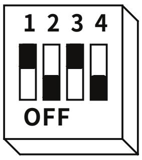




設定方法はＰ６を参照して下さい。

④室内有効スイッチの有効／無効をセットして下さい。

《例》アドレススイッチを“５”に設定したが、集中制御アドレス５と７の室内機しか存在しないとき、５・７は有効、６・８は無効にして下さい。



アドレススイッチを“５”に設定したとき、室内グループ０の集中制御アドレスは‘５’、室内グループ２の集中制御アドレスは‘７’です。

ご注意：

存在しない集中制御アドレスを有効にしていると初期通信が完了しません（ＬＥＤ点滅）

また、存在する室内機の集中制御アドレスを無効に設定したとき、本基板とは通信を行いません。

⑤電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【入】にして下さい。

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

4、ロンワークスインタフェース試運転方法

ロンワークスインタフェース試運転を行う前に、空調機の試運転、空調機集中制御アドレスの割当を行って下さい。

【ロンワークスインタフェース試運転方法】

①タッチスイッチＳ００１を５秒以上長押しして下さい。
現在操作している基板は試運転モードになり、ＬＤ００１は点灯、ＬＤ００２－ＬＤ００８は消灯します。

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 7 8

②タッチスイッチＳ００２を押すと、データＬＥＤは、下表の順に表示します。
また、割り当てられた室内機グループが下表のように運転／停止します。

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	停止
1	停止
2	停止
3	停止

⇩ Ｓ００２ PUSH

STEP2

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ **3** 4 5 6 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	運転
1	停止
2	停止
3	停止

⇩ Ｓ００２ PUSH

STEP3

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ **3** **4** 5 6 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	運転
1	運転
2	停止
3	停止

⇩ Ｓ００２ PUSH

STEP4

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ **3** **4** **5** 6 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	運転
1	運転
2	運転
3	停止

⇩ Ｓ００２ PUSH

STEP5

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ **3** **4** **5** **6** 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	運転
1	運転
2	運転
3	運転

⇩ Ｓ００２ PUSH

STEP1

COM/通信 **1** 2　Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 7 8

室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	発停
0	停止
1	停止
2	停止
3	停止

⇩ Ｓ００２ PUSH

③ロンワークスインタフェースの試運転終了後、必ず、電源リセットして下さい。

5、ロ ンワークス インタフェースバージョン確認方法

①タッチスイッチＳ００２を押して下さい。
　本基板は１８秒間バージョン表示モードになり、
　ＬＤ００１が点灯、ＬＤ００２が高速点滅します。

②バージョン表示中（１８秒間）は以下の内容を表示します。

最初の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 7 **8** 8：点灯　7：消灯 メインマイコンのバージョンの１桁目を表示
次の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** 8 8：消灯　7：点灯 メインマイコンのバージョンの２桁目を表示
次の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** **8** 8：点灯　7：点灯 メインマイコンのバージョンの３桁目を表示
次の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 7 **8** 8：点灯　7：消灯 ロンワークス通信マイコンのバージョンの１桁目を表示
次の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** 8 8：消灯　7：点灯 ロンワークス通信マイコンのバージョンの２桁目を表示
最後の３秒間	Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** **8** 8：点灯　7：点灯 ロンワークス通信マイコンのバージョンの３桁目を表示

●バージョン表示

0	3 4 5 6	5	**3** 4 **5** 6
1	**3** 4 5 6	6	3 **4** **5** 6
2	3 **4** 5 6	7	**3** **4** **5** 6
3	**3** **4** 5 6	8	3 4 5 **6**
4	3 4 **5** 6	9	**3** 4 5 **6**

《例》メインマイコン　　　　　　バージョン３．５６
　　　ロンワークス通信マイコン　バージョン２．００
　　　のとき下記のような表示になります。

- Data/ﾃﾞｰﾀ **3** **4** 5 6 7 **8**　“３”
- ⇩ Data/ﾃﾞｰﾀ **3** 4 **5** 6 **7** 8　“５”
- ⇩ Data/ﾃﾞｰﾀ 3 **4** **5** 6 **7** **8**　“６”
- ⇩ Data/ﾃﾞｰﾀ 3 **4** 5 6 7 **8**　“２”
- ⇩ Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** 8　“０”
- ⇩ Data/ﾃﾞｰﾀ 3 4 5 6 **7** **8**　“０”

7.　ロンワークス通信部ネットワーク変数一覧

空調機	入出力	項目	変数名	変数タイプ
室内グループ　0	入力	発停	nviOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション1設定	nviOptin1_00	SNVT_switch
		オプション2設定	nviOptin2_00	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション1状態	nvoOptin1_00	SNVT_switch
		オプション2状態	nvoOptin2_00	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_00	SNVT_switch
		警報室内機	nvoAlarmIn_00	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_00	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_00	SNVT_count
室内グループ　1	入力	発停	nviOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_01	SNVT_hvac_mode
		オプション1設定	nviOptin1_01	SNVT_switch
		オプション2設定	nviOptin2_01	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_01	SNVT_hvac_mode
		オプション1状態	nvoOptin1_01	SNVT_switch
		オプション2状態	nvoOptin2_01	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_01	SNVT_switch
		警報室内機	nvoAlarmIn_01	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_01	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_01	SNVT_count
室内グループ　2	入力	発停	nviOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_02	SNVT_hvac_mode
		オプション1設定	nviOptin1_02	SNVT_switch
		オプション2設定	nviOptin2_02	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_02	SNVT_hvac_mode
		オプション1状態	nvoOptin1_02	SNVT_switch
		オプション2状態	nvoOptin2_02	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_02	SNVT_switch
		警報室内機	nvoAlarmIn_02	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_02	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_02	SNVT_count
室内グループ　3	入力	発停	nviOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nviHeatCool_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nviSetPoint_03	SNVT_hvac_mode
		オプション1設定	nviOptin1_03	SNVT_switch
		オプション2設定	nviOptin2_03	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_03	SNVT_hvac_mode
		オプション1状態	nvoOptin1_03	SNVT_switch
		オプション2状態	nvoOptin2_03	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_03	SNVT_switch
		警報室内機	nvoAlarmIn_03	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_03	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_03	SNVT_count
室内グループ０－３	入力	火災時緊急停止	nviAllInOff	SNVT_switch

送信間隔設定	nciSndHrtBt	SNVT_time_sec
最小送信確保時間	nciMinOutTm	SNVT_time_sec

8.　ロンワークス通信部ネットワーク変数詳細

[nv1]　ユニット発停指令

network input SNVT_switch　nviOnOff_00;
network input SNVT_switch　nviOnOff_01;
network input SNVT_switch　nviOnOff_02;
network input SNVT_switch　nviOnOff_03;

この入力ネットワーク変数は、室内機の発停状態を変化させるために使用します。
リモコン等の三洋空調機側からのみ発停をする場合は、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　state　0：停止　value　（未使用）
　　　　　　　1：運転

[nv2]　ユニット発停状態通知

network output SNVT_switch nvoOnOff_00;
network output SNVT_switch nvoOnOff_01;
network output SNVT_switch nvoOnOff_02;
network output SNVT_switch nvoOnOff_03;

この出力ネットワーク変数は、室内機の現在の運転／停止状態、サーモON／OFF状態を通知します。
リモコン等の三洋空調機側からの操作により状態変更した場合にも出力されます。
ロンワークスインタフェースまたは空調機の電源リセット時に出力されます。
室内機がグループ制御のとき、1台以上サーモONしたときサーモONを出力し、全室内機サーモOFFのとき、サーモOFFを出力します。

●内容　state　0：停止　value　0：サーモOFF
　　　　　　　1：運転　　　　200：サーモON

[nv3　温度設定指令

network input SNVT_temp_p nviSetpoint_00;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_01;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_02;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_03;

この入力ネットワーク変数は、室内機の設定温度を変化させるために使用します。
リモコン等の三洋空調側からのみ温度設定をする場合は、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容
有効範囲
冷暖自動モード時　：17－27℃
暖房モード時　：16－26℃
冷房モード時　：18－30℃
ドライモード時　：18－30℃
送風モード時　：設定温度は使用されません
設定温度単位1.0℃（小数点以下は切捨てられます。）

※室外ユニット、室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv4]　温度設定状態通知

network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_02;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_03;

この出力ネットワーク変数は、設定温度状態が変化したときに出力されます。
リモコン等の三洋空調側からの操作により状態変更された場合にも出力されます。
ロンワークスインタフェースまたは空調機器の電源リセット時に出力されます。

●内容
有効範囲　出力範囲　：16－30℃
　　　　　湿度単位　：1.0℃

※室外ユニット、室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv5]　運転モード設定指令

network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_00;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_01;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_02;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_03;

この入力ネットワーク変数は、室内機の運転モードを変化させるために使用します。
リモコンなどの三洋空調側からのみ運転モード設定する場合は、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　0：冷暖自動　5：ドライ
　　　　1：暖房　　　9：送風
　　　　3：冷房

※室外ユニット、室内ユニットの機種により、設定できる運転モードが異なります。
※上記の内容以外の設定は無視します。

[nv6]　運転モード状態通知

network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_00;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_01;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_02;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_03;

この出力ネットワーク変数は、運転モードが変化したときに出力されます。
リモコン等の三洋空調側からの操作により状態変更された場合にも出力されます。
ロンワークスインタフェースまたは空調機器の電源リセット時に出力されます。

●内容　0：冷暖自動　5：ドライ
　　　　1：暖房　　　9：送風
　　　　3：冷房

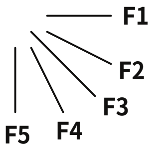
ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

[nv 7] オプション1設定指令
[nv 9] オプション2設定指令

network input SNVT_switch nviOption1_00;
network input SNVT_switch nviOption1_01;
network input SNVT_switch nviOption1_02;
network input SNVT_switch nviOption1_03;
network input SNVT_switch nviOption2_00;
network input SNVT_switch nviOption2_01;
network input SNVT_switch nviOption2_02;
network input SNVT_switch nviOption2_03;

　この入力ネットワーク変数は、室内機のオプション設定のために使用されます。
　オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から2つ選択できます。
　ロンワークスインタフェース基板上のディップスイッチで変更してください。
　ロンワークス通信部から、オプション設定しないとき、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

<table>
<tr><th></th><th>state</th><th>value</th><th>発停
操作</th><th>温度
設定</th><th>運転
モード</th></tr>
<tr><td rowspan="10">手元
禁止</td><td>0</td><td>（未使用）</td><td>許可</td><td rowspan="2">許可</td><td rowspan="4">許可</td></tr>
<tr><td rowspan="9">1</td><td>100</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>120</td><td>許可</td><td rowspan="2">禁止</td></tr>
<tr><td>140</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>150</td><td>許可</td><td rowspan="2">許可</td><td rowspan="5">禁止</td></tr>
<tr><td>160</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>180</td><td>許可</td><td rowspan="3">禁止</td></tr>
<tr><td>200</td><td rowspan="2">禁止</td></tr>
<tr><td>その他</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="5">風速
設定</td><td rowspan="5">（未使用）</td><td>120</td><td>自動</td></tr>
<tr><td>200</td><td>急風</td></tr>
<tr><td>150</td><td>強風</td></tr>
<tr><td>100</td><td rowspan="2">弱風</td></tr>
<tr><td>その他</td></tr>
<tr><td rowspan="7">風向
設定</td><td rowspan="7">（未使用）</td><td>200</td><td>スイング</td></tr>
<tr><td>170</td><td>F1</td></tr>
<tr><td>140</td><td>F2</td></tr>
<tr><td>110</td><td>F3</td></tr>
<tr><td>80</td><td>F4</td></tr>
<tr><td>50</td><td>F5</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>スイング</td></tr>
<tr><td>フィルタ
サイン</td><td colspan="3">データが更新されたとき、
フィルタサインリセットします。</td></tr>
</table>



※冷房／ドライ時は、F4／F5位置に設定できません。

[nv 8] オプション1設定状態通知設定
[nv10] オプション2設定状態通知設定

network output SNVT_switch nvoOption1_00;
network output SNVT_switch nvoOption1_01;
network output SNVT_switch nvoOption1_02;
network output SNVT_switch nvoOption1_03;
network output SNVT_switch nvoOption2_00;
network output SNVT_switch nvoOption2_01;
network output SNVT_switch nvoOption2_02;
network output SNVT_switch nvoOption2_03;

　この出力ネットワーク変数は、室内機のオプション設定状態が変化したとき通知します。
　オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から2つ選択できます。
　ロンワークスインタフェース基板上のディップスイッチで変更してください。
　ロンワークスインタフェースまたは空調機器の電源リセット時に出力されます。

<table>
<tr><th></th><th>state</th><th>value</th><th>発停
操作</th><th>温度
設定</th><th>運転
モード</th></tr>
<tr><td rowspan="8">手元
禁止</td><td>0</td><td>0</td><td>許可</td><td rowspan="2">許可</td><td rowspan="4">許可</td></tr>
<tr><td rowspan="7">1</td><td>100</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>120</td><td>許可</td><td rowspan="2">禁止</td></tr>
<tr><td>140</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>150</td><td>許可</td><td rowspan="2">許可</td><td rowspan="4">禁止</td></tr>
<tr><td>160</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td>180</td><td>許可</td><td rowspan="2">禁止</td></tr>
<tr><td>200</td><td>禁止</td></tr>
<tr><td rowspan="6">風速
設定</td><td rowspan="6">1</td><td>120</td><td>自動</td></tr>
<tr><td>200</td><td>急風</td></tr>
<tr><td>150</td><td>強風</td></tr>
<tr><td>100</td><td>弱風</td></tr>
<tr><td>50</td><td>微風</td></tr>
<tr><td>0</td><td>停止</td></tr>
<tr><td rowspan="7">風向
設定</td><td rowspan="7">1</td><td>200</td><td>スイング</td></tr>
<tr><td>170</td><td>F1</td></tr>
<tr><td>140</td><td>F2</td></tr>
<tr><td>110</td><td>F3</td></tr>
<tr><td>80</td><td>F4</td></tr>
<tr><td>50</td><td>F5</td></tr>
<tr><td>0</td><td>停止</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フィルタ
サイン</td><td>0</td><td rowspan="2">0</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>1</td><td>ON</td></tr>
</table>

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

[nv11] 警報通知

network output SNVT_switch nvoAlarm_00;
network output SNVT_switch nvoAlarm_01;
network output SNVT_switch nvoAlarm_02;
network output SNVT_switch nvoAlarm_03;

この出力ネットワーク変数は、室内機に警報が発生したとき、室内機の警報が復帰したとき、出力します。
ロンワークスインタフェースまたは空調機器の電源リセット時に出力されます。

●内容　state　０：正常　value　常時、０
１：警報

[nv12] 警報室内番号通知

network output SNVT_switch nvoAlarmIn_00;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_01;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_02;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_03;

この出力ネットワーク変数は、室内機に警報が発生したとき出力します。
ロンワークスインタフェースまたは空調機の電源リセット時に出力されます。

●内容　state　常時、0　value　警報室内機番号×2
※警報発生していないときは、value＝０

[nv13] 室温通知

network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_00;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_01;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_02;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_03;

この出力ネットワーク変数は、室内機の室温が変化したときに出力されます。。
ロンワークスインタフェースまたは空調機の電源リセット時に出力されます。
室内機がグループ制御のときは、グループ親機の室温が出力されます。

●内容
有効範囲
出力範囲　：－35.0～92.5℃
温度単位　：0.5℃

※室外ユニット、室内ユニットの機種により、出力温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。
※室内機をグループ制御しているときは、親機の状態が通知されます。

[nv14] 空調機状態通知

network output SNVT_count nvoInState_00;
network output SNVT_count nvoInState_01;
network output SNVT_count nvoInState_02;
network output SNVT_count nvoInState_03;

この出力ネットワーク変数は、空調機状態が変化したとき出力します。
ロンワークスインタフェースまたは空調機の電源リセット時に出力されます。

0	正常通信中（警報無し）
1～255	警報コード表に従います。
300	室内機未接続（初期通信中）

[nv15] 災害停止

network output SNVT_switch nviAllInOff;

この入力ネットワーク変数は、室内機を緊急停止させるために使用します。
停止させられた室内機は、手元禁止（発停禁止）になります。手元禁止（温度設定／運転モード）は、停止前の状態が保持されます。
緊急停止を解除したとき、手元禁止（発停禁止）は、停止前の状態に戻りますが、ユニットは停止状態です。
この機能を使用しないとき、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　state　０：解除　value　（未使用）
１：災害停止

[nc49] 送信間隔設定

network input config SNVT_time_sec nciSndHrtBt;

このネットワークコンフィギュレーションは、自動データ出力の間隔を設定するものです。設定時間が経過すると自動的に出力されます。
対象となるネットワーク変数は、以下の通りです。

nvoOnOff_0?	nvoSetpoint_0?	nvoHeatCool_0?
nvoOption1_0?	nvoOption2_0?	nvoAlarm_0?
nvoAlarmIn_0?	nvoSpaceTemp_0?	nvoInState_0?

●内容
有効範囲は、0.0秒～6553.5秒です。0.0秒に設定した場合は、自動データ更新が無効となります。
送信間隔設定時間は、全ネットワーク変数に共通です。
設定時間が経過すると、上記全ネットワーク変数のデータを出力します。

[nc52] 最小通信確保時間設定

network input config SNVT_time_sec nciMinOutTm;

このネットワークコンフィギュレーションは、出力ネットワーク変数の最小確保間隔を決めるものです。
対象となるネットワーク変数は、以下の通りです。

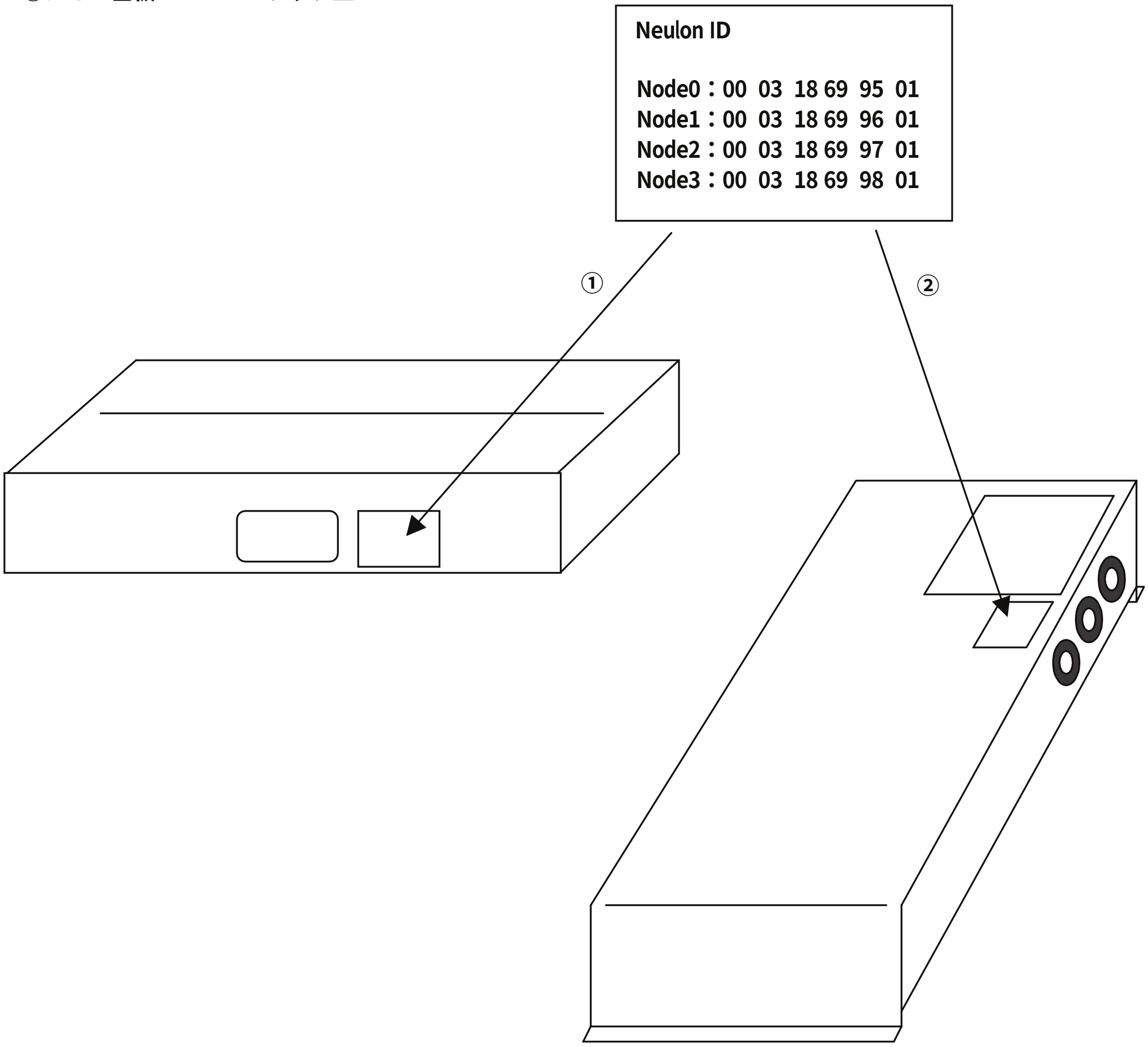
nvoOnOff_0?	nvoSetpoint_0?	nvoHeatCool_0?
nvoOption1_0?	nvoOption2_0?	nvoAlarm_0?
nvoAlarmIn_0?	nvoSpaceTemp_0?	nvoInState_0?

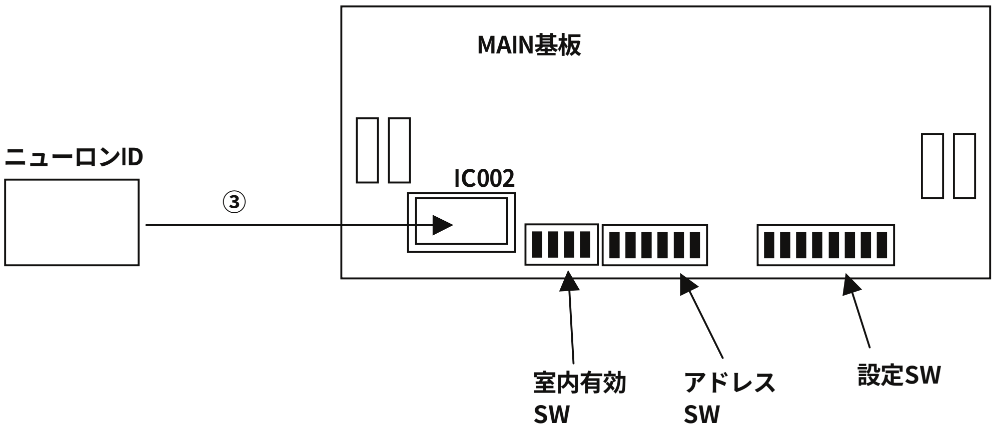
●内容
有効範囲は、0.0秒～6553.5秒です。
最小送信確保時間は、ネットワーク変数毎に独立しているので、他のネットワーク変数との間には有効ではありません。

ロンワークスインターフェース／SHA-LN16U…別売品

９．ニューロンID貼付け位置

ニューロンIDは、以下の3個所に貼付けしています。
①梱包箱
②板金上蓋
③メイン基板ニューロンチップ上





リレー中継基板／室内用　ACC·DC24A…別売品　配線と設定

■リレー中継基板（ACC-DC24A、別売品）を使用した制御システム

〔配線と設定〕

●フレキ制御の場合、いずれの室内ユニットに接続しても動作します。
室内ユニットの運転・警報信号を取り出す場合も同様です。

（1）制御項目

①運転／停止入力………ユニットの運転停止

②集中／個別切換………集中（リモコン禁止）、個別（リモコン許可）の選択

③運転信号……………運転中の出力

④警報信号……………警報（シリアル通信異常　室内外保護装置）動作中の出力

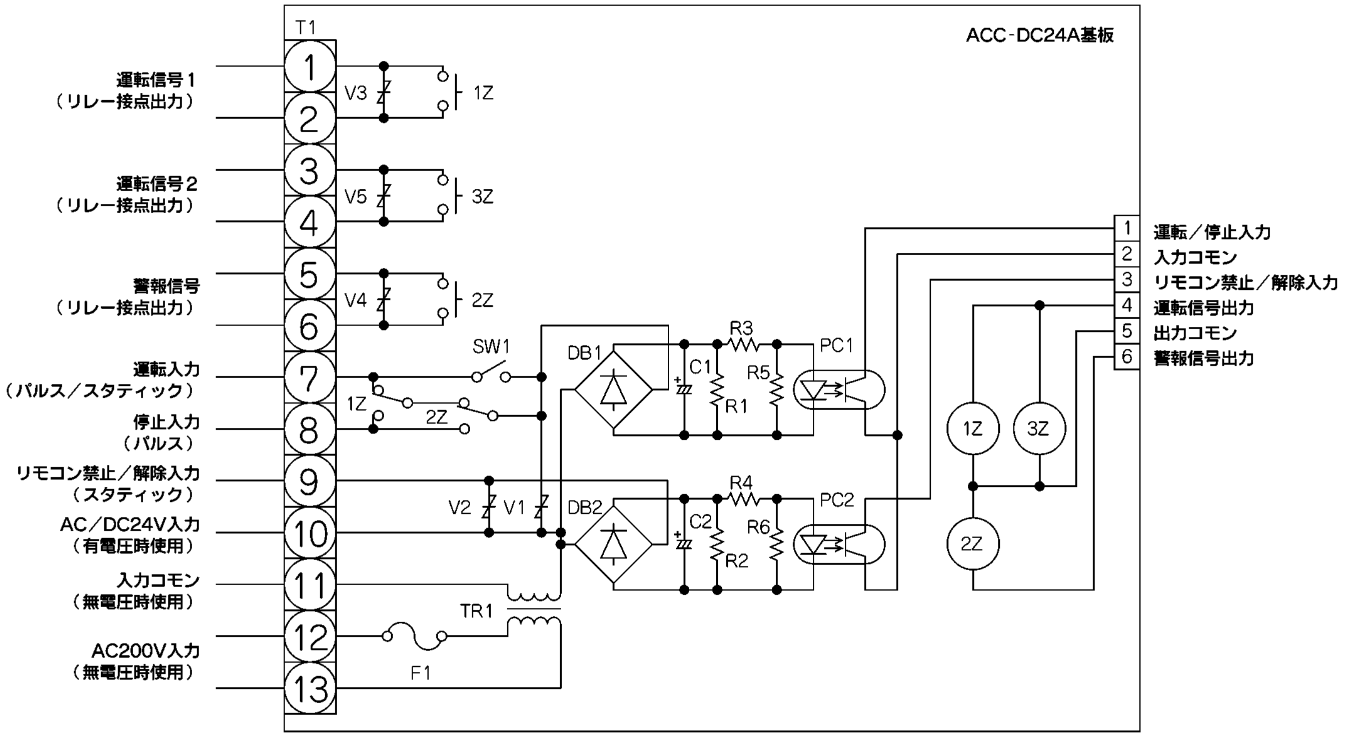
（2）入力仕様　入力方法は接点入力または有電圧は、AC24V·DC24Vのいずれかです。

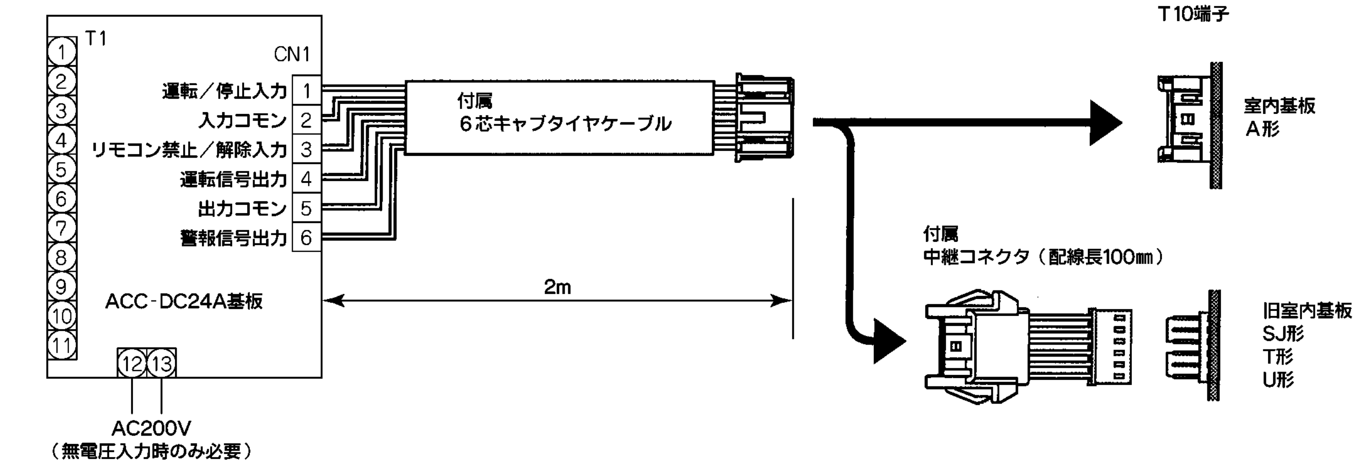
有電圧入力時の入力電流は6mA（DC24V時）、10mA（AC24V時）です。

接点入力時の回路電圧はAC24V、回路電流は10mAです。

（3）出力仕様　運転時・警報時：接点ON　接点定格：AC200V、2A（cos θ ＝0.4）

（4）リレー中継基板（ACC·DC24A、別売品）を使用した配線図





リレー中継基板／室内用　ACC･DC24A…別売品　配線と設定

〔遠隔機器との接続方法〕

遠隔機器との接続は端子板T1に接続しますが、信号の形態により設定が必要です。

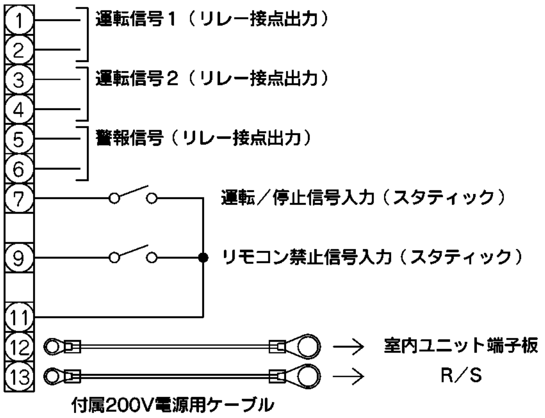
●スタティック、パルスの入力切換（リモコン禁止はスタティックのみです。）

工場出荷時はパルスになっています。スタティックで使用する場合は、次の設定が必要です。

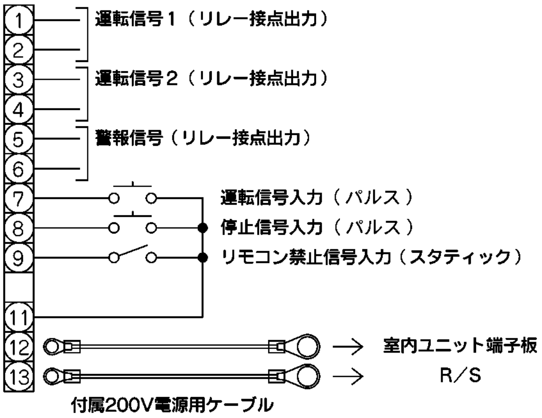
・リレー中継基板上のスイッチ（SW1）をスタティック側にします。

・室内コントロール基板上のジャンパ（JP1）をニッパ等でカットします。

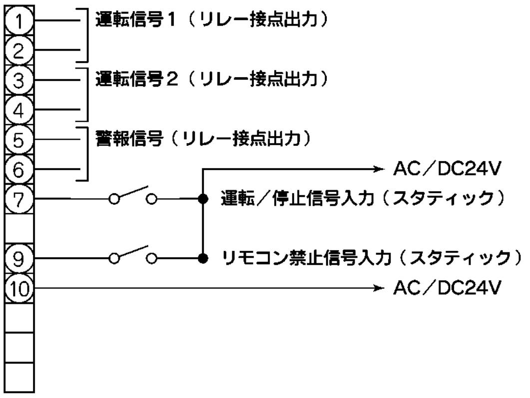
（１）無電圧　スタティック入力



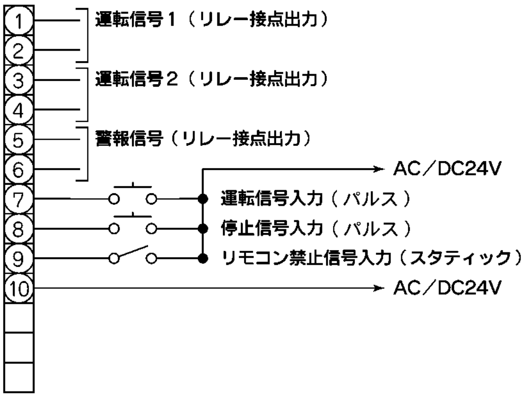
（２）無電圧　パルス入力



（３）ACまたはDC24V　スタティック入力

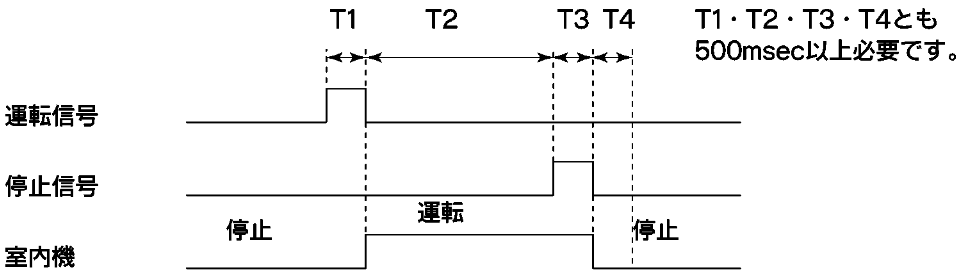


（４）ACまたはDC24V　パルス入力

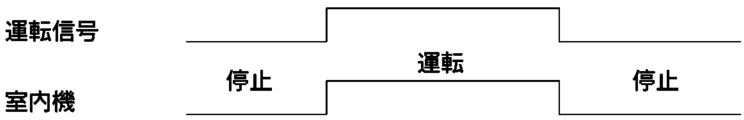


・入力形態について

パルス形式

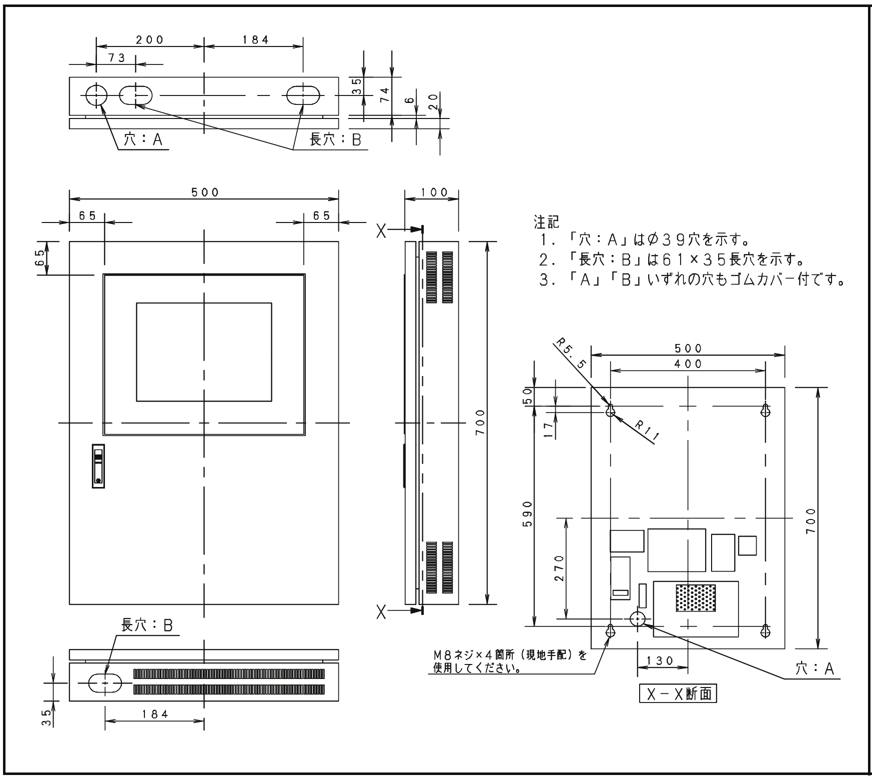


スタティック形式

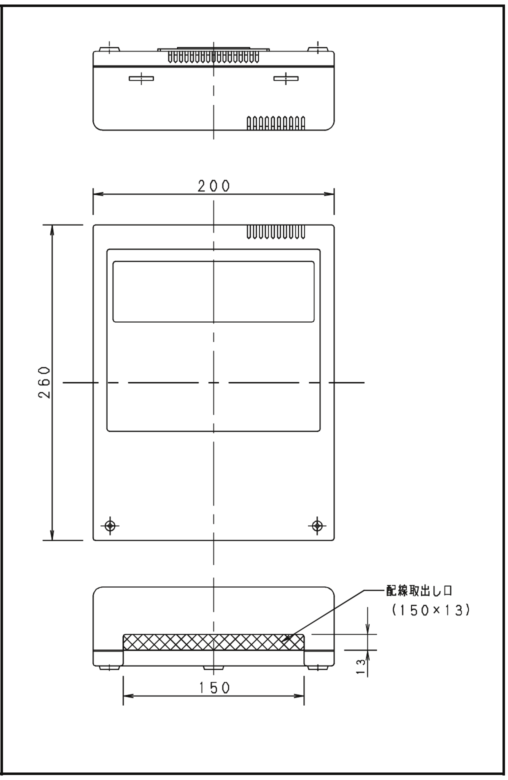


AMYターミナル／TECS-W3000B、AMYアダプター／DDR-3500…別売品

●AMYターミナル外形寸法図



●AMYターミナルアダプター外形寸法図



●操作・表示・印刷機能

○印：機能あり　ー印：機能なし

品名・品番	室内機・接続台数 管理可能な台数	エアコンの種類	接続に必要なローカルアダプター	操作／表示機能									表示機能							外部入・出力端子				※1 印刷機能			
				運転／停止（個別・一括）	モード変更※2	風速変更	温度設定	風向変更	集中／個別切換	週間プログラム	特定日（休日）設定	デマンド制御	室内温度	一括運転確認	警報	運転積算時間	サーモON積算時間	発停回数	説明文	外部一括警報出力	オールON・OFF入力	ウィークリータイマープログラム	一括運転モニター出力	各画面印刷	テナント毎の按分印刷	警報印刷	請求書発行
AMYターミナル TESC-C3000 AMYアダプタ DDR-3500	室内機 512台	A･U･T形ヒートポンプタイプ	DDR-3500	○	○	○	○	○※4	○※5	○	○	○※6	○	○	○※7	○	○	○	○	○	○※11	ー	ー	○	○	○	○
		S･R形ヒートポンプタイプ S形冷房専用タイプ	DDR-3500 SHA-KL1A※3	○	○	○	○	ー	○※5	○	○	ー	○	○	○※8	○※9	○※9	○	○	○	○※11	ー	ー	○	○	○	○
		R(N)形冷専、K･M形 小形エアコン	DDR-3500 SHA-KL4U	○	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○※11	ー	ー	○	ー	○	○
		その他機種	DDR-3500 SHA-KL4U	○	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	○	○※8	○	ー※10	○	○	○	○※11	ー	ー	○	ー	○	○

※1.　ANYターミナルのプリンタは、現地手配。
※2.　送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※3.　SHA-KL1Aを使用する場合は、リモコンレスシステムは不可です。必ずリモコンを取付けてください。
※4.　リモコンがある場合は設定できません。（リモコンで設定してください。）
※5.　表1）の5段階が設定できます。AMYターミナルであれば、リモコン禁止項目の変更も行えます。（SHA-KL1A使用時は集中4は設定不可）
※6.　A･U･R形ヒートポンプのみ可能。但し手動設定。
※7.　警報内容、発生日時を各グループ毎に表示。（AMYターミナルのメモリー機能は10件まで）
※8.　警報発生日時を表示。
※9.　グループ制御時は親機のみ積算。
※10. サーモ信号を取り出せば可能。
※11. OFF入力のみ。

表1）集中／個別　切り換え・制限内容

個　別	リモコンの操作に制限はありません。 但し、集中制御機器またはリモコンのどちらかで、後から操作した内容に変更されます。（後押し優先）
集中1	リモコンで運転／停止できません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中2	リモコンで運転／停止、運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中3	リモコンで運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
集中4	リモコンで運転モードの変更ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）

AMYターミナル／TECS-W3000B、AMYアダプター／DDR-3500…別売品

●各メニューと機能

メインメニュー

- 1. エアコンを操作する
  - 1. 室内機個別に操作する…………… 運転状態（運転／停止／タイマー運転）
    冷暖切換（自動／冷房／暖房／ドライ／送風）
    温度設定（上がる／下がる）
    風速設定（急風／強風／弱風／自動）
    風向設定（上がる／下がる／スイング）
    リモコン禁止（許可／禁止1／禁止2／禁止3）
    週間プログラム（進む／戻る／取消）
  - 2. 複数台まとめて操作する………… 全ユニットまとめて操作する
    テナントごとに操作する
    ゾーンごとに操作する
    個別またはアダプタごとの運転／停止
    室外デマンド操作
  - 3. プログラムタイマーの予約……… デイリータイマーの設定（10種類）
    週間プログラムの予約（20種類）
    テナント休日の登録
- 2. エアコンの状態を見る
  - 1. 室内機状態の一括確認…………… 発停、モード、異常
  - 2. 部屋の温度の一括確認……………
  - 3. 警報発生の履歴…………………… 発生日時、内容、室外運転時間
  - 4. 今月の運転積算状況……………… 室内機の運転積算状況（運転時間、ヒータON時間、運転回数）
    室外機の運転積算状況（運転時間、オイル交換時間、運転回数）
    パルスメータ積算状況（パルスメータ登録時のみ）
    テナント情報の一括確認（運転状態、室温、累積時間、按分率　他）
  - 5. メンテナンス情報の確認………… フィルタ清掃サイン
    エンジンオイル点検サイン
- 3. 冷暖房料金の確認と積算
  - 1. 室内機の運転積算結果
  - 2. 室外機の運転積算結果
  - 3. パルスメータ積算結果（パルスメータ登録時のみ）
  - 4. 冷暖房使用量、料金確認
  - 5. 冷暖房料金一覧表
  - 6. 請求書の発行
  - 7. 手動による積算
- 4. ご使用の上で必要な設定
  - 1. 現在日時と時刻を合わせる
  - 2. 運用環境の設定（その1）………… モノクロ／カラー切換
    ブザー切換（鳴らす／鳴らさない）
    印刷用紙サイズ設定
    印刷範囲設定（両面／一括）
    一括運転アダプタ遅延（する／しない）
    運用環境の設定（その2）…………両面反転／非反転　切換（モノクロ時）
    カーソル表示切換　点滅する／しない
    停電検知時間（※分、無検知）
    暗証番号登録
    表示モード切換（通常／ダミー）
  - 3. 運用形態の選択…………………… ①エアコン操作／監視のみ
    ②按分率表示のみ
    ③パルス単価方式で料金精算
    ④時間単価方式で料金精算
- 5. 試運転と保守義務
  - 1. 試運転
  - 2. データ補償作業…………………… 補償ファイル作成
    補償ファイル読み込み
  - 3. 初期化作業………………………… 内部メモリの初期化
    通信アダプタの初期化
  - 4. アダプタへのパルスカウンタ書き込み

AMYターミナル／TECS-W3000B…別売品　施工

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠**警告**　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠**注意**　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに"取扱説明書"にそってお客様に使用方法を説明してください。また、"据付(電気)工事担当のかたへ"は、"取扱説明書"とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

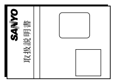
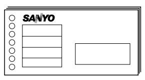
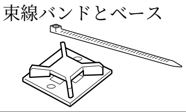
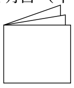
⚠警　告

- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電･火災等の原因になります。
- 据付工事は、"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って確実に行ってください。
  据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事担当のかたへ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると、感電･火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠注　意

- アースエ事を行ってください。(電気工事士の資格のある方が行ってください。)
  アース線は、ガス管･水道管･避雷針･電話のアース線等に接続しないでください。
  アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

AMYターミナル付属部品

付属品					
番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	取扱説明書 	1	⑤	保証書 	1
②	タッチペン	1	⑥	束線バンドとベース 	各4
③	フロッピーディスク	2	⑦	カギ	2
④	工事説明書（本書） 	1			

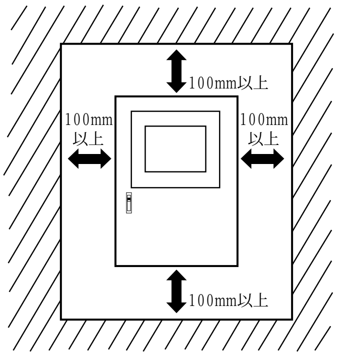
AMYターミナルの取り付けかた

本製品は壁掛け専用です。

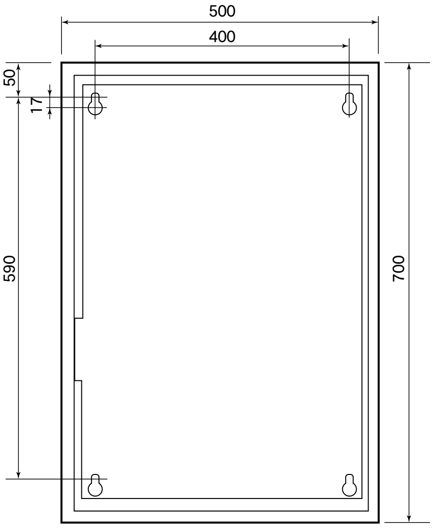
〈注1〉　室内外操作線、AMY操作線、入出カ配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉　AMYターミナルは、次のような場所は避けて据え付けてください。
- ･ノイズの発生源の近く
- ･高温となるところ
- ･湿気や振動の多いところ
- ･ホコリの多いところ
- ･直射日光の当たるところ

〈注3〉　ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けるなどの処置が必要です。
〈注4〉　取り付け用のM8ネジは現地でご手配ください。
〈注5〉　配線は必ず電源線と通信線を別々にして、所定の引き込み口から引き込んでください。
〈注6〉　本体重量に耐える堅牢な壁に取り付けてください。

本体の左右上下に通風口があります。ふさがないように左右上下に100mm以上のスペースをおとりください。



取り付け穴寸法
壁に掛ける時にはM8ネジを使用してください。（現地手配）



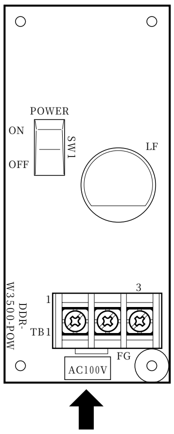
AMYターミナルの配線のしかた

〈注1〉　入出力配線(プリンタケーブルを除く)は、2芯0.5mm²～2.0mm²の信号線を使用してください。
〈注2〉　通信線(AMY操作線、室内外操作線)は、電源配線と同一電線管内を通したり、同一ケーブルで配線したり、互いを近づけて配線したりしないでください。
〈注3〉　誤配線のないよう十分注意してください(誤配線をするとこわれます)。
〈注4〉　必要に応じて付属の束線バンドとベースを使用し、配線処理を行なってください。

AMYターミナル／TECS-W3000B…別売品　施工

①電源配線の接続

単相100V(50/60Hz)を、DDR-W3500-POW基板の端子板TB1の1、2番〔AC100V〕に接続します。



②アース線の接続

アース線を、ターミナル内のアース端子板に接続してください。

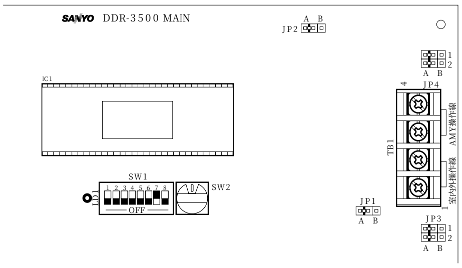
③AMY操作線の接続

複数のAMYアダプタを接続する場合に、アダプタどうしをAMY操作線で接続します。室内外操作線1系統だけをターミナルに直接接続する場合は必要ありません。

AMY操作線は、DDR-3500-MAlN基板の端子板TB1の3、4番〔AMY操作線〕に接続します。(極性はありません)

なお、配線にあたっては次のことをお守りください。

・できる限り渡り配線とする
・ループ配線にしない
・分岐させる場合は16箇所までとする
・分岐後の再分岐は行わない
・タコ足分岐は行わない
・総延長は1km以下とする
・AMYアダプタ接続台数は20台までとする(AMYターミナル内の1台を含む)
・前記20台のうち、室内外操作線を接続するのは16系統までとし、単独設置専用とする場合に限り、さらに4台まで増設できます。

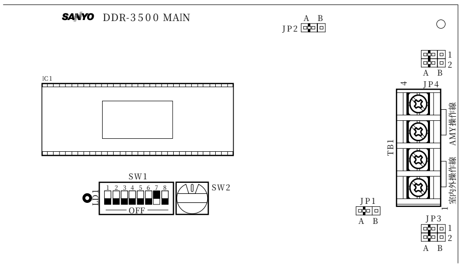


④室内外操作線の接続

AMYターミナルに室内外操作線を接続する場合は、DDR-3500-MAlN基板の端子板TB1の1,2番〔室内外操作線〕に接続します。(極性はありません)

AMYアダプタの設置、配線にあたっては、AMYアダプタの工事説明書を参照して確実に行ってください。

1台のAMYターーミナルに接続できる室内外操作線は最大16系統までです。



⑤パルスメータの接続(必要に応じて)

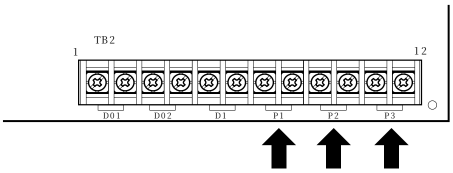
ガス流量計、電力量計をAMYターミナルに接続する場合は、DDR-3500-MAlN基板の端子板TB2の次の箇所に接続してください。

・ガス流量計……　　7、　8番〔P1〕
・電力量計1……　　9、10番〔P2〕
・電カ量計2……　11、12番〔P3〕

電力量計2は、室内ユニット／室外ユニットで別々に計量している場合などに使用します。室内外一括計量の場合は、P2へだけ接続します。

配線長は20m以下としてください。20mを超える場合は、専用に設置したAMYアダプタへ接続するか、リレー受けしてください。

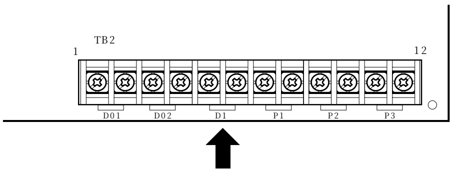
<注>HOTマルチの燃料計は、P1(ガス流量計)へ接続してください。



⑥一括停止入カの接続(必要に応じて)

外部から一括停止信号を入力する場合は、DDR-3500-MAlN基板の端子板TB2の5、6番〔DI〕に接続してください。一括停止信号は必ず無電圧接点のスタティック方式としてください。

配線長は20m以下としてください。20mを超える場合は、専用に設置したAMYアダプタへ接続するか、リレー受けしてください。

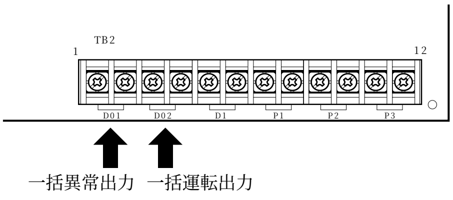


⑦一括異常出力・一括運転出カの接続(必要に応じて)

外部へ一括異常信号・一括運転信号を取り出す場合は、DDR-3500-MAlN基板の端子板TB2の1～4番〔DO1、D02〕に接続してください。無電圧a接点で出力されます。

接点容量はAC200V、0.1Aです。

配線長は100m以下としてください。



⑧プリンタケーブルの接続(必要に応じて)

プリンタを接続する場合は

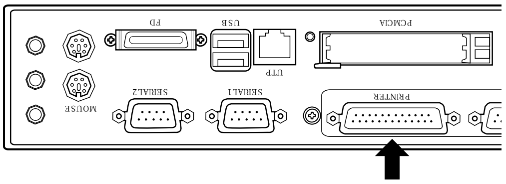
・DOS/V用
・IEEE1284パラレルインターフェース
・WindowsNT4.0用

のプリンタをご手配ください。

プリンタケーブルは、AMYターミナル扉に取り付けられているコンピュータ側面のコネクタ(〔PRINTER〕と書かれています)に接続します。

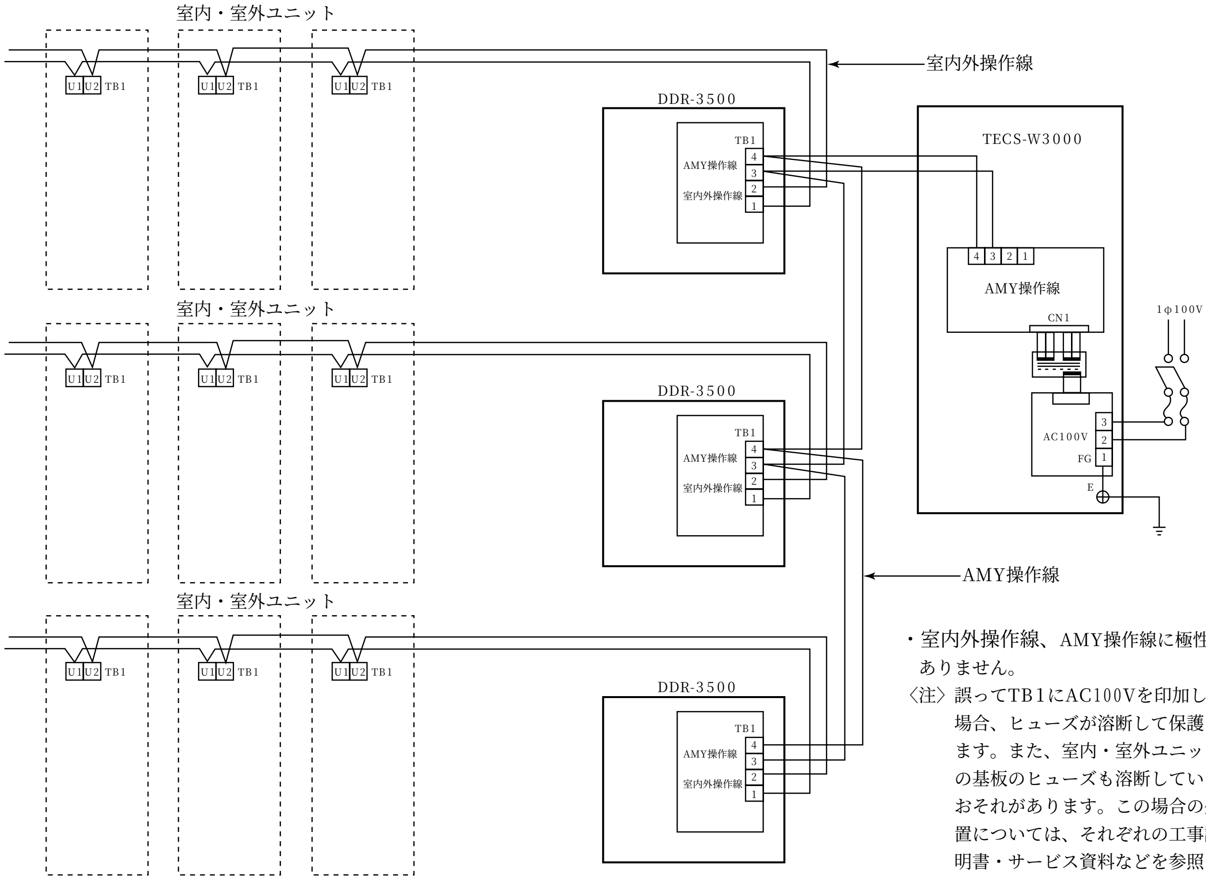
市販の延長ケーブルで延長することはさけてください。

プリンタケーブルの着脱は、必ずコンピュータ電源を0FFした状態で行なってください。



AMYターミナル／TECS-W3000B…別売品　施工

★配線系統図例（室内外操作線を3系統接続する場合の例）

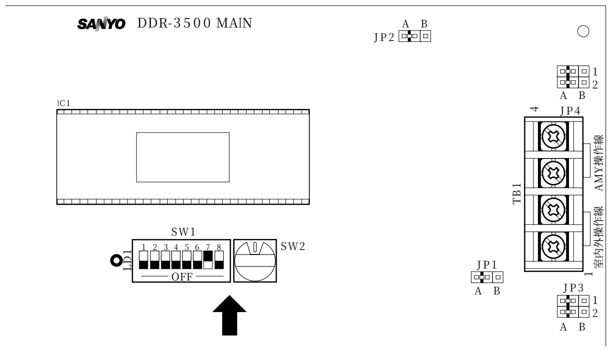


・室内外操作線、AMY操作線に極性はありません。
〈注〉誤ってTB1にAC100Vを印加した場合、ヒューズが溶断して保護します。また、室内・室外ユニットの基板のヒューズも溶断しているおそれがあります。この場合の処置については、それぞれの工事説明書・サービス資料などを参照してください。

基板上の設定について

AMYターミナル内部のDDR-3500-MAIN基板上のスイッチ類は、工場出荷時に次のように設定されておりますので確認してください。もしこれと異なる状態であったら正しく設定し直してください。

①8Pディップスイッチ SW1　：7番のみON、他はすべてOFF
②ロータリースイッチSW2　：「0」
③ジャンパプラグJP1～4（6本）：すべて「A」側（左側）

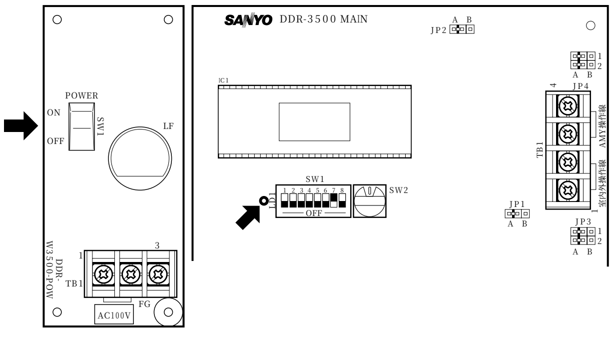


AMYターミナル内基板に直接室内外操作線を接続しないときはSW1の5番はONしてください。

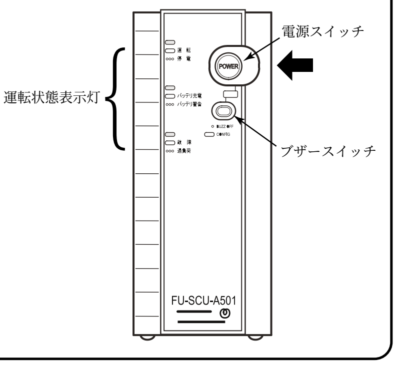
●スイッチやジャンパプラグなどの詳細は、AMYアダプタ（DDR-3500）の「据付（電気）工事担当のかたへ」を参照願います。
（ターミナル内部および外付けDDR-3500とも同様）

電源の入れ方

①電源を接続後、DDR-3500-POW基板上のPOWERスイッチ(SW1)をONしてください。このとき、DDR-3500-MAIN基板上の赤ランプＬＤ１が点灯することを確認してください。場所は8Pデイップスイッチのすぐ左横です。

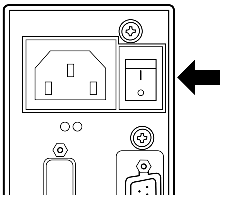


②次に、無停電電源装置(UPS)の電源スイッチを0Nします。
（1.5秒以上押す）
このスイッチは、いったん0Nさせた以降は常時0Nのままにしておき、0FFしないでください。



AMYターミナル／TECS-W3000B…別売品　施工

③次に、AMYターミナル内のコンピュータの電源スイッチを0Nしてください。(上側を倒すと0N)このスイッチは、いったん0Nさせた以降は常時0Nのままにしておき、0FFしないでください。



<注>「充電年月」表示から1年以上経過している場合には、必ず補充電を行なってからお客様にお引き渡しください。
電源(AC100V)を接続し、DDR-W3500-POW基板上のPOWERスイッチ(SW1)を連続8時間0Nしておくことで充電は完了します。
充電年月を表示したラベルは次の箇所に貼ってあります。
・梱包箱の、機種ラベルの面の左下(2ヶ所)。
・盤の扉を開けた内側、機種銘板の下。

システム登録および試運転

システム登録、試運転の方法は、お客様の運用形態によって異なります。
AMYターミナル、無停電電源装置（UPS）およびターミナル内コンピュータの電源を0Nしてから十数分後、メインメニューが表示されますので、「取扱説明書」の「ご使用の上で必要な設定」「試運転と保守業務」を参照しながら、必要な設定を正しく行ってください。設定に不備がありますと、「空調機の操作ができない」「正しい按分計算ができない」など誤動作の原因となります。
設定作業に先だって、アドレスと部屋名（必要に応じてゾーン名、テナント名）などの一覧表（施工計画書）を必ず作成し、作業終了後も紛失しないよう保管してください。
設定終了後は「取扱説明書」にしたがって付属のフロッピーディスクにバックアップを行い、フロッピーディスクはセットしたままにしておいてください。

日常の空調機の管理やメンテナンスの際に必要となりますので、アドレスと部屋名の一覧表を作り、AMYターミナルの近くに備えつけてください。

(例)

アダプタ	室外	室内	集中番号	部　屋　名

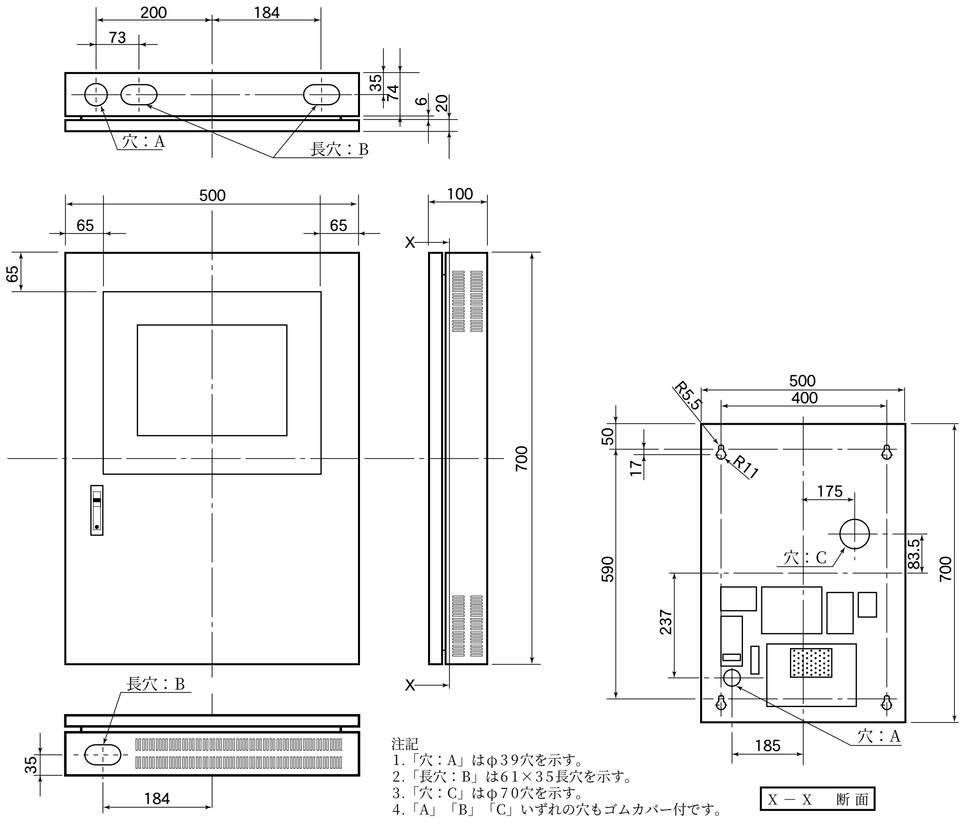
お客様への説明

● 「取扱説明書」「据付(電気)工事担当のかたへ」は、工事完了後お客さまにお渡しください。
● 「取扱説明書」にそって、お客様にご使用方法を説明してください。

仕　様

電　源	単相100V（50／60Hz）
消費電力	約127VA
使用環境条件	温度5～40℃、湿度20～85%、屋内専用
外形寸法	幅500mm×高さ700mm×奥行100mm
重　さ	約23kg（梱包時28kg）

外形寸法図



ＡＭＹアダプター／DDR-3500…別売品　施工

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載してますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、集中制御機器の”取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また”据付（電気）工事担当のかたへ”は、集中制御装置の”取扱説明書”とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

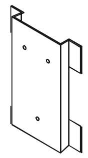
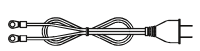
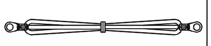
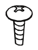
⚠ 警告

● 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
● 据付工事は、”据付（電気）工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。
据付工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
● 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び”据付（電気）工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

● 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

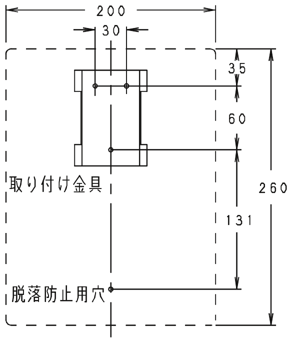
ＤＤＲ－３５００付属部品

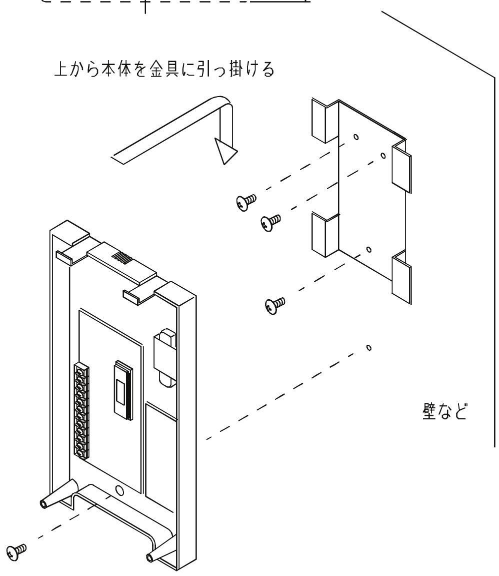
付属品					
番号	付　属　部　品	個数	番号	付　属　部　品	個数
①	取り付け金具 	1	④	取り付け用ネジ（４Ｘ１２）	4
②	電源配線 	1	⑤	ナイロンクランパ	1
③	アース線 	1	⑥	ナイロンクランパ取り付け用ネジ（３Ｘ８） 	1

ＤＤＲ－３５００の取り付けかた

＜注１＞室内外操作線、ＡＭＹ操作線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
＜注２＞ＤＤＲ－３５００はノイズ発生源から離して据え付けてください。
＜注３＞水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
＜注４＞過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

取り付け寸法





脱落防止用ビス

① 取り付け位置を決め、取り付け寸法図を参考に取り付け金具を固定します。付属のネジが効かない場所ではメートルネジなど使用できるものを現地でご用意ください。
② 図のように本体を取り付け金具に引っ掛けてください。
③ 取り付け金具の引っ掛かりのゆるい場合や、脱落する恐れがあると思われる場合は、本体の上ケースを外して脱落防止穴にビスで固定してください。

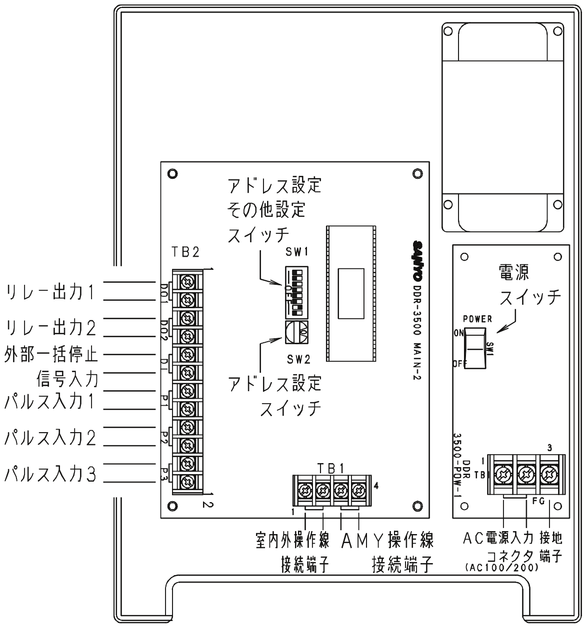
ＤＤＲ－３５００の配線のしかた

ＤＤＲ－３５００の取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。
本体前面のネジ２本を外し上ケースを外します。

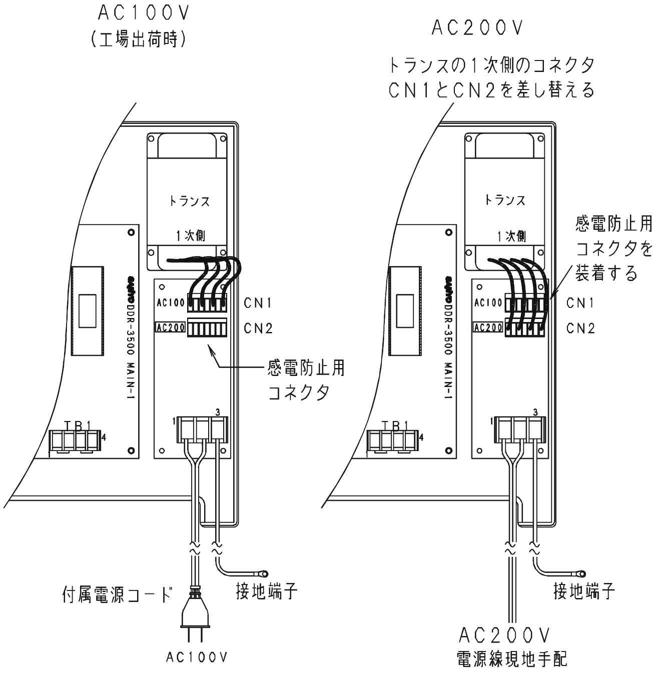
① 電源の接続
本機はＡＣ１００ＶまたはＡＣ２００Ｖのうち一方を使用できます。
ＤＤＲ－３５００ＰＯＷ基板のコネクタＣＮ１，ＣＮ2のいずれかにトランスの１次側を差し替えて使用します。使用する電源電圧を確認して切り換えてください。
工場出荷時はＡＣ１００Ｖに設定されています。
（注意）電源電圧とトランスの１次側の切り換えを間違えますと壊れる恐れがありますので注意してください。

AMYアダプター／DDR-3500…別売品　施工

＜端子板配置図及びスイッチ配置図＞



出荷時DDR－3500－POWのCN2には感電防止のためにコネクタハウジングが装着されています。AC200Vに切り換える場合は、電源トランスの1次側リード線をCN1からCN2に差し替えCN2にあったハウジングをCN1に装着します。AC100V使用時は付属の電源ケーブルが使用できます。
（下図参照）

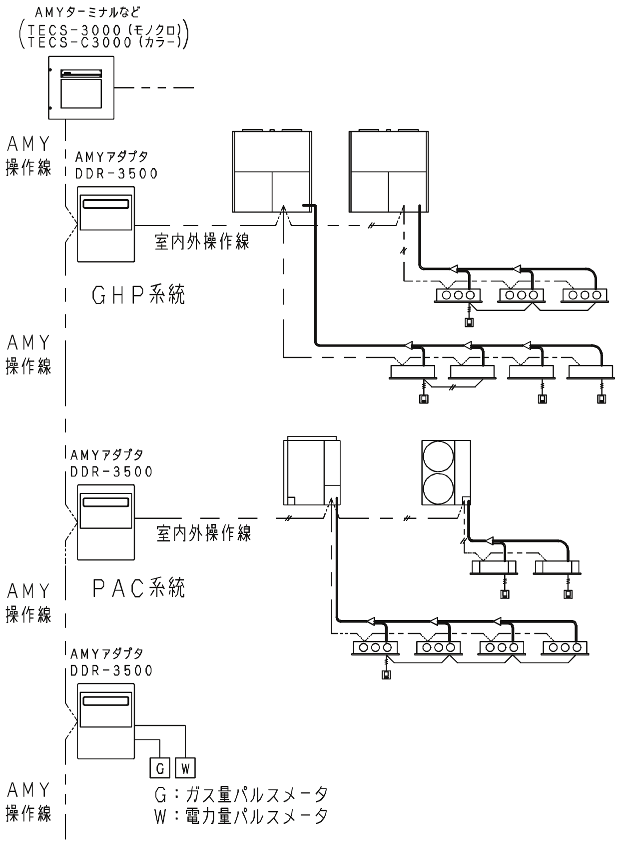


② 信号線の接続
AMY操作線及び室内外操作線は2芯0．5mm^2～1．6mmの電線を使用してください。（総延長1000mまで）信号線には極性がありません。電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近付けたりしないでください。室内外操作線、AMY操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。

＜信号線線種＞　　太さ　0．5mm^2～1．6mm

CVV（JIS　C3401）	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル
VCTF（JIS　C3306）	ビニルキャブタイヤ丸形コード
VVR（JIS　C3342）	ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形
MVVSまたは、CPEVS	シールド線

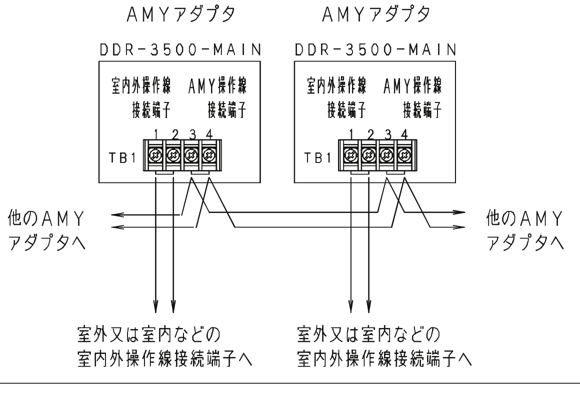
＜基本配線図＞
DDR－3500のAMY操作線、室内外操作線は下図のような配線をしてください。



＜配線の手順＞

- 室内外操作線
DDR－3500の端子板、TB1の ①，②（室内外操作線）と、室外または室内ユニットの室内外操作線用接続端子に接続します。

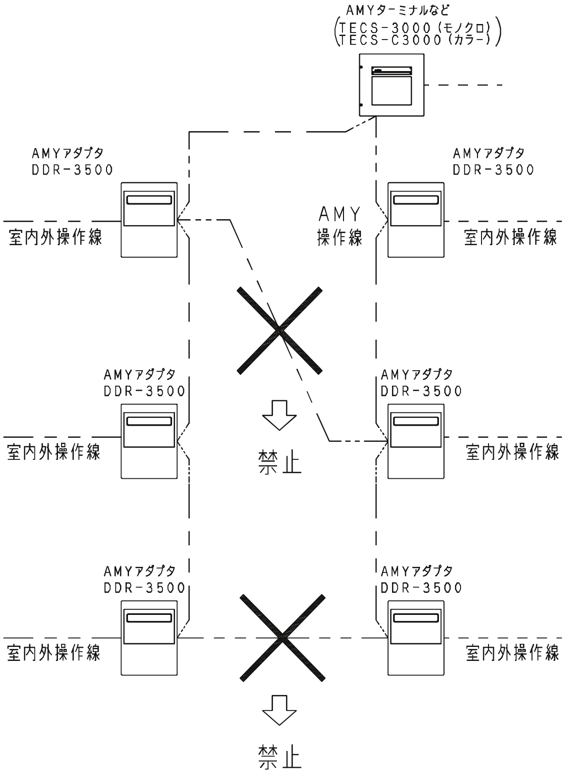
- AMY操作線
DDR－3500の端子板、TB1の ③，④（AMY操作線）と、他のAMYアダプタのAMY操作線用接続端子に接続します。



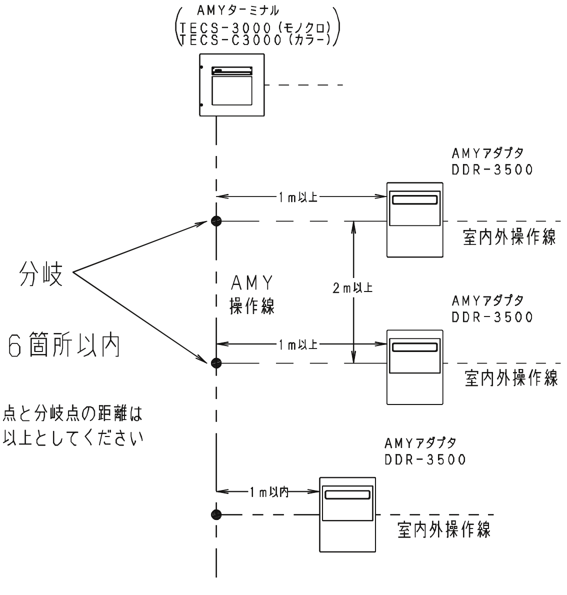
AMYアダプター／DDR-3500…別売品　施工

AMY操作線の注意事項

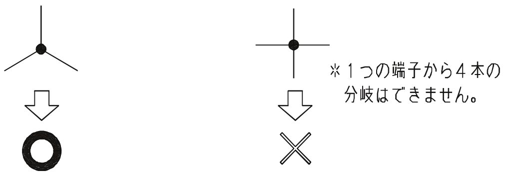
1．ループ状となる配線はしないでください。



2．分岐配線する場合は、１６箇所以内としてください。
（１ｍ以内は分岐に含めません。）



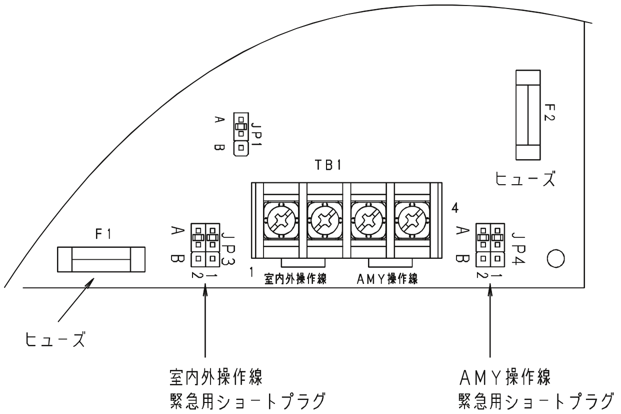
注）分岐は１つの端子から３本までです。（下記分岐配線例を参照）

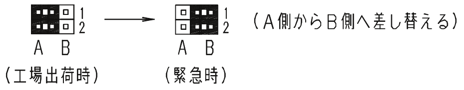


室内外操作線については室外ユニットまたは室内ユニットの「電気工事担当のかたへ」の室内外操作線の注意事項の欄を参照してください。

３．ＡＭＹ操作線および室内外操作線接続端子板にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
※ 誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合はＤＤＲ－３５００の基板のヒューズ（ＡＭＹ操作線：Ｆ１　０．５Ａ，室内外操作線：Ｆ２　０．５Ａ）が溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されているショートプラグ２個組（室内外操作線：ＪＰ３，ＡＭＹ操作線：ＪＰ４）をＢ側へ差し換えてください。（作業は必ず電源ＯＦＦにしてから行ってください。）

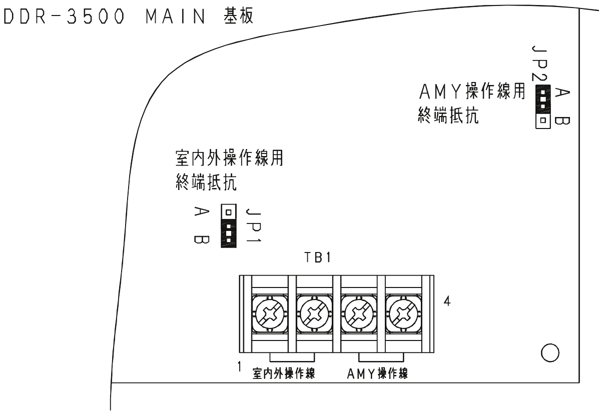
ＤＤＲ－３５００　ＭＡＩＮ　基板



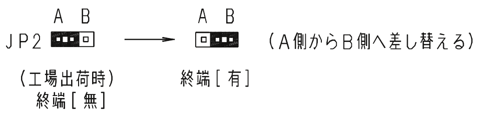


４．室内外操作線の同一通信上の室外ユニットの基板にある、終端抵抗（ＧＨＰはスイッチＳ７，ＰＡＣは短絡用ソケット２Ｐ・黒）を１台だけ残し、他のユニットを無し（ＧＨＰはＳ７を無しに設定、ＰＡＣは短絡用ソケットを外す）になっていることを確認してください。（ＧＨＰは「試運転のかたへ」、ＰＡＣは「電気工事のかたへ」を参照してください。）
なお、ＤＤＲ－３５００ＭＡＩＮ基板のＪＰ１は、室内外操作線上に終端抵抗を挿入するプラグです。工場出荷時はＢ側（終端抵抗［有］）になっています。

ＤＤＲ－３５００　ＭＡＩＮ　基板

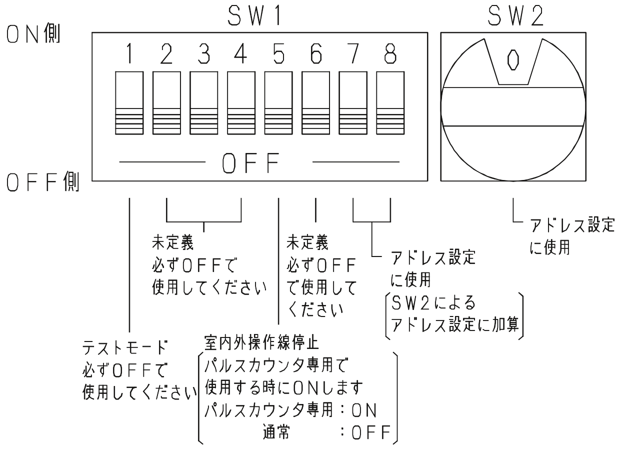


ＡＭＹ操作線の終端抵抗においては、集中側がＡＭＹターミナル（ＴＥＣＳ－３０００／Ｃ３０００）ならば終端抵抗の設定はいりません。その他の集中制御機器の場合は必要に応じてＪＰ２（ＡＭＹ操作線用終端抵抗）の設定が必要となります。



ＡＭＹアダプター／DDR-3500…別売品　施工

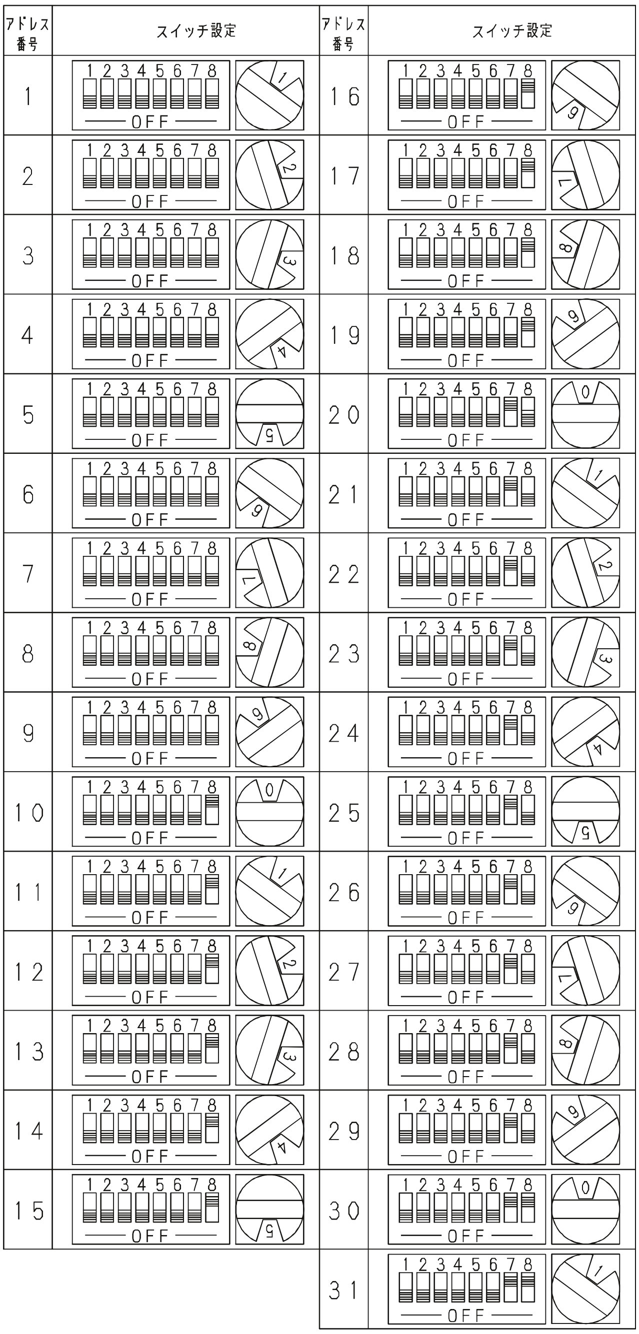
設定スイッチについて



アドレスの設定のしかた

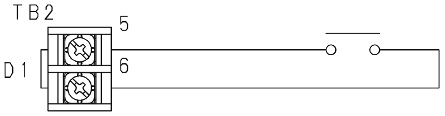
注）集中制御側がＡＭＹターミナルの場合はアドレス番号は１～１９で設定します。

アドレススイッチの設定は以下の通りです。



外部設備との接続

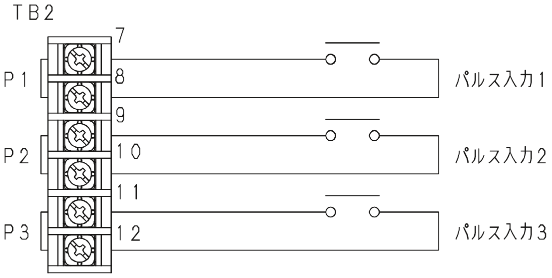
１．外部一括停止入力［無電圧Ａ接点（フォトカプラ入力）］



接点ＯＮ、ＯＦＦ信号相当

入力端子の片方をパルス入力と共通に接続できませんので注意してください。

２．パルスカウンタ入力［無電圧Ａ接点パルス（フォトカプラ入力）］



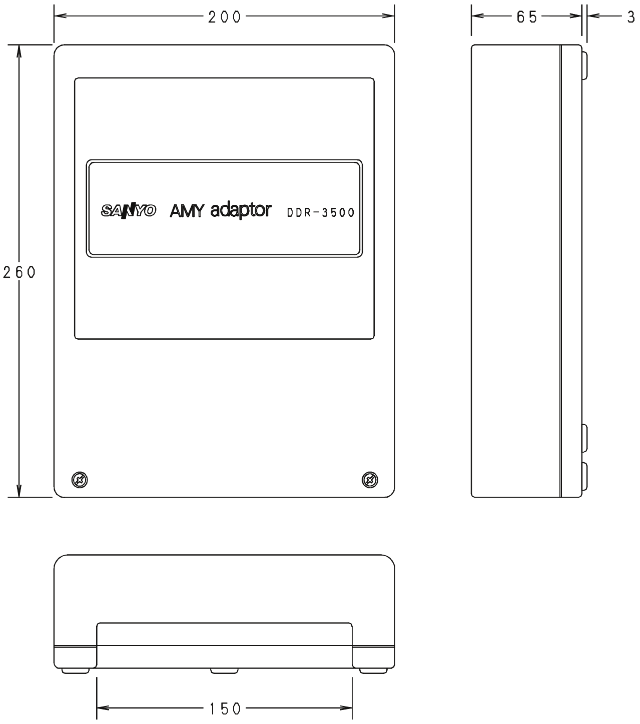
この入力は外部接点がＯＮした回数を計数します。

無電圧接点入力ですから電圧を印加しないでください。

入力端子は他の入力とコモン接続できませんので注意してください。

各信号入力の接続ケーブルは現地手配とし、配線長は１００ｍまでです。
この距離を超える場合は、リレー受けするなどの処置をしてください。
ノイズの影響を受ける恐れがある場所での使用は０．５mm^2 以上の２芯シールド線（片アース）を使用してください。

外形寸法



仕様

定格電圧	単相２００／１００Ｖ
定格周波数	５０／６０Ｈｚ
消費電力	約５ＶＡ

S-DDC〈三洋ダイレクトデジタルコントローラー〉／SHA-KD2000T…別売品　施工

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載してますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

※据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、集中制御機器の”取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また”据付（電気）工事担当のかたへ”は、集中制御装置の”取扱説明書”とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警告

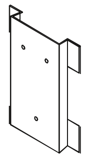
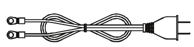
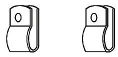
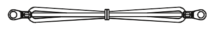
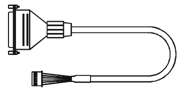
- 据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
  ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、”据付（電気）工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。
  据付工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び”据付（電気）工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

- 設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

付属部品

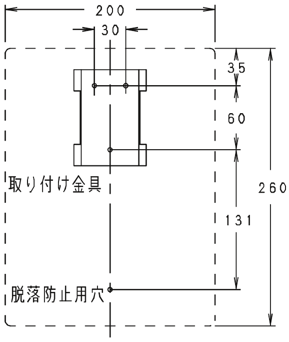
付　属　品

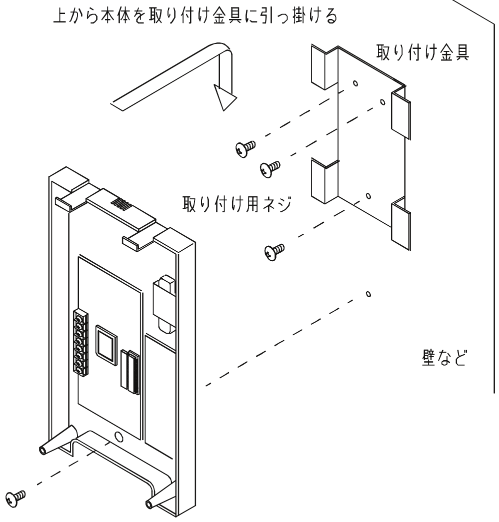
番号	付　属　部　品	個数	番号	付　属　部　品	個数
①	取り付け金具 	1	④	取り付け用ネジ（４X１２）	4
②	電源コード 	1	⑤	ナイロンクランパ  タイプ３　タイプ４	各１
			⑥	ナイロンクランパ取り付け用ネジ（３X８）	2
③	アース線 	1	⑦	ＲＳ－２３２Ｃケーブル 	1

取り付けかた

＜注１＞ＡＭＹ操作線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けて下さい。
＜注２＞Ｓ－ＤＤＣはノイズ発生源から離して据え付けてください。
＜注３＞水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
＜注４＞過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

取り付け寸法





① 取り付け位置を決め、取り付け寸法図を参考に取り付け金具を固定します。付属のネジが効かない場所ではメートルネジなど使用できるものを現地でご用意ください。
② 図のように本体を取り付け金具に引っ掛けてください。
③ 取り付け金具の引っ掛かりのゆるい場合や、脱落する恐れがあると思われる場合は、本体の上ケースを外して脱落防止穴にビスで固定してください。

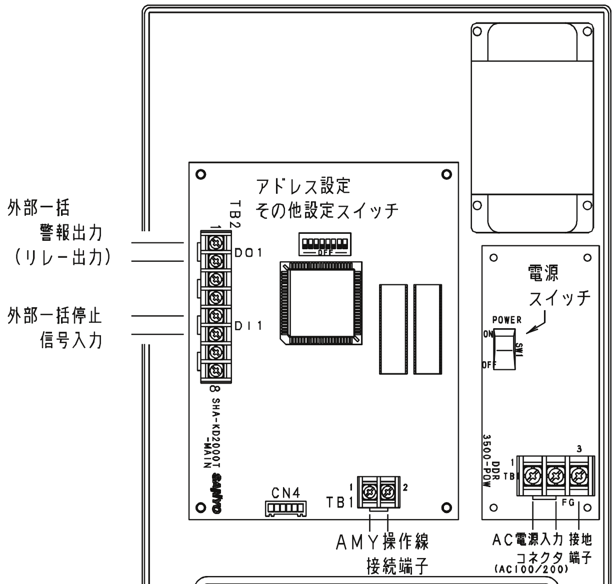
配線のしかた

Ｓ－ＤＤＣの取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。
本体前面のネジ２本を外し上ケースを外します。

① 電源の接続
本機はＡＣ１００ＶまたはＡＣ２００Ｖのうち一方を使用できます。
ＤＤＲ－３５００－ＰＯＷ基板のコネクタＣＮ１，ＣＮ２のいずれかにトランスの１次側を差し替えて使用します。使用する電源電圧を確認して切り換えてください。
工場出荷時はＡＣ１００Ｖに設定されています。
（注意）電源電圧とトランスの１次側の切り換えを間違えますと壊れる恐れがありますので注意してください。

S-DDC〈三洋ダイレクトデジタルコントローラー〉／SHA-KD2000T…別売品　施工

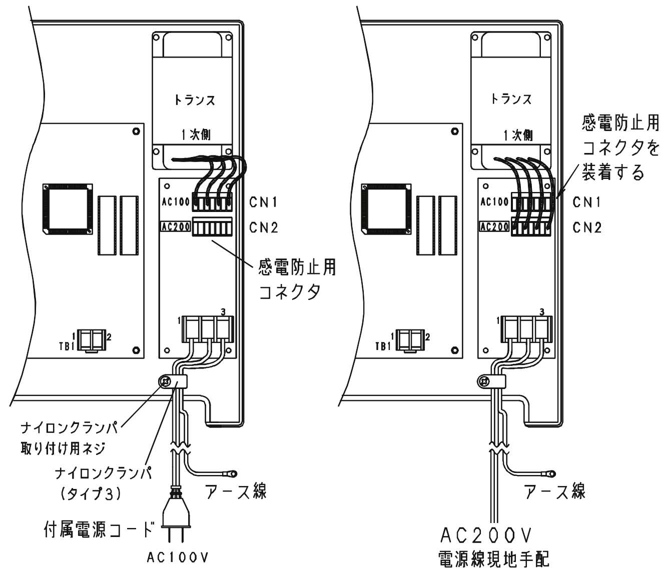
＜端子板配置図及びスイッチ配置図＞



出荷時ＤＤＲ－３５００－ＰＯＷのＣＮ２には感電防止のためにコネクタハウジングが装着されています。ＡＣ２００Ｖに切り換える場合は、電源トランスの１次側リード線をＣＮ１からＣＮ２に差し替えＣＮ２にあったハウジングをＣＮ１に装着します。ＡＣ１００Ｖ使用時は付属の電源ケーブルが使用できます。（下図参照）また、ナイロンクランパで電源線及びアース線を固定して下さい。

ＡＣ１００Ｖ
（工場出荷時）

ＡＣ２００Ｖ
トランスの１次側のコネクタ
ＣＮ１とＣＮ２を差し替える

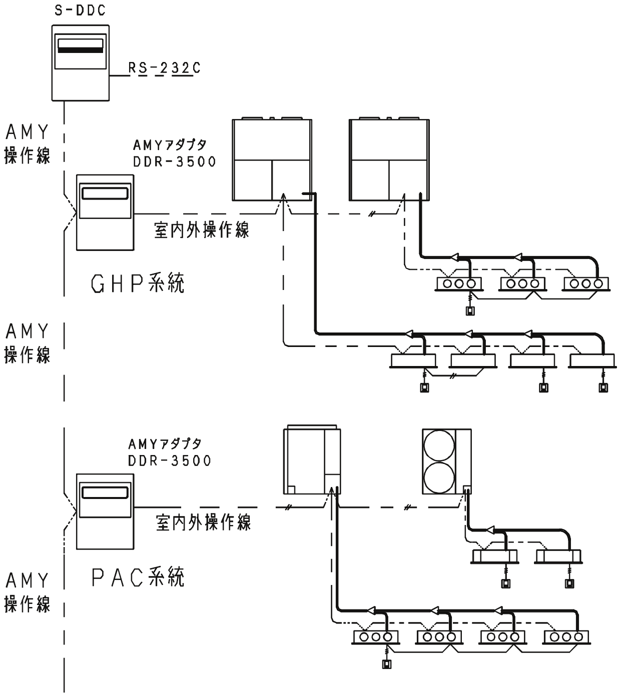


② 信号線の接続
ＡＭＹ操作線は２芯０．５mm^2～１．６mmの電線を使用してください。（総延長１０００ｍまで）信号線には極性がありません。電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近付けたりしないでください。
ＡＭＹ操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。

＜信号線線種＞　　太さ　０．５mm^2～１．６mm

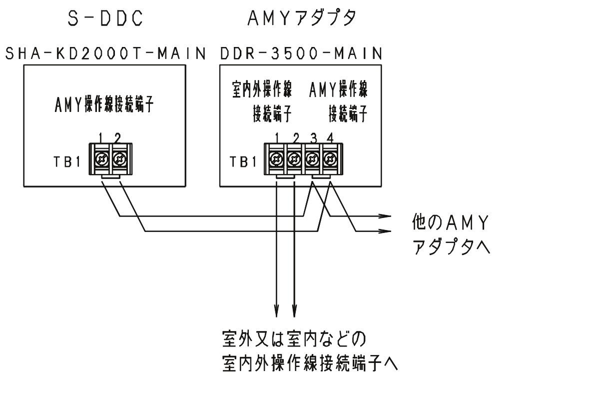
ＣＶＶ（ＪＩＳ　Ｃ３４０１）　制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル
ＶＣＴＦ（ＪＩＳ　Ｃ３３０６）　ビニルキャブタイヤ丸形コード
ＶＶＲ（ＪＩＳ　Ｃ３３４２）　ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形

＜基本配線図＞
Ｓ－ＤＤＣのＡＭＹ操作線は下図のような配線をしてください。



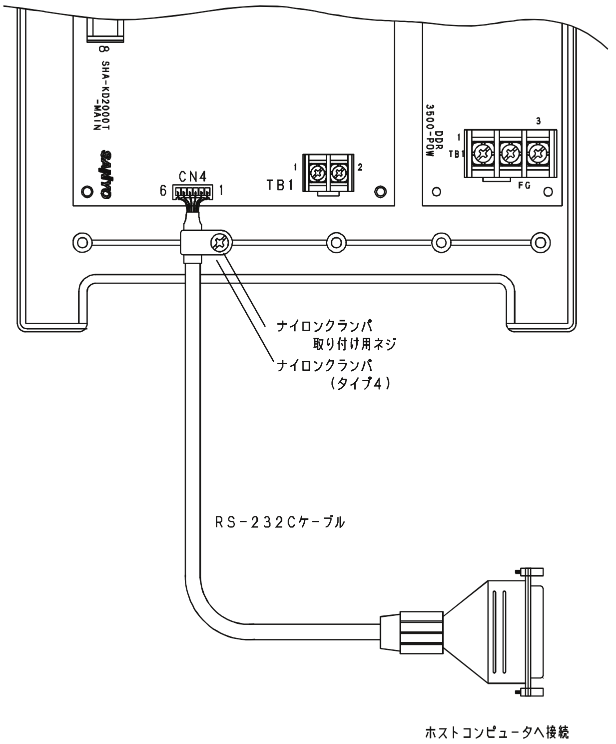
＜配線の手順＞

- ＡＭＹ操作線
  Ｓ－ＤＤＣの端子板、ＴＢ１の ① ，② （ＡＭＹ操作線）と、他のＡＭＹアダプタのＡＭＹ操作線接続端子に接続します。



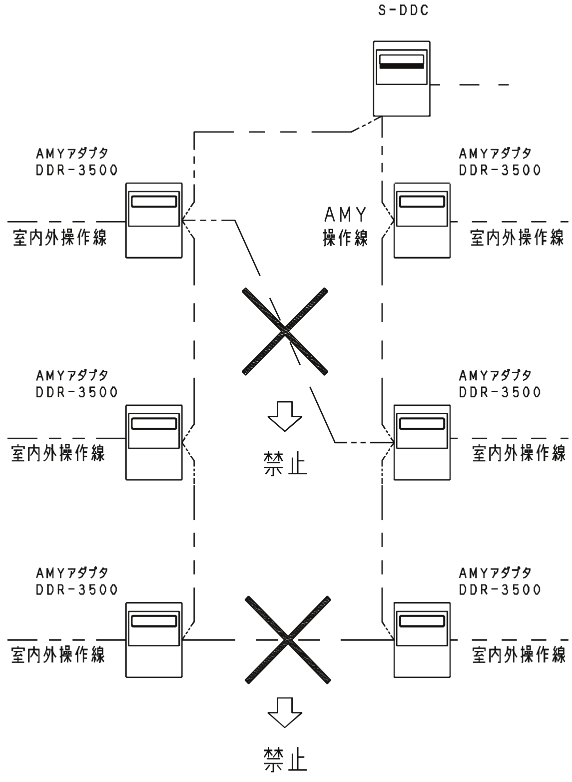
S-DDC〈三洋ダイレクトデジタルコントローラー〉／SHA-KD2000T…別売品　施工

・RS－232Cケーブル
S－DDCのコネクタ、（CN4）にRS－232Cケーブルを接続します。下図のようにナイロンクランパでRS－232Cケーブルを固定してください。

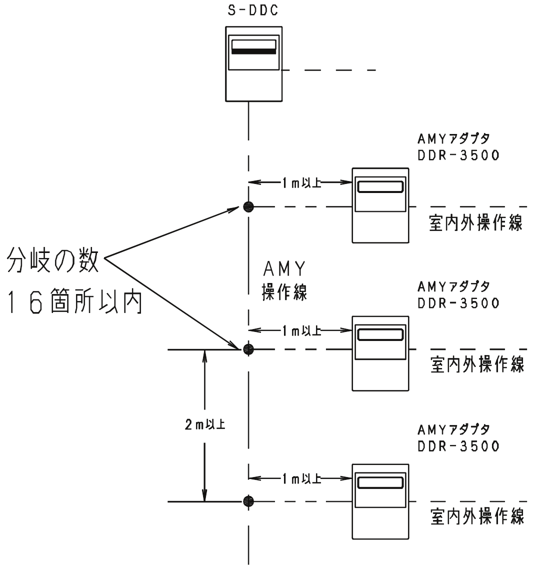


AMY操作線の注意事項

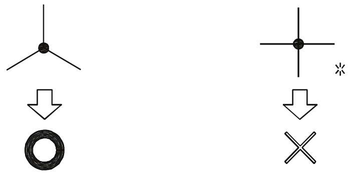
1．ループ状となる配線はしないでください。



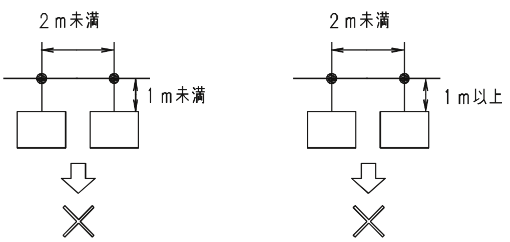
2．分岐配線する場合は、分岐の数を16箇所以内としてください。



注）分岐は1つの端子から3本までです。（下記分岐配線例を参照）

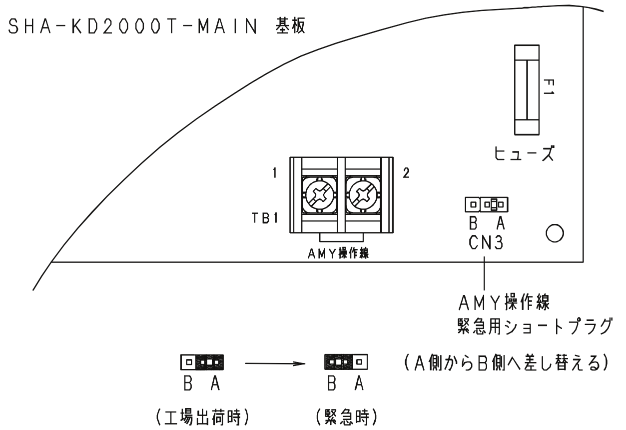


注）分岐と分岐の間は2m以上あけて下さい。また、1m未満は分岐の数に含めません。
（下記分岐配線例を参照）

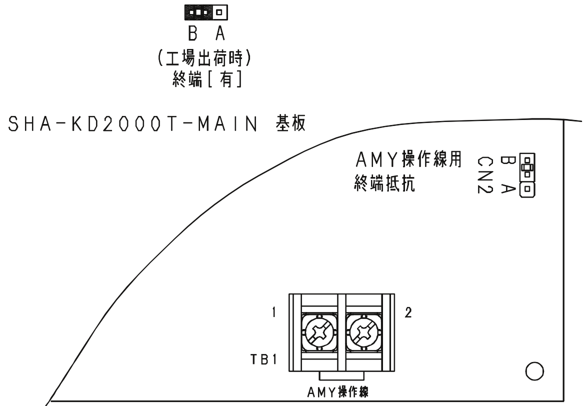


S-DDC〈三洋ダイレクトデジタルコントローラー〉／SHA-KD2000T…別売品　施工

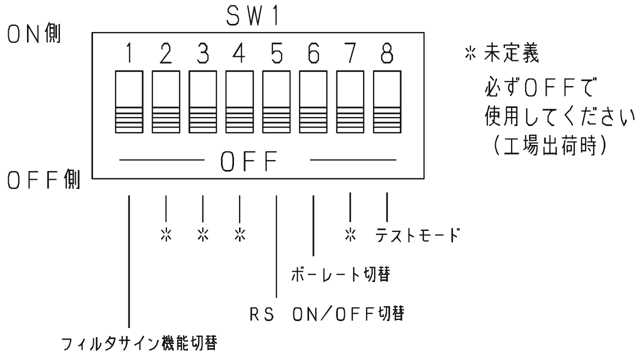
３．ＡＭＹ操作線端子板にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
※ 誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合はＳ－ＤＤＣの基板のヒューズ（Ｆ１　０．５Ａ）が溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されているショートプラグ（ＣＮ３）をＢ側へ差し換えてください。
（作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）



４．ＡＭＹ操作線の終端抵抗は、下記のようになっていることを確認してください．



設定スイッチについて



ＳＷ１－１　：　フィルタサイン機能
ＯＦＦ：フィルタサイン機能あり（工場出荷時）
ＯＮ　：フィルタサイン機能なし

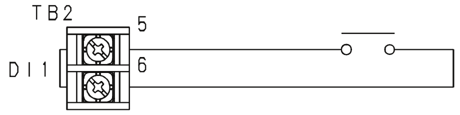
ＳＷ１－５　：　ＲＳ　ＯＮ／ＯＦＦ切り換え
ＯＦＦ：ＲＳを常時ＯＦＦ（工場出荷時）
ＯＮ　：ＲＳを常時ＯＮ

ＳＷ１－６　：　ボーレート切り換え
ＯＦＦ：４８００ｂｐｓ（工場出荷時）
ＯＮ　：９６００ｂｐｓ

ＳＷ１－８　：　テストモード
常時ＯＦＦで使用してください。

外部設備との接続

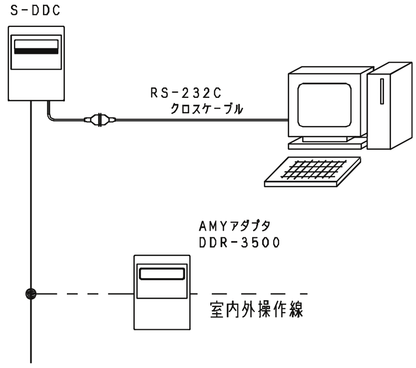
１．外部一括停止入力［無電圧Ａ接点（フォトカプラ入力）］



２．外部一括警報出力［無電圧Ａ接点（異常時に短絡）］
接点ＯＮ、ＯＦＦ信号相当。

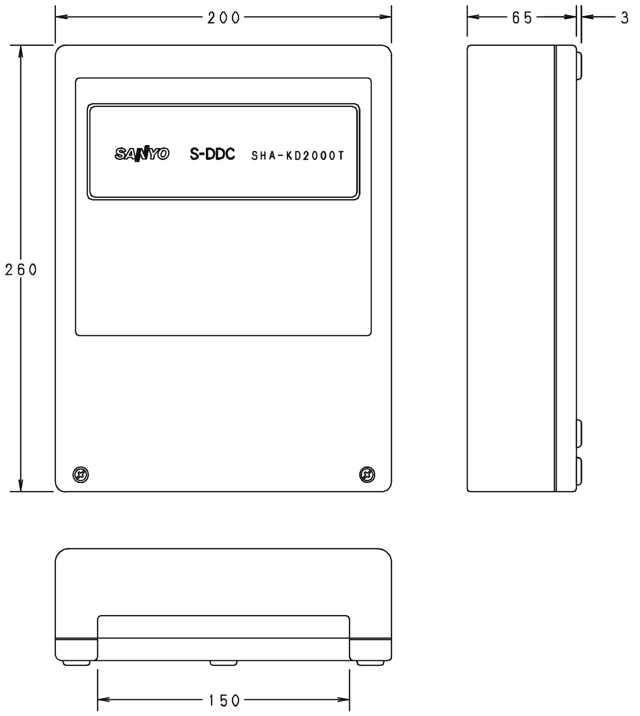
各信号入力の接続ケーブルは現地手配とし、配線長は１００ｍまでです。
ノイズの影響を受ける恐れがある場所での使用は０．５ｍｍ^2 以上の２芯シールド線を使用してください。

３．ＲＳ－２３２Ｃ入出力



ＲＳ－２３２Ｃクロスケーブルは現地手配とし、配線長は１５ｍまでです。

外形寸法



仕様

定格電圧	単相２００／１００Ｖ
定格周波数	５０／６０Ｈｚ
消費電力	約５ＶＡ

信号出力基板／ACC-SG-B1…別売品　施工

据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ

85464359 **935** 000

１．安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「 ⚠ 警告」、「 ⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

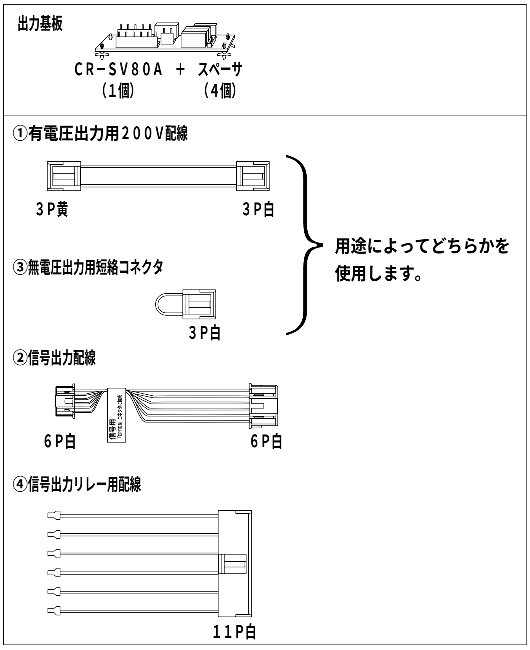
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び ”据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

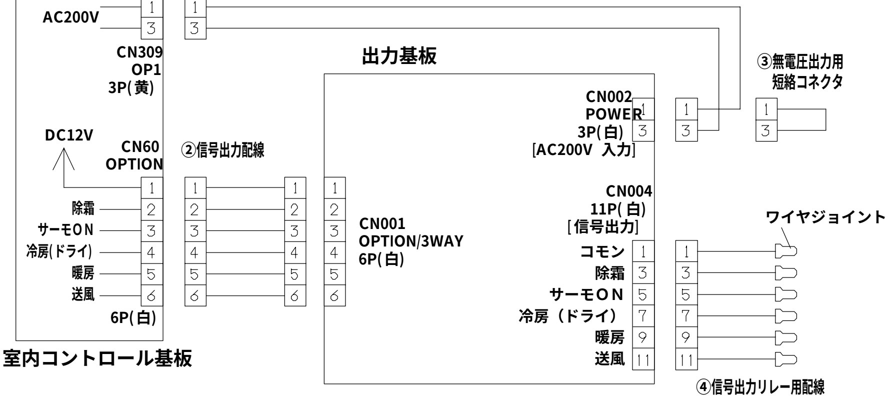
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

２．付属部品



３．配線図

・室内コントロール基板とは②信号出力配線で接続します。
・有電圧２００Ｖ出力を使用する場合は、室内基板と信号出力基板を①の配線で接続します
（③の配線は使用しません）。
・無電圧出力を使用する場合は、信号出力基板に③の配線を接続します（①の配線は使用しません）。
・接続に関しては「５．信号の取り出しかた」をご参照ください。
※電磁弁出力コネクタ（ＣＮ００３）は使用できません。
※電磁弁出力基板を併用する場合は裏面をご覧ください。

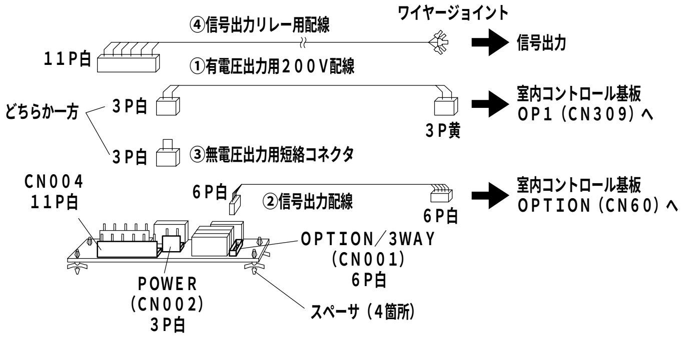


信号出力基板／ACC-SG-B1…別売品　施工

４．取り付け方法

※室内ユニットごとの取り付け方法は裏面をご参照ください。

１．室内ユニットの電装ボックスに信号出力基板を取り付けます。
２．下記手順で配線します。
・②信号出力配線の６Ｐ白コネクタを、信号出力基板のＯＰＴＩＯＮ／３ＷＡＹ（ＣＮ００１）と室内コントロール基板のＯＰＴＩＯＮ（ＣＮ６０）に接続します。
・無電圧信号を使用する場合は、③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のＰＯＷＥＲ（ＣＮ００２）に接続します。
・有電圧２００Ｖ信号を使用する場合は、①有電圧出力用２００Ｖ配線の３Ｐ白コネクタを信号出力基板のＰＯＷＥＲ（ＣＮ００２）に、３Ｐ黄コネクタを室内コントロール基板のＯＰ１（ＣＮ３０９）にそれぞれ接続します。
・ワイヤージョイントは任意の位置でリレー盤等（現地手配）に接続します。
（未使用のワイヤージョイントは束ねて固定しておいてください）
３．配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認してください。

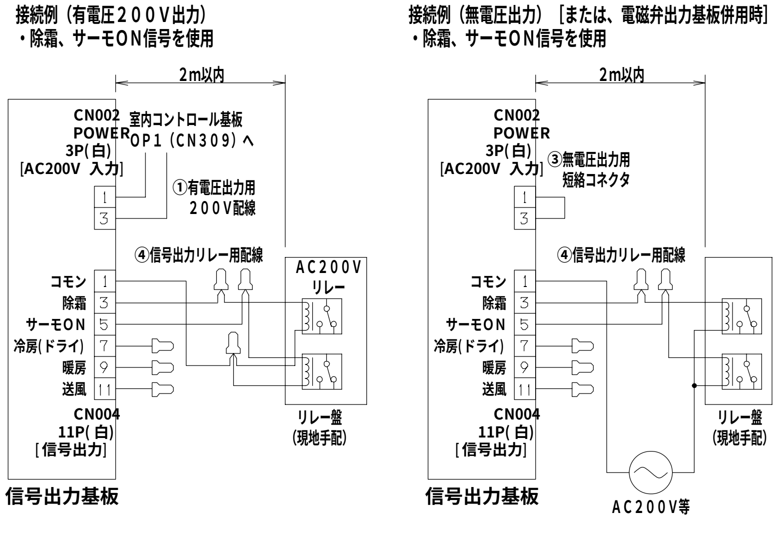


⚠注意　③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のＣＮ００２以外に接続しないでください。室内コントロール基板の空きコネクタの中にはＡＣ２００Ｖを出力しているものもあり、間違って接続すると基板を破壊する恐れがあります。

５．信号の取り出しかた

・取り出せる信号は、除霜／サーモＯＮ／冷房（ドライ）／暖房／送風の５種類です。
・④信号出力リレー用配線の先端には保護のためにワイヤージョイントが圧着されていますので、コネクタの１番の配線と必要な信号の配線のみワイヤージョイントを切断して先端をむき出し、リレー盤（現地手配）等の配線と接続してください。

⚠注意　・誤配線のないように注意してください。
・信号出力基板とリレー盤の距離は２ｍ以内にしてください。
・無電圧信号を使用時で有極性のリレーを使用する場合は極性に注意してください。（コモンが＋１２Ｖになります）



※信号出力から有電圧２００Ｖで直接外部機器を駆動する場合は、負荷電流が１Ａを超えないようにしてください。

信号出力基板／ACC-SG-B1…別売品　施工

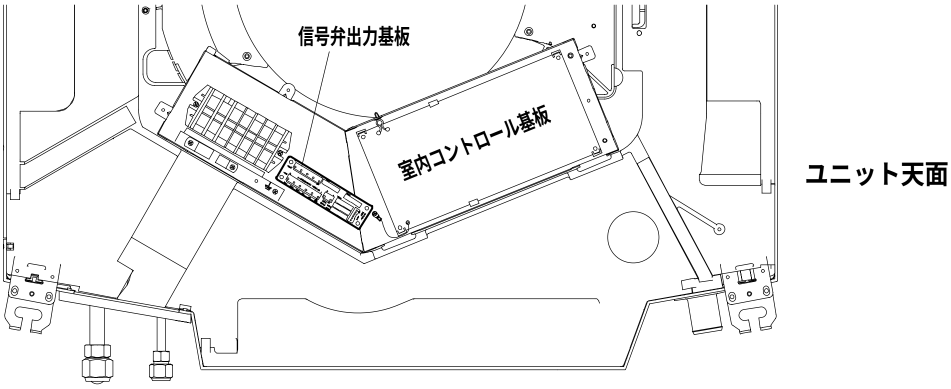
85464359 **935** 000

６．室内ユニットへの取り付け（代表例）

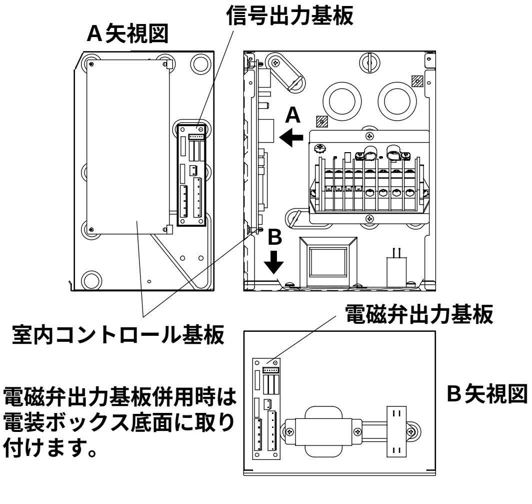
- ・信号出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。
- ・取り付け穴が２箇所設けてある機種は電磁弁出力基板併用時を含め、どちらにも取り付きます。
  （４方向天井カセットで電磁弁出力基板併用時は右記の手順を参照ください）

●４方向天井カセット形

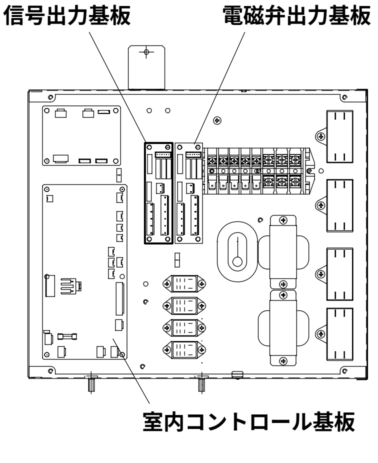
室内コントロール基板の横に取り付けます。



●ビルトイン形（カセット／オールダクト）

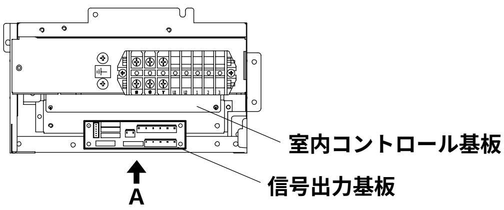


●天埋高静圧形

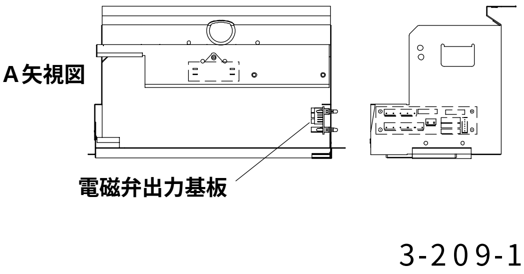


●ペリメーター用床置形／埋込形

室内コントロール基板の横に取り付けます。



電磁弁出力基板併用時は電装ボックス側面に取り付けます。

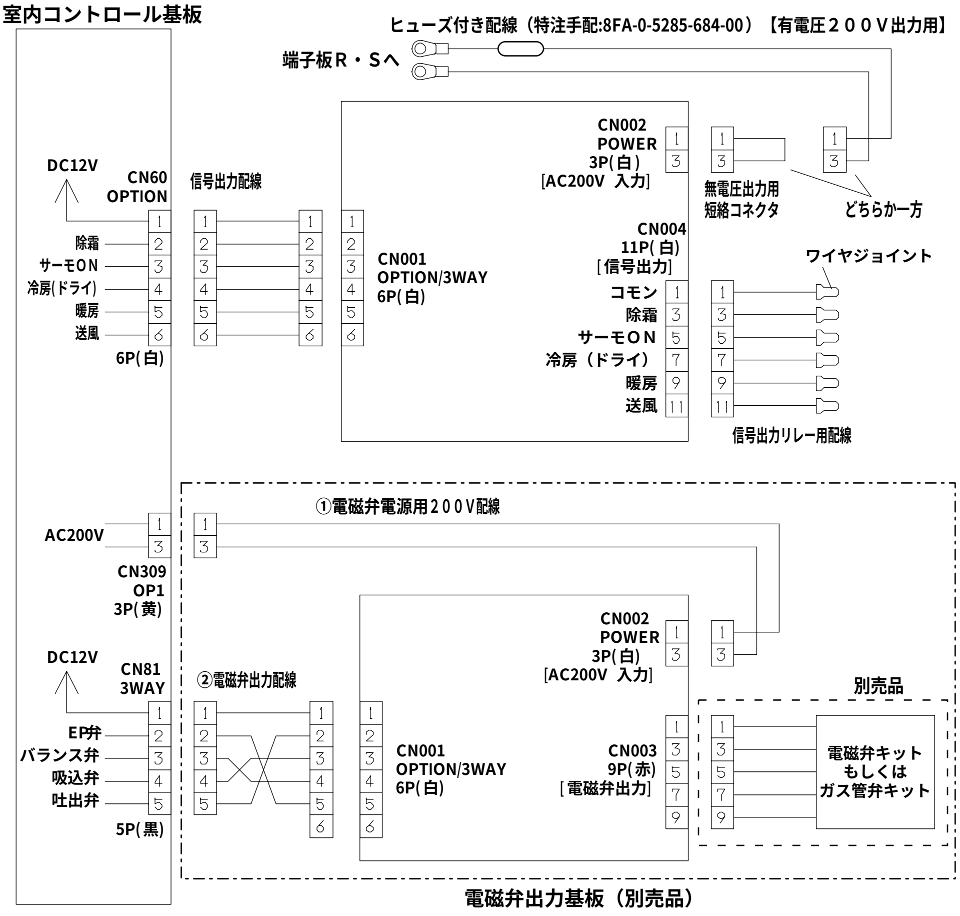


信号出力基板／ACC-SG-B1…別売品　施工

電磁弁出力基板と併用する場合

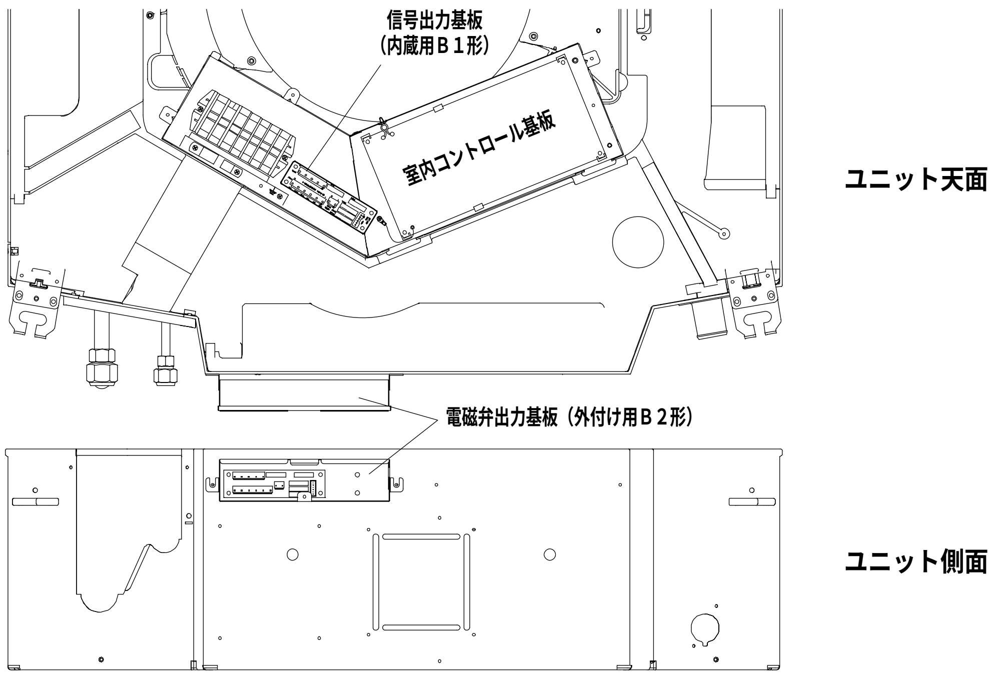
- 別売の電磁弁出力基板をと併用するときは下図のとおり接続します。
- ＡＣ２００Ｖ有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(特注手配:8FA0-5285-684-00)を端子板に接続します。

※出力基板は電磁弁用／信号用とも同一仕様となっていますので、誤配線には注意してください。誤配線すると信号と電磁弁の出力が入れ替わってしまい、機器の故障につながります。



●４方向天井カセット形での併用時の取り付け

- 信号出力基板（内蔵用Ｂ１形）を室内電装ボックスに内蔵します。
- 併用する電磁弁出力基板（外付け用Ｂ２形）はユニット側面に取り付けます。



据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ

85464359 **936** 000

1．安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

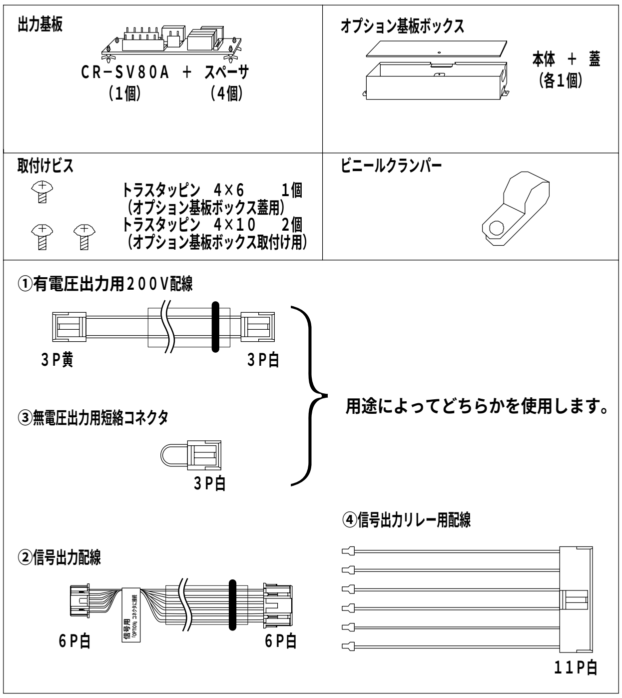
⚠ 警告

- ●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び ”据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- ●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

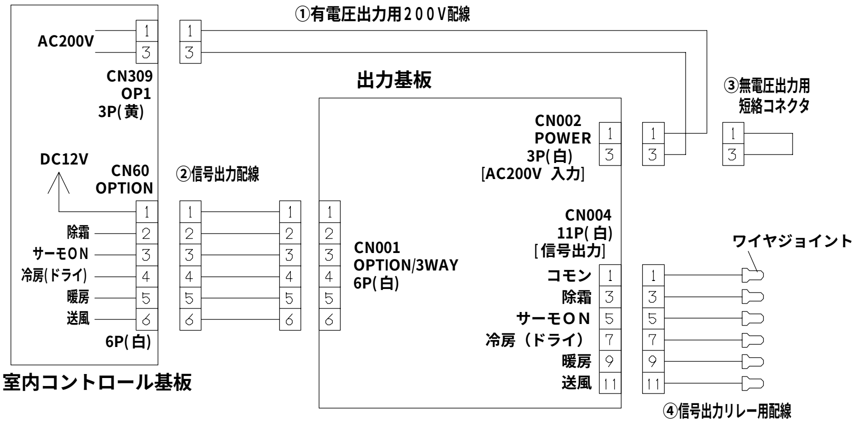
2．付属部品



3．配線図

- ・室内コントロール基板とは②信号出力配線で接続します。
- ・有電圧200V出力を使用する場合は、室内基板と信号出力基板を①の配線で接続します（③の配線は使用しません）。
- ・無電圧出力を使用する場合は、信号出力基板に③の配線を接続します（①の配線は使用しません）。
- ・接続に関しては「5.信号の取り出しかた」をご参照ください。

※電磁弁出力コネクタ（CN003）は使用できません。
※電磁弁出力基板を併用する場合は裏面をご覧ください。

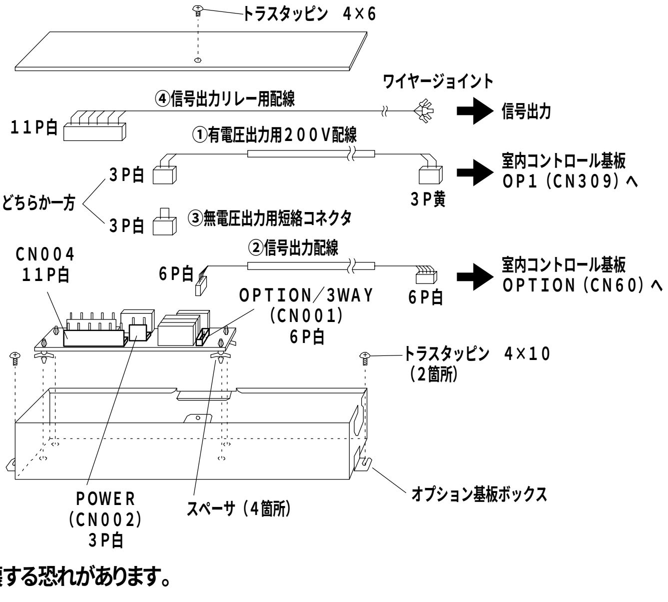


4．取り付け方法

1.オプション基板ボックスへの信号出力基板取り付け手順
- ・信号出力基板のスペーサをオプション基板ボックスの底の穴に取付けます。
  注）このとき、出力基板の向きに注意してください。（下図参照）
- ・オプション基板ボックスを付属のビス（4×10）で室内ユニットに取付けます。

2.下記手順で配線します。
- ・②信号出力配線の6P白コネクタを、信号出力基板のOPTION／3WAY（CN001）と室内コントロール基板のOPTION（CN60）に接続します。
- ・無電圧信号を使用する場合は、③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のPOWER（CN002）に接続します。
- ・有電圧200V信号を使用する場合は、①有電圧出力用200V配線の3P白コネクタを信号出力基板のPOWER（CN002）に、3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1（CN309）にそれぞれ接続します。
- ・ワイヤージョイントは任意の位置でリレー盤等（現地手配）に接続します。
  （未使用のワイヤージョイントは束ねて固定しておいてください）

3.配線が完了したら付属のビス（4×6）でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
注）このとき、オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないようにご注意ください。



⚠ 注意　③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のCN002以外に接続しないでください。室内コントロール基板の空きコネクタの中にはAC200Vを出力しているものもあり、間違って接続すると基板を破壊する恐れがあります。

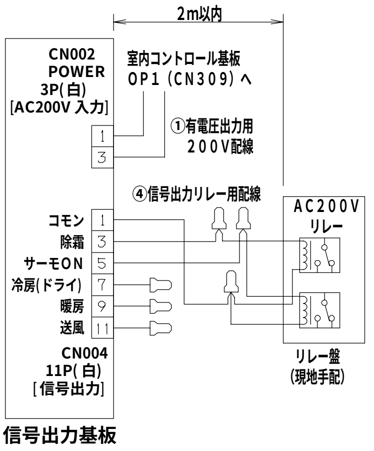
信号出力基板／ACC-SG-B2…別売品　施工

５．信号の取り出しかた

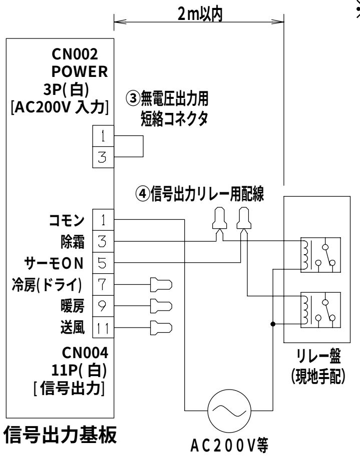
・取り出せる信号は、除霜／サーモＯＮ／冷房（ドライ）／暖房／送風の５種類です。
・④信号出力リレー用配線の先端には保護のためにワイヤージョイントが圧着されていますので、コネクタの１番の配線と必要な信号の配線のみワイヤージョイントを切断して先端をむき出し、リレー盤（現地手配）等の配線と接続してください。

⚠注意 ・誤配線のないように注意してください。
・信号出力基板とリレー盤の距離は２m以内にしてください。
・無電圧信号を使用時で有極性のリレーを使用する場合は極性に注意してください。（コモンが＋１２Ｖになります）

接続例（有電圧２００Ｖ出力）
・除霜、サーモＯＮ信号を使用



接続例（無電圧出力）［または、電磁弁出力基板併用時］
・除霜、サーモＯＮ信号を使用

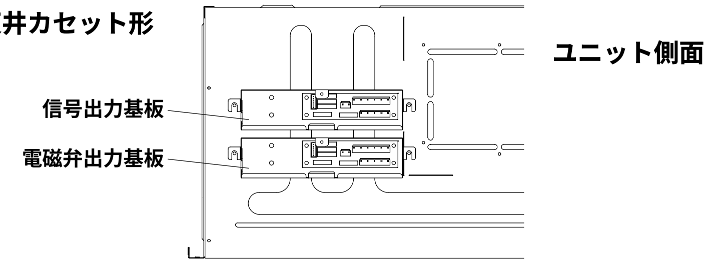


※信号出力から有電圧２００Ｖで直接外部機器を駆動する場合は、負荷電流が１Ａを超えないようにしてください。

６．室内ユニットへの取り付け（代表例）

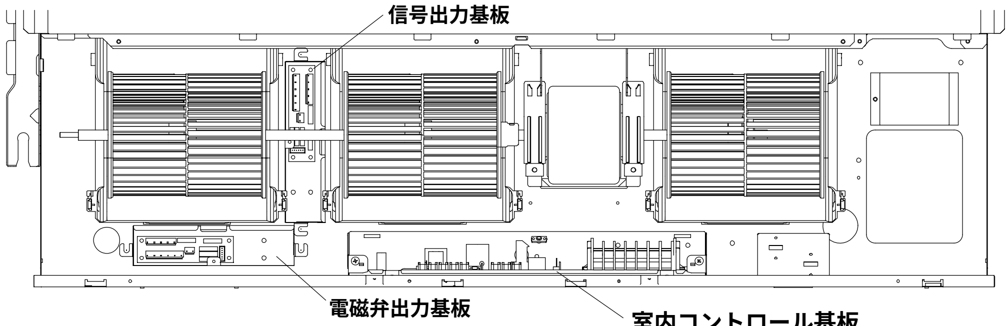
・信号出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。
・取り付け穴が２箇所設けてある機種は電磁弁出力基板併用時を含め、どちらにも取り付きます。（４方向天井カセットで電磁弁出力基板併用時は裏面の手順を参照ください）

●２方向天井カセット形

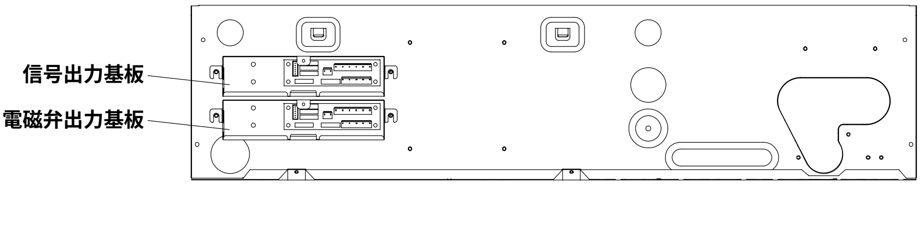


●天井吊形／高天井用１方向カセット形

ユニット天面（天吊３馬力の例）



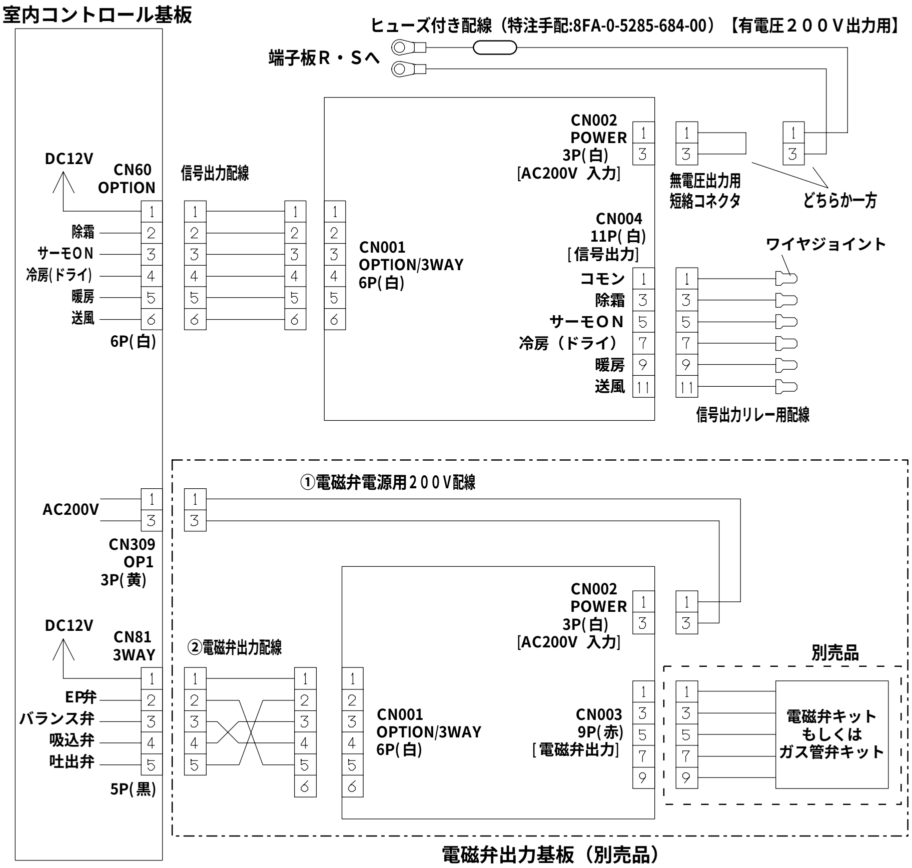
ユニット側面（天吊２馬力／高天井用１方向）



信号出力基板／ACC-SG-B2…別売品　施工

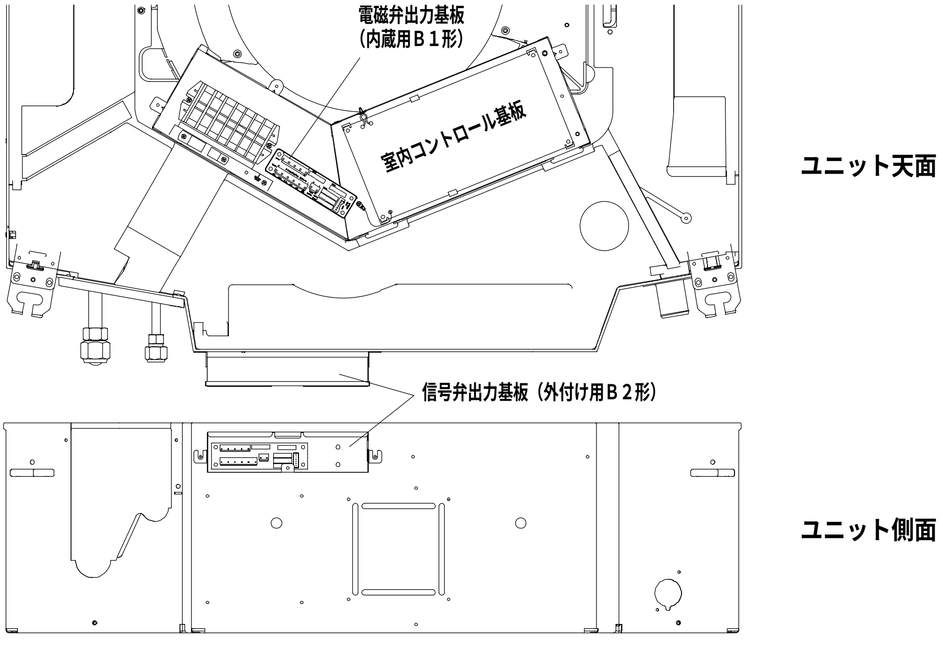
電磁弁出力基板と併用する場合

・別売の電磁弁出力基板と併用するときは下図のとおり接続します。
・ＡＣ２００Ｖ有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(特注手配:8FA0-5285-684-00) を接続します。
※出力基板は電磁弁用／信号用とも同一仕様となっていますので、誤配線には注意してください。誤配線すると信号と電磁弁の出力が入れ替わってしまい、機器の故障につながります。



●４方向天井カセット形での併用時の取り付け

・信号弁出力基板（外付け用Ｂ２形）をユニット側面に取り付けます。
・併用する電磁弁出力基板（内蔵用Ｂ１形）は室内電装ボックスに内蔵します。



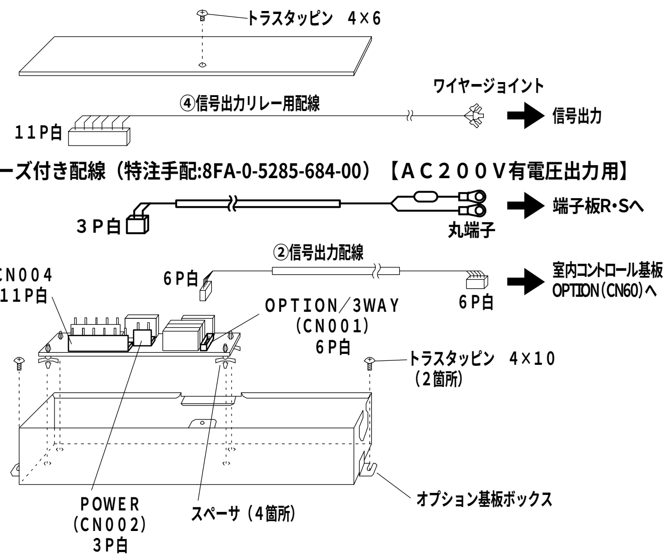
信号出力基板／ACC-SG-B2…別売品　施工

ＡＣ２００Ｖ有電圧出力と昇降グリルを併用する場合

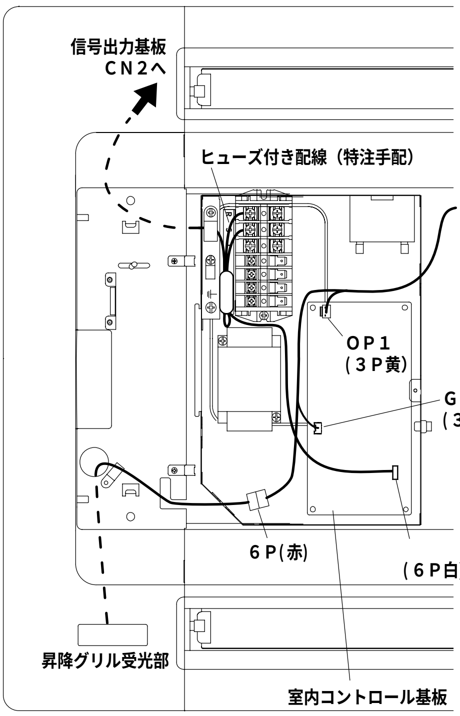
昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ（OP1:3P黄色）を使用しますので、
①有電圧出力用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線（特注手配:8FA0-5285-684-00）に交換してください。

●２方向天井カセットの例

・信号出力基板の取り付け



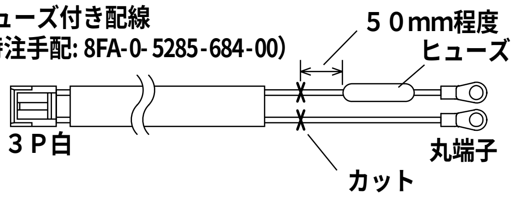
・ユニット内配線



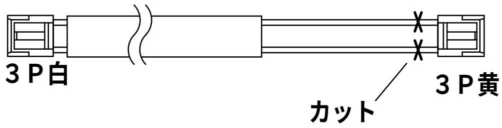
ＡＣ２００Ｖ有電圧出力と昇降グリルおよび電磁弁出力基板を併用する場合

別途手配のヒューズ付き配線（特注手配:8FA0-5285-684-00）と電磁弁出力基板に同梱されている電磁弁電源用配線をカットして、ワイヤージョイント（現地手配）で接続してください。有電圧出力用200V配線は使用しません。

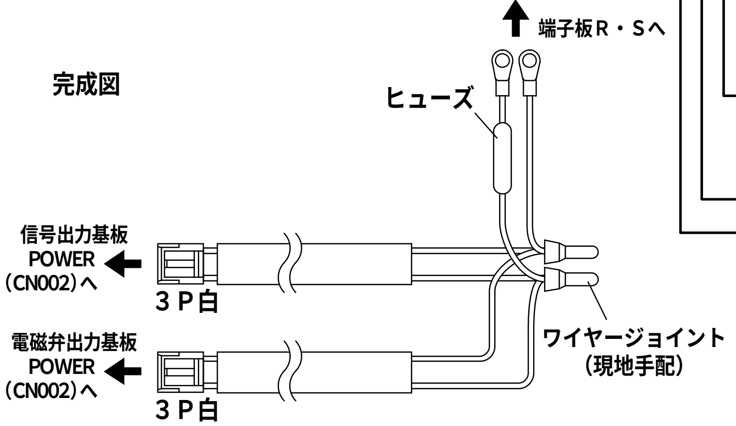
・ヒューズ付き配線
（特注手配: 8FA-0-5285-684-00）



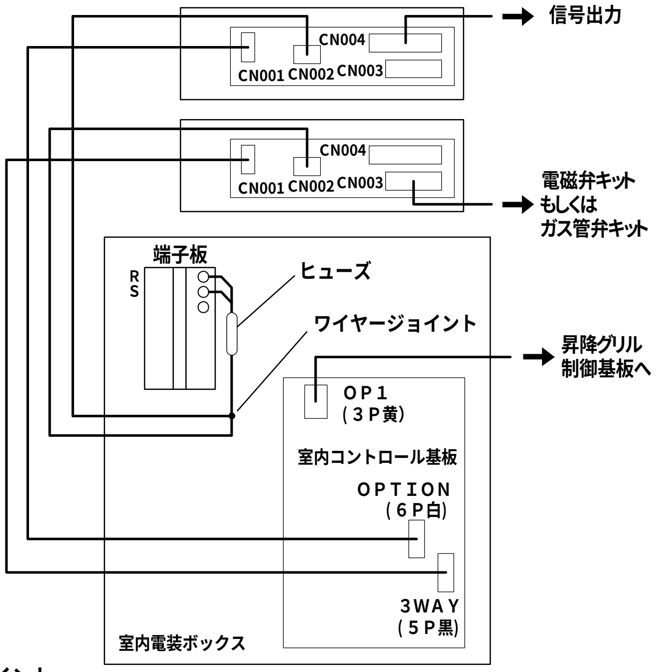
・電磁弁電源用配線



完成図



配線図（昇降グリルの配線は一部省略）



※ワイヤージョイントは電装ボックス内に収めてください

電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B1…別売品　施工

据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ

85464359930000

１．安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「 ⚠ 警告」、「 ⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ **注意**　取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び ”据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

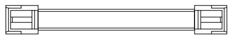
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

２．付属部品

出力基板

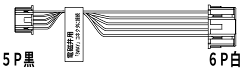
CR－SV80A　＋　スペーサ
（1個）　　（4個）

①電磁弁電源用２００V配線



3P黄　3P白

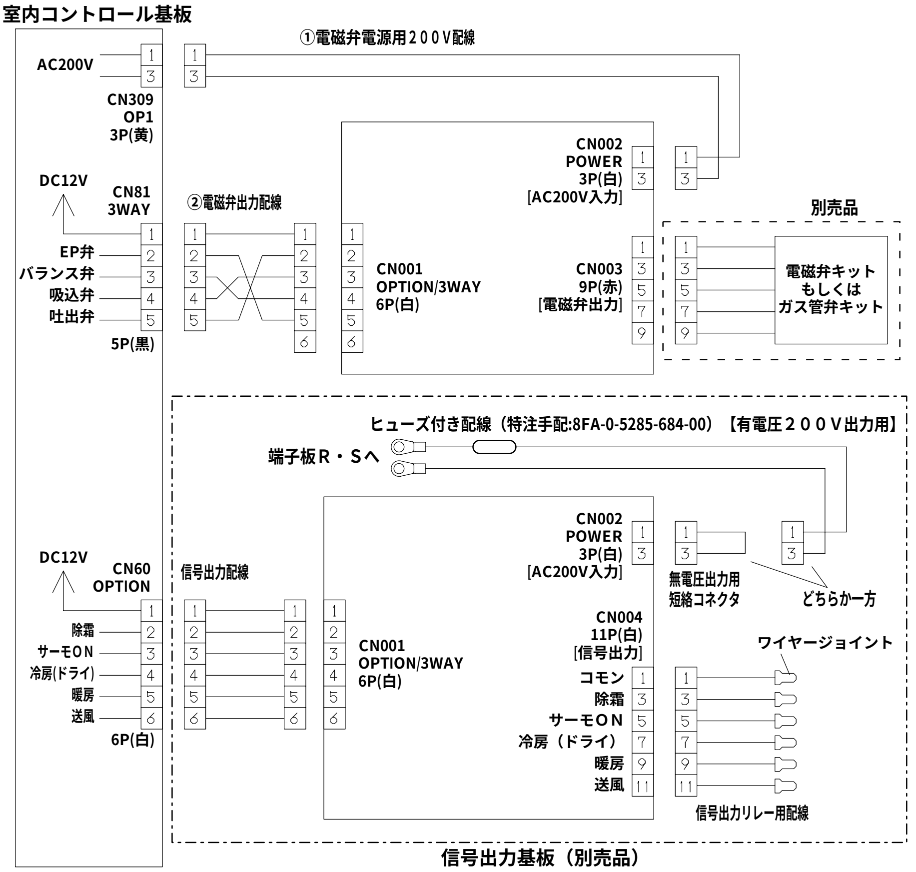
②電磁弁出力配線



5P黒　6P白

３．配線図

・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用２００V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。
※信号出力コネクタ（ＣＮ００４）は使用できません。
※信号出力基板を併用する場合は下記要領をご覧ください。



信号出力基板と併用する場合

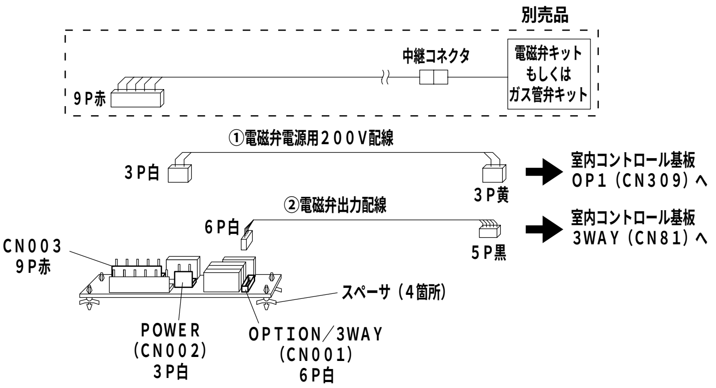
・別売の信号出力基板と併用するときは上図のとおり接続します。
・ＡＣ２００Ｖ有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(特注手配:8FA0-5285-684-00)を接続します。
※出力基板は電磁弁用／信号用とも同一仕様となっていますので、誤配線には注意してください。誤配線すると信号と電磁弁の出力が入れ替わってしまい、機器の故障につながります。

電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B1…別売品　施工

4．取り付け方法

1.室内ユニットの電装ボックスに電磁弁出力基板を取り付けます。
2.下記手順で配線します。
- ①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER（CN002）に接続します。
- 3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1（CN309）に接続します。
- ②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY（CN001）に接続します。
- 5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY（CN81）に接続します。
- 電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ（9P赤）を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ（CN003）に接続します。

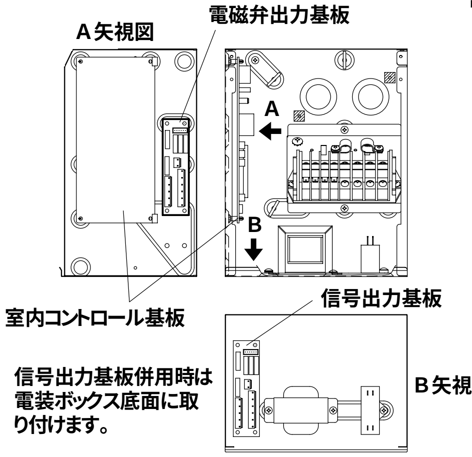
3.配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認してください。



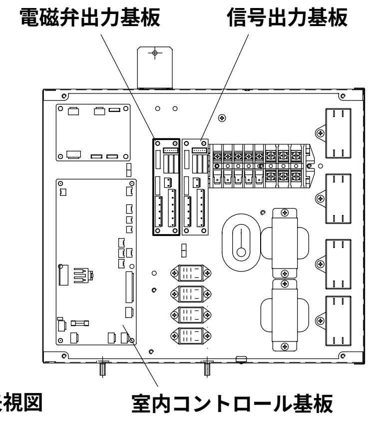
5．室内ユニットへの取り付け（代表例）

- 電磁弁出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。
- 取り付け穴が２箇所設けてある機種は信号出力基板併用時を含め、どちらにも取り付きます。

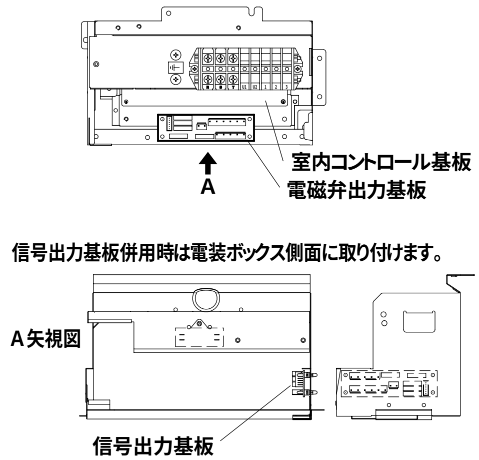
●ビルトイン形（カセット／オールダクト）



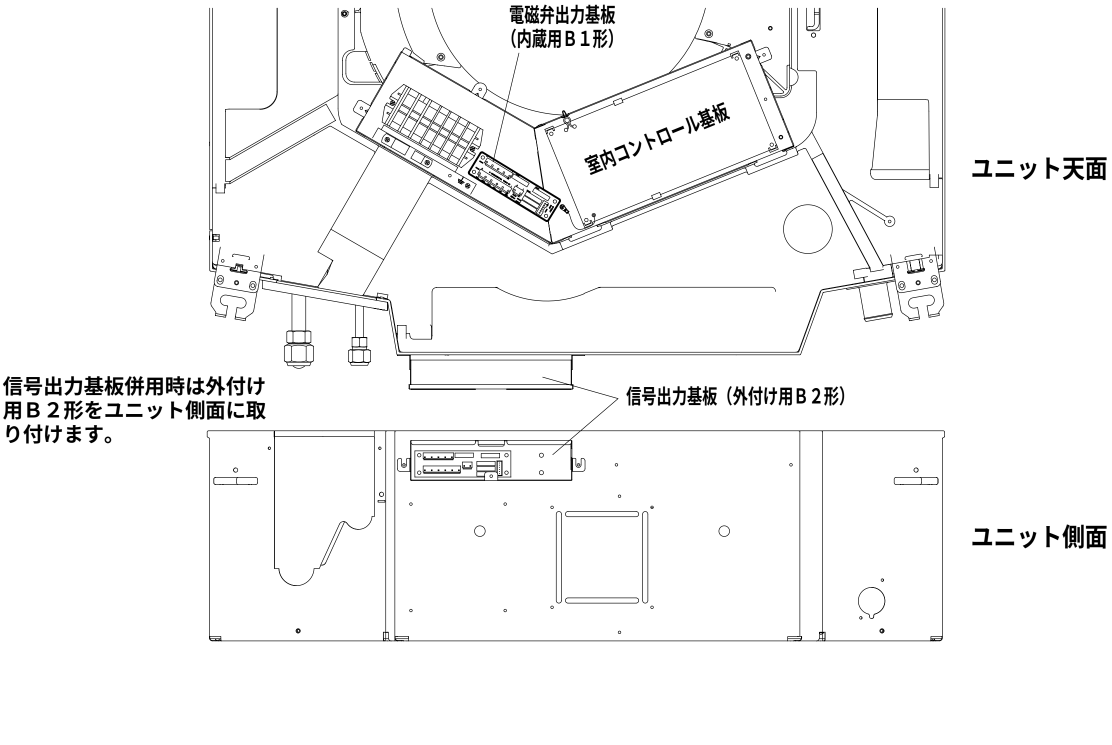
●天埋高静圧形



●ペリメーター用床置形／埋込形



●４方向天井カセット形



電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B2…別売品　施工

据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ

85464359 **931**000

１．安全上のご注意

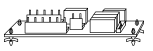
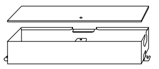
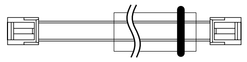
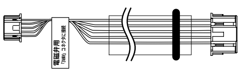
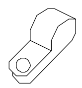
■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「 ⚠ 警告」、「 ⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

- ●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び”据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- ●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

２．付属部品

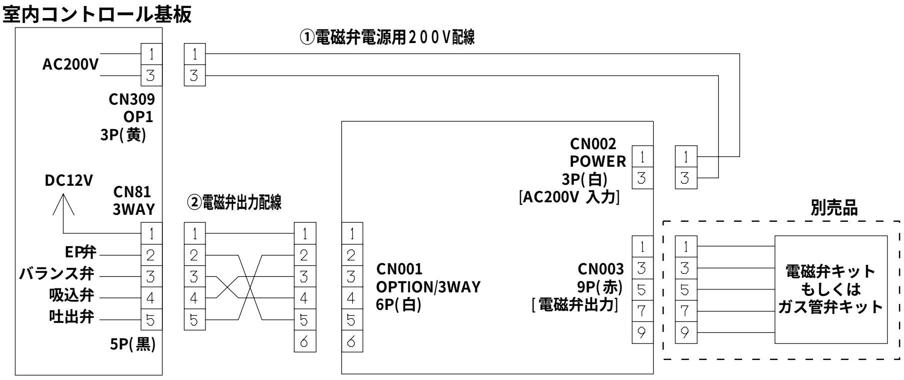
品名	図	数量
出力基板		ＣＲ－ＳＶ８０Ａ（１個）＋スペーサ（４個）
オプション基板ボックス		本体＋蓋（各１個）
取付けビス		トラスタッピン　４×６　　１個（オプション基板ボックス蓋用） トラスタッピン　４×１０　　２個（オプション基板ボックス取付け用）
①電磁弁電源用２００Ｖ配線	３Ｐ黄  ３Ｐ白	
②電磁弁出力配線	５Ｐ黒  ６Ｐ白	
ビニールクランパー		

⚠ 注意

- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

３．配線図

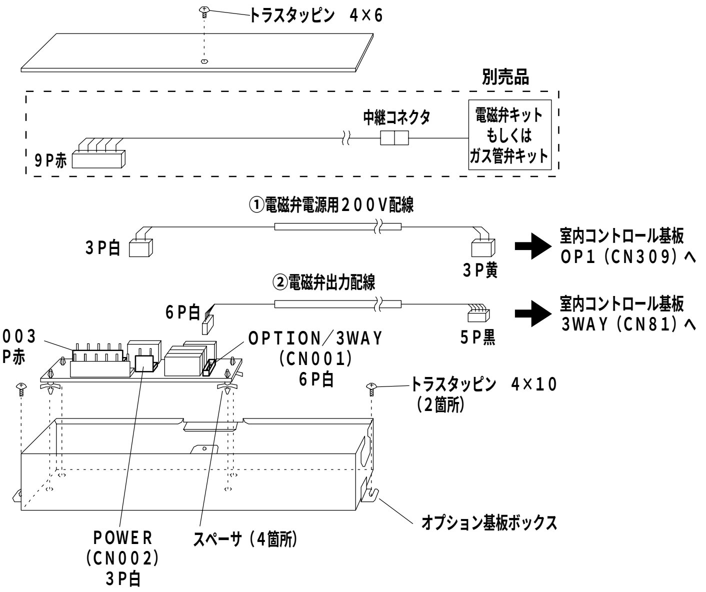
・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用２００Ｖ配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。
※信号出力コネクタ（ＣＮ００４）は使用できません。
※信号出力基板を併用する場合は裏面をご覧ください。



電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B2…別売品　施工

4．取り付け方法

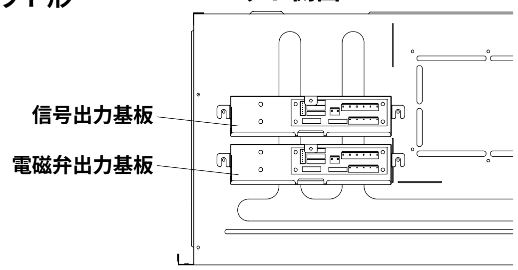
1.電磁弁出力基板を下記手順でオプション基板ボックスに
　取り付けます。
・基板のスペーサをオプション基板ボックスの底の穴に取付けます。
　注）このとき、電磁弁出力基板の向きに注意してください。（右図参照）
・オプション基板ボックスを付属のビス（4×10）でユニットに
　取付けます。
2.下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力
　基板のPOWER（CN002）に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1（CN309）
　に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板の
　OPTION／3WAY（CN001）に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY（CN81）
　に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ（9P赤）
　を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ（CN003）に接続します。
3.配線が完了したら付属のビス（4×6）でオプション基板ボッ
　クスの蓋を固定します。
　注）このとき、オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まない
　　ようにご注意ください。



5．室内ユニットへの取り付け（代表例）

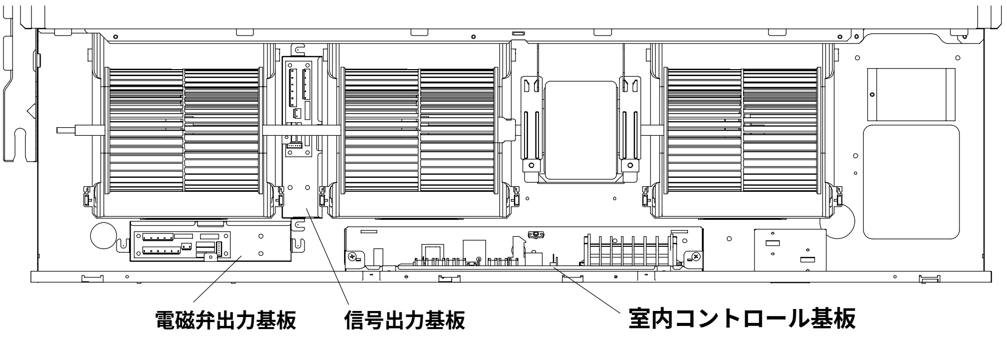
・電磁弁出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。
・取り付け穴が２箇所設けてある機種は信号出力基板併用時を含め、どちらにも取り付きます。

●２方向天井カセット形　　**ユニット側面**

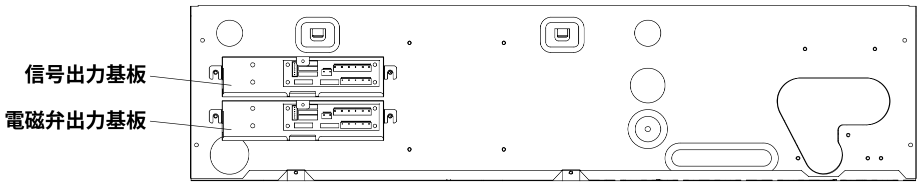


●天井吊形／高天井用１方向カセット形

ユニット天面（天吊３馬力の例）



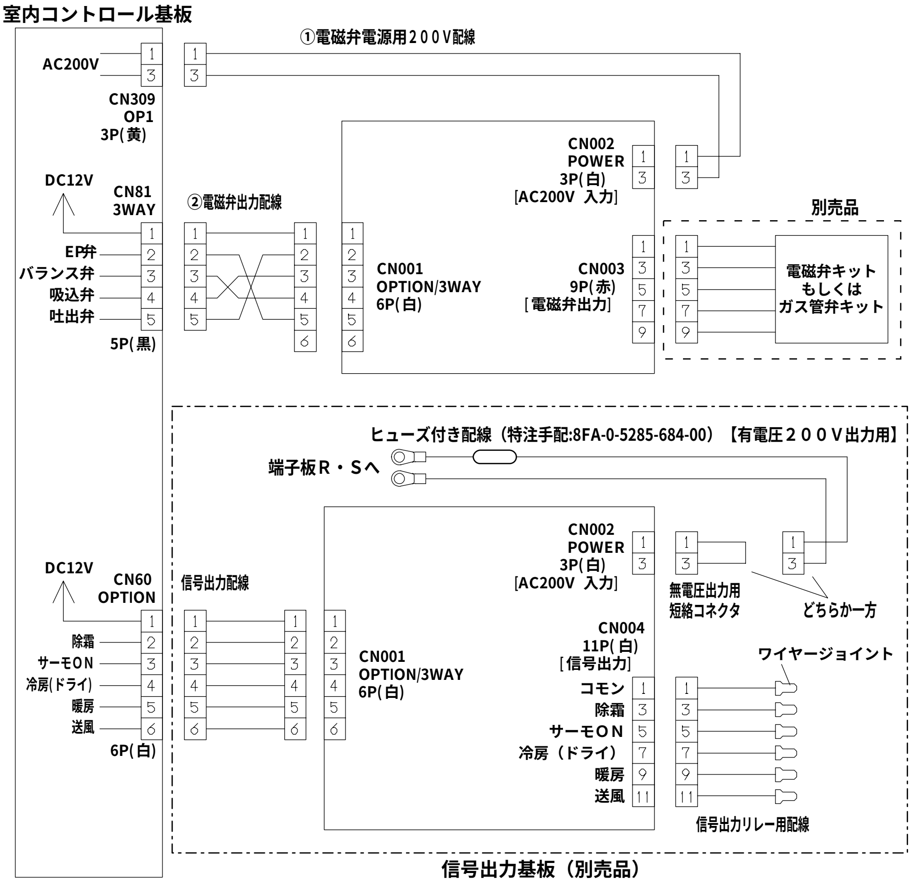
ユニット側面（天吊２馬力／高天井用１方向）



電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B2…別売品　施工

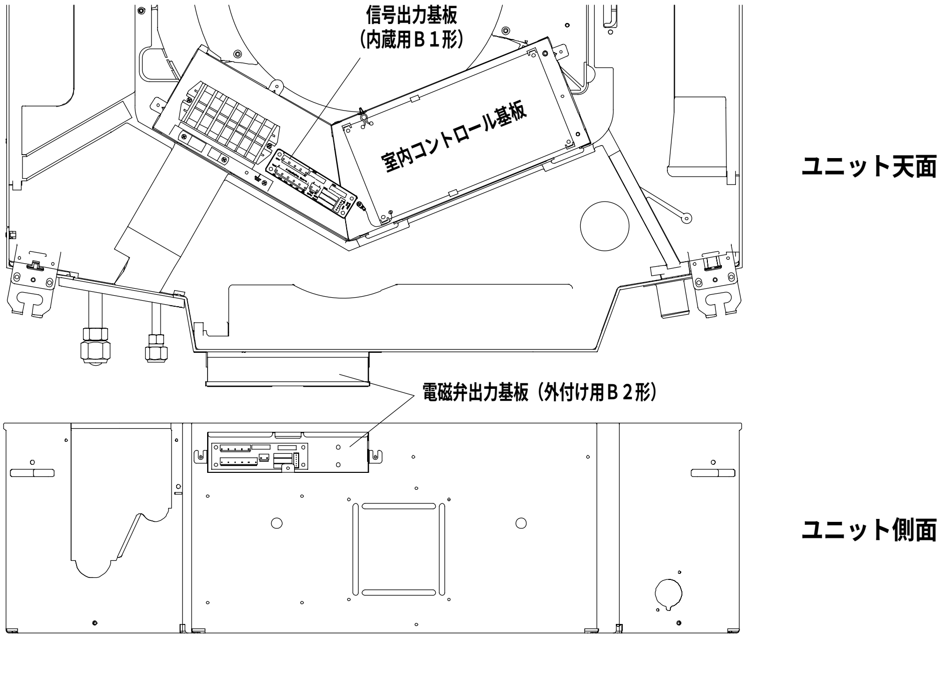
信号出力基板と併用する場合

・別売の信号出力基板と併用するときは下図のとおり接続します。
・ＡＣ２００Ｖ有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(特注手配:8FA0-5285-684-00) を接続します。
※出力基板は電磁弁用／信号用とも同一仕様となっていますので、誤配線には注意してください。誤配線すると信号と電磁弁の出力が入れ替わってしまい、機器の故障につながります。



●４方向天井カセット形での併用時の取り付け

・電磁弁出力基板（外付け用Ｂ２形）をユニット側面に取り付けます。
・併用する信号出力基板（内蔵用Ｂ１形）は室内電装ボックスに内蔵します。



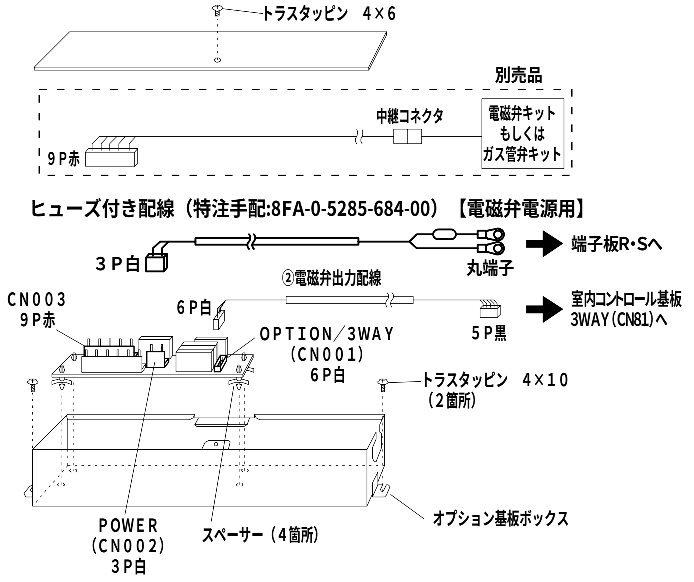
電磁弁出力基板／ACC-3WAY-B2…別売品　施工

昇降グリルと併用する場合

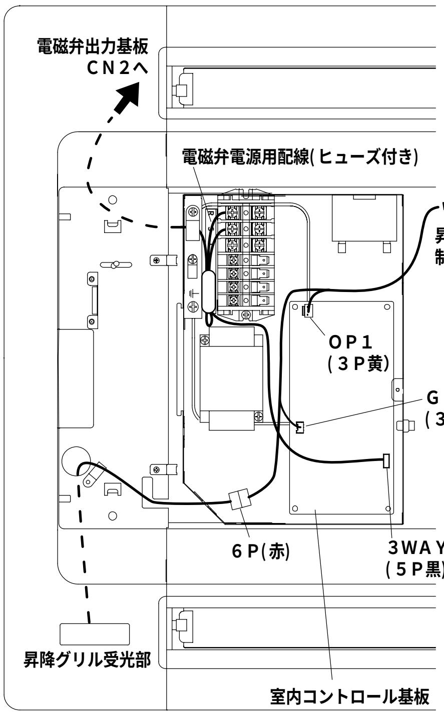
昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ（ＯＰ１：３Ｐ黄色）を使用しますので、
①電磁弁電源用２００Ｖ配線を別途手配のヒューズ付き配線 (特注手配:8FA0-5285-684-00)に交換してください。

●２方向天井カセットの例

・電磁弁出力基板の取り付け



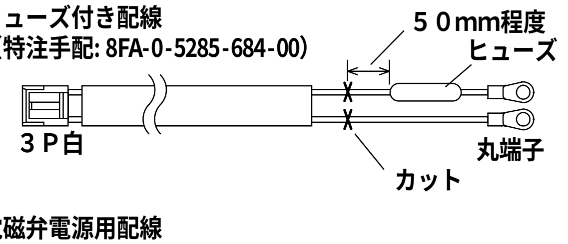
・ユニット内配線



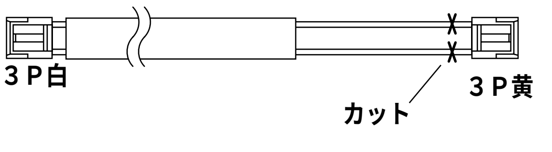
昇降グリルおよび信号出力基板（ＡＣ２００Ｖ有電圧出力）と併用する場合

別途手配のヒューズ付き配線(特注手配:8FA0-5285-684-00)　と電磁弁電源用配線をカットして、ワイヤージョイント
（現地手配）で接続してください。信号出力基板に同梱されている有電圧出力用２００Ｖ配線は使用しません。

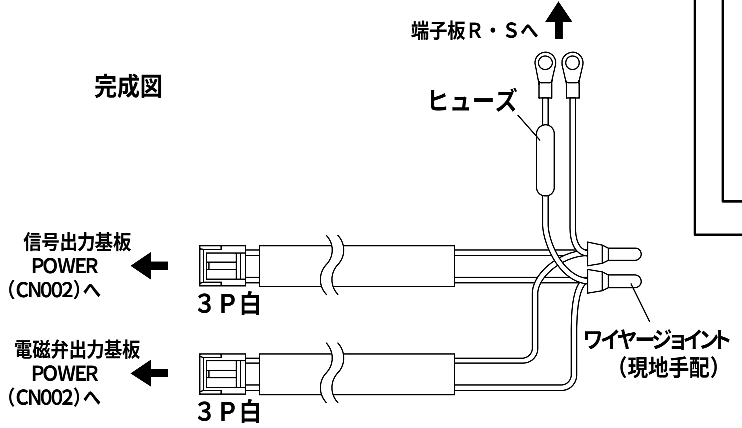
・ヒューズ付き配線
（特注手配: 8FA-0-5285-684-00）



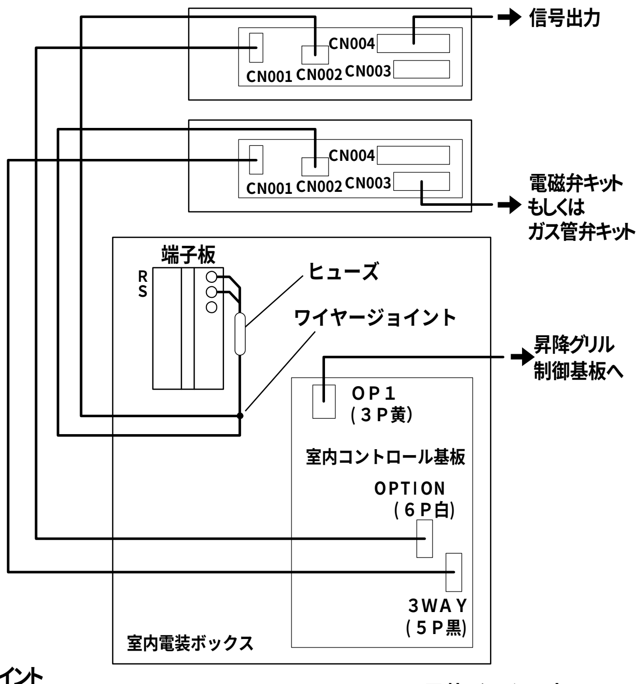
・電磁弁電源用配線



完成図



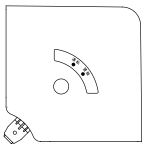
配線図（昇降グリルの配線は一部省略）

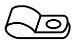


※ワイヤージョイントは電装ボックス内
に収めてください

運転表示ランプキット／IND-SH80A…別売品　施工

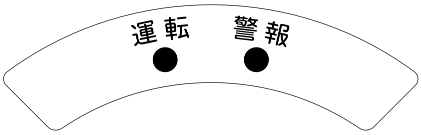
付属部品

番号	付　属　部　品	個数
①	表示部 	1

番号	付　属　部　品	個数
②	クランパー 	1
③	クランパー固定ねじ 4×12	1

ランプ表示について

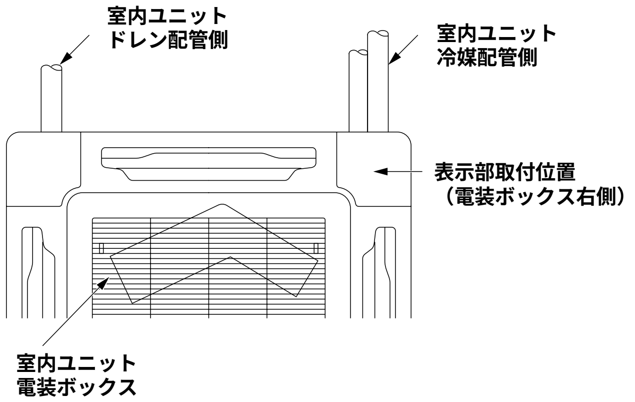
① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。
　警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。警報の内容についてはリモコンに表示されます。
③ ランプがまったく消灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続を確認してください。



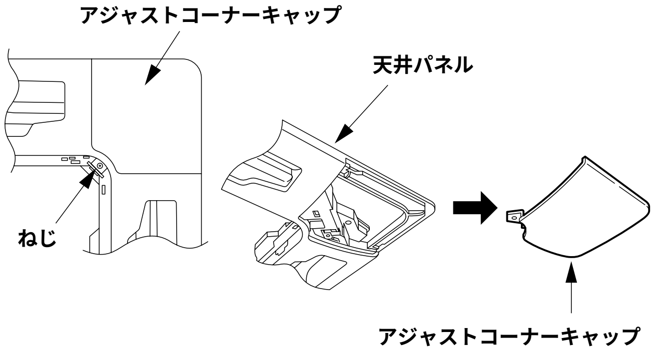
表示部の取り付けかた

※表示部を取り付けられるコーナー部は図Ａの場所のみですので、パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。
① 吸込グリルをはずします。
② アジャストコーナーキャップを固定しているネジをはずし、アジャストコーナーキャップを横にスライドさせてはずします。（図Ｂ）

図Ａ

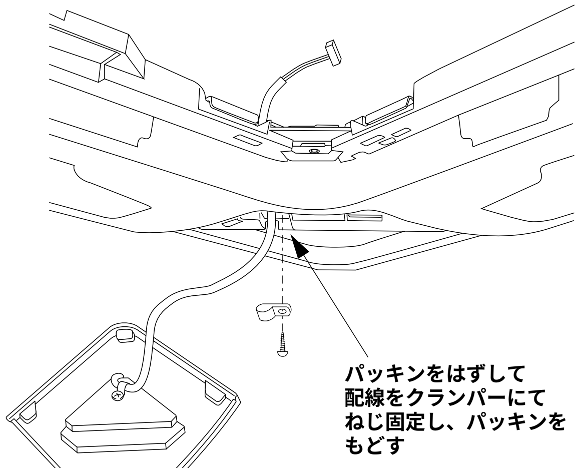


図Ｂ

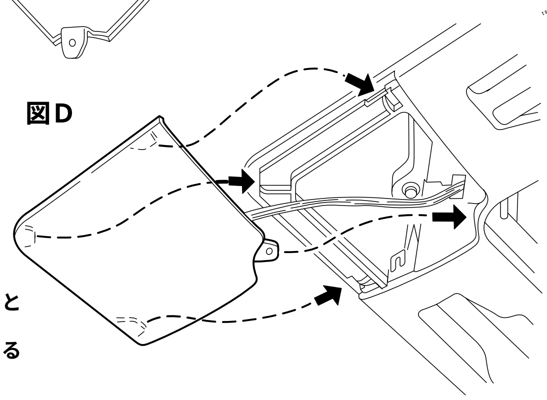


③ パネルの配線を通すための角穴にパッキン（スポンジ）が詰めてありますので、いったんはずしてからワイヤレス用の受信部から出ている配線を、グリルの中を通します。配線をクランパーでねじ固定し、はずしたパッキンをもとどおりに詰めておきます。（図Ｃ）
　※このパッキンを戻さないと配線が結露するおそれがありますので、必ずもとどおりに取り付けてください。
④ 右記“表示部の配線のしかた”により配線したあと、受信部のアジャストコーナーキャップがはずせる長さの配線をのこし、クランパーにてねじ固定します。（図Ｃ）
⑤ 表示部をパネルに取り付けます。この時、爪が３個所とも収まるようにスライドさせてください。また、配線をはさまないようにご注意ください。（図Ｄ）
　※パネルに同梱されている据付工事説明書をご参照ください。

図Ｃ



図Ｄ

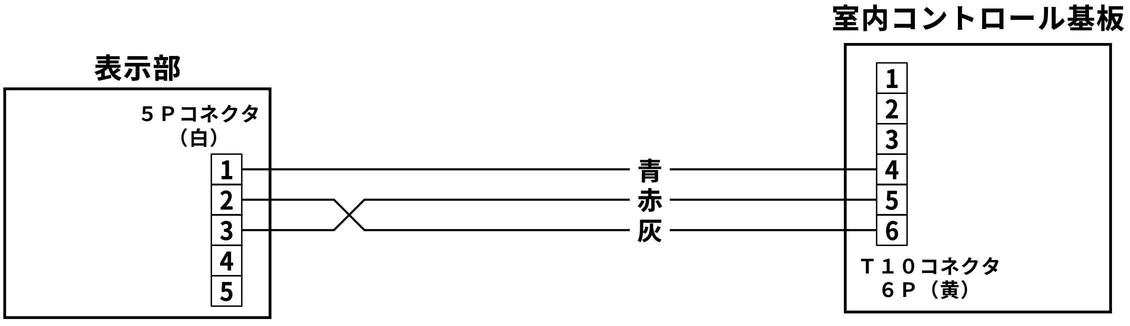


〈注１〉表示部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

運転表示ランプキット／IND-SH80A…別売品　施工

表示部の配線のしかた

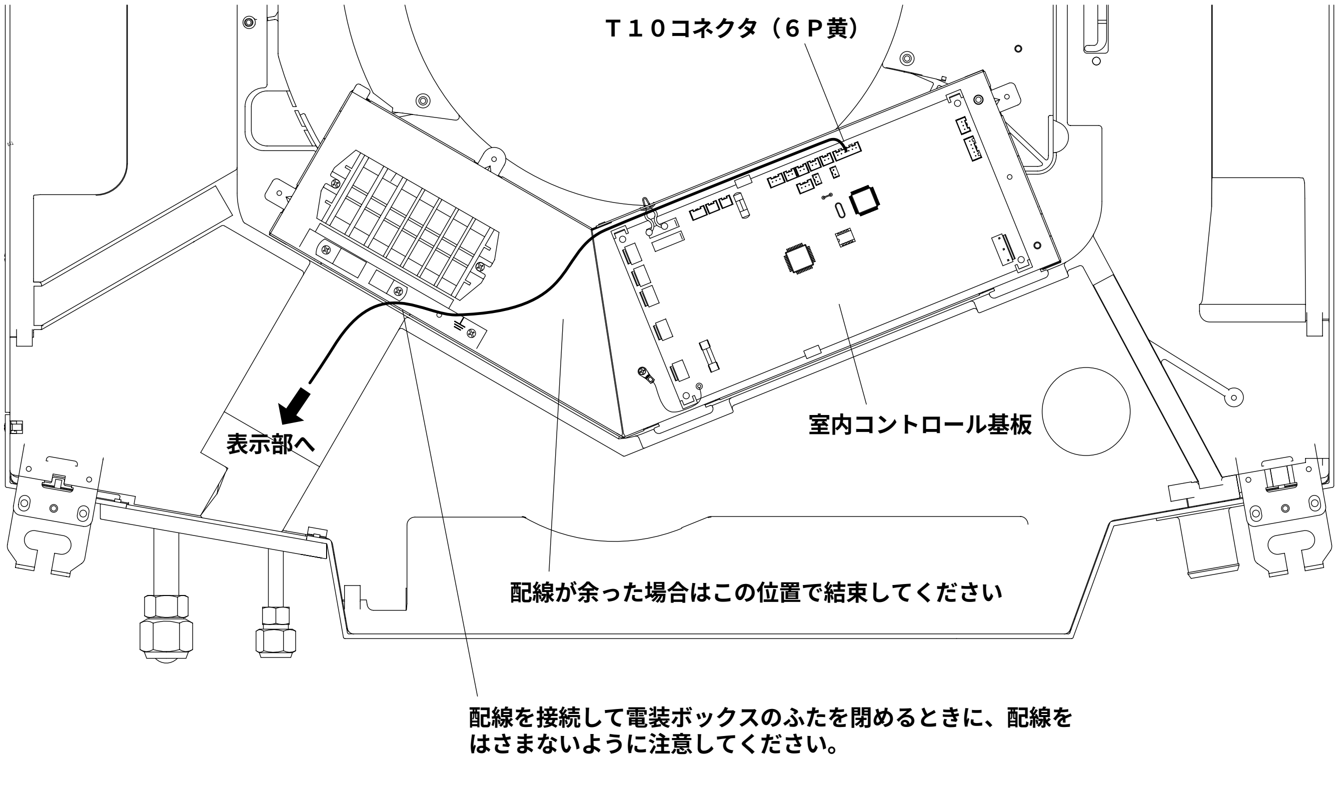
接続図



接続方法

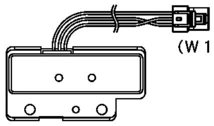
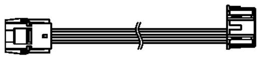
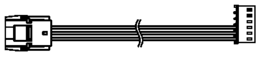
・表示部からの配線を室内コントロール基板のＴ１０コネクタに接続してください。

配線図



運転表示ランプキット／IND-TH80A…別売品　施工

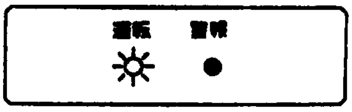
運転表示ランプキット付属品

番号	付属部品	仕様	個数
①	表示部 	表示部＋配線（W１）	1
②	ワイヤー（W２） 	取り付ける室内コントロール基板の型番が下記の機種に使用 ・CR－SRP50A ・CR－TRP50A ・CR－KRP50A	1
③	ワイヤー（W３） 	取り付ける室内コントロール基板の型番が下記の機種に使用 ・CR－＊＊J○○S（SH） 例：CR－SHJ50SH ・CR－THJ50TH ・CR－TJ50U	1
④	ビニールクランパー（L１５０）	配線結束用	3

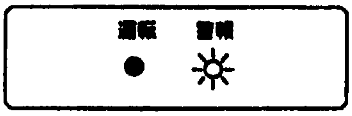
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。警報の内容についてはリモコンに表示されます。
③ ランプがまったく消灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続をチェックしてください。

【運転状態】

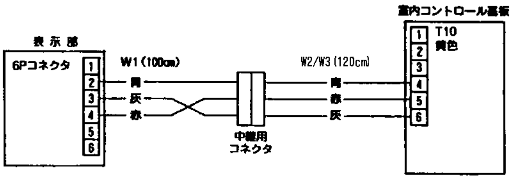


【警報状態】



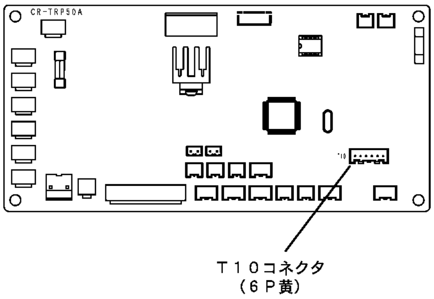
運転表示ランプの配線のしかた

●接続図

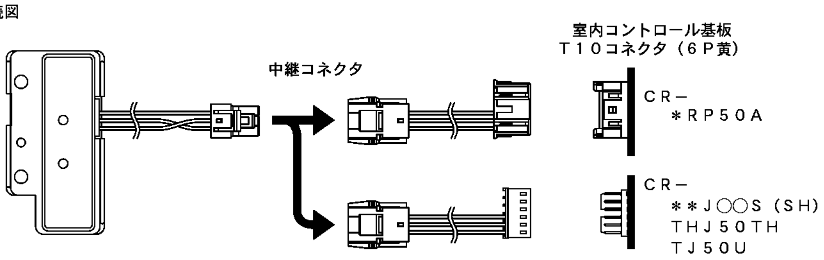


●接続方法
① 表示部を取り付ける。
② 表示部の配線（W１）に、付属のワイヤーを接続する。
※取り付ける室内機のコントロール基板の型番（CR－・・・）をご確認ください。
③ W２／W３のコネクタを室内コントロール基板のT１０コネクタ（６P黄）に接続する。
④ 配線があまった場合は付属のビニールクランパーで結束してください。

●T１０コネクタの位置（CR－TRP５０Aの例）



●接続図

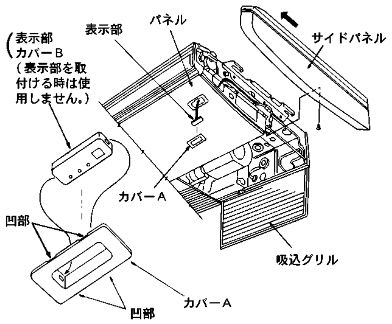


運転表示ランプキット／IND-TH80A…別売品　施工

運転表示ランプ取り付けかた

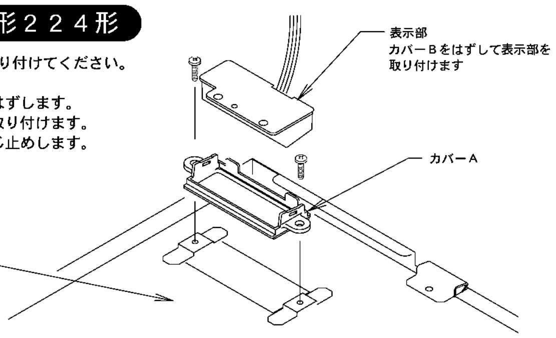
天 井 吊 形

●サイドパネルをはずし、表示部を取り付けてください。
① サイドパネルをはずします。
サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。
② カバーA、カバーBをはずします。
カバーAの凹部にマイナスドライバーを引っ掛けてカバーA、カバーBをはずします。
（パネルにキズを付けないように注意してください。）
③ カバーAからカバーBをはずします。
④ カバーAに表示部を取り付けます。
⑤ リード線を通してからカバーAと表示部をパネル穴に取付けます。（カバーAの突起部がパネル穴で固定されます。）
⑥ リード線はルーバーモーターの配線に添わせて結束します。
⑦ サイドパネルを取り付けます。

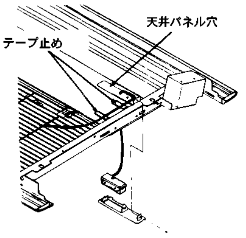


天井吊形２２４形

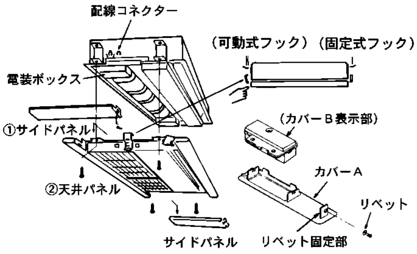
●電装ボックス下パネルをはずし、表示部を取り付けてください。
① 電装ボックス下パネルをはずします。
ねじ2本をはずしてカバーA、カバーBをはずします。
② カバーAからカバーBをはずして表示部を取り付けます。
③ 表示部を取り付けたカバーAをパネルにねじ止めします。



高天井用１方向カセット形

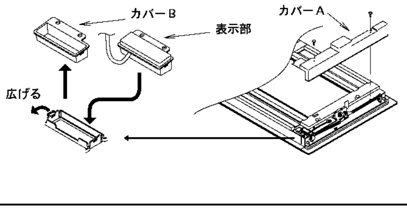


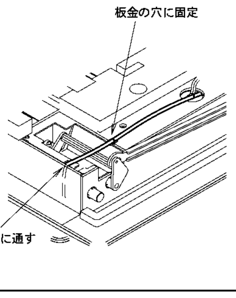
●サイドパネル及び天井パネルをはずし、表示部を取り付けてください。
① サイドパネルをはずします。
イ. サイドパネル両端にある爪を内側に押し、ロックをはずし、横に移動させるとはずれます。
② 天井パネルをはずします。
イ. 室内ユニットと天井パネルを取り付けているビス４本はずします。
ロ. 室内ユニットと天井パネルの配線コネクター（１５P）をはずします。
ハ. 天井パネルを上に押し上げながら天井パネル（電装ボックス側）の可動式フック下部を押すと、パネル片側がはずれます。
ニ. 天井パネル反対側（冷媒配管側）を持ち上げると固定式フックがはずれ、パネルがはずれます。
③ カバーA、カバーBをはずします。
イ. 天井パネル内側より、リベットをはずすとカバーAがはずれます。
ロ. カバーBをはずします。
④ カバーAに表示部を取り付けます。
⑤ 表示部のリード線を天井パネル穴に通し、カバーAを取り付けます。
⑥ リード線を図のように整形してください。
（カバーA固定金具の位置〈リベット固定部〉で天井パネル側面に平行にリード線を伸ばし、ビニールテープ等で止めてください。）



２方向天井カセット形

● パネルおよびパネルのカバーAをはずし、表示部を取り付けてください。
① パネル裏側よりカバーAをはずします。
② カバーA内部にカバーBがはめ込まれているので、下図の箇所を広げながらはずします。
カバーBを固定しているテープ は輸送保護用ですので取り去ってください。
③ パネルに表示部をはめ込みます。
④ 表示部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用してクランパーで固定します。
カバーAを取り付けます。



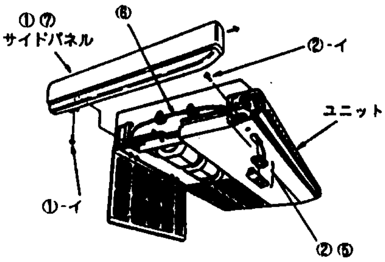


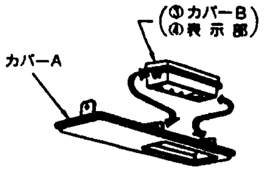
運転表示ランプキット／IND-TH80A…別売品　施工

運転表示ランプ取り付けかた

天井吊形（旧形）

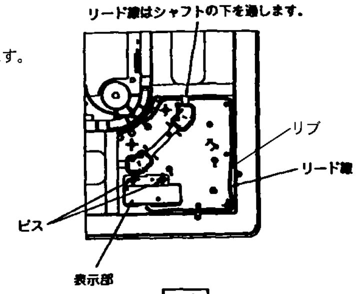
●サイドパネルおよび天井パネルをはずし、表示部を取り付けてください。
① サイドパネルをはずします。
　イ. 吸い込みグリルを開け、ビスを１本はずします。
② カバーA、カバーBをはずします。
　イ. ユニットサイドからビスを１本はずすと、ユニット前面より
　　カバーA、カバーBがはずれます。
③ カバーBをはずします。
④ カバーAに、表示部を取り付けます。
⑤ 表示部を取り付けたカバーAを、室内ユニット穴にリード線を
　通して取り付けます。
⑥ リード線は、図のようにルーバーモーターの配線に添わせて
　整形してください。
⑦ サイドパネルを取り付けます。（ビス1本）

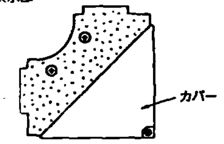




４方向天井カセット形（旧形）

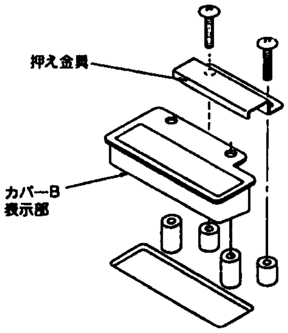
● 天井パネルおよび表示部の部分のカバーAをはずし、表示部を取り付けてください。
① 天井パネルをはずします。
　イ. 天井パネルより吸込みグリル落下防止用ヒモをはずし、
　　電装ボックス内の配線コネクタをはずします。
　ロ. 天井パネル取り付けビス（４本）をはずします。
　ハ. 天井パネル仮止め金具からフックをはずして天井パネルを取りはずします。
② 表示部を取り付けるコーナーのカバーをはずします。（ビス３本）
③ 天井パネル内部の表示部カバーをはずします。（ビス２本）
④ 表示部カバーが付いていた場所に表示部を取り付けます。（ビス２本）
⑤ リード線は図のようにパネルのリブに合わせて整形してください。
⑥ カバーを取り付けます。（リード線はカバーで押えられます）

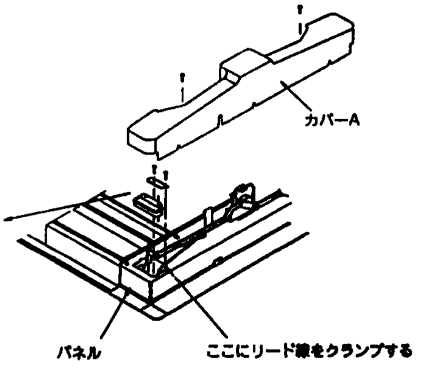


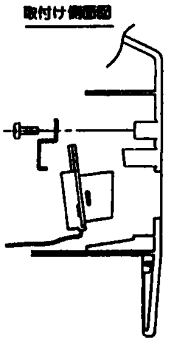


２方向天井カセット形（旧形）

● パネルおよびカバーAをはずし、表示部を取り付けてください。
① センターパネルをはずします。
② 天井パネルの配線コネクターをはずしてからパネルを室内ユニットからはずします。
③ パネル裏側よりカバーAをはずします。左側の奥のカバーBを押え金具のビス２本をはずして取り出します。
④ 表示部を、押え金具を使用してカバーBが取り付いていた場所に同様に取り付けます。
⑤ 表示部のリード線をクランパーで穴を利用して整形します。カバーAがリード線をはさみ込まないように整形してください。
⑥ カバーAを取り付けます。







運転表示ランプキット／IND-TRP80AN…別売品　施工

85464359615000

据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ

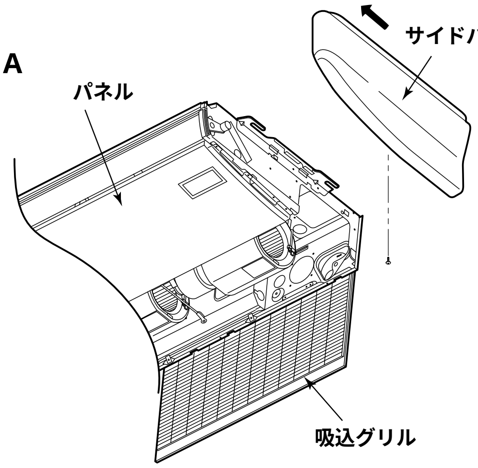
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
警報の内容についてはリモコンに表示されます。
③ ランプがまったく消灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続を確認してください。

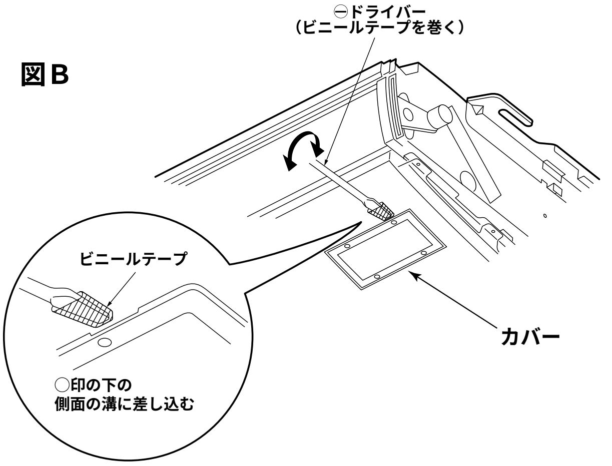
表示部の取り付けかた

❶サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図Ａ）
❷㊀ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（図Ｂ）
（パネルにキズを付けないように注意してください。）
❸パネルにリード線を通してから表示部をパネル穴に取付けます 。
（表示部の突起部がパネル穴で固定されます。）
❹表示部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定しているクランパーに固定します。（図Ｃ）
❺サイドパネルを取付けます 。
❻表示部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてクランパーで固定します。（図Ｄ）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
❼6Ｐ黄コネクタを室内コントロール基板のＴ１０コネクタに接続します。

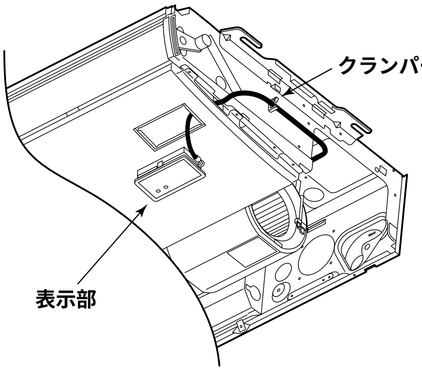
図Ａ

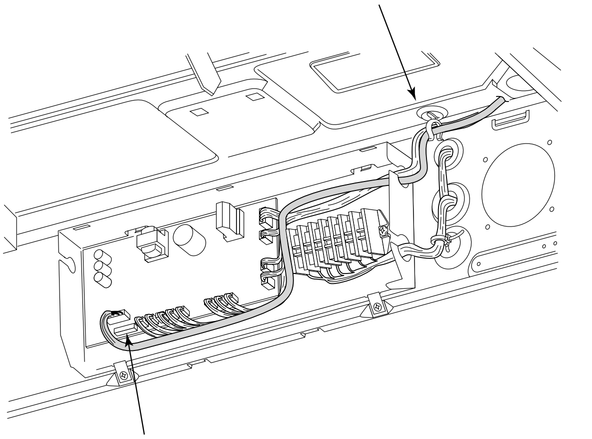


図Ｂ



図Ｃ





〈注１〉表示部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。